СОЧИНЕНИЯ
И.В. СТАЛИН

(ДОПОЛНЕНИЕ)

ТОМ 20

КИТАЙСКАЯ ВЕРСИЯ

斯大林全集

（补遗）

第 20 卷

И. Сталин.

УДК 327
ББК 66.4
С 11

Сталин. И.В.

С 11 Сочинения. Том 20. Китайская версия / И.В. Сталин. – М.: Родина, 2022. – 876 с.

ISBN 978-5-00180-833-6

为了适应其他国家的高等院校、科研院所和广大的劳动人民对马克思列宁主义学习和研究的需要，为了推动俄罗斯与其他国家的马克思主义理论交流的全方位和多元化深入发展。我们决定对20世纪50年代后未继续出版的《斯大林全集》第13卷后序各卷的其他语种版本进行补遗。

此次《斯大林全集》（补遗）共分为7卷，分别编为第14-20卷。其中，第14卷-18卷为根据哲学博士理·伊·科索拉波夫主编的、由俄罗斯"联盟"信息出版中心、俄罗斯作家出版社等俄罗斯出版机构于1997年-2011年相继出版的俄文版《斯大林全集》第14卷-18卷；第19卷为档案辑，主要为1966年后由时任苏共中央总书记列·伊·勃列日涅夫同志指示编撰的有关斯大林的材料的档案辑，同时收入苏共中央马克思恩格斯列宁研究院于1954年编撰、但未出版的《斯大林全集》第14、15卷目录、出版说明和部分材料以及部分俄罗斯档案机构近年来最新解密的材料；第20卷为书信辑，收入未收入《斯大林全集》其他卷次的由斯大林接收或发出的信件。

В целях удовлетворения потребностей высших учебных заведений, научно-исследовательских институтов и трудящихся в целом в других странах в изучении и исследовании марксизма-ленинизма и содействия всестороннему и разностороннему углубленному развитию марксистских теоретических обменов между Россией и другими странами. Мы решили сделать дополнения к поздним томам 13-го тома «Сочинения И.В. Сталин» на других языках, которые не продолжали издаваться после 1950-х годов.

На этот раз «Сочинения И.В. Сталин» (дополнение) разделено на семь томов, пронумерованных соответственно 14-20. Тома 14-18 составлены на основе томов 14-18 русского издания «Сочинения И.В. Сталин» под редакцией доктора философских наук Р.И. Косолапова, выпущенного российскими издательствами «Информационно-издательский центр «Союз» и «Издательство писателей России» с 1997 по 2011 год; том 19 представляет собой архивную коллекцию. Это сборник архивных материалов о И.В. Сталине, составленный после 1966 года по указанию тогдашнего Генерального секретаря ЦК КПСС товарища Л.И. Брежнева, а также оглавление, примечания к публикации и избранные материалы из 14-го и 15-го томов «И.В. Сталин. Сочинения», составленного Институтом Марксизма-Энгельса-Ленина при ЦК КПСС в 1954 году, но до сих пор не опубликованного, и некоторые новые рассекреченные материалы из российских архивов последних лет. Том 20 представляет собой собрание корреспонденции, полученной или отправленной И.В. Сталиным, которая не вошла в другие тома «И.В. Сталин. Сочинения».

УДК 327
ББК 66.4

© Перев. Ли Чжожу, 2022
© ООО «Издательство Родина», 2022

ISBN 978-5-00180-833-6

目 录

1922 年

1.В·И·列宁致И·В·斯大林的信

（1922 年 7 月 16 日）..... - 1 -

2.И·В·斯大林关于《前夜》编辑部成员组成的建议

（1922 年 9 月 7 日）..... - 3 -

3.国家政治保卫局致И·В·斯大林的关于禁止苏联驻外机构聘用流亡知识分子工作的报告

（1922 年 12 月 4 日）..... - 4 -

4.В·И·列宁就俄共中央政治局关于罗日科夫的决定致И·В·斯大林的抗议信

（1922 年 12 月 8 日）..... - 5 -

5.国家政治保卫局副主席И·С·温施利赫特致政治局书记И·В·斯大林和Л·Д·托洛茨基关于开展虚假信息工作必要性的报告

（1922 年 12 月 22 日）..... - 6 -

1923 年

6.国家政治保卫局副主席И·С·温施利赫特和国家政治保卫局反间谍处副处长Р·А·皮利亚尔致俄罗斯共产党（布）中央委员会书记斯大林关于М·М·李维诺夫在政治局《关于虚假信息工作》决议中增加内容建议的报告

（1923 年 1 月 17 日）..... - 8 -

7.外交人民委员部副人民委员М·М·李维诺夫致俄罗斯共产党（布）中央委员会书记И·В·斯大林关于在政治局《关于虚假信息工作》决议中加入与外交人民委员部协调虚假信息工作条款必要性的报告

（1923 年 11 月 1 日）..... - 9 -

1925 年

8.А·В·卢那察尔斯基关于出国考察致И·В·斯大林的信

（1925 年 4 月）..... - 11 -

1931 年

9.И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 15 日）..... - 13 -

10.Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1931 年 8 月 15 日）..... - 15 -

11.И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 15 日）..... - 16 -

12.И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 17 日）..... - 17 -

13.Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1931 年 8 月 23 日）..... - 20 -

14.Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1931 年 8 月 26 日）..... - 25 -

15.И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 30 日）..... - 29 -

16.联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫致哈萨克斯坦和中伏尔加边疆区领导人关于破坏粮食征购的电报

（1931 年 11 月 19 日）..... - 32 -

1932 年

17.乌克兰共产党（布）中央委员会第一书记C·B·柯秀尔致联共（布）中央书记И·B·斯大林关于乌克兰播种的进展和前景的信
（1932 年 4 月 26 日）..... - 33 -
18.联共（布）中央书记斯大林致乌克兰共产党（布）中央第一书记C·B·柯秀尔关于乌克兰农村政治形势的信
（1932 年 4 月 26 日）..... - 36 -
19.苏联供应人民委员A·И·米高扬致联共（布）中央委员会书记И·B·斯大林关于集体农庄和农机站谷物交付定额的报告
（1932 年 5 月，第一号）..... - 37 -
20.И·B·斯大林致Л·M·卡冈诺维奇、B·M·莫洛托夫
（1932 年 7 月 20 日）..... - 40 -
21.И·B·斯大林致Л·M·卡冈诺维奇
（1932 年 7 月 22 日）..... - 43 -
22.Л·M·卡冈诺维奇、B·M·莫洛托夫致И·B·斯大林
（1932 年 7 月 23 日）..... - 44 -
23.И·B·斯大林致Л·M·卡冈诺维奇、B·M·莫洛托夫
（早于 1932 年 7 月 24 日）..... - 45 -
24.Л·M·卡冈诺维奇、B·M·莫洛托夫致И·B·斯大林
（1932 年 7 月 24 日）..... - 47 -
25.Л·M·卡冈诺维奇致И·B·斯大林
（1932 年 7 月 24 日）..... - 48 -
26.И·B·斯大林致Л·M·卡冈诺维奇
（1932 年 7 月 26 日）..... - 51 -
27.联共（布）北高加索边疆区委书记Б·П·舍博尔达耶夫致联共（布）中央委员会书记И·B·斯大林关于必须削减在边疆区的谷物采购计划的报告
（1932 年 8 月 20 日）..... - 54 -
28.联共（布）中央书记И·斯大林致联共（布）北高加索边疆区委书记Б·П·舍博尔达耶夫关于拒绝削减粮食征购计划的密电
（1932 年 8 月 22 日）..... - 57 -
29.联共（布）乌拉尔州委第一书记И·Д·卡巴科夫致联共（布）中央书记斯大林关于请求不要增加九月份谷物征购量的密电
（1932 年 9 月 10 日）..... - 58 -
30.联共（布）中央书记И·B·斯大林致联共（布）乌拉尔州委书记И·Д卡巴科夫关于拒绝削减九月份粮食征购计划申请的密电
（1932 年 9 月 12 日）..... - 59 -
31.苏联农业人民委员Я·A·雅科夫列夫致联共（布）中央书记И·B·斯大林关于 1933 年粮食征购系统的报告
（1932 年 9 月 17 日）..... - 60 -
32.乌克兰共产党（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州委第一书记M·M·哈塔耶维奇致联共（布）中央书记И·B·斯大林关于乌克兰粮食征购计划不切实际的信
（1932 年 10 月 22 日）..... - 62 -
33.乌克兰共产党（布）中央委员会第一书记C·B·柯秀尔致联共（布）中央书记И·B·斯大林关于乌克兰粮食征购和播种的信

（1932 年 10 月 23 日）..... - 65 -
34.Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林
（1932 年 11 月 5 日）..... - 67 -
35.联共（布）乌拉尔州委第一书记И·Д·卡巴科夫致联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫请求在 1932 年 11 月底前不对落后地区的区执委会书记采取镇压措施的密电
（1932 年 11 月 10 日）..... - 69 -
36.联共（布）哈萨克边疆区书记Ф·И·戈洛谢金致联共（布）中央书记斯大林关于在粮食征购中采用镇压措施的密电
（1932 年 11 月 21 日）..... - 70 -
37.联共（布）中央书记И·В·斯大林致哈萨克斯坦领导关于在粮食征购中采取镇压手段必要性的密电
（1932 年 11 月 21 日）..... - 72 -
38.联共（布）中央黑土州委书记И·М·瓦列伊基斯致联共（布）中央委员会总书记И·В·斯大林关于粮食征购、秋天播种以及农村形势的报告
（1932 年 11 月 28 日）..... - 73 -
39.联共（布）中央书记И·В·斯大林致国家政治保卫总局乌克兰、俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国各州和边疆区全权代表关于向联共（布）中央委员会发送暗中破坏、损毁和盗窃集体农庄财产有关材料的密电
（1932 年 11 月 29 日）..... - 78 -
40.联共（布）中央书记И·В·斯大林致联共（布）乌拉尔州委书记И·Д·卡巴科夫关于在未能完成谷物采购任务的情况下对乌拉尔国营农场的负责人们采用镇压措施的密电
（1932 年 12 月 7 日）..... - 79 -
41.联共（布）高尔基边疆区委书记А·А·日丹诺夫致联共（布）中央书记И·В·斯大林请求同意对斯巴斯基和阿尔达托夫区施行镇压的密电
（1932 年 12 月 14 日）..... - 80 -
1933 年
42.联共（布）下伏尔加边疆区委第二书记Я·Г·葛尔金致联共（布）中央总书记И·В·斯大林就与大规模农民逃亡作斗争的问题请求在边疆区采取措施的密电
（1933 年 2 月 15 日）..... - 81 -
43.乌共（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州州委书记М·М·哈塔耶维奇致联共（布）中央委员会总书记И·В·斯大林关于第聂伯罗彼得罗夫斯克饥荒以及改善居民粮食供应的报告
（1933 年 3 月 12 日）..... - 82 -
44.乌克兰共产党（布）中央委员会第一书记С·В·柯秀尔致联共（布）中央书记斯大林关于对南乌克兰进行粮食援助的报告摘录
（1933 年 3 月 15 日）..... - 85 -
45.乌克兰共产党（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州书记М·М·哈塔耶维奇致联共（布）中央书记И·В·斯大林请求追加粮食贷款的密电
（1933 年 6 月 27 日）..... - 89 -
46.巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国领导人致联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫关于共和国饥荒事件及请求分配粮食贷款的密电
（1933 年 7 月 5 日）..... - 90 -
47.国家政治保卫总局副主席Я·С·阿格拉诺夫致И·В·斯大林关于逮捕Н·Р·埃尔德曼、В·З·马斯和Э·日耳曼的信
（1933 年 10 月 25 日）..... - 91 -
1934 年

48.斯大林致政治局委员阿多拉茨基、克诺林、 斯捷茨基、季诺维也夫、波斯佩洛夫
（1934 年 8 月 5 日）..... - 92 -
49.卡冈诺维奇、伦金、切尔诺夫致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫
（1934 年 10 月 9 日）..... - 95 -
50.卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫
（1934 年 10 月 9 日）..... - 96 -
51.斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫、日丹诺夫
（1934 年 10 月 9 日）..... - 97 -
52.卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫
（1934 年 10 月 10 日）..... - 98 -
1935 年
53.斯大林致卡冈诺维奇、叶若夫、莫洛托夫
（1935 年 9 月 7 日）..... - 99 -
54.斯大林致卡冈诺维奇
（1935 年 9 月 8 日）..... - 101 -
55.卡冈诺维奇致斯大林
（1935 年 9 月 10 日）..... - 103 -
1936 年
56.叶若夫、卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 8 月 17 日）..... - 104 -
57.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 8 月 17 日）..... - 105 -
58.斯大林致卡冈诺维奇、叶若夫
（1936 年 8 月 19 日）..... - 107 -
59.卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林
（1936 年 8 月 19 日）..... - 108 -
60.卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林
（1936 年 8 月 20 日）..... - 110 -
61.卡冈诺维奇、叶若夫、奥尔忠尼启则致斯大林
（1936 年 8 月 22 日）..... - 113 -
62.卡冈诺维奇、丘巴尔致斯大林
（1936 年 8 月 22 日）..... - 114 -
63.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 8 月 22 日）..... - 115 -
64.卡冈诺维奇、奥尔忠尼启则、伏罗希洛夫、丘巴尔、叶若夫致斯大林
（1936 年 8 月 22 日）..... - 116 -
65.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 8 月 23 日）..... - 117 -
66.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 8 月 23 日）..... - 119 -
67.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 8 月 27 日）..... - 121 -
68.卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 8 月 27 日）..... - 123 -
69.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 8 月 28 日）..... - 124 -
70.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 8 月 29 日）..... - 125 -
71.卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林
（1936 年 8 月 29 日）..... - 126 -
72.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 9 月 5 日）..... - 128 -
73.斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫
（1936 年 9 月 6 日）..... - 129 -
74.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 9 月 6 日）..... - 131 -
75.莫洛托夫、卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 9 月 6 日）..... - 132 -
76.卡冈诺维奇、莫洛托夫致斯大林
（1936 年 9 月 7 日）..... - 133 -
77.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 9 月 9 日）..... - 134 -
78.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 9 月 11 日）..... - 135 -
79.斯大林致卡冈诺维奇
（1936 年 9 月 11 日）..... - 136 -
80.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 9 月 14 日）..... - 137 -
81.斯大林、日丹诺夫致卡冈诺维奇、莫洛托夫
（1936 年 9 月 25 日）..... - 140 -
82.卡冈诺维奇致斯大林
（1936 年 10 月 12 日）..... - 142 -
1937 年
83.苏联国家计划委员会中央国民经济统计局负责人И·A·克拉瓦利致联共（布）中央书记И·B·斯大林和苏联人民委员会主席B·M·莫洛托夫对 1937 年全联盟人口普查的初步结果的备忘录（摘录）
（1937 年 2 月 11 日）..... - 145 -
1938 年
84.苏联内务人民委员部国家安全总局给斯大林的关于诗人杰米扬·别德内的证明
（1938 年 9 月 9 日）..... - 148 -
85.苏联内务人民委员部国家安全总局给斯大林的关于诗人M·A·斯韦特洛夫的证明
（1938 年 9 月 13 日）..... - 150 -
86.苏联内务人民委员部国家安全总局给斯大林的关于诗人И·П·乌特金的证明
（1938 年 9 月 13 日）..... - 152 -
1939 年
87.给И·B·斯大林关于机械工业人民委员部的“敌人”的匿名信
（1939 年 1 月 3 日）..... - 154 -

88.И·В·斯大林致А·Я·维辛斯基关于组织开设内务人民委员部工作人员法庭的记录
（1939 年 1 月 3 日）..... - 156 -
89.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于特种技术局的特别报告
（1939 年 1 月 7 日）..... - 157 -
苏联内务人民委员部特种技术局章程..... - 157 -
苏联内务人民委员部令..... - 158 -
苏联内务人民委员领导下特别局编制..... - 159 -
90.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于保存В·И·列宁遗体的特别报告
（1939 年 1 月 8 日）..... - 160 -
91.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于С·Я·加尔姆巴的特别报告
（1939 年 1 月 9 日）..... - 162 -
92.联共（布）中央政治局“关于将‘国际旅行社’移交给外贸人民委员部经营”的决议并附Л·贝利亚致И·斯大林的特别报告
（1939 年 1 月 10 日）..... - 163 -
93.И·В·斯大林致各州、边疆区委书记和内务人民委员部、内务人民委员部各局领导关于对“人民的敌人”施用酷刑的密电
（1939 年 1 月 10 日）..... - 165 -
94.А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于让检察官熟悉 1939 年 1 月 10 日密码电报的内容的报告
（1939 年 1 月 26 日）..... - 167 -
95.И·斯大林致各州委、边疆区委，各共和国共产党中央委员会书记关于责成检察工作人员熟悉 1939 年 1 月 10 日密电内容的备忘录
（1939 年 1 月 27 日）..... - 168 -
96.Г·М·马林科夫致И·В·斯大林关于莫斯科党员违纪调查小组调查员的信
（1939 年 1 月 28 日）..... - 169 -
97.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于И·И·叶若夫的特别报告
（1939 年 1 月 30 日）..... - 171 -
98.Л·П·贝利亚和А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于撤销由内务人民委员部法外机构定罪的犯罪前科的特别报告并附苏联最高苏维埃法令的草案
（1939 年 2 月 5 日）..... - 174 -
苏联最高苏维埃主席团关于删除前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议和..... - 175 -
联席会议被定罪者的前科的命令（草案）..... - 175 -
99.И·斯大林致各州委、边疆区委，各共和国共产党中央委员会书记关于责成司法工作人员熟悉 1939 年 1 月 10 日密电内容的备忘录
（1939 年 2 月 14 日）..... - 176 -
100.Л·П·贝利亚、А·Я·维辛斯基和Н·М·雷契科夫致И·В·斯大林附关于执行苏联人民委员会和联共（布）中央委员会 1938 年 11 月 17 日“关于逮捕、检察官的监督和调查”决议命令的特别报告
（1939 年 2 月 21 日）..... - 177 -
关于执行苏联人民委员会和联共（布）中央委员会 1938 年 11 月 17 日“关于逮捕、检察官的监督和调查”决议的命令
（1939 年 2 月，莫斯科）..... - 179 -
101.О·А·克德罗娃给И·В·斯大林的信
（1939 年 3 月 7 日）..... - 181 -
102.Н·И·叶若夫给И·В·斯大林的便条

（1939 年 3 月 13 日）..... - 183 -
103.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于释放专家的特别报告
（1939 年 3 月 27 日）..... - 184 -
104.Н·А·斯克沃尔佐夫致И·В·斯大林和Л·П·贝利亚关于逮捕苏联最高苏维埃代表的密电
（1939 年 4 月 3 日）..... - 185 -
105.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附М·П·弗里诺夫斯基的自白书
（1939 年 4 月 13 日）..... - 186 -
致苏联内务人民委员、国家安全一级政委Л·П·贝利亚
来自被逮捕的М·П·弗里诺夫斯基
自白书 ..... - 186 -
106.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于矿井爆炸的特别报告
（1939 年 4 月 14 日）..... - 205 -
107.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于审讯苏联内务人民委员部保卫处处长И·Я·达金的特别报告
（1939 年 4 月 20 日）..... - 207 -
108.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于Н·И·叶若夫的特别报告附审讯笔录
（1939 年 4 月 27 日）..... - 208 -
被捕的尼古拉·伊万诺维奇·叶若夫的审讯笔录
（1939 年 4 月 26 日）..... - 208 -
109.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于А·Н·巴布林的特别报告附审讯笔录
（1939 年 5 月 5 日）..... - 231 -
被捕的安纳托利·尼古拉耶维奇·巴布林的笔录
（1939 年 4 月 18 日）..... - 231 -
110.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于矿井爆炸的特别报告
（1939 年 5 月 11 日）..... - 237 -
111.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于А·М·塔马林的特别报告附审讯笔录
（1939 年 5 月 23 日）..... - 239 -
安东·莫伊谢耶维奇·塔马林的笔录
（1939 年 5 月 20 至 21 日）..... - 239 -
112.В·П·茹拉夫廖夫给И·В·斯大林的工作便条
（1939 年 5 月 26 日）..... - 253 -
113.А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于违法逮捕的报告
（1939 年 5 月 31 日）..... - 254 -
114.А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于苏联内务人民委员部特别会议的报告
（1939 年 5 月 31 日）..... - 255 -
115.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于在赤塔逮捕波兰情报部门“特工”的特别报告
（1939 年 6 月 7 日）..... - 257 -
116.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于捣毁在莫斯科和列宁格勒学校中的“反苏”集团的特别报告
（1939 年 6 月 7 日）..... - 260 -
117.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被内务人民委员部特种技术局使用的被囚禁的专家的特别报告
（1939 年 7 月 4 日）..... - 265 -
118.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于生产不合格军用品的特别报告
（1939 年 8 月 10 日）..... - 267 -
119.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于А·А·维诺库罗夫发明的特别报告

（1939 年 8 月 14 日）..... - 270 -
维诺库罗夫同志发明的结论
（涡轮机）..... - 271 -
120.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部彼尔姆州局局长的特别报告
（1939 年 8 月 14 日）..... - 272 -
121.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于重新审查行政驱逐出中心城市类案件的特别报告附内务人民委员部和苏联检察院命令的草案
（1939 年 8 月 17 日）..... - 273 -
命令
“关于审查行政驱逐出中心城市的案件”..... - 274 -
122.德意志帝国总理 A·希特勒致联共（布）中央书记И·В·斯大林的信
（1939 年 8 月 21 日）..... - 277 -
123.联共（布）中央委员会书记И·В·斯大林致德国帝国总理A·希特勒的信
（1939 年 8 月 21 日）..... - 278 -
124.И·В·斯大林致И·И·普罗斯库罗夫关于情报人员的便条
（1939 年 8 月 25 日）..... - 279 -
125.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于从立陶宛接收被扣押的波兰军人的特别报告
（1939 年 11 月 7 日）..... - 280 -
126.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕立陶宛报纸工作人员的特别报告
（1939 年 11 月 13 日）..... - 282 -
127.Н·С·帕托利切夫致И·В·斯大林关于雷宾斯克飞机制造厂大火的密电
（1939 年 11 月 29 日）..... - 283 -
128.Л·П·贝利亚和Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林关于对铁路沿线临时建筑进行检查的特别报告
（1939 年 12 月 1 日）..... - 284 -
129.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于将“围垦者”驱逐出西乌克兰和西白俄罗斯的特别报告
（1939 年 12 月 2 日）..... - 289 -
1940 年
130.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于Н·И·叶若夫病情的特别报告
（1940 年 1 月 11 日）..... - 291 -
131.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于驱逐乌克兰和白俄罗斯西部地区围垦者和武装护林队行动执行结果的特别报告
（1940 年 2 月 12 日）..... - 292 -
132.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于重庆局势的特别报告
（1940 年 3 月 2 日）..... - 294 -
133.А·Я·维辛斯基和Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的备忘录附“关于消除逮捕程序缺陷”决定的草案
（1940 年 3 月 4 日）..... - 295 -
联共（布）中央关于消除既有同意逮捕程序，以及释放曾经由于内务人民委员部的案件被法院保卫部门、内务人民委员部和检察官逮捕的人的程序的缺陷的决议..... - 295 -
134.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被扣押的В·西科尔斯基政府密使的文件的特别报告（摘录）
（1940 年 3 月 11 日）..... - 298 -
给代理人的指示第 1 号..... - 299 -
波兰公众对占领者态度的基本准则..... - 299 -
“武装斗争联盟”总司令给公民连科夫斯基的命令..... - 301 -

“武装斗争联盟”总司令致第 2 区司令 ..... - 302 -
135.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于嘉奖苏联内务人民委员部工作人员的特别报告
（1940 年 4 月 18 日） ..... - 304 -
136.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于同芬兰交换战俘的特别报告
（1940 年 4 月 19 日） ..... - 306 -
137.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于苏联战俘工作的特别报告
（1940 年 5 月 23 日） ..... - 309 -
138.红军总参谋部情报部致联共（布）中央И·В·斯大林的备忘录附转发的特工的情报
（1940 年 6 月 4 日） ..... - 313 -
消息源 40 年 6 月 3 日关于克里普斯所谓的莫斯科之行和苏德经济关系的报告 ..... - 313 -
消息源 40 年 3 月 6 日关于德日关系和德国驻莫斯科大使馆对苏联—立陶宛关系反应的报告 ..... - 315 -
消息源 40 年 6 月 3 日关于马茨克上校和海根多夫中校关于同波兰和西方的战争经验的言论的报告 .... - 315 -
139.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于矿井火灾的特别报告
（1940 年 6 月 7 日） ..... - 319 -
140.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于调查Н·С·安加尔斯基—科列斯托夫案件的特别报告附审讯笔录
（1940 年 6 月 29 日） ..... - 320 -
被捕的尼古拉·谢苗诺维奇·安加尔斯基—科列斯托夫的审讯笔录
（1940 年 6 月 26 日） ..... - 321 -
141.苏联内务人民委员部致И·В·斯大林的备忘录
（1940 年 7 月） ..... - 338 -
142.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕红军军人的特别报告
（1940 年 7 月 20 日） ..... - 340 -
143.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附关于撤销联共（布）中央和苏联人民委员会“关于从与立陶宛接壤的白俄罗斯苏维埃社会主义共和国地区遣散立陶宛人”决定的建议
（1940 年 7 月 26 日） ..... - 342 -
144.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部尤日斯基战俘营的特别报告
（1940 年 7 月 29 日） ..... - 343 -
145.给И·В·斯大林的《真理报》编辑部文章《国际间谍的死亡》的修改稿
1940 年 8 月 16 日 ..... - 344 -
国际间谍的死亡 ..... - 344 -
146.弹药人民委员部给И·В·斯大林关于火药厂事故调查的信
（1940 年 10 月 9 日） ..... - 347 -
147.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于弹药人民委员部领导人“破坏”工作的特别报告
（1940 年 10 月 23 日） ..... - 349 -
148.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于波兰和捷克战俘的特别报告
（1940 年 11 月 2 日） ..... - 351 -
149.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于逮捕在利沃夫的恐怖分子的特别报告
（1940 年 11 月 19 日） ..... - 354 -
150.联共（布）中央政治局“关于追究叛国者及其家属责任”的决议附Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告
（1940 年 12 月 7 日） ..... - 355 -
关于追究叛国者及其家属责任
联共（布）中央委员会和苏联人民委员会决议
（1940 年 12 月 4 日） ..... - 356 -

苏联最高苏维埃主席团令
关于国事犯罪的补充规定 - 357 -
苏联内务人民委员部关于将逃亡或叛逃出国的叛国者的家庭成员流放至苏联北部偏远地区规定的实施细则- 357 -
151.В·Н·梅尔库洛夫和Б·З·科布罗夫致И·В·斯大林关于调查火药厂大火原因的特别报告
（1940 年 12 月 10 日） - 359 -
152.В·Н·梅尔库洛夫和Б·З·科布罗夫致И·В·斯大林关于检查弹药人民委员部机构的特别报告附А·Ф·西多拉和Б·А·叶夫列莫夫的审讯笔录
（1940 年 12 月 10 日） - 362 -
被逮捕的亚历山大·费多谢维奇·西多拉的审讯笔录
（1940 年 11 月 29 日） - 364 -
被捕的鲍里斯·亚历山德罗维奇·叶夫列莫夫的审讯笔录
（1940 年 12 月 6 日） - 369 -
153.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致斯大林关于М·А·肖洛霍夫的信的特别报告
（1940 年 12 月 20 日） - 377 -
1941 年
154.В·Н·梅尔库洛夫和Б·З·科布罗夫致И·В·斯大林关于绍斯特卡火药厂“反苏”集团的特别报告附Л·П·伊万诺夫的审讯笔录
（1941 年 1 月 17 日） - 380 -
Л·П·伊万诺夫的审讯笔录（1940 年 12 月 30 日） - 381 -
Г·Е·科尔辛的审讯笔录（1940 年 12 月 26 日） - 381 -
В·М·阿尼克耶夫的审讯笔录（1940 年 12 月 29 日） - 381 -
155.苏联内务人民委员部致联共（布）中央书记斯大林和苏联人民委员会主席莫洛托夫附转发的特工情报的备忘录
（1941 年 1 月 21 日） - 387 -
特工情报 - 387 -
156.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附联共（布）中央关于拆分苏联内务人民委员部为两个人民委员部的决议草案
（1941 年 2 月 3 日） - 388 -
苏联最高苏维埃主席团令
关于拆分苏联内务人民委员部 - 388 -
157.Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫、В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于确认联共（布）中央政治局对国家安全人民委员部任命的特别报告
（1941 年 2 月 6 日） - 390 -
158.苏联国家安全人民委员部致斯大林、莫洛托夫、米高扬的特别报告
（1941 年 2 月 8 日） - 396 -
由国家安全人民委员部第 5 处第 1 科茹拉夫廖夫同志整理
基于“斯捷潘诺夫”根据“科西嘉人”的资料的消息
来自柏林的消息 - 396 -
159.Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫、В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于确认联共（布）中央政治局对国家安全人民委员部领导任命的特别报告
（1941 年 2 月 8 日） - 398 -
160.国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥、Л·П·贝利亚的备忘录附转发的特工情报

（1941 年 3 月 6 日）..... - 400 -
由国家安全人民委员部第一局茹拉夫廖夫同志整理
来自柏林“科西嘉人”的特工情报..... - 400 -
161.国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚的报告附转发的特工情报
（1941 年 3 月 14 日）..... - 401 -
由国家安全人民委员部第一局第一处第一科雷步金同志
基于“科西嘉人”1941 年 3 月 9 日的消息整理
来自柏林的消息..... - 401 -
162.红军总参谋部侦查局局长戈利科夫中将给国防人民委员部、苏联人民委员会和联共（布）中央的报告“德国军队针对苏联的军事行动的言论、[组织工作]和计划”
（1941 年 3 月 20 日）..... - 403 -
163.国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥、Л·П·贝利亚的报告附转发的特工情报
（1941 年 3 月 27 日）..... - 408 -
由国家安全人民委员部第一局第一处第一科雷步金同志
基于“科西嘉人”1941 年 3 月 24 日的消息整理
来自柏林“科西嘉人”的消息..... - 408 -
164.Н·С·赫鲁晓夫和И·В·斯大林就同罗马尼亚接壤的边境地区的不安状况来往的密电
（1941 年 4 月 2 日）..... - 409 -
165.来自英国首相丘吉尔给И·В·斯大林的信的内容
（1941 年 4 月 3 日）..... - 411 -
166.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于 Ж·К·巴赫案的特别报告附审讯笔录
（1941 年 4 月 7 日）..... - 412 -
审讯笔录
扎尼斯·卡尔洛维奇·巴赫
（1941 年 3 月 27 日）..... - 413 -
167.苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥和Л·П·贝利亚附发送自柏林的特工情报的备忘录
（1941 年 4 月 24 日）..... - 428 -
由国家安全人民委员部第一处第一科雷步金同志
基于“准尉”1941 年 4 月 17 日的消息整理
来自柏林的消息..... - 428 -
168.苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥和Л·П·贝利亚附发送自柏林的特工情报的备忘录
（1941 年 4 月 30 日）..... - 430 -
苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和С·К·铁木辛哥的备忘录
（1941 年 4 月下旬）..... - 430 -
169.苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和С·К·铁木辛哥附发送自柏林的特工情报的备忘录
（1941 年 5 月 1 日）..... - 432 -
基于“法兰克福人”1941 年 4 月 28 日第 141 号
来自柏林的消息..... - 432 -

170.苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥和Л·П·贝利亚附发送自柏林的特工情报的备忘录
（1941 年 5 月 5 日）..... - 434 -
来自柏林的消息..... - 434 -
171.苏联国家安全人民委员部致联共（布）中央И·В·斯大林、苏联人民委员会В·М·莫洛托夫和苏联内务人民委员部Л·П·贝利亚的备忘录随附转发的英国驻苏联大使С·克里普斯的电报
（1941 年 5 月 5 日）..... - 436 -
基于来自伦敦第 2950 和 2965 号的消息
日期为 1941 年 4 月 30 日..... - 436 -
172.苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和Л·П·贝利亚附发送自华沙的特工情报的备忘录
（1941 年 5 月 5 日）..... - 438 -
基于 1941 年 5 月 1 日来自柏林的 148 号电，
其内容根据来自华沙的伊万同志提供的信息获得
来自华沙的消息..... - 438 -
173.红军侦查局“关于 1941 年 5 月 5 日德军在东部和东南部的集结”的特别报告
（1941 年 5 月 5 日）..... - 440 -
174.红军总参谋部侦查局“关于 1941 年 5 月 15 日各战区和战线军事行动中军队部署情况”的特别报告
（1941 年 5 月 15 日）..... - 443 -
175.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于И·Ф·萨克利耶尔的特别报告附审讯笔录
（1941 年 5 月 15 日）..... - 446 -
速记
伊万·费里莫诺维奇·萨克利耶尔的审讯笔录
1941 年 5 月 11 日..... - 446 -
176.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林的特别报告附联共（布）中央和苏联人民委员会关于在立陶宛苏维埃社会主义共和国采取措施清除反苏分子、刑事犯罪分子和社会危险分子的决议草案
（1941 年 5 月 16 日）..... - 460 -
联共（布）中央和苏联人民委员会决议
“关于在立陶宛苏维埃社会主义共和国采取措施清除反苏分子、刑事犯罪分子和社会危险分子”..... - 460 -
177.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于逮捕和驱逐波罗的海沿岸加盟共和国“反苏”分子行动总结的特别报告
（1941 年 5 月 17 日）..... - 463 -
178.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林的特别报告附在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州抓捕“反革命分子”措施的决议草案
（1941 年 5 月 24 日）..... - 466 -
联共（布）中央委员会、苏联人民委员会决议
关于在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州抓捕反革命分子
草案..... - 466 -
179.苏联国家安全人民委员致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和Л·П·贝利亚关于德国对苏战争计划的备忘录，附通过特工途径获取的访谈内容
（1941 年 5 月 25 日）..... - 468 -
180.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部边防部队抓获德国情报机构特工的特别报告
（1941 年 5 月 29 日）..... - 471 -

181.B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林的特别报告附联共（布）中央委员会和苏联人民委员会关于苏联国家安全人民委员部新局构成安排的决议草案
（1941 年 5 月 29 日）..... - 473 -
联共（布）中央委员会、苏联人民委员会决议
“关于改变苏联国家安全人民委员部架构”
草案..... - 473 -
182.红军总参谋部侦查局关于至 1941 年 6 月 1 日德国部队集结的特别报告
（1941 年 5 月 31 日）..... - 476 -
至 1941 年 6 月 1 日德国部队集结状况..... - 476 -
183.红军总参谋部侦查局“关于罗马尼亚准备战争”的特别报告
（1941 年 6 月 5 日）..... - 478 -
184.红军总参谋部侦查局“关于罗马尼亚军事准备”的特别报告
（1941 年 6 月 7 日）..... - 480 -
185.苏联国家安全人民委员部致И·B·斯大林、B·M·莫洛托夫和Л·П·贝利亚的特别报告
（1941 年 6 月 12 日）..... - 481 -
基于 1941 年 6 月 11 日来自柏林的第 4115 号消息
来自柏林的消息..... - 481 -
186.苏联国家安全人民委员部致И·B·斯大林、B·M·莫洛托夫的特别报告
（1941 年 6 月 17 日）..... - 482 -
来自柏林的消息..... - 482 -
187.B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于德国军事准备的特别报告
（1941 年 6 月 17 日）..... - 484 -
基于“准尉”和“科西嘉人”1941 年 6 月 16 日的 4261 和 4262 号消息
来自柏林的消息..... - 484 -
188.B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于在白俄罗斯西部诸州逮捕和驱逐“反苏”分子的行动总结的特别报告
（1941 年 6 月 21 日）..... - 486 -
189.Л·П·贝利亚致И·B·斯大林关于特种技术局专家参与研制"103-У"飞机的特别报告
（1941 年 7 月 16 日）..... - 489 -
名单
在“103”型飞机研制中表现突出的被囚禁的特种技术局专家..... - 489 -
190.Л·П·贝利亚致И·B·斯大林的特别报告附П·H·库巴特金和M·И·茹拉夫廖夫关于德国空袭莫斯科后果的特别报告
（1941 年 7 月 22 日）..... - 491 -
191.Л·П·贝利亚致И·B·斯大林关于德国空袭莫斯科结果的统计数据的报告附M·И·茹拉夫廖夫的备忘录
（1941 年 7 月 22 日）..... - 495 -
192.B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于从敌人飞机上投下的传单的特别报告
（1941 年 7 月 22 日）..... - 497 -
193.Г·A·博尔科夫致И·B·斯大林关于疏散领导人家属的密电
（1941 年 7 月 24 日）..... - 499 -
194.Л·П·贝利亚致И·B·斯大林关于内务人民委员部结构的特别报告
（1941 年 7 月 30 日）..... - 502 -
195.Л·П·贝利亚致И·B·斯大林关于逮捕两名德国伞兵的特别报告
（1941 年 8 月 2 日）..... - 507 -

196.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于组织莫斯科市最重要的企业安保的特别报告
（1941 年 8 月 21 日）..... - 510 -
197.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附苏联人民委员会和联共（布）中央关于从伏尔加沿岸德意志人共和国、萨拉托夫州和斯大林格勒州搬迁德意志人规则的草案
（1941 年 8 月 25 日）..... - 512 -
198.П·М·菲京致И·В·斯大林关于内务人民委员部情报局收到的А·艾登同波兰大使在伦敦谈话记录的特别报告
（1941 年 8 月 28 日）..... - 515 -
199.П·М·菲京致И·В·斯大林关于英国针对高加索石油资源计划的特别报告
（1941 年 9 月 22 日）..... - 517 -
200.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于扩大特别会议权力的特别报告
（1941 年 11 月 15 日）..... - 519 -
201.П·М·菲京致И·В·斯大林关于发给日本驻柏林大使馆电报内容的特别报告
（1941 年 12 月 10 日）..... - 524 -
202.П·М·菲京致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、В·Н·梅尔库洛夫关于英国驻苏联大使克里普斯给英国外交部密电内容的特别报告
（1941 年 12 月 14 日）..... - 525 -
1942 年
203.Л·П·贝利亚、А·С·谢尔巴科夫、В·П·普罗宁致И·В·斯大林关于疏散人口返回莫斯科的报告备忘录
（1942 年 1 月 8 日）..... - 529 -
204.П·М·菲京致И·В·斯大林关于У·丘吉尔和Ф·罗斯福会谈的特别报告
（1942 年 1 月 25 日）..... - 531 -
205.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于苏联内务人民委员部机构在敌后活动的特别报告
（1942 年 2 月 13 日）..... - 535 -
206.П·М·菲京致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国外交部秘密备忘录的特别报告
（1942 年 2 月 20 日）..... - 541 -
207.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于出于军事目的使用铀原子能的特别报告
（1942 年 3 月 1 日）..... - 544 -
208.П·М·菲京致И·В·斯大林关于从英国消息源处收到的信息的特别报告
（1942 年 3 月 14 日）..... - 547 -
209.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于运动员中“亲法西斯”情绪的特别报告
（1942 年 3 月 19 日）..... - 549 -
210.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于拘捕德国破坏分子的特别报告
（1942 年 4 月 25 日）..... - 552 -
211.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕“反革命”集团领导人М·П·姆加尔的特别报告
（1942 年 4 月 28 日）..... - 554 -
212.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于游击支队在斯摩棱斯克和奥廖尔州暂时被敌人占领的区域活动的特别报告
（1942 年 5 月 10 日）..... - 557 -
213.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于释放被囚专家的特别报告
（1942 年 6 月 16 日）..... - 560 -
214.Б·А·德文斯基致И·В·斯大林关于从罗斯托夫州驱逐祖国叛徒家属的密电
（1942 年 6 月 16 日）..... - 562 -

215.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于镇压祖国叛徒家庭成员的特别报告
（1942 年 6 月 18 日）..... - 563 -
216.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被敌军包围的沃尔霍夫方面军第 2 突击集团军司令部的特别报告
（1942 年 7 月 21 日）..... - 565 -
217.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于斯大林格勒形势的特别报告
（1942 年 9 月 23 日）..... - 567 -
218.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附关于战后欧洲安排和波兰角色的情报
（1942 年 12 月 23 日）..... - 569 -
1943 年
219.В·М·莫洛托夫和А·И·米高扬致И·В·斯大林关于在乌兹别克斯坦组建三人小组的报告
（1943 年 3 月 12 日）..... - 574 -
220.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林提交给联共（布）中央关于在解放区消灭间谍、破坏分子和德国人帮凶的备忘录
（1943 年 3 月 19 日）..... - 576 -
221.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于戴维斯抵达的特别报告
（1943 年 5 月 19 日）..... - 588 -
222.Л·П·贝利亚、В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于特别会议组成人员的特别报告
（1943 年 5 月 20 日）..... - 590 -
223.А·С·谢尔巴科夫呈送给И·В·斯大林的关于第 7 独立集团军特务处工作的报告
（1943 年 5 月 22 日）..... - 591 -
224.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被囚禁专家工作的特别报告
（1943 年 8 月 9 日）..... - 599 -
225.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于从伦敦和纽约收到的特工情报的特别报告
（1943 年 11 月 1 日）..... - 606 -
226.В·С·阿巴库莫夫致И·В·斯大林关于指战员们对新苏联国歌反应的特别报告
（1943 年 12 月 23 日）..... - 607 -
227.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕同德国占领军合作者的特别报告
（1943 年 12 月 28 日）..... - 617 -
1944 年
228.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于开展对卡尔梅克族人员进行重新安置行动的特别报告
（1944 年 1 月 3 日）..... - 619 -
229.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于“清理”从敌人手中解放出来的领土的特别报告
（1944 年 1 月 8 日）..... - 620 -
230.В·С·阿巴库莫夫致И·В·斯大林关于波兰家乡军的特别报告
（1944 年 2 月 1 日）..... - 624 -
231.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于组建第 1 罗马尼亚步兵师的特别报告
（1944 年 2 月 7 日）..... - 628 -
232.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于驱逐车臣人和印古什人准备的电报
（1944 年 2 月 17 日）..... - 629 -
233.知名医学工作者致И·В·斯大林请求释放Л·А·济利别尔教授的信的摘录
（1944 年 3 月 1 日）..... - 631 -
234.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于德国伞兵特工的特别报告附综合报告

（1944 年 3 月 17 日）..... - 632 -
235.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国和美国政府对待法国民政机构问题的态度的特别报告
（1944 年 4 月 12 日）..... - 636 -
236.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于在索菲亚—布达佩斯、索菲亚—维也纳等德国通信线路上拦截和解密通信的特别报告
（1944 年 4 月 18 日）..... - 638 -
237.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·米高扬关于斯维尔德洛夫斯克州粮食状况的特别报告
（1944 年 4 月 21 日）..... - 641 -
238.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于契卡行动小组在克里米亚苏维埃社会主义自治共和国“清理”“反苏”分子的特别报告
（1944 年 5 月 1 日）..... - 643 -
239.普罗托波波夫致И·В·斯大林、Г·М·马林科夫关于塔吉克斯坦的“资产阶级—民族主义集团”的密电
（1944 年 5 月 17 日）..... - 646 -
240.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被俘的罗马尼亚将军对罗马尼亚前国王的态度的特别报告
（1944 年 5 月 24 日）..... - 647 -
241.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于驱逐克里米亚境内保加尔人、希腊人和亚美尼亚人合理性的特别报告
（1944 年 5 月 29 日）..... - 651 -
242.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于在哈萨克苏维埃社会主义共和国扣留德国伞兵特工的特别报告
（1944 年 6 月 1 日）..... - 653 -
243.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于从克里米亚驱逐特殊定居者的特别报告
（1944 年 7 月 4 日）..... - 655 -
244.В·Н·梅尔库洛夫、沙塔林、费多谢耶夫致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克形势的特别报告
（1944 年 7 月 4 日）..... - 657 -
245.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于“反苏”教派组织的特别报告
（1944 年 7 月 7 日）..... - 662 -
246.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于苏联内务人民委员部后方保卫部队行动的特别报告
（1944 年 7 月 11 日）..... - 664 -
247.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于消灭德国伞兵和空降兵小组的特别报告
（1944 年 7 月 15 日）..... - 668 -
248.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于指战员对地方居民进行骚扰和抢劫的特别报告
（1944 年 7 月 20 日）..... - 669 -
249.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·安东诺夫关于逮捕逃兵和逃避服红军兵役者的特别报告
（1944 年 7 月 27 日）..... - 671 -
250.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于扣留德国伞兵的特别报告
（1944 年 8 月 2 日）..... - 672 -

251.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·安东诺夫关于解除波兰家乡军士兵和军官武装的行动的结果的特别报告
（1944 年 8 月 3 日）..... - 674 -
252.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·安东诺夫关于在卡巴尔达苏维埃社会主义自治共和国捕获德国伞兵的特别报告
（1944 年 8 月 4 日）..... - 678 -
253.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于为消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）军事组织开展契卡—军事行动的特别报告
（1944 年 8 月 5 日）..... - 680 -
254.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于迁移祖国叛徒家属的特别报告
（1944 年 8 月 18 日）..... - 682 -
255.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于在乌克兰苏维埃社会主义共和国境内消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）武装团伙措施的特别报告
（1944 年 8 月 19 日）..... - 683 -
256.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于在青少年中拘留德国伞兵—破坏分子的特别报告
（1944 年 9 月 27 日）..... - 684 -
257.В·С·阿巴库莫夫致И·В·斯大林关于А·П·铁木辛哥的特别报告附审讯笔录
（1944 年 10 月 5 日）..... - 685 -
258.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于加强波兰反间谍机构的特别报告
（1944 年 10 月 17 日）..... - 695 -
259.В·С·阿巴库莫夫致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于英国情报机构“特工”П·М·古谢夫的特别报告附审讯笔录
（1944 年 10 月 18 日）..... - 699 -
260.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于向比亚韦斯托克派遣В·С·阿巴库莫夫、Л·Ф·察纳瓦和克里文科的特别报告
（1944 年 10 月 29 日）..... - 706 -
261.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫的特别报告附В·С·阿巴库莫夫和Л·Ф·察纳瓦关于同家乡军斗争的报告备忘录
（1944 年 11 月 9 日）..... - 707 -
262.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于非法解除红军兵役的事实的特别报告
（1944 年 11 月 18 日）..... - 712 -
263.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部关于消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）武装团伙行动结果的报告
（1944 年 11 月 29 日）..... - 714 -
264.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于匈牙利情报部门活动的特别报告
（1944 年 12 月 1 日）..... - 717 -
265.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附乌克兰、白俄罗斯、立陶宛苏维埃社会主义共和国关于剿灭武装团伙行动的汇总报告
（1944 年 12 月 5 日）..... - 719 -
266.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于同白俄罗斯苏维埃社会主义共和国“反苏”秘密组织斗争的特别报告
（1944 年 12 月 12 日）..... - 722 -

267.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林的特别报告附身处内务人民委员部的波兰人的证明
（1944 年 12 月 15 日）..... - 725 -
268.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫的特别报告附И·А·谢罗夫关于犹太人组织在卢布林活动的报告
（1944 年 12 月 15 日）..... - 729 -

1945 年

269.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于接待苏联公民的检查和筛选点工作的特别报告
（1945 年 1 月 2 日）..... - 732 -
270.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于“清理”拉脱维亚解放区结果的特别报告
（1945 年 1 月 26 日）..... - 734 -
271.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于南斯拉夫将军对雅科夫·朱加什维利见证的特别报告
（1945 年 3 月 5 日）..... - 739 -
272.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于“清理”白俄罗斯第 1、第 2 方面军后方的特别报告
（1945 年 3 月 12 日）..... - 741 -
273.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于截至 1944 年消灭土匪团伙工作结果的特别报告
（1945 年 3 月 14 日）..... - 744 -
274.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于罗马尼亚地下组织活动的特别报告
（1945 年 3 月 15 日）..... - 747 -
275.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于红军指战员不端行为的特别报告
（1945 年 3 月 17 日）..... - 750 -
276.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于准备逮捕波兰政党领导人措施的特别报告
（1945 年 3 月 22 日）..... - 753 -
277.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于从武装组织手中“清理”立陶宛苏维埃社会主义共和国领土的特别报告
（1945 年 4 月 12 日）..... - 756 -
278.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于“清理”红军作战部队后方的特别报告
（1945 年 4 月 17 日）..... - 759 -
279.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于苏联国家安全人民委员部第 4 局管理的特别报告
（1945 年 5 月 7 日）..... - 761 -
280.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附Я·И·扬科夫斯基和Л·Б·奥库利茨基的审讯笔录
（1945 年 5 月 11 日）..... - 762 -
281.Л·П·贝利亚、В·Н·梅尔库洛夫、А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于奥库利茨基和其他人等案件起诉书草案的备忘录
（1945 年 5 月 15 日）..... - 769 -
282.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于奥库利茨基案进展的特别报告
（1945 年 5 月 31 日）..... - 770 -
283.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于在红军部队中重组苏联内务人民委员部全权代表机构的特别报告
（1945 年 6 月 22 日）..... - 772 -
284.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于日本情报活动的特别报告
（1945 年 7 月 5 日）..... - 774 -
285.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国外交部电报内容的特别报告

（1945 年 7 月 5 日）..... - 776 -
286.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国外交部与英国驻华盛顿大使的通信内容的特别报告
（1945 年 7 月 18 日）..... - 780 -
287.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于立陶宛苏维埃社会主义共和国党和苏维埃机关工作失灵的特别报告
（1945 年 7 月 19 日）..... - 783 -
288.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于逮捕被动员到工业企业的德意志人团伙的特别报告
（1945 年 8 月 7 日）..... - 789 -
289.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于安排护卫贝鲁特、哥穆尔卡和奥索布卡—莫拉夫斯基的特别报告
（1945 年 8 月 11 日）..... - 790 -
290.К·В·罗扎耶夫斯基给И·В·斯大林的信
（1945 年 8 月 22 日）..... - 791 -
291.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于苏联内务人民委员部全权代表的特别报告
（1945 年 8 月 30 日）..... - 803 -
292.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于为柏林盟军管制委员会会议修缮房屋的特别报告
（1945 年 9 月 2 日）..... - 805 -
293.В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于从伦敦收到的特工情报的特别报告
（1945 年 9 月 7 日）..... - 806 -
294.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于在白俄罗斯西部各州打击地下武装进展的特别报告
（1945 年 9 月 17 日）..... - 809 -
295.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于在波兰境内打击武装支队进展的特别报告
（1945 年 9 月 17 日）..... - 812 -
296.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于检查А·Я·维辛斯基电话设备结果的特别报告
（1945 年 9 月 28 日）..... - 814 -
297.Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于将地下武装支队领导人家属驱逐出立陶宛苏维埃社会主义共和国的特别报告
（1945 年 9 月 29 日）..... - 815 -
298.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于关于因战争结束限制特别会议的权力的特别报告附联共（布）中央决议
（1945 年 10 月 1 日）..... - 816 -
299.Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于身处苏联内务人民委员部囚禁场所的波兰公民的特别报告
（1945 年 10 月 12 日）..... - 817 -
300.Л·П·贝利亚和Г·М·马林科夫致И·В·斯大林关于国家安全人民委员部领导候选人的密电
（1945 年 10 月 31 日）..... - 818 -
301.Б·З·科布罗夫给И·В·斯大林的信
（1945 年 12 月 1 日）..... - 819 -
302.С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于文学与出版事务总局外事处所在地火灾和石油供应总公司基地爆炸的特别报告
（1945 年 12 月 24 日）..... - 820 -
1946 年

303.В·Н·梅尔库洛夫和С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫关于立陶宛地下活动增加的特别报告
（1946 年 1 月 10 日）..... - 822 -
304.С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林关于内务人民委员部行动小组在德国境内工作的特别报告
（1946 年 1 月 31 日）..... - 826 -
305.С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫关于德国英占区特别营地的特别报告
（1946 年 2 月 13 日）..... - 827 -
306.С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫关于在乌克兰、白俄罗斯和波罗的海各共和国同地下武装斗争结果的特别报告
（1946 年 3 月 11 日）..... - 830 -
307.Н·С·赫鲁晓夫致И·В·斯大林关于在乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州同“乌克兰—德意志民族主义者”斗争的报告备忘录
1950 年
308.苏联外交部长А·Я·维辛斯基致联共（布）中央总书记、苏联部长会议主席И·В·斯大林的备忘录
（1950 年 3 月 16 日）..... - 845 -
1953 年
309.И·Г·爱伦堡致斯大林的信
（不晚于 1953 年 1 月 29 日）..... - 846 -
人名索引..... - 848 -

1922 年

1

В·И·列宁致И·В·斯大林的信

（1922 年 7 月 16 日）

斯大林同志：

关于将孟什维克分子、人民社会党人、立宪民主党人等从俄罗斯驱逐的问题，鉴于该行动是在我休假前就已经开始但至今尚未结束，我想在此提几个问题。

已经决定了要“彻底铲除”劳动人民社会主义党人吗？有没有决定要驱逐佩舍霍诺夫、米雅柯金、戈恩菲尔德？还有彼得里谢夫和其他人等？在我看来，应当把所有这些人都驱逐出境，这些人比任何社会革命党人都更加具有危害性，也更加狡猾。

同样的，还应当驱逐A·H·波特列索夫、伊兹戈耶夫和所有《经济学家》杂志的工作人员（奥泽洛夫以及许多，许多其他的人）。孟什维克分子：罗扎诺夫（医生，狡猾的人），维格多尔奇克（米谷洛和其他这一类的人），柳波芙·尼古拉耶芙娜·拉德琴科和她的小女儿（有传言说她们是布尔什维主义最大的敌人）H·A·罗日科夫（他必须被驱逐，他简直不可救药）；C·Л·弗兰克（《方法论》的作者）。委员会应当在曼采夫、梅辛的监督下尽快拟出一份名单，并且应当无情地将数百名这样的先生们驱逐出境，我们要长久地净化俄罗斯。

认真考虑一下列日涅夫（以前《时代》杂志的），认真地想一想：难道他不该被驱逐吗？通过阅读他的大量文章，我有足够的理由断定他永远是最阴险的人。

奥泽洛夫，跟所有《经济学家》杂志的工作人员一样，是最凶残的敌人，所有这些人——都要滚出俄罗斯。

所有的这些要立刻着手执行，不得晚于将所有社会革命党人驱逐出境之前完成。逮捕几百人但不要对他们宣布动机——滚吧，先生们！

驱逐所有“文学家之家”、彼得堡《观点》杂志的作家，仔细搜查哈尔科夫，我们不了解那里，那里对我们而言就好像是“国外”，清理行动必须尽快，不得晚于将所有社会革命党人驱逐出境之前完成。

注意彼得堡的作家们（地址在《新俄国图书》第四号，1922 年版第 37 页）和私人出版社

的清单（在第 29 页）。

致共产主义的敬礼！

——В • И • 列宁

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.2.Оп.2.Д.1338.Л.1.

出版信息：《共青团真理报》1992 年 2 月 12 日；《В • И • 列宁：未公开的文件（1891–1922）》，莫斯科 1999 年版，第 544–545 页。

2

И·В·斯大林关于《前夜》编辑部成员组成的建议

第 25 号政治局会议记录附件

1922 年 9 月 7 日

斯大林同志对《前夜》问题的建议

中央从政治上考虑到失去克留奇科夫和波杰欣对《前夜》的损失，即便如此，鉴于克列斯廷斯基同志在信中指出让他们重返《前夜》编辑部障碍重重。政治局不再坚持它的决定，并维持现状不做改变。同时，政治局建议克列斯廷斯基同志采取一切措施，以确保中央以后不会再次面对《前夜》编辑部组成发生剧烈调整的情况。

经斯大林确认。戈里亚希尔

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.311.Л.18.经过确认的机打副本。

出版信息：《在革命的磨盘上：后革命年代夹在白俄罗斯和红俄罗斯之间的俄罗斯知识分子》文件和材料集，莫斯科“俄罗斯全景”出版社 2008 年版。

3

国家政治保卫局致И·В·斯大林的

关于禁止苏联驻外机构聘用流亡知识分子工作的报告

（1922 年 12 月 4 日）

致俄共（布）书记斯大林同志

作为我们第 250332 号信件揭露的一些人民委员部和中央国家机关向被国家政治保卫局处以国内行政流放的人员和流放到海外的反苏分子发放授权书的情况的补充，在此我们再向您通报被处以流放俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国境外的孟什维克分子被我方任命为海外贸易代表的情况：

（1）莫斯科市苏维埃外贸部门负责人别尔达津（非党员）在莫斯科市苏维埃副主席М·И·罗戈夫知情的情况下任命被驱逐的孟什维克中央委员尤戈夫—弗鲁姆松为莫斯科外贸公司驻德国的贸易代表。

（2）最高国民经济委员会中央贸易处管理委员会任命一位被判处流放，但尚未出境的孟什维克活跃分子Б·И·博格丹诺夫担任其驻德国的贸易代表，而为了获取签证，管委会直接向德国驻莫斯科的大使馆申请加急签证。

所有这些任命和请求都是在这些机构负责的共产党人知情的情况下进行的。为了防止在将来再出现类似现象，国家政治保卫局请求您作出适当的指示：1）禁止在苏维埃机构中招募被处以行政流放海外处罚的人员工作。2）禁止苏维埃的机构同驻俄外国使团直接联系。3）对于默许此类现象发生的党员同志处以党纪处分。

随附中央贸易处同德国大使馆联系内容的副本。

国家政治保卫局副主席温施利赫特

国家政治保卫局书记处处长助理杰里巴斯

秘书卡卢金

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.174.Л.6–7.

4

В·И·列宁就俄共中央政治局关于罗日科夫的决定致И·В·斯大林的抗议信

（1922 年 12 月 8 日）

斯大林同志：

我对昨天达成的关于罗日科夫的决议的合法性表示怀疑，因为：

首先，这份决议违反常理和党章的要求，一直到中午 12 点才被列入议程。

其次，相关文件没有事先通报给中央委员会的成员们。

第三，这个问题在经过了两次讨论后，已经没有任何理由成为紧要问题，更何况我还参加了会议的前半部分，而这个问题，偏巧在我不得不离开之后才被政治局讨论。因此，我坚持要把这个问题提交全会，何况全会距离现在只有一个星期了。

列宁

等你电话。

1922 年 12 月 8 日

M.B.

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.2.Оп.1.Д.23515.Л.1-1(об).

5

国家政治保卫局副主席И·С·温施利赫特致政治局书记И·В·斯大林和Л·Д·托洛茨基关于开展虚假信息工作必要性的报告

（1922 年 12 月 22 日）

反间谍处

绝密

第 26723 号

随着我们共和国的局势向和平方向发展以及边界对外国人重新开放，资产阶级国家的情报机构将利用这些机会加强他们自身的工作。战争期间敌方情报部门对我们红军的部署和动向有多感兴趣，现在他们就对我们的工业状况、我们党和苏维埃政治工作的情报以及外交人民委员部的工作等有多感兴趣。

对当前正在休养生息时期的共和国而言，在与资本主义国家进行外交谈判期间扰乱我们的反对者，让他们陷入误区是极其重要的。

为了组织系统的虚假信息工作，国家政治保卫局建议在其领导下建立一个特别局，该局的成员由对此工作最感兴趣的代表组成，这些代表将来自情报局、外交事务人民委员部和国家政治保卫局。

该局的职能包括：

1）评估国家政治保卫局、情报局和其它部门收到的关于外国情报机构对俄罗斯了解程度的信息；

2）评估敌人所感兴趣的情报的性质；

3）弄清敌人对我们的了解程度；

4）用技术手段制造大量的虚假情报和文件并将它们汇总，使对手对俄罗斯的内部局势、红军的组织状态、执政党和苏维埃国家机关的工作、外交事务人民委员部的工作等情况产生错误认知。

5）通过国家政治保卫局和情报局中合适的机构向敌人提供上述材料和文件。

6）为定期出版物杜撰一系列的文章和短讯，目的是为这些虚假材料进入到传播环节铺平

道路。

国家政治保卫局请求俄罗斯共产党中央政治局原则上同意开展虚假信息工作并组建该特别局。

国家政治保卫局副主席温施利赫特

反间谍处副处长皮利亚尔

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.2.Л.131–132.副本。出版信息：《卢比扬卡：斯大林和契卡–国家政治保卫局–国家政治保卫总局–内务人民委员部（1922 年 1 月–1936 年 12 月）》，莫斯科 2003 年版，第 72–73 页。

1923 年

6

国家政治保卫局副主席И·С·温施利赫特和国家政治保卫局反间谍处副处长P·А·皮利亚尔致俄罗斯共产党（布）中央委员会书记斯大林

关于M·М·李维诺夫在政治局《关于虚假信息工作》决议中增加内容建议的报告

（1923 年 1 月 17 日）

第 240608 号

绝密

从李维诺夫同志的信中可以看出，外交人民委员部同意我们对敌人开展系统性迷惑工作的必要性并且外交部自己就在进行迷惑敌人的工作。

至于李维诺夫同志关于在散布虚假情报工作方面与外交人民委员部成员之一协调一致的建议，显然是因为李维诺夫同志对相关情况毫不知情造成的，而根据俄罗斯共产党中央政治局所采纳的国家政治保卫局的建议，虚假信息工作局应该吸纳有实权的外交人民委员部代表。

国家政治保卫局副主席温施利赫特

国家政治保卫局反间谍处副处长皮利亚尔

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.2.Л.133.原稿。出版信息：《卢比扬卡：斯大林和契卡–国家政治保卫局–国家政治保卫总局–内务人民委员部（1922 年 1 月–1936 年 12 月）》，莫斯科 2003 年版，第 74 页。

7

外交人民委员部副人民委员M·M·李维诺夫致俄罗斯共产党（布）中央委员会书记И·В·斯大林关于在政治局《关于虚假信息工作》决议中加入与外交人民委员部协调虚假信息工作条款必要性的报告①

（1923 年 11 月 1 日）

第 26 号

致俄罗斯共产党中央委员会书记斯大林同志：

我收到了政治局 1 月 11 日第 43 号《关于虚假信息工作》的决议以及温施利赫特同志的提议。

我认为有必要指出，对于温施利赫特同志的建议，外交人民委员部一无所知，而且这个决议也没有明确到底会组建一个什么局以及这个局将隶属于谁管辖。现在只能猜测：这个决议正在谈论向外国政府主动提供虚假信息，并且这个局将隶属于国家政治保卫局。外交人民委员部意识到在某些情况下有必要散布误导性信息，因此经常使用此方法。但是，外交人民委员部绝对不会认为国家政治保卫局有资格决定何时以及以何种方式发布该类信息。特别是前几天，我刚命令所有驻外全权代表系统地驳斥外国媒体上出现的所有有关俄罗斯的虚假和可疑信息。可能会遇到这样的情况：这个新成立的局所散布的消息会马上被我们的驻外全权代表驳斥。但是，鉴于政治局的决议，外交人民委员部请求在该决议中增加新的条款，责成国家政治保卫局在事先没有与外交人民委员部成员之一协调一致的情况下不要采取任何步骤，也不要散布任何信息给公众。

副人民委员李维诺夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.2.Л.136.原稿。出版信息：《卢比扬卡：斯大林和契卡–国家政治保卫局–国家政治保卫总局–内务人民委员部（1922 年 1 月–1936 年 12 月）》，莫斯科 2003 年版，第 74 页。

注释：

①M·M·李维诺夫的声明于 1923 年 1 月 15 日被寄给政治局委员，并附有以下说明：“编号

№10060/c受斯大林同志委托向你们转发李维诺夫同志 1923 年 1 月 11 日针对第 26 号作出的紧急结论，请将结论连同材料一并退回。中央委员会书记助理纳萨雷提扬”。

1925 年

8

A·B·卢那察尔斯基关于出国考察致И·В·斯大林的信

（1925 年 4 月）

俄罗斯共产党中央委员会书记处

斯大林同志

亲爱的同志！

在这七年中，我从未出国旅行。最近，我开始感受到一些由于我与西欧文化生活的隔绝而给我带来的不便，这种不便远远不能被我得到的书籍和杂志所弥补。

职责所系，我有义务了解学校、高等教育机构、教师组织等机构的教学生活，以及发展科学、文学、音乐、美术等学科的一般方法。从熟悉这些行业一般观点的角度出发，我们需要想方设法多多少少地跟这些行业的从业人士面对面。同时，我在这方面已经无可救药地落伍了，在我看来，这种落伍通过我无数次的个人谈话以及在各界文化工作者代表大会正式讲话对我的权威产生了一定的损害，这是迫使我考虑为了这个目标（摆脱落伍状态——译注）必须进行出国考察的主要原因。

除此之外，还有其他任务。在几乎所有国家中，被称为“新俄罗斯之友”的团体正在组建起来，这里面主要包括了这些民族优秀知识分子的代表。我甚至在革命之前就熟识其中的一些人，与另一些人有着书信往来，而还有一些人则竭力表达了想与我相识的愿望。除了这些协会之外，目前同他们的联系还得到了以加米涅娃同志为主席的全俄中央执行委员会下设委员会的支持，我们收到了大量来自科研院所、学术团体、教师协会和艺术家协会以及其他机构的交流请求，他们希望同我们教育人民委员部或其它平级的机构建立更加牢固和正式的联系。我们主要通过个别被派往外国的教授来开展这种联系，但这种联系只是偶尔发生并且以个人的名义进行。毫无疑问，我对欧洲的出访将恢复这些联系，而且我将有更多的机会加强我们同欧洲文化生活的联系，同时也绝不会有失苏维埃国家的尊严。

有一个相对而言不重要但是毋庸置疑的事实是：在海外侨民中有大量的高级人才，他们一些人在世界范围内享有盛誉。比如说音乐家普罗科菲耶夫和斯特拉文斯基。这些人完全不敌视

我们。我收到了许多来信，这些信中表达了同我们以这种或那种方式建立联系的愿望。将他们与祖国隔绝开来是绝对不可取的。很有可能，他们当中的一些人完全乐意回到俄罗斯，而另一些人由于与国外联系太过紧密而不认为他们自己是侨民，仅仅认为自己是德国人、法国人等，这部分人想经常性地造访俄罗斯以同我们分享他们的成果。我没有任何将对我们怀有敌意的海外侨民请回祖国的愿望，不管他们是一般的侨民，还是侨民当中的杰出人士，但是恢复同由于误解和未知恐惧而与我们保持距离的杰出人士的联系当然是很好的。而我在这一方面的任务仅限于此。

教育人民委员

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.142.Оп.1.Д.460.Л.8-9.

出版信息：《在革命的磨盘上：后革命年代夹在白俄罗斯和红俄罗斯之间的俄罗斯知识分子，文件和材料集》，莫斯科 2008 年版。

1931 年

9

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 15 日）

加密

莫斯科，联共（布）中央委员会

波斯克列贝舍夫转卡冈诺维奇

在中央委员会致各州和边疆区委会关于国家政治保卫总局领导层变更的原因的信中，由于抄写员的疏忽出现了以下错误。信的第 4 段说：“国家政治保卫总局仍然是工人阶级的利剑，它能够准确而熟练地击溃敌人。”替代它的话应该是：“国家政治保卫局仍然是工人阶级的利剑，它能够准确而熟练地毁灭敌人。”我要求更正错误并向州委书记们报告这一更正。①

——斯大林

第 6 号/密

12 时

31 年 8 月 15 日②

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.76.Л.9,9об.

注释：

①1931 年 7 月 25 日，斯大林将国家政治保卫局的问题提交给政治局。以下人员被任命为国家政治保卫总局的副主席：阿库洛夫（第一）、雅戈达（第二）和巴利茨基（第三）。以下人员被任命为委员会成员：阿尔图佐夫、阿格拉诺夫和布拉托夫。梅辛被从国家政治保卫总局革职，奥尔斯基被革职，不再担任国家政治保卫总局特务处长（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）. Ф. 17. Оп. 162. Д. 10. Л. 127. ）。1931 年 8 月 5 日，政治局再次审议了国家政治保卫总局的一些问题：普罗科菲耶夫被任命为国家政治保卫总局特别部门负责人，别尔斯基被解除在国家政治保卫总局的职务，并被任命为内务人民委员部的负责人，耶夫多基莫

夫被任命为中亚国家政治保卫总局授权代表，梅德维德被留下担任列宁格勒的国家政治保卫总局授权代表等等。政治局请国家政治保卫总局向政治局提交一份关于国家政治保卫总局下属的现有经济组织（集中营除外）的报告，说明其财务平衡情况。由斯大林、卡冈诺维奇、奥尔忠尼启则、安德烈耶夫和门任斯基组成的委员会受命起草一份关于中央委员会关于改变国家政治保卫总局组成人员和将国家政治保卫总局的一些成员转到其他工作岗位的决议的评论。地区委员会、区域委员会和全国中央委员会的秘书被指示将这些变化报告给各州、边疆区和各共和国的国家政治保卫局积极分子的会议（同上，Оп.3.Д.840.Л.1,2.）。1931 年 8 月 6 日，政治局批准了由斯大林签署的致各民族共和国中央、州委会和边疆区委会委员会书记的信稿草案，其中要求他们作出如下澄清：梅辛、别尔斯基和叶夫多基莫夫“进行了完全不能容忍的反对国家政治保卫总局领导层的团伙斗争……在国家政治保卫总局工人中散布完全不真实和腐败的谣言，说军事部门的破坏案是‘吹’出来的”等等。该决议接着说：“中央委员会拒绝一切关于国家政治保卫总局机关‘内部软弱’和实际工作路线‘不正确’的谈话和流言蜚语，因为它们无疑是来自敌对阵营的谣言”。该信最后说：“中央委员会认为，国家政治保卫总局是并仍然是工人阶级的出鞘之剑，准确而巧妙地打败了敌人，诚实能干地履行了对苏维埃政权的责任”（同上，Д.841.Л.5,9.）。另见第 2、3、5 号文件。

②日期和编号由秘书输入。

10

Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1931 年 8 月 15 日）

绝密

加密发出

从莫斯科发出时间：1931 年 8 月 15 日 15 点 37 分

解密接收：1931 年 8 月 15 日 18 点

Вх.№7/ш.

致斯大林同志

缅仁斯基和阿库洛夫请求向国家政治保卫总局的积极分子作关于中央委员会决议的报告。委托二人当中的一位作这个报告是不是更好？请告知您的意见，委托谁作这个报告比较合适？①

卡冈诺维奇

18 点 50 分

1931 年 8 月 15 日

索契市

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.558Оп.11.Д.76.Л.10.原版为机打。

注释：

①见文件：《斯大林致卡冈诺维奇（1931 年 8 月 15 日）》和《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 23 日）》。

11

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 15 日）

莫斯科，联共（布）中央委员会

波斯克列贝舍夫转卡冈诺维奇

我坚持要执行中央委员会的决定，并由州党委书记担任国家政治保卫总局积极分子会议的发言人。该报告不能被视作是国家政治保卫总局的这一部分人对国家政治保卫总局的另一部分人的镇压，这是十分必要的。国家政治保卫局所有工作人员的团结和凝聚力的利益要求我们做到这一点。

——斯大林

第 7 号/密

23 时 45 分

31 年 8 月 15 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.76.Л.10,10об.亲笔签名。

注释：

见：《斯大林致卡冈诺维奇（1931 年 8 月 15 日）》《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 15 日）》《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 23 日）》。

日期和编号由秘书录入。

12

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 17 日）

你好，卡冈诺维奇同志！

1）现将附有我批注和修改的中央关于公共服务决议的草案的正文退给你。①

2）中央关于合作社的决议草案我没有收到。②

3）建议你们讨论西尔佐夫同志关于森林的报告，这里面可能有一些健康因素。③

4）建议将拉米什维利出国（移民）的问题推迟到秋天，直到政治局委员们休假归来后再讨论。

5）古比雪夫同志的笔记和他的整个举止给人留下了沉重的印象。看起来他正在逃避工作。另一方面，奥尔忠尼启则同志仍然有不当行为。后者不知道这样一个事实，他的行为（同古比雪夫同志和莫洛托夫同志的尖锐对立），客观上导致了我们的领导集体的瓦解——而这个领导集体是在与各种机会主义作斗争的过程中成长起来的——现在却有被毁坏的危险。他难道不明白，在这条路上他不会从我们这边得到任何支持吗？他在胡作非为些什么！④

6）现在我很清楚，卡尔特韦利什维利和格鲁吉亚党中央书记处凭借冒失的“粮食征购政策”使许多格鲁吉亚的西部地区陷入饥饿。他们不明白，乌克兰的谷物采购方法在产粮区是必要和合理的，而在没有任何工业无产阶级的非产粮区则是不合理且有害的。数百人被捕，其中包括明显同情那些不满的人并且不同意格鲁吉亚中央委员会的“政策”的党员。但是抓人并不能使该政策走得更长远。必须立即增加（马上！）粮食的供应，不要拖延。不这样的话，尽管我们的国家已经解决了粮食问题，但我们仍可能发生粮食骚乱。收到这封信后，立即让政治局责成米高扬增加对格鲁吉亚西部的谷物供应，并亲自监督执行。否则肯定会弄出政治丑闻。⑤

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.81.Оп.3.Д.100.Л.101–102.亲笔签名。

注释：

①1931 年 8 月 10 日，政治局修正并批准了一项关于公共饮食状况和发展的决议草案，“包括一项确保食堂除标准午餐外，还将提供加价午餐的条款”。决议草案的最终编辑工作委托给

由以下人员组成的委员会：卡冈诺维奇、米高扬、泽连斯基（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.841.Л.3.）。

②1931 年 9 月 26 日，召开了政治局会议，会议议程包括两个问题：关于粮食饲料的平衡供应和物价政策。粮食饲料平衡的问题被推迟了。然而，政治局将分配总额定为 14.5 亿普特的粮食。在考虑供应问题时，政治局采纳了斯大林的建议：在人民委员会下设立价格委员会，将商业性商店的价格降低 30%，为烤面包设定固定价格，解决集体和国营农场以及工业联合企业进入市场的问题（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.11.Л.16;Оп.3.Д.851.Л.1.）。

③1931 年 8 月 20 日，政治局决定在 8 月 25 日的会议上，在审议一般的木材出口问题时，讨论西尔佐夫关于木材出口成本的说明（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.843.Л.5.）。然而，8 月 25 日并没有进行讨论。8 月 25 日，通过政治局成员的投票，决定将出口和木材出口成本问题提交货币委员会进行初步审议（同上，Д.844.Л.12.）。

④这是古比雪夫于 1931 年 8 月 10 日给卡冈诺维奇的说明报告：

“1.关于第二个五年计划的指示

我今天就会把‘第二个五年计划的主要路线’草案和一个关于金属的特别说明送到中央委员会。我建议在斯大林同志发言后召开会议，并立即把这些材料发给他。如果你仍然认为有必要在斯大林同志发言之前召开会议，那么我建议在 8 月 14 日晚上 8 点召开。

2.关于 32 年的控制定额的指示

由于斯大林同志和莫洛托夫同志的退出，政治局选定的委员会实际上已经解散了。在委员会第一次会议上的意见交流和未能召开的小组委员会（没有最重要的经济组织——最高国民经济委员会、苏联消费合作社中央联社、公用事业等的代表）迫使我提出以下建议：

a）把自己限制在政治局已经通过的指令中（产量增加 35%，200-220 亿的基本建设工程，资金集中于金属、煤炭、运输和机械化，金属和设备的进口低于去年）；

b）现在不向各部门和组织分配基本工作，但为整个国民经济设定 200-220 亿卢布的基本工作限额；

c）根据这些一般指示，各机构应在 10 月 25 日前向国家计划委员会提交其控制数字草案，并在 1931 年 11 月 10 日前向各共和国提交其控制数字草案。（根据人民委员会 12 月 21 日法令所规定的时间表）；

d）国家计划委员会必须在 12 月 1 日之前向政治局和政府提交 1932 年的综合国民经济计

划；

e）国家计划委员会起草的指令只能作为材料分发给各部门和各共和国。

米高扬同志、格林科同志、鲁希莫维奇同志和奥金佐夫同志同意这些建议。

3.关于休假

我因病请假，请求您准许我从 8 月 5 日到 10 月 5 日休假。

4.关于我的进一步工作

鉴于我显然不能胜任国家计划委员会负责人的职责，我请求您解除我的工作，根据我的能力给我安排一个工作（如果是在州或区的职位，那会更好）。

B·古比雪夫”

（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.739.Л.26–27.）。

⑤见《斯大林和卡冈诺维奇通信集》1931-1936 年，莫斯科 2001 年版，第 14 号文件。

13

Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1931 年 8 月 23 日）

8 月 23 日

亲爱的斯大林同志：

今天向您发送了 25 号政治局会议的议程。主要的问题显然是水运人民委员部、交通人民委员部的报告和农业人民委员部的问题。没有您我们将很难展开对水运人民委员部和交通人民委员部问题的讨论，将达不到应有的效果。从他们，尤其是水运人民委员部的工作状态来看，需要对他们施加更大的新压力。水运人民委员部正在削减我们从巴库向外运输石油的能力，尽管我们拒绝了通过外国商船迂回的方式将石油运往列宁格勒，但这个问题仍然存在。①

1）我认为我们应当尽一切可能，然后，如果迫不得已的话，我们能赶在一月前将石油运到列宁格勒。我们不会对水运人民委员部作出最终的决议，我们会将决议草案发给您审阅。关于农业人民委员部的问题，雅科夫列夫同志告诉我他已经就所有问题与您达成协议。加里宁同志对谷物采购托拉斯的重组活动表示怀疑，但是在联合谈话（我、加里宁、雅科夫列夫）之后，他同意了，是的，他不可能不同意，因为不能将去年的国营谷物农场联合公司同今年的国营谷物农场联合公司相提并论，一个“巨型”的国营农场显然是一个完全意义上的托拉斯。②

2）我们试着为政治局下个月要讨论的基本问题列一个清单，以便您更加方便和及时地对我们作出指示，我现在将它发给您。③

3）鉴于各地木材征购情况不利，我们将在中央委员会之下于 29 日召开一个小型会议，与会者有 15 人，他们来自莫斯科、列宁格勒、下诺夫哥罗德、伊万诺沃、乌拉尔和西部州。有必要加强这项工作，否则我们将没有木头可用。

4）现在谷物征购的情况尚可，尽管速率增长缓慢，但已完成了年度计划的 14.8%，是去年同期的 228%，去年的储备量是 10841.6 万普特，而今年同期已经储备了 23975.1 万普特的粮食。至 8 月 20 日已完成月度计划的 55%。接下来的 2 个 5 天压力将会非常大，要完成 8 月份的储备计划（已经储备了 1.82 亿普特粮食），还必须再储备 1.48 亿普特的粮食。这意味着征购速率还需加倍，而在乌克兰，我们过去征购的速率是下降的。在哈萨克斯坦、乌拉尔、巴什基尔和西伯利亚——不管是西西伯利亚还是东西伯利亚——情况都特别糟糕，我已经向这些边疆

区委和州委发出了措辞严厉的电报，我将把第一批电报抄送给您供您了解相关情况（西伯利亚的电报还未发给您）。我们还没有向其它边疆区发送电报，发送与否视事态发展决定。④

由于肉类（储备）的情况很困难，我们本着相同的精神向许多边疆区委员会就肉类采购问题发送了电报。⑤

5）关于隶属于国家政治保卫总局下的经济部门的问题，亚戈达同志希望能放他一马，使这些部门不要从他那里被剥离出去。相关的报告已经发给您，我们将在30号讨论这个问题，如果您有什么要修改的，请将它发给我⑥。它们利用党这条线掌握了很多不必要的东西，事实证明，国家政治保卫总局的党支部不仅将国家政治保卫总局自己的工作人员合并进来，而且将高等学校的学员、国家政治保卫总局合作社的工人、面包厂和废品回收工厂（的支部合并进来），甚至不断要求合并布特尔斯基监狱的党支部——虽然该监狱在另外一个地方。我认为如此这般的党组织结构是完全错误的，我认为他们应该只保留国家政治保卫总局自己的工作人员，再退一步的话，可以允许学校学员并入他们的党支部——虽然学员数量庞大且可以组建一个完全独立的党支部。我必须掌握积极分子们的信息。中央的决定总体上看执行得非常好⑦。我同他们说要成为一名好的契卡干部，首先要成为一名忠诚于党的路线、忠诚于党中央委员会的布尔什维克。显然，我们按照党中央决议的要求完成了党的重要任务。斯大林同志！非常急切地请求您就以下问题给出最终建议。缅任斯基、阿库洛夫、巴利茨基强烈反对任命阿格拉诺夫为国家政治保卫总局驻莫斯科的全权代表，并且已经论证他不可能被调离秘密政治处（第4处——译注）。为此他们提名了其他人选，缅任斯基提名曼采夫，而我拒绝了这一人选，我认为他是第二个梅辛，这里有一个人选——列普列夫斯基，他是一位曾在乌克兰工作的老契卡，现在在国家政治保卫总局的中央机关工作，此外还有其他人选。我当然依旧认为阿格拉诺夫是最合适的人选，请您为我写下您的意见，如果可能的话，用电报发过来⑧。

6）我把布哈林在索科利尼基公园的一次集会上作的报告发给您（如果您有兴趣阅读的话）。在我看来，该报告是肤浅的，甚至是粗陋的、空洞的，此外，报告中显然还有一些不好的段落，例如在第2页，他在对过去5年的总结分析中宣称“我们在诸如粮食、轻工业等重要问题的处理上下手已经很晚了。”⑨我认为，这并不是他在承认自己的错误，而是他在对我们进行指责，显然，即使他想（在立场上）靠近中央委员会，他也仍然不会承认自己的错误，至少不会完全承认。例如，如何解释他在这篇报告中没有提到关于中央委员会的任何内容？显然，他对党的路线不是100%的忠诚，可是他对他自己新的处境的理解则是尼古拉之星（布哈林名尼古拉——译注）将在莫斯科再次闪耀。他答应为数十家工厂、机关、高等教育机构作报告，我认为，他

身边还有一小撮人，这些人被组织起来在他演讲时煽风点火。显然，我们刚刚注意到这样的新情况，我们认为有必要把批准此类演讲的决定权收归到党的机关手中。当然，没有必要剥夺他说话的权利，当他找到我说他要在（工会大厦）圆柱大厅为工程师和部分厂长听众作报告时，我并没有持异议⑩。但如果他知道他自己的职责——他应该全天来往于党的各种会议，那他应该知道他的这种行为（到处演讲的行为）会耽误他参加会议，对他的工作造成损害，所以我建议他应该像其他所有的同志一样，通过莫斯科市委来作这样的报告。

7）关于《真理报》：我与波波夫同志进行了坦诚而深入的交谈，就您所提到的问题和其它的一些问题对他进行了斥责。毫无疑问，《真理报》的同志，无论是在自我革新的意义上，还是从选取的新闻材料的性质和报道的语气上，都在超越某些界限。在去年受到您的批评之后，他们很好地回到了自己的业务上来，但是现在他们在不断地发出空洞的声音，常常以命令的语气发表文章，俨然试图充当指挥者；诚然，他们必须纠正这些缺点，但是他们也必须承担起教育千百万人的任务，因此需要提高自己的思想性——在这方面他们还有很多欠缺。显然，在您回来之后您将不得不再像去年一样将他们提升到一个新的层次，而在您回来之前我将在这里监督他们。

8）您是对的，我们关于 2500—3000 万吨生铁的决定给“左派”异想天开分子留下了可乘之机，虽然我们进行了反击，否决了 4500 万吨生铁的计划，但具体的数目仍然摇摆不定，尚不明确。明天或后天我们将召开会议，重新审查我们的决定。

到此为止吧。

请告诉我，您在新的地方休息得好吗？身体恢复得怎么样？

同您握手，您的拉·卡冈诺维奇

P.S.：1）我刚刚收到了您关于合作社的密电，关于价格的问题我们进行了讨论，但是由于没有足够的材料，因此我们现在能做的仅限于表示不能提高收购价格，这显然是不够的，在收到您的来电后，我们将着手处理这个问题。⑪现在我们就讨论价格的问题。2）我们在等您关于货币问题的答复，虽然您在上一封电报中的指示已经很明确了。⑫

拉·卡冈诺维奇

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.739.Л.40–47.亲笔签名。

注释：

①1931 年 8 月 15 日政治局拒绝了通过海上向列宁格勒运送石油的提议，确认了先前 6 月

16日的决定，即利用伏尔加河运送所有石油（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.842.Л.2.）。

②1931年8月25日，政治局批准了苏联农业人民委员部关于谷物采购托拉斯重组的法令，这份决议中特别标明“鉴于自1929年以来谷物集体农庄的数量和谷物采购托拉斯的产量增长了20倍，谷物集体农庄数量达到了207个，以一个中心管理这些国营农场的生产工作变得不可能”，决定创建9个联合谷物采购托拉斯（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.844.Л.4,20,21.）。

③1931年9月5日，在政治局会议上，听取了中央委员会关于森林和木材采伐的建议，并通过了中央关于伐木和木材运输的决议（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.846.Л.9,31–34.）。

④相关电报缺失。1931年8月25日，通过了对西西伯利亚和伏尔加河中部的粮食采购计划的表决。根据政治局委员的表决，西西伯利亚粮食采购计划减少1500万普特（最终年度计划为8500万普特），伏尔加河中游地区减少2000万普特（最终计划为1亿普特）（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.10.Л.170.）。西西伯利亚的实际采购量为6530万普特，也就是说，它们大约处于埃赫提议的水平，而伏尔加河中游为7660万普特。

⑤1931年8月30日，政治局批准了人民委员会提出的关于安排新的牲畜采购运动的决议草案，以便为主要的工人聚居区，首先是莫斯科和列宁格勒提供肉类（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.845.Л.2,15–20.）。

⑥1931年9月10日，政治局审议了“关于国家政治保卫总局中存在的经济组织”的问题，并将其推迟（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.847.Л.6.）。政治局于1931年11月10日再次重新审议该问题。决定将问题移交给波斯特舍夫领导下的一个委员会（同上Д.859.Л.2.）。最终决定于1932年1月8日作出。其中，特别是设想将莫斯科郊外的所有国营农场都归国家政治保卫总局管辖，这些国营农场通过国家政治保卫总局的合作社向国家政治保卫总局的工作人员和国家政治保卫总局部队的指挥员提供供给。根据供给人民委员部的标准计算的超出合作社需要的国营农场的所有剩余产品，国家政治保卫总局有义务将其转让给供给人民委员部等（同上Д.867.Л.24,47.）。

⑦见文件：《斯大林致卡冈诺维奇（1931年8月15日）》《卡冈诺维奇致斯大林（1931年8月15日）》。

⑧见《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第30号信。

⑨见文件：《斯大林致卡冈诺维奇（1931 年 8 月 17 日）》。布哈林在给斯大林的一封信中解释了他演讲的情况如下：“我曾被邀请参加一个大型的技术宣传会议（在索科利尼基公园）。当我看到满头大汗的人群，成千上万的人在集会后因酷暑而筋疲力尽，等待着集会过后的音乐会，我自然而然不能作一个枯燥的技术报告，而是“泛泛而谈”。顺便说一句，我们在食品和轻工业方面落后了（由于干部和他们技术水平的问题）。当一位同志反对我时，为了不引起误解，我参考了十六大的决定、《真理报》的文章等。（……）我还应该说，一份没有经过我订正的讲话抄本正在被大肆传阅，而我很长时间都没有得到这份抄本（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.709.Л.82–83.）。”

⑩布哈林在厂长助理、工人突击队员、工程技术部门局主席、联合体、研究所和技术学院工作人员会议上的报告（1931 年 8 月 26 日）见Н·И·布哈林《社会主义理论与实践问题》莫斯科 1989 年版，第 309-330 页。另见第 7 号文件。

⑪1931 年 9 月 26 日，召开了政治局会议，会议议程包括两个问题：粮食-饲料平衡、商品供应和价格政策。粮食-饲料平衡问题被推迟。在会上政治局设立公共基金，发放粮食 14.5 亿普特。在考虑供应问题时，政治局采纳了斯大林的建议：在人民委员会下成立一个价格委员会，将商业商店的价格降低 30%，建立烤面包的固定价格，解决集体农庄和国营农场以及工业联合体进入市场的问题（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.11.Л.16;Оп.3.Д.851.Л.1.）。另见文件：《斯大林致卡冈诺维奇（1931 年 8 月 17 日）》。

⑫见《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第 38、40、43、55 号信。

14

Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1931 年 8 月 26 日）

8 月 26 日

您好，斯大林同志！

1）我们收到了您关于美国订单的电报，这比我们想象的更加彻底地解决了我们的争端。我们在这里——在政治局将这个问题提了出来，并接受了您的意见，发报给美方，暂停了所有新的订单。明天我们将召集货币委员会并将详细审阅订单一览表，将部分订单转移到欧洲，部分订单转移回苏联。虽然争端完全有可能会在一些具体的问题上激化，但是我们现在已经有了明确的指示，这将更容易解决所有的实际问题。①

2）我们修改了生铁计划的定额，最终将数目确定为 2500 万吨，除此之外，我们还增加了 1.7 亿普特作为五年计划最后一年所要达到的播种目标。雅科夫列夫告诉我他已经同您达成一致，但我们还没有通过政治局形成关于五年计划的决议。希望您能告诉我，是否由政治局作出决议而使其成为针对所有机构的强制性指令？而首先对于国家计划经济委员会来说，这样的决议是必要的。

3）我们已经就燃料问题采取了一些措施，现在我们准备就使用和运输燃料的问题通过一个重要决议，目前已经有足够多的关于开采燃料的重大决议被通过了，而重点是要确保通过的决议得以执行。我们仅指示监督这些决议的执行，特别是监督某些类型的燃料的生产，并采取适当的有效措施。我们推迟讨论了一个问题。在（25 号的）政治局会议上仍然有人建议用外国船只从海上进口石油。这大概需要 150 万卢布。我个人认为这个方案不管怎么样还可以暂缓一个半月来执行，如果我们现在接受这一方案，那就意味着我们要解散更多的内河航运力量。我请您写下您的观点，因为在下次政治局会议上将再次有人提出用外国船只进口石油的问题。②

4）正因如此，水运问题已变成政治局亟需解决的迫在眉睫的问题，因此我们不得不对水运人民委员部进行严厉的批评。杨松以平铺直叙的平稳语气作了报告。8 月份的内河运量急剧下降，特别是对于石油来说。6 月的石油运输计划完成了 70%，7 月的计划完成了 76%，而 8 月的前 20 天仅完成了 23%的月度计划。最主要的问题是无法使用现有可用的资源，驳船停泊

数周未卸载。有一次，您特别强调了督促当事人的重要性。我们搬出了决议，但不幸的水运人民委员部甚至没有考虑使用它的（申辩）权利："为什么（要跟政治局）吵架？"我必须指出，水运人民委员部正在睡大觉，他们没有向中央委员会提出任何问题，而是平静地游过了静谧的海岸。显然，水运人民委员部还是不能不辜负我们的期望。我们任命波斯特舍夫为委员部的负责人[③]。

5）鲁希莫维奇的报告敷衍了事，只做一般性的讨论而不具体分析，对于在具体的道路、具体的交通节点上该具体做些什么只字不提——他有一半的时间引用统计数据来表明经济增长与运输之间的不平衡。颇具讽刺意味的是，他的报告中还提到了先前定下来的指标——这些指标都没有完成，并且在报告的第二部分歇斯底里地指出，给交通的（可能是拨款——译注）太少、需要彻底地转变态度，等等。鲁希莫维奇又一次亮明了他的观点，他对我们的计划和计划的可行性完全持充满了腐臭味的怀疑态度，而形势现在是这样的：七八月份正进一步恶化——特别是在蒸汽机车维修这件事情上。无人负责的现象再次增多。机车维修质量很差，因此有毛病的蒸汽机车比例都在增加，交通人民委员部全苏修配厂联合公司的工厂运转得不怎么样，他们将维修工作的战线拉得太长了，这使得他们在秋天将来不及完成已经开始的工作。对流运输（亦称"相向运输"、"交错运输"，指同一种货物，或彼此间可以互相代用而又不影响管理、技术及效益的货物，在同一线路上或平行线路上作相对方向的运送，而与对方运程的全部或一部分发生重叠交错的运输。——译注），空空如也的班列车厢和月台不仅不会减少，在很多地方甚至还增多了，等等等等。当然，有必要改善交通运输的技术装备，但他们还存在着获得的技术装备并不真正知晓如何使用的问题。在政治局会议记录中，您会看到我们为交通人民委员部列了一个大的纲要，我们将不得不像去年那样处理基本问题[④]。

6）关于特别移民（20 世纪 30-50 年代初苏联强迫向偏远地区迁徙的居民——译注）的决议中有这样一个条款，规定"承认年满 18 岁、刑期还有 5 年的青年恢复权利是被允许的——在这些青年人积极表现的前提下"。现在中央执行委员会已经制定了与该决议相适应的法律。我这里有个疑问：该条款基于中央执行委员会的公报训令在实践中已经被允许执行，但在相关的法律尚未正式颁布之前，我们对该条款的执行会不会受到限制？在这里请您说一下您的意见[⑤]。

7）乌格拉诺夫写了一份请求将他从阿斯特拉罕调到莫斯科工作的申请。今天他来到我这里。他提到他正身患疟疾并且家庭困难。我回答他，会考虑将他搬离阿斯特拉罕，但是回莫斯科是不可能的，因为莫斯科对他来说是危险的，他会在这里再次陷入困境。更何况他依旧坚持自己的混乱的路线。通过与他的交谈，我坚定地相信他在政治上没有太大的变化。他说"我掉

队了，我现在无法判断总体的情况”。他一直在嘟囔国际问题，特别是谈到“工人问题”的时候就特别兴奋，他提出“有必要尽快推进工资和关于实际工资的问题”等等。我的印象是，他和其他跟他一样的人不反对现在成为什利亚普尼科夫式的工人“捍卫者”，他现在自己就变得像什利亚普尼科夫一样，不诚实、含沙射影，一点儿也不像那个“坦率而真诚的”乌格拉诺夫。我认为可以将他搬离阿斯特拉罕，但不能让他搬回莫斯科。无论怎样，我们都将等您回来或者请您通过来信提出建议⑥。

8）关于冶金和煤炭行业工人的薪水，波斯特舍夫同志将发给您一套方案⑦。

再见。

您的拉·卡冈诺维奇

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.739.Л.40–47.亲笔签名。

注释：

①1931 年 8 月 20 日，政治局批准了 1931 年底前在美国为莫斯科汽车制造厂、哈尔科夫拖拉机厂、汽车制造厂和第聂伯建筑公司 390 万卢布的设备的订单数额。关于在美国为马格尼托哥尔斯克、库兹涅茨克和其他企业订购的问题，决定征求斯大林的意见（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.10.Л.165.）。正如卡冈诺维奇所报告的那样，在这个问题上出现了严重的冲突（见：《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第 17 号信）。8 月 25 日，政治局接受了斯大林在电报中提出的建议（见：《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第 24 号信）。外汇委员会奉命紧急制定落实斯大林建议的具体措施，并将其提交给政治局批准。外贸人民委员罗森戈尔茨被指示暂停在美国的订单（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.10.Л.170.）。8 月 30 日，政治局批准了外贸人民委员部的决议，该决议指示最高国民经济委员会在 9 月 5 日前向政治局提交一份关于从美国向欧洲和苏联转移订单的报告。外贸人民委员部应在 4 天内通知最高国民经济委员会，哪些美国订单被暂停，并提供一份可能被终止的合同清单。规定只有在政治局的允许下才能终止合同（同上，P179）。另见：《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第 55 号信。

②1931 年 9 月 5 日，政治局批准了一项关于强制通过水路（沿伏尔加河）运输石油的法令（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.846.Л.8,27-30.）。另见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 23 日）》。

③另见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 23 日）》。

④1931 年 8 月 25 日，政治局听取了交通人民委员部关于秋冬运输准备的报告和工农监察部关于 1931 年运输工程计划执行情况和 1932 年准备情况的报告（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.844.Л.2,3.）。

⑤1931 年 8 月 10 日，政治局批准了特别定居者委员会 8 月 7 日的决议。该决议规定了“充分利用特别定居者的劳动力，并为他们在安置区的住房提供便利，特别是为西伯利亚、乌拉尔、北方地区和其他地区的森林工业造就永久性的工人骨干”的措施（为特别安置者分配菜园和作物的土地、牲畜、税收优惠、安排住房建设等）。决议第 31 项指出：“鉴于有必要将年轻的特别定居者从富农中的反革命分子中分离出来——承认恢复在 5 年期限届满前年满 18 岁的，证明自己是积极的年轻人的权利可能性。这种恢复是由特别定居者委员会通过加盟共和国和自治共和国的中央执行委员会或边疆区和州执行委员会进行的，他们获得了自由居住的权利”（历史档案.1994 年第 4 期.P164-169。Г·М·阿迪别科夫出版）。在斯大林的信之后，1931 年 9 月 8 日，政治局撤销了决议当中的这一项（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.11.Л.5.）。

⑥1930 年 7 月 25 日，根据政治局的决定，乌格拉诺夫被解除了苏联劳动人民委员的职务，8 月底，他被派往阿斯特拉罕，担任阿斯特拉罕国家渔业托拉斯主席（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.790.Л.5.）。1932 年 3 月，乌格拉诺夫被任命为苏联国家重工业人民委员部消费品部门的负责人（同上，Д.878.Л.27.）。

⑦1931 年 8 月 15 日，政治局听取了П·П·波斯特舍夫和А·И·古列维奇关于调整煤炭工业和钢铁工业的工资制度的报告，基本上批准了委员会的工作（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.842.Л.3.）。1931 年 9 月 10 日，政治局批准了关于冶金和煤炭工业工资制度改革的决议，决定以联共（布）中央委员会、最高国民经济委员会和全苏工会中央理事会的名义公布该决议（同上，Д.847.Л.2.）。9 月 20 日，在与斯大林进一步通信后，政治局决定修改这一决定，只以最高国民经济委员会和苏工会中央理事会的名义公布这一决议（同上，Д.849.Л.1.）。

15

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1931 年 8 月 30 日）

卡冈诺维奇同志！

您 8 月 26 日的信已经收到。

1）您为什么没有报告要交给李维诺夫的关于波兰条约（苏波互不侵犯条约）草案的任何内容？这是一个非常重要的问题，在接下来的 2-3 年中，和平问题几乎是决定性的，我担心李维诺夫屈服于所谓的“民意”的压力，使他受到愚弄。请认真注意此事，责成政治局在专门的监督之下处理这件事情。如果我们在这个问题上屈从于世界范围内小市民的“反殖民主义”的歪风邪气，而哪怕有一分钟忘记了革命和社会主义建设的根本利益，那都是十分可笑的。

2）在法国的梅日劳克和订单情况如何？为什么事情在那里被卡住了？为什么所有订单都发送到德国和英国，而又不愿把订单给法国人呢？

3）显然，您屈服于最高国民经济委员会关于铸铁管的压力，特别是因为公共事业的职工也向你施压并要求进口。而且您和最高国民经济委员会是错误的，因为：a）在中央控制 32 年进口数目的指令中已经严格规定了 31 年的金属进口数目，而指示当中已经说过，32 年进口金属的数目应当少于 31 年。最高国民经济委员会却希望推翻中央的这一决定，而您却支持最高国民经济委员会。b）你们讨论认为，今年不必支付，我认为这不能令人信服，因为 32 年和 33 年的外汇状况将比今年更加困难。（美国正在努力将我们的外汇储备洗劫一空并摧毁我国货币的地位，而美国现在已成为金融界的主力和我们的主要敌人。）因此不仅需要留出 31 年的外汇，而且还需要留出未来几年需要的外汇。c）最高国民经济委员会没有去剥削设备并强迫其冶炼更多的生铁，而是来剥削国库（即剥削国家，剥削工人阶级），强迫工人阶级向外国人付款交换资源，以弥补其无能、惰性和机构的官僚主义。

情况就是这样，卡冈诺维奇同志。

4）因此我认为，对于那些为了自己机构工作人员的安逸生活试图去浪费工人阶级外汇资源的个人（和机构）绝对不能姑息。

5）第二个五年计划的任务可以通过政治局制定——如果国家计划委员会或人民委员会要

求的话。

6）让步对那些想海上运输石油的人而言，意味着遣散所有运输机构。现在决不能做出这样的让步。

7）让政治局和书记处专门、经常监督水运人民委员部和交通人民委员部并逼迫他们工作。这两个人民委员部都被他们的机构所累，尤其是鲁希莫维奇，他官僚主义的自负使他在布尔什维克的交通人民委员部事务中成为落后和保守的反面典型。

8）中央执行委员会不需要任何有关提前恢复个别前富农权利的法律。我知道肯定有一群来自市侩和庸人当中的蠢驴想钻这个老鼠洞。请把这个问题推迟到秋天再去讨论。

9）我读了布哈林的讲话（笔录）。这是一个空虚、脱离实际、非布尔什维克的讲话。同时这是一种企图从经济问题和工人供给等方面为前右派提供一个建设反对苏共中央平台的“纲要”的无能的、学生气的尝试。这个布哈林同志是个怪人！为了什么他用得着戳破自己的伪装。

我认为中央委员会将布哈林任命为最高国民经济委员会技术宣传部的负责人，不是为了让他就技术宣传、就技术宣传的必要性发表演讲，而是为了让他组织起生动的、具体的技术宣传活动。如果他不能完成这个任务，那么我们就被迫另寻高明。

如果布哈林要问起来，或者出现其它需要的情况，您可以告诉布哈林我的意见。

就说这些吧。

И·斯大林

8 月 30 日，索契

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф. 81. Оп. 3. Д. 99. Л. 1. 亲笔签名。

注释：

见：《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第 38、40、43、55 号文件。

《斯大林和卡冈诺维奇通信集》第 40 号文件。

1931 年 9 月 25 日 1931 年 9 月 25 日，政治局就科马洛夫和奥尔忠尼启则的报告审议了这个问题（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.850.Л.5.）。通过 10 月 15 日政治局成员的投票（当时斯大林已经返回莫斯科），这个问题已经被移交到劳动国防委员会进行审议（同上Д.854.Л.9.）。

1931 年 9 月 5 日，政治局批准了一项关于强制通过水路（沿伏尔加河）运输石油的决议（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.846.Л.8,27-30.）。另见文件：《卡

冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 23 日）》《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 26 日）》。

1931 年 8 月 10 日，政治局批准了特别定居者委员会 8 月 7 日的决议。该决议规定了“充分利用特别定居者的劳动力，并为他们在安置区的住房提供便利，特别是为西伯利亚、乌拉尔、北方地区和其他地区的森林工业造就永久性的工人骨干”的措施（向特殊定居者分配土地用于种植菜园和作物、牲畜、税收优惠、安排住房建设等）。决议第 31 条写道：“考虑到有必要尽早将年轻的特殊定居者从富农的反革命部分中分开——承认在 5 年期限届满前年满 18 岁的年轻人，有可能在其以积极方式表现出来的情况下恢复其权利。此类恢复措施由特殊定居部门通过加盟和自治共和国的中央执行委员会或州和边疆区执行委员会进行，并授予他们自由居住的权利“（《历史档案》1994 年第 4 期 164—169 页）。在斯大林的信之后，1931 年 9 月 8 日，政治局取消了该决议的这一段（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.11.Л.5.）。另见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1931 年 8 月 26 日）》。

见文件：《斯大林致卡冈诺维奇（1931 年 8 月 17 日）》。布哈林在给斯大林的信中解释了他演讲的情况：“有一次，我被邀请参加一个大型的技术宣传会议（在索科尔尼基公园）。当我看到汗流浃背的人群，成千上万的人因炎热而疲惫不堪，等待着大会后的音乐会，我自然而然开始作一个不那么枯燥的技术报告，而是‘一般普通的’。顺便说一句，我们在食品和轻工业方面落后了（由于人力资源和他们的技能问题）。当一位同志反对我时，为了不引起误解，我提到了十六大的决定、《真理报》上的文章等等……我还必须说，一份我很久都没收到，也没有经我校正的记录稿广泛流传”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.709.Л.82–83.）。

16

联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫致哈萨克斯坦和中伏尔加边疆区领导人关于破坏粮食征购的电报

（1931 年 11 月 19 日）

在苏联所有共和国和地区中，哈萨克斯坦和中伏尔加边疆区是仅有的从上五个工作日到这五个工作日粮食征购量一直下降的地区。在上一个五个工作日里，你们粮食的征购量比下诺夫哥罗德边疆区、莫斯科州、鞑靼共和国、东西伯利亚还要低。你们以最无礼的方式破坏了中央全会关于粮食征购的决议。党中央和人民委员会决定向你们询问几个问题：你们是否立即打算组织起来在粮食征购上取得突破？如果你们在这方面没有任何希望的话，是不是应该提出通过改变领导层的办法来推动谷物收购？

——中央委员会书记斯大林

人民委员会主席莫洛托夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.78.Л.117.原稿，手写。

1932 年

17

乌克兰共产党（布）中央委员会第一书记C·B·柯秀尔

致联共（布）中央书记И·B·斯大林关于乌克兰播种的进展和前景的信

（1932 年 4 月 26 日）

斯大林同志：

我和与我同行的同志们在草原地区南部观察到的情况和从其它州得到的情报，为我们判断乌克兰播种的进展和未来的情况提供了可能。

与去年相比，播种情况仍好于去年（原文如此——译注），但原因不是工作开展得好，而是气象条件更好。我们在草原上观察到的情况表明，即使在当前困难的条件下，在使用畜力的状况下也可能做得更好。在草原上，有 10 到 15 个特别困难的区域，很显然，在制定征购计划时犯了严重的错误和对现实的严重歪曲，而且在征购任务执行过程中施加了前所未有的不合理的压力。我们发现了另外 3-4 个区域与德拉博夫镇和莫尔多瓦苏维埃社会主义自治共和国的情况相似。必须对肇事者进行监禁和审判，以便全体人民都知道这一点。我们有个别的案例，甚至个别的村庄都在挨饿，但这仅是当地办事马虎、冒进的结果，特别是对于集体农庄而言。在乌克兰，任何关于“饥荒”的言论都应该被坚决丢弃。向乌克兰提供认真的援助将使我们有机会消除此类流言扩散的温床。在草原地区我们总体上已经消除了这种尖锐（对立）的情绪（齐诺维耶夫斯基、新普拉斯基、卡霍夫斯基和其他区）。没错，我仍然不得不面对个别事件（集体农庄、村庄），但这些对立情绪当然会被消除。现在几乎整个草原都已经开始播种（为了未来收获）。

在过去的 3-4 天里，几乎整个乌克兰的连续降雨推迟了大规模播种的进展。在草原、哈尔科夫州、顿巴斯和莫尔多瓦苏维埃社会主义自治共和国，种子早熟和晚熟的问题都得到了令人满意的解决。所有的种子都已经到位。然而，根据敖德萨和第聂伯罗彼得罗夫斯克州的报告可知，有 20—25 万公顷的早春作物出现播种不足的现象，为此不得不用晚春作物进行替代播种。但现在仍然不能确切地说出播种不足的问题，因为现在在草原地区出现了早春作物播种量显著多于已有种子数量的情况，这意味着并非所有的种子数量都得到了统计。

现在各处的主要问题是畜力的问题。在我所在的地区，大概有 1/4 的马匹死亡，剩下的马匹的状况也普遍非常严重——瘦得皮包骨头。当然，这里的主要原因不是缺乏饲料，而是出现了农民——不论是集体农民还是个体农民——不愿照顾马匹并用他的余粮喂养马匹的情况——他们以前是这么做的（用余粮喂马）。促使他们这么做的主要因素是差役。并非偶然的是，最糟糕的情况发生在秋季和冬季，马匹都被套起来去运送粮食和甜菜等等。在很多地方这些运输的费用尚未结清。通常，对马匹的使用都是按照强制征发的规定来进行的，而在森林地区——在那里我们付钱雇佣马匹——草料喂养的情况就好一些。

现在马匹的参与对草原上的播种活动而言是微不足道的，特别是在有农机站、有拖拉机的地方。在整个草原上可以看到这样一个图景：绝大多数情况下只有拖拉机在工作——犁耕、播种、耙地。而在马匹工作的地方，他们的效率比任何标准都要低 2—3 倍。一辆 4—5 匹马的套车每天耕种的面积只有 2 到 0.5 公顷（原文如此——译注）。总的来看，即使考虑到现在马匹糟糕的状况，它们也不适宜参加田野的劳作。在各地对拖拉机的使用都存在很大的冒进现象。但是拖拉机本身的性能也是不能令人满意。哈尔科夫拖拉机厂和斯大林格勒拖拉机厂的拖拉机大多数时候只能耕 5—6 公顷（一天），偶尔能耕 8—10 公顷。而造成这种情况的首要原因看起来是地方组织、农机站和集体农庄的工作不尽如人意。

一言以蔽之，现在播种问题的解决取决于拖拉机的生产率和马匹参与播种的水平。而呈现出来的特点是，在没有农机站照管的集体农庄，即使马匹的喂养不能令人满意，通常也比有拖拉机的地方有更大的产出，并更多地参与到播种活动当中。而农民（此处应该指自耕农——译注）坚信我们一定会提供拖拉机和其它机械，于是急急忙忙地把马匹都丢掉了。

草原上的集体农庄的马匹喂养工作很大程度上不是特别好，但仍然有很多集体农庄这个工作做得不坏，更何况到处都存在粮食短缺的现象。粮食短缺、饥荒已经成了富农及其代理人开展疯狂活动、发起各种挑衅行为的一个由头。但目前整个草原上的越冬作物都长势喜人，甚至连晚播作物的状况也是不错。在这方面，春天对我们非常有利，因为不仅我们不必在草原上播种任何东西，而且由于冰冻和浸泡所导致的常见的作物死亡现象也比正常的年景低得多。一个明确的例外是哈尔科夫州，根据初步掌握的情况，有一些越冬作物死亡，但具体受灾程度尚未确定。无论如何，也没有必要在这里讨论重大的播种问题。草原南部应当在 4 月 25 日前完成早春播种，但显然，降雨会推迟这一进程。

最近几天，我们出乎意料地扩大了在基辅州的粮食缺口。在以前的白采尔科维和乌曼地区所属的地区。根据曾经去过那里的同志们的描述，在这些地区人们情绪低落，在某些地方对立

情绪非常尖锐。前几天，在普利斯科夫斯基区，彼得留拉分子公然发动了反革命暴乱，并被迅速镇压。从这些地区传来的最重要的消息是没有可以吃的东西，也没有播种的工作。特别令人震惊的是有关马匹健康状况恶化和死亡的信息。从收到的种子贷款中，我们已为这些地区提供了足量种子，为集体农庄提供了小米和玉米作为饲料，又为马匹添加了一些饲料，并提供了拖拉机援助。一群工人从州上被派往那里。如果不能在我们去右岸和边境地带的途中帮我们运输的话，我们的援助效果会大打折扣，因为到目前为止我们已经尽一切努力优先将拖拉机运往草原以及哈尔科夫州和基辅州的草原地区。

两天前，乌共（布）中央书记柳布钦科同志被派往基辅州以便了解最困难地区的情况，还有文尼察州的情况，特别是边境地区的情况。显然，这两个州在之后多多少少需要一些额外的援助。为此我不得不在此求助于中央委员会。

С·柯秀尔

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.61.Д.794.Л.12–16.原稿。

18

联共（布）中央书记斯大林致乌克兰共产党（布）中央第一书记C·B·柯秀尔关于乌克兰农村政治形势的信

（1932 年 4 月 26 日）

柯秀尔同志！

请您一定要读一下给你的材料。如果通过这些材料判断，似乎苏维埃的力量已经在乌克兰苏维埃社会主义共和国的某些地区不复存在了。这是真的吗？乌克兰农村的情况真的这么糟糕吗？国家政治保卫局的机构在哪？他们在干什么？或许他们应该审视这种事情并将要采取的措施通报联共中央委员会？

问好。

——И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.61.Д.794.Л.18.副本。

19

苏联供应人民委员A·И·米高扬致联共（布）中央委员会书记И·В·斯大林关于集体农庄和农机站谷物交付定额的报告

（1932 年 5 月，第一号）

秘密

订立 1932 年谷物收购合同的工作已经开始，我们面临两个必须由中央委员会解决的问题。

早在 1930 年 4 月，集体农庄的谷物征收定额就是：谷物主产区总收成的 1/3 至 1/4 之间，而非谷物主产区，交付的定额不超过总收成的 1/8，而从下表可知，实际交付的粮食要比规定定额高很多：

表一：

地区	集体农庄定额与总收成的百分比（%）	
	1930 年收成	1931 年收成
乌克兰	30.2	41.3
北高加索	34.2	38.3
伏尔加河下游	41.0	40.1
克里米亚	32.7	41.7
北伏尔加	38.6	32.3
西西伯利亚	26.5	29.3
哈萨克斯坦	33.1	39.5

表二：

地区	所有农业生产部门交付谷物占总收成的百分比	
	1930 年收成	1931 年收成

莫斯科州	14.5	20.0
下诺夫哥罗德州	10.5	14.8
列宁格勒州	8.8	9.9
西部州	7.9	9.8
伊万诺沃州	7.4	10.0

平均下来，在主要粮食产区，集体农庄交付了 1930 年总收成中的 31.5%，而 1931 年——交付了 37.0%，而在整个苏联，所有粮食产区的交付量在 1930 年为总收成的 28.2%，在 1931 年时——交付了 32.4%。

过去两年来，集体农庄提供的粮食超过了既定定额，这可以解释为集体农庄有了更好的技术装备，从经济上讲，它们变得更加强大，种子的繁殖系数也有所提高。我们认为，有必要提高订立合同协议时规定的交付定额，使之超过 1930 年春季确定的交付定额。

除了提高交付定额之外，我们认为有必要从根本上改变享受农机站服务的集体农庄所交付粮食定额的规则。以前我们缺乏这样的规则，根据新的规则，享受农机站服务的集体农庄有义务交纳总收成的 25%作为农机站完成工作的报酬，此外它们还必须出售所有剩余的商品粮。这就会使集体农庄的谷物饲料保持平衡，并以此定立粮食和饲料的定额。

在 1931-32 年的征收活动中，此规则已部分更改。最初是在东部减产的地区施行，随后推广到其它地区。有必要将与其它集体农庄相同的交付规则推广到享受农机站服务的集体农庄，但这些享受农机站服务的集体农庄所要交付的收成百分比要定得高一些。享受农机站服务的集体农庄有更强大的种子供应、更精细的土地耕作以及更高的粮食产量，这些都使得它们应当交付更高的比例。

我们的建议：

1.规定主要产粮区——北高加索、乌克兰、伏尔加河中下游、巴什基尔、鞑靼、乌拉尔、西伯利亚、中央黑土带、哈萨克斯坦以及其它主要的谷物产区的集体农庄的商品粮交付（交售）量占总收成的 30%—40%，基于平均产量计算。规定非主要粮食产区的集体农庄，商品粮交付（交售）量占总收成的 10%—15%。

2.规定享受农机站服务的产粮区集体农庄须交付的定额为 35%—45%，其它地区的集体农庄的交付定额为 10%—15%。

3.根据该决议指示全苏农业集体协会和拖拉机中心发布相应的说明。

А·米高扬（签名）

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.80.Л.107–108.原稿.

20

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇、В·М·莫洛托夫

（1932 年 7 月 20 日）

卡冈诺维奇、莫洛托夫：

我给你们俩一起写一封信，因为距离机要员离开的时间非常少了。

1.基本建设经费必须至少减少 5—7 个亿。削减轻工业、黑色冶金工业和交通人民委员部的经费是不可能的。其他一切（甚至是军事事务），尤其是国营农场建设等（费用），都必须全部减少。

2.我反对从国外购买船只。为有色冶金企业购买设备（铜、锡、铝、镁、金、锌等）会更好。

3.近来，对铁路运输货物的盗窃变得越来越频繁（数千万卢布因此被掠走），其次，就是对合作社和集体农庄财产的盗窃。盗窃主要由富农分子（被没收了财产的）和其他反社会分子组织的，旨在破坏我们的新秩序。根据法律，这些绅士们被认为是普通小偷，被判入狱两三年（正式的审判!），实际上他们在 6—8 个月后就被赦免了，而与这些绅士有关的这种制度，不能称之为是社会主义的，实际上只能起到鼓励他们进行真正反革命的“工作”的作用。忍受这种情况是不可想象的。我建议颁布一条法律（删除或废止现有法律），该法律应规定：

a）铁路运输的货物、集体农庄和合作社的财产的重要性等同于国有财产。

b）侵吞（盗窃）这类财产应被处以至少十年监禁，通常情况下——应当被处以死刑。

c）取消对此类“专业”的罪犯的大赦。

没有这些（和类似的）严厉的社会主义措施，就不可能建立新的社会纪律，而没有这样的纪律，就不可能捍卫和加强我们的新制度。

我认为出台这样的法律刻不容缓。

4.关于集体农庄贸易的法令无疑将在一定程度上恢复富农分子和投机者——二道贩子的地位。前者将试图使集体农庄的农民难堪，并煽动他们离开集体农庄。而后者将钻空子并企图将贸易活动纳入自己的轨道。显然，我们必须消灭这种败类。因此我建议国家政治保卫总局及其各地的分支机构：

a）对农村居民实行严格的监督，所有积极鼓吹反对新集体农庄制度的人，积极鼓动散播退出集体农庄思想的人——收押并将其投入集中营（个别地）。

b）对集市、市场进行严格的监督，所有投机者和二道贩子，除非他们是集体农庄庄员（投机者是集体农庄庄员的话，移交给集体农庄的同志审判会更好些）——收押、没收财产并投入集中营。

没有这些（和类似的）措施，就不可能加强新制度和新的苏维埃的贸易。

国家政治保卫总局及其分支必须立即为此训练自己的部队并开始对敌人的研究，具体的行动可以在一个月后开始，不要太早。

5.我给你们写了关于农业人民委员部改革和新的人民委员部组织的信。我认为，如果你们同意我的建议，则有可能在秋天进行这项任务，而目前可以为这项任务做准备（选择领导层等）。

问好！

——И·斯大林

1932 年 7 月 20 日

20/VII–32

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.81.Оп.3.Д.99.Л.106–113.亲笔签名。

注释：

1932 年 7 月 23 日，政治局成立了一个由古比雪夫担任主席的委员会，审议降低建设成本的问题。该委员会负责“制定降低建筑成本的实际措施草案”，并在 1932 年第三季度将基本建设资金减少 7 亿卢布。

正在休假的奥尔忠尼启则就此发出了一份抗议电报。为了安抚奥尔忠尼启则，卡冈诺维奇于 1932 年 8 月 2 日写信给他：“关于减少基建投资：我们不得不这么做，我们的财政状况需要这个……我们写信给我们的头头朋友（对斯大林的昵称——译注），他认为减少 7 亿卢布的资金是绝对正确和及时的，所以我们就这么做了”（《第二个五年计划：经济政策变化的机制》，《国家历史》1994 年第 3 期第 96 页）。另见《卡冈诺维奇致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》。

1932 年 9 月 1 日，政治局通过了对外贸易人民委员部和水运人民委员部提出的关于在欧洲市场购买船舶的法令草案（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.13.Л.84,86.）。另见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》。

见文件：《斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫（1932 年 7 月 24 日早些时候）》《卡冈诺维奇、

莫洛托夫致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1932 年 7 月 26 日）》。

1932 年 5 月 20 日中央执行委员会和人民委员会关于集体农庄贸易的决议取消了对集体农庄、集体农户和个体农民在市场上贸易的许多限制，取消了价格管制，允许按市场通行价格进行交易。

1932 年 8 月 2 日，政治局向国家政治保卫总局提交了“在 3 天内向中央委员会提交打击投机行为、投机者和粮食转卖者的具体措施”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.13.Л.52.）。1932 年 8 月 13 日，政治局根据卡冈诺维奇的提议作出决定，批准关于打击投机活动的决议并在 8 月 23 日公布，同时把门任斯基给国家政治保卫总局机关的关于打击投机活动的信作为参考，并抄送给中央委员会所有成员（同上，Оп.3.Д.896.Л.13.）。苏联中央执行委员会和人民委员会关于打击投机活动的决议规定，将投机者和二道贩子关押在集中营中 5 至 10 年，且无权赦免。参见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》。

1932 年 10 月 1 日，政治局决定将粮食和畜牧养殖场从农业人民委员部系统中分离出来，并组织苏联谷物和畜牧国营农场人民委员部。该决议规定对拖拉机中心进行重组，在农业人民委员会建立一些行业的专业拖拉机中心（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.902.Л.9.）。在 1933 年 1 月，最终确定了斯大林的提议——当创建机械技术委员会政治处时。

在第一页上有笔记：“М • К”——加里宁的亲笔签名。

21

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1932 年 7 月 22 日）

卡冈诺维奇：

我认为，去年生效的关于通过铁路和水路运输私人粮食货物的禁令应立即恢复。没有这一措施，投机活动将加剧，谷物征购将受到损害。

——斯大林

第 66 号

1932 年 7 月 22 日

译自：Ф.558.Оп.11.Д.78.Л.76.亲笔签名。

注释：

见第 10 号文件。

编号和日期由秘书输入。于 7 月 23 日 0 时 17 分以加密方式发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.78.Л.75.）。

22

Л·М·卡冈诺维奇、В·М·莫洛托夫致И·В·斯大林

（1932 年 7 月 23 日）

机密

加密

拷贝

索契，斯大林同志

劳动与国防委员会已经通过了一项法令，将个人运送谷物量限制在 16 公斤。编号 57/1322/ш。

卡冈诺维奇、莫洛托夫

1932 年 7 月 23 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.78.Л.77.

23

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇、В·М·莫洛托夫

（早于 1932 年 7 月 24 日）

卡冈诺维奇同志和莫洛托夫同志：

1.如果有人反对我提议颁布的这项防止运输中的货物以及合作社和集体农庄的财产被盗的法律，请作出以下澄清。

如果资本主义没有宣布将私有财产的原则作为资本主义社会的基础，资本主义就不可能粉碎封建制度，它就不会发展和加强；如果资本主义没有使私有财产成为神圣的财产，那么资本主义就不可能粉碎封建主义，那它也不会发展和加强。触犯了资本主义的利益将会受到严厉的惩罚，资本主义为了保卫自身的利益则建立起来了它自己的国家机器。如果社会主义不宣布公共财产（合作社的、集体农庄的、国家的财产）的神圣性和不可侵犯性，社会主义将无法摧毁和埋葬资本主义的元素和个人主义的——唯利是图的习惯、技能、传统（这些都充当了盗窃活动的基础）——这些习惯、技能、传统正在动摇新社会的基础。如果社会主义不竭尽全力保护集体农庄、合作社和国家的财产，如果社会主义不能阻止反社会的、民粹主义的资本主义分子掠夺公共财产，它就不能加强和发展新的制度和社会主义建设。为此，需要一项新法律。我们没有这样的法律，这个空白需要填补。这样的新法律，大概可以这样称呼：“关于保护公共组织（集体农庄、合作社等）的财产和强化公共（社会主义）财产的原则（的法案）”，或类似的东西。

如果我的建议被接受，请发过来该法的（初步）草案。

2.在回信中，我曾经写过，有必要将资本投资减少 5 到 7 亿卢布。适用于所有行业，除了交通人民委员部、黑色冶金和轻工业部门。为避免误会，我想告诉您，轻工业是指食品工业（糖、罐头等）。

问好！И·斯大林。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.81.Оп.3.Д.100.Л.137–140.亲笔签名。

注释：

见第 12、14 号文件。

见文件：《斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫（1932 年 7 月 20 日）》。

在信的第一页顶部写着：“同意——莫洛托夫、古比雪夫、伏罗希洛夫、加里宁”。

24

Л·М·卡冈诺维奇、В·М·莫洛托夫致И·В·斯大林

（1932 年 7 月 24 日）

机密

备份

已加密

索契，斯大林同志

根据您的来信，我们制定了苏联中央执行委员会主席团如下决议的草案。

鉴于近年来盗窃运输中的货物以及对合作社和集体农庄财产的盗窃变得更加频繁，而这些盗窃被富农、被没收了生产资料和土地的富农分子和其他反社会分子所利用，旨在破坏我们的新制度，苏联中央执行委员会主席团决定：

1.将铁路运输的货物、集体农庄和合作社的财产赋予与国有财产同等重要的地位。

2.作为司法镇压的一种手段，对于盗窃运输中的货物以及对集体农庄和合作社财产的盗窃行为——适用最高等级的社会保护措施——在情节恶劣的情况下处死刑并没收全部财产，情节较轻的情况下，处不少于十年监禁并处没收财产。

3.撤销对在这类案件中被定罪的罪犯的大赦。

4.指示联盟和加盟共和国的司法机构确保对这些案件进行最快的审判。

请告知您的意见。编号 59/1324/ш。

卡冈诺维奇、莫洛托夫

1932 年 7 月 24 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.78.Л.85.

注释：

在当天斯大林密电回复“答复将通过你们 25 号收到的信告知你们”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф558.Оп.11.Д.78.Л.84.）。见文件：《斯大林致卡冈诺维奇，莫洛托夫（早于 1932 年 7 月 24 日）》。

25

Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1932 年 7 月 24 日）

7 月 24 日

您好，斯大林同志！

您 7 月 20 日来信已收到。

1）在昨天的政治局会议上，我们已经根据您的来信通过了削减 7 亿卢布基本建设资金的决议[①]。同时，我们将这个问题与降低建设成本的问题联系在一起。我们听取了重工业人民委员部、轻工业人民委员部、林业人民委员部、供应人民委员部、交通人民委员部的报告。事实证明这是令人沮丧的：成本价格没有下降，反而有所上升。最主要的是：由于运输问题，建筑材料价格高昂。招聘劳动力的时候没有考虑到建材的需求和存量。结果就是普遍地停工和生产效率的低下。所有这些还要再加上高昂的间接费用。施工现场的管理非常糟糕，计划的执行情况是根据所花费的金钱来衡量的，而不是根据实际工作量来衡量的。我们已经选出了一个委员会以制定具体措施来争取切实地降低成本。至于如何减少成本，我们首先考虑的是剔除计划外和无法保障建筑材料供应的建设项目。

2）当然，船只可以不用从国外购买[②]，而就付款方式而言，它们不与有色金属竞争，船只只需要在 34 年付款，但有色金属需要在 32—33 年付款。

昨天，我们对购买有色金属申请书的所有细节进行了审查，最终发现我们不得不在 32—33 年度稍微扩大支付的限额。32 年需要支付的限额原来被定为 6790 万卢布，现在不得不增加到 7000 万。33 年需要支付的限额原定为 8500 万，现在不得不增加到 8800—9000 万。尽管所有这些增量都不是我们所希望的，但已经没有什么办法再削减这些增量了，我们不得不进口有色金属，因此购买船只的事情先放一放。

3）您及时并抓住要害地提出了与盗窃货物分子，特别是与盗窃合作社和集体农庄分子进行决定性的斗争的问题，否则，腐朽的自由主义就会开始生根发芽，不要忘记，富农已经钻进了集体农庄里面并在内部有组织地对集体农庄的财产进行巧取豪夺。如果我们现在不对这些破坏分子发动攻势，他们将尽一切可能的方式破坏集体农庄，乃至我们整个苏联经济。根据您所表达的要点，我们草拟了一份简短的法律草案，并以电报的形式发给您，如果我们没有成功（把

握您的要点），还请您指正。这（您的意见）可能会对这一方面以及后续写给各州、边疆区委员会的关于国家政治保卫总局任务的机密信件（产生影响）。请告诉我您的看法。

4）我们昨晚在政治局会议结束之后召见了契卡干部们：缅任斯基等人，我们向他们读了您信件中关于他们任务的段落，进行了谈话，我们商定，他们将制定适当的措施并提交给我们，我们会立即通知您。在莫斯科，还是根据您离开之前我们的谈话的精神，我们已经查获了600多名“声名在外”的投机商和二道贩子。而在莫斯科州，我们查获了140个团伙组织者，他们制定了破坏、瓦解集体农庄或让其自动解散的目标并付诸行动。现在，离开集体农庄的人中约有1/3已返回集体农庄。特别重要的（任务）是要加强对农村富农的策略和活动进行观察和研究，有必要加强各地区国家政治保卫总局的机构。我想给叶若夫和布拉托夫下达指示，让他们专门着手开始做加强和充实国家政治保卫总局各地办事处人员的工作。

5）我们听取了有关秋季农业运动的问题。指派了一个委员会并建议他们留意违心的且不可能达到的虚报扩大耕地面积的问题，并注重耕作质量，总而言之，一切都按照您信件的精神执行。

伏罗希洛夫报告了他对北高加索地区田野杂草丛生情况的视察结果，确实，报告有夸大其词的成分，而且总的来说很笼统。但他指出了极其恶劣的田野杂草丛生现象——同这一现象的斗争是不成功的。这也佐证了您在信中所写到的对农业人民委员部管理质量的看法。毫无疑问，现在已经到了需要对农业人民委员部的工作进行重组和提升，并将其管理提高到一个新水平的阶段了。看来，这个问题可以在召开中央全会期间来解决。

6）我们在光荣榜的问题上存在一些分歧：例如，我怀疑是否应该像建议的那样在所有工厂中都需要设立光荣榜。在我看来，您的想法可以简单点说不仅仅是要突出人，也是在突出工厂，它是如何建成的，从时间、质量、成本等方面（来评估）。如果所有工厂都安装了这些板，那么它将不是光荣榜，而仅仅是参考板。我们正在向您发送草案，并征求您的意见。

向您问好，您的卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.740.Л.104-111.亲笔签名。

注释：

①1932年7月23日，政治局成立了一个由古比雪夫担任主席的委员会，审议降低建设成本的问题。该委员会被指示“制定降低建设成本的实际措施草案”，并将1932年第三季度的基

本建设资金减少 7 亿卢布。

②见文件：《斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫（1932 年 7 月 20 日）》。1932 年 9 月 1 日，政治局审批通过了对外贸易人民委员部和水运人民委员部提出的关于在欧洲市场购买轮船的意见（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.13.Л.84,86.）。另见文件：《斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫（1932 年 7 月 20 日）》。

26

И·В·斯大林致Л·М·卡冈诺维奇

（1932 年 7 月 26 日）

你好，卡冈诺维奇同志！

7 月 24 日的信已经收到。

1）如果购买船只的钱可以不早于 1934 年支付，那么我不反对购买船只。

2）在我的信中，我谈的不是购买有色金属的问题，而是购买生产有色金属的设备的问题。如您所知，这两个不是一回事。我认为，在 33 年的控制定额当中，有色金属的生产是应当摆在首要位置的内容之一。这就是我谈到有色金属设备时的意思。

3）我认为将保护集体农庄和合作社财产以及铁路货运的问题与保护集体农庄本身的问题，也就是同那些对集体农庄庄员使用暴力和威胁以及鼓动使用暴力和威胁以使他们退出集体农庄，旨在用暴力破坏集体农庄的坏分子们作斗争结合在一起的法律更加有利，该法律可分为三个部分，其中第一部分将以适当的罪名处理铁路和水路运输货物的案件，第二部分将对集体农庄和合作社所有物（财产）的案件进行适当的处罚，而第三部分是关于保护集体农庄自身免受暴力和来自富农和其他反社会分子的威胁的，犯这几项罪行的，也就是我上回说的这几项罪行的，将对其处以 5 至 10 年徒刑，然后在集中营中监禁 3 年，无权申请特赦。我认为，在所有这三项都有必要依法行事（“男子汉都喜欢讲合法性”），而不仅仅是根据国家政治保卫总局的实践行事，尽管很明显，国家政治保卫总局在这里的作用不仅会减少，反而会得到加强并变得“崇高”（因为国家政治保卫总局机构将“依法行事”，而不是“任意行事”）。

至于在集市和市场上以及在农村地区打击投机者和二道贩子的斗争，这里需要参照之前提到的关于集体农庄贸易的法律制定一项特殊的法律（在这里最好以法律的方式进行操作）。那里有关于铲除投机分子和二道贩子的规定，要求国家政治保卫总局将投机者和二道贩子投入集中营 5 到 8 年，并无权申请特赦。

明白了吗？

本着这种精神，我必须改变前几封信中提出的建议。

4）向斯大林格勒拖拉机厂、莫斯科汽车公司和汽车制造厂供应金属时，发生了丑恶的现

象。可耻的是，劳动人民委员部的空谈家们仍然没工夫拨付物资。让中央委员会立即责成其对向斯大林格勒拖拉机厂、莫斯科汽车公司和汽车制造厂提供钢材的工厂（比如“红十月”钢厂等）进行监督并弥补供给缺口。现在是时候对那些有义务向自动拖拉机企业提供钢材的工厂落实管理责任制了。如果奥尔忠尼启则继续丢人现眼，我们将不得不把他打成“腐臭的墨守成规者”——这种人在劳动人民委员部当中有支持右派分子的最坏的传统。

5）给你一封卡夫塔拉泽的信，我认为您需要给他打电话并帮助他。

问好！

И·斯大林

7 月 26 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.81.Оп.3.Д.100.Л.1–7.亲笔签名。

注释：

1932 年 9 月 1 日，政治局通过了对外贸易人民委员部和水运人民委员部提出的关于在欧洲市场购买船舶的法令草案（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.13.Л.84,86.）。参见文件：《斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫（1932 年 7 月 20 日）》《卡冈诺维奇致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》。

斯大林的建议在 1932 年 8 月 7 日著名的《关于保护国营企业、集体农庄和合作社的财产和加强公共（社会主义）财产》的法律中得到落实（《真理报》1932 年 8 月 8 日）。见《斯大林致卡冈诺维奇和莫洛托夫的文件（1932 年 7 月 20 日）》《斯大林致卡冈诺维奇和莫洛托夫（1932 年 7 月 24 日早期）》《卡冈诺维奇和莫洛托夫致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》。

1932 年 8 月 2 日，政治局向国家政治保卫总局提出“在 3 天内向中央委员会提交打击投机活动、投机者和粮食二道贩子的具体措施”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.13.Л.52.）。1932 年 8 月 13 日，政治局根据卡冈诺维奇的提议作出决定，批准关于打击投机的法令，并在 8 月 23 日公布，同时把门任斯基给国家政治保卫总局机关的关于打击投机活动的信作为参考，并抄送给中央委员会所有成员（同上，Оп.3.Д.896.Л.13.）。苏联中央执行委员会和人民委员会关于打击投机活动的决议规定，将投机者和二道贩子者关押在集中营中 5 至 10 年，且无权赦免。参见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1932 年 7 月 24 日）》。

1932 年 8 月 8 日，政治局通过了一项关于向汽车拖拉机行业供应优质钢材的决议，其中特别建议国家贸易和工业委员会“在两天内提交向汽车和拖拉机工厂提供钢材的月度计划，并

说明每个工厂订单的确切分配情况和时限”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3Д.895.Л.7,21–23.）。

卡夫塔拉泽的信件丢失。

27

联共（布）北高加索边疆区委书记Б·П·舍博尔达耶夫致联共（布）中央委员会书记И·В·斯大林关于必须削减在边疆区的谷物采购计划的报告

（1932 年 8 月 20 日）

边疆区的收成和谷物征购情况十分困难。还是在六月底、七月初的时候我认为收成至少会和去年相同，甚至更好，然而现在，很明显，今年谷物总产量相比去年较低，特别是麦子产量（冬小麦和春小麦），随着针对集体农庄采购计划的完成，剩下的谷物比去年少了很多。

很难确定某些因素对 7 月份作物收成急剧减少的影响。毫无疑问，集体农庄和国营农场的管理不善（播种晚、缺乏农作物轮作、田间耕作不佳）再加上大量的杂草和庄稼间苗，影响到了谷物的灌浆，但还有特殊的自然条件（“风旱不实”“堆积”“锈病”“雾”，农艺师和农业工作者这么称呼这些现象），这极大地降低了集体农庄作物的产量，在某些情况下部分地区颗粒无收（格奥尔基耶夫斯克、上亚历山大罗夫、莫兹多克、原普罗赫拉德涅茨基等地区），最后，收割条件（降雨一个半月）也导致了一些损失（谷物发芽）。

今年夏天，集体农庄庄员的工作比去年更好，但也更加警觉了，特别是在谷物征购方面。

集体农庄庄员的主要不满是：

a）批评我们对农业工程的管理不善和反对命令主义；

b）几乎在每个地方都可以听到公开表达的顾虑，即“在边疆区将遭遇与乌克兰同样的处境”，而这种顾虑对富农的挑衅几乎没有抵抗力；

c）抱怨缺少衣服和其它日用品。

在将粮食采购计划传达给各区和集体农庄时，我们遇到了各区领导的巨大阻力和对该计划传达到集体农庄的恐惧。在集体农庄，计划遭遇了巨大的阻力，也就是说，没有作为饲料的谷物，食品配给被削减（每个工作日少于 1.5-2 公斤），很多人拒绝接受计划，磨洋工，庄员拒绝工作，甚至还出现了退出集体农庄的个别案例。

我们在 7 月 25 日之前将最终计划带到了各区，此后很明显，我们错算了 19 个地区（克鲁泡特金区、萨利斯克区、格奥尔吉耶夫斯克区、明斯基火车站、库尔萨夫斯克区、维诺捷林区、

梅切金斯克区、奥特拉德纳亚区、阿尔马维尔区、B·顿斯科伊、亚历山大罗夫区、卡缅斯基区、库尔加宁斯克区、矿水城区、涅维诺梅斯基区、季马绍夫斯克区、乌斯季拉宾斯克区、季霍列茨克区、原卡涅夫斯科伊区）的征购量，就像这些区自己同样算错了一样。而且在收割和脱粒过程中发现产量总体情况比预期还要差。所有这一切使我们同许多地区的关系陷入了严重困难的境地——我们在这些地区的计划前后矛盾（有时我们的征购计划甚至高于当地作物的总收成），这种困难的境地不仅对于集体农庄的庄员，对于我们自己来说都是显而易见的。

为了纠正这些明显的不当之处，以缓解整个计划的强度，我请您允许：а）将上述区域集体农庄部门的总体征购计划拟定为 550 万普特，按区分配给我们 4%作为保障粮。同时，当然要注意到的情况是，这一请求削弱了对全面征购计划的保障；б）通过将黑麦的征购量增加 200 万普特，将玉米的征购量增加 300 万普特的办法，将中央委员会拟定的小麦征购量减少 500 万普特，这是最低限度的、绝对必要的照顾条件，为的是在接下来的时间里集体农庄能够灵活调整以实现和执行该计划。我不能肯定地说，在这样的条件下，集体农庄和农业部门能够实现上交 1.36 亿普特粮食的任务。我认为会出现 1000—1500 万普特的缺口。但这（我的想法的对错）会在接下来围绕粮食的斗争当中得到验证。

国营农场的情况大致相同，显然不会征收到 5—6 百万普特的粮食。雅科夫列夫同志已经采取措施通过向更多的产粮区增加征购来减少北高加索地区国营农场的征购计划，如果按照拟定的计划执行，那么这个计划的完成显然是有保证的。我认为与去年相比，绝对有必要大幅度改变征购的速度，同时需要将更多的精力集中在及时收获大田作物（为冬季作物的播种留出空地）、冬季播种和犁耕上来。即：7 月征购 600 万普特，8 月份——5000 万普特，9 月份——4000 万，10 月份——4000 万，11 月份——3000 万，12 月份——1500 万，最终，边疆区各部门总的征购量将达到 1.81 亿普特，换算为 1.86 亿俄升。

尽管做了大量的工作，但是在个体部门的粮食征购遭遇了极大的阻力，并且（个体部门）直接拒绝执行征购计划。

请中央委员会考虑是否允许：а）在社会工作的基础上，在苏维埃的监督下对个体农民的谷物进行联合脱粒（个体农民无权在自己家脱粒——译注）；б）剥夺那些不履行计划的人购买日用品的权利，并в）在个别情况下，如果拒不执行征购计划，则根据《刑法》第 61 条的有关内容将其绳之以法。

在一些地区，我们的小麦颗粒无收，而且无论如何，存下来的小麦都不适合做种子。因此，有必要为这些地区的冬小麦播种提供约 150 万普特的种子援助，其中的一部分用来换取饲料作

物。在边疆区的调配下，除了从所有俄升当中扣除 10%（约 120 万普特）用来充当全年的救济，我们的手中没有任何的资源，因此只能由中央来解决该问题。

舍博尔达耶夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.81.Л.107–110.原稿。

28

联共（布）中央书记И·斯大林致联共（布）北高加索边疆区委书记Б·П·舍博尔达耶夫关于拒绝削减粮食征购计划的密电

（1932 年 8 月 22 日）

机密

我收到了您关于削减计划的说明，并将其发送给中央委员会。我不能支持你，因为该地区在粮食征购方面的表现很差。如果你说是在干旱期间的话，中伏尔加在第三个五工作日已经上交了 400 万普特的粮食，而你们边疆区还没有交够 200 万普特，这意味着边疆区委面对困难惊慌失措并向放任自流思想的鼓吹者投降。要么至少边疆区委在耍弄外交手段并试图牵着中央的鼻子走。请您同意我不能支持这样的工作。

——斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.81.Л.105.经过验证的副本。

29

联共（布）乌拉尔州委第一书记И·Д·卡巴科夫致联共（布）中央书记斯大林关于请求不要增加九月份谷物征购量的密电

（1932 年 9 月 10 日）

机密

在 8 月末 9 月初，我们被分配了 18.3 万吨的谷物征购计划，其中包括谷物征购计划和还贷。9 月 9 日我们收到了征购委员会将 9 月征购量再增加 8 万 2000 吨的指令。9 月份的采购计划已经于 9 月 1 日下放到各地，而收成不好，由于下雨，晚熟作物的成熟期推迟了。现在所有的力量都被用到谷物收割上，有必要不惜一切代价在接下来的 10-15 天内在畜力表现糟糕、交通极为困难的情况下完成收割。

我恳请您将乌拉尔的征购计划保留在之前确定的 18.3 万吨，我们将下发到各地的征购计划降至 22.1 万吨。但是有这种担心，鉴于目前的情况，现在很难完成 9 月份的计划，现在需要完成的是播种。

卡巴科夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.81.Л.148.

30

联共（布）中央书记И·В·斯大林致联共（布）乌拉尔州委书记И·Д卡巴科夫关于拒绝削减九月份粮食征购计划申请的密电

（1932 年 9 月 12 日）

绝密

很遗憾，由于苏联的局势，我们无法满足您的要求。因此，联共中央决定：“驳回卡巴科夫同志削减 9 月分粮食征购计划和种子贷款返还计划，将粮食征购计划保持在 18.3 万吨，种子贷款返还计划定在 8.2 万吨以上。”

——中央书记斯大林

译自：АПРФ.Ф.3.Оп.40.Д.81.Л.149.经过验证的副本。

31

苏联农业人民委员Я·А·雅科夫列夫致联共（布）中央书记И·В·斯大林

关于 1933 年粮食征购系统的报告

（1932 年 9 月 17 日）

在此，我根据您的指示，附上一份有关 1933 年谷物征购系统问题的有效材料。

当前谷物采购系统的根本缺陷是，每个集体农庄的征购规模的确定只能由该地区来决定。没有法定标准来确定征购规模的大小。

当前的征购系统有这样的根本性的缺陷（这一缺陷在很多情况下使他们增加了分配的任务），原因在于很多地区并不真正了解他们的集体农庄，很难真正了解这 70—80 个集体农庄当中的每一个的资源禀赋状况——而很多地区都有 70—80 个左右的集体农庄。

因此在大多数情况下地区会选择阻力最小的办法，也就是拿走多余的粮食，来平衡集体农庄的要求。大规模播种和大规模收割的好处就这样被集体农庄自己消除了。

如果每个集体农庄和社员都能在政府颁布的法律范围内，计算集体农庄应上交国家的粮食份额，也就是处于农庄和社员完全的、无限制的支配下的粮食份额，我们才能够从收购的角度，从处理与农民关系的角度赢得无可置疑的胜利。

只有出台一部法律规定集体农庄每公顷不同收获量和不同播种量应上交国家多少才能实现这一点，以便在该法律的基础上，每个地区在收割前制定每个集体农庄的收购计划。应公布相应的粮食收购税率表。

每种产量都应该有自己相应的粮食收购税率，这些收购税率的增长应该是集体农庄自己可以看到的，而不是借助于任何复杂的计算才得出，基于税率表，随着产量的增加收购规模提高，这一提高得益于集体农庄和集体农户资源增加的结果。

确定粮食收购规模的第二个标准是人均粮食播种面积。显而易见，我们不能对人均播种面积半公顷的低播种农庄和人均播种面积 2 公顷的高播种农庄采取相同的收购标准。因为后一个农庄的物质资源大大超过了前一个农庄的物质资源。因此，随着人均粮食播种面积的增加，收购税率表应该给出播种面积每增加一公顷获得的粮食产量应征收的收购量。

最后，在确定征购规模时，还需要对牲畜的供给量进行一定的调整。不言而喻，我们应该给予拥有更多牲畜的农庄一些优惠措施。所以，我们拟定集体农庄的人均牲畜占有数量超过一定标准，应给予最高10%的折扣率。

制定收购税率只有符合以下这两种情况时这些收购税率才适用：1）保证每一个区域粮食收购利益；2）在任何情况下，无一例外，要保护集体农户由于在粮食种植面积增加特别是产量提高中的利益。

所附收购税率表的构建方式是这样计算的，不管是由于播种面积扩大还是农作物产量增收所带来的集体农庄人均产值增加，增加的一半留给集体农庄，另一半则上交给国家。这条规则适用于所有税率，无一例外，任何集体农庄都可以根据此税率表计算出由于播种面积扩大或是粮食产量增加所获得的粮食收购的增加量以及自身资源的增长量。

在制定新的粮食收购规则的同时，我们认为有必要改变现有的集体农庄收入分配制度，每一户集体农庄家庭只要劳动量达到集体农庄劳动量的平均值，则每一户集体农庄的家庭成员就应该获得平均的口粮（该标准的提高或是降低依据每个农户家庭成员工作量是高于还是低于集体农庄劳动量的平均值）。

这张统计表没有考虑消耗区域，这些区域由于特殊的条件，我们在那里收获粮食不多和个体农户们在各方面条件下必须保留现有的标准。

附录中除税费率表（第1号）外，还附有实施税率表所需指标的参考表（第2号），以及国家从集体农庄收购粮食的大致总标准表（第3号）。

Я·雅科夫列夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.82.Л.83–85.原稿。

注释：

附录未发布。见表1-3。АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.82.Л.86–88.

32

乌克兰共产党（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州委第一书记M·M·哈塔耶维奇致联共（布）中央书记И·В·斯大林关于乌克兰粮食征购计划不切实际的信

（1932 年 10 月 22 日）

到今天我在乌克兰工作已经有 9 天了。如果我声称对当地情况有全面的了解，至少对我来说是很奇怪的。但是其中一些我仍然认为有必要写。

为了充分履行其整个年度粮食征购计划，除了已经征购的 1.4 亿普特谷物外，乌克兰还必须提供约 2.35 亿普特。对我来说，乌克兰给不出这么多粮食已经是完全无可争辩的事实了。如果您之前只有年度谷物征购计划进度的日历上的日期，而没有任何计算和对其可行性的具体验证，那么这些日期本身就可以确定，也就是说，在 10 月 15 日是第一个时间节点，3.5 个月的粮食征购仅略超过计划的 1/3，而剩余的 2.5 个月通常在征购中所起的作用不那么重要，剩下的 2.5 个月仍要完成年度计划的 2/3，这一事实本身就表明当前未完成的谷物征购计划有着某些不足。最普通的核对计算表明，许多地区的谷物采购征购的确过于紧张。在敖德萨和第聂伯罗彼得罗夫斯克地区，当前的谷物征购计划规定每公顷农作物的征购量超过 5 公担，对于许多集体农庄而言明显地负担过重，在计划实施后，集体农庄就没有种子、饲料或食物了。哈尔科夫州相当一部分地区的计划也过于紧张。也许这是由于现在粮食收成很大一部分在收获时，由于盗窃和浪费而流失所产生的结果，但事实如此，现在你无法在这些地方的集体农庄找到实现粮食计划所需的全部粮食。

根据年度计划，乌克兰各地的个体农户必须交出 5200 万普特，而截至 10 月 15 日已经从他们那里收了略多于 1200 万普特。很显然，在头三个月的谷物征购中我们没有办法从个体农民获得哪怕计划三分之一的谷物，所以，当他们（个体农民）设法浪费和藏匿他们大部分的收成时，就没有希望完成征购任务。

在 10 月的第三个五工作日期间，乌克兰各个部门仅征购了 290 万普特谷物，而在第二个五工作日则征购了 400 万普特，而第一个五工作日则征购了 600 万普特。自苏维埃乌克兰成立以来，还从来没有过这样的情况，在粮食征购决定性的月份粮食征购量如此之少。

除了地区和农村积极分子被涣散和极度消沉所支配这一原因之外，没有别的办法可以解释

征购工作进程闻所未闻的缓慢的原因。九月份的数据表明，播种活动有可能削弱了粮食征购工作。但导致的结果是人们为粮食进行的斗争中止了，而为了播种进行的斗争却几乎没有因此加强。粮食采购的曲线之后不受控制地在低位徘徊直到 10 月 15 日。十月的第四个五工作日应该使这个曲线向上突破。如果第四个五工作日提供 400 万普特的粮食——而不是第三个五工作日征购的 290 万普特的话，那就会多少有点安慰，为了在 1 月 1 日这个最后期限前完成计划，必须每五工作日至少提供 1400-1500 万普特的粮食。而将粮食征购计划的执行推迟到 1 月 1 日之后，将不仅困难而且危险。我们事业的利益要求在 1 月至 2 月将所有注意力和所有精力集中在为春季播种作准备、补充种子、整顿拖拉机站和集体农庄马匹上。

所有这一切的结论应该是，既然已经很清楚乌克兰从它的粮食中给不出全部 2.35 亿普特，那么我们应该尽快完全弄清，在这里（乌克兰）我们应该为多少粮食而奋斗。应尽快对哈尔科夫、第聂伯罗彼得罗夫斯克和敖德萨地区大部分集体农庄的谷物交付计划进行修订。没有这项措施的话，在这些集体农庄中，收入的分配，特别是其中的实物收入部分的分配，就会被拖延；乌克兰绝大多数的集体农庄庄员尚不知道自己将得到什么和得到多少，他们能折算多少工作日，或者知道他们实际获得的实物将会非常之少。根据所有数据，乌克兰在主要农业战役中持续落后的首要原因之一是集体农庄庄员自我感觉较差，集体农庄缺乏应有的生产积极性。为了在这点实现关键的突破，为了在集体农庄群众中迅速掀起应有的生产高潮，首先有必要解决集体农庄收入的分配问题，并在此基础上改善集体农庄中集体农庄生产的劳动力的组织状况。

为此，有必要尽快对那些实际上已课税过重的集体农庄的谷物征购计划进行必要的修正。没有这一点，就不可能以应有的顽强精神、坚定性和毅力为在乌克兰收获其可以承受并应该准备完成的征购量而斗争。将粮食征购从目前的低得可怜的低水平上提升需要很强力的施压。这种施压只有在对当前的粮食征购计划进行这样的调整——调整可使人们确信集体农庄剩余的粮食可以满足对口粮、饲料和种子最低需求——的情况下才会易于实施并达到应有的效果。

当然，对我而言，要确切地说出在乌克兰实际上可以征购多少谷物非常困难。我作为一名乌克兰人还是太年轻。但是，恐怕这个数目听起来像 7000 万普特（其中 5500-5800 万普特来自集体农庄部门）。

我决定主动提出这个问题，只是因为我认为不可能将这一问题再推迟哪怕一天。乌克兰共产党（布）的几乎所有领导成员，包括丘巴尔和柯秀尔，都在为粮食征购、冬季播种和甜菜收获四处奔忙。我被独自留在了哈尔科夫，他们只会在 11 月 1 日返回。而我认为不可能等到 11 月 1 日再向联共（布）中央反映乌克兰的粮食征购形势。

哈塔耶维奇致共产主义的敬礼

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.82.Оп.40.Д.82.Л.136–140.原稿。

33

乌克兰共产党（布）中央委员会第一书记C·B·柯秀尔致联共（布）中央书记И·B·斯大林关于乌克兰粮食征购和播种的信

（1932 年 10 月 23 日）

斯大林同志！

今天，我从哈塔耶维奇那里收到了他寄给您的关于粮食征购计划的信的副本。我相信，哈塔耶维奇在未经我同意的情况下做这一切都是错的。

在我离开（哈尔科夫——译注）去各区之前，我与他进行了关于粮食征购的谈话，他似乎已经同意在我回来后将这个问题交给您。我们不同意这些数字，因为这需要进一步仔细研究。哈塔耶维奇自作主张提出这个问题迫使我在我们乌克兰共产党（布）中央政治局，一定程度上在您面前处于一种尴尬的境地。

现在问题的本质是我们被迫要求征购计划打折，这是毫无疑问的。但我认为这项工作不能操之过急。我在各地区看到的情况证实了这一观点。现在，堆栈中仍然有很多未磨碎的黑色谷物。当然，正如哈塔耶维奇所写的那样，尽管确实有一些集体农庄被过度征税的事实，但仍然无法确定哪个集体农庄被过度征税。

大多数草原地区仅完成了 40-50％的粮食征购计划，集体农庄的最终收成尚不得而知。而现在开始大范围缩小计划就是破坏计划本身。更为重要的是，草原在 10 月份（由草原提供大部分谷物）实际上退出了粮食征购工作，因为（有 3/4 的可信度）所有畜力和机械动力都转而用来播种工作，而脱粒和粮食征购工作停止了。

从 10 月 25 日起，主要的工作转向脱粒和粮食征购。因此，11 月将是粮食征购最紧张的月份，这决定了年度计划的命运。粮食征购工作也存在松懈现象，但所有地区现在都存在着不惜一切代价播种的想法，这也是事实。

如果推迟粮食征购，即使在集体农庄这一块，我们也会损失一些粮食，特别是在个体农民这一块，我们将损失很多。尤其麻烦的是，不仅对集体农庄，而且对个体农民的粮食征购都已完全停止。毫无疑问，粮食浪费现象正在蓬勃发展，当然，不是在集市上，而是秘密地在小窝里，同它们的斗争几乎没有。

可以肯定地说，至少在个体农民那里，我们不会获得2500万粮食。此外，有必要将敖德萨、第聂伯罗彼得罗夫斯克、顿涅茨克和哈尔科夫州的集体农庄计划修改为2500万，当然，针对个体农民的计划不能减少。到年底，这2500万应该被视作未完成个体农民计划。我认为有必要在11月下半月对各州和各集体农庄的征购进行打折，以免动摇11月的谷物采购计划。

现在介绍播种的情况。草原正在竭尽全力赶上播种速度。我毫不怀疑敖德萨和第聂伯罗彼得罗夫斯克州会完成农村地区的播种，但是它们被谷物采购托拉斯的国营农场拖慢了。例如，一个敖德萨州在214.6万公顷的总体计划中，国营农场有35万公顷的播种计划，到目前为止，国营农场的播种量为40%，而对于谷物采购托拉斯来说，播种的比例要低得多，而对于单独的粮食国营农场，播种率要高得多。达到20-25%。国营农场的拖拉机工作非常糟糕，即使增加更多的拖拉机，人员配置也非常脆弱，正如我在许多场合确信的那样，他们现在无法消化和驾驭这些拖拉机。

国营农场的财务状况简直是绝望的。他们不仅几个月没有支付工资，也没有偿还集体农庄用于帮助它们所产生的债务，而且许多国营农场甚至没有用来发电报或者逃荒的50-100卢布。通常，国营农场除了粮食之外，没有任何自己的自然资源，工人、包括拖拉机手的吃食都非常的差。家庭住所要么无用，要么完全没有，所有这些加在一起导致劳动生产率低和离职率高，工人整体上的短缺尤其是拖拉机手的短缺使他们如一盘散沙。

总的来说，我认为我们将使乌克兰的冬季作物达到1000万公顷，也就是说，有5-6%的地方不会播种。到处都是幼苗，特别是在旱地播种的幼苗。在这件事上，我们无疑有处理专家的野蛮保守主义，而在他们的背后，是集体农庄甚至我们的工人的野蛮保守主义。要不是我们在旱地上播种的话，我们的播种量将至少减少20%。现在，各地的农民都感到遗憾的是他们没有在旱地上播种更多。在某些情况下，播种的谷物在干燥状态下在地面上闲置了一个月、20天等，在有些人认为它们已经腐烂消失后，雨水使它们露出了美丽而友善的枝条。

现在整个乌克兰南部，甚至在右岸的天气，都非常有利于播种和加强后期发芽。

集体农庄的气氛也不错。去年的记忆得到了抚平。在基辅和文尼察州，即所谓的乌曼和白采尔科维区，情况更糟，尽管粮食征购已经大打折扣，但在一些实际上已经从粮食征购当中解放的区，播种仍然很差。

С·柯秀尔

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.82.Л.132–135.原稿。

34

Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林

（1932 年 11 月 5 日）

您好，亲爱的斯大林同志！

您已经知道了我们的决议。除了我们传达给您的信息之外，我们还在国家政治保卫总局、检察院、日用工业品、军队等系统采取了一系列措施。现在将这些措施发送给您进行审核。现在的问题在于如何实施。我们认真地把机器包装好了，但是应该坦率地告诉您：在这里，无纪律性、松懈在所有领域的工作中都特别严重。

在库班各区的书记会议上，我们看到他们的各种嘴脸，只有党的书记的嘴脸没有看到。他们是地方自治工作者、私营商店合伙人、党内庄稼汉的说客。在这些情绪之下，我不得不羞辱、责骂和纠正他们。

昨天我们召开了一次国营农场负责人会议，情况更加令人恶心。一方面，人们的举止像乞丐一样，向基督求情，另一方面，有些人则以败坏的甚至反党的方式行事。如果需要撤职的话，则必须得撤掉一半以上人的职务，而剩下的人也需要整顿。在村子里没有人为粮食和播种加劲工作。法院判了刑，但没有执行判决，很明显，在这种情况下，他们嘲笑我们，剪掉谷穗，然后说脱粒结果表明收成不好。新的手工磨坊网络建立起来了，反革命分子静观其变。是的，形势和我们不合格的工作——不合格的地方组织的工作、自由主义、无所作为和机会主义都有利于建立反苏组织。现在我们必须弥补所遗漏的东西，这不可避免地会导致一些过火。我们将努力防止它们发生，但是由于所有这些都将突击地进行，因此很难避免一切（过火）。无论如何，现在的主要任务是战胜毫无疑问是由一个中心组织和指挥的破坏活动。

好吧，关于这点说完了。现在我要从克拉斯诺达尔去村庄。我认为应该去最不怀好意的波尔塔瓦州，那里有 400 名老师、医生和技术人员+团长、土匪二当家的等。

问好！再见。

您的Л·卡冈诺维奇

P.S. 亚戈达同志会跟您详细地说。Л·卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.740.Л.177–180.亲笔签

名。

注释：

1932 年 10 月 22 日，政治局派卡冈诺维奇作为中央委员会的负责人前往北高加索，“以加强征购工作”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.904.Л.11.）。委员会成员包括米高扬、切尔诺夫、尤尔金、加马尔尼克、什基里亚托夫、雅戈达、科萨列夫。11 月 2 日，该委员会抵达顿河畔罗斯托夫。同日，召开了农村区委书记会议，11 月 4 日，召开了全区国营农场主任会议。在卡冈诺维奇的领导下，在北高加索地区进行了党组织清洗、大规模逮捕“反革命分子”和将农民驱逐到国家的偏远地区。1932 年 12 月，信中提到的波塔夫斯卡亚车站的全部居民（超过 9000 人）被完全重新安置到乌拉尔（更多详情请参见：Н·А·伊夫尼茨基《集体化和对富农的剥夺（30 年代初）》莫斯科 1994 年版，第 193-196 页）。

35

联共（布）乌拉尔州委第一书记И·Д·卡巴科夫致联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫请求在1932年11月底前不对落后地区的区执委会书记采取镇压措施的密电①

机密

1932年11月10日

我们请求在月底前不要对在乌拉尔州粮食征购中落后地区的区委书记和区执委会主席作出组织上的结论。

对于我们而言，我们正采取非常措施以加强在乌波罗沃、马斯良斯基、别尔久日耶、维库洛沃、伊希姆、喀山、佩图赫、库尔塔梅什、莫克罗乌索沃、波多文内、克奇卡尔、特罗伊茨基、乌韦利斯基、锡温斯科耶、伊谢季、塔夫达、戈雷什马诺沃、列比亚热夫斯基、勃洛文斯基、博罗多克尔马茨基、比什基尔、梅什基诺等区的粮食征购工作。

为了执行计划中的措施以加强对落后地区的粮食征购，今天在州领导人的带领下有300人出发了。

卡巴科夫、奥夫新采夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.83.Л.123.原稿。

注释：

①该文件包含И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫的批示：“我同意卡巴科夫、奥夫新采夫同志的看法。——斯大林”“同意。——莫洛托夫”）。

36

联共（布）哈萨克边疆区书记Ф·И·戈洛谢金致联共（布）中央书记斯大林关于在粮食征购中采用镇压措施的密电

（1932 年 11 月 21 日）

机密

在审看了 11 月 20 日卡西阿尼向中央委员会提交的电报后，边疆区委会报告：

1）黑榜上只列出了 3 个地区，而不是卡西阿尼所报告的 19 个。

2）对 14 个有决定意义的产粮区施行了限制贸易的措施，而并没有在黑榜上公布。

3）在 10 月 28 日已经被我们上报到中央的地区，黑榜上只列出了对谷物征购激烈抵制的个别集体农庄，总共有 87 个这样的集体农庄。

4）在卡西阿尼特别提出抗议的克孜勒—奥尔达和卡拉马奇—卡扎日斯克地区，它们并没有在黑榜上列出，但建议州委员会确定需要在黑榜上列出的集体农庄。在这一区域我们有高度商品粮化的大米和谷物集体农庄。同时，在这些区域——在现有计划比原计划削减了一半的区域——征购工作处于不可接受的低水平。比如，在克孜勒—奥尔达，才完成了计划的 17%，盗窃和侵占行为在那里发展到了登峰造极的程度。

5）我们还认为，我们要向黑榜上列出的定居农业区的集体农庄庄员，特别是违抗征购的庄员们宣布，按照中央委员会 9 月 17 日的决议[①]，他们在完成征购计划前不允许私人有权使用牲畜。这项条款和边疆区委员会认为可能不正确而需要改正的强制迁徙条款都在州和地区的新闻界被公示出来。

6）到 11 月，哈萨克斯坦的谷物征购形势处于较低水平：比去年同期减少了 800 万普特，此外，边疆区委发现了大量异常情况，包括消极对待粮食征购，以及主动挑起破坏和恐怖活动，同时发现了大量共产党员与这些行动合流——出于破坏的动机与阶级敌人合流——的事实。

因此，在收到 11 月 8 日中央委员会的电报后，边疆区委员会认为对个别地区和集体农庄采取类似措施是完全正确的。正如电报中已指出的那样。[②]

7）边疆区委员会承认没有及时将上述措施通知中央委员会的错误。

8）鉴于已经发生了卡西阿尼向中央发电报的情况，并考虑到我们进入了征购最困难的时

期，边疆区委员会请中央委员会就此问题作出决定。

边疆区委书记戈洛谢金

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.83.Л.138–138об.

注释：

①这里提到的是1932年9月17日布尔什维克中央委员会政治局关于“哈萨克斯坦农业特别是畜牧业”的决议（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.13.Л.113.П.20/2,Л.116–117.）。

②这里显然提到的是И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫于1932年11月8日发送至各地的电报，其中涉及对乌克兰的镇压问题（暂停向村庄运送货物，直到实现粮食征购计划为止等）（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.45.Л.22.）。

37

联共（布）中央书记И·В·斯大林致哈萨克斯坦领导关于在粮食征购中采取镇压手段必要性的密电

（1932 年 11 月 21 日）

机密

收到了卡西阿尼对人民委员会和哈萨克斯坦边疆区委员会关于谷物采购的最新命令表达不满的密电。卡西阿尼同志的评价在其他条件下或许是正确的，但在给定条件下则完全错误。卡西阿尼同志没有考虑到，在过去的五个工作日哈萨克斯坦的谷物采购量一骑绝尘般暴跌并且事实上导致谷物征购进程中断，尽管事实上我们已经尽可能削减了谷物征购计划，目前的征购量仍然拖欠征购计划 1000 万普特。在这种情况下，任务中首先有打击该地区和该地区下级地区的共产党员的内容，这些人完全成为了小资产阶级分子的俘虏，并且已经步入了富农暗中破坏谷物采购的轨道。显然，在这种情况下，人民委员会和边疆区委员会只能采取镇压的行动，当然，这种情况不能仅限于镇压，因为同时需要广泛而系统的解释工作。

——斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.83.Л.137.经过认证的副本。

38

联共（布）中央黑土州委书记И·М·瓦列伊基斯致联共（布）中央委员会总书记И·В·斯大林关于粮食征购、秋天播种以及农村形势的报告

（1932 年 11 月 28 日）

绝密

粮食征购计划于今年 9 月 25 日开始。在中央黑土州完成了 1.03,315 亿普特（不包括谷物加工费和种子贷款），占年度计划的 83.6%。仍然要采购 2039.1 万普特。国营农场还差 153.5 万普特，集体农庄还差 1047.5 万普特，个体农民还差 838.1 万普特。

10 月，尤其是 11 月的粮食征购非常紧张。中央黑土州粮食征购压力产生的原因是燕麦和小麦单产量和总产量大幅度下降。而其它品种谷物的单产量更是显著低于燕麦和小麦，而且，由于灌浆期发生的风旱不实和锈病导致我们损失了很多燕麦。8 月初连续数天的干热风导致燕麦的产量降低了 2 倍甚至 3 倍，由于没有脱粒的必要性，一些国营农场割了燕麦做马料。大多数地区的燕麦征购与其他作物（黑麦和颗粒粮）的征购重叠。

1932 年，中央黑土州燕麦八月份单产下降的一个例子表明，当在七月份制定征购计划时，收成还不能最终确定，特别是对于春播和更晚播种的作物而言，因此有必要给予更多的保护额度——比我们向中央黑土州下达集中计划时规定的保护额度（5%—6%）更多的保护额度。

当计划在 7 月制定时，保护额度必须至少达到 10-12%。然后，在 9 月、10 月以及征购运动结束之前，我们应该能够更加自由地通过随机应变降低对个别地区和集体农庄的要求，事实证明，这些个别的农场由于单产和总收成的变化，赋税加重了，反之，其它的集体农庄，赋税减少了。

鉴于今年保险不足，我们发现自己不得不重复去年在一些集体农庄上的经历而且必须以追加征购计划——在他们完成的计划基础之上的追加计划——作为回应。

粮食征购的主要困难在于个体农民。而比各地按经济部门执行的谷物采购计划更高的征购数目则加剧了这种困难，实际上这些征购数目未必是准确的：根据所有数据，这些地区分给个体农民的征购计划要比为该地区制定的计划大得多，并且（实际执行的征购计划）放过了集体农庄。这样一来，针对个体农民的征购计划被大大扩大了，大部分未完成的粮食征购都是由个

体农民承担的，而他们对征购坚决抵制——他们将谷物埋在坑中、邻居家，或者将其挥霍浪费掉，等等。

我们向中央委员会通报了我们为实现粮食采购计划所采取的措施：超过 12,000 个集体农庄工作组正在从事粮食征购任务，这还不包括州委员会的授权代表和地区委员会（的工作人员）。

但是谷物的征购进展非常缓慢。在我看来，对于个体农民以及在某些地区的集体农庄而言，当前谷物征购计划是不切实际的。而不切实际的程度有多大——没有必要确定，因为主要的任务是确保征购计划的完成，并通过征购从集体农庄和个体农民那里拿到一切可以拿到的东西。

中央黑土州的秋季播种相对令人满意：播种了 380.4 万公顷。这样一来，冬季作物的播种面积增加了 6 万公顷。

对于黑麦，我们超额完成了播种计划——104.5%；小麦——表现不佳——播种量为 72.9%，这可以解释为小麦产区小麦歉收所致。

国营农场完全完成了冬季播种计划，但国营谷物农场除外，后者仅完成了 76%。

今年冬季播种较早，冬季农作物的发芽情况令人满意。个体和集体农民的土地上的冬季作物播种面积有所扩大。

耕犁计划已完全实施（97.1%）。对甜菜地的深耕今年增加了两倍半。

我们预计在 1933 年秋播种 50 万公顷的向日葵，芫荽和另一些经济作物来替代春播作物，因为去年经济作物的播种经验是积极的，经济作物贡献了更多的收成。但是意外的寒冷和暴风雪干扰了播种，因此冬季播种春季作物的计划没有完成，仅播种了 8 万公顷向日葵和芫荽。

今年挖出了 1952.9 万公担的甜菜——比去年增加了 300 万公担；但是计划没有完成。截至 11 月 24 日，糖厂共接受了 1482.3 万公担的甜菜，占计划的 42.3%。今年，已经向糖厂输入了比去年多 250 万公担的甜菜。甜菜计划将无法实现。特别是在南部糖厂集团所在地区（前别尔哥罗德和利沃夫地区）的收获量尤其低；而中央黑土州的东部地区收获量相对较高。

这使得将甜菜运到糖厂的工作困难重重。目前，在火车站的货栈里堆放着 16000 车皮的甜菜。其中仅东南方向的铁路上就堆放着 8600 车皮的甜菜，而且这些甜菜刚好位于这样的地方——糖厂需要用 200—500 天才能把所有原料装载完毕的地方。

为了无损失地运走所有甜菜，必须向舍别基诺工厂集团发送至少 6000 节车皮——从鲍里索格列布斯基区向舍别基诺区和别尔哥罗德区以及其它未能装载原料的糖厂（发送车皮）。如果我们不这么做，那么一部分甜菜会由于得不到及时的加工而变质，我们就会损失成千上万普特的糖。

我们要求联共（布）中央在 12 月 25 日之前对甜菜的运输作出特别决定，无论铁路有多困难。因为截止 11 月 23 日，货栈里已经存放了 1329521 公担的糖。

如您所知，中央黑土州今年针对马铃薯的征购和运输制定了宏伟的计划。11 月 25 日，已经运送了 258,570 吨马铃薯：这个数字被低估了——实际上运送了更多的马铃薯，因为许多组织是零散运输的，而这些运输的数目要晚一些才能核算。

向顿巴斯的运输量为 139.560 吨，完成了计划的 80％。向巴库运输了 14670 吨，向北高加索运输了 26000 吨，向下伏尔加河运输了 18000 吨，向乌拉尔运输了 1 万吨，向莫斯科运输了 35800 吨。

由于运输困难，马铃薯有灭失的危险，因此实际上已经停止了运输。我们与顿巴斯和巴库的组织达成了一致，他们将在中央黑土州内建立自己的马铃薯仓库，并在春季将这些土豆从中央黑土州运出。

为了开展粮食征购和其它运动，我们巡视了各地区和各集体农庄，特别是在 11 月，我走访了 17 个地区并拜访了当地集体农庄、村苏维埃、国营农场和农机站，这表明集体农庄经济的发展显著增强。将集体农庄的现状和去年的状况进行比较就可以发现，集体农庄在组织层面上巩固经济以及在发展经济方面取得了巨大的成功。

大多数集体农庄变得更加强大，特别是在集体农庄贸易的发展上，集体农庄以集体农庄贸易的规范出售蔬菜、水果和其他农产品。

大多数集体农庄的盈利能力有所提高。在每个地区，已经涌现出数十个示范性的集体农庄，它们已经在 9 月和 10 月完成了粮食征购计划。

集体农庄的特点是首先审查扩大播种的计划，把这种计划视作某种负担，额外的负担——现在，它们以一种新的方式提出了一个问题：它们没有足够的土地，它们正在要求国营农场转让未使用的土地，或者从个体农民手里划分土地。集体农庄已经掌握了集体农庄的生产方法。

这些地区与集体农庄走得越来越近，对它们更了解。在集体农庄，有经验的工作人员已经成长了起来，他们对经营集体农庄社会经济的基本方法有了更清晰的了解。

例如，我去年 11 月去过的一个集体农庄，苏贾区玛赫诺夫村苏维埃的“伊里奇的遗训”集体农庄。集体农庄成立于 1929 年；它整合了 327 户家庭，拥有 938 公顷耕地、832 公顷野地。该农场有 150 匹马，还是农机站的集体农庄会员，这意味着除了马匹之外他们还能享受到拖拉机的服务。在集中采购方面，集体农庄提供了 400 车皮蔬菜，是该地区第一个完成谷物采购计划的农场。它拥有的平均谷物收成为每公顷 14 公担，集体农庄 1932 年的总收入达到 70 万卢

布。除了分发实物外，集体农庄还向庄员平均每个工作日发放 1 卢布，还分发了价值 2 万卢布的工业产品。集体农庄获得了 1.7 万卢布的贷款。集体农庄有占地面积 250 公顷的蔬菜地，有一个温室设施——2000 个架子，有占地 40 公顷的果园，为了更好地给土壤施肥，集体农庄将它的牲畜农场挂靠在某些耕地上。比如，养猪场必须对一块 50 公顷的耕地，牛棚必须对一块 30 公顷的耕地施肥。集体农庄有一个制砖厂。集体农庄生产砖块并用砖块盖房子。集体农庄建造了一个可容纳 150 匹马的马厩、一个牛棚、一个养猪场、一个羊圈、一个家禽场、一个水果仓库、一个可容纳 2,000 公担粮食的粮仓、一个孵卵器，并建了一个电影俱乐部。集体农庄斥资 4500 卢布建了一个管弦乐队。明年，集体农庄按计划将实现约 100 万卢布的收入。

在我看来，随着集体农庄组织和经济的巩固、生产基础的加强、对新干部的培养，以及农庄庄员经验的获得，应当引入集体农庄劳动组合经济——我们可以更果断地提出在集体农庄运动中落后的村庄加强组织大规模的工作以促进集体化的问题，以便按照联共（布）中央委员会 1930 年 1 月 6 日的决议在 1933 年春天在中央黑土州整体基本普遍完成集体化。这意味着中央黑土州 65%的农户被纳入集体化范畴——在春播运动之前的冬季，集体化率还只有 10—12%，而有 20%的耕地实现了集体化，而到了 1933 年的春天，大部分的庄稼都将属于集体农庄。

经验表明，个体农民不愿意开荒，他们多多少少只满足于耕种自己的庄园，至于野地——他们都是放弃的。而这些野地则是杂草的来源，而杂草导致单产低下，因此个体农民通常不会系统地完成他的播种计划；与之形成对照的是集体农庄总是能够超额完成任务。这表明，实际上，至少在中部黑土地区，我们并未利用集体农庄的所有经济潜能，而且由于在许多地区土地不足，而集体农庄可以成功获取个体农民不耕种的土地，在我看来，如果联共（布）中央没有异议，这些个体农民不耕种的土地就转给集体农庄。除了自己的庄园外，个体农民还可以在国营农场、铁路、新建筑工地上工作——更何况各处都需要劳动力。

与联共（布）中央关于在库班采取的粮食征购特殊措施的决定相呼应，中央黑土州委员会也采取了一些清洗集体农庄的措施，并加强与损公肥私分子和富农分子的斗争。但是，如果我们开始重复执行这些措施，那将是一个错误，因为从农业运动的经验来看，中央黑土州的集体农庄的状况不同。州委员会警告各区党组织，他们可以为了争取粮食，反对富农、压迫者和机会主义者而利用粮食征购来果断清理农村党组织中的顽固分子和堕落分子，但同时他们也应当考虑到，中央黑土州的绝大多数集体农庄已经完成了粮食征购计划，现在主要的任务是正确、熟练地接近集体农庄，了解其经济状况，知道集体农庄正在做些什么，而不要机械地对所有未完成谷物采购计划的集体农庄采取某些措施或决定。

根据所有数据，很明显，由于缺乏草料，冬季的国营养牛场将不得不再次经历困难。在给联共（布）中央的说明中，州委员会已经要求考虑这一问题。我认为有必要在这封信中重复这一要求。

饲料的情况特别是养猪托拉斯所属的国营农场特别困难。如果不采取措施，那么我们今年将面临牲畜，特别是幼小牲畜大量损失的威胁。

联共（布）中央黑土州委员会书记瓦列伊基斯

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.84.Л.73–82.原稿。

注释：

文件中有И • В • 斯大林的批示：“给莫洛托夫、卡冈诺维奇（本人）.请求把它读完”。

39

联共（布）中央书记И·В·斯大林致国家政治保卫总局乌克兰、俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国各州和边疆区全权代表关于向联共（布）中央委员会发送暗中破坏、损毁和盗窃集体农庄财产有关材料的密电

（1932 年 11 月 29 日）

绝密

中央委员会希望你们在现在和将来向中央委员会的机要部门发送从得出指导性结论的角度来看有意义的，关于破坏谷物采购、破坏集体农庄、盗窃集体农庄和国营农场的国有和公共财物案件的审讯记录和信息的副本。

——联共（布）中央书记И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.84.Л.84.经过验证的副本。

40

联共（布）中央书记И·В·斯大林致联共（布）乌拉尔州委书记И·Д·卡巴科夫关于在未能完成谷物采购任务的情况下对乌拉尔国营农场的负责人们采用镇压措施的密电

（1932 年 12 月 7 日）

机密

我们认为米尔佐扬关于国营农场为完成计划的密电是没有说服力的、形式主义的、官僚主义的。州领导人不能逃避国营农场未能完成计划的责任。人民委员会和中央要求你们务必向莫斯科通报掉队的国营农场负责人的姓氏，并以人民委员会和中央的名义告诉这些负责人，如果完不成计划，他们将会以苏维埃国家的欺骗者、破坏者和敌人的名义被逮捕，正如那些在西西伯利亚、乌克兰、北高加索被逮捕的负责人那样。向那些负责人说明，党证不能使他们免于被捕，因为有党证的敌人应该比没有党证的敌人受到更多的惩罚。

——斯大林

莫洛托夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.84.Л.139.经过验证的副本。

41

联共（布）高尔基边疆区委书记A·A·日丹诺夫致联共（布）中央书记И·В·斯大林请求同意对斯巴斯基和阿尔达托夫区施行镇压的密电

（1932 年 12 月 14 日）

机密

鉴于高尔基边疆区的两个区——斯巴斯基和阿尔达托夫主要的经济运动（面包、亚麻、土豆、肉类、财政计划、森林）由于富农的破坏和部分共产党员和积极分子的抵制而失败，高尔基边疆区请求中央委员会同意采取以下措施：停止向这两个区供应和运出商品，完全禁止集体农庄贸易，提前从集体农庄和个体农民处收回贷款和其它补助，清除国家、合作社和集体农庄机关中的异己分子和敌对分子，由国家政治保卫总局机关抓捕反革命分子并尽快纯洁这一地区的党组织。

边疆区委会已经解除了上述区区委书记的职务，将其是否保留党籍的问题提交给了边疆区委员会，解散了这两个区委会并向这两个区派出了边疆区委员会的工作组去执行这些决定。

边疆区委会书记日丹诺夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.40.Д.85.Л.6.

1933 年

42

联共（布）下伏尔加边疆区委第二书记Я·Г·葛尔金致联共（布）中央总书记И·В·斯大林就与大规模农民逃亡作斗争的问题请求在边疆区采取措施的密电

（1933 年 2 月 15 日）

机密

禁止复印

在边疆区的很多地区都发现由大量的农民拖家带口逃往中央黑土州、中伏尔加和其它地区。根据国家政治保卫局的信息，已经逃亡了 8000 人。

请求将在北高加索和乌克兰为打击大规模逃亡现象所采取的措施全部在我们边疆区推行。

葛尔金

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.30.Д.189.Л.34.原稿。

43

乌共（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州州委书记M·M·哈塔耶维奇致联共（布）中央委员会总书记И·В·斯大林关于第聂伯罗彼得罗夫斯克饥荒以及改善居民粮食供应的报告

（1933 年 3 月 12 日）

事实证明，在第聂伯罗彼得罗夫斯克州，粮食短缺的情况比我想象的要困难和严重得多。

我每天都被有关饥饿、浮肿和饥饿疾病的日报和材料所淹没。最近几天，有关食尸和食人的报告越来越多。在过去的 2-3 周中，在诸如梅利托波尔、别尔江斯克这样的城市中，在街上就发现了 30—40 具尸体。根据国家政治保卫总局道路和运输部门机构的信息，在车站（仅限于大型车站和铁路节点车站）就找到了 150 多具因饥饿倒毙的人的尸体。

根据州国家政治保卫局部门的数据，到 3 月 1 日，死于饥饿或者由饥饿加剧的疾病的人数约为 1600 人，而 23 个地区患浮肿病的人数是 16000 人，这些数据无疑在很多情况下被夸大了，但它并不涵盖因各种原因尚未登记，和登记中漏掉的情况。现在驻扎在我们列别基赫区和阿波斯托洛沃区的严肃认真的工作人员，去年在基辅州和文尼察州的困难地区工作，他们宣称他们现在所在地区的形势比去年他们所在的乌曼地区（博班斯基和其它区）明显要严重和困难得多。

麻烦的是，这是这些地方坚决地执行了收回了有“非法所得”的集体农庄庄员的实物借贷和大规模偏离（正确政治方向）的结果，同时应当承认，在我们这些身患浮肿病却没有任何粮食的人群当中有相当比例的工作了很多工作日的集体农庄庄员。

在死亡、浮肿病等报告中。有很多夸大其词的报告：举一个实例，当汽车修理厂的党委书记说，一群工人（包括他本人）因营养不良而浮肿，但事实证明，这些人只是因为肾脏病等（原因而浮肿）。这些“浮肿”的情绪现在正在像传染病一样蔓延开来，对这种情绪我们现在和将来都必须与其作坚决的斗争。

我们拨付了粮食（200000 普特）用来为国营农场、农机站和拖拉机修配厂的工人、各地区党的积极分子、集体农庄党员和非党员积极分子提供粮食援助，我们已经将粮食分发到了各个地区。目前，这些粮食的消耗量不超过 45%。我们从这些粮食中拿出了 30,000 普特用以消灭杂草（用这些粮食支付这项工作的报酬），拿出 25000 普特用于儿童的食品供给，拿出 27000

普特用来供给教师和农艺师，还有 3 万普特用于供给国营农场和农机站的工人，剩下的由各地区自主支配，以确保在各种情况下都能得到粮食援助。

在拨给我们的 100 万普特食品中，我们向各地区分发了 70 万普特的食品，其余的 30 万普特我们将它们留作备用，以进行除草工作以及帮助个别在播种期出现更加严重困难的地区。

我们非常节省地使用这些粮食。不然的话，以现在粮食困难的规模，这些粮食将很快一粒不剩。我们有比这多得多的需要粮食援助的请求和要求。

在各地经常向我们提出夸大的协助要求和请求的同时，我们的很多地区的干部对使用已经拨付给他们的粮食方面表现出了令人愤慨的僵化。有的地区出现了很多这样的情况——工作了 500—700 个工作日的集体农庄庄员在支援这些集体农庄的粮食已经在 20—25 天前优先拨付出去之后仍然出现了浮肿症状。

我写这份报告的主要目的是为了提供信息。对我们而言，尽管有这些困难，我们仍将采取一切措施认真进行播种并巩固集体农庄。我认为我们基本上是会战胜这些困难的。

我的请求如下：

1.给我们额外的粮食和约 30 万到 40 万普特的草料贷款，这些援助可以覆盖我们州的区域（关于这点我已经在自己的信中写了）。

2.允许根据油料集体农庄没有与油料种子征购计划完全关联的，与其所生产的豆饼和油的数量相匹配的油料种子缴纳量，拨付给他们油料种子。

3.在诸如别尔江斯克、梅利托波尔、托卡马克、尼科波尔、帕夫洛格勒、锡内尔尼科沃、克雷维里等城市投放几十吨谷物、一定量的葵花籽油和少量糖以制作儿童食品并改善工人的供应。

4.鉴于各种严重的传染病导致各种疾病的广泛传播和大规模的死亡现象，有必要向第聂伯罗彼得罗夫斯克州提供紧急医疗和保健支援：从乌克兰苏维埃社会主义共和国人民委员会的储备金中拨付资金，扩大医院和医疗网络，提供药品，一些产品和设备以及医务人员等。

5.鉴于许多地区集体农庄的畜力条件极为恶劣，务必为我们紧急增拨至少 300 台拖拉机用于开始播种工作。

事实证明，在种子运输过程中，我们有多达二十个区，由于马力耗尽，马匹完全无法准备播种。即使将种子谷物运输 25 公里，也必须在中间村庄让马停顿 2-3 天，以休息、换马套等。我们被迫开始花费现在分配给我们的 950,000 普特饲料贷款，因为如果没有这笔贷款，那匹马将无法应付种子的运输，到播种时，马匹将变得完全无法使用。

我们有许多地区（巴甫洛格拉德卡区、梅热瓦亚区、阿波斯托洛沃区、斯大林德洛夫区、格尼切斯克区、丘巴尔耶夫区、托克马克区等），在这些区，如果不紧急增加畜力，就不能完全指望人们会完成既定的播种工作计划并认真播种。

致共产主义的敬礼，乌共（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州州委书记M.M.哈塔耶维奇

（签名）

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.61.Д.794.Л.68–72.原稿。

44

乌克兰共产党（布）中央委员会第一书记C·B·柯秀尔致联共（布）中央书记斯大林关于对南乌克兰进行粮食援助的报告摘录

（1933 年 3 月 15 日）

在 7-8 天之内，将在草原的南部开始播种。除了准备播种的报告外，现在所有地区都有可怕的附带援助需求的粮食状况报告。

一、粮食形势

如果去年（干部们）对地区的困难状况保持沉默，那么相反，今年，他们正在尽一切可能过分强调最困难的事实，收集和汇总数字。众多的信息流露出了显而易见的目的——获得中央的帮助。如果州和地区之前提出过这些要求，或者至少这种要求是伴随着他们有力的调动本地资源来组织援助工作而提出来的，那么这些要求本身是对的。但通常情况下不是这样。

乌克兰共产党（布）中央委员会从州委会以及通过国家政治保卫局渠道获得的有关饥荒规模的信息极为矛盾。这表明，各地区对形势的足够认真、清醒的、没有隐瞒和掩饰的，同时也没有夸张和惊慌失措的评估就像通常的那样，还没有。

各种来源的信息表明，毫无疑问，第聂伯罗彼得罗夫斯克地区出现了最困难的局势。需要说明的是，正是从那里，我们获得了有关饥荒、死人之类的绝大部分信息，而例如在敖德萨州，这样的报告就很少，仅从报告来看，敖德萨应被认为是最平安的地区之一。实际上，这显然不是事实，如果第聂伯罗彼得罗夫斯克是过分地宣扬并强调自身的困难处境的话，那么敖德萨则更多的是默不作声。无论如何，毫无疑问，最困难的情况发生在第聂伯罗彼得罗夫斯克，到目前为止，有关饥饿事件的报告有 60%是来自第聂伯罗彼得罗夫斯克，而有关死亡的报告有 70%以上是在第聂伯罗彼得罗夫斯克发生的。在第聂伯罗彼得罗夫斯克州的 49 个区中，21 个区被认为情况严重。就饥饿报告的数量而言，第二多的是基辅州，该州有 31 个区被认为是特别困难。毫无疑问，在这里，我们有相当大范围的区，去年出现了非常严重的饥荒复发现象。其它受影响区的数量是：文尼察 17 个区、顿巴斯 11 个区、敖德萨 14 个区、哈尔科夫 9 个区。在国家政治保卫局登记的事件覆盖了乌克兰的 103 个区。所有这些关于区数目的数字都不太可能正确反映实际情况。这与各区发生事件的数量无关，而与每个区传播饥荒事件的规模和程度有

关。在这方面，州与州之间、区与区之间存在很大的差异。我们通过国家政治保卫局的机构，总结了收到的有关饥饿和死亡的所有报告，并在 5 天之内得出了更为可靠的状况。与去年相比，受灾地区以及集体农庄的情况更加多样化。集体农庄退化最严重和经济管理不善的地区受到明显影响。饥饿的人大多数是没有工作日或工作日很少的人，饥饿尤其存在于多子女家庭以及个体农民中。而所谓的“还乡人”——即那些平时总是和家人在别处游荡，而现在又大量返回自己所在村庄和集体农庄的人的处境尤其艰难。这就是为什么各地都有饥饿的人，各地都被认为情况严重的原因。但饥饿的农民当中也有集体农庄庄员，尽管他们工作了许多工作日，但手中的粮食却很少。在这些地区，分发的粮食中有 75—80%沦为了公共食品。当然，表现好的集体农庄庄员，尤其是多子女家庭深受公共食品之害。出现了被发到手里的粮食又被收回的事件。还有事实是，许多集体农庄庄员和个体农民在恐慌的影响下埋藏了粮食，同时又挨饿了。在第聂伯罗彼得罗夫斯克地区，今年发现了 50 多个此类事件。饥饿的主要原因是管理不善和不能容忍的对公共产品的态度（粮食的损失、盗窃和浪费）。今年对群众的讲话将更加突出和强调这些。因为在大多数饥荒地区，征购获取的粮食很少，因此说“粮食都被收走了”是绝对不可能的。对于大多数地区，甚至在第聂伯罗彼得罗夫斯克州，都必须说明这一点。还有一些地方这种情况更加突出，比如基辅州，那里的粮食征购量可以忽略不计。为什么在基辅州，在我们几乎没有进行粮食征购的地方会发生饥荒？在这些地区春季的春播作物播种量严重不足，同时冬播作物大量死亡，收获的粮食都被充作公共食品，数量不限，而且被那些不干活的人偷走。在这里，最困难的是白采尔科维地区一带。据曾经到过这些地区的同志们说，在基辅州人民几乎从来没有谈到“粮食被收走了”，而是自责自己糟糕的工作，使粮食没有被保存下来而被偷走。这样一来，集体农庄庄员群众对那些没有出工的人的态度无疑会有转变。

当然，远非所有地方、远非所有的集体农庄庄员会有这样的认识。尽管设立了关卡，但还是有很大比例的人逃离了村庄。饥荒并没有教会集体农庄庄员更多的东西，这体现在在最困难的地区，播种的准备工作仍然不尽如人意。有必要说一下我们党组织政治工作的不足，在所有这些困难的事实面前，我们的党组织在政治上混沌不清、迷失方向而且对这些困难现象的成因以及需要采取什么措施没有提出足够尖锐的问题以避免类似的情况以后再次发生。

如何组织援助？从资源供给方面看，第聂伯罗彼得罗夫斯克和敖德萨州是供给最好的地区。前者收到了 140 万普特的粮食，而敖德萨收到了 100 万普特德国黍。从我们 20 万普特的储备中，我们分给基辅 14 万普特，顿巴斯 4 万普特，摩尔达维亚苏维埃社会主义自治共和国 2 万普特。需要说明的是，基辅、文尼察和摩尔达维亚苏维埃社会主义自治共和国有着很大的调动

自身资源的潜能，他们允许集体农庄贸易，无疑有许多地区粮食上没有困难。但是他们没有安排好任何严肃的工作，他们的主要愿望是从中央那里获得帮助。尤其是在这方面需要讲一讲文尼察的问题，它当然有能够应付当前困难的条件，但它没有朝着这个方向开展适当的工作。

食品上的援助不仅仅有谷物，还需要有其它货物，蔬菜、土豆、肉、油脂等，而为困难地区分散采购这些产品非常困难。

小城镇的企业出现了困难的局面，这些企业在第三张清单中已经列出，它们事实上没有得到供给，因为对它们的供给还没有到位。结果工人当中出现了浮肿的情况，总的来说，处境非常困难。在第二个月，我们开始通过加强自我采购等方式，以牺牲地方资源为代价，向某些城市（齐诺维耶夫斯克、别尔季切夫、日托米尔等）提供援助。当前，我们从公共食品和供给这两条线大力扩大对这些小镇的援助。

七、结论

毫无疑问，我们将克服拖拉机维修、燃料供应乃至种子收集方面的困难。关于种子，由于我们拥有超过 40 万公顷的所谓的荒地和个体农民极有可能不会播种的土地，这一问题在某种程度上使问题变得复杂了。现在，这块土地的很大一部分被纳入到集体农庄农作物播种计划。到目前为止，这些土地尚未被划拨给当地的集体农庄。集体农庄暂时也没有收集用来播种这些土地的种子。我们为自己设定了在 10 到 15 天之内完成这些工作的任务，这样可以确保我们已经设定的集体农庄播种计划。

下一个困难在于，在草原地区，特别是在个别集体农庄（有数百个）中，集体农庄庄员被分配了很大的播种面积。由于一部分集体农庄庄员的退出，这一负担甚至进一步增加，在集体农庄里，大多数劳动力是女性。在许多地方，鉴于目前的状况，即使集体农庄种子供应充足，也无法应付它们需要播种的土地。春季播种后，有必要为它们提供帮助，不仅是畜力的帮助，而且还有劳动力的帮助。

在草原和甜菜种植区当中的几十个地区（30-40 个），显然具有异常巨大的畜力使用困难和播种负担，尤其是在最早的阶段，它们将需要得到认真的畜力协助。否则，这些地区将严重延误播种。现在，我们拥有 250 台拖拉机供我们使用，我们将在四个州——第聂伯罗彼得罗夫斯克、敖德萨、基辅和哈尔科夫对这些拖拉机进行分配。但这些拖拉机肯定是不够的。仅第聂伯罗彼得罗夫斯克州就需要我们提供 300 台拖拉机，而基辅要求的更多。

基于此，我们向中央委员会求助，请求从哈尔科夫拖拉机厂生产的拖拉机中至少再额外分配给我们 700 台拖拉机。此外，请您允许我们与亚基尔达成协议，在多个地区（草原和右岸）

使用红军部队协助播种，同时允许我们有支配这些部队设备——机械动力和畜力——拖拉机和马匹——的权利。

现在播种已经开始，毫无疑问，基辅州、顿巴斯、摩尔达维亚苏维埃社会主义自治共和国以及第聂伯罗彼得罗夫斯克州、哈尔科夫州和文尼察州都将需要额外的粮食援助。我们认定援助的规模不低于 200 万普特。这些数目的至少一半应提供给甜菜种植区，以确保甜菜的加工。在所给出的金额中，我们请求立即为基辅州拨付 30 万普特。

C.柯秀尔

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.61.Д.794.Л.73–77,84–86.原稿。

45

乌克兰共产党（布）第聂伯罗彼得罗夫斯克州书记M·M·哈塔耶维奇致联共（布）中央书记И·В·斯大林请求追加粮食贷款的密电

（1933 年 6 月 27 日）

机密

禁止拷贝

过去 10 天持续降雨，大大延迟了农作物的成熟和收成。在许多地区的集体农庄，已经完全吃光了我们出售的所有谷物，粮食状况大大恶化，这在收割前的最后几天尤其危险。

如果可以的话，恳求您再给我们 50 万普特的粮食贷款。

哈塔耶维奇

批示：“应该给。И·斯大林”

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.64.Л.35.原稿。

46

巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国领导人致联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫关于共和国饥荒事件及请求分配粮食贷款的密电

（1933 年 7 月 5 日）

机密

在许多地区，粮食的状况极为困难，有很多营养不良的案例，这里包括红军的家属，还有饿死人的案例（达夫列卡诺沃、梅切特林斯基、卡拉古舍夫、卡拉杰里等地区）、吃死动物的案例。

在农村里，结束休耕，大田作物除草、割晒干草、从腹地运出粮食的工作都非常艰巨（六月我们运出了 2 万吨），有必要在 10 天内完成这些工作，在 10 到 15 天后，将开始大规模收割黑麦和部分春季作物。我们需要立即为集体农庄提供粮食援助，否则我们将破坏所示的这些最重要的工作，收获工作将在极端困难的条件下展开。

我们紧急请求中央和人民委员会向我们提供 500 吨深加工粮食的粮食贷款给集体农庄。我们承诺在秋天在车站和码头归还粮食。我们再次请求中央和人民委员会不要拒绝我们的请求。

巴什基尔州委贝京

人民委员会布拉舍夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.64.Л.37.原稿。

47

国家政治保卫总局副主席Я·С·阿格拉诺夫致И·В·斯大林

关于逮捕Н·Р·埃尔德曼、В·З·马斯和Э·日耳曼的信[①]

（1933 年 10 月 25 日）

联共（布）中央书记斯大林同志：

从本年的 10 月 11 日起，我们逮捕了Н·埃尔德曼、В·马斯、И·日耳曼——他化名好人埃米尔以散播反革命的文学作品。

在对马斯、埃尔德曼和日尔曼的搜查中，发现了反革命的讽刺寓言。

被捕的埃尔德曼、马斯和日耳曼证实，他们是他们所发现的反革命作品的作者和发行人。

根据 10 月 14 日国家政治保卫总局特别会议的决议，Э·日耳曼被判到西西伯利亚边疆区的卡缅市流放三年。根据 10 月 16 日的国家政治保卫总局的特别会议的决议，Н·埃尔德曼被判到东西伯利亚边疆区的叶尼塞斯克市流放三年，而В·马斯——流放到乌拉尔的托博尔斯克。

附上：

1）[19]33 年 10 月 15 日的Н.埃尔德曼审讯笔录的副本。

2）[19]33 年 10 月 16 日的对В.马斯的审讯笔录的副本。

3）В.马斯在[19]33 年 10 月 16 日的国家政治保卫总局委员会的申辩。[②]

国家政治保卫总局副主席Я·阿格拉诺夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.34.Д.287.Л.27.原稿，机打。

注释：

①在下方空白处有未署名的批示：“应该给卡冈诺维奇同志一份”。

②出版时没有附件。

1934 年

48

斯大林致政治局委员阿多拉茨基、克诺林、 斯捷茨基、季诺维也夫、波斯佩洛夫

（1934 年 8 月 5 日）

政治局委员阿多拉茨基、克诺林、斯捷茨基、季诺维也夫、波斯佩洛夫同志：

在《布尔什维克》杂志的第 13-14 期中，有一个“来自编辑部”的声明（第 86-90 页），其中评论了恩格斯 1888 年 1 月写给约安·纳杰日达的信，在那里恩格斯对即将到来的战争的观点显然是伪造的。

靠着不正确和变戏法似地使用恩格斯给罗马尼亚人约安·纳杰日达的信（1888 年），《布尔什维克》杂志的编辑部在声明中断言：

a）恩格斯“完全站在失败主义者的立场上”，站在其“资产阶级祖国”失败的立场上；

b）“列宁在 1914 年战争中捍卫了类似立场”；

c）因此，列宁在确定战争的性质和马克思主义者采取战争有关的政策方面并没有提供任何实质性的新内容。

这样的话：

1.《布尔什维克》编辑部向读者隐瞒恩格斯不了解即将到来的战争的帝国主义性质，这从恩格斯给约安·纳杰日达的信（1888 年）和他的文章《俄国沙皇政府的对外政策》（1890 年），以及他给倍倍尔（1891 年）的著名来信中都可以看出。刊登在同一期《布尔什维克》杂志上列宁的《1870 年后世界历史主要数据汇总的经验》的表格就已经足够与恩格斯的这些著作做对照了，在这篇著作当中，列宁已经注意到帝国主义列强（包括德国）早在上世纪 80 年代就开始了争夺殖民地和势力范围的斗争，并把它作为战争的原因，这样我们便了解列宁和恩格斯对战争性质的看法的整体差异。

2.《布尔什维克》编辑部向读者隐瞒说，恩格斯在致约安·纳杰日达的信 2-3 年后，当法俄

联盟开始形成反对德国、奥地利和意大利联盟的格局时，改变了他对战争的立场，不再为德国的失败鼓与呼，而是为德国的胜利鼓与呼（尤其是从1891年恩格斯给倍倍尔的信中可知相关观点），恩格斯一直保持这种态度，直到他生命的尽头。

3.《布尔什维克》编辑部向读者隐瞒恩格斯的消极失败主义（“希望他们都被打败”）——正如他所说的那样，他拒绝采用护国主义——和列宁的积极失败主义（“将帝国主义战争转变为国内战争”）之间的区别——这两者之间不可能划等号。

4.《布尔什维克》编辑部向读者隐瞒了无可置疑的事实。列宁，只有列宁无论是在战争的性质问题上还是在马克思主义者应采取的与战争有关的政策的问题上，都提出了一个全新的、唯一正确的方针。

《布尔什维克》编辑部问题的焦点就在于此。

对恩格斯曾经是并且仍然是我们的导师，只有白痴才会怀疑这一点。但是，这完全不意味着我们必须掩盖恩格斯的错误，不意味着我们必须掩盖它们——甚至于——将它们当作无可争辩的真理予以传播。这样的政策将是谎言和欺骗的政策。没有什么政策比这个政策与马克思主义的灵魂和马克思恩格斯的遗教更加背道而驰的了，这样的政策不配成为马克思主义者该奉行的政策。马克思和恩格斯本人都说，马克思主义不是教条，而是行动指南。这就解释了为什么马克思和恩格斯自己反复修改和补充其著作中的某些观点。这意味着马克思和恩格斯认为他们教导的基础不是字母，不是个别的规定，而是他们教导的精神、方法。否则，以另一种态度对马克思主义进一步发展是不可想象的，因为马克思主义已经变成木乃伊。否则，列宁就不会成为不仅复兴了马克思主义而且进一步发展马克思主义的人。如果列宁进一步发展了马克思主义，难道不是应该很清楚，我们为了发展马克思主义的利益，不应该害怕将列宁关于战争的新观点作为他的理论遗产记录在案，将归功于他的新的理论功绩赋予他吗？

毫无疑问，只有不尊重马克思主义及其创始人的想法，才能驱使《布尔什维克》编辑部采取抹煞和掩盖事实的策略，即贬低列宁在战争性质及马克思主义者应该采取的与战争有关的政策问题上对马克思主义新的发展所起到的作用。

我认为，《布尔什维克》编辑部在这篇声明当中默许了托洛茨基—孟什维克的一种立场，这种立场认为恩格斯在关于战争、关于战争的性质和马克思主义者应该采取的与战争有关的策略方面说了一切需要说的话，而马克思主义者只能重复恩格斯所说的话并将其付诸实践，列宁据称正是这样做的，在“1914年战争中持类似立场”，而谁不同意这种观点，谁就是篡改了马克思主义，谁就不是真正马克思主义者。

众所周知，托洛茨基—孟什维克的先生们以相同的态度出发，否认了一国获得社会主义胜利的可能性，他们引证说恩格斯在《共产主义原理》（1846 年）当中已经否定了这种可能性，恩格斯已经说了需要说的一切，而谁继续坚持社会主义在一国可以获胜，谁就是篡改了马克思主义。

几乎没有必要证明这种态度是彻底腐化和反马克思主义的，这种态度陷马克思主义及其方法于停滞不前、浑浑噩噩，使它毁于书本教条之中。

我认为这种错误的态度是《布尔什维克》编辑部犯错的根源。

在我看来，《布尔什维克》杂志正在落入（或已经落入）不可靠者的手中。事实是，《布尔什维克》编辑部试图以恩格斯的文章《俄国沙皇政府的对外政策》为指导——单是这个事实就对编辑部没什么好处。众所周知，联共（布）中央迅速介入此事，并制止了编辑部的这一尝试。但显然，编辑部并没有引以为戒。相反：编辑部似乎无视中央的指示，在中央警告后发布了说明，该说明不可能通过审核——除非有人试图误导读者有关中央的真实立场。而《布尔什维克》是中央委员会的机构。

我认为现在该结束这种情况了。

1934 年 8 月

49

卡冈诺维奇、伦金、切尔诺夫致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫

（1934 年 10 月 9 日）

长条纸带记录

莫斯科，联共（布）中央，斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫同志

我们向您介绍车里雅宾斯克州委员会的决议，该决议由我们制定并由州委员会和苏维埃组织委员会通过。从决议本身可以看出征购的情况，这种情况迫使我们必须通过这样的决议。我们要求您批准该决议，我们也认为该决议应在当地报纸上发表。跟您发了一个不用刊登的单独的细目。等待着您的答复。

卡冈诺维奇、伦金、切尔诺夫[①]

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86.Л.41.原稿，机打。

注释：

①以下是 1934 年 10 月 8 日车里雅宾斯克州党委和苏维埃组织委员会的决议案《关于车里雅宾斯克地区粮食采购的进展》（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86Л.41–48.）的内容。

在决议的最后，在“不得印刷”的段落，内务人民委员部在车里雅宾斯克州全权代表发出了“加快查处多起反革命组织破坏粮食采购、破坏机器、盗窃公物的未决案件”的指令，车里雅宾斯克州检察官和州法院院长被要求“在接下来的几天内毫不拖延地安排几起使用死刑的审判”（同上.Л.48–49.）。

同日，斯大林答复同意（同上Л.41.）。10 月 10 日政治局批准了该决议（同上Ф.17.Оп.3.Д.953.Л.41.）。

50

卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫

（1934 年 10 月 9 日）

1934 年 10 月 9 日 11 点 45 从车里雅宾斯克发出

莫斯科，联共（布）中央，斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫同志。

我认为可以授予由伦金、切尔诺夫和绍欣组成的三人小组一个月的权力，以批准法院的死刑判决。

请提供您的意见。[①]

卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86.Л.41.原稿，机打。

注释：

①同日，德文斯基将卡冈诺维奇的第 129 号电报（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86.Л.52.）转交给了身在索契的斯大林。见文件：《卡冈诺维奇、伦金、切尔诺夫致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫（1934 年 10 月 9 日）》《斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫、日丹诺夫（1934 年 10 月 9 日）》《卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫（1934 年 10 月 10 日）》。

51

斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫、日丹诺夫

（1934 年 10 月 9 日）

你们的第 129 号信，我不知道怎么回事。如果可以的话，最好不要三人小组，然后可以按照通常的方式批准决定。

——斯大林

第 89 号

9/X.34г.

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86.Л.52.亲笔签名。

注释：

见文件：《卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫（1934 年 10 月 9 日）》《卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫（1934 年 10 月 10 日）》。

号码和日期由秘书输入。10 月 10 日 0 时 10 分从索契以加密方式发出。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86.Л.50.）。

52

卡冈诺维奇致斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫

（1934 年 10 月 10 日）

1934 年 10 月 10 日 20 点 28 分从巴拉宾斯克发出

莫斯科，联共（布）中央，斯大林、莫洛托夫、日丹诺夫同志：

可以在莫斯科通过日常程序以快速答复车里雅宾斯克的方式确认判决。在关于三人小组的请求方面我认为应该给予三位同志权力，正如同联共中央给予埃赫同志西伯利亚边疆区全权那样，这意味着他们将有权采取更高级的处罚措施。[①]

卡冈诺维奇[②]

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.86.Л.55.原稿，机打。

注释：

①见第 16-18 号文件。判处死刑的通常程序是与政治局达成一致。然而，这个程序经常被违反。特别是在 1934 年 9 月 19 日，在莫洛托夫的建议下，政治局授权西西伯利亚边疆区委书记艾赫在 1934 年 9 月至 10 月期间在该边疆区使用死刑（见《30 年代的斯大林的政治局，文件集》莫斯科 1995 年版，第 65 页）。

②左下方有笔迹：“已发往索契”。

1935 年

53

斯大林致卡冈诺维奇、叶若夫、莫洛托夫

（1935 年 9 月 7 日）

卡冈诺维奇、叶若夫、莫洛托夫：

叶夫多基莫夫和舍博尔达耶夫都肯定地说，对叶努基泽中央执行委员会全权代表的任命会让基斯洛沃茨克的党、政府和地方组织陷入含混不清的境地。他被开除出党，同时他的地位仍然高于当地的党政组织。由于叶努基泽没有意识到自己的堕落，他也没有谦虚的毛病，因此他又想着控制地方的组织，给他们布置任务，将休假的负责同志安排到疗养院，给他们分房子等等事，就像梅特列夫在索契那样。人们都在议论，将叶努基泽开除出党实际上是一种转移视线的手段，他被遣送到基斯洛沃茨克是休养而不是惩罚，他秋天将官复原职，因为他在莫斯科“有自己的朋友”。而事实上叶努基泽本人对自己的地位感到满意，他玩弄政治，将不满的人聚拢到他身边，并把自己打扮成党内高涨的热情的受害者。而以下的事实加剧了这种含混不清，叶努基泽去拜访了谢尔戈，并和他谈了“某些事情”，而奥拉赫拉什维利在基斯洛沃茨克的时候一天到晚一直跟叶努基泽在一起。

在我看来，在任命叶努基泽担任中央执行委员会全权代表时，我们没有考虑到这些情况，并且犯了错误，使党陷入不体面的境地。

我认为有必要立即改正这个错误，解除他的职务，给他分配另一个更小的工作，例如在罗斯托夫、哈尔科夫、新西伯利亚或其他地方，但不在莫斯科或列宁格勒。加里宁和什基里亚托夫同意我的意见。

——斯大林

HP41,42.

21-20

35 年 9 月 7 日.

译自：РГАСПИ.（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）Ф.558.Оп.11.Д.89.Л.71-76.亲笔签名。

注释：

1935 年 5 月 13 日，政治局解除了叶努基泽外高加索中央执行委员会主席的职务，并任命他为苏联中央执行委员会矿水城小组全权代表（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.963.Л.37.）。

文件《卡冈诺维奇致斯大林（1935 年 9 月 10 日）》。

编号、日期和时间由秘书输入。9 月 8 日 0 时 36 分从索契以加密方式发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.963.Л.70.）。

54

斯大林致卡冈诺维奇

（1935 年 9 月 8 日）

卡冈诺维奇同志：

1）返还给您同蒙古人民共和国和满洲国的协议，加了我坚持要修改的内容。

2）我赞成关于花剌子模的方案。

3）我读了坎杰拉基的信。我们在德国事情的进展看起来不是很糟糕。我把这封信发给您，替我向坎杰拉基同志问好并且跟他说让他坚持要求从德国人那里得到所有的东西。从军事到颜料的所有我们需要的东西。

4）我要转给您阿格拉诺夫一份有关叶努基泽的“旧布尔什维克”（列宁所说的“老放屁虫”）集团的报告。叶努基泽对于我们来说是一个陌生人，而奇怪的是谢尔戈与奥拉赫拉什维利一直维系着同他的友谊。

暂时先写这么多，问好！

И·斯大林

P.S.：返还给你关于学校和书写用具的草案，进行了小幅度的修改，我赞同。

И.Ст

НР41,42.

21-20

7/1X.35г.

译自：РГАСПИ.（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）Ф.558.Оп.11.Д.89.Л.71-76.亲笔签名。

注释：

蒙古人民共和国和满洲国关于边界委员会问题的协议文本已由政治局于 1935 年 9 月 13 日确认（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.162.Д.18.Л.141.）。

苏联人民委员会和联共（布）中央«关于花剌子模绿洲发展棉花种植和苜蓿种子生产的措施»的决议由政治局于 1935 年 9 月 14 日确认。斯大林同意草案，没有做任何修改（РГАСПИ

（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1078.Л.136–139.）。

1935 年 4 月 9 日，在柏林签署了如下苏德协议：关于清偿苏联付款债务、关于苏联对德交货和当前苏联订单、关于苏联在德国的补充订单。1935 年 9 月 3 日，苏联驻德国贸易代表坎德拉基写信给斯大林，告知他这些协议的成功执行以及布局军事订单当中遇到的困难。（АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.64.Д.663.Л.128–129.）。

阿格拉诺夫的报告散佚。1935 年初，内务人民委员部发起了关于在Л • Б • 加米涅夫的领导下，克里姆林宫卫戍司令部的一些职员和工作人员阴谋的所谓的“克里姆林宫案”，据内务人民委员部称，他们正在准备针对斯大林的图谋（《苏共中央公报》1989 年第 7 号，86-93 页）。与此案相关，在 1935 年 6 月的中央全会上，叶努基泽被指控纵容共谋者，被逐出中央委员会，开除党籍，并被派往地方工作。1937 年叶努基泽被枪决。另见文件：《斯大林致卡冈诺维奇、叶若夫、莫洛托夫（1935 年 9 月 7 日）》。

1935 年 8 月 31 日，中央学校处提出的人民委员会和中央委员会关于学校用品的决议草案原则上获得了政治局的通过。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.970.Л.3.）。9 月 14 日，政治局批准了最终形式的决议（同上Д.971.Л.37,118–125.）。

55

卡冈诺维奇致斯大林

（1935 年 9 月 10 日）

加密

1935 年 9 月 10 日 1 点 04 分从莫斯科发出，第 45 号[①]

索契，斯大林

根据您的电报[②]，我们今天做出了如下决定：

A）解除A.C.叶努基泽苏联中央执行委员会驻基斯洛沃茨克疗养地特派专员的职务[③]。

B）任命叶努基泽为公路、土路和汽车运输中央管理局驻哈尔科夫办事处主任。

C）任命甘施塔克为苏联中央执行委员会驻基斯洛沃茨克疗养地特派专员。

卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.588.Оп.11.Д.89.Л.89.原稿，机打。

注释：

①文件中保存的打字副本日期为 9 月 9 日（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.89.Л.90.）。

②见 1935 年 9 月 7 日斯大林致卡冈诺维奇、叶若夫、莫洛托夫的文件。

③政治局解除叶努基泽职务的决定于 9 月 11 日正式作出（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.971.Л.30.）。

1936 年

56

叶若夫、卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 8 月 17 日）

加密

1936 年 8 月 17 日 21 点 52 分从莫斯科发出，第 2 号

索契，斯大林同志

媒体对托洛茨基—季诺维也夫反革命恐怖集团庭审进程的报道概述如下：

1）《真理报》和《消息报》以一整版面为单位发布有关该进程的每日报告。其它报纸用半个版面来报道庭审过程。起诉书和检察官的讲话全文转载。所有的报道都通过塔斯社发表，塔斯社拥有完成这项工作所必需的设备。此外，报纸在此过程中还会发表文章和反应（决议等）。所有的材料经斯捷茨基、塔尔、梅赫利斯、维辛斯基和阿格拉诺夫的签字后方可发表，而总体监督由叶若夫同志负责。

2）新闻界的以下代表被准许报道庭审进程：a）最大的中央报纸的编辑，《真理报》和《消息报》的记者；b）共产国际执委会的工作人员和为外国共产主义新闻工作者服务的通讯员；c）外国资产阶级新闻社的记者。

一些使馆要求旁听。我们认为只能给大使个人发放门票。

请求您的同意。

叶若夫、卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.21.原稿，机打。Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.37.机打件经卡冈诺维奇确认。

57

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 8 月 17 日）

8 月 17 日

您好，亲爱的斯大林同志！

1.李维诺夫发来了给国联的信的草案。我把它发给您，在得到您的答复前我们不会作出任何决定。[①]

2.戈卢边科、洛吉诺夫和姆拉奇科夫斯基关于皮达可夫作了非常认真的证词，笔录已发送给您。他们这些都表明他是乌克兰恐怖主义中心的负责人。他们还指出利夫希茨是参与者。我们认为，现在几乎不可能放行和发表皮达可夫的文章[②]。主要的问题是如何处理他？谢尔戈同意了他的要求（在收到证词之前），皮达可夫现在将前往乌拉尔，随后会就远东边疆区的事情跟他商量好。请您告诉我们您的看法，关于这篇文章，以及总体而言，该如何处置他？[③]

3.今天我和维辛斯基同志及乌尔里希同志进行了交谈，并确定：

1）案件的开庭应在当天的 19 日 19 点开始，并预期在 22 日判决结束；

2）按以下顺序进行讯问：（1）姆拉奇科夫斯基（2）叶夫多基莫夫（3）得列采尔（4）赖因霍尔德（5）巴卡耶夫（6）皮克尔（7）加米涅夫（8）季诺维也夫（9）斯米尔诺夫（10）奥尔贝尔格（11）贝尔曼—尤林（12）格里茨曼（13）Л·卢里耶（14）М·卢里耶（15）特—瓦甘尼扬（16）弗里德·大卫；

3）全方位地揭露盖世太保的作用；

4）如果被告是皮达可夫或是别的什么人，请不要阻止。如果您在这方面有什么指示的话，请告知。[④]

向您问好，您的Л·卡冈诺维奇[⑤]

P.S.关于《消息报》的情况叶若夫同志会写信给您。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.743.Л.54–55.亲笔签名。

注释：

①1936 年 8 月 22 日，李维诺夫致函国际联盟秘书长，提议采取措施促进《国际联盟规约》

原则在集体安全和制裁侵略国领域的适用。（参见：ДВП.T.XIX.第 399-401 页）。

②见第 33 号文件的注释①。

③1936 年 9 月 10 日至 11 日，经中央委员投票，皮达可夫被开除出中央委员会。9 月 12 日，当时正在乌拉尔出差的皮达可夫被捕（《平反，30—50 年代的政治进程》莫斯科 1991 年版，第 219 页）。

④此处讨论的是所谓的“反苏联合托洛茨基-季诺维也夫中心”案件公开审判的安排，对该中心的审判称为莫斯科的第一次大审判，于 1936 年 8 月 19 日至 24 日举行。

⑤在第一页左上角有笔记：“归入我的档案。斯大林”。

58

斯大林致卡冈诺维奇、叶若夫

（1936 年 8 月 19 日）

莫斯科，联共（布）中央委员会

卡冈诺维奇、叶若夫：

我读了拉狄克给我的信，信中提到了他对批判托洛茨基主义的立场。尽管这封信不是很令人信服，我还是建议暂时取消逮捕拉狄克的问题并让他在《消息报》上发表反对托洛茨基的文章，而你们必须提前审阅这篇文章。

——斯大林

第 5 号

1936 年 8 月 19 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.35.亲笔签名。

注释：

见第 33 号文件的注释①。

号码和日期由秘书输入。同日 15 时 56 分从索契以加密方式发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.34.）。

59

卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林

（1936 年 8 月 19 日）[①]

斯大林同志：

向您发送庭审进程的第一份信息。

1.法庭在[中午]12 点开庭，对被告进行正式质询，以了解起诉书的送达情况。

当法庭庭长询问被告是否熟悉指控和起诉书的材料时，每个人都表示肯定。没有关于此事的声明。

2.当法庭庭长询问被告对法庭的组成是否有任何质疑时，所有被告都回答没有疑问。

3.关于被告的问题——是否有任何陈述，季诺维也夫和加米涅夫有回答。

季诺维也夫和加米涅夫做出了如下陈述：

a）加米涅夫说，他完全证实了巴卡耶夫的证词，后者向季诺维也夫报告了有关对基洛夫的恐怖行为的准备工作，特别是直接执行者尼古拉耶夫的证词。此外，季诺维也夫还供认说，在基洛夫被谋杀的那天，列宁格勒中心的一名谋杀团伙成员曼德尔斯坦亲自去了季诺维也夫处以作汇报。曼德尔斯坦向季诺维也夫报告了基洛夫被谋杀的所有情况。[②]

b）加米涅夫只有在对他提出质疑后才要求讯问证人亚科夫列夫。

4.起诉书全部宣读。在起诉书宣读完毕后，所有被告被问及是否认罪——所有人都回答："是的，我们认罪。"

有三人提出了补充说明：

a）斯米尔诺夫说：

他加入了联合中心成为一分子；

他知道该中心是为恐怖目的而组织的；

他亲自收到了托洛茨基向恐怖活动过渡的指示。但是，他本人没有参加恐怖行为的准备。

b）高兹曼宣布他认罪。他证实，他已经从托洛茨基处收到了有关向恐怖活动过渡的书面指示，并且已将该指示传递给了中心，特别是斯米尔诺夫。同时，他预先声明自己没有亲自参加恐怖行为的准备。

c）特—瓦甘尼扬仅在给定他的证词范围内认罪（根据他在笔录中的证词，他是恐怖中心

等组织的成员）。

5.所有被告的认罪给外国记者留下了深刻的印象。

6.休息后，开始对姆拉奇科夫斯基进行讯问。他保持平静。所有证词均已确认并更加明确。他彻底毁了斯米尔诺夫。在证词和检察官的压力下，斯米尔诺夫被迫确认姆拉奇科夫斯基证词的主要内容。甚至很好的是，他有些不满。多亏了这点，他才陷入了愚蠢的境地。所有的被告都咬住斯米尔诺夫。

7.晚上，我们将告诉您庭审的进一步过程。

卡冈诺维奇、叶若夫③

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.32–33.原稿，机打，亲笔签名。

注释：

①在第一页，粘贴了一条电报长条纸带：“1936 年 8 月 19 日 19 点 15 分发出。转发人扎哈罗娃，收报人阿福宁。”

②a 处左侧空白处有红色铅笔加下划线。

③电报的上方有一处笔记：“通过沃洛维奇同志发送。12008”。

60

卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林

（1936 年 8 月 20 日）

索契，保克尔

斯大林同志

1.从早上到晚上审讯了：姆拉奇科夫斯基、叶夫多基莫夫、得列采尔、赖因霍尔德、巴卡耶夫和皮克尔。

2.对他们的审讯的最重要特征体现如下：

a）姆拉奇科夫斯基充分证实了他在先期调查中的证词的全部是事实，并确认了这些证词。关于托洛茨基和斯米尔诺夫角色的证词尤其令人信服。这是姆拉奇科夫斯基证词中最重要的事情。

b）叶夫多基莫夫充分证实了在先期调查中的证词，并补充了许多重要细节。在他的证词中，最有说服力的是在托洛茨基、季诺维也夫、加米涅夫、他自己的——叶夫多基莫夫等人的直接指示下谋杀基洛夫的细节。

c）得列采尔确认了在先期调查中的所有证词。他特别强调托洛茨基、斯米尔诺夫和姆拉奇科夫斯基的角色。关于他们，他作了最详尽的证词。他特别抨击斯米尔诺夫，因为后者企图掩盖自己在组织恐怖活动中的作用。

d）赖因霍尔德完全确认了在初步调查期间的证词，并在许多地方进行了说明。他的证词最典型的特点是：

详细介绍了夺权计划的两种方案（两面派手段、恐怖活动、军事阴谋）；

关于与右派的联系以及右派中恐怖集团的存在的详细供述（斯列普科夫、埃斯蒙特），关于这些，李可夫、托姆斯基和布哈林都知情。

关于存在由拉狄克、索科利尼科夫、谢列布里亚科夫和皮达可夫组成的后备中心的供述；

供述了通过消灭对其罪行有所了解的契卡干部和他们自己的恐怖分子同伙，销毁犯罪痕迹的计划；

供述了在阿尔库斯和图曼诺夫的帮助下盗窃国家资金以满足组织的需求。

e）巴卡耶夫充分证实了在先期调查中的证词。他对基洛夫被暗杀以及在莫斯科暗杀斯大

林的准备作了详尽而令人信服的供述。他特别坚持托洛茨基、季诺维也夫、加米涅夫、叶夫多基莫夫在这种情况下的直接参与了策划。而对他自己的角色轻描淡写，他感到很冤枉，因为他们之前没有告诉他所有的事情。②

f）皮克尔充分证实了在先期调查中的证词。基本上重复了赖因霍尔德的证词。他特别谈到了博格丹的自杀，指出事实上他们杀了博格丹，他是在巴卡耶夫坚持下自杀的。在博格丹自杀的前夕，巴卡耶夫整夜与他在一起，并告诉他，要么他必须自己在早晨自杀，要么他们就亲自把他杀死。博格丹选择了巴卡耶夫的第一个提议。

3.在审判期间，我们特别注意以下被告的行为：

a）斯米尔诺夫在台上装作好像他是托洛茨基-季诺维也夫中心的成员，并且了解恐怖分子的态度一样，他说他本人没有参加该组织的实际活动，没有参加恐怖活动的准备，也没有赞同托洛茨基-谢多夫的立场。通过对所有被告进行盘问，斯米尔诺夫立即被判断出是在撒谎。在其他被告证词的压力下，斯米尔诺夫在傍晚的庭审中被迫承认一些关键事实，并且变得不那么活跃。③

b）季诺维也夫在被检察官询问被告陈述的事实的正确性时，对绝大多数最重要的事实都承认。却对一些小事情有争议——哪些人或其他什么人在谈论恐怖计划等时确实在场。他表现得比其他人更沮丧。

c）加米涅夫，在被检察官询问被告陈述的事实的正确性时，证实了绝大多数事实。与季诺维也夫相比，他的表现更有挑衅性。并试图炫耀。④

4.一些被告，特别是赖因霍尔德，详细介绍了他们与右派的关系，并分别列举了李可夫、托姆斯基、布哈林、乌戈拉诺夫的名字。尤其是赖因霍尔德证明，李可夫、托姆斯基、布哈林知道右派恐怖组织的存在。

这给外国记者留下了特别的印象。所有的外国记者在自己的电报当中都着重强调了这一点，称其为特别轰动的证词。

我们认为，在我们的报纸上，发布有关赖因霍尔德证词的报道时，我们不应删除右派分子的名字。

5.许多被告都指证由拉狄克、索科利尼科夫、皮达可夫、谢列布里亚科夫组成的后备中心，称他们为托洛茨基—季诺维也夫集团的坚定支持者。所有的外国记者在自己的电报里都指向了这些证词，认为这是有轰动效应的，并将它们传递给他们的媒体。我们认为，⑤在我们的媒体上发布报告时，这些名字也不该删除⑥。

叶若夫、卡冈诺维奇⑦

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.42–46.原稿，机打。亲笔签名。

注释：

①在电报的末尾，粘贴了一条长条电报纸带：“1936 年 8 月 20 日 2 点 50 分发出。发报人扎哈罗娃，收报人阿福宁。”

②左边距上的“e”点用红色铅笔加下划线。

③此外，这句话被划掉：“总的来说，我必须说他的立场更愚蠢。”

④接下来，将短语划掉：“冒充领导者”。

⑤这句话的结尾原本是：“在我们的媒体上不可能隐瞒这些证词。”

⑥在信件草案中还有第 6 条，该条没有被完全保留：“这个过程毫无例外地给所有外国记者留下了非常惊人的印象。根据塔尔、阿斯塔霍夫和契卡干部们的说法，外国记者们不怀疑所有被告，尤其是托洛茨基、季诺维也夫、加米涅夫，是有罪的。他们对加米涅夫、季诺维耶的审讯印象特别深刻……”。

⑦卡冈诺维奇在信中进行了更正。

61

卡冈诺维奇、叶若夫、奥尔忠尼启则致斯大林

（1936 年 8 月 22 日）

加密

1936 年 8 月 22 日 17 点 46 分从莫斯科发出Bx.第 6 号

索契，斯大林同志

托姆斯基今天早上开枪自杀。留下一封给您的信，他在信中试图证明自己的清白[①]。昨天，在国立联合出版社的一次会议上，托姆斯基在讲话中承认与季诺维也夫和加米涅夫的多次会面，承认了他的不满和抱怨。我们毫不怀疑，托姆斯基和罗明纳兹一样[②]，知道现在他已经无法再隐藏与季诺维也夫-托洛茨基帮派的联系了，于是决定自杀。

我们认为：

1）在博尔舍夫将其下葬。

2）明天在报纸上发出以下通告：

“联共（布）中央委员会宣布，联共（布）中央候补委员托姆斯基由于与托洛茨基—季诺维也夫反革命恐怖分子纠缠不清于 8 月 22 日在他位于布尔什沃的别墅内自杀。”[③]

请告知您的指示。

卡冈诺维奇、叶若夫、奥尔忠尼启则

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.55.原稿，机打。Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.41.原稿，机打。卡冈诺维奇亲笔签名。

注释：

①托姆斯基的自杀信见：《祖国》1996 年第 2 期，第 92-93 页。

②联共（布）外高加索边疆区委书记B·B·罗明纳兹于 1930 年因参加所谓的“瑟尔佐夫—罗明纳兹集团”而被免职，一段时间后被任命为马格尼托哥尔斯克党组织书记。1935 年 1 月，罗明纳兹在得知内务人民委员部编造了有关他参加“反革命组织”的材料后自杀了。

③关于托姆斯基自杀的信息于 8 月 23 日发表在《真理报》上。

62

卡冈诺维奇、丘巴尔致斯大林

（1936 年 8 月 22 日）

从莫斯科发出的第 48 号电报[①]

索契，斯大林同志

今天我们收到第二国际的如下电报：

“致人民委员会主席：我们感到遗憾的是，在世界工人阶级团结起来与西班牙工人捍卫民主共和国的团结之际，莫斯科已经开始了重大的政治审判。尽管本次审判中的被告人季诺维也夫和他的同志一直是社会主义工人国际和国际工会联合会的死敌，但我们不能避免要求向被告人提供完全的司法保障，即他们被允许拥有绝对独立于政府的辩护律师，这样就不会被判处死刑，而且无论如何，没有任何程序可以排除上诉的可能性。社会主义工人国际组织主席德·布鲁克、秘书阿德勒；国际工会联合会主席锡特林、秘书舍文涅尔斯”。

我们认为我们不应该回答他们。请告知您的意见。[②]

卡冈诺维奇、丘巴尔

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.58.原稿，电报长条纸带。

注释：

①电报底部是电报长条纸带：“1936 年 8 月 22 日 18 点 15 分发出。发报人扎哈罗娃，收报人阿福宁”。

②见斯大林给卡冈诺维奇的文件，1936 年 8 月 22 日。

63

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 8 月 22 日）

卡冈诺维奇：

我同意你的第 7 号信。

我也同意不对第二国际作出回应。但是我认为有必要公开第二国际电报，对新闻界说人民委员会不认为有必要回答，因为判决是最高法院的事，并且应该在同一个地方嘲笑和抨击在电报上签名的无赖者，这些人是一伙杀人犯、盖世太保特务——托洛茨基、季诺维也夫、加米涅夫——这群工人阶级不共戴天的死敌——的捍卫者。

——斯大林

第 10 号

1936 年 8 月 22 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.55,55об.亲笔签名。

注释：

见《卡冈诺维奇、叶若夫、奥尔忠尼启则致斯大林（1936 年 8 月 22 日）》。

见第 29 号文件。苏联报纸于 8 月 23 日刊登了第二国际和国际工会联合会领导人的电报。该出版物的标题是“卑鄙的杀人犯和盖世太保特工的辩护人”，并附有粗鲁的评论。

号码和日期由秘书输入。同一天从索契以加密方式发送（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93Л.54.）。

64

卡冈诺维奇、奥尔忠尼启则、伏罗希洛夫、丘巴尔、叶若夫致斯大林

（1936 年 8 月 22 日）

副本

秘密

加密

斯大林同志：

在维辛斯基讲话后傍晚的庭审中，所有被告都放弃了辩护陈词。现在，在审判中宣读被告的遗言。该庭审过程将在明天结束。

我们将通过密电把判决书发给您，省略的正式部分是姓氏的列表。请提供您的指示。

第 1181/密

卡冈诺维奇、奥尔忠尼启则、伏罗希洛夫、丘巴尔、叶若夫

1936 年 8 月 22 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.65.Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.42.卡冈诺维奇亲笔签名。

注释：

判决书文本未公布。

65

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 8 月 23 日）

莫斯科，联共中央委员会

卡冈诺维奇：

首先，判决书草案在本质上是正确的，但是需要进行风格上的改进。第二，应该在判决书的个别段落当中提及托洛茨基和谢多夫应当受到起诉、受到审判以及类似的其它的事情。这对欧洲、对资产阶级、对工人阶级都有着重要的意义。在判决书中绝不可能对托洛茨基和谢多夫保持沉默，因为这种沉默会让人有如下理解：检察官想把这些先生们拉来审判，但是法院看起来不同意检察官的主张。第三，有必要删掉最后几句话："此判决系终审，不得上诉。"这些话语是多余的，给人留下了不好的印象。接下来应该不会有上诉，但在判决书中写出来是不明智的。第四，必须完整地复述乌尔里希和其他审判员的头衔，关于乌尔里希必须讲清楚的是，他主持的不是什么未知的机构，而是最高法院军事审判委员会。

——斯大林

第 11 号

8 月 23 日

23 点 10 分

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.62-64.亲笔签名。

注释：

见文件《卡冈诺维奇、奥尔忠尼启则、伏罗希洛夫、丘巴尔、叶若夫致斯大林（1936 年 8 月 22 日）》。

1936 年 8 月 24 日，波斯克列贝舍夫在索契给斯大林发了以下电报："致切丘林：代表卡冈诺维奇同志转达，在有关人员的报告中，'集团军级军事法官'乌尔里希和审判员'师级军事法官'的称号没有被解释出来。波斯克列贝舍夫。1936 年 8 月 24 日 21 时 40 分。"（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.81.）。

号码、日期和时间由秘书录入。同一天，17 时 07 分从索契通过密码发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.61.）。

66

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 8 月 23 日）

莫斯科，联共中央委员会

卡冈诺维奇：

第一，拉科夫斯基、拉狄克和皮达可夫的文章写得不坏。根据记者的报道判断，外国记者对这些有着重大意义的文章保持沉默。因此有必要在挪威、瑞典、法国、美国的报纸上翻印它们，至少是在共产党的报纸上。除此之外，这些文章的意义还在于，它们使我们的敌人无法将审判描绘成按剧本进行的和中央对季诺维也夫—托洛茨基派的报复。第二，根据赖因霍尔德的供述可以看出，加米涅夫通过她的妻子格列波娃向法国大使阿尔范试探过法国人对未来托洛茨基—季诺维也夫“政府”所可能采取的态度。我认为加米涅夫也曾试探英国、德国和美国的大使。这意味着加米涅夫应该向这些外国人披露了他们的阴谋和谋害联共领导人的计划。这也意味着加米涅夫已经把这些计划透露给他们，否则这些外国人就不会同他谈论未来季诺维也夫—托洛茨基“政府”的问题。这是加米涅夫和他的朋友们试图与资产阶级政府直接建立联盟反对苏维埃政府的尝试。这里还隐藏了美国记者为这些名人预先准备好的讣告的秘密。显然，格列波娃非常清楚这整个事情的肮脏之处。有必要将格列波娃带到莫斯科，并对她进行一系列彻底的审问。她可以揭示很多有趣的事情。

——斯大林

第 12 和 13 号

1936 年 8 月 23 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.77-80.亲笔签名。

注释：

8 月 21 日，报纸上刊登了前反对派领导人拉科夫斯基、拉狄克和皮达可夫的文章，强烈谴责托洛茨基、季诺维也夫和加米涅夫，要求处决他们。

见文件《卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林（1936 年 8 月 20 日）》。

号码和日期由秘书输入。同日 23 时 36 分以加密方式从索契发出。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.76.）。

67

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 8 月 27 日）

密电

1936 年 8 月 27 日 4 点 30 分从莫斯科发出，Bx.第 12 号

索契，斯大林同志[①]

我正在向挪威政府提出一项呼吁草案。请您指示。

卡冈诺维奇

“我谨代表我国[②]政府宣布以下内容：1934 年 12 月 1 日，[③]共产党州委员会书记[④]、苏联中央执行委员会主席团成员C·基洛夫在列宁格勒被杀。司法调查证实，这起谋杀案是由一个恐怖组织的成员犯下的，该组织将针对苏联政府成员和其他主要官员的恐怖行为定为自己的任务。杀害基洛夫的凶手本人及其同伙在审判中承认了这一点。[⑤]进一步的调查以及[⑥]8 月 6 日至 23 日在莫斯科进行的法院诉讼程序进一步确定，上述恐怖组织是在现居挪威的列夫·托洛茨基的倡议下创立的，他为在苏联的同谋作出了详尽的指示，以谋杀斯大林、伏罗希洛夫、卡冈诺维奇、奥尔忠尼启则和其他政府及地方组织[⑦]成员。托洛茨基为此目的从国外派遣了特务[⑧]。托洛茨基所有参与[⑨]司法调查的同伙和特务在公开审判中证实了所有陈述的事实。

因此，可以认为，居住在挪威的Л·托洛茨基是旨在杀死苏联政府成员和苏联人民领导人的恐怖主义行动的组织者、领导者和鼓动者[⑩]。

提请挪威政府注意上述内容，苏联政府认为，进一步向恐怖主义行动的组织者列夫·托洛茨基提供庇护可能会损害苏联与挪威之间的友好关系，并且有悖于现代国际关系的准则。在此还应当铭记南斯拉夫国王亚历山大和法国外长巴尔都被杀的事件，1934 年 12 月 10 日，国际联盟理事会讨论了各国政府对于在其领土上准备针对其他国家政府成员进行恐怖行动的态度，确认国联成员国有义务在反恐斗争中互相帮助，甚至认为为此目的缔结一项国际公约是可取的。

苏联政府强烈[⑪]希望挪威政府采取适当措施，剥夺托洛茨基今后在挪威领土上的庇护权。”[⑫]请见第 22、23 号电报。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.110–111.原稿，

机打。Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.56–58.经卡冈诺维奇确认的机打正文。

注释：

①在左上角，斯大林写道："草稿草率"，并在案文上做了大量注释。

②斯大林将"我国"改为"苏联"。

③斯大林插入"苏联"。

④斯大林将"州委员会书记"改为"中央委员"。

⑤斯大林插入"1934 年底"。

⑥斯大林插入"1936 年"。

⑦斯大林将"地方组织"改为"领袖"。

⑧斯大林插入"进入苏联"。

⑨斯大林插入"1936 年 8 月"。

⑩斯大林划掉"和鼓动者"。

⑪斯大林划掉"强烈"。

⑫在上述草案中有一处笔记："同意。М·加里宁"（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11Д.55.Л.57.）。另见第 35、36 号文件。

68

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 8 月 27 日）

加密

1936 年 8 月 27 日 21 点 52 分从莫斯科发出Bx.第 14 号

索契，斯大林同志

谢多夫现在居住在巴黎，因此李维诺夫提议指示希尔施费尔德以不太正式的形式向戴尔波声明，但同对挪威人的形式一样，剥夺谢多夫的庇护权，不过在媒体上发表。

请提供您的意见[①]。请见第 25 号电报。

卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.115.原稿，机打。Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.60.卡冈诺维奇亲笔签名。

注释：

①斯大林在同一天在 24 点 00 分通过自索契发出的密电表示同意（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.Д.55.Л.114.）。另见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1936 年 8 月 27 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 27 日）》。

69

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 8 月 28 日）

莫斯科，联共中央，卡冈诺维奇：

应该将在《真理报》和《消息报》上发表的关于审判进程的报告翻译成欧洲语言。起诉书必须包括在内，检察官的讲话也必须包括在内，被告的遗言是必不可少的。这些材料有必要不要在党的出版社或真理报出版，而是在苏联司法人民委员部出版。出版应该尽快完成并广泛发行到国外。

——斯大林

第 20 号

1936 年 8 月 28 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.118.亲笔签名。

注释：

号码和日期由秘书输入。当天下午 2 点 15 分从索契以加密方式发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.117.）。1936 年 8 月 28 日，政治局就斯大林的建议正式作出决定（同上，Ф.17.Оп.3.Д.980.Л.72.）。审判记录已以欧洲语言出版。例如，见：《法院诉讼报告——苏联最高法院军事法庭审理的托洛茨基—季诺维也夫恐怖中心案，莫斯科，1936 年 8 月 19 日至 24 日》，莫斯科 1936 年版。随后，1937 年 1 月和 1938 年 3 月，这两次“大型”莫斯科审判的材料也相继出版。

70

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 8 月 29 日）

莫斯科，联共中央

卡冈诺维奇：

为什么只有《真理报》批评挪威工人党的最高领导人，而《消息报》却保持沉默呢？为什么《消息报》不批评锡特林和其他人对人民委员会的呼吁？为什么《消息报》表现出了中立的态度？责成《消息报》去攻击挪威工人党高层和锡特林。告诉我李维诺夫为了将托洛茨基驱逐出挪威、为了将谢多夫驱逐出法国都做了什么？为什么没有新闻稿？

——斯大林

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.124-125.亲笔签名。

注释：

见文件《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 27 日）》。

见文件《卡冈诺维奇、丘巴尔致斯大林（1936 年 8 月 22 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 22 日）》。

信中附有切丘林的说明：“斯大林同志没有发这封电报，因为他在《消息报》上发现了一则批评的消息。”

71

卡冈诺维奇、叶若夫致斯大林

电报

1936 年 8 月 29 日 22 点 40 分从莫斯科发出

索契，斯大林同志

1）根据您的指示，我们准备了以下指令草案：

“致州委、边疆区委和各民族共和国共产党中央委员会书记。鉴于近期很多党组织当中都出现了在未经中央委员会授权和同意的情况下，将由中央决定任命的负责工作人员，特别是企业董事长解除职务和开除党籍的现象，中央委员会在此澄清，地方党组织的此类行为是不对的。中央委员会责成州委、边疆区委和民族共和国共产党中央委员会，在任何情况下都停止类似的实践活动，当地方党组织拥有可以质疑中央任命的工作人员留在党内可能性的佐证材料时，相关材料应交给联共（布）中央进行审查。联共（布）中央”[①]

2）鉴于在今天出版的《消息报》中在《暴露出来的敌人》标题下的关于对董事长塔巴科夫同志错误的短篇报道，我们计划用如下方式解决：

“关于短评《暴露出来的敌人》（消息报 1936 年 8 月 29 日）。联共（布）中央委员会查明了对车里雅宾斯克州萨特卡菱镁矿厂党组织对董事长塔巴科夫同志系被处决的托洛茨基—恐怖分子得列采尔的帮凶和袒护者的指控是错误的”。

联共（布）中央通过决议：

1）撤销萨特卡菱镁矿厂党组织将塔巴科夫同志开除出党的决定。

2）问责《车里雅宾斯克工人报》编辑瑟尔金，指出他不恰当地刊发了工厂党组织对塔巴科夫同志的处理决定，而没有对其指控的正确性进行核实。

3）确认《消息报》编辑部解除该报驻车里雅宾斯克通讯员杜宾斯基同志职务的正确性，因为他没有核实便将当地报纸关于塔巴科夫同志的报道拿来报告给了《消息报》。

4）建议《消息报》编辑部，在发布关于这一问题的联共（布）中央现在决定的公告同时发一份编者按，指出《消息报》出版的这一短篇报道是错误的。

请提供您的意见[②]。

卡冈诺维奇、叶若夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.135–136.原稿，机打。Ф.81.Оп.3.Д.101.Л.97–99.机打副本。

注释：

①该指令于1936年8月31日发送至当地（АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.22.Д.150.Л.129.）。

②斯大林于8月30日同意（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.93.Л.134.）。1936年8月31日，政治局批准了该决议（同上Ф.17.Оп.3.Д.980.Л.79.）。第二天，报纸上刊登了这件事。

72

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 9 月 5 日）

莫斯科，联共中央，卡冈诺维奇：

我读了挪威政府关于托洛茨基的回应。你们想采取什么行动？

——斯大林

第 28 号

1936 年 9 月 5 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.23.亲笔签名。

注释：

见文件《卡冈诺维奇致斯大林（1936 年 9 月 6 日）》。

号码和日期由秘书输入。同日 22 时 31 分从索契以加密方式发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94Л.22.）。

73

斯大林致卡冈诺维奇、莫洛托夫

（1936 年 9 月 6 日）

卡冈诺维奇、莫洛托夫：

《真理报》关于季诺维也夫分子和托洛茨基分子的文章糟糕得一塌糊涂。《真理报》没有任何一篇文章以马克思主义的方式解释这些流氓，以及他们的政治面孔、他们真实的纲领垮台的过程。它把一切都简化成了个人原因，即有一些恶人，想夺取政权；有一些善良人，在掌权，并用这些没有营养的大杂烩去喂养公众。

在文章中应该说，与斯大林、伏罗希洛夫、莫洛托夫、日丹诺夫、柯秀尔等人的斗争是与苏联的斗争、与集体化的斗争、与工业化的斗争，斗争的实质是为了在苏联的城市和乡村复辟资本主义。因为斯大林和其他领导人不是孤立的个人，而是苏联社会主义所有胜利的人格化，是集体化、工业化，以及兴起的苏联文化的人格化，因此也是工人、农民和劳动知识分子为资本主义的失败和社会主义的胜利所做的努力的人格化。

应该说，在苏联与党和政府的领导人作斗争的任何人都是站在社会主义失败和资本主义复辟的立场上的。

应该说，季诺维也夫分子和托洛茨基分子缺乏纲领的言论是这些无赖的欺骗，也是我们同志的自欺。

这些无赖有自己的纲领。纲领的实质——消灭苏联的社会主义，复辟苏联的资本主义。跟这些无赖谈论这样的纲领是无利可图的。因此我们的负责人坚定不移地认为他们没有纲领。

最后，有必要说，这些无赖沦为白卫分子和法西斯主义者，从逻辑上讲是从他们过去作为反对派的罪恶进一步堕落的结果。

列宁还是在第十次党代会上就指出，一个派系或者几个派系如果在与党的斗争中坚持自己的错误，那么在苏维埃体制之下也必将屈从于白卫分子，捍卫资本主义、反对苏维埃，就必须与苏维埃政权的敌人合流。列宁的论点现在得到了出色的证明。但是不幸的是，《真理报》没有援引这一论点。

这就涉及到了用什么样的精神和什么样的方向进行新闻鼓动的问题。不幸的是，所有这些

都被忽略了。

——斯大林

第 29—30 号

1936 年 9 月 6 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.32–39.亲笔签名；Ф.82.Оп.2.Д.1421.Л.287.机打副本。

注释：

9 月 6 日下午 4 时 5 分从索契以加密方式发送。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.31.）。

74

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 9 月 6 日）

很遗憾我们延迟了讨论答复挪威政府的问题。我们在今天会讨论并且给您一个答复。

Л·卡冈诺维奇[①]

1936 年 9 月 6 日

注释：

①右上角有笔记：“已通过电话转告切丘林同志。”另见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1936 年 8 月 27 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 27 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 29 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 9 月 5 日）》《卡冈诺维奇、莫洛托夫致斯大林（1936 年 9 月 6 日）》。

75

莫洛托夫、卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 9 月 6 日）

绝密

副本

加密

斯大林同志

指示李维诺夫向挪威政府起草照会，以批评挪威的回应，并宣布我们认为挪威政府的回应不令人满意，并要求挪威政府承担一切后果。我们明天会通知您照会的内容。1280 号/Ш。

莫洛托夫、卡冈诺维奇[①]

1936 年 9 月 6 日

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.30.Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.71.莫洛托夫和卡冈诺维奇亲笔签名。

注释：

①参见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1936 年 9 月 6 日）》。

76

卡冈诺维奇、莫洛托夫致斯大林

（1936 年 9 月 7 日）

密电

1936 年 9 月 7 日 21 点 10 分从莫斯科发出Bx.第 24 号

索契，斯大林同志

我们将如下声明草案发给苏联驻挪威全权代表：“我已提请苏联政府注意法务大臣李在本月三号对我所作的挪威政府的声明。遗憾的是，苏联政府认为这一说法并不令人满意，而且不可能与苏联和挪威之间的友好关系保持一致。苏联政府宣布，挪威政府要对其采取措施的效果和托洛茨基继续留在挪威的后果承担全部责任。”

此外，我们还计划撤回挪威的剩余订单，金额为 30 万卢布。

请提供您的意见[①]。

卡冈诺维奇、莫洛托夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.62.原稿，机打。Ф.558.Оп.11.Д.55.Л.72.经卡冈诺维奇确认的机打正文，亲笔签名。

注释：

①斯大林在 9 月 8 日零时 40 分通过从索契发出的密电表示同意（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11Д.94.Л.61.）。参见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（1936 年 8 月 27 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 27 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 8 月 29 日）》《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 9 月 5 日）》。

77

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 9 月 9 日）

斯大林[①]

我现以书面形式转递检察院电文的确切内容。15 号。

卡冈诺维奇

“苏联检察院。目前，苏联检察院已于今年 8 月 19 日至 20 日在莫斯科完成了对托洛茨基-季诺维也夫恐怖中心的调查。一些被告表示Н·И·布哈林和А·И·李可夫以一种或另一种方式参与了他们的反革命犯罪活动。

由于该调查未能确认将Н·И·布哈林和А·И·李可夫送上法庭的信息，因此关于本案的进一步调查中止进行”。[②]

注释：

①电报长条纸带粘贴在下面：“1936 年 9 月 9 日，22 点 25 分发送。发报人扎哈罗娃，收报人阿福宁。”

②见文件：《卡冈诺维奇致斯大林（9 月 14 日[1936]）》。

78

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 9 月 11 日）

斯大林同志

我们认为有必要立即将皮达可夫从重工业副人民委员的职务上撤下来。我们只是认为，在检察院发布调查结果报告之前，应该不要在报纸上发表有关撤职的报道。

请您指示。[①]

卡冈诺维奇

1936 年 9 月 11 日[②]

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.84.原稿，机打。

注释：

①见文件：《斯大林致卡冈诺维奇（1936 年 9 月 11 日）》。

②在日期下方有一个注释：“通过电话收悉”。

79

斯大林致卡冈诺维奇

（1936 年 9 月 11 日）

最好立即将皮达可夫从副职上撤下来，而不必等待调查结果。

——斯大林

注释：

在文件上的秘书注释上注明日期：“1936 年 9 月 11 日通过电话转达。”

见文件《卡冈诺维奇致斯大林（1936 年 9 月 11 日）》。在同一文件中，有秘书的便条：“德文斯基致切秋林：卡冈诺维奇同志问道，现在是否发表？切秋林转达了斯大林同志的话：‘没必要发表。’”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.87.）。

9 月 9 日，德文斯基向斯大林发送了一份用于表决的密电：“从莫斯科 1936 年 9 月 9 日 23 时 10 分。Вх.№29.索契。致斯大林同志：表决。‘根据无可辩驳的证据，已经确定中央委员Ю •Л •皮达可夫与托洛茨基派和季诺维也夫派的恐怖组织保持密切联系。政治局认为皮达可夫的这种行为与他的中央委员会成员和联共（布）成员的身份不相符，因此将皮达可夫开除出中央委员会和联共（布）行列的提案提交表决。全联盟共产党（布）中央委员会书记处’。德文斯基。”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11Д.94.Л.75.）。在加密信息上斯大林写道：“同意”。

1936 年 9 月 11 日，政治局发布了关于开除皮达可夫的决议，但没有在媒体上公布这一决定（РГАСПИ （俄罗斯国立社会政治历史档案馆）Ф.17.Оп.3.Д.980.Л.26.）。

80

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 9 月 14 日）

9 月 14 日

您好，亲爱的斯大林同志！

1.根据苏利茨的密电，李维诺夫建议就在法西斯主义者的纽伦堡大会上的侮辱性和苛刻的讲话向德国发送抗议照会。我们认为不应该。[①]

上个月的经验表明，根据您指示避免歇斯底里和保持冷静与克制的策略是完全合理的。

请告诉我们您的意见。发给您李维诺夫的备忘录，同时发给您他的另外两份跟他日内瓦之行有关的备忘录。[②]

在这几份备忘录中他提出了如下问题：

1）由国际联盟提供一支由 1,000 架飞机组成的国际航空部队的问题。

2）关于反对捷克斯洛伐克投降情绪的问题。

3）关于建立我们和土耳其关系的问题。

4）关于建立一个统一的大型防御性反德阵线的问题。

所有这些问题现在都没有十万火急的紧迫性。我们仍然答应向您报告。如果您发现这些问题对于当前形势至关重要，请提出您的观点。

2.伊朗政府告知我们的贸易代表，希望就我们向伊朗的多家企业供应和安装设备而进行谈判：包括六个棉花工厂、一个肉类加工厂、六个糖厂等等，设备总成本和安装将花费大约 6000 万美元。6-7 年内交付。

政府订货的付款将以原材料支付。德国人现在正试图介入此事。外贸人民委员部正在征求我们的意见。我们没有达成任何形式的决议草案，但我认为我们几乎不该拒绝谈论这个问题。

请您告知您的意见。

3.我们最近讨论了限制面粉消费的问题。农产品采购委员会和国内贸易人民委员部提出了限制将烘焙粮和面粉分配给个人的建议。我们认为不应该这样做。也许在非肥沃土壤州的农村地区仍然可以容忍这种情况，而这样的地区数量是有限的。但总的来说，这是不允许的。在采取这样的措施时，我们根据您的指示出发，不要给敌人造谣和诽谤我们的口实。[③]

我想请您告诉我们，我们在这个问题上的立场是否正确，特别是因为这个问题有可能再次出现。

4.关于索科利尼科夫-李可夫-布哈林对质的几句话。索科利尼科夫给人以犯罪匪徒的印象，他没有丝毫尴尬地提出了谋杀计划及其在这方面的工作。

李可夫表现得相当镇定，一直问索科利尼科夫，是否仅凭托姆斯基或其他人的话就知道李可夫的参与其中。显然，在他得知索科利尼科夫仅从加米涅夫和托姆斯基处得知李可夫与季诺维也夫和加米涅夫之间的联系后，他，李可夫就彻底冷静下来并发动了进攻。但是李可夫和布哈林都把重点放在了最后几年，因为 31-32-33 年，他们显然都绕过去了。尽管李可夫不得不承认，托姆斯基已经在 1934 年问过他是否应该去季诺维也夫的别墅，那一年，也就是基洛夫被谋杀的那一年。李可夫只限于为托姆斯基提供建议，但没有告诉任何人。

布哈林在这里与索科利尼科夫进行了更多争论，尽管他不得不承认，他答应索科尼科夫的要求，在《消息报》上发表他的文章，他这样回答他“写上你全名的签名，你必须为自己的合法性而战，我也告诉了李可夫同样的话。”基本上，他（布哈林）证实了这一点。布哈林在索科利尼科夫离开后流下了眼泪并请求您相信他。我的印象是，也许他们没有与托洛茨基-季诺维也夫集团保持直接的组织联系，但是在 32-33 年，也许在随后的几年中，他们意识到了托洛茨基的作为。显然，他们右派有自己的组织，允许从下面采取统一行动。前几天，国家政治保卫局交通分局给了我一份在莫斯科被捕的托洛茨基团伙的铁路工人名单，我查看名单时发现有大量的乌格拉诺夫的前莫斯科的工作人员。我认为这是铁路工人的托洛茨基右派组织。无论如何，必须搜索右派的地下组织，它是存在的。我认为李可夫、布哈林和托姆斯基的角色仍会显现出来。

皮达可夫尚未提供证据。将为他和拉狄克安排面对面的对质。很好，我们将所有这些托洛茨基-季诺维也夫的无赖者捣毁了。

5.我将通过电话向您介绍西班牙的事情。

向您致以热情的问候和良好的祝愿。

您的Л·卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.743.Л.56–63.亲笔签名。

注释：

①在 9 月 11 日给外交人民委员部的电报中，苏联驻德国全权代表Я·З·苏利茨写道：“我们

需要对纽伦堡作出强有力和严厉的答复，这将得到一些国家，但不是好战分子的理解和认可，例如，可以采取以下措施进行回应：1）抗议照会；2）我国一位领导人的强硬的公开声明；3）暂停供应原材料以使德国遭受损失，即使这与我们用黄金支付的一些期票有关。”9 月 19 日，外交部副人民委员克列斯廷斯基向苏利茨通报了国家领导人的指示：“已决定不发送照会。至于媒体的反应，正如你所看到的，我们的媒体只是在党的层面做出了相当果断的反应，甚至没有对政府成员进行谴责”（ДВП.T.XIX.762 页）。

②李维诺夫与他参加国际联盟大会会议有关的记录不在档案中。也没有找到这些建议的解决方案。

③9 月 11 日，政治局作出第四季度粮食交易的决定，规定优先向城市中心的交易网络提供面粉和粮食资金（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.980.Л.26.）。

81

斯大林、日丹诺夫致卡冈诺维奇、莫洛托夫

（1936 年 9 月 25 日）

莫斯科，联共（布）中央委员会

卡冈诺维奇同志、莫洛托夫同志和其他中央政治局委员同志们：

第一，我们认为任命叶若夫同志为内务人民委员是绝对必要和紧迫的。亚戈达显然不适合进一步完成揭批托洛茨基—季诺维也夫集团的任务。国家政治保卫总局在这件事情上晚了 4 年，内务人民委员部的所有党的工作者和大部分地区的代表都谈到了这一点。可以任命阿格拉诺夫担任叶若夫的副手。

第二，我们认为，迫切需要撤掉李可夫通信人民委员的职务，并任命亚戈达担任通信人民委员的职务。我们认为此事不需要任何原因说明，因为已经很清楚了。

第三，我们考虑紧急撤掉洛博夫的职务，并任命北部边疆区委书记伊万诺夫同志为林业人民委员。伊万诺夫懂林业，他是一个业务人员。洛博夫作为人民委员，无法应付此事，而且他每年的工作都很糟糕。我们建议将洛博夫安排在林业人民委员部伊万诺夫第一副手的位置上。

第四，至于中央监察委员会，可以让叶若夫兼任中央监察委员会主席，这样他就可以将十分之九的时间分配给内务人民委员部，而雅科夫·阿尔卡季耶维奇·雅科夫列夫也可以被提名为中央监察委员会叶若夫的第一副手。

第五，叶若夫同意我们的建议。

斯大林、日丹诺夫

第 44 号

1936 年 9 月 25 日

第六，不用说，叶若夫仍是中央书记。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.124–127.日丹诺夫亲笔签名。

注释：

这张纸条的复印件有写着卡冈诺维奇和莫洛托夫读过该纸条的笔记，还写着9月26日21时30分从索契通过电话转达了该文本。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.131.）。

档案中有一份由切秋林记录的斯大林9月26日给雅戈达的便条：“雅戈达同志：通信人民委员部是非常重要的，这是有国防性质的人民委员部。我毫不怀疑，您将能够让这个人民委员部动员起来。我请求您接受通信人民委员部的工作。如果没有一个好的通信人民委员部，我们会觉得好像没有手一样。通信人民委员部决不能停留在现在的状态上，它必须马上动员起来。И.斯大林”（同上，Л.132.）。

1936年9月26日和29日，政治局批准了拟议的人事变动。（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.981.Л.49,50,57.）。

号码、日期和第六段是由切丘林写下的。当天18时10分从索契以加密方式发送。

在密电上有一个说明：“这个密电是1956年2月8日寄给П•Н•波斯佩洛夫同志的，于1957年9月13日返回。”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.94.Л.123.）。波斯佩洛夫准备了Н•С•赫鲁晓夫在中央政治局第二十次会议的报告，其中公开了加密文本的第一段，但没有最后一句话（恢复名誉……）。“国家政治保卫总局迟到了四年”这句话在加密文本中没有被划线，而却被加入到赫鲁晓夫的报告中了。

82

卡冈诺维奇致斯大林

（1936 年 10 月 12 日）

10 月 12 日

您好，亲爱的斯大林同志！

1）昨天我们召开了政治局会议。在许多问题中，我们讨论了：a）关于高尔基汽车厂的汽车生产进度，您通过电话对此作出了指示。事实证明，许多重要的零件确实与福特的零件有所不同：车轮、方向盘、弹簧、减震器、车架、空气滤清器等。这些零件大多数与别克相近。季亚科诺夫声称这不会在车辆设计中产生任何不协调。由于无法在会议上自行弄清，我们指示重工业人民委员部对该问题进行技术分析，并在十天内将其报告给中央委员会。除此之外，有事实证明，除了计划定额被破坏之外，许多零件是有缺陷和被组装的。结果，发动机、离合器、变速箱和后桥存在重大缺陷，这就是为什么在莫斯科出现许多交通事故的原因。我们坚定地向季亚科诺夫施压（很遗憾，德别茨不在莫斯科）。我们还不得不认真地批评普拉姆涅克，他对工厂的破坏不太了解，最重要的是将供应商带到工厂。在十天内，当我们收到重工业人民委部的建议时，我们会通知您。[①]

b）我们不得不在甜菜的挖掘和运输这件事上向乌克兰人施压，米高扬同志不在那里，别列尼基仅仅能发出叫声，如果我们不急于挖掘和运输，我们在甜菜的数量和质量上都会损失很大。我们希望您不要因为这种施压而责怪我们。[②]

2）关于种子的问题，您已下达了指示，中央委员会农业处现在正在做很多工作。事实证明，就荞麦而言，无论是在研究所还是在农业人民委员部中，都没有人会辨别荞麦品种，甚至都没有人了解这个问题。在黍米方面，农业人民委员部甚至没有人能分辨出黍米的图片。而春小麦也没有建立起品种分区。农业人民委员部给整个中部地区，包括给西伯利亚推荐的都是软质小麦 0111 品种。现在已经确定该品种受黑穗病的影响最大，而且不及给（苏联的）欧洲（部分）推荐的软质小麦 062 和给（苏联的）远东（地区）推荐的软质小麦 0321。

农业人民委员部推荐给黑钙土的新品种极易受到锈病和黑穗病的感染。完全有可能，这其中不仅有简单的捣乱行为，还可能有破坏活动。在本月底之前，我们将准备好问题，然后我们会通知您。同时还有建设农机站的成本问题。

3）就西班牙的事务，我们严格按照您的指示行事。可以看出，您提议作出的声明极其及时和成功[③]。在与西班牙大使帕斯夸共进午餐后，我在一次谈话中告诉他，您个人特别关注革命的西班牙，并深切关心他们的困难和需要。他非常要求我向您转达他的问候和感激。他说，西班牙的革命群众非常了解和赞赏这一点，您在西班牙的知名度很高，您的作品被翻译成西班牙语，与列宁的作品一起被广大群众阅读。显然，他本人被失去马德里的危险所压垮。当然，他不是真正的革命布尔什维克，而是孟什维克。然而，在我看来，这份声明提升了他的乐观程度——他遭受了太大的压力。总体而言，谈话进行得很顺利。

4）在纪念谢尔戈诞辰 50 周年之际，北高加索边疆区委提出了以奥尔忠尼启则同志的姓名重命名该地区和铁路的问题。请提供您的意见。此外，我们打算在新闻界对此进行相应报道，并以中央委员会的名义致以祝贺。我们会提前将贺词发送给您。

5）叶若夫同志工作进行得很好。他坚定而积极地采取行动，铲除反革命匪徒；他在政治上显著胜任地进行了审讯。但是，显然，尽管机构的一部分现在已经安静下来，但仍然不忠于他。例如，一个对他们来说非常重要的问题，即级别问题。有传言说，亚戈达仍然是总政委，将不会给叶若夫这个头衔，等等。奇怪，但是这个“问题”在这个机构中是有意义的。在决定人民委员的问题时，这个问题没有以某种方式提出。斯大林同志，您认为有必要提出这个问题吗？[④]

就以此为结尾吧。

至于其余的内容，我们会尽力纠正您指出的缺点和错误，我们将全力以赴。我们很高兴您感觉良好。向您致以热情的问候和良好的祝愿。

您的Л·卡冈诺维奇[⑤]

P.S.米高扬同志给我们发来一封信，他在信中向您致以热烈的问候。**Л·卡冈诺维奇**

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.743.Л.64-71.亲笔签名。

注释：

①1936 年 10 月 11 日，政治局作出决定：“a）指示重工业人民委员部检查高尔基汽车厂生产的 M-1 汽车质量不合格的原因，包括生产组织方面、工厂的工作和供应方法，以及机器设计中的缺陷的原因。b）建议鲁西莫维奇同志和普拉姆涅克同志提交他们在十天内提高汽车质量的建议”（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.981.Л.1.）。1937 年 1 月 14 日，政治局通过了关于建设高尔基汽车厂的决议，提议开始生产用于汽车和卡车的新发

动机。工厂扩建的建设工作计划于 1939 年 9 月下旬完成（同上Д.983.Л.26,113–116.）。

②10 月 11 日，政治局批准了交付 1936 年收获的甜菜的计划。乌克兰规定了甜菜挖掘结束的截止日期——1936 年 11 月 1 日，甜菜运出的结束日期——1936 年 11 月 10 日（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.3.Д.981.Л.3,92–94.）。

③此处谈论的是斯大林关于С·Б·卡甘在伦敦不干涉西班牙事务委员会会议上的声明的指示（参见：ДВП.Т.XIX.С.463–464;РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.95.Л.30–31,85,90–94.）。

④国家安全总政委的头衔于 1937 年 1 月 27 日授予叶若夫（《卢比扬卡 1917-1960，手册》由А·И·科库林、Н·В·彼得洛夫编纂，莫斯科 1997 年版，第 14 页）。

⑤在第一页左上角有笔记："归入我的档案。И·斯大林"。

1937 年

83

苏联国家计划委员会中央国民经济统计局负责人И·А·克拉瓦利致联共（布）中央书记И·В·斯大林和苏联人民委员会主席В·М·莫洛托夫对 1937 年全联盟人口普查的初步结果的备忘录（摘录）

（1937 年 2 月 11 日）

根据苏联人民委员会 1936 年 4 月 28 日至 29 日的决定，苏联国家计划委员会中央国民经济统计局应于 1937 年 1 月 6 日完成全联盟人口普查。

鉴于今天，联共（布）中央委员会和苏联人民委员会确定的提交人口普查初步结果的截止日期已经到期，而雅科夫列夫同志的工作组已经确定他们的工作尚未完成，中央国民经济统计局决定用已有数据展示结果。

普查严格按照联共（布）中央委员会和苏联人民委员会的指示进行。

有关部门的工作人员按特殊程序列举了红军、内务人民委员部单位和机构、航行中的轮船的船员和乘客。1 月 5 日晚上，中央国民经济统计局为此组织了专门的柜台小组，对火车的乘客和在车站等候的乘客进行了普查。

在苏联人民委员会批准的清单上列举的最偏远和人迹罕至的地区，普查是在不按照上述程序的情况下进行的。

普查人口大大低于当前人口数量的预期。中央国民经济统计局在 1933 年 1 月 1 日发布的 1.657 亿人口数量，是进行进一步计算的起点。人口普查表明，当前的人口统计提供了不正确的、被高估的数字，而当前人口普查的完全不令人满意的状态是假设人口数与人口普查确定的实际人口规模之间存在差距的主要原因。

当前人口登记中的错误根源是登记处登记出生和死亡的系统极差。

（……）人口普查数据显示城市和城市人口的增长异常迅猛。根据 1937 年的人口普查，城市总人口为 5190 万。对应的是根据 1926 年的人口普查的 2630 万人（197.1%）。这样的城市人口增长率（十年来翻了一番）是世界上任何一个国家都不知道或不曾知道的。城镇人口占

总人口的比例从 1926 年的 17.9%上升到 31.2%。从 1926 年到 1937 年，城市居民点（城市、工人镇和城市型居民点）的总数比 1925 年增加到 3208 个。随着城市数量的增长，它们的规模也随之扩大。1926 年，有 86 个人口超过 5 万的城市，到 1937 年已经有 159 个这样的城市，1926 年有 3 个人口超过 50 万的城市，现在有 8 个。

（……）在进行人口普查时，我们遇到了阶级敌对分子非常积极的尝试，我们防止他们散布敌对谣言，特别是在宗教问题上的谣言。许多事实，例如在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国的列佩利区有组织的近 200 人拒绝提供有关他们自己的信息的事实，证明在某些地方，不是个别人，而是反革命组织在试图扰乱人口普查。在各地进行的许多说明性工作使阶级敌对分子的企图陷于瘫痪，并引起了民众的极大热情，他们以各种方式帮助了人口普查的成功进行。

筹备工作的彻底性比 1926 年以前的人口普查要好得多，党和苏维埃机构的积极参与以及人民对人口普查的异常自觉的态度促进了人口普查的完成。

（……）根据 1937 年 6 月 1 日的人口普查，总人口为 162,003,225，其中包括红军和内务人民委员部指战员。与 1926 年（12 月 17 日的人口普查）相比，人口增加了，即……增加了 1500 万人，即 10.2%，或平均下来，每年 1%。这些数据表明，我国的人口增长率大大超过了发达的资本主义国家的自然人口增长率，例如英国（1927 年至 1935 年的 9 年中，平均增长率为 0.36%）、德国（0.58%）、法国（0.11%）、美国（1930-1934 年的五年期间，美国平均水平为 0.66%），相当于意大利（1.02%），仅次于日本（1.37%）。

（……）通过分析各个州和共和国的人口动态，可以将所有州分为以下五个组：

第一组——过去十年中人口增长迅速和发展较快的州——莫斯科、顿涅茨克、列宁格勒、远东边疆区、东西伯利亚、斯维尔德洛夫斯克等。这些地区的人口增长率在过去十年中非常高。莫斯科（+37.9%）、顿涅茨克（+54.5%）、列宁格勒州（+36.3%）、远东边疆区（+93.2%）、东西伯利亚（+42.9%）、斯维尔德洛夫斯克（+30.9%）、高尔基（+21.7%）。所有这些地区的特点是城市人口大量增加，而农村人口低增长甚至减少了。

第 2 组——民族共和国和州。除哈萨克斯坦外，所有这些国家的人口增长都归因于自然增长和外来人口的大量增长：乌兹别克苏维埃社会主义共和国（+28.8%）、塔吉克苏维埃社会主义共和国（+34.6%）、土库曼苏维埃社会主义共和国（+18，8%）、吉尔吉斯苏维埃社会主义共和国（+37.2%）、阿塞拜疆苏维埃社会主义共和国（+32.8%）、亚美尼亚苏维埃社会主义共和国（+38.6%）、格鲁吉亚苏维埃社会主义共和国（+27.3%）、达吉斯坦苏维埃社会主义自治共和国（+28，3%）、卡累利阿（+92.0%），等等。

第 3 组——有 6 个州，人口大量流失，供养了前两个组。其中包括：加里宁州、西部州、雅罗斯拉夫尔州、基洛夫州、白俄罗斯苏维埃社会主义共和国部分地区等。

第 4 组——增长率接近平均水平且人口机械运动相对较小的州。该组包括：伊凡诺沃州（+13.9％）、鄂木斯克州（+12.3％），等等。

第 5 组——主要是农业州，其人口自然流动指标不佳，与其他州相比，从该地区驱逐出的富农分子比例相对较高。这包括乌克兰（顿巴斯地区除外）、哈萨克斯坦、库尔斯克州、萨拉托夫州、伏尔加沿岸德意志苏维埃社会主义自治共和国、古比雪夫州、亚速-黑海边疆区、北高加索边疆区的俄罗斯人聚居地区、沃罗涅日和斯大林格勒州部分地区。

请注意以下事实，该组包括一些富农对集体化抵抗最猛烈、最激进的州，而这影响了人口。

上述分组仅反映了每个州的基本趋势，而实际上，在不同州的许多区域中，存在不同的趋势。因此，例如，第聂伯罗彼得罗夫斯克州的整体人口增长 6.8％是城市人口（+177.0％）的大幅增长的结果，而农村人口下降了 26.3％。在其他一些地区也发生了类似的情况。（……）

摘译自：《俄罗斯历史文选（1914-1945 年）》，А·Ф·基谢廖夫、Э·М·莎金编纂，莫斯科 1996 年版，第一分册，第 419-422 页，第 IV 部分，第 12 号文档。

注释：

伊万·亚当诺维奇·克拉瓦利（1897-1938），政治家和经济学家。1935 年至 1937 年，任中央国民经济核算局（ЦУНХУ）局长、苏联国家计划委员会副主席。1937 年的人口普查是在 1 月的第一周进行的，在接下来的五天内进行了连续一轮的人口监控。苏联人民委员会 1937 年 9 月 25 日的决议承认人口普查的组织不令人满意，其材料有缺陷，低估了苏联的人口。新的人口普查计划于 1939 年 1 月进行。人口普查领导人、许多著名的统计学家和人口统计学家都遭到镇压。

1938 年

84

苏联内务人民委员部国家安全总局给斯大林的关于诗人杰米扬·别德内的证明[①]

（1938 年 9 月 9 日）

杰米扬·别德内（**叶菲姆·阿列克塞耶维奇·普里德沃洛夫**）——诗人，苏联作家协会成员。他于今年 7 月被逐出联共（布）。因为其“明显的道德败坏”。

杰米扬·别德内与右派领导人和托洛茨基—季诺维也夫组织有着密切的联系。杰米扬·别德内对联共领导人的态度是极端反苏的，并且是邪恶的。被捕的右派反苏组织成员А·И·斯捷茨基在此供述：“直到 1932 年，我为我在莫斯科和列宁格勒率领的右派集团设定的主要任务是招募新人加入我们的组织。然后，在作家中，我与曾对苏联政权怀有敌意的杰米扬·别德内建立了密切的政治联系。我与杰米扬·别德内进行了许多谈话，这些对话本质上是公开反苏的。他认为，对他的人物的关注不足使他非常恼火。当我们的政治共识开始出现时，杰米扬·别德内严厉斥责斯大林和莫洛托夫，并推崇李可夫和布哈林。他宣布他不接受斯大林式的社会主义。他将自己的剧作《英雄》构想为关于‘我们如何强行将农民拖入社会主义’的反革命寓言。”

杰米扬·别德内的愤怒以与他亲近的圈子中以下列言论为特征：“我成了另一个人，掉进了发行量之中。杰米扬·别德内的时代已经结束。你们看不到对我们做了什么。所有的老近卫军都被射杀了。老布尔什维克被灭绝了。消灭所有最好的最好的。谁需要，出于谁的利益需要消灭整整列宁的那一代？他们之所以迫害我，是因为我被十月革命的光环所笼罩。”

杰米扬·别德内经常表达出对斯大林、莫洛托夫和苏共的其他领导同志的愤怒。

“苏联的钳制和恐怖使得文学和科学都不可能，任何自由的研究是不可能的。我们不仅没有历史，而且没有党的历史。内战的历史也必须抛诸脑后——你不能写。事实证明，我参加了这样一个党，其中 99.9%是间谍和奸细。斯大林是一个可怕的人，经常受到个人算计的指挥。所有伟大的领袖们总是创造出一群功勋卓著的老战友围绕在其身边。斯大林创造了谁？他摧毁了所有人，所有人都没了，每个人都被摧毁了。只有在伊凡雷帝的统治下才会出现这种情况。”

在谈到苏维埃政府对人民敌人的镇压时，杰米扬·别德内认为这些镇压是毫无根据的。他说，结果，据称红军彻底瓦解：“军队被完全摧毁，信任和指挥已被破坏，用这样的军队作战

是不可能的。在这种情况下，我本人本应将乌克兰的一半割让给他们，以使它们不会对我们不利。像图哈切夫斯基这样的才华横溢的战略家被射杀了。如果他们的指挥官是一个接一个的叛国者，那这样的军队可以相信吗？为什么是伏罗希洛夫？他只对自己的个人职业生涯感兴趣。”

杰米扬·别德内怀着强烈的反苏情绪谈论苏联宪法，并称其虚伪：“我们实质上没有举行选举。斯大林承诺举行竞选，举行激动人心、竞争性的自由选举。但实际上，候选人是从上方任命的，仅此而已。和以前有什么区别？”

关于用社会主义重建农业，杰米扬·别德内还表达了反革命的判断：“每个农民都想成长为一个富农，我相信拥有一个精力充沛、吃苦耐劳的农民对我们来说极为重要。真正的供给者是他，提供面包的是他。现在，所有从流放地返回的前富农要么被清算，要么被再次流放……但是，农民们并不害怕任何事情，因为他们相信一切都一样：在监狱中还是在集体农庄中。”

在党中央监察委员会决定将他驱逐出党后，杰米扬·别德内更加丑态百出。他嘲笑中央监察委员会的决定：“首先他们轻薄了我——他们宣布我在道德上被腐蚀，然后他们宣布我是土耳其间谍。”

杰米扬·别德内多次谈到他打算自杀。

内务人民委员部第一局第四处处长助理

国家安全大尉B·奥斯特鲁莫夫

译自：ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）РФ.Ф.3.Оп.5.Д.262.Л.57–60.原稿，机打。

注释：

①1938 年 9 月 10 日，该证明附在由苏联内务人民委员Н·И·叶若夫和苏联内务人民委员部国家安全总局局长Л·П·贝利亚的签署同时寄发的信件中发给了联共（布）中央、斯大林的手中。

85

苏联内务人民委员部国家安全总局给斯大林的

关于诗人M·A·斯韦特洛夫的证明

（1938 年 9 月 13 日）

米哈伊尔·阿尔卡季耶维奇·斯韦特洛夫（申克曼）出生于 1903 年，因积极的托洛茨基分子的身份被苏联共青团开除。

地址：莫斯科艺术剧院，门牌号码为 2。

1927 年，斯韦特洛夫成为托洛茨基分子团伙 M·戈洛德内-乌特金-梅克勒的成员，并与他一起出版了非法的托洛茨基主义报纸《共产党人》，时间恰逢 1927 年 11 月 7 日。该报纸发表了斯韦特洛夫的反革命诗《吹口哨的民谣》等。

在斯韦特洛夫的公寓里组织了印刷该报纸的非法印刷厂。

在 1927-1928 年期间与杰缅季耶夫和 M·戈洛德内一起。斯韦特洛夫去哈尔科夫举办晚会，用从那里收集来的物品满足托洛茨基分子非法的红十字会的需要。

斯韦特洛夫之后一直保持着同托洛茨基分子的联系。

1933 年，斯韦特洛夫与国家政治保卫总局工作人员当中的叛徒相联系，帮助改善了被流放的托洛茨基主义恐怖分子梅克勒的状况，并在梅克勒被流放后继续与他会面。

此外，还有斯韦特洛夫与托洛茨基分子鲍里索夫、亚伯拉姆斯基、阿赫玛托夫、诺日尼茨基、米罗什尼科夫和其他人联系的记录。

斯韦特洛夫为被捕的托洛茨基分子的家人提供了物质支持。

恐怖分子舒尔的证词也证实了斯韦特洛夫参加托洛茨基组织。

在文艺界，斯韦特洛夫经常进行反苏煽动。

1934 年，关于苏联作家大会，斯韦特洛夫说：“胡说八道，胡说八道。他们将召集来自整个联盟的一百人，另一群白痴，开始枯燥乏味地吵闹，说着呆板空洞的话，然后鼓掌，未来的作家协会没有什么新鲜的事，除了庸俗的官僚主义外，没有什么可期待的。”

1935 年，在苏联作家协会分会的主席团中，当斯韦特洛夫在讨论作家出国旅行的候选人资格时，发表了令人反感的反苏联讲话，称在苏联“尽管民主已经宣告，但仍没有任何民主，

任命无处不在”，等等。

1936 年 12 月，斯韦特洛夫散发了一部关于作家里昂·费赫特温格访问苏联的故事的反苏四行诗。

M·斯韦特洛夫的反苏情绪在过去一年中急剧上升。

关于对人民敌人的镇压，斯维特洛夫说：“发生了什么事？毕竟，他们带走了每个人，实际上是每个人。可怕的事情正在发生。逮捕行动是大规模的。人民委员和副人民委员移居卢比扬卡。但是有趣和悲惨的是，我们走在这些事件之间，对任何事情一无所知。为什么会这样，为什么呢？他们为什么这么害怕？毕竟，没有人可以回答这个问题。我只知道时代发生了变化，我们已经生活在一个新时代，我们只是那个死去的时代的悲惨残余，旧党已经不存在，新党有了新人。我们被替换了。但是，这是一个什么样的新时代，为什么我们被取代了，谁取代了我们，我不知道也不了解。”

在反苏精神的驱使下，斯维特洛夫还谈到了对右派和托洛茨基派成员的审判：“这不是审判，而是有组织的谋杀，但顺便问一下，他们对他们有什么期望？共产党已经不存在，它已经堕落了，它与无产阶级无关。

为什么我们失败了？季诺维也夫和加米涅夫对他们的两面派理论感到困惑，因为有一段时间可以公开发言。”

以下是斯韦特洛夫于今年 7 月底的有关言论：“共产党员的小红本，党证已变成面包卡。毕竟，以前人们是出于思想观念，至少是意识形态入党。现在，他为了面包而留在党内。1919 年入党的优秀老党员告诉我他们不想留在党内，他们负担重，留在党内已成为一种负担，彼此之间都有谎言、虚伪和仇恨，但是你不能离开党。任何归还党证的人都会失去面包、自由和一切。为什么会这样，我不理解，也不知道斯大林正在努力实现什么。”

内务人民委员部第一局第四处处长助理

国家安全大尉B·奥斯特鲁莫夫

译自：ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）РФ.Ф.3.Оп.5.Д.262.Л.93–96.副本，机打。

86

苏联内务人民委员部国家安全总局给斯大林的关于诗人И·П·乌特金的证明[①]

（1938 年 9 月 13 日）

约瑟夫·巴甫洛维奇·乌特金，1903 年出生，非党员，诗人，苏联作家协会成员。

住在作家之家-拉夫鲁辛斯基巷第 17 号。

乌特金于 1927 年加入托洛茨基主义组织，与马列耶夫、M·戈洛德内和斯韦特洛夫一起参加了非法的托洛茨基主义报纸《共产党人》的出版，时间恰逢 1927 年 11 月 7 日。该报纸编辑委员会的组织会议发生在乌特金的公寓，该报纸上发表了他的反革命诗。

根据今年 3 月 7 日被执行枪决的恐怖组织成员П·瓦西里耶夫的证词，乌特金与他有密切联系，在与瓦西里耶夫的对话中，他们对联共（布）领导人进行了反革命的诽谤，以各种方式赞扬著名的托洛茨基分子，特别是 X·拉科夫斯基，他与乌特金关系亲密并娶了他的女儿。

1937 年 2 月 2 日被捕的托洛茨基恐怖主义青年中心的参与者舒尔证实，乌特金通过沙茨金与该中心联系。

托洛茨基团伙的失败激起了乌特金强烈的愤怒。他宣称对托洛茨基主义者的所有审判都是“表演的”，完全是“对知识分子的灭绝”，而“钳制”和“机会主义”在文艺界占统治地位。

“大本营指望着平庸而漫不经心的过去前行。智慧已经被鸟尽弓藏。这是对知识分子的灭绝，同时他们摧毁了那些能思考的人、有思想的人，因此现在不需要了。欧洲嘲笑这部宪法，这种宪法伴随着诸如枪杀之类的礼炮。知识分子不接受这一点。”

乌特金的反苏联情绪最近已加深。以下是乌特金在 8 月上半月的声明：“试图了解斯大林的计划，了解国家正在发生什么样的事情，无论发生政变还是其他事情——都是不可能的。到目前为止，有一件事很清楚：国际革命存在大本营，但这个大本营是失败的大本营，我们一直在遭受失败，西班牙正在垂死挣扎。也许斯大林决定尝试战争。他是一个坚定、权力欲极强的人，并决定是否有可能用一种武器实现用其它方式无法实现的目的。在我们国家，革命正在进入波拿巴主义的阶段。

在国外，我们正在逐渐失去我们所有的朋友和盟友。英国已经与德国就捷克斯洛伐克达成协议。我们将很快失去捷克斯洛伐克——这是我们在欧洲的最后一个盟友。这些是我们外交政策的可悲结果。作为真正的政治家，我们在欧洲已不复存在。朋友背弃了我们。罗曼·罗兰等

人保持沉默。

敌人不可能像斯大林那样通过他的行动给我们造成那么多的伤害……

当我阅读报纸时，我说：‘上帝，我们政治中的恬不知耻，亚细亚式的恬不知耻。他们口口声声宣布实行民主和议会制，在最高苏维埃会议上，对议员和部长的大规模失踪连一个质询都没有。副总理、无所不能的政治局委员柯秀尔失踪了，对此没有任何质询、通知或证明。’”

内务人民委员部第一局第四处处长助理

国家安全大尉B·奥斯特鲁莫夫

译自：ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）Ф.Ф.3.Оп.5.Д.262.Л.100–102.副本，机打。

注释：

①三份证明——М·А·斯韦特洛夫的和И·П·乌特金的，以及М·С·戈罗德内的——1938年9月13日，附在有苏联内务人民委员Н·И·叶若夫和苏联内务人民委员部国家安全总局局长Л·П·贝利亚签署的同时寄发的信件中发给了联共（布）中央、斯大林的手中。

1939 年

87

给И·В·斯大林关于机械工业人民委员部的“敌人”的匿名信

（1939 年 1 月 3 日）

副本

联共（布）中央

斯大林同志：

我犹豫了很久，是否要发送我很久以前写的东西。*我考虑了很长一段时间后听到的所有信息，得出的结论是：在机械工业人民委员部内显然藏有一个隐藏很深的敌人巢穴*，它得到了上层人士的支持，因此有必要帮助祖国公开和揭露这些两面派的奸细-人民的敌人。

几天前，我无意中参加了机械工业人民委员部人事部门的负责人洛克申给他的孩子过生日或者是命名日。晚会很奢华，我们玩到了早晨。**这间屋子里有四辆汽车在值班**，来的都是要人。重点当然不是醉酒，但是我被迫从醉酒的人那里听到的谈话对我来说仍然是非常难以理解和神秘的。

1）洛克申、别泽连斯基（机械工业人民委员部机要机构的负责人）和其他人吹嘘他们如何巧妙而熟练地瓦解了党委，他们如何在这件事情上得到了联共（布）中央委员会工业部门工作人员**伊甘森**、**多布洛沃斯基**、**希什金**、**阿涅凯娃**等人的帮助。

2）*现在，洛克申、别泽连斯基必须竭尽全力逮捕一些旧的党委*，然后他们的权威将大大提高。来自内务人民委员部的叫**列尔曼特**或**列尔曼**的大个子应该帮助他们。

3）在机械工业人民委员部，*建立了一个秘密委员会，其中包括：洛克申、曼德洛夫和别泽连斯基*，他们从机械工业人民委员部的派遣机构中撤出了所有不支持他们的人。

4）他们应该在这个机构的内外只安插“自己的人”。

5）他们用很长的时间讨论了他们应该招募和贿赂哪一些党员。他们列出了很多姓，我不记得所有姓，但我确实记得其中一些。党委委员**卢森**、**库楚科夫**、**辛诺夫**、**奇若夫**、**彼得罗相**、**卡姆津诺夫**，机械工业人民委员部的工作人员**歌利亚兹内**、**金兹伯格**。

6）*制止列宁格勒的“事情”和其他针对洛克申和别泽连斯基的声明*。洛克申保证这是胡说八道，现在他们在党委中，会安排一切。

7）*洛克申讲述了他在列宁格勒时如何逮捕基洛夫工厂区委书记，人民委员因此而非常发愁*。

8）内务人民委员部向洛克申和别泽连斯基通报了在十月份数日逮捕了许多内务人民委员部官员，以及为什么撤掉叶若夫同志。

顺便说一句，住在阿斯特拉罕巷的洛克申的一位客人喝醉了，以至于司机将他拖回自己的公寓里，这个人非常高。

从这些客人的所有交谈中，您可以感觉到一群人只是为了让自己的事业和名声有所突破，就可以发起任何挑衅行为。

在曼德洛夫离开洛克申之前，后者感谢了他，曼德洛夫，因为他的“吉斯”汽车的颜色，并要求向驾驶员支付基本费用。

1939 年 1 月 3 日*西多罗夫*

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.326.Л.173—174.副本，机打。

注释：

页面上有斯大林的批示：“贝利亚同志：这是一封匿名信（西多罗夫是一个化名），但很有价值。И·斯大林”。

*-*处有铅笔下划线。

-处用铅笔圈起来。

88

И·В·斯大林致А·Я·维辛斯基关于组织开设内务人民委员部工作人员法庭的记录

（1939 年 1 月 3 日）

维辛斯基同志：

立刻开设针对犯罪分子的法庭。

И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.57.Д.96.Л.110.机打副本。

注释：

А·Я·维辛斯基于 1939 年 1 月 2 日的说明中涉及内务人民委员部列宁市处和新西伯利亚州检察院工作人员的违法行为。1938 年 11 月 17 日，在通过“关于逮捕、检察监督和调查”的决议以及随后任命Л·П·贝利亚为内务人民委员后，在苏联内务人民委员部的行动部门中开始进行“清洗”。上述法令提到了渗透到国家安全机关中的“敌人”。苏联内务人民委员部国家安全总局的绝大多数工作人员，以及情报人员、边防人员和跨区域学校的学员都参加了迫害行动。法院的公开庭审没有被扩散。早在 1 月 10 日，斯大林就限制了苏联检察院和地方党领导人的活动。见文件：

《И·В·斯大林给各州委、区委书记和内务人民委员部、内务人民委员部局领导的关于对“人民的敌人”使用酷刑的密电（1939 年 1 月 10 日）》。

《А·Я·维辛斯基给И·В·斯大林的关于让检察院官员了解 1939 年 1 月 10 日加密电报内容的说明（1939 年 1 月 26 日）》。

《И·В·斯大林给各州委、边疆区委和各民族共产党中央书记的关于让检察院人员熟悉 1939 年 1 月 10 日的这份加密电报内容的说明（1939 年 1 月 27 日）》。

89

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于特种技术局的特别报告

（1939 年 1 月 7 日）

第 47/6号

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

在此向您呈送《苏联内务人民委员部特种技术局章程》、架构、编制以及人民委员部特种技术局的命令。

迄今为止，使用被监禁的专家来设计陆军和海军武器设施的工作已移交给苏联内务人民委员部仓促组织的第四特别处，该部门没有配备具备相应资格的人员，也没有必要的条件来保障这项工作的顺利实施。

为了认真改善使用被监禁专家的工作，我采取了以下措施：设立局的编制，以确保充分保证设计团队的物质服务、技术供给和技术咨询；已经采取措施改善在设计小组工作的囚犯的福利；用年轻专家充实该局的工作人员。

联共（布）中央和内务人民委员部动员起来的工作人员中，具有设计和生产工作经验的年轻专家被派往特种技术局工作。

为了更加重视使用被监禁专家的工作，人民委员将亲自主持这个特别局的工作。

请您指示。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

1939 年 1 月

苏联内务人民委员部特种技术局章程

1.为了使用具有特殊技术知识和经验的囚犯，在内务人民委员部下组织了一个特种技术局。

2.特种技术局的任务是组织设计新武器并将其列装陆军和海军。

3.该局由以下专门小组组成：

a）飞机制造和飞机螺旋桨组；

b）飞机发动机和柴油机组；

c）海军造船组；

d）推进剂组；

e）火炮、炮弹和引信组；

f）铠装钢组；

g）化学战剂和化学防护剂组；

h）AN-1 系列航空柴油发动机推广组（隶属于 82 号工厂）。

必要时，可以通过划分现有组或根据以上未提供的专业来组织组以创建新组。

4.苏联内务人民委员将亲自主持这个特别局的工作。

5.各专业组由特别局局长助理领导。局长助理职责包括：为小组提供一个工作场所；为小组工作人员提供的物质和消费服务；为小组工作人员组织技术咨询，并为原型机和样品的生产做准备。

6.特种技术局的专项计划已提交国防委员会批准。

7.特种技术局的专项计划根据囚犯的建议和要求而制定。

8.制造的技术方案应提交国防委员会批准，以获得制造原型机的许可。在国防委员会批准这些样品后，将经过测试的原型机转入量产。

9.特种技术局吸纳文职专家以小组形式工作，主要是在年轻专家中招募人员。

10.为了审查各小组和技术项目的工作计划，在特种技术局局长的领导下举行了常设会议，由以下人员组成：局负责人（主席）、其代表和局秘书，以及小组负责人。

苏联内务人民委员部令

1939 年 1 月，莫斯科

1.在苏联内务人民委员部之下设立一个特种技术局，以使用具有特殊技术知识的囚犯。

2.批准《特种技术局章程》。

3.批准特种技术局架构和编制。

4.将特种技术局的 82 号工厂设立为实验辅助基地。

5.责成行政管理局局长-国家安全三级政委桑巴托夫同志将在一个月内为特别局提供必要的办公空间，并为特别局分配 6 辆 M-1 小汽车。

苏联内务人民委员JI·贝利亚

“批准。”

苏联内务人民委员（Л·贝利亚）

1939 年 1 月

苏联内务人民委员领导下特别局编制

1.局长 1

2.副局长 3

3.秘书 1

4.局长助理（组长）8

5.副组长 8

6.外勤 3

7.文员 3

8.会计 1

9.出纳员 1

10.打字员 4

11.速记员 1

12.设计师 15

13.描图员 15

14.送信员 3

15.清洁女工 3

16.司机 12

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.72—79.原稿，机打。

90

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于保存В·И·列宁遗体的特别报告

（1939 年 1 月 8 日）

第 58/6号

绝密

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

负责保护В·И·列宁遗体的兹巴尔斯基教授，为进一步保护В·И·列宁遗体提出以下建议：详细记录 1924 年进行的整个防腐过程以及过去 14 年中为保护遗体所做的工作，目的是获取有关此问题的所有材料；装备实验室进行实验防腐处理，以培训可以代替兹巴尔斯基教授从事这项工作的青年专家；对石棺进行一些改造，为瞻仰遗容创造更好的条件；让陵寝工作服从于党的某一位负责的领导人；允许在列宁逝世 15 周年之际撰写文章《我们如何保存В·И·列宁遗体》。

苏联人民委员会去年 9 月 26 日通过决定，决定批准兹巴尔斯基教授的建议并委托叶若夫同志监督兹巴尔斯基教授及其小组的所有工作，并向他们提供必要的帮助。

迄今为止，尚未采取任何措施来实施此决定。

请您指示。

附兹巴尔斯基教授的建议副本。

同时，根据兹巴尔斯基教授的结论，有必要定期进行工作以对列宁的遗体进行修复处理，*请允许 1 月 9 日至 20 日关闭列宁墓*。

在兹巴尔斯基教授教授的指导下В·И·列宁的遗体将通过洗涤得到修复。

苏联内务人民委员Л·П·贝利亚

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1207.Л.79—80.原稿，机打。

注释：

出版时没有兹巴尔斯基的报告。

在第一页有批示“同意。И·斯大林”“В·莫洛托夫”“卡冈诺维奇”“К·伏罗希洛夫”“日丹诺夫”，

波斯克列贝舍夫经手：“米高扬同志——同意”“加里宁同志——同意”“安德烈耶夫同志——同意”。

*—*为用铅笔下划线。

91

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于С·Я·加尔姆巴的特别报告①

（1939 年 1 月 9 日）

第 71/6号

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

索非亚·雅科夫列夫娜·加尔姆巴于 1938 年 2 月 22 日作为祖国叛徒的妻子被捕。

她的丈夫А·Л·加尔姆巴——前红军工程局武器部负责人，于 1938 年被定罪。

这项调查历时两个月，未对索非亚·加尔姆巴提出任何具体指控。她本人不认罪，内务人民委员部也没有其他关于她的黑材料。但是，根据 1938 年 10 月 13 日在内务人民委员部特别会议上的决定，索非亚·加尔姆巴被判处流放 5 年。

在复查了索非亚·加尔姆巴案之后，我下达了立即将她从服刑中释放的命令。同时，我向特别会议提出了有关案件审查的问题。

同时，我通知您，我已下达指示，不要逮捕布里茨克和拉扎列夫院士，而该逮捕在之前由苏联内务人民委员部核准。

随函附上我要下达的释放С·Я·加尔姆巴命令的副本。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.206.Л.118.原稿，机打。

注释：

①1939 年 1 月 6 日，涅米罗维奇-丹琴科在写给斯大林的便条中要求将剧院艺术家С·Я·加尔姆巴从流放中释放回来。1 月 8 日，斯大林向贝利亚发出指示：“1.贝利亚同志，如果可能，有必要将其释放并让其返回莫斯科。2.暂时不要逮捕布里茨克教授和其他人”（АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.206.Л.120.）。

92

联共（布）中央政治局“关于将‘国际旅行社’移交给外贸人民委员部经营”的决议并附Л·贝利亚致И·斯大林的特别报告①

（1939 年 1 月 10 日）

44 号——关于将“国际旅行社”移交给外贸人民委员部经营

绝密

1939 年 1 月 9 日

第 63/6号

联共（布）中央，波斯克列贝舍夫同志

我同时发送 1938 年 12 月 7 日以斯大林同志和莫洛托夫同志名义发出的关于*全联盟股份公司“国际旅行社”*的信的副本。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

1938 年 12 月 7 日

第 111967 号

联共（布）中央书记斯大林同志

根据政府的决定，全联盟股份公司“国际旅行社”已移交给苏联内务人民委员部。

由于以下原因，我们认为“国际旅行社”留在内务人民委员部系统中是不合适的：

1.“国际旅行社”在国外被称为“全联盟股份公司”，其分支机构在许多国家招募（招揽）外国游客，该分支机构也是众所周知的，已经存在并注册为股份公司。

2.“国际旅行社”与资本主义旅游、铁路和航运公司的合同关系受合同中特殊条款的约束，其中特别规定公司仅能向全联盟股份公司“国际旅行社”提出所有索赔，不得对苏联政府、对外贸易人民委员部、贸易代表团或苏联任何其他组织提出任何索赔。

3.将“国际旅行社”移交给内务人民委员部的事实无疑将在国外广为人知。资本主义旅游公司和对我们怀有敌意的媒体将试图利用这一事实对“国际旅行社”的代表处周围施加迫害，将其称为内务人民委员部的分支机构，从而使他们的正常工作复杂化，而挑衅也会吓退小资产阶级人物和知识分子前往苏联。

基于以上考虑，我认为将“国际旅行社”从内务人民委员部系统中撤出是合理的。

苏联内务人民委员

国家安全一级政委Л·贝利亚

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1207.Л.69.原稿，手写.Л.70—72.原稿，机打。

第 67 号记录。

*—*为用铅笔下划线。

纸上有批示：“莫洛托夫同志、米高扬同志：我认为贝利亚同志说得对，可以将‘国际旅行社’移交给外贸人民委员部。И·斯大林 1939 年 1 月 10 日”“同意——莫洛托夫，同意——米高扬，同意——卡冈诺维奇、伏罗希洛夫、日丹诺夫”，波斯克列贝舍夫经手：“加里宁同志——同意，安德烈耶夫同志——同意”。

注释：

①苏联领导人支持国家安全机构在国外情报工作中使用法人作为掩护的建议。然而，1938 年 4 月，根据政府的决定，全联盟股份公司“国际旅行社”被移交给内务人民委员部管辖，并于同年 8 月成为内务人民委员部的一部分。早在 1938 年 10 月，叶若夫就同 В·М·莫洛托夫强调将“国际旅行社”移交给内务人民委员部是不合适的。贝利亚实际上重复了叶若夫的论点。1938 年 12 月，美国开始对一名因从事情报活动而被定罪的“国际旅行社”代表进行审判，这加速了将该组织从内务人民委员部机构中撤出的决定。

93

И·В·斯大林致各州、边疆区委书记和内务人民委员部、内务人民委员部各局领导关于对“人民的敌人”施用酷刑的密电

（1939 年 1 月 10 日）

加密，联共（布）中央

各州、边疆区委员会，各共和国共产党中央委员会书记，内务人民委员部、内务人民委员部各局首长：

联共中央委员会了解到，审查了内务人民委员部各局工作人员的州委书记、边疆区委书记指责他们对被捕者施以酷刑，并认为这是犯罪行为。联共中央委员会在此澄清，自 1937 年以来，在联共中央的许可下，内务人民委员部被允许在实践中使用酷刑。同时也指出，酷刑作为一种例外手段，仅适用于针对明显的人民的敌人，对这些人采用人道的审问方法，将会助长这些人拒绝交代同谋的气焰，往往使他们数个月都拒不交代，并试图使那些仍然逍遥法外的阴谋者晚些暴露——显而易见，他们还要在监狱里继续和苏维埃政权作对。经验表明，这一指示产生了效果，大大加快了暴露人民敌人的进程。没错，后来在实践中，酷刑的方法被扎科夫斯基、利特温、乌斯宾斯基等流氓滥用，因为他们将其从例外手段变成了常规手段，并开始将其应用到被偶然逮捕的老实人身上，为此这些人受到了应有的惩罚。但这至少不会抹煞该方法本身，因为它已在实践中正确应用。众所周知，所有资产阶级情报部门都对社会主义无产阶级的代表施以酷刑，而且以最丑陋的方式使用它。问题在于，为什么社会主义情报部门对于*顽固的*资产阶级的代理人、工人阶级和集体农庄庄员*不共戴天*的敌人，就应该更加人道？联共中央委员会认为，将来，必须将酷刑方法作为一种绝对正确和便宜行事的例外手段继续适用于明显的和不能解除武装的人民敌人，必须使用这种施加压力的方法。联共中央要求各州、各边疆区委员会，各共和国共产党中央委员会在审查内务人民委员部工作人员时应当以此澄清声明为指导。

——联共（布）中央书记И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.145—146.原稿，机打。*—*号为斯大林自己添加。

94

А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于让检察官熟悉1939年1月10日密码电报的内容的报告

（1939年1月26日）

编号 58Лсс

绝密

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

*我请求允许苏联检察院中央机构监督内务人民委员部的调查工作的工作人员熟悉*联共（布）中央今年1月10日致联共（布）边疆区委员会和州委员会、民族共和国共产党中央委员会书记、联盟和自治共和国内务人民委员部以及内务人民委员部各边疆区和州局书记的密电的内容。

同时，我要求允许，联共（布）各州、边疆区委员会和民族共和国共产党中央委员会书记让监督内务人民委员部调查的地方检察官熟悉该密电的内容。

А·维辛斯基

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.156.原稿，机打。

在页面上有批示“同意。И·斯大林”。

*—*为用铅笔下划线。

95

И·斯大林致各州委、边疆区委，各共和国共产党中央委员会书记关于责成检察工作人员熟悉1939年1月10日密电内容的备忘录

（1939年1月27日）

绝密

加密

副本

各州、边疆区委，各共和国共产党中央委员会书记：

请地方检察机关负责监督内务人民委员部工作的工作人员熟悉并掌握今年1月10日联共（布）中央委员会第26/ш密电关于第83/ш侦讯方法的内容。

——中央书记И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.157.机打副本。

96

Г·М·马林科夫致И·В·斯大林关于莫斯科党员违纪调查小组调查员的信

（1939 年 1 月 28 日）

斯大林同志！

在您批评了之后，鉴于党的领导机关的错误，我正在采取认真措施纠正党的领导机关工作中的缺陷，检查机构并培训了许多机构中的新手和经验不足的工作人员。这必须由经验不足的副手们来完成，因为最好的副手——斯克沃尔佐夫、布尔米斯坚科、顿斯科伊、波诺马连科、谢列兹尼奥夫——已被分配到地方去工作。

我可以用事实令人信服地证明，您的言论已被领导层坚决接受，在这种情况下，我正在履行党的职责所要求的一切。

我现在被迫向您求助，因为斯皮奇金同志和莫斯科党员违纪调查小组调查员克列斯托娃同志和列别杰夫同志正在研究党的领导机关的错误，他们正在引导整个案件，而且吵着把矛头引向中央委员会机关和我个人（有关此案的事实，则需要更为客观的调查）。

调查人员要求党的领导机关的工作人员（带有下划线的禁止离开调查人员的房间）填写一份预先准备好的问卷，问卷中应该包含许多与我有关的问题。

这已经持续了很多天。在莫斯科党委会议上，调查员以不应该说的方式谈论中央委员会的机构。

我请斯大林同志您将党的领导机关错误的案件委托给安德烈耶夫同志。

我向中央如此请求，是因为谢尔巴科夫同志前几天告诉我说，他正在处理党员违纪调查小组队伍不纯的问题。谢尔巴科夫同志告诉我，尽管莫斯科党员违纪调查小组人数很少，但其组成显然还是令人怀疑的。

例如，内务人民委员部直接提供一名名叫普列斯尼亚科夫的党员违纪调查小组工作人员的证词，他是反革命组织的成员。

关于负责本案的克列斯托娃同志，内务人民委员部拥有的材料证实其早在 1937 年就与暴露在莫斯科大学的托洛茨基分子有联系。而她是一个地主的女儿。由于某种原因，茹尔边科隐瞒了此材料，没有对其进行检查。深入挖掘，还会有其他事实。现在尚无任何人来处理莫斯科党员违纪调查小组的问题。而在揭露莫斯科组织中的众多敌人时，我从来没有听过她的名字。

现在，斯大林同志，我需要您的支持。我请求您保护我免受上述调查人员的迫害。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.762.Л.1—3.原稿，机打。

在第一页有笔记：“归入我的档案。斯大林”“来自马林科夫同志”。

97

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于И·И·叶若夫的特别报告

（1939 年 1 月 30 日）

编号 471/Б

联共（布）中央

斯大林同志：

苏联内务人民委员部接到联共（布）党员、莫斯科州内务人民委员部工作人员米哈伊尔·伊万诺维奇·沙布林同志的报案，说他知道苏联前内务人民委员的兄弟伊万·伊万诺维奇·叶若夫的恐怖主义言论。

我们对此报案进行了调查，并询问了报案人沙布林、目击者亚历山德拉·伊万诺夫娜·索科洛娃（罗季奥诺娃）（非党员，水管工人）和目击者季娜伊达·瓦西里耶芙娜·叶若娃（И·И·叶若夫的妻子，人民街 14 号的房管员）。

目击者沙布林在今年 1 月 14 日受到讯问。他表示：

——几年前，他的熟人伊万诺娃（季娜伊达·瓦西里耶芙娜·伊万诺娃）与叶若夫同志的兄弟伊万（伊万·伊万诺维奇·叶若夫）结婚。

1937 年夏天，在沙布林不在家的情况下，他的另一位熟人亚历山德拉·罗季奥诺娃（女工，党员、无产阶级区苏维埃办公室主任的妻子）来到他的公寓，并报告说她的朋友季娜伊达·伊万诺娃（叶若娃）传达了她的丈夫伊万·伊万诺维奇·叶若夫的恐怖主义情绪。后者告诉他的妻子："现在他将在内务人民委员部工作，他很容易潜伏并杀害斯大林同志。"

沙布林进一步作证说，第二天他向内务人民委员部国家安全总局道路运输科捷尔任斯基铁路段负责人卡缅斯基（现已被捕）提交了一份报告，后者随后将该报告呈送给了内务人民委员部国家安全总局交通运输处的前负责人沃尔科夫（也被捕）。

目击者 А·И·索科洛娃（罗季奥诺娃）在今年 1 月 15 日受到讯问。表示：

——1937 年中的一天，伊万诺娃——季娜伊达·叶若娃在与罗季奥诺娃的一次谈话中说，她丈夫叶若夫在他的伙伴中间向党表达了愤怒，并说，他将率先犯下恐怖主义罪行，反对斯大林同志。

目击者З·Н·叶若娃在今年 1 月 15 日受到讯问。表示：

——她的丈夫伊万·叶若夫不停地酗酒，放荡不羁，多次被警察拘留，一次是因为在醉酒状态下打破了一名警察的头，但每次发现与内务人民委员叶若夫同志的亲密关系后便被释放。

伊万·叶若夫在不同时间从内务人民委员部收到了四间带家具的房间，他立即把家具卖光了，将房间留给与他同居的妇女。

1936 年 11 月 26 日，季娜伊达·叶若娃对于丈夫的所作所为，向内务人民委员部的前工作人员沃洛维奇和萨维奇作了口头申诉，然后于 1937 年 5 月末向Н·И·叶若夫申诉。季娜伊达·叶若娃在申诉中说他的丈夫与住在莫斯科的波兰人施巴科夫斯基有联系，他们俩是酒友，施巴科夫斯基本人曾在一次谈话中说："如果我被选入最高苏维埃，我就会是第一个杀死斯大林的人，因为在那里可以看到他——或许还有其他人"。但是以Н·И·叶若夫的名义对于她申诉的答复季娜伊达·叶若娃没有收到。

同时，季娜伊达·叶若娃作证说，根据与Н·И·叶若夫同志侄子——维克多·巴布林同住一间公寓的克谢尼娅·克拉斯诺卢茨卡娅的说法，她知道后者经常喝醉，并与外国人鬼混，经常光顾餐馆，而且一旦醉酒则会被某使馆的汽车带回他的公寓。

同一位克拉斯诺卢茨卡娅还告诉季娜伊达·叶若娃，维克多·巴布林从被捕的人的亲戚或近亲那里收受贿赂。例如，维克多·巴布林从公民玛蒂尔达·伊万诺夫娜·索依娜那里拿走了 2,000 卢布，以释放后者的儿子尼古拉——他因为筹划针对斯大林同志的恐怖袭击而被捕；尼古拉·索宁随即被释放。为了收受贿赂，维克多·巴布林设法从监狱释放了另一名被捕的人，名字叫阿列克谢·马卡罗夫。

维克多·巴布林通过Н·И·叶若夫的妻子叶夫根尼娅·索罗莫诺夫娜获得了度假胜地的优惠券，并兜售了它们。

此外，季娜伊达·叶若娃作证说Н·И·叶若夫的姐姐——叶夫多基娅·伊万诺夫娜和她的丈夫叶戈尔·皮蒙诺夫（裁缝工匠）住在Н·И·叶若夫同志的旧公寓里。皮蒙诺夫有强烈的反苏情绪。叶夫根尼娅·索罗莫诺夫娜·叶若娃不断向皮蒙诺夫的公寓整车整车发送礼物。

苏联内务人民委员部认为应当立刻逮捕伊万·伊万诺维奇·叶若夫。

请您指示。

附录：证人季娜伊达·瓦西里耶芙娜·叶若娃的讯问笔录 1939 年 1 月 15 日。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.372.Л.112—115.原稿，机打。

98

Л·П·贝利亚和А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于撤销由内务人民委员部法外机构定罪的犯罪前科的特别报告并附苏联最高苏维埃法令的草案

（1939 年 2 月 5 日）

编号 530/б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

自 1927 年以来，内务人民委员部、前国家政治保卫总局和地方三人小组的特别会议共判处各种刑罚（监禁、流放和驱逐）——共 2100000 人。

国家政治保卫总局和内务人民委员部的机构未实行撤销前科的规定，尤其是在俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法典第 55 条规定的最高刑期为三年监禁的情况下，这些前科记录一定时间后会自动撤销且法院有义务向有前科者发放证明。此外，特别会议从未考虑过以不同方式清除前科记录的问题。

所有这些人都被认为是有前科的，根据护照制度法（苏联人民委员会 1936 年 8 月 8 日第 1441 号令），即使在服刑后，大多数人也无法在我国的许多城市中生存。

苏联内务人民委员部和检察院认为，简化此问题并提交以下建议供您决定是合适的。

1.所有被前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议定罪的和国家政治保卫总局—内务人民委员部联席会议认定的社会危险分子，根据《刑法》的所有条款（不包括 58-1-14），在服刑三年后，如果这些人没有犯下新罪行，则应删除其前科及解除相关限制。

2.授予苏联内务人民委员部特别会议权力，以根据俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法第 58 条所有规定（以及加盟共和国刑法典的相应条款）和当事人的申请，在被定罪人被释放后不少于 3 年内没有犯下新罪行并且从事社会公益服务的前提下，解除前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议和国家政治保卫总局—内务人民委员部联席会议对被定罪的人的前科记录。

这个决定必须形成法规并将其根据最高苏维埃主席团令引入苏联宪法第 49 条第 3 款。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联总检察长A·维辛斯基

苏联最高苏维埃主席团关于删除前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议和联席会议被定罪者的前科的命令（草案）

制定以下消除前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议及联席会议被定罪者前科之规定。

1.所有被前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议定罪的和国家政治保卫总局—内务人民委员部联席会议认定的社会危险分子，根据《刑法》的所有条款（不包括58-1-14），在服刑三年后，如果这些人没有犯下新罪行，则应删除其前科及解除相关限制。

2.授予苏联内务人民委员部特别会议权力，以根据俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法典第58条所有规定（以及加盟共和国刑法典的相应条款）和当事人的申请，在被定罪人被释放后不少于3年内没有犯下新罪行并且从事社会公益服务的前提下，解除前国家政治保卫总局委员会、内务人民委员部特别会议和国家政治保卫总局—内务人民委员部联席会议对被定罪的人的前科记录。

苏联最高苏维埃主席团主席

M·加里宁

苏联最高苏维埃主席团秘书

A·戈尔金

1939年2月

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.212.Л.207—209.原稿，机打。

99

И·斯大林致各州委、边疆区委，各共和国共产党中央委员会书记关于责成司法工作人员熟悉1939年1月10日密电内容的备忘录

（1939年2月14日）

绝密

加密

副本

各州、边疆区委，各共和国共产党中央委员会书记：

请州、边疆区、共和国法院院长熟悉并掌握今年1月10日联共（布）中央委员会第26/ш密电关于第165/ш侦讯方法的内容。

——中央书记И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.169.机打，副本。

100

Л·П·贝利亚、А·Я·维辛斯基和Н·М·雷契科夫致И·В·斯大林附关于执行苏联人民委员会和联共（布）中央委员会1938年11月17日“关于逮捕、检察官的监督和调查”决议命令的特别报告

（1939年2月21日）

编号676/б

联共（布）中央斯大林同志：

为了检查内务人民委员部和检察院对苏联人民委员会和联共（布）中央委员会1938年11月17日“关于逮捕、检察官的监督和调查”决议的执行情况，在今年2月19日内务人民委员部召开了组织调查工作和对调查进行检察监督方面的会议，参加会议的有26个州、边疆区内务人民委员部局首长和加盟及自治共和国内务人民委员，以及中央和地方检察院的一些负责人员。

会议证实，目前在内务人民委员部的机构中，有大量未完成调查的案件，对调查工作的质量产生了负面影响，仍落后于苏联人民委员会和联共（布）中央委员会1938年11月17日决议的要求。

会议证实，无论是在中央还是在地方，检察官对调查的监督状况都很薄弱。

检察监督的薄弱是由于一些检察官在政治和业务方面的差异，以及所需职员人数与现有职员人数之间的巨大差距而造成的。

苏联人民委员会和联共（布）中央委员会决议中关于对所有监督内务人民委员部调查工作的检察官候选人进行核查并提交联共（布）中央委员会批准的部分尽管期限已到，但仍未履行。

特别需要指出的是，检察官对内务人民委员部机构开展的调查工作的参与不力，对内务人民委员部机构进行的案件进行审查的不可接受的延误以及按司法管辖区移交案件的繁文缛节的直接原因是缺乏人手和一些检察官的明哲保身。

1938年11月17日，联共（布）中央委员会和苏联人民委员会通过的，关于撤销由苏联内务人民委员部的特殊命令创建的审判三人小组，以及隶属于州、边疆区和共和国局的三人小组的决议，责成司法人民委员部和审判机关（军事法庭、州法院和最高法院、铁路和水路运输法院）准备受理这些案件，以确保正确、及时地审查从内务人民委员部机构收到的案件。为此，

有必要通过经过验证的合格人员来重组和充实的司法系统，而司法人民委员部在这方面并没有做准备。

在许多法院，案件的调查非常缓慢，案件被推迟了几个月，法院对案件本身的审查不令人满意，有许多案件不合理地发回进一步调查。

为了确保执行联共（布）中央委员会和苏联人民委员会 1938 年 11 月 17 日的决议，我们请求联共（布）中央：

1.将负责监督内务人民委员部机关的检察官人数增加 1100 人。

2.授权维辛斯基同志与州委、边疆区委和民族共和国共产党中央委员会一起，审查监督调查的检察官，并遣散可疑和不合适的工作人员。一个月内向联共（布）中央报告完成工作的结果。

3.责成各州委、边疆区委和民族共和国共产党中央委员会全面协助维辛斯基同志调查检察官。

4.在第一书记的个人负责之下，责成各州委、边疆区委和民族共和国共产党中央委员会在一个月内让工作人员在当地检察院监督内务人民委员部机构的调查工作，并由他们审查并验证合格的工作人员。向联共（布）中央提交关于所做工作的报告。

5.责成马林科夫同志和维辛斯基同志主要从高等教育机构毕业的人中为苏联检察院遴选 100 人。

6.责成苏联司法人民委员雷契科夫同志和苏联最高法院院长戈利亚科夫同志采取措施，使法院考虑接收从内务人民委员部机构和检察院移交的积压案件，并建立规范，以确保将来能够及时、正确地审理移交法院的案件。

7.授权雷契科夫同志与有关党组织在两个十工作日内检查列宁格勒、萨拉托夫、乌克兰（苏梅、基洛夫格勒和扎波罗热州）、罗斯托夫、车里雅宾斯克、彼尔姆等州的司法机构并为其配备人员，并将结果报告给联共（布）中央委员会。

我们附上苏联内务人民委员部和苏联检察院的命令副本，以采取措施确保联共（布）中央委员会和苏联人民委员会 1938 年 11 月 17 日决议的执行。

内务人民委员贝利亚

苏联总检察长维辛斯基

苏联司法人民委员雷契科夫

关于执行苏联人民委员会和联共（布）中央委员会1938年11月17日“关于逮捕、检察官的监督和调查”决议的命令

（1939年2月，莫斯科）

为了检查内务人民委员部和检察院对苏联人民委员会和联共（布）中央委员会1938年11月17日“关于逮捕、检察官的监督和调查”决议的执行情况，在今年2月19日内务人民委员部召开了组织调查工作和对调查进行检察监督方面的会议，参加会议的有22个州、边疆区内务人民委员部局首长和加盟及自治共和国内务人民委员，以及中央和地方检察院的一些负责人员。

会议证实，目前在内务人民委员部的机构中，有大量未完成调查的案件，对调查工作的质量产生了负面影响，仍落后于苏联人民委员会和联共（布）中央委员会1938年11月17日决议的要求。

会议证实，检察官对调查的监督状况，无论是在中央还是在地方，都很薄弱。

特别需要指出的是，检察官对内务人民委员部机关进行的调查工作参与不力，对内务人民委员部机关的案件进行审查的延误令人无法接受，并且在向司法机关移交案件方面存在繁文缛节。

为了果断消除执行联共（布）中央委员会和苏联人民委员会1938年11月17日的决议当中的缺陷。

兹命令：

1.全体加盟共和国和自治共和国内务人民委员和内务人民委员部各边疆区和州局及内务人民委员部交通机构局长：

a）为了尽快完成积压案件的调查，应派遣工作人员充实调查单位，而其他业务部门要为此工作让路；

b）采取措施消除调查工作中的现有缺陷（文件不足，不符合《刑事诉讼法》的要求，特别是在调查期间和每次讯问后强制在笔录上签字等方面）。

2.加盟和自治共和国、州和边疆区的检察官、军事检察官、铁路和水上运输检察官、地区检察官：

a）与内务人民委员部机构建立业务联系，确保从案件发生之日起至案件完成并移交给司法管辖之时，及时、迅速地解决在调查过程中出现的所有问题；

b）增加检察院的工作人员以参与共和国、州、边疆区检察院和军区检察院积压的调查案件，充实中央和地方检察院的人员；

c）确保建立一种规范，以审查来自内务人民委员部机构的调查案件，其中检察院审议这些案件的期限不得超过 10 天；

d）提请检察官注意不允许以无意义的，大多是冠冕堂皇的理由将案件退还给内务人民委员部机构进行进一步调查的情况出现，特别是在检察官自己可以不经发回重新调查就能直接消除调查缺陷的情况下；

e）提出根据俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国《刑事诉讼法》的第 117 条和加盟共和国《刑事诉讼法》相应的条款，对案件进行分案或并案的要求时，应从每个案件的具体情况出发，并考虑到政治上的便利性和实际必要性以及执行这些要求的可行性。

3.根据 1938 年 10 月 23 日苏联内务人民委员部第 701 号令，取消延长调查持续时间的规则，并从今以后遵守俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国《刑事诉讼法》第 116 条和其他联盟共和国《刑事诉讼法》的相应条款。

4.该命令应在内务人民委员部工作人员和检察院的联席会议上宣读，并概述必要的落实措施。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联总检察长维辛斯基

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.172—175.原稿，机打。

101

O·A·克德罗娃给И·B·斯大林的信[①]

（1939 年 3 月 7 日）

亲爱的约瑟夫·维萨里奥诺维奇！

我，O·A·克德罗娃，一个老地下党，在联共（布）的队伍中 37 年没有间断过，我请您亲自审查我的儿子，一个内务人民委员部工作人员向联共（布）中央提出的申诉，根据我的观察，这个事件的进程对国家具有重要意义。

2 月中旬，我的儿子伊戈尔·克德罗夫——联共（布）党员，告诉我他因“不胜任工作”而被免职。在此之前不久，他向领导层提出了关于人民委员部工作中一些非常令人震惊的事实和严重的不适当的问题，但是他没有得到贝利亚同志的支持，因此将这个问题移交给了联共（布）中央。此外，他让我明白，不排除贝利亚同志进一步报复的可能性，因为伊戈尔决定不惜一切代价向联共（布）中央、政府和中央监察委员会告知内务人民委员部工作当中的不适当的情况。

我现在不去讨论这个案件的本质，出于相信他的诚实和对共产主义事业的特殊奉献，承诺将包裹移交给什基里亚托夫同志本人，第二天，即 2 月 20 日或 21 日，他被逮捕。

与我儿子同时被捕的还有内务人民委员部的另一名工作人员B·戈卢别夫，他和我儿子一起向联共（布）中央递交了材料，好像他的女监护人，卧床不起的病人H·B·巴图琳娜也被逮捕。

早在 1938 年秋天，我的儿子就被解除了职务，并作为劳改营指挥官被派往北方。然后我写了一封信给叶若夫同志，但没有得到答复。此后，儿子的妻子写信给莫洛托夫同志，直到那时才明白，将他从工作中除名的依据不存在，他于 1 月初被遣返，贝利亚同志委托他进行认真的业务工作。

所有这些使我更加怀疑，并认为我的儿子和戈卢别夫的怀疑是有充分根据的，而我不仅是母亲，而且是苏联公民和联共（布）的党员，请您详细了解他们的申诉。

O·克德罗娃

联共（布）党员，党证号 1223175

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.180.Л.13—14.原稿，手写。

注释：

①苏联内务人民委员部国家安全总局反间谍处工作人员。克德罗夫于 1939 年 2 月 3 日被捕。在被捕之前，他多次向内务人民委员Л·П·贝利亚提出关于纠正该处违反法律行事的问题。1940 年 1 月 24 日，苏联最高法院军事审判庭决定，判处他死刑。后被平反。

В·И·戈卢别夫（1888 年生人）——来自斯摩棱斯克省的农民家庭。自 1902 年以来，是彼得格勒的一名工人，1905 年后——社会革命党成员，为此在 1907 年和 1914 年被捕并在战争期间被流放。十月革命后，他与社会革命党决裂。1933 年 2 月 12 日，拥有 30 年经验的工人戈卢别夫由于用布哈林的理论谈论苏联的建设而根据刑法第 58—10 条被逮捕。入狱 3 个月后，他被流放到西西伯利亚边疆区。他留在列宁格勒的妻子和四个 5 至 11 岁的孩子失去了生计。

102

Н·И·叶若夫给И·В·斯大林的便条[①]

（1939 年 3 月 13 日）

斯大林同志！

非常恳求您同我交谈一分钟。

请给我这种可能性。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.20.Л.53.原稿，手写。

注释：

①在莫斯科州党代表大会上叶若夫没有被选为第 18 届党代会代表，那几天，他参加了代表大会，在会上他交出了一张纸条，希望能与斯大林会面。在档案中没有找到有关会议的信息。

103

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于释放专家的特别报告

（1939 年 3 月 27 日）

编号 893/б

联共（布）中央，斯大林同志

伏罗希洛夫同志向苏联内务人民委员部提出申请，要求释放下列被内务人民委员部逮捕的人：

1.К·И·图洛维罗夫，原炮兵学院讲师，1887 年生，前沙皇陆军中校，1938 年 7 月以军队法西斯反革命组织的成员身份被捕，他于 1928 年被征召加入该组织。

此案的调查已经完成，有待移交苏联最高法院军事法庭。

2.К·В·列昂诺夫，原炮兵学院讲师，1894 年生，前沙皇陆军军官，1919 年至 1920 年曾是俄共（布）成员，1938 年 6 月因参与军队反革命组织被捕，他于 1936 年被招募。

此案的调查已经完成，有待移交苏联最高法院军事法庭。

3.Н·И·茹科夫斯基，前红军军械局官员，1877 年出生，前沙皇陆军上校，于 1938 年 1 月作为德国间谍被捕，1906 年被招募（为间谍），并参加了法西斯主义的军事阴谋。

此案调查尚未完成。

他目前作为专家在苏联内务人民委员部特种技术局工作。

伏罗希洛夫同志要求他们被释放——因为他们是亟需的炮兵专家。

我要求您的指示。

苏联内务人民委员

国家安全一级政委Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.81—82.副本，机打。

104

Н·А·斯克沃尔佐夫致И·В·斯大林和Л·П·贝利亚关于逮捕苏联最高苏维埃代表的密电

（1939 年 4 月 3 日）

编号 368/Ш

绝密

莫斯科，联共（布）中央委员会，斯大林、贝利亚同志

苏联最高苏维埃的代表科努斯帕诺夫、库扎耶夫、乌穆尔扎科夫、曼金被揭发出属于资产阶级民族主义组织。在苏联内务人民委员部那里，他们每个人都有 4 到 6 个直接的证词，3 到 5 个间接的证词，以及确认其为敌方工作的情报材料。

党的十八大之后，我请贝利亚同志批准逮捕这些人，但没有收到他的同意函。

作为例外，我紧急请求批准逮捕直到最后一天还一直在进行反党工作的曼金和库扎诺夫。逮捕他们是绝对必要的，他们都没有工作。

请您指示。

哈萨克斯坦共产党（布）中央书记斯克沃尔佐夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.66.Л.2.原稿，机打。

在密电上有批示“同意逮捕曼金和库扎诺夫。斯大林”和标注“告知贝利亚同志。”

105

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附М·П·弗里诺夫斯基的自白书

（1939 年 4 月 13 日）

编号 1048/б

联共（布）中央书记И·В·斯大林同志：

在这里提交 1939 年 3 月 11 日被逮捕的弗里诺夫斯基的自白书。

对弗里诺夫斯基的审讯仍在继续。

附：正文

苏联内务人民委员贝利亚

致苏联内务人民委员、国家安全一级政委Л·П·贝利亚

来自被逮捕的М·П·弗里诺夫斯基

自白书

调查组指控我从事反苏联的阴谋工作。很长一段时间以来，在我自由的时候，我一直想着要坦白我的犯罪活动，但可怜的胆小鬼的心态占了上风。我本有机会诚实地告诉您和党的领导人关于近年来我欺骗党的所有不值得的事情，但我没有。只有在我被捕后，在被指控并与您亲自交谈后，我才开始走向悔改，并承诺将全部真相告知调查人员，这些真相既涉及我本人的犯罪——敌对行径，也涉及这些犯罪——敌对行径的同谋和领导者。

由于对自己的领导者亚戈达、叶夫多基莫夫和叶若夫的权威缺乏信心，我成为了罪犯，而成为罪犯之后，我与他们一起对党进行了一次邪恶的反革命活动。

1928 年，在我被任命为国家政治保卫总局委员会下属特种师指挥员和政委后不久，在区党委会上我被选入索科利尼基地区全会和全会党组织局。

还是在会议上，我也与国家政治保卫总局的前职员波格列宾斯基（1937 年，他因亚戈达被捕而自杀）建立了联系，他告诉我区委员会成员之间存在团伙斗争。随后，在组织局中，我加入了多数人团伙，事实证明是正确的，我与组织局的这些人一起工作，直到该团伙在地区党组织中被揭发。

在 1929 年的下一次党代表大会上，包括我本人在内的大多数组织局成员，以及国家政治保卫总局的其他工作人员：米罗诺夫、利兹尔森、波格列宾斯基都被充分揭发。我和米罗诺夫在会议上发表了忏悔的演讲，但我并未完全与该地区的右派团伙决裂。

在国家政治保卫总局会议之后，根据中央的指示举行了一次领导人会议，谴责了国家政治保卫总局党组织参与索科利尼基区委员会团伙斗争的行为。

在地区党代表会议之后，我犹豫了一下，决定遵循党的正确路线，与这个团体决裂。但是，此后不久，亚戈达召集我就特种师的事务进行正式报告。报告后，亚戈达与我转而谈论党组织的事务。他开始以各种可能的方式责骂我："您是指挥员和政委，为何变得如此胆怯？（居然）在会议上忏悔？您这么做之后还如何能把师委托给您？"然后他说："请记住，您身后还有其他罪行。"我困惑地问："哪个？"亚戈达回答："您试图抹黑李可夫。"我说："那是什么时候？""很长时间了，有关试图抹黑李可夫的文件一直在我手中，您必须牢记这一点。"当我问亚戈达到底是怎么回事时，他告诉我 1920 年在李可夫与一群工作人员一起抵达哈尔科夫时，我搜查了李住的私邸。亚戈达随即对我说："请记住，李可夫会为此付出代价。"他补充说："请尽量在政治事务上完全由我指导，并经常与其他人商量，尤其是与波格列宾斯基商量。关于师的政治工作，您可以向米罗诺夫咨询。他是一个有政治素养的人，他将向您展示如何开展这项业务。"

还是在 1929 年，叶夫多基莫夫由于计划调任国家政治保卫总局组织管理局负责人而到达莫斯科。我当时在他位于"精选"酒店的房间里。起初，叶夫多基莫夫问我莫斯科的情况如何，然后他说他被调往莫斯科，而中央委员会提议他组织国家政治保卫总局的运作工作。

在同一个对话中，我与叶夫多基莫夫谈心，并说我在实践中陷入了错误。

彼时，农村由于农业集体化而使情况变得复杂。我问叶夫多基莫夫——北高加索地区情况如何？他说："事情很复杂，哥萨克和民族地区的集体农庄几乎无法生根，有很大的阻力，"他这样说："鬼才知道，这笔买卖会带来什么？"

在叶夫多基莫夫留在莫斯科期间，以及他移居莫斯科之后，我与他举行了几次谈话。在这些谈话的过程中，叶夫多基莫夫说，中央委员会在农村发动了许多暴行，"魔鬼才知道这一切将导致什么结果。"

1930 年，在党和政府针对富农分子发动果断地进攻之后，由于地方上的过激行动，发生了暴动，这些暴动使北高加索的民族州，特别是达吉斯坦的形势日趋复杂。我被召集到国家政治保卫总局委员会，并被派到达吉斯坦。离开之前，我无法与叶夫多基莫夫谈话。

我与叶夫多基莫夫的下一次会晤已经在他 1930 年到达外高加索期间进行，当时他在数个

地区巡视——这些地区为打击叛乱活动正在采取行动。

在正式对话后，我与叶夫多基莫夫进行了亲密交谈，在对话中他告诉我，正如中央委员会所认为的那样，您不能通过武装手段建立集体农庄。他说，在达吉斯坦，这里的居民说集体农庄马上就要完蛋了，不仅在民族地区，俄罗斯中部的情况也非常困难。叶夫多基莫夫说，也许我们可以摧毁富农分子，对他们进行物理摧毁，但是国家可能存在许多麻烦，党将不会在农村建立农业。

与他的谈话到此结束。待了几天后，叶夫多基莫夫离开了。

随后在 1930 我年与叶夫多基莫夫会面，然后才去阿塞拜疆工作。我们在叶夫多基莫夫的办公室见了面。我问他的指示。除了业务和官方指示，他告诉我，尽管他受委托在苏联进行这项行动，但他——叶夫多基莫夫不相信该行动的成功可以完成将富农作为一个阶级进行清算的任务。他也不相信中央委员会的决定是合理的，认为这样做可能导致农村的赤贫化和农业退化。

在阿塞拜疆这段时间里，我没有进行任何反苏工作。

1933 年，在我被任命为国家政治保卫总局边境保卫和内部警卫总局负责人并抵达莫斯科后不久，我在叶夫多基莫夫的公寓遇到了他。他从罗斯托夫回来。

叶夫多基莫夫与我开始交谈说，尽管我国农村地区的工业品供给和城市中的粮食供给的情况似乎有所改善，但总的来说形势依然复杂。

随即叶夫多基莫夫与我开始了坦率的交谈。他问："你现在如何？你所拥有的右派情绪，是否摆脱了？"我说："鬼才知道呢，它们是否已经过时，我不知道，然后呢？""你会看到，右派迟早将能够向中央委员会证明，中央委员会的路线是错误的，而右派路线是正确的。"我试图通过说集体农庄的地位变得巩固来反对这一观点。他回答说："等等，集体农庄虽然已经开始存在，但这仅仅是个开始，接下来会发生什么还不得而知。右派的干部群体很大，在遴选干部和制造对政府和中央委员会的不满方面，右派正在做很多地下工作。"

然后，叶夫多基莫夫问："您是否接受了边境保卫和内部警卫总局的任命？"在我的肯定回答后，他说："您应该对部队的问题感兴趣。在国内发生任何复杂情况时，部队将发挥重要作用，您必须掌握部队。"

知道我在边境保卫和内部警卫总局的副手是克鲁钦金、列宾和罗沙利，叶夫多基莫夫谈到了他们时说："克鲁钦金显然是亚戈达的人，但这没关系。亚戈达本人正忙于部队事务，但这也并不令人害怕。"

随即，叶夫多基莫夫告诉我，亚戈达自己也是对的，他建议说："不过，与亚戈达的关系，

不要走得太远，也不要完全信任他，尤其是他的跟班，因为这些人有犯罪的可能性，这些犯罪将失败并可能使他们背叛你，但请亲身试探克鲁钦金。”然后，叶夫多基莫夫说，克鲁钦金曾在中亚出差去进行战役——当时叶夫多基莫夫也在那里——由于他自己的胆怯，战役失败了。叶夫多基莫夫说，我将有关克鲁钦金的问题交给了亚戈达，但出于某种原因，他们保持沉默。您需要小心地将他拉向自己这边，还需要在国家政治保卫总局的部队中培养自己的干部。

我问针对部队应该怎么做？首先，叶夫多基莫夫说，将完全可靠的人员掌握在自己手中，以便万一遇到麻烦，他们会按你的意思行事。

同年，1933 年，在我在工作问题上与他发生对抗之后，亚戈达在布拉诺夫的帮助下再次开始拉近我与他的距离。布拉诺夫经常以钓鱼和打台球为幌子邀请我去他的别墅。在去布拉诺夫别墅的其中一次旅行中，在休息日亚戈达来到了别墅，他在吃过午饭和喝了一杯后在单独的房间与我交谈。

亚戈达开始谈话时说我错了，说我反对他，看得出来，叶夫多基莫夫的爪牙也在这里活动，他随后跟我说“请注意，您还在右派阵营——我很清楚，您在做相关工作，我也知道，没有什么同与您对这种情况——右派存在于中央机构的情况——达成和解更好，请放下您的野心并服从我。”随后我们俩继续对话，亚戈达问我“边境保卫和内部警卫总局的情况如何？你在那有很多副手，没有什么比拿掉其中的个把人更好的了。您认为呢？谁留下来更好，克鲁钦金还是列宾？”

亚戈达没有等待我的回答，他说克鲁钦金是一个可靠的人。我意识到，克鲁钦金与他有联系，从事犯罪活动。

关于列宾，亚戈达不知道说什么好，他只关注了阿库洛夫和巴利茨基——在他们在国家政治保卫总局中工作时。他说“也许应该将他推荐给巴利茨基，让他去找他。罗沙利应该打点好*。对于战斗训练部门，您应该争取克拉夫特或雷姆尚。”之后，亚戈达开始邀请我去他的别墅，但由于时间太晚，我拒绝了。亚戈达说再见：“嗯——全面完整地接触。”

按照我从叶夫多基莫夫那里收到的任务，并在与亚戈达交谈之后，我开始以各种可能的方式拉拢克鲁钦金，并很快与他进行了公开对话。我问克鲁钦金，他在亚戈达有关的部队任务中做了什么样的工作。起初，克鲁钦金假装感到困惑，然后他开始说自己没有接受任何特殊任务，他的主要工作是本着对亚戈达个人的无尽奉献精神而为他遴选和培养人。

克鲁钦金终于告诉我，他自从 1934 年从新疆回来后就招募了一大批人并把他们安排在国家政治保卫总局内部工作。

为了展示他反苏工作的全景，克鲁钦金给我提到以下人员：克拉夫特、雷姆尚——他当时已经从边境保卫和内部警卫总局被派往红军，罗特梅尔、利普西斯、扎林、巴尔科夫、康德拉季耶夫——他当时被任命为特种师指挥员，亚戈达和布拉诺夫与康德拉季耶夫有直接关系，而康德拉季耶夫*在师里头有自己的人*。

当时的列宾已经在乌克兰担任边境保卫和内部警卫局的负责人，尽管他同意将巴利茨基带走放到自己身边，但他与巴利茨基的关系并不十分正常，亚戈达无法一次性解除阿库洛夫和巴利茨基的职位。

在 1934 年再次造访莫斯科时，列宾向我抱怨。我叫来了克鲁钦金，并与他一起告诉列宾，我了解到列宾在克鲁钦金的领导下参与敌对工作。列宾起初感到很惊讶，然后得知我也参与了这项工作并且已经开始领导边防部队时，我们彼此敞开心扉。此后，列宾要求解决他与亚戈达和巴利茨基的关系问题。为此，我们直接与亚戈达进行了交谈，我说列宾是我们的人，我们不应该让他面临这样的处境，特别是在乌克兰，基于我们的利益，他还应该联系乌克兰人，并了解要在乌克兰做什么。我本人曾与巴利茨基交谈，告诉他不要冒犯列宾。

从列宾那里，我感受到他给我留下这样的印象，在乌克兰，右派分子也在国家政治保卫总局的机关和部队内进行活动。克鲁钦金和我给列宾分配了一个任务，让他与乌克兰人联系，而不要表现出他们在莫斯科的联系，也不要说关于亚戈达，我和克鲁钦金的任何话，已进入巴利茨基的圈子，如果他们要招募他，那他就去。

大约在 1935 年的头几个月，列宾在再次造访莫斯科时告诉我，他已经与巴利茨基联系，并且巴利茨基将他与边境警卫部队的许多人员联系在一起，特别是与边境保卫和内部警卫局政治部门负责人萨罗茨基**、敖德萨边防部队的负责人库列什**和乌克兰边境保卫和内部警卫局副局长谢苗诺夫**。

同一时期——1934 年——叶夫多基莫夫在我到莫斯科时跟我见了几次面。在这些会面中，他逐渐向我透露了他的实际工作，并谈到了右派中心针对联盟（苏联）的工作。他特别指出，他在国家政治保卫局机构内部有很多人，提到了鲁季、达金、拉耶夫、库尔斯基、杰缅季耶夫、格尔巴奇，和其他人的名字。他说他在民族州有关系：在达吉斯坦——通过马梅德别科夫，在车臣——通过戈尔舍夫或戈尔舍宁，他随即说，对他来说，他唯一的难处是与拥有自己派系的卡尔梅科夫共事，叶夫多基莫夫无法以任何方式摆脱他，但他将卡尔梅科夫形容为完全是“我们的人”——他是右派分子，但是有自己独立的一条线。

我问他，联盟的整体情况如何？叶夫多基莫夫说，正在做很多工作，在苏联其他许多地区

占据重要位置的许多人都已经开始右倾。他在这里说：“您知道现在我们该如何与中央委员会作斗争：我们以前的某个时候在和起义作斗争，但是现在我们自己必须寻找线索，与起义者联系的线索，以便把起义组织起来，我们必须有人去级别较低的岗位工作。这是一项非常困难和危险的工作，但是如果较低级别的岗位（区委书记、区域执行委员会主席或与农村有联系的人）没有我们的人，我们将无法领导起义，这是我们面临的主要任务之一。”

叶夫多基莫夫问我对部队做了什么。我把所有事情都统统告诉了他，尤其是与亚戈达的会面以及与他的对话。叶夫多基莫夫再次向我发出了这样的指示，即不应破坏与亚戈达的这种联系，但不要跟他一条道走到底，主要是，不要对亚戈达谈我与他——叶夫多基莫夫的联系。

在一次会面中，叶夫多基莫夫建议我与前副内务人民委员普罗科菲耶夫联系，并探查他的心境。当我问——目的是什么时，他回答——以后我会告诉你。

为了完成叶夫多基莫夫的任务，我与普罗科菲耶夫成为了密友。之后，我得知叶夫多基莫夫正在寻找与普罗科菲耶夫的联系，以便亲自联系他，这实际上是他通过我所做的。他们的第一次见面是在我的别墅，之后，在他到访莫斯科期间，他开始拜访普罗科菲耶夫。一段时间后，叶夫多基莫夫告诉我，通过对普罗科菲耶夫的接近，他实现了核实卡尔梅科夫是否与国家政治保卫总局有联系的目标。

1934 年，在扩大对边境保卫和内部警卫总局的工作时，我们与克鲁钦金试图与前国家政治保卫总局特种师指挥员——康德拉季耶夫保持联系。因为康德拉季耶夫直接从亚戈达和布拉诺夫那里收到任务。我们想知道他为该师收到了什么样的任务。但是，克鲁钦金和康德拉季耶夫之间的谈话没有任何结果，只有在对师进行检查——这是在亚戈达休假期间进行的，并且揭露了有关师所属单位丑陋状态的许多事实——之后，我们才设法迫使康德拉季耶夫讲述他在师里正在进行的阴谋工作。

康德拉季耶夫说，该师的大部分团长和许多政治机构的工作人员都是他招募的。康德拉季耶夫还说，该师政治部主任戈尔霍夫（曾与康德拉季耶夫一起来过远东）参与了这次阴谋。

此外，康德拉季耶夫说，雅戈达给了他一项任务（他正在努力），让他招募并为参与工作的指挥人员制定一项计划，在该师在莫斯科的情况下采取行动。该计划主要是封锁和隔离克里姆林宫与莫斯科其他地区的联系。此外，他说，如果发生复杂情况，则有一个由**这个师人员组成的部队集团**，会立即服从亚戈达的命令。

最后，他说，被国家政治保卫总局内部任命的装甲兵执行指挥官主要从阴谋的参与者中产生***。告诉了这一点后，康德拉季耶夫立即感到胆怯，开始说他希望亚戈达在与他解决这个

问题之前不知道我们之间的谈话。同时，康德拉季耶夫说，他从布拉诺夫处知道我和克鲁钦金在工作。

1935 年，叶夫多基莫夫开始问我：亚戈达的手下有没有刺杀基洛夫，我对此有任何了解吗？此外，他指出，如果亚戈达参与本案，那不是一个好举动，不是从对基洛夫丧生的遗憾的角度出发，而是从基洛夫被谋杀后不久开始镇压所造成的局势的复杂性以及那些人的复杂性角度出发。

在这次谈话过程中，雅科夫·利夫希茨，前交通副人民委员来到他的公寓，向我打招呼后说："我们住在同一座城市，却从来没见过面。"叶夫多基莫夫立即说——有必要见面，这对双方都是有益的。那天是休息日，利夫希茨邀请我们在休息日去他的别墅。

在利夫希茨离开叶夫多基莫夫之后，我问他利夫希茨是否诚实地悔改了？叶夫多基莫夫回答："说实话，像雅沙这样的人不会悔改，"并补充说利夫希茨正在做适当的工作。

第二天，我和叶夫多基莫夫在利夫希茨的别墅中。我们没有谈论关于阴谋的内容，但叶夫多基莫夫一直强调必须与利夫希茨保持密切联系，我们与利夫希茨商定了进一步的会面。

在其中一次会面中，利夫希茨告诉我："坦率地说，我从叶夫多基莫夫那听说了你，我没想到你也和我们站在一起，做得很好。"我开始和利夫希茨聊天，我先开头，问他你好吗？他回答："埃夫多基莫夫告诉过你我在工作。"我再问他——您在做很多工作吗？他说，他正在做很多工作，通过皮达可夫与该中心有联系，有很多人，并且他也没有断了与乌克兰人的联系。

下一次会面，与开始逮捕一些托洛茨基分子有关，尽管我在边境保卫和内部警卫总局工作并且与这项业务没有直接关系，但利夫希茨还是给了我任务，听取被捕托洛茨基分子的证词，并告诉他。

1935 年秋天，乌克兰边防军人的妻子们来到莫斯科。亚戈达允许我在我的别墅为他们组织招待会，并且在同一天的早晨，我与利夫希茨骑马，并向他介绍了这次招待会。利夫希茨问，客人会有谁？我说我正在邀请部门主管。然后他说——也邀请莫尔恰诺夫，我不能参加这个招待会吗？我说你就表现得好像什么特殊情况都没有发生，只是偶然遇到的那样。利夫希茨实际上在傍晚来到我的别墅。莫尔恰诺夫也到了。饭后，利夫希茨和莫尔恰诺夫并排坐在一起喝酒，然后他们走进花园散步。当其他人还没有散去时，利夫希茨离开了，仅十天后，我问利夫希茨，您与莫尔恰诺夫谈了什么，您是否对他说了一些关于我的事情？他回答说他跟他谈的是托洛茨基分子。"您知道，莫尔恰诺夫也不是一个完全纯洁的人，但是他曾经因为傲慢跟我分道扬镳。我没有与他直接对话，但是我在从他那打探托洛茨基分子提供了什么证词。"

在 1935 年的一次会面中，叶夫多基莫夫在他的公寓里告诉我一些他所招募的在五山城工作的人。他给皮沃瓦罗夫叫来一大批契卡干部：***博雅尔、佳特金和沙茨基***。

他在这里告诉我他与哈塔耶维奇的联系，并以各种可能的方式赞扬他是农村问题的专家。与埃赫的联系，大约属于列宁格勒组织的一部分——楚多夫、茹科夫，随即他警告我不要特意与他们见面，因为列宁格勒人喝醉了，总的来说中央委员会的声誉是人们在醉酒的基础上被瓦解和玷污的。

还是在这次到访时，叶夫多基莫夫说：是否有可能通过亚戈达将达金拉到实权部门？叶夫多基莫夫说："尽管保克尔是亚戈达的人，但他是个傻瓜，让他（保克尔）担任要职的话，他肯定会把事情搞砸。"同时，他警告说，如果您尝试将达金调到第一处，则必须考虑到在适当的情况下进行并谨慎操作。

在 1935 年的一次在叶夫多基莫夫公寓里的会面中，叶夫多基莫夫还说，他们在北高加索地区的一些地区设法用自己的人领导了叛乱组织，而之前的清党工作在招募人员方面起到了帮助作用。

在季诺维也夫、加米涅夫和其他人的庭审在进行中时，在媒体开始揭露布哈林时，在这些庭审结束前，叶夫多基莫夫在莫斯科。他非常担心，在与我交谈时说："鬼知道我们如何摆脱这整个买卖。我不了解亚戈达，他在那儿做什么，为什么他要扩大镇压人的范围，或者这些人的膝盖很软——他们都招供了。但是可以用这样的方式进行调查，以便用各种可能的方式保护自己。"

他随即向我询问有关利夫希茨的问题：利夫希茨是否根据契卡的资料在什么地方？当时利夫希茨不在莫斯科，他正在休假。我告诉叶夫多基莫夫，我出席了一次业务会议，其中莫尔恰诺夫报告了针对利夫希茨的证据，这些证词来自乌克兰。叶夫多基莫夫同时说："假使他很快休假回来，你不能公开与他见面。"当时我已经在准备去远东出差，而在利夫希茨休假前的骑马旅行当中，我们谈到了与他一起去远东的可能性。

我告诉叶夫多基莫夫，我要和利夫希茨一起去远东。他说，如果可以的话，最好在这种情况下自己一个人去。叶夫多基莫夫感兴趣的是，谁在从事托洛茨基分子与右派分子的调查和情报工作？他本人非常沮丧。

在我去远东之前，利夫希茨休假回来，但是鉴于他的证词有中伤我的可能性，我便不再与他见面。

当我前往远东时，亚戈达给了我一封给杰里巴斯的信，我不知道其内容，此外，他还要求

我给杰里巴斯捎口信，说中央委员会对杰里巴斯的工作并不完全满意，他在打击托洛茨基分子方面表现不佳，并随即补充道："您跟他说明，不管他想做还是不想做，都需要做，他会明白的"。我问亚戈达，他是否会问我对您的态度以及您的事情？亚戈达回答我："杰里巴斯是一个聪明的人，我想他不会这么做，告诉他，在基洛夫被谋杀后我们在这里经历了什么。"

我与杰里巴斯进行了对话，而杰里巴斯主要对已经被镇压的人的名字和正在材料中呈现的人感兴趣。我跟他谈到了利夫希茨和皮达可夫，他们正处于暴露的边缘。

在我从远东回莫斯科的路上——这已经是我被任命为副人民委员以后了，在一个火车站，有一名工作人员来到我的车厢告诉我交通副人民委员利夫希茨想在下一个车站跟我交谈。确实，我在下一个车站见到了利夫希茨。我故意离开车厢，以免在车厢里和他交谈，因为许多工作人员都与我随行。利夫希茨与路段长鲁滕堡一起向我走来。利夫希茨要求我允许他一起去坐一站。他说，他已经被免去副人民委员的职务，因为他在莫斯科与被捕者当面对质。他责骂那些千方百计背叛他的人，感到紧张，并要求我（已经是副人民委员）以某种方式做些事情，以便他能摆脱这种窘境。我反过来要求他："好吧，你已经沦落至此，既然事情已经发展到了这个地步，那么就顺其自然吧。"

在下一个车站，他离开了。与利夫希茨会面后，我有点害怕，为了让这件事不会给我带来什么麻烦，我采取了这样的计划：到达莫斯科后，我会将此事告诉叶若夫，并且我会在这一前提下说利夫希茨起誓并对天发誓说，他是无辜的，非常紧张的，并且他准备通过实际工作来证明自己对中央委员会的忠诚。回到莫斯科后，我就是这样做的。

在我上任副人民委员后不久，叶若夫开始拉近我与他的距离，将我从其他副手中挑出来，与我进行更坦率的对话来指点其他的副手，表达对阿格拉诺夫的不满。在被分配作为副手的职责之前，我除了继续担任边境保卫和内部警卫总局的负责人外，叶若夫还建议我对业务问题感兴趣，在 1937 年亚戈达被捕后，他开始与我交谈关于我可能被任命为第一副人民委员的问题。在其中一次对话中，叶若夫告诉我："我已经决定了这个问题，但我想和你谈谈，说吧，老实说，你身后有一些小毛病。"

起初我完全被吓了一跳，以为我完蛋了。看到我的慌张，叶若夫开始说："别害怕，老实告诉我。"然后，我告诉了他有关索科利尼基的事、我与亚戈达的关系、与叶夫多基莫夫的关系以及与利夫希茨的关系。然后，叶若夫说："你有那么多罪恶，你现在都应该被抓起来了，嗯，不过没关系，你会继续工作，你将百分百成为我的人。"我慌张地望着他，试图拒绝第一副人民委员的任命，但他说："坐好，干活，我们将一起工作，共同进退。"

在逮捕布哈林和李可夫之前，在与我坦率的交谈中，叶若夫开始谈论契卡与当前局势有关的工作计划以及即将发生的对布哈林和李可夫的逮捕。叶若夫说，这对右派人士来说是巨大的损失，此后，在我们的期望之外，在中央委员会的指导下，可能会出现针对右派干部的大规模行动，而与此相关，他与我的主要任务就是在调查中尽可能地保护右派干部。他立即为这件事制定了计划。基本上，该计划包括以下内容："我们需要安排我们的人员，主要是在秘密政治处里，选择那些将与我们完全联系在一起的人，或者将有任何罪行而且他们自己知道的人——他们知道自己身后的罪恶，并且基本上完全将这些罪恶掌握在自己的手里——的人作为调查人员，让他们自己参与调查并主导调查。""也就是说，"叶若夫说，"不是写下被捕者说的所有话，而是让调查人员将所有要点和草稿交给处长，对于过去在右派组织中担任重要职务并处于领导地位的被捕者，应该在他（处长）的授权下编辑笔录。"如果被捕者指认了组织的成员，则必须将他们记录在单独的列表中，并每次向他报告。叶若夫说，最好任用已经与该组织有联系的人员。"例如，叶夫多基莫夫告诉过您一些人，我也知道一些人。首先，需要将它们调到总部。通常，我们需要看清楚有能力的人员，并从业务角度出发，从已经在总部工作的人员当中，以某种方式让他们离我们更近，然后招募他们，因为没有这些人，我们就无法开展工作，我们也需要向中央展示某些工作。"

在执行叶若夫的这项建议时，我们采取了强硬的方针，将亚戈达的干部留在内务人民委员部的领导职位上。应当指出，我们很难取得成功，因为很多地方机关都有关于他们参与阴谋和反苏工作的材料。

为了留住这些干部并使其正式被平反，我们将提供这种证词的被捕者传唤至莫斯科，在莫斯科通过讯问，他们放弃了他们的证词（吉尔尼斯案、格列波夫案等）。

与此同时，为了替代那些被捕的亚戈达的人（那些已经无法挽救的人），根据叶若夫的指示，一群北高加索的契卡干部被任命到内务人民委员部中央机关和地方机构的领导岗位上。

这些契卡干部的大部分是被叶夫多基莫夫的人，他们被招募到内务人民委员部保卫处工作。正如我在上面指出的那样，达金利用这些干部为在叶若夫的指挥下为必要时刻对党和政府领导人实施恐怖活动行为做准备。

在保克尔被捕后，叶若夫提出了选拔第一处负责人的问题，他自己提议库尔斯基，他被任命为第一处处长。任命库尔斯基后不久，叶夫多基莫夫回到莫斯科。叶夫多基莫夫问我正在做什么。我告诉他关于与叶若夫建立联系的信息。随后，叶夫多基莫夫立即去了第一处，说库尔斯基没有被成功任命到第一处，尽管这个人是我们的，但是他神经衰弱并且是个胆小鬼，我告

诉过你，应该任命达金。

我告诉他关于库尔斯基在工作过程中的心境，他以各种可能的方式想摆脱第一处处长的职位。叶夫多基莫夫建议充分利用他的这些情绪，并尽一切可能任命达金顶替库尔斯基的这个职位。库尔斯基被解职，达金被任命。

在与叶夫多基莫夫的同次会面中，他说："在您的指挥下，亚戈达的路线还将继续；我们将自我摧毁。这种情况要到什么时候才算完？"

我告诉了他与叶若夫的对话，并指出我们现在正在采取措施，很可能留住这些干部。

叶夫多基莫夫建议我迅速对被逮捕和计划要逮捕的契卡干部的案件进行处理。"你知道，"他说，"你不能窝藏亚戈达的干部，每个人都知道他们，不是今天就是明天，他们都会被带走，因为下面的人反对他们，所以在这里我们需要尽快做这些事情。"

然后他说，您需要特别注意亚戈达。亚戈达是这样的人，他将在调查期间开始说些荒唐透顶的事情，他建议库尔斯基应该对亚戈达的案件进行调查。

我告诉了叶若夫与叶夫多基莫夫的对话。叶若夫说——您告诉我这个很好，但遗憾的是您只是告诉叶夫多基莫夫我们在一起谈话了，最好达成这样的共识——您只会告诉叶夫多基莫夫我要你告诉的内容。

1937 年 10 月中央委员会全会结束后，我和叶夫多基莫夫第一次在叶若夫的别墅里见面。这次对话由叶夫多基莫夫开头，后者转向叶若夫问："您出了什么问题，答应改善亚戈达的处境，但案件越来越深入，现在危险离我们越来越近。看得出来，你对案件的领导不太好。"叶若夫起先保持沉默，然后说："情况确实很困难，现在我们正在采取措施缩小行动范围，但显然，右派负责人必须受到处理。"叶夫多基莫夫骂骂咧咧，吐沫横飞地说："我就不能去内务人民委员部吗？我会比其他人提供更多帮助。"叶若夫说："那很好，但是中央委员会几乎不会同意将你调任到内务人民委员部。我认为此案并非完全没有希望，但你需要与达金对话，你对他有影响力，他需要在业务部门开始工作，我们必须准备进行恐怖主义活动。"

我不记得了——叶若夫或叶夫多基莫夫说过，我们需要看一下如何将矛头指向保克尔和亚戈达，然后将其清除。一旦人们失去控制，他们就要做蠢事，采取自发的行动。叶夫多基莫夫就此说，最好应该让北高加索民族的人守在外围，直接进驻到别墅里，这些人忠于职守，因为印古什人曾经护卫过沙皇。此后，叶若夫再次开始说，不应该停止工作并减少工作量，但是有必要更多地转入地下，在任何情况下，他（叶夫多基莫夫）至少不应该再建立更多的联系了。"你不是有人吗？让他们自己去悄无声息地考察和拉拢别人吧。"

从蒙古回国以后，我得知我从内务人民委员部调任国防人民委员部副人民委员的过程中出了一个问题。

在召开全会的那天，我问了叶若夫。他说这个问题尚未解决。当我问机关里关于将扎科夫斯基调到莫斯科任第一副人民委员的职位的谈话是否正确时，叶若夫回答：我们要把扎科夫斯基带到机关担任副处长。他说，这个人完全是我们的，但是这个人需要看管，然后需要从列宁格勒的局势中转移出来，因为有很多关于他与丘多夫和科达茨基的关系的议论。中央委员会也在谈论扎科夫斯基的腐败问题。

全会的一次会议之后，晚上，在叶若夫的别墅，有叶夫多基莫夫、我和叶若夫。当我们到达那里时，埃赫在那里，但是埃赫没有与我们进行任何对话。在我们到来之前埃赫和叶若夫之间发生了什么——叶若夫没有告诉我。晚饭后，埃赫离开了，我们一直待在那里长谈直到早上。叶夫多基莫夫主要逼迫我们谨言慎行让他来指挥我们，特别是，他开始谈论自己的事，并问为什么叶若夫给他派去捷依奇，而后者正收集针对他的材料。

在同一次全会期间，我又与叶夫多基莫夫举行了一次会议。他一直在坚持尼古拉·叶若夫必须一直掌握在他的手里，“你不能应付这件事，带着自己的干部去枪决别人”，叶夫多基莫夫随即建议：“我建议不要把列宁格勒的被捕者（丘多夫、柯达斯基、斯特鲁普）押送回列宁格勒，因为尽管扎科夫斯基完全是我们的人，但鬼知道跟他一起工作的人是什么人，但愿他们不要开始缠着他。”叶夫多基莫夫继续说道：“我相信您早已开始发勋章了。毕竟，不仅我们要褒奖，其他人也要褒奖。斗争的冲动在增加，这本应该受到限制，勋章应该用来激励那些跟我们组织上没有联系或联系有限，但在未来能帮我们拓展计划的人。”

叶夫多基莫夫和叶若夫在这里已经讨论过可能减少行动的问题，但是由于这被认为是不可能的，他们同意转移对自己干部的打击，并试图将打击的矛头转向忠于中央委员会的诚实干部。这就是叶若夫的态度。

我忘了提到一件对案件至关重要的情况。

1935 年秋天，叶夫多基莫夫、我、达金和利夫希茨，在利夫希茨别墅举行了一次会面，在那次会面中，处于极度恼火状态的叶夫多基莫夫开始说，他不太相信托洛茨基和右派恐怖分子筹划的反对斯大林的行动能够成功。同时，叶夫多基莫夫坦率地说，只有内务人民委员部保卫处的部队才可以对斯大林实施恐怖袭击。

叶夫多基莫夫非常遗憾，即使他是国家政治保卫总局组织管理局的负责人，他也未能成功任命达金担任安全部门的负责人，并建议我如果机会合适的话谨慎推荐达金替代保克尔。

很快，叶夫多基莫夫被调往莫斯科工作。开始与我们见面的频率越来越高，无论是直接与叶夫多基莫夫在叶若夫处见面还是我们三个人一起见面。

在这里，我认为有必要注意以下几点：

在右派中心成员被捕后叶若夫和叶夫多基莫夫本质上成为了中心，他们组织了如下活动：1）尽可能保护反苏右派干部免于消灭；2）对忠于联共（布）中央的党的诚实干部施加打击；3）在北高加索地区以及在苏联其他地区和地区保留叛乱干部，以期在发生国际复杂事件时予以使用；4）加大对党和政府领导人的恐怖行动的准备；5）由叶若夫领导的右派政权。

在我从远东返回时，应叶若夫的要求，我没有回家就去了人民委员部。我从未见过如此沮丧的叶若夫。他说："事情真糟糕"——随即提出了一个问题，即贝利亚被违反了他的意愿被任命为内务人民委员部成员。他说，这将是一件糟糕的事情。恐怕一切都会被揭露，我们的计划将会破产。

1938 年 8 月 27 日至 28 日，叶夫多基莫夫打电话给我，让我来他的公寓。我们整个谈话都指向一个事实，那就是如果存在任何不完善之处——这些不完善会导致开展针对我们的刑事调查活动，那么在贝利亚到来之前这些不完善都要有个了结，然后，叶夫多基莫夫告诉我："您要核查扎科夫斯基和其他亚戈达的人是否被枪毙，因为在贝利亚抵达后，可能会恢复对这些案件的调查，而这些案件将不利于我们。"我核查并确认扎科夫斯基、米罗诺夫和其他一群契卡干部于 8 月 26 日至 27 日被枪决****。

我继续讲述由叶若夫，我本人和内务人民委员部的其他阴谋者进行的实际的敌对工作。

调查工作

内务人民委员部各部门的调查机构分为"侦查员—敲钟者"，"敲钟者"和"普通"调查员。

这些团伙是什么？他们是谁？

"侦查人员"主要是从阴谋者或中伤者中挑选出来的，他们在不受监督的情况下殴打被捕者，在最短的时间内获得"证词"，并且能够文字通顺、生动地罗织笔录。

这类人员包括：尼古拉耶夫、阿加斯、乌萨科夫、李斯特恩格特、叶夫根尼耶夫、朱帕金、米纳耶夫、达维多夫、阿尔特曼、盖曼、利特温、列普列夫斯基、卡列林、凯尔松、雅姆尼茨基****和其他人****。

由于以这种讯问方法屈打成招的被捕者的人数日益增加，并且对知道如何炮制笔录的侦查人员的需求加大，因此，所谓的"侦查员—敲钟者"开始围绕自己建立一些小组，被称为"敲钟者"。

“敲钟者”组由技术工人组成。这些人不知道被调查者的材料，但被送到列佛尔托沃，传唤被捕者并殴打他。殴打一直持续到被捕者同意作证的那一刻。

其余的调查人员对无关紧要的被捕者进行讯问，内容留给自己，没有任何人指挥。

调查的进一步过程包括以下内容：

调查人员在询问后做了短记录而不是笔录，经过几次类似的审讯后，调查人员会拟定笔录草案，并提交相应负责人进行“更正”，而经负责人手尚未签字的笔录会被送到前人民委员叶若夫处——极少情况下送到我这里进一步“审查”，叶若夫会审核笔录，并进行更改和添加。在大多数情况下，被捕者不同意笔录上的话语，并说他们在调查期间没有说过这一点，因此拒绝签字。

然后，调查人员提醒被捕者关于“敲钟人”的事，迫使被调查者在笔录上签字。在大多数情况下，叶若夫会在没有与被捕者见面的情况下对草案进行“更正”和“编辑”，即使他看见了，也是转瞬即逝或者是在审讯室里。

在这种调查方法下会悄悄提醒姓氏。

我认为，总的来说，证词经常是由调查员提供的，而不是由被调查者提供的，我将说出真相。

人民委员部的领导是否知道这一点，即我和叶若夫是否知道？——知道。

对此有何反应？老实说——没反应，但是叶若夫甚至鼓励了它。没有人理解——动用了酷刑。由于使用此方法的大多数人都是敌人——阴谋者，因此显然存在诽谤，采用了虚假证词，在被敌人逮捕的人里被诽谤的人被逮捕和射杀——无辜的人被调查，而真正的调查被抹杀。

比如说前国家银行行长马里亚欣被捕，他在被捕前与叶若夫关系密切。叶若夫对他的案件的调查表现出极大的兴趣。他本人亲自监督调查，并亲自过问。马里亚欣一直被关在列佛尔托沃监狱。他遭到残酷和不断地殴打。如果说其他被捕的人只是在认罪之前遭到殴打，那么即使调查结束后，马里亚欣也遭到殴打，因为没有从他那里得到任何证据。

有一次，我和叶若夫一起去审讯室（叶若夫喝醉了），我们去讯问马里亚欣，叶若夫跟马里亚欣说了很多话，他的话还没有说完就给马里亚欣安上了恐怖分子和意图发动针对他——叶若夫的恐怖活动的罪名，并立即宣布“给我打，往死里打”。

还有一次：在雅科夫列夫被捕后的第一次还是第二次审讯里，醉酒的叶若夫向雅科夫列夫寻求证词，以证明雅科夫列夫正准备针对叶若夫的恐怖活动。雅科夫列夫说这不是真的。但是他立刻被叶若夫和在场的其他人殴打，过了一会儿叶若夫离开了，雅科夫列夫没有被打到认罪。

而几天后，出现了雅科夫列夫准备针对叶若夫恐怖袭击的证词。

叶若夫为了毫不掩饰地伪造关于准备针对他的恐怖行为的调查材料，达到了这样的地步：在“敲钟者”中，卑鄙的调查人员不断要求被捕者“招认”他们涉嫌准备针对叶若夫的恐怖活动。

被捕的克鲁格利科夫（国家银行前行长）在证词中还供述了一个准备谋杀叶若夫的恐怖组织。我参加了叶若夫对克鲁格利科夫的初步审问。克鲁格利科夫说，他对针对叶若夫的恐怖袭击撒了谎。此言一出，叶若夫就不再与克鲁格利科夫交谈而离开了。跟在后面的是审讯克鲁格利科夫的调查员，他走向了叶若夫。后者对他说了些什么，于是我和叶若夫就去了人民委员部。我不知道他对调查员说了些什么，但是我知道第二天早晨克鲁格利科夫发表了一份声明，在这份声明里他放弃了辩解，原因是看到叶若夫后，他“茫然不知所措”，不想亲自确认他的证词。

克鲁格利科夫被迫确认这些证词，此后，叶若夫再也没有问过真相在哪里。

在对亚戈达和对其他被捕的契卡干部——阴谋分子的调查，和对其他被捕分子，特别是右派分子的调查期间，叶若夫对笔录方案进行“调整”所追求的目标是保护一批反苏分子，并防止我们参与的反苏联阴谋出现任何失败的可能性。

我可以举几十个被调查者没有供出与他们有关的人从事反苏活动的例子。

最生动的例子是阴谋分子亚戈达、布拉诺夫、扎科夫斯基、克鲁钦金等，他们知道我参与了阴谋活动，但没有提供证词。****

被捕人员如何准备对质，特别是有政府人员在场情况下的对质？

被捕者首先经过调查人员的专门培训，然后由部门负责人进行了专门培训。准备工作包括读出被捕者向将与之对质的人的证词，解释如何进行对质，对被捕者可能提出哪些意外问题他应如何回答。本质上，是对即将到来的对质进行串通和排练。随后，被捕者被叶若夫传唤，或者叶若夫他假装不小心进入了调查员的房间，被捕者坐在那里并与他谈论即将到来的对质，叶若夫问，他们感到信念坚定与否，会不会确定自己的证词，同时会顺便提一句，政府的成员会参加对质。

通常，即使在与被捕者交谈之后，叶若夫在面对此类对质之前也很紧张。在某些情况下，被捕者在与叶若夫的谈话中说自己的证词不真实，他是被诬陷的。

在这种情况下，叶若夫会离开，并指示调查人员或部门负责人让被捕者“恢复记忆”。例如，我们可以举出乌里茨基（情报局局长）和别洛夫（白俄罗斯军区司令）之间的对质的准备工作。在被叶若夫审问时，乌里茨基拒绝对*****别洛夫*****作证。叶若夫没有与他谈论任何事情，就离开了，几分钟后，乌里茨基通过尼古拉耶夫向叶若夫道歉，并说他“胆怯了”。

对于李可夫、布哈林、克列斯廷斯基、亚戈达和其他人的庭审准备

一方面叶若夫大体上积极参与了调查，另一方面他在庭审准备过程中逃避了自己的职责。审判前被捕者的对质、讯问和定罪，叶若夫都没有参加。他与亚戈达进行了很长时间的交谈，这次谈话的主要内容是巩固亚戈达的信念，即他不会被枪毙。

叶若夫与布哈林和李可夫进行了几次交谈，为了让他们平静下来，向他们保证，在任何情况下都不会将他们枪毙。

有一次叶若夫同布拉诺夫进行谈话，开始的时候调查员和我在场，而结束的时候是他俩一对一谈话，他要求我们离开。自此以后布拉诺夫开始讲关于叶若夫中毒的事情。谈话的内容，叶若夫没有告诉我。当他让我们再次回来的时候，他对布拉诺夫说“在审判时好好表现，我会争取使你免于被枪决”。在审判过后叶若夫总是为布拉诺夫感到遗憾。在枪决时，叶若夫建议先枪决布拉诺夫，而且没有进入他被枪决的房子里。当然，在这里，叶若夫的指导思想是要掩盖他与即将进行公开审判的被捕的右派领导人之间的联系。

叶若夫中毒事件的本质。叶若夫中毒的想法是叶若夫本人提出的——有一天他向所有副手和处长们宣布自己不舒服，他一进入办公室就感到在他的嘴里闻到某种金属味。此后，他开始抱怨牙龈出血，牙齿开始松弛。叶若夫开始坚持认为自己在办公室里中毒了，因此激发了调查以寻求相关的证词，这些证词是通过使用列佛尔托沃监狱和殴打来完成的。

大规模行动

在大规模行动中，一开始，叶若夫的指示完全按照政府的决定发布，并且最初几个月表现正常。

很快，在许多边疆区和州，特别是在奥尔忠尼启则边疆区出现了被捕者在审讯过程中被杀害的事件，随后针对这些被捕者的案件通过三人小组将其判处死刑而得到正式化。同一时期在其它州，特别是乌拉尔、白俄罗斯、奥伦堡、列宁格勒和乌克兰，也出现了有关暴行的材料。

当除了在这些边疆区和州进行大规模行动外，还发布了关于镇压从事可疑间谍活动、与外国使领馆接触，以及叛逃的其它民族公民的指示时，丑恶的行径在进一步滋长。在列宁格勒州、斯维尔德洛夫斯克州、白俄罗斯苏维埃社会主义共和国和乌克兰开始逮捕苏联本土居民，指责他们跟外国人有联系。而在很多情况下这些人没有任何与这些行为相关联的信息。在莫斯科，为审理此类案件特别设立了三人小组。第一任三人小组主席是切萨尔斯基，他之后是沙皮罗。

叶若夫、我和叶夫多基莫夫得出的结论是：应该刻不容缓地将针对属于自己的反苏叛乱干部的打击引开并一定要把这些打击转移到诚实的人身上，这些忠诚于祖国和党的干部实际上已

经对奉行惩罚性政策的犯罪行为表达了他们的立场，他们认为这些惩罚性政策应该针对的是祖国的叛徒和外国情报部门的代理人。内务人民委员部地方上的诚实的工作人员，对叛变了的内务人民委员部领导人和很多参与反苏阴谋的内务人民委员部各局领导人没有产生怀疑，将敌人的指示视作党和政府的指示，客观上成为了消灭无辜诚实公民行为的参与者。

而出现在我们身边的大量所谓“扩大化”的信号，本质上是我们敌对工作的大暴露，而在叶若夫的指示下，我们对这些信号没有任何回应。而对于那些由于中央委员会干预而无法掩盖、消除或者具有揭露性意义的信号，他们就直接用伪造和掺假来对付。

例如，1938 年，什基里亚托夫代表联共（布）中央委员会，前往奥尔忠尼启则边疆区，调查在该地区内务人民委员部进行大规模行动期间收到的关于犯罪的反常行为的材料。

叶若夫，为了向联共（布）中央表明他已经及时回应了这些信号，向希基里亚托夫出示了一份“命令”，据称这个命令是由他向内务人民委员部发布的。实际上，他没有发出这样的命令。

在其他情况下，为了掩盖阴谋分子的敌对工作，内务人民委员部的普通工作人员被拉来承担法律责任。

欺骗党和政府

叶若夫自从来到内务人民委员部后，在其参加的所有会议、与执行人员的所有交谈中均公允地批评了存在于契卡各部门中的本位主义和与党隔绝的倾向。他强调要培养工作人员的党性，说他永远不会向党和斯大林隐瞒任何事情。但事实上他无论是在大是大非的问题上还是在鸡毛蒜皮的事情上都在对党进行欺骗。除了让内务人民委员部的诚实的工作人员麻痹大意之外，叶若夫进行这些谈话没有别的目的。

叶若夫本人以及从我开始的他的身后的亲信为他打造了荣誉的光环，说他是优秀者当中的优秀者、机敏者当中的机敏者。叶若夫经常说，如果没有他，国家就会发生政变，由于他的工作和破案，战争得以推迟爆发，等等。他批评和抹黑了政治局的个别委员。他公开地谈论其中的一些人，说他们是不可靠者和动摇分子。通常，在许多下属工作人员在场的情况下，他大肆散布政治局中个别委员与被揭发的、被镇压的阴谋家之间存在紧密联系的流言。他说其中一些人是瞎子，看不到他们周围发生了什么，放过了他们眼皮底下的敌人。他传播这些流言的目的是为了掩盖他对党中央的欺骗和犯罪活动。我前面说过的事实就足够多了，但是我还想举几个例子。

前工农红军情报局局长乌里茨基开始提供白俄罗斯军区司令员*****别洛夫*****的证词后，别洛夫被召到莫斯科，在那里他被要求同乌里茨基进行对质。对质预计在晚上进行，叶若

夫被叫到克里姆林宫斯大林的办公室，过了一会儿他打电话让我去他办公室并说：“应该尽快找到别洛夫并让他来内务人民委员部。”对于我问的他可能在哪的问题，叶若夫抬高了嗓门回答“我不是告诉您派外勤在后面跟踪他吗？”当我试图告诉叶若夫他没有给我任何指示时，叶若夫不听我把话说完就挂了电话。

最后经过核实，并没有对别洛夫进行监控，叶若夫欺骗了中央。

第二个事实，在我离开内务人民委员部之后才意识到。在留希科夫被任命为内务人民委员部远东边疆区负责人期间，叶若夫对中央和斯大林隐瞒了格鲁吉亚内务人民委员部关于留希科夫和其他阴谋者的证词。

在叶若夫的指示下，我通过讯问亚戈达来“核实”这些针对留希科夫的证词。审讯是特意安排的，以使亚戈达不能确认这些针对留希科夫的证词，而留希科夫是他最亲密的人之一。众所周知，留希科夫已经逃往国外。

第三、关于克里姆林宫的阴谋者和恐怖分子（布留哈诺夫、塔博林、卡尔梅科夫、维诺格拉多娃）集团的事实。

我不知道写这些话是否有任何意义，人民委员公民，您是知道的，但我认为仍然有必要告诉您，我在收到关于布留哈诺夫和其他人的证词之后立刻就将其交给了叶若夫，他把这些证词给留了下来，好像说是为了之后向斯大林和莫洛托夫报告。这在当时是有必要的，因为布留哈诺夫是维诺格拉多娃的丈夫，而后者为斯大林和他的秘书处提供服务。但是，据我从远东回来之后所了解到情况，叶若夫向党和政府隐瞒了这些材料长达七个月。

这份自白书并没有穷尽我犯罪活动的全部事实。

在随后的证词中，我将详尽地告诉调查人员我所知道的一切，并且我不会隐瞒我所知的任何一个共产党和苏维埃政权的敌人，并且我将列出所有参与反苏共谋工作的人，无论他们今天是否被捕……

M·弗里诺夫斯基

1939 年 4 月 11 日

在页边空白处有斯大林的手写笔记：

*圈定“罗沙利应该打点好”一词，并在其空白处写道：“这是什么意思？”；

*-*该短语处画了个圈，并在页边空白处写道：“他们是谁？”

**姓氏被圈起来，并在其空白处写道：“他们在哪里？”；

-该短语带有下划线，并在页边空白处写道：“谁在那儿？”；

***该句子带有下划线，并在其空白处写道：“他们是谁？”；

-姓氏被圈起来，并在其空白处写道“他们在哪里？”；

****圈出“8 月 26 日至 27 日被枪决”字样，并在页边空白处标记“xx”。

****-****圈出单词，并在其空白处写着：“其他是什么？”

*****句子被圈了起来，并在其空白处写着：“这是你们商量好的吗？你在撒谎！”

*****-*****姓氏被圈出，在页面末尾写着“你在撒谎！”

106

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于矿井爆炸的特别报告

（1939 年 4 月 14 日）

编号 1055/б

斯大林同志：

为了补充我们 1939 年 3 月 19 日“苏维埃煤矿”托拉斯新 13 号井爆炸案件的调查信息，特向您发送如下被捕者的审讯笔录：

1.巴维尔·费多罗维奇·亚谢涅夫，新 13 号矿井的前通风负责人，以及

2.瓦西里·尼古拉耶维奇·伊万诺夫，同一矿井的前首席机械师。

亚谢涅夫招供说，他于 1934 年被“乌拉尔铜矿”托拉斯的前经理Д·П·费多拉耶夫（已判刑）招募到反苏的右派—托洛茨基组织当中。

在费多拉耶夫的指示下，亚谢涅夫在乌拉尔铜矿的中央矿井组织了多次破坏活动。

在 1936 年因两次破坏活动而被开除后，亚谢涅夫移居顿巴斯并担任“苏维埃煤矿”托拉斯基洛夫矿井的副负责人。

在这里，为了从事敌对工作，他联系了前“苏维埃煤矿”托拉斯管理员С·А·伊万诺夫（已被捕），并根据他的指示再次在基洛夫矿井进行了数次破坏活动。

1938 年 5 月，根据重工业人民委员部的命令，亚谢涅夫因未能完成计划而被第三次解职并调到该托拉斯的第 19/20 号矿井担任科长助理。

然而，即使在这里，亚谢涅夫也因“不胜任工作”在三个月后被辞退。

1938 年 9 月，通过前“苏维埃煤矿”托拉斯总工程师助理С·Е·米哈伊连科（因本案被捕），亚谢涅夫被安排在“苏维埃煤矿”托拉斯新 13 号井担任通风部门主管。

在这个矿井，他联系了破坏组织的成员В·Н·伊万诺夫和К·И·米罗施尼琴科（已被捕），并与他们一起于 1939 年 3 月 19 日制造了爆炸。

В·Н·伊万诺夫的证词显示，他是 1939 年 1 月被“苏维埃煤矿”托拉斯的首席机械师伊万·叶菲莫维奇·普里马科夫（尚未被捕）招募入反苏组织的。

根据普里马科夫，以及后来的前新 13 号井总工程师Л·А·叶恩（已被捕）的指示，伊万诺夫对新 13 号井的技术设备进行了几次破坏。

1939 年 3 月 17 日，普里马科夫指使伊万诺夫制造了一次爆炸，造成人员伤亡。

这次破坏行为的所有直接执行者——米罗施尼琴科、亚谢涅夫和伊万诺夫的证词都与爆炸的组织和执行相吻合。

调查仍在继续。

附：正文

内务人民委员Л·贝利亚

出版时没有附件。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.374.Л.48—50.原稿，机打。

107

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于审讯苏联内务人民委员部保卫处处长И·Я·达金的特别报告①

（1939 年 4 月 20 日）

编号 1123/б

斯大林同志：

在这里，我向您发送 1939 年 4 月 14 日审讯被逮捕的苏联内务人民委员部保卫处处长И·Я·达金的笔录。

苏联内务人民委员Л·П·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.375.Л.1.原稿，机打。出版时没有审讯笔录。

注释：

①И·Я·达金于 1938 年 11 月 5 日被捕，在Н·И·叶若夫被解除内务人民委员一职之前，达金是内务人民委员部中央机构的一名特别接近人民委员的工作人员。在所有被捕的内务人民委员部主要工作人员的证词中，他都似乎是所谓的内务人民委员部阴谋的主要参与者之一。1939 年初，斯大林定期阅读内务人民委员部领导层的审讯记录，或许真的相信国家安全机关有阴谋（见第 33、37 号文件）。在 4 月份对反间谍处处长Н·Г·尼古拉耶夫-朱里德的审讯笔录中，斯大林对弗里诺夫斯基、维辛斯基和乌尔里希同意为叶若夫中毒案立案的说辞很感兴趣。“什么叫商量好了？——斯大林提出。“阴谋家怎么样了？”

达金的职务——保卫处处长——的职位被认为是国家安全总局业务单位中的要害职位之一，斯大林阅读了他关于阴谋的证词。达金与他的前任 К·В·保克尔在Г·Г·亚戈达被捕后也成为了“同谋”。联共（布）中央政治局委员会研究内务人民委员部的工作过程中，安排对政治局委员的人身保护成为一个特别棘手的问题。1940 年 1 月，达金被苏联最高法院军事审判庭判处死刑。由于他参与了大镇压而未被平反。

108

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于Н·И·叶若夫的特别报告附审讯笔录

（1939 年 4 月 27 日）

编号 1268/б

绝密

斯大林同志：

这里发给您 1939 年 4 月 26 日审讯叶若夫的笔录。

审问仍在继续。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

被捕的尼古拉·伊万诺维奇·叶若夫的审讯笔录

（1939 年 4 月 26 日）

Н·И·叶若夫，1895 年生，列宁格勒人，自 1917 年以来一直是联共（布）的前成员。被捕前系水运人民委员。

问题：在上一次审讯中，您招供说，十年来，您一直在从事有利于波兰的间谍活动。但是，您隐瞒了同许多间谍活动的联系。调查员要求您提供关于此事的真实和全面的证词。

回答：必须承认我在向您提供有利于波兰的间谍活动的真实供词的同时，我确实向调查人员隐瞒了我同德国人的间谍联系。

问题：您出于什么目的试图将调查视线从与德国人的间谍活动中转移走？

回答：我不想在调查中显示我与德国人的直接间谍联系，特别是由于我与德国情报机构的合作不仅限于替德国情报机构从事间谍活动，我还组织了反苏阴谋并准备通过针对党和政府领导人的恐怖行为发动政变……

问题：请供述您试图在调查中隐瞒的所有间谍活动联系以及您被招募情况。

回答：我于 1934 年在这样的情形下被招募为德国情报机构的特工：1934 年夏天我被送出国前往维也纳的诺顿教授处治病。

问题：诺顿是谁？

回答：诺顿是一个德国人，由于我不知道的原因从法兰克福迁居到维也纳。他是医学科学领域的领先专家。诺顿不仅是奥地利，而且是其他一些欧洲国家的许多疗养院的共同所有人。来自世界多个国家的患者，包括许多苏联领导人，被送往维也纳，前往诺顿处接受治疗。

问题：到底有谁？

回答：据我所知，诺顿治疗过丘巴尔、加马尔尼克、亚基尔、*魏恩贝尔格*、梅塔利科夫。

问题：谁招募了您？

回答：我是被诺顿的高级助手恩格勒博士招募的，为的是与德国情报机构合作。

问题：不明白，恩格勒博士与德国情报部门的工作有何关系？

回答：要详细回答这个问题，请允许我告诉您关于恩格勒招募我的情况。

问题：说吧。

回答：1934 年 7 月到达维也纳后，我被安置在疗养院一个最舒适的小屋里。

在疗养院住的第三周，我与一位护士发生了亲密关系，她的名字我不记得了。第一天晚上一切顺利，但是在她第二次值班的时候，恩格勒博士出人意料地走进了房间，他撞见了我跟护士之间的淫乱场面，并喊叫说这是丑闻。他立即叫住了护士，她哭着跑出房间，恩格勒开始用蹩脚的俄语向我解释。

他说：“我们在疗养院从未发生过如此丑闻，这不是您的妓院，您败坏了我们疗养院的好名声。这里有来自世界各地的科学家，而您正在做这样的事情。您将不得不离开疗养院，我们将把这个丑陋的事实通知我们的当局。我不能保证这个可耻的事情不会出现在报纸上。”

我开始央求恩格勒不要这样做，并给他钱。恩格勒的火气更大了，并且离开以示抗议。

第二天，我开车去见恩格勒本人，向我的不礼貌，和我企图贿赂他的行为道歉，并说我想和平解决这件事。恩格勒以不容异议的口吻向我建议：“要么您与德国人合作，要么我们让您在新闻界声名狼藉。您选一个吧。”

恩格勒随即告诉我，他非常清楚我是谁，在苏联做什么以及我在党内担任什么职位（当时我是联共（布）中央委员会工业部门的负责人和党的监察委员会副主席）。

我开始感到非常窘迫并意识到，这个护士是事先为我设计好的局。我请求恩格勒容我考虑一下，他同意了。

由于我不急于解决这个问题，所以第二天或第三天的时候，恩格勒亲自走到我面前问道：“好吧，您决定做什么了吗？”我再次试图乞求他行行好，不要制造任何丑闻。他断然拒绝。恩格勒直言不讳地说，今天他将向警察局长报告这个事，明天，在奥地利媒体上将出现有关我的

丑陋行为的消息。“考虑一下吧”——恩格勒继续说，“除了在疗养院的淫乱行为外，您还贿赂我们的员工。”

我决定同意恩格勒的建议。

问题：您对德国情报人员对您的招募过程的供述不足为信。

您被招募的原因只是因为害怕在外国媒体上宣传您与某些女性亲密关系的事实，这是难以理解和匪夷所思的。

请坦率地讲清楚，德国情报部门是怎么招募您的？

回答：那个时候，我才刚刚被提拔从事重要的政治工作，而这次事件的公开宣传会使我在苏联声名狼藉，并有可能导致我日常的腐败行为被揭发。此外，据调查所知，在此之前，我已经与波兰情报部门建立了联系，因此我没有什么可失去的。

问题：您是否承诺为德国人工作？

回答：我必须承诺。恩格勒向我要了一份我与德国情报局合作的简短书面承诺。

问题：所以您做出了书面承诺？

回答：是的。

问题：您有化名吗？

回答：没有。

问题：然后？

回答：在招募手续完成后，我请恩格勒告知我与谁以及如何建立联系。恩格勒回答说，他本人是德国军事情报部门的成员。

用他的话说，他将亲自与我保持联系。

问题：不明白，如果恩格勒住在维也纳，而您在莫斯科，那么恩格勒如何与您保持联系？

回答：事实是，恩格勒打算利用 1932-33 年克里姆林宫医疗处提议用诺顿教授的疗法在苏联组建特殊疗养院的契机，搬到莫斯科工作。

本来应该邀请诺顿的一些助手担任这个疗养院的主任医师。恩格勒告诉我，与他的谈判正在进行，他同意搬到莫斯科。但是，由于莫斯科不接受恩格勒规定的条件，这件事被推迟了。

问题：您刚刚说过，就恩格勒调任莫斯科工作开始了谈判。谁负责这些谈判？

回答：恩格勒告诉我说，他与前任克里姆林宫医疗处处长梅塔利科夫进行了这些谈判。他曾为此事专程来过维也纳。

问题：招募后，恩格勒让您完成了哪些任务？

回答：恩格勒给我的第一个任务是，以最快的速度解决莫斯科对他的邀请问题。我向恩格勒承诺将尽我的力量来加速此事。

问题：您满足了恩格勒的这一要求吗？

回答：抵达莫斯科后，我立即与梅塔利科夫进行了交谈，并建议他将这一问题提交苏联人民委员会审议。

一段时间后，梅塔利科夫告诉我人民委员会拒绝了该提议。然后，我建议梅塔利科夫向联共（布）中央提出这个问题。

联共（布）中央决定不邀请恩格勒去苏联，而是派遣一批苏联医生到诺顿处实习，然后从他们那里选拔专家去担任新建的北欧风格疗养院“巴尔维哈”的首席医生。

这样一来，恩格勒就没能到访莫斯科。

问题：您是否通过恩格勒向德国传递了在苏联是特别受保护的国家机密的某些情报？

回答：在我与维也纳的恩格勒直接接触，然后在巴特加斯泰因（奥地利的放射性矿泉胜地）直接接触期间，他两次来与我联系，我只向恩格勒通报了苏联和红军的概况，他就特别感兴趣。

问题：您的回答避重就轻。调查组只对以下问题感兴趣，您向恩格勒提供了什么样的间谍性质的信息？

回答：在我所记住的事情的范围之内，我告诉了恩格勒有关红军的装备状况和作战能力的所有信息，特别是强调了工农红军作战能力的瓶颈。我告诉恩格勒，红军在炮兵方面十分落后——无论从炮兵的质量还是从炮兵的数量来看——并且明显不如先进的资本主义国家的炮兵。

在谈到苏联的总体经济形势时，我告诉了恩格勒有关集体农庄发展的困难和我国工业化的重大问题，特别是着重提到了新企业建设缓慢的问题。我以斯大林格勒拖拉机厂为例对此进行了说明，在该厂投入生产时，很大一部分有价值的设备就已经出现了故障。就此，我向恩格勒说，苏联工业化的进展令人怀疑。

问题：您说您没有成功安排恩格勒来苏联。返回苏联后，您如何与德国情报机构进行联系？

回答：我已经说明，当时已经决定派遣一组苏联医生到诺顿那里实习。从维也纳返回后，一位在诺顿处的医生以**泰茨**为姓氏代表恩格勒与我建立了间谍联系。

问题：在什么时候以及什么情况下与该医生建立了间谍联系？

回答：大约在 1935 年初。泰茨医生一直在参与对患病的领导人的会诊，所以我在那之前就与他熟识。他代表恩格勒与我建立间谍联系的第一次对话是在我的公寓里进行的，他另一次以检查为借口来到了我的公寓。在照例询问我的健康状况之后，他开始向我介绍他的维也纳之

行。当说到他去了诺顿疗养院的情况时，他告诉我他已经与恩格勒博士熟识，后者要求他向我转达他对我作为老熟人的问候。

在我们关于恩格勒的谈话中，泰茨详细地叙述了我与维也纳的护士发生的事情。我用幽默地语气承认了我的不检点并问他一起去诺顿处实习的医生里还有谁知道这个事情。他向我保证，说除了他和恩格勒外，没人知道这个事，并补充说他知道我和恩格勒之间建立了“良好”的关系。对我来说很清楚，他知道一切，我直接向他提出问题，恩格勒博士通过你传递给我什么样的委托。泰茨告诉我，恩格勒指示他在间谍工作中与我联系，保持这种联系直到不再需要为止，然后通过他将所有恩格勒感兴趣的信息传递出去。

问题：这个泰茨现在在哪里？

回答：他于 1937 年被捕，据我所知，他被枪毙了。

问题：您与他的关系持续了多长时间？

回答：大约在 1935 年全年。

问题：你们的接头地点是哪里？

回答：在需要我发送某些间谍信息的任何情况下，会面都在我的公寓里进行。泰茨以检查我的健康为幌子来找我。

问题：您从泰茨那里领受了哪些间谍任务？

回答：根据泰茨的说法，恩格勒主要对有关红军武器装备的秘密信息以及有关苏联防御能力状况的所有信息感兴趣。那时，我负责联共（布）中央的工业部门，同时我也是党中央监察委员会副主席，并且实际上领导中央监察委员会。

在中央监察委员会当中有一个由H·古比雪夫领导的军事小组，该小组的工作及掌握的材料属于高度机密性质，后来该小组从属于我。中央监察委员会的这个军事小组编写的针对特定部队和武器装备状态或评估的材料只发给国防委员会和我。通常，我会定期将所有这些文件带到我的公寓，在泰茨拜访我时，我会把文件交给他一小段时间，然后他会把文件退给我。

我知道泰茨拍摄下了这些记录的绝大部分并且通过附件的形式发了出去。

问题：他跟您提过这些事情吗？

回答：是的，有一次我问他如何以及在何处发送从我这里收到的信息。泰茨告诉我他已将这些信息以照片的形式发送给德国大使馆的某个人，大使馆已经将这些照片发送给德国情报部门。

问题：他是如何进入德国大使馆的？

回答：除了在克里姆林宫医疗处的主要工作外，泰茨医生还为德国驻莫斯科大使馆的雇员提供服务。

问题：您还记得提供给泰茨的信息的性质吗？

回答：是的，我记得。

问题：要具体地说。

回答：在与泰茨医生接触期间，我交出了大量有关武器、衣服和食物供应、红军的道德和政治状况以及战斗训练的备忘录和参考资料。这些材料对部队、各种武器和军区的状态提供了详尽的数据和基于事实的评定。

同时，我向泰茨提供了有关军用航空整备工作的进展和缺点，有关新式的、更先进的飞机型号入役进程缓慢，有关军用飞机的事故率、飞行人员培训计划和战术的情报。以及能够判定我们生产的飞机发动机和飞机的质量和数量的技术数据。

此外，我还通过泰茨将中央监察委员会关于红军坦克武器状态的数据情报传递给了德国情报部门。我提请德国人注意苏联装甲质量的低下以及将坦克发动机由当时使用的飞机发动机改为柴油发动机的不合理性。

此外，我还向泰茨提供了有关红军服装、食品供应和存储设施领域存在极为严重的缺陷的详细的信息。顺便说一下，关于这些问题，联共（布）中央举行了一次特别会议，我决定提醒德国情报机构对此进行关注。

我传递的材料清楚地说明了军事经济中这一重要部门的情况。通过这些材料清楚地表明，在战争初期，红军将面临严重的困难。

我向泰茨提供了有关红军化学武器、轻武器和工程武器状况的类似材料，此外，还提供了一些由中央监察委员会审查的，用来判定白俄罗斯、列宁格勒、伏尔加河和中亚军区部队战斗训练状态以及政治和道德状态的材料。

问题：您与德国情报部门的进一步合作是如何实现的？

回答：1936 年初，应克里姆林宫医疗处的建议，诺顿被邀请到莫斯科为高级官员做健康咨询，他为此苏联呆了 15 至 20 天。

在接受诺顿健康咨询的众多人员中，我确切记得有加马尔尼克、亚基尔、丘巴尔、彼得罗夫斯基、柯秀尔、魏恩贝尔格和梅塔利科夫。诺顿也给了我咨询建议。

问题：您是否已与诺顿建立间谍活动联系？

回答：是的，我联系了诺顿。

问题：在什么情况下？

回答：为了接受特殊的临床研究，我被送到巴尔维哈，在那里我得到了一个单独的公寓，在那里住了 8-10 天。

这些天当中的某一天，诺顿来到我身边，转达了恩格勒的问候，他说："恩格勒对您的关心很满意，并对他没有来苏联感到非常遗憾。您肯定需要再次出国才能完成治疗过程。"

我告诉诺顿，我很健康，没有发现需要特别进行海外旅行的情况。然后，诺顿向我清楚地表明，德国人需要我出国旅行，与德国情报部门的需求相比，您的愿望无足轻重。

然后，我要求诺顿对我的健康状况作出适当的结论，他后来做了，表明我需要在他的维也纳疗养院接受治疗，并需要在境外咨询更多的专家。以此为据，我被再次决定送往国外接受治疗。

问题：诺顿会说俄语吗？

回答：不会。

问题：您如何向他解释？

回答：我通过我的妻子叶夫根尼亚·所罗门诺夫娜·叶若娃与他进行了交流，她会说德语、英语和法语。

问题：你是否进行了海外旅行？

回答：1936 年夏天，我去了维也纳，再次回到诺顿疗养院。

但是，我无事可做，因为实际上我不再需要任何治疗。我问诺顿我应该怎么做。他建议我去意大利梅拉诺的一个度假胜地。

在去梅拉诺旅行之前，恩格勒说，一个人会在那里与我对话，他是恩格勒本人情报工作的下属。

我到达梅拉诺后 3-4 天，患有糖尿病的德国前贸易代表坎杰拉基也到达了那里。

问题：坎杰拉基来梅拉诺治疗了吗？

回答：梅拉诺是一个用葡萄进行疗养的胜地，当然，葡萄对于坎杰拉基的病来说是需要禁食的。

问题：既然这样，那是什么导致了坎杰拉基的到来？

回答：后来我了解到，就像我来这一样，坎杰拉基来梅拉诺与间谍案有关，我将在下面供述。

问题：继续供述？

回答：在坎杰拉基之后不久，李维诺夫来到梅拉诺，然后是苏联驻意大利全权代表斯坦因，他花了几天的时间后离开了，把自己的汽车留给了李维诺夫。

在我梅拉诺滞留的第五天或第六天时，坎杰拉基告诉我，一位著名的德国将军哈默施泰因在波兰贸易部长的陪同下到达我们的疗养院，我现在不记得波兰贸易部长的姓了。

在哈默施泰因之后，恩格勒也到达了梅拉诺。

一个晚上，李维诺夫来找我，邀请我和他一起去咖啡馆。李维诺夫转向哈默施泰因并用德语跟他交谈——他坐在我们旁边的一张桌子旁，我们与他交换了问候。第二天，恩格勒医生向我介绍了哈默施泰因。

问题：这是怎么发生的？

回答：恩格勒走进我的房间，说："我要对您进行检查。"他立即通知我哈默斯坦将与我见面。

我与哈默施泰因的会面是由恩格勒以我与恩格勒在梅拉诺公园一起散步为幌子安排的。在其中一个凉亭里，我们碰巧遇见了哈默施泰因，恩格勒向我介绍了哈默施泰因，之后我们三个人继续一起走。

哈默施泰因在谈话开始时说："我们非常感谢您为我们提供的所有服务。"他宣布对德国人从我这里得到情报的事情感到满意。但是，哈默施泰因随后说，这完全是胡说！您在苏联所处的地位使我们不能满足于您仅仅向我们传递情报。您还面临着其他政治任务。"

问题："政治"任务是什么？

回答：哈默施泰因知道我已经被选为联共（布）中央书记，他说："您现在不光有可能向我们提供情报，还应该去影响苏联政府的决策"。

然后，哈默施泰因向我通报了德国人在红军高层指挥圈中按他的话来说非常严肃的联系，并向我通报了苏联存在数个军事阴谋团体。

哈默施泰因告诉我，许多杰出的军事工作者对苏联目前的局势不满意，并打算改变苏联的国内和国际政策。

根据哈默施泰因所说，根据现行的政策，苏联政府将不可避免与资本主义国家发生军事冲突，而苏联如果可以做出让步的话，那就会"融入"到欧洲的体系当中，这种情况（军事冲突）就会完全避免。

由于哈默施泰因不说俄语，我通过担任翻译的恩格勒问他，德国领导层与红军高层代表之间的联系有多严肃。

哈默施泰因回答：“您的军队的方方面面的人都与我们有联系。他们的目标是相同的，但显然，他们的观点是不同的，尽管我们有明确的要求，但他们无法彼此同意对方。”

问题：哈默施泰因给您的任务是什么？

回答：哈默施泰因建议我与这些军事圈子里的人联系，首先是与叶戈罗夫联系。他说，他对作为军事阴谋家中最大和最有影响力的人物之一的叶戈罗夫非常了解，他们知道，如果没有德军，没有与德国的有力度的协议，就不可能改变苏联的政治体制，让苏联朝着他们理想的方向前进。

哈默施泰因建议我通过叶戈罗夫掌握所有阴谋事务，并为红军中存在的阴谋集团与德国接近施加影响，同时采取一切措施“团结”他们。哈默施泰因说：“您联共（布）中央书记的职位将为您提供帮助。”

哈默施泰因在此告别，并警告他将再与我会面。

问题：哈默施泰因代表谁与您交谈？

回答：来自德国国防军的圈子。事实是，甚至在希特勒上台之前，就已经有人对哈默施泰因支持德国军队与红军和解的主张有看法。在 1936-1937 年。哈默施泰因被从德国国防军的直接工作中撤职，但由于他在苏联军事工作者中的联系比其他德国将军更多，因此，他被委托从事所谓的“俄国事务”。

问题：您是否与哈默施泰因进一步会面？

回答：是的，我又与哈默施泰因举行了三次会面。在第二次会面中，哈默施泰因想知道 C·M·基洛夫遇刺，以及托洛茨基分子、季诺维也夫分子和右派对联共（布）影响严重程度的详情。

我向他提供了详尽的信息，特别是，我注意到一个事实，即在契卡干部内部存在混乱，而且亚戈达由于基洛夫被杀，立场已动摇。然后哈默施泰因说：***“如果您能担任亚戈达的职务，那将非常好。”***。

我笑了，回答“这不仅仅取决于我”。

我与德国将军的第三次谈话涉及苏联军队的阴谋工作，因为哈默施泰因对民政事务不那么感兴趣。

与哈默施泰因的第四次也是最后一次会面是在一家咖啡馆举行的。

问题：详细说一下与哈默施泰因的最后一次会面。

回答：坎杰拉基建议我去一家经典的德国咖啡馆。我同意。不久，哈默施泰因走进咖啡馆，

坎杰拉基与他打招呼，然后邀请他坐在我们的餐桌旁。

坎杰拉基与哈默施泰因用德语交谈，然后说道："看来您已经认识了将军？"在得到我的肯定回答后，哈默施泰因说，他经常在柏林与坎杰拉基会面，"很高兴您将通过他向我传达所有良好的祝愿。"

在离开之前，哈默施泰因向我告别，并请求"向亚历山大·伊里奇（叶戈罗夫）转达他的问候"。

问题：您如何理解哈默施泰因决定通过坎杰拉基来传达"良好祝愿"？

回答：我意识到像我一样，坎杰拉基与哈默施泰因在间谍工作方面有联系，并且将来将作为我与德国情报界接触的渠道之一，尤其是哈默施泰因离开几天后，坎杰拉基也离开去了柏林，并一段时间内在那里。

坎杰拉基离开后，李维诺夫开始经常来找我，邀请我去散步或去咖啡馆。

有一次，李维诺夫坐在咖啡馆里问我："哈默施泰因给你的印象如何？"我有些尴尬地回答："像是个不笨的人。""是的，"李维诺夫说，"哈默施泰因是德国国防军中最聪明、最有远见的将军之一。德国军人圈子非常看重他，哈默施泰因在那里的军队中享有很大的影响力。"

我记得与李维诺夫的谈话是在我的妻子叶夫根尼亚·所罗门诺夫娜在场的情况下进行的。

跳完狐步舞后，利特维诺夫继续和我进行了一次很奇怪的对话。他说："在这里，我们正在腐化堕落，去餐馆、跳舞，如果苏联知道了这件事，将会掀起一场大风暴。"

对我感到莫名其妙的问题，李维诺夫回答："这里没有什么可怕的，但是，你知道，我们没有文化，我们的政治家们绝对没有任何文化。"

利特维诺夫继续说："所以你遇见了哈默施泰因将军，这相识除了给苏联带来好处外还有什么？如果我们的政治领导人与欧洲政客建立联系，那么与外国关系中的许多尖锐的棱角将被磨平。而您将返回莫斯科，并且您可能已经开始熟悉哈默施泰因。"

与李维诺夫的对话到此结束。不久，我离开梅拉诺前往巴黎，从那里开车去罗马，再乘火车回到维也纳。

问题：这些旅行与您的间谍工作有关吗？

回答：没有。

问题：您是否让您的妻子注意到与哈默施泰因会晤的间谍性质？

回答：不，那时候我没有告诉她，后来我告诉了她与哈默施泰因的关系的性质。

问题：您谈及妻子叶夫根尼亚·所罗门诺夫娜·叶若娃的间谍活动，现在您具体讲一下你自

己如何执行哈默施泰因的任务。

回答：在与哈默施泰因的对话中规定我在后者访问莫斯科期间必须通过叶戈罗夫和坎杰拉基与他建立联系。

回到莫斯科后不久，我邀请叶戈罗夫到我的别墅，为了弄清楚他是否知道我与哈默施泰因的关系，我开始试探，但是由于叶戈罗夫没有说什么具体的话，这次我没有向他透露自己与哈默施泰因的关系。

但是，在 1936 年冬天，叶戈罗夫亲自给我打电话，说他想和我谈谈一件严肃的事情。

在休息日，他来到我的别墅，我们之间进行了第一次对话，在那次对话中，叶戈罗夫告诉我，他已经知道我与哈默施泰因的会面，他本人早就与他会面。

我们的谈话由于我别墅意外有客人到访而中断，这就是我为什么同叶戈罗夫商量好在接下来的几天继续进行谈话的原因。

问题：您又与叶戈罗夫会面了吗？

回答：是的。三四天后，叶戈罗夫再次来找我，这次他详细介绍了在红军中存在一支由一大批军人组成并由他——叶戈罗夫领导的阴谋集团。

叶戈罗夫还让我成为他领导的阴谋集团的一员：布琼尼、德边科、沙波什尼科夫*、卡希林、费季科、外贝加尔军区司令员以及许多其他军事主官，我将继续回忆这些人的姓氏并在想起来之后交代。

然后，叶戈罗夫说，红军中还有另外彼此竞争的集团：托洛茨基派的加马尔尼克、亚基尔和乌波列维奇，以及军官——波拿巴派的图哈切夫斯基。

问题：稍后您再分别详细介绍每个集团的性质和组成人员，现在请供述您与叶戈罗夫围绕哈默施泰因的进一步对话。

回答：在与叶戈罗夫的对话中，我详细地告诉了我与哈默施泰因的所有会晤和谈话，并警告他我已经从哈默施泰因本人那里知道红军中有几个阴谋团体的存在。

我随即向叶戈罗夫传达哈默施泰因向我们布置的主要任务之一——将所有军事阴谋集团统一为一个强大的组织，以更成功地实施反苏阴谋计划。我说过，我会竭尽所能完成哈默施泰因的任务。

叶戈罗夫告诉我说，他也与间谍活动有联系，他是通过德国驻莫斯科大使馆的武官来做这件事的。然后，叶戈罗夫保证让我与科斯特林建立联系，那是在 1936 年。

问题：您是如何与科斯特林联系的？

回答：1936 年底，在我被任命为苏联内务人民委员后不久，叶戈罗夫来到我这，并说科斯特林根据哈默施泰因的指示希望尽快见到我。由于我一直都伴随着警卫，因此我说，有必要以某种方式准备这次会面，以避免不必要的怀疑。于是我决定利用检查列宁格勒高速公路沿线原先属于雅戈达的别墅的机会安排会面。

我跟叶戈罗夫商量好，在我检查别墅那天，他与科斯特林一起出发并在我的别墅附近装作被迫停车，然后我凑巧邀请他们到我那里吃零食。叶戈罗夫同意了我和科斯特林的会面方案。

在约定的日期，叶戈罗夫和科斯特林一起穿着便服，开车去我的别墅，并在附近被迫停车。我装作我偶然看到了车上的叶戈罗夫，我邀请他与科斯特林一起检查我的新别墅。叶戈罗夫和科斯特林表示同意，然后我们前往别墅。

早餐时，我和科斯特林之间进行了以下交谈。科斯特林在自我介绍时说：“我收到了与您亲自交谈并全面了解我们共同任务的指示。”

问题：科斯特林会说俄语吗？

回答：是的，他能说流利的俄语。然后，科斯特林向我传达了这样的信息，我被任命为内务人民委员是创造了一个机会：“将所有对现存制度不满意的人团结起来，通过领导这一运动，我将能够创拥有令人印象深刻的力量”。

科斯特林说：“我们，军队，是这样想的：对我们来说，决定性因素是军事实力。因此，我们认为摆在我们面前的首要任务是为了共同事业的利益而统一军队。为了在决定性时刻按照德国的利益指挥苏联军队，有必要以各种可能的方式加强对红军的影响。”

科斯特林尤其强调需要关注叶戈罗夫集团。他说：“亚历山大·伊里奇是最有价值的人物，对我们有用。他的集团的愿望完全符合德国的利益。”

这就解释了一个事实，即后来在内务人民委员部的实际工作中，我使叶戈罗夫集团避免了一切失败，而且只有在联共（布）中央的干预下，叶戈罗夫和他的集团才得以被揭露。

问题：您与科斯特林的对话到此结束了？

回答：不，科斯特林谈到了内务人民委员部。他说：“总的来说，内务人民委员部必须发挥决定性作用。因此，为了使政变成功并获得执政地位，您需要在内务人民委员部中建立一个广泛容纳志趣相投的人的组织，这些人必须与军队团结在一起。”科斯特林说，这些组织，无论是在军队还是在内务人民委员部中，都应以确保采取统一行动的方式做好准备，以便在战争开始之前夺取政权。

问题：那时候叶戈罗夫在做什么？

回答：叶戈罗夫听了科斯特林的话，并和我一起同意了他的建议。

谈话持续了一个半小时，然后，叶戈罗夫带着科斯特林离开了。

问题：您是否仅通过科斯特林与德国情报机构进行了联系？

回答：不，我还通过坎杰拉基与德国情报机构进行联系。

问题：请详细告诉我们您与坎杰拉基的会面。

回答：1936 年春天，坎杰拉基从德国来到莫斯科，与我见面，他转达了哈默施泰因的问候，并直接与我交谈，他与戈林的德国政府圈子有密切联系，他听到了权威人士的来信。消息来源说，正如他所说，我非常重视与德国人的政治合作，德国统治圈子对我的合作寄予了很大希望。

问题：德国情报部门通过坎杰拉基为您布置了哪些具体任务？

回答：坎杰拉基用他作为苏联驻德贸易代表通过与德国缔结不利于苏联的条约的破坏活动，对我进行了详细的指导。

问题：您没有被问到这一点。不要绕弯子，直接回答：您是否通过坎杰拉基为德国情报机构进行了间谍活动？

回答：是的，坎杰拉基就像是德国情报部门对我的控制纽带。他问我哈默施泰因配给我的任务的进展情况，用他的话说，他回柏林后就把从我那里收到的信息传给了哈默施泰因和戈林。

问题：坎杰拉基向您特别介绍了他与戈林的关系？

回答：在 1936 年底或 1937 年初与我举行的一次会面中，坎杰拉基告诉我他已经通过哈默施泰因与戈林取得了联系。

戈林指示坎杰拉基在抵达苏联后告知苏联政府，说他坎杰拉基设法就向苏联贷款的问题向德国政府施压，而经济部长沙赫特在来自德国工商界的人士的压力下已经准备做出一些让步，并向苏联提供贷款。

坎杰拉基还说，哈默施泰因已向戈林通报了我与德国情报部门的合作，并请我帮助达成苏联与德国之间的贷款协议。

问题：为什么达成本协议需要您的协助？

回答：因为它只符合德国单方面的利益，并且旨在增加苏联对德国战争工业必需的原材料的出口。

问题：为了执行德国人的任务，您做了什么？

回答：我向坎杰拉基保证支持他，并与罗森戈尔茨就缔结此类协议的可取性进行了有效的

商谈。结果，对外贸易人民委员部对该协议表示了积极的看法。

问题：您的间谍工作如何继续推进？

回答：1937 年夏天，在图哈切夫斯基案审理之后，叶戈罗夫代表德国情报部门向我提出将军队和内务人民委员部所有阴谋活动整合起来的问题，这样一来就可以在某些条件下组织夺权的行动而不必等待战争的爆发——就像最开始计划中商定的那样。

叶戈罗夫说，德国人做出这种改变的理由是担心，似乎军队中反苏集团已经开始的溃败还没波及到我们，即还没波及到我和叶戈罗夫。

据叶戈罗夫说，德国人表示愿意就此问题尽快传达我们的具体意见。

在与叶戈罗夫讨论了局势之后，我们得出的结论是，党和群众都在追随联共（布）的领导，而这场政变的基础还没有准备好。因此，我们认为有必要在其他反苏组织的旗帜下清除斯大林或莫洛托夫，以便为我进一步上台创造条件。然后，在我们获得更高的政治地位后，我们将为长远地、进一步地、果断地改造党和苏联政府的政策，以使其符合德国的利益创造条件。

我请叶戈罗夫通过科斯特林向德国人传达我们的观点，并请德国政界就此事发表意见。

问题：您得到了什么答复？

回答：此后不久，叶戈罗夫告诉我，根据科斯特林的说法，德国政界同意我们的提议。

问题：您为实施阴谋计划做了什么？

回答：我决定在内务人民委员部中安排一次阴谋，把人们裹挟进来，我可以通过这些被裹挟的人对党和政府的领导人发动恐怖袭击。

问题：只是在与叶戈罗夫交谈之后，您才决定在内务人民委员部中组建一个阴谋组织？

回答：不是。实际上，情况如下：在与叶戈罗夫进行这次对话之前，就在我被任命为内务人民委员时，我带着与我反革命工作密切相关的一群工作人员来到了内务人民委员部。因此，只有在与哈默施泰因进行谈判并建立与军队阴谋分子的联系的意义上，才能理解我开始组织阴谋的证词，有必要在内务人民委员部内部扩大、强迫（别人加入）、拼凑阴谋组织……

问题：请问把哪些与您有关的反革命人员带到内务人民委员部？

回答：利特温、切萨尔斯基、沙皮罗、茹科夫斯基和雷若夫。

问题：内务人民委员部的哪些老人被您裹挟进反苏联的阴谋？

回答：在担任内务人民委员后的一段时间内，我与内务人民委员部的工作人员拉近了距离，许多人被提拔到重要岗位。无论是亚戈达的人还是北高加索人。

这三个阴谋集团都由我来领导。

问题：说出这些内务人民委员部内阴谋团体的成员的名字。

回答：1.我亲自创建的小组成员是：利特温、切萨尔斯基、沙皮罗、茹科夫斯基和雷若夫；

2.“北高加索人”的阴谋团体包括：弗里诺夫斯基、达金、叶夫多基莫夫（尽管叶夫多基莫夫不是内务人民委员部工作人员，但我将特别详尽地证明他和他的内务人民委员部工作人员集团的情况）；

3.第三组阴谋者由别利斯基*、乌斯宾斯基、茹边科*、雷赫曼、留希科夫*、巴索夫、根金和亚尔采夫*组成。

这些人还在我把他们拉进我的反苏工作之前就已经是以亚戈达、巴利茨基为首的阴谋集团的成员了。

我保护了这些阴谋者干部，并在不同时期让他们参与了在我领导下在内务人民委员部内进行的反苏工作。

我将对每个小组的所有参加者供述详细的证词。

问题：以上所列的人，您有没有让他们熟悉业务？

回答：是的，我在某种程度上告知了每个人有关阴谋组织以及我们追求的目标和目的的事情。总的来说，他们都知道阴谋的存在，并执行了反苏阴谋工作的指示。我让他们每个人都承担起扩大我们组织的任务，让能够无条件执行我们关于反苏工作的所有指示的人们参与进来。

至于叶夫多基莫夫和弗里诺夫斯基，我将阴谋活动的全貌完完整整地告诉了这两个人，他们绝对了解一切内容，包括我与工农红军和德国军方的一些阴谋家的关系。

问题：调查组警告您，关于您提到的每一个被招募者的犯罪情节您将接受专门的讯问，现在请您供述您如何继续与德国情报部门进行沟通？

回答：我继续通过科斯特林与德国情报部门保持联系。

问题：您在哪里同科斯特林接头？

回答：在果戈里林荫道的内务人民委员部的安全屋中***（前巴利茨基的公馆）***。

问题：您和科斯特林接头了几次，这些接头是如何安排的？

回答：我在安全屋与科斯特林举行了两次会面。我们商量好，科斯特林***以“伊万诺夫”的名义***来到了这间公寓。我事先告知公寓的看门人对“伊万诺夫”无阻拦地放行。

问题：看门人知道这个“伊万诺夫”是谁吗？

回答：不，没有人知道我与科斯特林的会面。

问题：请描述科斯特林的体貌特征？

回答：科斯特林的身高高于常人，体型匀称，有着典型的德国面孔，鼻子平整，下巴突出，剃掉络腮胡，留着髭须。

问题：复述与科斯特林对话的内容。

回答：事实上，在与科斯特林举行第二次会晤前不久，联共中央收到了报案，报案揭露了叶戈罗夫的反苏谈话。

对该报案进行专门调查的结果是叶戈罗夫被免职并转而调到高加索军区工作。

叶戈罗夫对自己被解除第一副国防人民委员的职务非常担心，并将这一事实视作他暴露的开始。

在与科斯特林的对话中，我告知他叶戈罗夫被免职，科斯特林建议我不惜一切代价阻止叶戈罗夫暴露。

我还告诉科斯特林，我在苏联内务人民委员部中创建了一个阴谋组织，该组织的颠覆工作进展顺利。科斯特林称赞了我的活动，此后，我们开始就进一步沟通的程序和形式达成共识。

问题：你们达成了什么共识？

回答：科斯特林建议我，在必要的情况下以费季科为我们俩联系的中间人——他也参与了间谍工作，而科斯特林有面见副国防人民委员的正式许可，可以用来去找他（费季科）。

问题：如果您直接与科斯特林保持联系，为什么还需要通过不必要的中间人与之保持联系？您有什么话还没说尽吧？

调查组要求您不要避重就轻并提供真实的供词。

回答：这个提议不是来自我，而是来自科斯特林，这就是原因。我跟科斯特林商量好，我通过叶戈罗夫与他保持联系，只有在特殊情况下，才可以安排与我的直接会面。

这种交流程序是由密谋决定的。

叶戈罗夫去高加索工作后，科斯特林希望用费季科代替叶戈罗夫与我联系，以他的职位，可以无所顾忌地与科斯特林见面，但是由于我甚至不认识费季科，因此我同意原则上，由一个中间人与德国人进行联系，但是我拒绝了将费季科作为人选。

问题：您要指定谁？

回答：我个人没有提名任何人，而是要求给我机会思考和任命合适的人，直到下一次会面为止。

问题：您圈定了谁？

回答：我个人没有圈定任何人。在 1938 年 7 月左右与科斯特林举行的下一次会面中，科

斯特林列举了几个人，他认为通过这些人可以与我联系。

科斯特林建议的联系人包括如下几位：扎哈尔·别连基、茹科夫斯基（我的前副手）和霍兹亚诺夫——水运人民委员部海上管理局局长。

问题：您用哪一个来联系科斯特林？

回答：我将霍兹亚诺夫定为人选。

问题：为什么？

回答：因为我知道别连基是个夸夸其谈、无组织无纪律的人，而茹科夫斯基以前与托洛茨基分子有联系。我更喜欢霍兹亚诺夫，在任何时候我都有机会与他以业务关系的名义在水运人民委员部见面。

问题：您与科斯特林的对话就此结束了吗？

回答：没有，我向科斯特林通报了军队人员进一步被捕的情况，指出我无法阻止这些逮捕，特别是我告知叶戈罗夫被捕，这可能会导致整个阴谋失败。

所有这些情况使科斯特林极为不安。他尖锐地向我提出了一个问题：要么现在必须采取一些措施来夺取政权，要么就一败涂地。

科斯特林再次回到了我们所谓的“短促突击”的旧计划，并要求其迅速实施。

问题：您将就您的邪恶企图被审问，现在请提供关于您和霍兹亚诺夫进行进一步间谍联系的证词。您是否已经与霍兹亚诺夫建立了联系？

回答：是的，我已经与霍兹亚诺夫建立了联系。在我与他的一次例行工作会晤中，在我的水运人民委员部的办公室里，我问霍兹亚诺夫他是否在国外待过。他的回答是肯定的，他说他曾在伦敦为外贸人民委员部工作过，然后在柏林贸易使团工作过。由于霍兹亚诺夫什么也没说，所以我意识到科斯特林尚未告诉他（科斯特林与我的关系）。

几天后，在我要作报告时，霍兹亚诺夫询问了我对他在国外工作感兴趣的原因。在同一次谈话中，霍兹亚诺夫告诉我他奉德国人的指示与我联系。我同意了。

问题：霍兹亚诺夫向您提到科斯特林的名字了吗？

回答：没有，据我所知，当列出别连基、茹科夫斯基和霍兹亚诺夫的名字时，科斯特林说他们通过另一个使馆雇员而不是科斯特林与德国情报部门联系，科斯特林只从事军事情报工作，而列出的人被用于从事一般性的间谍活动。

问题：您是否与科斯特林举行了更多会面？

回答：之后我就再也没有与科斯特林举行直接的会面了，我们之间的沟通都通过霍兹亚诺

夫进行。

问题：霍兹亚诺夫是否知道您正在准备针对党和政府领导人的恐怖活动？

回答：是的，他知道。不仅我自己，而且德国情报部门都向霍兹亚诺夫通报了这一情况，在我们之间建立联系之后的第一次会面中，霍兹亚诺夫向我传达了德国人的指示：不惜一切代价加速实施恐怖活动。

此外，霍兹亚诺夫还给了我从德国情报机构那里获得的指示：鉴于我被解除内务人民委员部的职务和贝利亚就任内务人民委员，德国情报机构认为有必要杀死任何一位政治局委员，以便在内务人民委员部的新领导层里挑拨离间。

与此同时，在内务人民委员部内部开始逮捕我所领导的阴谋的积极参与者，然后我们得出结论，有必要在 1938 年 11 月 7 日组织一次行动。

问题：谁是“我们”？

回答：我——叶若夫、弗里诺夫斯基、达金和叶夫多基莫夫。

问题：应该如何表达您 1938 年 11 月 7 日行动的意思？

回答：政变。

问题：请说清楚，政变的目的是什么？

回答：形势的毫无出路让我感到绝望，使我不得不冒险，只是为了防止我们的阴谋曝光和彻底失败。

我和弗里诺夫斯基、叶夫多基莫夫、达金一起商量好，于 1938 年 11 月 7 日，在阅兵结束，群众游行开始，部队解散时，通过适当的编队在红场上制造“交通拥堵”。我们打算利用游行者的恐慌和混乱，投掷炸弹并杀死一些政府成员。

问题：你们之间的角色是如何分配的？

回答：我——叶若夫、弗里诺夫斯基和叶夫多基莫夫负责组织和领导反政府活动，至于恐怖行为，则将其实际执行交由了达金。我必须申明，我是分别跟他们商量的。

问题：谁应该负责开枪？

回答：达金告诉我，为了这个目的，他训练了博巴申科、扎里佛夫和乌沙耶夫，最后那位是叶夫多基莫夫的秘书、前契卡干部里“北高加索帮”成员，达金所说的他是一名战斗人员，相当有能力实施恐怖行为。

根据 11 月 7 日前夕与达金的商量好的内容，他应该将恐怖袭击的具体计划和直接行凶者告诉我。但是，在 11 月 5 日，达金连同来自保卫处的其他同谋，包括博巴申科和扎里佛夫都

被逮捕。我们所有的计划都崩溃了。在这里我认为有必要指出，当Л·贝利亚在 11 月 5 日向联共（布）中央提出逮捕包括达金、博巴申科和扎里佛夫在内的内务人民委员部保卫处阴谋分子的问题时，我竭尽全力为这些人辩护，企图推迟对他们的逮捕，理由是需要达金和来自保卫处的其他阴谋分子来确保十月革命节庆祝活动期间的秩序。尽管如此，联共（布）中央仍建议逮捕阴谋分子。因此，我们所有的计划都崩溃了。

问题：请注意，调查组将要求您供出所有阴谋家和恐怖分子。您将无法隐瞒这些叛徒中的任何一个。

请回答，在您的阴险计划失败之后，您采取了哪些措施来继续实施恐怖活动？

回答：在 1938 年 11 月的最后几天，我被解除了内务人民委员部的职务。然后我终于明白党不再相信我，而我暴露的时刻也即将到来了。我开始寻找摆脱这种情况的出路，并决定马不停蹄地准备：要么执行德国情报部门的任务，杀死政治局中的一名成员；要么逃往国外并保存我自己的狗命。

问题：您如何实现自己的意图？

回答：现在我决定亲自培训一个有能力实施恐怖行为的人。

问题：为此目的，您拉到了谁？

回答：拉泽布内，曾经的契卡干部，是水运人民委员部港口管理局负责人。

我知道内务人民委员部有拉泽布内参与反苏联工作的证据，因此决定利用这点招募拉泽布内。

在我的水运人民委员部办公室的一次会面中，我告诉拉泽布内，内务人民委员部提供了针对他的令人不安的材料，他不是今天就是明天就会被捕，并且有死亡的危险。

我告诉拉泽布内："您没有出路，您仍然会死，但是通过牺牲自己，您可以拯救一大批人。"在回答拉泽布内相应的问题时，我告诉他可以通过杀死斯大林来挽救国内局势。拉泽布内同意了我的意见。

问题：您与出于什么原因可以与拉泽布内如此坦率地交谈？

回答：总的来说，拉泽布内最近好像已深陷泥潭，处于绝望状态，并且不止一次表达了自杀的念头。因此，他毫不犹豫地接受了我的提议。拉泽布内甚至同意在犯罪现场实施恐怖行为后自杀。

问题：除了拉泽布内，还有谁被你招募做恐怖分子？

解答：除了拉泽布内，我还准备让我的老朋友成为恐怖分子——列宁格勒军区军人服务社

负责人弗拉基米尔·康斯坦丁诺维奇·康斯坦丁诺夫和列宁格勒“明灯”工厂的保卫处处长助理伊万·尼古拉耶维奇·杰缅季耶夫，他们向我表示完全同意根据我的指示实施恐怖活动……

问题：为什么您选择杰缅季耶夫和康斯坦丁诺夫作为恐怖分子？

回答：除了与康斯坦丁诺夫和杰缅季耶夫保持长期的私人友谊外，肉体上的亲密关系也使我与他们联系在一起。正如我在关于调查的声明中已经提到的那样，我与康斯坦丁诺夫和杰缅季耶夫有着不道德的关系，即鸡奸。

问题：关于康斯坦丁诺夫和杰缅季耶夫的招募情况以及您分配给他们的具体任务，您将受到特别讯问。现在告诉我们，您认为您会以何种方式逃到国外？

回答：为了防止我被逮捕，我指示霍兹亚诺夫向德国人提出有关安排我逃亡国外问题。几天后，霍兹亚诺夫告诉我，德国人不同意让我转移到德国，并提出让我留在苏联并继续他们的反苏工作。

问题：好的，您是否同意德国情报部门的指示？

回答：不，我不同意，在不惜一切代价决定出国后，我决定向英国寻求帮助。

问题：英国人跟这个有什么关系？您与英国情报界有联系吗？

回答：参与英国情报工作的不是我，而是我的妻子叶夫根尼亚·所罗门诺夫娜·叶若娃。

问题：您是怎么知道这件事的？

解答：1938 年春，联共（布）中央委员会向我询问了我与克纳尔关系的性质。通过这个事实我得出结论，我在被审查，由此我变得精神紧张并开始酗酒。我的妻子叶夫根尼亚·所罗门诺夫娜·叶若娃不止一次向我询问了酗酒的原因。我坚信她对我的忠诚，最终决定向她敞开心扉，告诉了她我的反苏工作以及与波兰和德国情报部门有联系的事情。

叶夫根尼亚·所罗门诺夫娜·叶若娃告诉我，她也与英国情报机构保持联系，她的前夫格拉冬于 1926 年在英国工作时为英国人从事间谍工作，这使我平静了下来。

问题：格拉冬现在在哪里？

回答：据我所知，1937 年时格拉冬是哈尔科夫一个工厂的建设负责人。

问题：也就是说格拉冬也是英国间谍？

回答：是的，格拉冬——根据叶夫根尼亚·叶若娃的说法，是一位老牌英国间谍，而且正如我上面供述的，她参与了间谍活动，为英国情报部门所用。

问题：叶若娃告诉您有关她与英国情报界的联系吗？

回答：叶若娃告诉我，她与英国外交部的情报部门有联系，她的报告涉及苏联的境况、俄

罗斯知识分子的政治情感等。叶若娃还将我用于间谍活动，因为我与她自由分享了我拥有的所有机密材料。

问题：您在说谎。关于您妻子——E·C·叶若娃与英国情报机构之间的联系，您在 1938 年前就知道了，您不仅知道这一点，而且还与妻子积极合作以为英国人所用。在这方面，您必须在调查组面前老实交代。

直说，叶若娃在从事针对苏联的间谍活动中还与谁联系？

回答：与季娜伊达·格力金娜和米哈伊尔·科尔佐夫联系。

问题：关于叶若娃、格力金娜和科尔佐夫之间的间谍活动性质的问题，调查组将着手调查。现在说明您想如何利用英国情报人员的帮助来安排逃亡海外？

回答：自从我的妻子于 1938 年 12 月去世以来，德国人拒绝将我转移到德国，所以我本人也采取了与英国人建立联系的步骤。

问题：您采取了哪些步骤与英国人建立联系？

回答：我从内务人民委员部的资料当中发现，列宁格勒波罗的海运输公司负责人梅尔尼科夫在间谍活动上与英国情报官有关，后者是列宁格勒港的前任负责人、现在被定罪的伯伦施泰因。

我将这些材料告知了叶夫多基莫夫，并建议他将梅尔尼科夫招募到阴谋组织。

很快，叶夫多基莫夫告诉我，他设法招募了梅尔尼科夫，他同意参加反苏阴谋。

在今年 1 月底或 2 月初，梅尔尼科夫向我提出了申请许可，准许他前往英国工作。

我决定利用这个机会，告诉梅尔尼科夫我所知道的有关他与英国情报官伯伦施泰因的间谍关系的材料。

此外，我决定告诉他，我从叶夫多基莫夫的话中了解到梅尔尼科夫参与了反苏阴谋，并指示其前往英国旅行时应与英国政界联系，并代表我要求协助我将自己转移到英国——考虑到我的妻子 E·C·叶若娃是英国情报人员的份上。

问题：您是否与梅尔尼科夫进行了谈话？

回答：不，谈话没有进行，因为那时党的会议已经开始了。我将梅尔尼科夫的任期推迟到第十八届党代表大会结束之后，因为梅尔尼科夫是其中的代表。

大会之后，我被捕了。

问题：您对梅尔尼科夫的证词尚无定论。您掩盖您与英国情报机构之间的真实联系的企图是徒劳的。

回答：我不打算在调查中隐瞒任何内容。我请您给我一次机会，让我回忆起我在这个问题上所知道的一切，并在下一次审问中提供真实的证词。

问题：调查组认定，是您一手谋划毒杀了您妻子E·C·叶若娃并最终导致她死亡。

您对此认罪吗？

回答：是的，我承认。

问题：您出于什么目的毒害了您的妻子？

解答：我担心她会被捕，并且害怕在调查期间她会招认关于我的阴谋和间谍活动的所有情况。

问题：您是怎么实施这种毒害的？

回答：当我被建议与E·C·叶若娃离婚后，我就预先告诉了她，她感到灰心，并一再表示有自杀意向。我为她安排了一个精神病疗养院，并应她的要求与季娜伊达·格力金娜和全苏实验医学研究所的医生叶卡捷琳娜·戈尔茨联系。

不久，拜访过我妻子的季娜伊达·奥尔忠尼启则给我带来了一封信，信中叶若娃通知我说她已坚决决定采取一切措施了结自己，并请我给她送去安眠药。

问题：您是否满足了叶若娃的要求？

回答：通过我在本供述中提到的杰缅季耶夫，我寄给了她水果、土地神小雕像和大量苯巴比妥，杰缅季耶夫亲自将它们交给了E·C·叶若娃。随后，从她那里收到了给我的便条。

问题：杰缅季耶夫从叶若娃那带给您的答复是什么？

回答：杰缅季耶夫给我带来了叶若娃的便条，她在那对我说再见。

此外，我还通过季娜伊达·奥尔忠尼启则收到了第二封信，信中E·C·叶若娃第二次跟我说再见。

当我收到这封信时，叶若娃已经死了，被我寄给她的大量苯巴比妥毒死了。

问题：因此，造成E·C·叶若娃死亡的直接罪魁祸首就是您？

回答：是的，我对此有负罪感。

问题：调查表明，您继续站在敌人的立场上，表现得很不真诚。体现在如下几点：

1.您对1937年以后与波兰情报部门的联系保持沉默；

2.没有讲清楚您为德国从事的间谍工作；

3.您所交代的参加您间谍和阴谋活动的人，不是死了，就是外国使馆的正式工作人员；

4.您隐瞒与您一起领导叛卖工作即在苏联组织反革命政变的人。

请注意，明天您将在所有这些问题上受到讯问，您必须提供彻底坦白的证词。

审讯中止。

我的供词记录正确，已经通篇阅读完毕。

Н·叶若夫

讯问者：

调查室主任科布罗夫

调查室主任助理施瓦尔茨曼

高级侦查员谢尔吉延科

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.375.Л.122—164.原稿，机打。在空白处有斯大林的笔迹。

*处的姓氏被画圈

*—*处姓氏被画圈，在空白处写道：“工会工作人员？问：1、温伯格=混蛋。2、梅塔利科夫=流氓。3.泰茨医生哪去了？”

—姓氏被画圈，在空白处写道“他在哪？在巴尔维哈？”

—此处有下划线。

109

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于А·Н·巴布林的特别报告附审讯笔录

（1939 年 5 月 5 日）

编号 1513/б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

在此向您发送以下被捕者的讯问笔录：

1.А·Н·巴布林，1939 年 4 月 18 日起被捕，叶若夫的外甥，被捕前系——中央航空发动机研究所的工程师；

2.В·Н·巴布林，1939 年 4 月 17 日起被捕，叶若夫的外甥，被捕前系——Л·М·卡冈诺维奇工业学院学生。

附：正文

苏联内务人民委员Л·贝利亚

被捕的安纳托利·尼古拉耶维奇·巴布林的笔录

（1939 年 4 月 18 日）

А·Н·巴布林，1911 年生于加里宁州，俄罗斯族人，苏联公民，非党员。被捕之前系航空发动机中央研究所的机械工程师。

问题：您因从事反苏活动而被捕，在审问中您说您想证实对您提出的指控。

您打算如何证实？

回答：首先，我想说的是，我的被捕与Н·叶若夫的被捕直接相关。

问题：为什么？

回答：1939 年 4 月 10 日，我在Н·叶若夫的寓所被捕，当时他不在家。我意识到叶若夫也被捕了。由于我与叶若夫的关系是反苏的，所以我想交代我所知道的一切，但在此之前，请允许我详细介绍我与叶若夫的个人关系。

问题：您想交代什么？

回答：我是叶若夫的外甥，叶若夫对我可能比对他的其他亲戚要更好。

1925 年到 1931 年，我住在叶若夫家，并投靠他。当叶若夫搬到新公寓的时候，他把位于涅帕里莫夫巷 1 号 3 室的之前的公寓留给了我。

在 1933-34 年，我的兄弟维克托带着母亲从列宁格勒来找我。

尽管我从 1931-32 年与叶若夫分开居住，但我继续与我的兄弟维克多一起探望他，我们被认为是他家庭中的人。

由于与叶若夫保持着密切的联系，经常在他的公寓和别墅里拜访他，我自然很清楚他的日常生活，甚至在叶若夫的家庭中也注意到了他们的日常生活和道德沦丧。

问题：具体是指什么？

答：叶若夫和他的妻子叶夫根尼娅·所罗门诺芙娜有很多熟人，他们以友好的方式相处，（叶若夫夫妇）随随便便就在家里招待他们。叶若夫家中最常来的客人是：皮达可夫、前苏联国家银行行长——马里亚欣、前国家银行外事处主任——斯瓦尼泽*、前驻英国贸易代表——博戈莫洛夫*、《农民报》的编辑——谢苗·乌里茨基、米哈伊尔·克尔佐夫*、A·B·科萨列夫、雷若夫和他的妻子、季娜伊达·格力金娜和季娜伊达·科里曼。

1936 年至 1937 年间，叶若夫的密友圈子中前内务人民委员部官员的人数扩大了。在这些叶若夫的常客里我记得有——亚戈达*、米罗诺夫、普罗科菲耶夫、阿格拉诺夫、奥斯特洛夫斯基、弗里诺夫斯基、利特温和达金。

叶若夫与这些人的友好关系的基础是经常性的醉酒狂欢，这种狂欢通常发生在他的别墅。

所有这些人在 1937—1938 年间，都被揭露为人民的敌人。

叶若夫妻子与一群，在我看来，淫乱放荡的演员和记者当中的政治可疑分子为伍。

他们非常关注叶若夫的妻子，并经常送给她各种昂贵的礼物。

从我自己的观察中可以确信的所有这些使叶若夫和他的妻子以及他们的家庭在道德上彻底堕落。

1938 年秋天，叶若夫开始表现出可疑的紧张情绪，引起了我的注意。

问题：您基于什么样的事实这么说？

回答：10 月底的一个周末，当我在叶若夫的别墅时，弗里诺夫斯基来找他。当时叶若夫的妻子正在克里米亚度假。大量饮酒后，弗里诺夫斯基和叶若夫单独在一起。正如我的兄弟维克多——他很快也被他们俩撵走了——稍后告诉我的那样，弗里诺夫斯基给叶若夫带来了一份

文件。在看过此文件后，叶若夫开始非常心绪不宁。

弗里诺夫斯基和叶若夫就某件事进行了长时间的私下交谈，第二天，叶若夫通过电话联系了他的妻子，建议她立即返回莫斯科。从那时起，叶若夫的情绪急剧恶化。他开始喝更多的酒，魂不守舍。

几天后的11月初，叶若夫出人意料地在凌晨2点左右将我召唤到他在克里姆林宫的房子。在叶若夫处我碰到了达金，当我进门，他们的谈话中断了，达金立即离开。然后我注意到叶若夫非常沮丧。

那天晚上，叶若夫喝醉了，他说他“被小鬼纠缠”。我之所以这样说，是因为他和我一起坐在饭厅里，以最严肃的方式向我保证，他会在桌子上和房间的墙壁上看到小鬼。

问题：当您来到公寓时，达金和叶若夫谈论了什么？

答：谈话的内容对我来说是未知的，因为当我到达会议室的门口时，达金立即停止与叶若夫交谈。但是从叶若夫的沮丧情绪和神经质中，我了解到这次谈话对他而言异常令人不快。

我脑海中的这个结论之后也得到了加强，因为在接下来的几天里，叶若夫称病并没有去上班，但实际上他很健康，整天都在喝酒。我试图向叶若夫询问他如此沮丧的原因，但他回答我说他有“很多麻烦”，从而避免了就此话题进行进一步讨论。

在十月革命21周年庆典期间，我和我在列宁格勒的亲戚——格奥尔基·伊万诺维奇·基里洛夫在一起——他是基洛夫工厂车库的机械师。回到莫斯科后，我发现叶若夫的心情更加沮丧和消沉。他问我自己的画像是否在11月7日在列宁格勒举行的群众游行中，并想知道是否有谣言说他可能被免去内务人民委员的工作。我从叶若夫那里无法得到“所有这一切为什么会使他感兴趣”的答案，而让我有些茫然。

在11月下半月，叶若夫好几天没有上班，正如他的朋友伊万·杰缅季耶夫*（从1938年10月至12月与他同住）告诉我的那样，叶若夫害怕被捕。

很快，我就同叶若夫的助手——叶菲莫夫有了一次交谈（叶若夫非常信任他）。我相信叶菲莫夫知道了叶若夫行为反常的原因，确实，他告诉我，叶若夫由于内务人民委员部在Л·П·贝利亚到任之后将与他亲近的达金、沙皮罗等其他内务人民委员部高级官员逮捕的事情而感到不安。

叶若夫的紧张情绪越来越强烈，我也注意到他行为中某些明显表露出多疑的时刻。

问题：您注意到了什么？

答：晚上，叶若夫打开窗户，让公寓里有穿堂风，然后洗热水澡，穿着内裤站在窗户旁边。

我意识到他想感冒生病。对于我的问题——他为什么要这样做，叶若夫没有给出直接回答，他说："别的病人都有人照顾，而我这什么也做不了。"

11 月 23 日晚上，叶若夫将我和我的兄弟维克多和谢尔盖·巴布林召集到他的别墅。我们没有在别墅里找到他，他的母亲告诉我们说，叶若夫的妻子被毒死了，今天举行她的葬礼。

叶若夫与杰缅季耶夫于深夜从城市回来，他们在晚饭时喝得很醉。第二天，维克多·巴布林告诉我，当他问叶夫根尼娅·所罗门诺芙娜自杀的原因是什么时，叶若夫回答说："热尼娅做得很好，因为是服毒而死，否则她的下场会更惨。"

自那时候，也就是 11 月末开始，应叶若夫的要求，我和我的兄弟维克多几乎一直都跟他在一起。

问题：接下来发生了什么？

回答：在 11 月底，用他的话说，按照联共（布）中央委员会的决定，叶若夫被免去了内务人民委员的职务，此后他终于下台了——他开始大量喝酒和淫乱，他一直和伊万·杰缅季耶夫一起喝酒，并和他聊了很久，但实际上他们在说什么，我不知道，因为那时我没有进过他们的房间。

叶若夫因内务人民委员被解职而深感沮丧，在我在场的情况下，他一再用污秽的街头脏话辱骂和谴责И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫。

我仍然记得这个事实。1939 年 1 月，叶若夫因在水运人民委员部的工作不力而遭到人民委员会批评时，他用辱骂莫洛托夫作为回敬。

1938 年 12 月，当成立一个委员会负责移交内务人民委员部的工作时，叶若夫有预谋地避免参加该委员会的工作，并致电中央委员会和Л·П·贝利亚说他病了，因此不能移交工作。实际上，他身体完全健康，在他每一次需要去参加委员会会议时他都会发脾气，出口成脏，迟迟不肯出门，最后赖在家里不走，而由此空出的所有时间他都用来酗酒和和同各种水性杨花的女人淫乱放荡。

问题：您怎么知道的？

答：在我这里，我从外贸人民委员部某个雇员那里听说，某个塔吉扬娜·彼得洛娃多次来到叶若夫的别墅，通常和他过夜。

另外，正如他表现的那样，叶若夫向我提出了一个要求，"给他带女孩过来"，然后我又把我认识的女人带了过来，他便与那些女人同居。

问题：您给叶若夫带了什么样的女人？

回答：在新年夜，我把我的朋友瓦莲金娜·莎莉科娃，奥尔忠尼启则机床厂的女工，带到了叶若夫的别墅。叶若夫与她开怀畅饮，然后莎莉科娃跟他一起过夜。在二月底，我邀请水运人民委员部工作人员叶卡捷琳娜·谢切娃到叶若夫的别墅，而叶若夫把她带到了克里姆林宫的公寓。

特别是当叶若夫没有在莫斯科州的党的会议上当选党的18大代表时，他对党和政府领导人的愤怒情绪大大增强。

叶若夫继续对工作浑水摸鱼，经常几天不在水运人民委员部露面，在房间里踱来踱去，喝酒并用污秽不堪的脏话辱骂И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和联共（布）中央政治局。

代表大会的第一天，叶若夫参加了会议，然后他就不再参会，而且，正如我所注意到的，他对被捕的恐惧加剧了。

这种情况一直持续到最后几天，尽管叶若夫没有直接告诉我，但我意识到他害怕对某些严重罪行负责。

问题：对什么样的罪行负责？您所知道的绝对比您所交代的要多。请您彻底坦白交代。

回答：叶若夫从来没有坦率地和我说话，我也不知道他的罪行到底是什么。但是从对叶若夫的观察和同他的交谈当中，我清楚地知道这些罪行与他在内务人民委员部的工作有关，而且叶若夫与被捕的人民委员部当中的人民的敌人存在着某种犯罪的联系。

此外，我注意到了叶若夫和杰缅季耶夫之间的对话，尽管只是零碎的对话，然后后者于1938年12月离开列宁格勒。

问题：叶若夫和杰缅季耶夫谈论了什么？

回答：离开前，杰缅季耶夫在克里姆林宫的叶若夫的公寓里，对叶若夫说再见，他告诉叶若夫：“别担心，科里亚，不要忘记我的命运取决于你，我们会给他们颜色看的。”

叶若夫什么都没有回答，杰缅季耶夫离开了车站。

问题：您正在隐瞒自己的阴谋活动和您所知的叶若夫的罪行。我们将对此进行进一步的讯问，但您考虑一下，您隐瞒那些已经通过调查而被揭露的事实是否值得？

审讯中止。

我的供词记录正确，已经通篇阅读完毕。

巴布林

审讯人：

苏联内务人民委员部调查室主任助理、国家安全大尉弗洛德济米尔斯基

苏联内务人民委员部调查室高级侦查员、国家安全中尉涅姆利赫尔

在第一页有斯大林的笔迹：“谁是叶若夫的这个朋友？伊万·杰缅季耶夫？”

*处姓氏被画圈

*—*处被加下划线，在空白处有笔迹：“他在哪？”

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.375.Л.61—70.原稿，机打。

110

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于矿井爆炸的特别报告

（1939 年 5 月 11 日）

编号 1431/б

绝密

联共（布）中央委员会

斯大林同志：

我们向您发送以下人员的证词作为我们 1939 年 3 月 19 日“苏维埃煤矿”托拉斯新 13 号井爆炸案信息的补充。

米哈伊尔·萨维奇·瓦西里奇科夫，前“苏维埃煤矿”托拉斯技术处处长。

亚历山大·谢尔盖耶维奇·日洛夫，该托拉斯前总工程师。

列昂尼德·阿列克谢耶维奇·叶恩，新 13 号井的前总工程师、该托拉斯施密特矿井基建负责人。

1.瓦西里奇科夫供述说早在 1925 年他就被其岳父招募进反苏组织“矿井人”，他的岳父是俄化了的德意志人，现任斯大林诺工业学院教授——埃曼纽尔·费多罗维奇·梅勒。

在反苏破坏组织“矿井人”的指示下，瓦西里奇科夫在顿巴斯的矿区进行了多次破坏行动。

1938 年，瓦西里奇科夫调到“苏维埃煤矿”托拉斯工作，在那里他与托拉斯的副总工程师米哈伊连科、总工程师日洛夫和托拉斯的首席技师И·Е·普里马科夫建立了反苏联系。

1939 年 1 月，瓦西里奇科夫希望扩大自己的反苏关系以在“苏维埃煤矿”托拉斯开展破坏活动，因此他与梅勒重新建立了联系。从梅勒那里，瓦西里奇科夫了解到，梅勒又与德国情报机构有联系。瓦西里奇科夫奉梅勒之命在新 13 号井制造一次破坏活动以造成人员伤亡，而这次破坏活动恰逢联共（布）18 大召开期间。

瓦西里奇科夫将这个任务交给了日洛夫、米哈伊连科和普里马科夫。

为了进行破坏活动，在新 13 号井工作的反苏组织成员（矿井首席技师伊万诺夫和副总工程师米罗施尼琴科），通过米哈伊连科和普里马科夫领受了任务——通过破坏通风口和设备，让新 13 号矿井陷入紧急状态，这样以后就可以用客观原因来解释爆炸了。

1939 年 3 月 17 日瓦西里奇科夫通过普里马科夫将 3 月 19 日制造爆炸的任务交给了伊万

诺夫。

2.日洛夫供述说，他于 1938 年地被米哈伊连科招募进反苏组织；他与米哈伊连科和瓦西里奇科夫在新 13 号井制造了一系列破坏活动，使该井陷入到紧急状态。

关于爆炸的准备和实施，日洛夫和瓦西里奇科夫的证词完全重合。

3.叶恩承认，他是一个存在于新 13 号井的反苏组织的成员，米哈伊连科也参与其中。

在米哈伊连科的指示下，他与米罗施尼琴科和亚谢涅夫一起在矿山进行了破坏活动，破坏了煤炭开采计划。因此，瓦西里奇科夫、日洛夫和叶恩的证词就与先前发送给您的米罗施尼琴科、米哈伊连科、亚谢涅夫和伊万诺夫的证词相吻合。

调查充分证实了以下人等参与制造了新 13 号井的爆炸。

1.*费多尔·吉洪诺维奇·波杜布内*，“苏维埃煤矿”托拉斯新 13 号矿助理段长（米哈伊连科、亚谢涅夫和伊万诺夫的证词揭发其实施了爆炸）；

2.*伊万·叶菲莫维奇·普里马科夫*——“苏维埃煤矿”托拉斯代理总技师（由瓦西里奇科夫、伊万诺夫和日洛夫的证词所揭发）。

苏联内务人民委员部认为有必要逮捕这些人。

至于*埃曼纽尔·费多罗维奇·梅勒*，斯大林诺工业学院教授，他的相关材料仍在核实中。

请您指示。

附：正文

苏联内务人民委员、国家安全一级政委Л·贝利亚

在第一页上有批示：“贝利亚同志：同意逮捕波杜布内、普里马科夫，还有梅勒。斯大林”还有笔迹：“已于 39 年 5 月 13 日签发了逮捕令。贝利亚”

*—*处姓氏下有两条下划线。

*有 x 号，在文末有笔迹：“发给贝利亚第 181 号。39 年 5 月 13 日”

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.333.Л.194—197.原稿，机打。出版时没有附件。

111

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于А·М·塔马林的特别报告附审讯笔录

（1939 年 5 月 23 日）

编号 1677/б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

在此向您发送 1939 年 5 月 20 日至 21 日审问被捕的前苏联驻波兰和伊朗贸易代表安东·莫伊谢耶维奇·塔马林的笔录。

А·М·塔马林在被捕之前是教育人民委员部文学博物馆副馆长。

附：正文

苏联内务人民委员

贝利亚

安东·莫伊谢耶维奇·塔马林的笔录

（1939 年 5 月 20 至 21 日）

А·М·塔马林，1884 年出生，犹太人，苏联公民。从 1904 年起到在教育人民委员部文学博物馆副馆长位置上被捕止为联共（布）党员（至 1938 年，苏联驻波斯贸易代表）。

问题：在过去的审讯中，您给了调查组确保有足够的材料揭露您反苏间谍活动的机会。您是否打算如实地供述自己罪行并供出同伙？

回答：我准备详尽地证明对我提出的指控的是非曲直。

问题：您想证明什么？

回答：1934 年，我出卖了自己的祖国，成为波兰情报局的特工。受该情报部门的指使，我进行了间谍工作。

问题：您的反苏破坏活动仅限于间谍活动吗？

回答：不，我的活动已经超越了间谍活动本身，我加入了外贸人民委员部系统的右派—托

洛茨基组织，并受该组织指使从事颠覆工作。

问题：您显然是受波兰情报部门指使加入了右派—托洛茨基组织吗？

回答：不，我是 1935 年由前外贸人民委员罗森戈尔茨招募进反苏右派—托洛茨基组织的。

但是，我必须承认，由于与间谍活动的联系，我完全同意了罗森戈尔茨招募我加入该组织的建议。

问题：让我们从间谍工作开始。告诉我，您是何时、由谁招募为波兰情报人员的？

回答：1934 年秋天，我被波兰情报部门的代表朱利安·布里杰维奇招募从事间谍工作。

问题：谁是布里杰维奇？您如何认识他？

回答：朱利安·布里杰维奇是华沙波兰—苏联商会的主席，也是波兰冶金公司的代表。

我与朱利安·布里杰维奇相识于 1933 年，彼时我正以外贸人民委员部代表团成员的身份访问波兰。

他与波兰工业和贸易部的其他代表一起，在我们访问波兰时陪同，而我们此行的目的是为了结识波兰工业界。

问题：他是如何让您参与间谍活动的？

回答：1934 年 5 月，我被任命为苏联驻波兰贸易代表，并抵达华沙。在这里，我再次遇到了布里杰维奇。

最初，我们的会议是纯粹的正式会议，因此我不得不以对待波兰冶金公司的代表和波兰—苏联商会的代表的方式与他打交道。

后来，我们之间建立起了良好的私人关系。

这导致我与布里杰维奇不仅在贸易代表处的正式场合中，而且开始在他的公寓或咖啡馆里见面。

布里杰维奇在业务方面为我提供了许多非正式服务。这包括以下事实：他向我介绍了波兰冶金公司同意履行苏联金属订单的价格，关于增加苏联向波兰出口毛皮和其他商品的可能性，而波兰政府对这些商品的进口有限制。

在布里杰维奇的协助下，我获得了波兰贸易部可以将上述商品出口到波兰的额外许可。

反过来，布里杰维奇对与我们与波兰的贸易有关的一些信息感兴趣。这些信息不具备秘密性质，我认为自己有义务出于互惠的原则将这些信息传达给布里杰维奇。

问题：你们在谈论什么信息？

回答：布里杰维奇对我们向冶金公司增加定单的可能性很感兴趣，他是其中的代表。

出于希望对布里杰维奇表达善意的动机，我通过电话联系了外贸人民委员部，并给了他准确的信息。

问题：我们对业务不感兴趣，但对您与布里杰维奇的间谍活动联系感兴趣。

回答：刚开始，我向布里杰维奇提供了有关上述问题的一些信息，但是布里杰维奇开始对事关波兰的冶金公司的利益的秘密信息感兴趣。

我不想破坏与布里杰维奇的良好业务关系和私人关系，我认为可以向他告知一些事情，但是布里杰维奇对此不满意，并开始要求我提供更多信息。

问题：什么信息？

回答：布里杰维奇要求我提供属于国家秘密的信息。我不得不告知他关于我们与波兰进行贸易的进出口计划、有关外贸人民委员部计划在波兰市场上出售我们产品的最高价格等信息。

我看得出来，这些信息对波兰政府来说很感兴趣，而且我明白了，布里杰维奇并不是出于私人的主动性，而是按照波兰情报部门的指示行事。

问题：直接告诉我，您是如何得知布里杰维奇是波兰情报人员的？

回答：我重申，布里杰维奇要求我提供的信息使我对此深信不疑。

这些信息超出了冶金公司的利益范畴，并且无疑具有重要的情报价值。

问题：您不要逃避直接的回答并告诉我们，布里杰维奇什么时候告诉您他是波兰情报机构的代表？

回答：布里杰维奇从未告诉过我关于这方面的事情，但是基于上述事实，我了解到他正在执行波兰情报部门的任务。

问题：毫无疑问，您是从布里杰维奇本人那里知道的，并受到他的直接指示为波兰的情报部门效力。

回答：我确定布里杰维奇并未与我进行有关间谍活动的直接谈话，但是我知道我正在执行他的间谍任务，并且由于担心被揭发，我一直从事这项工作直到 1936 年底我离开波兰。

问题：您之前承认，作为苏联在波兰的贸易代表，您不仅从事间谍活动，还作为被罗森戈尔茨招募进来的右派—托洛茨基组织的成员从事颠覆活动。

告诉我们，罗森戈尔茨在什么情况下让您参与该组织。

答：1934 年到达波兰工作后，我熟悉了贸易代表团的工作，并深信在有利于苏联的条件下，我们与波兰的贸易额可以大大增加。

尽管我们可以在波兰市场上以比其他国家（例如德国）更高的价格出售许多商品，但我们

对波兰的出口显然被低估了。

对我们来说，在波兰购买一些进口商品也更有利可图。

我曾多次向到访波兰的苏联进出口协会的主席以及直接向外贸人民委员部求助，指出有必要通过减少与德国和其他国家的贸易额来扩大与波兰的进出口业务，在这里我们为进口多付钱，而为出口少付钱。

但是，情况仍未有所改变，针对我向外贸人民委员部的正式请求，我收到了有关进出口计划已经确定的答复，该计划必须被执行。

在 1934 年秋天，我亲自向罗森戈尔茨提出了这个问题。为此，他告诉我，与波兰和其他国家的现有贸易规则是由贸易和政治因素决定的，并建议我坚决地执行进出口计划。

问题：您是否同意罗森戈尔茨的这些指示？

答：我对罗森戈尔茨的解释不满意，因为我认为坚持不利于苏联贸易利益的进出口计划是不合适的。

问题：您做了什么？

答：我被迫执行这些罗森戈尔茨的规定。1935 年夏天，当罗森戈尔茨在前往一个外国度假胜地的途中在华沙过境停留时，我再次向他提出了我们与波兰的贸易计划有偏差的问题，并认为有必要扩大贸易范围。但是，罗森戈尔茨顽固不化地向我重复了他以前的原则，即现有的外贸人民委员部的进出口计划是由“贸易和政治的考虑”决定的。

问题：他说的是什么样的“贸易和政治考虑”？

答：对于我要求详细介绍上述考虑事项的请求，罗森戈尔茨回答说，从度假胜地返回后，他将去柏林，在那里他会打电话给我，在那里他将与我详细讨论这些问题。

问题：罗森戈尔茨叫您去柏林吗？

答：是的，两三个月后的 1935 年秋天，我接到了罗森戈尔茨从柏林打来的电话。

当我到达柏林时，罗森戈尔茨邀请我去他住的公寓，我继续跟他说有关我们在波兰的贸易业务的信息。在听完我的话之后，罗森戈尔茨开始证明我的关于扩大与波兰贸易的必要性的观点是不正确的，并以各种可能的方式强调了与德国贸易的优势。

罗森戈尔茨表示，对于苏联而言跟诸如德国这样的大国发展外贸比同小国发展零散的进出口贸易要更加有利可图。因为尽管许多商品的价格存在一定差异，但最终，我们会受益于营业额的加速增长和货款的更快接收。

对话结束时，罗森戈尔茨邀请我第二天去拜访他。

问题：您又与罗森戈尔茨会面了吗？

回答：是的，第二天我去拜访了罗森戈尔茨，并与他进行了详细的交谈，在这次，他让我参加在外贸人民委员部活动的右派—托洛茨基组织。

问题：详细描述与罗森戈尔茨的对话的内容。

回答：罗森戈尔茨从苏联对外贸易中的困难开始了谈话。他指出，我们在欧洲市场中的对外贸易份额正在下降，这降低了苏联贸易—政治的重要性，使我们与个别国家的贸易往来变得越来越困难。

罗森戈尔茨用联共（布）中央的政策错误——主要是我国经济发展方面的政策错误来解释这种现象。

问题：怎讲？

回答：罗森戈尔茨说，党在我国工业化和集体化领域的政策没有让自己认为其正确的理由。他认为，集体经济形式不能为我国提供足够的工业和出口原料。

罗森戈尔茨总结说："因此，党所承载的工业化速率显然是不现实的，因为在现有的农业商品基础上，我们的工业无法提供足够数量的产品用于国内消费和外贸，这造成了国内对党的政策极为不满。"

罗森戈尔茨表示，苏联的许多党的领导人和工人都认同这一观点，他作为外贸人民委员部负责人，正在与外国建立贸易关系的特殊路线。

问题：您对罗森戈尔茨的提议有何反应？

回答：我同意。

问题：如何解释罗森戈尔茨在与您第一次对话中就表现出的这种坦率？

回答：我必须说，早在 1933-1934 年，当我在外贸人民委员部绩效考核部门工作时，我曾在我国的工业化和集体化问题上出现过反苏右派的动摇，罗森戈尔茨显然知道这一点。

问题：他怎么知道的？

回答：事实是，我与罗森戈尔茨的副手——谢尔盖·基里洛维奇·苏金和外贸人民委员部的组织部门负责人基诺维·马尔科维奇·达维多夫分享了我的右派观点。苏金部分同意我的观点，而达维多夫在工业化和集体化率问题上表达了右派的观点。

从以上与罗森戈尔茨的对话中我了解到，他知道我的反苏情绪，这使他有理由将我招募到右派—托洛茨基组织。

问题：您从罗森戈尔茨那收到了哪些有关敌对工作的指示？

回答：罗森戈尔茨告诉我，作为反苏组织的成员，我的任务是坚决执行他的指示，以最大程度地削减苏联与波兰之间的贸易额。罗森戈尔茨还告诉我，在他的外贸人民委员部的颠覆工作中，他依靠许多外贸人民委员部的官员来执行他的所有指示。

问题：罗森戈尔茨向您提到了外贸人民委员部中的哪些右派—托洛茨基组织的成员？

回答：罗森戈尔茨没有使用“组织成员”一词。他说，外贸人民委员部的许多官员是他的“近卫军”，他正通过他们追求符合组织利益的“贸易和政治路线”。在这些人中，他提到了他的副手苏金、“木材出口公司”董事长克拉耶夫斯基、“联盟工业出口公司”董事长卡尔马诺夫斯基、“谷物出口公司”董事长基辛、“技术出口公司”董事长波利舒克、“石油出口公司”董事长申德尔、“联盟工业出口公司”职员加里波夫和“联盟金属进口公司”董事长罗佐夫。

问题：您本人与上述提到的反苏组织成员当中的哪个人一起从事敌对工作？

回答：1935 年底，我在莫斯科出差时，与苏金建立了反苏联系。

问题：然后呢？

回答：从罗森戈尔茨的话中我得知苏金是我们组织的一员，我向他详细介绍了 1935 年秋天在柏林与罗森戈尔茨的交谈以及我从他那里收到的有关破坏工作的指示。

问题：为什么需要向苏金公开这些东西？

回答：正如我已经表明的那样，在 1933-1934 年，我与苏金分享了我的反苏右派观点，然后从他那里得到了一些支持。另一方面，我了解到通过执行罗森戈尔茨针对波兰的破坏工作指示，我有暴露自己的危险，并且我想核对罗森戈尔茨关于苏金参与组织的信息的正确性，更何况我的破坏活动无疑暴露在了他面前。我以为，即使苏金不是该组织的成员，他也不会背叛我，并且如果罗森戈尔茨的信息正确，那么与苏金的直接沟通将加强我的地位。事情就是这样。

苏金确认他与我们的反苏联组织有从属关系，并说他充分意识到罗森戈尔茨的安排是有破坏性的。

随后，我与苏金保持反苏联系，直到 1935 年 11 月离开前往伊朗工作。

问题：除了苏金之外，您还与组织的哪些成员联系？

回答：在我通过和罗森戈尔茨谈话所知道的右派—托洛茨基组织的成员中，我仅与外贸人民委员部的苏金联系，此外，我试图招募综合出口公司董事长基诺维·马尔科维奇·达维多夫到我们的组织。

问题：您招募了他吗？

回答：不，因为当我尝试招募达维多夫时，他让我明白他已经是我们组织的成员。

还是在1933-1934年我向达维多夫分享我的反苏右派情绪时他就已经是组织成员了，后来，我在莫斯科外贸人民委员部和他的公寓中与他会面的时候，我向他详细介绍了我与罗森戈尔茨在1935年秋天在柏林的谈话。

听完我的话，达维多夫说对他来说这不是什么新闻，通过与他的进一步交谈，我了解到他已经在综合出口公司从事破坏活动。

问题：现在请供述您在波兰敌对工作的证词。

回答：根据罗森戈尔茨的指示，我进行了旨在削减苏联与波兰之间贸易额的工作。具体来说，就是减少了在波兰的钢铁和金属产品的采购，尽管德国工业品价格上涨，但我们组织仍然将订单转移到德国。

在1935-1936年，尽管波兰坚持要向其出售大量锰矿石，并愿意提供更高的价格，我们还是增加了对德国而不是对波兰的锰矿出口。

我参与皮草原料的销售也造成了同样的情况，波兰为此提供的价格高于欧洲市场上的价格。但是，我们的皮草原料主要销往德国和其他国家，这使得波兰的皮草公司经常从德国购买我们的皮草。

这种贸易政策导致苏联和波兰之间的关系恶化，并导致其与德国的关系变得和睦。

问题：贸易代表团当中是否还有其他工作人员参与了破坏活动？

回答：我的副手安·安索维奇·布隆伯格帮助我贯彻了罗森戈尔茨的破坏指示。

问题：他到底做了多少贡献？您是否以右派—托洛茨基组织成员的身份与他建立联系？

回答：作为组织的成员，我没有与布隆博格进行直接对话，但是他在罗森戈尔茨的指导下积极协助我完成了敌对工作。

问题：您在不知道布隆博格是否是你们组织成员的情况下，如何能拉拢他工作？

回答：早在1934年，当我被任命为波兰贸易代表时，罗森戈尔茨就向我推荐了布隆博格，使之成为贸易代表团工作人员中我可以依靠的最佳人选。

在被罗森戈尔茨招募之后，我意识到布隆博格是我们的人，尽管罗森戈尔茨没有直接告诉我有关他的任何信息。我的假设在以后的1935年底或1936年初在以下事情中得到确认：

直到1935年底前，我们都以非常优惠的条件将桶形铆钉出售给了但泽的“所聂伯格”公司。1936年初，布隆博格按照“出口”的命令，停止向该公司出售铆钉。

1936年，在莫斯科出差时，我与罗森戈尔茨就此问题进行了交谈，他告诉我，在“木材出口公司”董事长克拉耶夫斯基的指示下，布隆博格制止了铆钉交易。

因为我从罗森戈尔茨的话中得知克拉耶夫斯基参与了我们的组织，所以我了解到布隆博格是通过敌对工作与他联系在一起的。因此，我毫不犹豫地让布隆博格参与了罗森戈尔茨的破坏指令的实施。

问题：您为什么被从波兰的工作中召回？

答：关于我被任命为伊朗贸易代表的问题，我必须说，在 1935-1936 年，我反复向罗森戈尔茨提出将我从波兰的工作中召回的问题。这可以解释为我想终止与布里杰维奇的间谍联系，这个联系让我感到负担很重。

我按照上述指示在波兰进行了破坏活动，直到 1935 年 10 月底我被召回莫斯科。

问题：您是否将为波兰情报机构效力的间谍工作告知了罗森戈尔茨？

答：不，我没有向罗森戈尔茨透露我的间谍工作，刺激我离开波兰的愿望的原因我想摆脱在国外的工作，而长期渴望担任贸易代表职务的布隆博格副代表可以完全替代我的工作。

问题：如果您已经在组织上与罗森戈尔茨建立联系，那我们不明白为什么您必须对他隐瞒自己的间谍活动？

回答：我希望离开波兰后，我能够与波兰情报部门切断间谍联系，并逐渐摆脱破坏活动，因为暴露和逮捕的威胁越来越现实地摆在我面前。

问题：您是说离开波兰后就停止了间谍和破坏活动吗？

回答：我有这样的意图，但实际上却事与愿违。

问题：怎么个事与愿违？

回答：1935 年 10 月，罗森戈尔茨把我从波兰召回到苏联，并宣布我被任命为驻伊朗贸易代表。这项任命不适合我，因为从 1928 年到 1930 年我已经在伊朗担任贸易代表，但是罗森戈尔茨说，我被选派担任伊朗贸易代表的职位正是因为我之前曾在伊朗工作过，并且了解当地情况。结果，我被迫同意罗森戈尔茨的建议，然后他告诉了我被任命到伊朗的真正原因。

问题：罗森戈尔茨告诉了您什么动机？

回答：罗森戈尔茨告诉我，他召回了伊朗贸易代表绍斯塔克，因为他已经在伊朗呆了 4 年，此外，出于其他考虑，他必须被替换。罗森戈尔茨并没有告诉我确切的考虑因素，我也没有问。

1936 年 11 月 8 日或 9 日，罗森戈尔茨通知我，先前给绍斯塔克签发的离开苏联的护照已经收回，我将不得不独自出发并从贸易副代表萨多夫斯基手中接受贸易代表团工作。

在这种情况下，我了解到绍斯塔克是我们组织的成员，并且由于明显的失败，罗森戈尔茨

决定将我送到他的位置上。

确实，在我离开伊朗之前，罗森戈尔茨给了我有关破坏活动和颠覆工作的直接指示。

问题：罗森戈尔茨的敌对指示是什么？

回答：在1935年11月上旬与我的对话中，罗森戈尔茨让我回忆了1935年在柏林与他的对话，并问："你还记得我们在柏林的对话吗？"我说当然记得，然后他就跟我说了一些1935年把我招募进右派—托洛茨基组织时没有说的话。

问题：这些话到底是什么？

回答：罗森戈尔茨说，联共（布）中央委员会和苏联政府的错误政策导致该国在工业和农业领域都破产了。他强调说，目前这个国家的人民越来越不满，因此，我们现在应该做的不是对党的政策进行调整，而应该做的是从根本上改变苏维埃体制。当我问他从什么意义上讲这个话题时，罗森戈尔茨直接回答说，我们在谈论用资本主义形式的政府取代苏联体制的问题，此时的政治局势迫切需要在这场斗争中采取最极端的手段。

罗森戈尔茨进一步提出了问题——我能否继续在伊朗工作以严格完成他的所有任务？我向罗森戈尔茨保证，他可以完全依靠我，我将尽力证明他的信任是正确的。

最后，罗森戈尔茨为我提供了以下针对伊朗境内敌对工作的具体指导原则：

1）在我们与伊朗的贸易关系中，不得允许有利于苏联的积极平衡；

2）将所有贸易业务集中在伊朗的"沙尔克特"（伊朗国家贸易组织和国家控制的垄断商人协会）手中。

实际上，这种态度会给苏联带来外汇损失，因为在与不包括在"沙尔克特"中的伊朗商人进行交易时，我们的商品价格可以卖得更高。

3）实施限制技术出口、扩大消费品销售的措施，这会破坏苏联在东部农业国家的经济和政治声望。

问题：罗森戈尔茨是否向您指示了您应该招募那些人以在伊朗从事这项敌对工作？

回答：罗森戈尔茨建议让伊朗副贸易代表巴维尔·雅科夫列维奇·萨多夫斯基和马舍德的授权贸易代表鲍里斯·雅科夫列维奇·克拉克参与这些计划的实施。

问题：更准确地说，罗森戈尔茨建议您以右派—托洛茨基组织的成员身份联系萨多夫斯基和克拉克？

回答：罗森戈尔茨并未将萨多夫斯基和克拉克列为我们组织的成员，但说萨多夫斯基精通伊朗局势，在执行有关破坏活动的指示时，我必须牢记这一点。对我来说很显然，我可以基于

敌对工作与萨多夫斯基建立直接联系，尤其是因为我知道他与罗嘉诺夫斯基和罗森戈尔茨还有绍斯塔克关系密切，他给绍斯塔克当了两年副手。

罗森戈尔茨向我推荐克拉克，作为我在德黑兰的工作所依靠的人，我理解这是与他建立反苏维埃联系的直接指示。

问题：您是否已联系萨多夫斯基和克拉克？

回答：我没有与萨多夫斯基和克拉克建立直接的反苏联系，但他们都无条件地帮助我按照罗森戈尔茨的指示进行了破坏活动。我很快与我的第二副代表阿布拉姆·阿布拉莫维奇·马蒂森建立了完全相同的关系。

问题：为什么不与这些人建立直接的反苏联系？

回答：我曾考虑过直接与萨多夫斯基、克拉克和马蒂森进行谈判，并将罗森戈尔茨的敌对工作指示传达给他们，但鉴于 1937 年初绍斯塔克被捕，我决定避免这样做，因为担心如果他们当中有人因为绍斯塔克案被捕的话，那我就有被暴露的危险。

问题：您与萨多夫斯基、克拉克和马蒂森一起在伊朗进行了哪些破坏活动？

回答：根据罗森戈尔茨的指导方针，我们将苏联与伊朗之间的几乎全部贸易移都交给了“沙尔克特”。

为了限制在伊朗销售技术产品，我们没有告知莫斯科伊朗市场对这些产品的需求。

尽管贸易代表团的商人客户中充斥着经纪人和无力偿债的商人，但我们仍未采取措施消除出口和进口的经纪业务，这增加了进口商品的价格，并减少了我们从出口中获得的外汇收入。

同时，我们故意不采取措施来接纳质量足够高的出口商品，在进口业务中，我们没有考虑所供应商品的质量。这抹黑了我们与伊朗的贸易往来，并给我们进口的公司造成了实质性损害。

在 1937 年夏天，我得知罗森戈尔茨被捕的消息，由于担心完全失败，因此停止了破坏活动。

为了再上一道保险，我迅速重新站队并开始向莫斯科发送报告，批评罗森戈尔茨关于与伊朗的贸易协定的指示，并提出了一些纠正正在进行的破坏活动的措施。

问题：您是否仅与萨多夫斯基、克拉克和马蒂森合作在伊朗进行敌对工作？

回答：我还必须说说我与贸易代表团顾问尼古拉·亚历山大洛维奇·别尔哥罗德斯基的之间的反苏关系。

问题：您与别尔哥罗德斯基的反苏关系是什么？

回答：这是一个间谍联系。

问题：与波兰情报机关的？

回答：不，别尔哥罗德斯基是日本情报人员。

问题：您是如何与别尔哥罗德斯基建立间谍联系的？

回答：上面我已经说过，我希望离开波兰后会停止间谍活动。但是，在1937年春天，德黑兰的一位日本情报代表与我建立了联系。

问题：然后呢？

回答：1937年4月左右，一个我不认识的人给贸易代表团打电话找我，他介绍自己是“马尔凯西”商社的代表，并说他因为一个重要的私人事务要求我立刻接待他。

同一天，在工作结束时，这个人（我现在不记得他的姓氏）来找我，在私下交谈中说，他就是打电话找我的“马尔凯西”商社代表。

对于我的问题——我对他有什么用处，他回答说他知道我向布里杰维奇提供了关于波兰贸易代表团工作的某些信息，并且他请我向日本人提供关于苏联驻伊朗贸易代表团的工作信息。

问题：您对此建议有何反应？

回答：我对这种无礼的举动感到非常震惊，并试图愤怒地宣布我没有向布里杰维奇传达任何信息，实际上，我认为不可能再跟他继续谈话。然后，日本情报部门的代表说，我任何试图否认我与布里杰维奇的间谍联系的努力都是徒劳的，并强调，如果我不满足他的要求，我与波兰情报部门的联系将引起苏联有关部门的注意。我必须承认，当时我处于非常紧张的状态，担心我的破坏活动会被揭露，而暴露与波兰情报部门的联系的威胁使我非常恐惧。然后，我问日本情报部门的代表他想从我这里得到什么。他回答说，我必须将一些有关苏联贸易代表团工作的信息转交给“马尔凯西”商社的董事苏斋。

问题：您是如何与苏斋建立联系的？

回答：在我拜访“马尔凯西”商社董事会时，在正式场合见过苏斋两次，我知道他以前曾是德黑兰一家日本私人公司的董事。我个人没有与他建立间谍联系，而是通过贸易代表团顾问别尔哥罗德斯基进行的。在与日本情报部门的代表进行上述对话后一周，别尔哥罗德斯基不知何故来到了我的办公室，并秘密地表示，苏斋要求我开始向他转达已商量好的信息。

问题：您通过别尔哥罗德斯基向日本情报部门传递了哪些间谍信息？

回答：我大约每3个月向别尔哥罗德斯基发送需要交给苏斋的有关贸易代表团出口和进口计划的信息，以及我们计划与伊朗进行贸易的价格。因此，日本人事先确切地知道了我们打算向伊朗出口哪些商品及它们的价格，以及从伊朗进口哪些商品对苏联有利。

问题：如果日本情报部门的代理人别尔哥罗德斯基参加了贸易代表团，为什么日本情报部门需要让您参与间谍工作？

回答：别尔哥罗德斯基独立地向日本情报部门传送了许多间谍情报，但他没有获得季度和年度进出口计划的机会，只有我和我的副手们才知道。这些计划是机密级别的，日本人对获得它们非常感兴趣。

问题：别尔哥罗德斯基现在在哪里？

回答：别尔哥罗德斯基现在住在德黑兰。我于 1938 年 9 月离开德黑兰，在马蒂森于 1938 年 12 月底到达苏联后，我得知别尔哥罗德斯基在收到要离开伊朗回苏联的要求后脱离了贸易代表团的工作，并拒绝返回苏联。

问题：您为日本情报部门进行间谍活动持续到什么时候？

回答：在我从伊朗出发返回苏联之前，即直到 1938 年 9 月。

问题：到达苏联后，您与谁联系从事间谍工作？

回答：我回到苏联后，没有人与我建立间谍联系，这就是我的间谍和破坏活动的终点。

问题：您显然没有彻底交代您的间谍活动和反苏工作，而是在调查中隐瞒您所认识的外贸人民委员部中的右派—托洛茨基组织的成员。

答：我交代了我所有的破坏和间谍活动，并交代了我所认识的所有右派—托洛茨基组织的成员。

的确，我认识许多与罗森戈尔茨关系密切的人，我有理由相信他们，即使不是该组织的成员，也是罗森戈尔茨敌对活动的同谋。

问题：说出这些人，并告诉我们您对他们与罗森戈尔茨的联系以及实际的敌对活动有何了解？

回答：在与罗森戈尔茨关系密切的人里面，我怀疑有些人是右派—托洛茨基组织的成员，我指的是：前任驻比利时贸易代表哈佐夫、前技术进口公司董事长基谢廖夫、前驻英国贸易代表博戈莫洛夫、前副外贸人民委员坎杰拉基和弗里德里希森、前外贸人民委员部出口局局长拉宾诺维奇、前驻英国贸易副代表莫西娜、前驻美国贸易代表博耶夫，没有人告诉我这些人是右派—托洛茨基组织的成员，但是从他们与苏金和罗森戈尔茨的亲密关系以及他对这些人的信任来看，我认为他们可能参与了外贸人民委员部的右派—托洛茨基组织所进行的敌对工作。

问题：您有什么理由指控您提名的人参与外贸人民委员部的敌对工作？

回答：我是根据我所知道的事实，即所列人员与罗森戈尔茨、苏金和罗嘉诺夫斯基之间密

切的私人和业务关系做出判断。

问题：这些关系是什么？

答：我将从哈佐夫开始——他对罗森戈尔茨充满信赖，因为后者提升他为出口管理局的副局长，罗森戈尔茨于1933-1934年向哈佐夫授予勋章。还任命他为驻比利时贸易代表。

基谢廖夫非常亲近罗嘉诺夫斯基，并且对罗森戈尔茨充满了无限的信赖，后者同样向他授勋——就像哈佐夫那样。

此外，作为以博耶夫为首的贸易代表团的一员，基谢廖夫早在1933年就与我一起前往波兰。该代表团的成员由罗森戈尔茨亲自遴选，其负责人博耶夫是罗森戈尔茨的知己。

博戈莫洛夫直到1934年一直担任对外贸易人民委员部人事处的负责人。据我所知，罗森戈尔茨是通过外贸人民委员部安置组织成员的，自然，在没有博戈莫洛夫的帮助下，我们无法进行干部安置。1937年，罗森戈尔茨提名博戈莫洛夫担任英国贸易代表一职。

尤其是，罗森戈尔茨与坎杰拉基保持着密切而友好的关系，坎杰拉基曾在比利时，然后在德国担任贸易代表——以及他的副手弗雷德里希森。

莫西娜在1934年曾担任外贸人民委员部人事处的负责人，并且像博戈莫洛夫一样，她不可能没有意识到我们组织的成员都被安排到了苏联和国外的领导职务上。

在1935-1936年，罗森戈尔茨提名莫西娜为驻英格兰的贸易副代表，应该指出的是，她与罗森戈尔茨家族有密切的关系，在那里她被认为是自家人。

据我所知，早在罗森戈尔茨担任驻英全权代表处顾问期间，拉宾诺维奇就与其结交。在1932年或1933年在罗森戈尔茨的建议下，拉宾诺维奇被授勋。最近，他领导了外贸人民委员部出口管理局，他毫无疑问地意识到了我们在与其它国家的外贸活动，特别是出口活动中的敌对行动。

问题：您尚未供述有关破坏活动和间谍活动的所有信息，并且继续隐瞒您认识的组织成员。

在下一次审讯时，我们将就该问题对您进行讯问，并向您展示调查组已经掌握的材料。

审讯中止。

笔录准确地记录了我的供述，我已通读全文。

塔马林

审讯人：

苏联内务人民委员部调查处调查员、国家安全中尉：齐缅科夫

苏联内务人民委员部调查处调查员、国家安全中尉：罗曼诺夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.376.Л.12—46.原稿，机打。

第一页有斯大林的笔迹：“在外贸人民委员部逮捕：1.基诺维·马尔科维奇·达维多夫 2.卡尔马诺夫斯基 3.基辛 4.波利舒克 5.申德尔 6.加里波夫。”

注释：

2 月 4 日塔马林被苏联最高法院军事审判庭判处死刑，并于 1940 年 2 月 5 日被枪决。

1956 年 9 月 26 日，苏联最高法院军事审判庭作出决定，撤销原判，并因缺乏证据而驳回本案。

112

В·П·茹拉夫廖夫给И·В·斯大林的工作便条

（1939 年 5 月 26 日）

斯大林同志！

恳求您给我几分钟的时间。请求您对此不要拒绝。

敬礼！

该便条写在内务人民委员部莫斯科和莫斯科州局局长的便笺纸上。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.734.Л.13.原稿，手写。

注释：

事实上，内务人民委员部莫斯科州局基层领导В·П·茹拉夫廖夫给斯大林写了一张请求接见的便条，谈到他的特殊情况。确实，在联共（布）中央政治局准备解除Н·И·叶若夫内务人民委员职务的决定中扮演了奸细的角色。正如同解除前内务人民委员Г·Г·亚戈达时那样，一封关于人民委员在活动中的违规行为的信件出现了，他们没有注意到有关内务人民委员部高级官员工作的“信号”。茹拉夫廖夫的公务备忘录在联共（布）中央政治局进行了讨论，实际上成为对叶若夫提出指控的理由。在斯大林的来访者登记册中没有发现斯大林与茹拉夫廖夫会面的信息。

113

А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于违法逮捕的报告

（1939 年 5 月 31 日）

编号 215лс

斯大林同志

莫洛托夫同志

根据 1938 年 11 月 17 日的苏联人民委员会和联共（布）中央的一项法令，未经检察院的事先批准，禁止内务人民委员部实施逮捕。

该决议完全符合《苏联宪法》第 127 条之规定。

同时，在内务人民委员部的实践中，仍然有个别案件涉案人员在未获得苏联检察院批准的情况下被逮捕。例如，М·弗里诺夫斯基、З·别连基和克德罗夫等人在未获得苏联检察院批准的情况下即遭逮捕。关于这一点，请您向苏联内务人民委员部发出指示，要求他们严格遵守《苏联宪法》第 127 条和联共（布）中央 1937 年 11 月 17 日关于遵守逮捕程序的决议。

维辛斯基

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.185.副本，机打。

114

А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于苏联内务人民委员部特别会议的报告[①]

（1939 年 5 月 31 日）

编号 216лсс

绝密

联共（布）中央委员会——斯大林同志

苏联人民委员会——莫洛托夫同志

最近，在苏联内务人民委员部特别会议审查了大量案件，特别会议每次会议会审查 200 至 300 件案件。

在这种情况下，不排除作出错误决定的可能性。

就此，我向贝利亚同志提出了自己的看法——为特别会议制定这样一个规范，使得特别会议召开得更加频繁而每次审查的案件的数量有所减少。

我认为就此问题内务人民委员部从联共（布）中央和苏联人民委员会收到特别的指示是适当的。

А·维辛斯基

译自：РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.89.Оп.18.Д.2.Л.1.原稿，机打。

在页面上有批示和笔迹：“贝利亚同志，怎么办？В·М·莫洛托夫”“已将该消息送达联共（布）中央委员会斯大林同志，苏联人民委员会 В·М·莫洛托夫同志，39 年 6 月 10 日，编号 2016/б”。

注释：

1939 年 6 月 10 日贝利亚向И·В·斯大林和 В·М·莫洛托夫发送了一份报告。他在其中提到了 А·Я·维辛斯基的结论，即由于苏联内务人民委员部特别会议审议了大量案件，因此不排除作出错误决定的可能性。

回顾特别会议在 1937 年至 1938 年期间的活动，内务人民委员注意到该机构工作中的许多违规行为。会议未达到法定组成，案件没有初步核查外围机关的清单、证明和相关材料，以投票方式审议案件。“尽管以这样的‘程序’审理案件，——贝利亚指出——在过去，维辛斯基同志都无异议地签署了特别会议的纪要。”

此外，贝利亚强调，在联共（布）中央和苏联人民委员会于 1938 年 11 月 17 日通过“关于逮捕、检察官监督和调查”的决议，联共（布）中央派来的工作人员组成的特别会议的工作人员后，该机构的工作是在包括维辛斯基在内的检察官的密切联系和最积极参与下进行的。同时，贝利亚指出，1938 年 12 月至 1939 年 5 月期间，共举行了 13 次会议，审议了 2079 件案件，“维辛斯基同志没有对特别会议的会议程序发表了任何意见。”他强调，有些会议甚至被推迟，因为“维辛斯基同志生病或忙于讲课，而在没有维辛斯基同志的情况下我们会避免开会”。结果，贝利亚在给斯大林和莫洛托夫的报告中说：“我在维辛斯基同志给联共（布）中央和苏联人民委员会写信后与其进行了一次谈话。维辛斯基承认他的信基本上是错误的”（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3.Оп.6.Д.18.Л.41—44.）。

115

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于在赤塔逮捕波兰情报部门“特工”的特别报告

（1939 年 6 月 7 日）

编号 1958/б

联共（布）中央书记斯大林同志

1939 年 1 月，在赤塔市，内务人民委员部赤塔局逮捕了赤塔建筑托拉斯计划处负责人、波兰情报机构特工Л·Ф·达维多维奇。

在 1939 年 1 月 31 日的审讯中，Л·Ф·达维多维奇供认，他是在 1938 年 3 月受波兰情报部门特务头子Г·П·扎尔科夫斯基的指示从莫斯科抵达赤塔市以在边境地区收集间谍情报。达维多维奇进一步供认，扎尔科夫斯基给了他接头暗号和给联共（布）赤塔州委书记穆鲁戈夫同志的妻子——约安娜·亚历山大罗芙娜·穆鲁戈娃的介绍信——后者与扎尔多夫斯基的间谍活动相勾连。

用Л·Ф·达维多维奇的话说，到达赤塔后，他便与И·А·穆鲁戈娃联系，在她的积极协助下，他进入了当地官员的圈子——这些官员曾拜访过穆鲁戈夫的家，并广泛利用他在这个圈子中的熟人来收集间谍信息。

因此，达维多维奇供述说，他在穆鲁戈夫的家中认识了一位前白军官员——赤塔建筑托拉斯规划局局长Н·А·别利斯基和Л·А·塔姆——州公共服务处负责人，并就反苏联工作建立了联系。他与后者一起在赤塔建筑托拉斯组织了颠覆工作，结果破坏了赤塔市的建设计划。

在被我们要求在内务人民委员部审讯时，被捕的Л·Ф·达维多维奇最初推翻了他的证词，然后再次确认了他的证词。

1939 年 5 月 3 日，苏联内务人民委员部逮捕了Г·П·扎尔科夫斯基，他承认从事被波兰情报机构利用的间谍活动和与Л·Ф·达维多维奇的间谍工作方面的联系，他证实了他已于 1938 年 3 月将给И·А·穆鲁戈娃的推荐信移交给达维多维奇的事实。但否认她从事间谍工作。

为此，1939 年 5 月 29 日，我们举行了Л·Ф·达维多维奇和Г·П·扎尔科夫斯基之间的对质，对质中，被捕的Л·Ф·达维多维奇证实了他对Г·П·扎尔科夫斯基和И·А·穆鲁戈娃从事间谍活动的证词，并进一步证明，扎尔科夫斯基很清楚地告诉他，他曾与И·А·穆鲁戈娃姘居并且为了间谍工作的利益特意将她安插在当时尚在联共（布）中央机关工作的И·В·穆鲁戈夫的身边。

尽管有Л·Ф·达维多维奇的证词，被捕的Г·П·扎尔科夫斯基仍继续否认与И·А·穆鲁戈娃在间谍活动方面的直接联系，同时表明И·А·穆鲁戈娃确实是波兰情报部门的特工，并且由Л·Ф·达维多维奇的兄弟——前白军反间谍官员——在列宁格勒担任列宁格勒工业品贸易商店经理的尤里·费多罗维奇·达维多维奇招募从事间谍活动。

我已指示内务人民委员部列宁格勒州局逮捕Ю·Ф·达维多维奇，并将其押送到苏联内务人民委员部。

根据内务人民委员部赤塔州局 1939 年 6 月 1 日的电报中的内容可知，И·А·穆鲁戈娃发展的下线是上面提到的前白军军官Н·А·别利斯基，现已查明，别利斯基是一名坚定的法西斯主义者。

别利斯基向内务人民委员部局的卧底特工说，在波兰被囚禁期间，他就在情报学校学习。此外，别利斯基说，5 月 29 日，他拜访了联共（布）州委书记И·В·穆鲁戈夫，后者告诉他，被捕的Л·Ф·达维多维奇承认为德国进行间谍活动。据别利斯基交代，穆鲁戈夫的妻子在Л·Ф·达维多维奇被捕两天后，在焦虑中离家前往莫斯科。穆鲁戈娃现在确实在莫斯科，而且现已查明，她已怀有七个月的身孕。

别利斯基还告诉卧底特工他与И·В·穆鲁戈夫之间的亲密关系——后者据称与达维多维奇的被捕和招供有关，曾建议他离开赤塔州。

提到这件事时，别利斯基表达了自杀的想法。

苏联内务人民委员部还掌握了关于И·В·穆鲁戈夫与全苏农业展览中心赤塔州展厅经理Н·А·别洛娃密切关系的卧底特工情报，后者由于隐瞒了丈夫前白军军官的身份而被开除出联共（布）。我们怀疑别洛娃已经被发展成为间谍行为和反苏活动的参加者。

根据同一份卧底特工情报显示，Н·А·别洛娃利用与穆鲁戈夫关系密切的优势，于 1939 年初前往赤塔州时，收集了有关特殊工厂、飞机场、边境设施的秘密信息，并与军事飞行员和国防企业的工程师发展关系。

苏联内务人民委员部关于别洛娃在赤塔州出差期间所作所为的卧底特工情报被内务人民委员部巴列伊斯基区处的报告所证实，该处记录了她对红军部队、边防哨所部署以及国防企业建设的可疑兴趣。

对Л·Ф·达维多维奇和Г·П·扎尔科夫斯基案件的调查仍在继续。

对И·А·穆鲁戈娃、Н·А·别洛娃、Н·А·别利斯基的卧底调查在进一步进行。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.255.Л.79—83.原稿，机打。

在第一页有斯大林的批示：“贝利亚同志，穆鲁戈娃，看起来不是俄罗斯族人（下流的吉普赛女人!），为什么不写清楚穆鲁戈娃的民族？应当立刻逮捕穆鲁戈娃、别洛娃、别利斯基然后通过他们挖出赤塔的间谍巢穴。И·斯大林”

注释：

1939 年 6 月 8 日联共（布）赤塔州委员会第一书记穆鲁戈夫发给И·В·斯大林一封信，信中他指责内务人民委员部领导挑衅他的妻子，不遵守联共（布）中央和苏联人民委员会 1938 年 11 月 17 日“关于逮捕、检察官的监督和调查”的决议。联共（布）中央政治局会议决定将穆鲁戈夫开除联共（布）党籍和联共（布）中央委员会监察委员会。除了指控个人无礼和挪用公款外，穆鲁戈夫还被指控有“错误逮捕和定罪的敌对实践活动”，这发生在Г·С·霍尔霍林担任内务人民委员部州局局长期间，后者于 1938 年 12 月被捕（АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.377.Л.43—46.）。

116

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于捣毁在莫斯科和列宁格勒学校中的“反苏”集团的特别报告

（1939 年 6 月 7 日）

编号 1973/б

绝密

联共（布）中央书记斯大林同志

苏联内务人民委员部的机构在莫斯科、列宁格勒、基辅、伊万诺夫、萨拉托夫和苏联其他城市的个别大学的学生和高年级中学生中，发现并被部分捣毁了一些反苏集团。

年轻人中反苏组织的参加者通常以积极对抗苏维埃政权为任务，他们讨论针对联共（布）和苏联政府领导人的恐怖行动计划，制作和散发反苏维埃传单和口号，要求推翻苏联相应的体制。

例如：

1.1938 年 12 月，苏联内务人民委员部捣毁了莫斯科历史、哲学和文学学院的一个学生恐怖主义团伙，其中包括：И·М·沙基洛夫——1915 年出生，被开除出团；П·П·乌里金——1918 年出生，非党员；Н·П·苏霍夫——1918 年出生，非党员；马祖尔——1917 年出生，共青团员。

该团伙设定了组织“列宁人民党”的任务，以便将所有不满苏维埃政府和联共（布）的人团结在一起，为反对联共（布）领导人和苏维埃政权的武装起义和恐怖活动做准备。

该团伙的成员在学生中积极进行了反苏的煽动，制定了“列宁人民党纲”，并开展了招募工作以扩大组织。

2.1938 年 10 月，苏联内务人民委员部逮捕了第一莫斯科国立师范学院的一个反苏维埃学生团伙，其中包括：М·С·梅尔尼科夫——生于 1914 年，因隐瞒社会出身而被开除出团；А·Г·维诺格拉多夫——共青团成员；Б·М·莫申科夫——共青团成员；В·С·格雷什金——1915 年出生，共青团员；Д·И·谢苗诺夫——出生于 1910 年，共青团员和Л·П·萨乌什金——1914 年出生，非党员。

该团伙在 1938 年 10 月的假期期间制作并试图散发法西斯传单，呼吁与苏维埃政权进行积

极斗争。

3.1939 年 2 月，内务人民委员部莫斯科州局逮捕了一个来自莫斯科第 336 中学的反苏学生团伙，其中包括：И·Г·拉基奇——生于 1922 年，是联共（布）党员的儿子；В·А·安德烈耶夫——1922 年出生；Н·П·戈尔杰耶夫——生于 1922 年，非党员。

该团伙在莫斯科制作并分发了 40 张托洛茨基—法西斯主义内容的传单。

4.1939 年 3 月，在列宁格勒捣毁了一个由各大高校学生组织的法西斯团伙，成员包括：И·И·卡拉——1916 年出生，非党员；卡扎切夫斯基——1914 年出生，非党员；Ф·С·马祖宁——非党员。

该团伙制定了一个创建法西斯组织的计划，制作了许多法西斯传单，并试图分发这些传单。

5.1939 年 2 月，在克拉斯诺达尔市逮捕了青年学生中的反革命团伙——这些青年是被镇压的父母的孩子，包括：Е·К·戈拉吉林——1923 年生，因反苏活动被镇压者的儿子；Г·И·格力亚金——1922 年生，前孤儿院教育出来的人和 Е·К·卡茨——1921 年生，是被镇压的托洛茨基分子的儿子。

该团伙的成员将准备针对联共（布）和苏联政府的恐怖行为作为他们的任务，并准备散发反苏传单，呼吁起义反抗苏维埃政权。该团伙的思想鼓动者是前沙皇秘密警察的奸细，今高加索人火车站的锅炉工Г·В·奇斯佳科夫（已被捕）。

6.1939 年 3 月，在伊万诺沃，一个由当地被镇压的人民的敌人的孩子组成的学生恐怖主义团伙被捕：米哈伊洛夫斯基——18 岁、马纳霍夫——18 岁，被枪决的托洛茨基组织成员的儿子；季夫诺戈尔采夫——18 岁，被枪决的托洛茨基组织成员的儿子；伊利琴科——20 岁，一名因反苏工作而被捕的白军军官的儿子；科斯久科夫——23 岁，被处决的人民的敌人的兄弟。

该团伙将自己的任务设定为准备针对联共（布）和苏联政府领导人实施恐怖活动，与我国境内的其它反苏组织建立联系，还有与法西斯情报部门建立联系和非法移居芬兰。

团伙成员编写并散发了 11 条反革命口号，呼吁对联共（布）领导人发动恐怖活动，以推翻苏维埃政权和建立法西斯专政。

该团伙策划通过在红场举行群众游行时炸掉政府观礼台来实施恐怖活动。

7.1938 年 3 月在巴尔瑙尔市捣毁了一个由前列宁格勒师范学院学生（爱沙尼亚人）组成的恐怖主义颠覆团伙：А·И·吉威——1914 年生，前爱沙尼亚中学老师；Р·А·米赫克里——1918 年生，前一所爱沙尼亚中学的校长，因反苏工作而被开除出共青团，以及爱沙尼亚师范学院的其他一些学生和老师，总共有 7 人。

该小组的任务是发动起义，以起义反抗苏维埃政权，组织对国防企业和铁路运输的破坏，并准备针对联共（布）和苏联政府领导人的恐怖活动。

8.1939 年 2 月在乌克兰苏维埃社会主义共和国波尔塔瓦州苏梅市捣毁了一个由当地中学高年级学生组成的反苏团伙：Н·Ф·科内什——1922 年生，因反苏表现而被从共青团开除；В·А·萨夫丘克——由于工作呆板而被共青团除名和Д·М·阿巴库莫夫——1918 年生，是被镇压的人民敌人的儿子。

该团伙自称为“秘密会社”，以“人民意志”党的纲领和章程作为其反苏工作的基础，旨在通过军方获取用于恐怖主义目的的武器，并讨论了建立地下印刷厂，用于印刷反苏传单的问题。

调查结果表明，该团伙的鼓动者是：前苏梅化学职业技术学院图书馆负责人、乌克兰民族主义者И·В·库里什（已判刑）和前人民意志党员、社会革命党分子Н·Н·谢尔久科（已被捕）。

9.1938 年 12 月，在文尼察州塔尔金中学逮捕了由被镇压的人民的敌人父母的孩子中的高年级学生组成的反苏恐怖团伙：А·Н·卡德克——1919 年出生；Н·В·丘尔内——1920 年出生；В·А·任珍——1920 年生；Г·Г·奥列尼克——1922 年出生。

根据该团伙的计划，其意志最坚定和最果决的成员应当在莫斯科与克里姆林宫的警卫建立联系，渗入克里姆林宫，并对政治局成员犯下恐怖主义罪行。

10.在乌克兰苏维埃社会主义共和国文尼察州的涅米罗夫孤儿院逮捕了由一群父母被镇压的孩子组成的反苏团伙，成员包括：В·普罗纳什科——16 岁；Г·Г·拉基斯——16 岁；Ю·К·思维金斯基——17 岁；В·А·索契沃——17 岁；Г·Г·斯科佩里吉斯——16 岁。

该团伙的成员对共青团员进行了恐吓，组织了一次罢工，嘲笑犹太和乌克兰民族的孩子，毁坏了联共（布）领导人的画像，在墙上涂法西斯卐字，并鼓动孤儿院的孩子为被镇压的父母向苏维埃政权“报仇”。

11.1939 年 1 月，在科夫罗沃城，一名中学八年级的前学生莱文·索博伦斯基被捕，当时他正在准备针对公职教师的恐怖行为。

在审问期间，莱文·索博伦斯基表示，受家人反苏情绪的影响，他有了与苏维埃政权作斗争的想法。为此，他写了一封信给德国驻苏联大使，在信中说他可以为反对苏联的间谍和破坏行动效力。在学校里他主动提出，给饮用水下毒，并试图引爆一枚自制手榴弹。

与此同时，苏联内务人民委员部正在在莫斯科市青年当中存在的如下反苏团伙进行详尽的调查：

1.一个由被镇压的人民的敌人的孩子组成的反革命团伙，他们在城市的各种教育机构中学习。莫斯科：第一医学院的二年级学生塔吉扬娜·别索诺娃；塔玛拉·梅德韦杰娃，1921年出生，莫斯科音乐学院附属中专的学生；妮娜·洛莫娃，1919年生，莫斯科外国语师范学院预科的学生；娜塔莉亚·克列斯廷斯卡娅——1920年生，第一医学院学生；塔吉扬娜·斯米尔加，1919年生，莫斯科外国语师范学院预科的学生；叶莲娜·鲁希莫维奇，有色金属学院的学生。

该团伙的成员进行反苏的煽动，诽谤党和政府的领导人，确定了在苏联其他城市组建类似的由被镇压的人民的敌人的孩子组成的团伙的目标，并正在寻找机会接触反苏地下组织以积极参加与苏维埃政权和联共（布）的斗争。

2.在莫斯科市第125中学查获了一个由九年级学生组成的反苏团伙，其领导人是该校的学生：Л·М·帕平——1921年生，会计师的儿子；В·А·蒙古舍夫——1922年生，是内务人民委员部的前雇员的儿子，他们纠集了大约10名反苏联学生。

该团伙的成员经常性地聚集在彼此的公寓中，在那里他们进行反苏谈话，在其中讨论党和政府的政策，赞扬托洛茨基主义，并阅读没收的人民的敌人托洛茨基、布哈林、拉狄克的作品。

3.在苏维埃区第114学校，在因反革命活动而被定罪的加夫里连科的儿子的倡议下成立了一个由8年级和9年级学生组成的反苏团伙，其任务是组织一个“无政府主义社会”。

该团伙正在为社会制定“宪法”，并试图创立一份非法报纸来宣传无政府主义思想。

该团伙的成员制作了带有骷髅图案的“会社”印章，并印在学校的标语和海报上。

值得注意的是，最近在青年的反苏活动中，有一种趋势是建立非法圈子并引诱青年工人加入，通过“研究”马克思主义的经典著作，以便从反苏立场上批判马克思主义，并试图修改马克思主义的理论基础。

苏联的内务人民委员部被指示加强对青年人，首先是在被镇压的人民的敌人中的青年的卧底业务工作。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.206.Л.159—168.原稿，机打。

在第一页有批示：“给贝利亚同志，请参阅此文件以获取参考”；笔迹“来自贝利亚同志的”。

在空白处有斯大林的批示：

—“逮捕所有这些人并发配到不同的集中营”。

—“逮捕，发配到不同的地方”。

—“逮捕，发配”。

117

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被内务人民委员部特种技术局使用的被囚禁的专家的特别报告①

（1939 年 7 月 4 日）

编号 2561/ б

绝密

联共（布）中央书记斯大林同志

苏联内务人民委员部特种技术局于 1938 年成立，目前主要由七个主要生产小组组成：1）飞机制造，2）飞机柴油机制造，3）造船，4）火炮，5）火药，6）毒剂，7）装甲钢。

1937-1938 年期间被内务人民委员部逮捕的 316 名参加反苏、破坏、间谍—颠覆和其他反革命组织的专家在这些小组工作。

对这些被捕者案件的调查早在 1938 年就已中止，他们被拘留而没有定罪。

恢复这些案件的调查并以通常的方式将其移交给法院是不切实际的，首先，这将使这些专家们长时间地脱离设计重要产品的工作并事实上破坏了特种技术局的工作；其次，由于以下原因，调查将不会产生实质性的积极结果：这些被捕的人由于长期在工作中相互交流，他们之间会就他们在初步的调查当中所提供的证词达成共识（串供）。

同时，在初步的调查过程中，被捕者的罪行已由被捕者个人的证词和其同伙（其中很多人已经被定罪）的证词所证实。

基于此，苏联内务人民委员部认为有必要：

1）在不恢复调查的情况下，将被捕的在苏联内务人民委员特种技术局工作的 316 名专家，移交苏联最高法院军事法庭进行审判；

2）根据犯罪行为的严重程度，应将被捕者分为三类：分别判处 10 年以下、15 年以下、20 年以下监禁；

3）委托一个由苏联内务人民委员部、苏联检察院和苏联最高法院军事法庭庭长组成的委员会来完成分类工作；

4）为了鼓励被捕专家在特种技术局中工作，使他们的工作变得稳定，同时尽可能进一步

激发他们设计出具有重大国防意义的产品，请授予苏联内务人民委员部向苏联最高苏维埃主席团提交准许对在特种技术局工作的专家进行假释和减刑申请的权利。

请您指示。

附：在苏联内务人民委员部特种技术局工作的被捕专家名单。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.84—86.原稿，机打。出版时没有附录。

在第一页有斯大林的笔迹：“贝利亚同志，我同意。И·斯大林”

注释：

①由于国家政治保卫总局被委以大量经济工作，包括在国防工业中，国家政治保卫总局经济局的技术科便使用被定罪的专家来执行各种任务。例如，在 1930-1937 年，斯大林定期收到有关新型武器、弹药以及电气工程、化学、水电等领域专家研发的信息。特种技术局（ОТБ）成立于 1937 年。Л·П·贝利亚提出了关于特种技术局的章程，但最终是以苏联内务人民委员Н·И·叶若夫 1937 年的命令的形式制定和批准的。

118

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于生产不合格军用品的特别报告

（1939 年 8 月 10 日）

编号 3456/б

联共（布）中央书记斯大林同志

1939 年 3 月和 6 月，苏联内务人民委员部报告说，KT 型雷管在搬运和存放时存在危险，因为在仓库中有爆炸的情况。

根据 1939 年 6 月 13 日苏联人民委员会下属国防委员会的指令，内务人民委员部受托确定了将劣质 KT 型雷管投入生产的原因和罪魁祸首。

通过对生产单位的调查已经查明：

1930 年，设计师 М·Ф·瓦西里耶夫（现师级军事工程师、工农红军炮兵学院系主任、技术科学博士），开发了战时半保险型 KAT-1 雷管，用于 45mm 和 76mm 的加农炮，并以 KT-1 的改进版命名。

1931 年，在工农红军军械局的建议下，第 22 中央设计局（列宁格勒）的设计师康德拉季耶夫（作为反苏军事阴谋的参与者被处以极刑）和波诺马廖夫（现为ЦКБ-22 的设计师）将“KAT-10”雷管改制成了“KT-1”以使其*不仅在加农炮中，也可以在榴弹炮中使用——通过将爪状保险装置的阻力从 20 公斤减少到 14 公斤*，这会在存储和运输过程中会引起雷管爆炸的危险（剧烈震动，掉落）。

KT-1 雷管的另一个严重缺陷是撞杆容易被卡住，其结果是，在开火时，炮口处会发生过早的爆裂。

从 1931 年到 1938 年，红军在实际射击过程中记录了 35 件此类爆裂的案例。

尽管存在设计缺陷，但在 1931 年，根据工农红军军械局前负责人*西蒙诺夫*和军械局科学技术处处长*罗戈夫斯基*（二人均被处以极刑）的命令，KT-1 雷管*开始量产*。与 KT-1 雷管同时被开发并引入量产的还有 KT-2 和 KT-3 雷管设计方案，它们与 KT-1 的不同仅在于外螺纹尺寸。

从 1931 年到 1933 年，存在上述缺陷的 KT 雷管在列宁格勒的 М·赫尔茨和Ф·恩格斯工厂生产。

仅在 1933 年，红军军械局对 KT 保险丝的图纸进行了必要的设计更改，但*并未将这些图纸提供给所有制造工厂*，因此，位于彼尔姆的弹药人民委员部第 10 厂直到 1935 年，仍根据*未修改的图纸生产 KT 型雷管*。

也就是说，从 1931 年到 1936 年一直有不合格的雷管被从工厂交付给红军。

在此期间，共生产了**5,464,000**个 KT 雷管。

此外，在制造工厂里，无论是技术监督部门还是军代表处的工作人员都严重违反了 KT 型雷管的技术规范和制造工艺流程。

结果，装备上被安上了处于触发状态的雷管，这导致 1936 年和 1939 年在 34、35、39 号军事仓库发生三起爆炸，并造成人员伤亡。

严重违反了制造雷管的工艺流程之一，就是使用*硝酸和硫酸的混合物蚀刻爪形保险丝*，以选择所需的阻力，这*导致在 1938 年中发现这些零件的大规模损坏*。爪式保险丝的损坏使得 KT 雷管在仓库中、运输过程中以及将弹丸送入武器发射管道的过程中都具有危险性。

鉴于此，目前，为了更换损坏的保险丝，正在红军中使用的所有 500 万枚 KT 型雷管都必须重新检修。

另外，自 1937 年以来代替 KT 制造的 KTM 类型的雷管中使用了 1939 年以前的蚀刻工艺，并具有与 KT 相似的保险丝，这也意味着需要检查这些雷管。

这种更换和检查 KT 和 KTM 型雷管和保险丝的工作需要超过 4500 万卢布的费用并使红军无法进行完满的射击。

早在 1934 年，工业部门和工农红军军械局的工作人员，尤其是卡辛、扎波尔斯基和伊万诺夫，就意识到在储存过程中由于酸蚀而导致的爪形保险丝开裂。

在 1934 年收到雷西瓦工厂（雷西瓦市）有关爪形保险丝损坏的材料后，上述工业部门和工农红军军械局的工作人员没有采取任何措施，而对 KT-1、2、3 零件的蚀刻工艺一直延续到 1936 年，而对 KTM 保险丝的蚀刻工艺则一直延续到 1939 年。

将不合格的 KT-1、2、3 雷管列装工农红军的罪魁祸首是：

1）前工农红军军械局局长西蒙诺夫

2）前工农红军军械局科学技术处处长罗戈夫斯基（二人均被处以极刑），将设计尚未完善的 KT 雷管投入量产。

3）费多尔·叶夫斯塔菲耶维奇·斯塔菲耶夫，目前在列宁格勒州利戈沃市的一家打字机厂工作，前 M·赫尔茨厂组装和电解车间负责人，在 1930 年至 1936 年间将低质量的雷管安在

了装备上，包括在34号和39号仓库（加里宁军区）爆炸的雷管；

4）吉洪·易拉里翁诺维奇·拉兹多巴林，М·赫尔茨和Ф·恩格斯工厂的前军代表，现为列宁格勒炮兵研究实验场的工程师，从1932年到1936年，他为红军接收了存在明显瑕疵的КТ型号雷管，这些雷管在存放在34、35和39号仓库中时发生了爆炸。（加里宁军区）；

5）弗里德曼·鲁维莫维奇·卡辛，二级军事工程师，曾于1931年至1936年任工农红军军械局弹药、航空和火炮局第十科的科长，目前他花了1000卢布调到弹药人民委员部，在那里他担任第六总局技术处的负责人；、

6）谢尔盖·阿列克谢耶维奇·扎波尔斯基，现役军人，他花了1000卢布调到弹药人民委员部。曾于1931至1936年担任工农红军弹药、航空和火炮局第十科的副科长，现任国家第四建筑设计院高级设计工程师。前米哈伊洛夫炮兵学校的学员；从1917年到1918年1月，他以准尉的身份在罗马尼亚前线的旧部队服役。

卡辛和扎波夫斯基并未确保在所有制造工厂都采用КТ-1、КТ-2、КТ-3修改后的图纸，尽管他们从1934年起就掌握了关于零件有损坏的材料，但他们并未采取措施来防止爪状保险丝的大规模损坏。

7）格奥尔基·阿列克谢耶维奇·伊万诺夫，一级军事工程师。前工农红军军械局驻М·赫尔茨和Ф·恩格斯工厂军代表（1931—1932年）和前工农红军弹药、航空和火炮局量产科科长，现为兹拉托乌斯特工厂的高级军事代表。1932年至1936年，他主持接收了根据未修改的图纸制造的КТ-1、2、3雷管，并且未对收到的关于零件损坏的信息采取任何措施。

内务人民委员部认为有必要*将Ф·Р·卡辛、С·А·扎波尔斯基逮捕并进行调查*。

请您指示。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.343.Л.123—128.原稿，机打。

在第一页有笔迹“来自贝利亚同志”。

在最后一页有批示：“同意。И·斯大林”和笔迹：“已于8月18号签发卡辛的逮捕令。Л·贝利亚”

*–*用铅笔加下划线。

—用铅笔加了两条下划线。

119

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于А·А·维诺库罗夫发明的特别报告

（1939 年 8 月 14 日）

编号 3517/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

А·А·维诺库罗夫同志自 1938 年 12 月起在苏联内务人民委员部第二特别处为其发明的燃气飞机涡轮机的模型制造而工作，该涡轮机在 30,000 转时的容量为 16,000 马力，机器重量不超过 250kg。涡轮机必须使用航空汽油工作。

我们为维诺库罗夫同志的工作创造了一切必要的物质和技术条件。

到 1939 年 7 月上旬，维诺库罗夫同志做出了机器样品（没有技术设计和计算），这是一个带有原轴的燃气轮机，其末端有一个带凹槽的强力锥体。做好的机器于今年 7 月 31 日至 8 月 7 日进行了测试。在测试期间，涡轮轴由电动机以 1500-3000 转的速度旋转，之后计划用来自气缸的压缩空气旋转轴，气缸中的压力高达 20 个大气压。然而，轴不能在空气压力下旋转。

苏联内务人民委员部特种技术局的主要专家参与了维诺库罗夫同志的机器测试。

在维诺库罗夫同志的参与下，对机器进行了反复测试并彻底检查了延迟轴旋转的原因，结果发现轴锥的设计需要长期仔细地修改。改变铲子形状的方向。为此，已经认识到有必要进行长期的实验工作，以便确定铲子的正确倾斜角度以及喷嘴的正确方向，以使气体从燃烧室射出。

我将推进维诺库罗夫同志的该型机器的进一步实验的工作委托给苏联内务人民委员部特种技术局。将为维诺库罗夫同志创造一切必要的条件以使他能继续在特种技术局的领导下完成他的工作，同时，维诺库罗夫同志将被分配到Б·М·莫洛托夫莫斯科动力工程学院学习。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

维诺库罗夫同志发明的结论

（涡轮机）

1938 年 12 月，苏联内务人民委员部维诺库罗夫同志开始制造他提出的发明——燃气飞机涡轮机，该机在 3 万转的情况下具有 1.6 万马力的功率，机器的重量不应超过 250 公斤。指定引擎的工作流体必须是航空汽油，为此已为其创造了所有物质和技术条件。

1939 年 7 月上旬维诺库罗夫同志展示了根据他的想法制造的机器模型（缺少技术设计和计算），该机器是带有原始轴的燃气轮机，其末端有一个带有铣削凹槽的强力圆锥体，应该是叶片。

由于作者在准备过程中并未配套带有高压气泵的机器，因此计划在空气中对其进行测试。

在 7 月 31 日至 8 月 7 日对制成的机器进行了测试，之后用电动机以 1500-3000 转的转速旋转轴，并用来自气缸的压缩空气在腔室内施加 3 至 20 个大气压的压力。但是，不可能在空气中转动轴。

在彻底研究了延迟轴旋转的原因之后，我们得出的结论是：具有这种构造并在这些角度下具有铣刀的圆锥的设计需要对它们进行长时间的研究，并且需要对倾斜角进行实验选择，以及提供气体射流的喷嘴方向。

基于此，我们认为该机器应由作者进行长期试验，并应在为此安排的专门实验室中，在其中增加一个组件（高压泵）。

1939 年 8 月 11 日

维诺库罗夫

拉普申

达维多夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.102—105.原稿，机打。

120

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部彼尔姆州局局长的特别报告

（1939 年 8 月 14 日）

编号 3531/б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

内务人民委员部彼尔姆州局局长由Д·А·沙霍夫同志担任，他是从内务人民委员部斯维尔德洛夫斯克局调到彼尔姆州的该岗位的。

沙霍夫同志过去在斯维尔德洛夫斯克州工作期间，犯了许多严重错误，目前他无法胜任内务人民委员部彼尔姆州局的领导职务。

苏联内务人民委员部要求解除德米特里·亚历山德罗维奇·沙霍夫同志内务人民委员部彼尔姆州局长的职务，并批准尼古拉·斯捷潘诺维奇·萨齐金同志担任内务人民委员部彼尔姆州局长。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1233.Л.170.原稿，机打。

121

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于重新审查行政驱逐出中心城市类案件的特别报告附内务人民委员部和苏联检察院命令的草案

（1939 年 8 月 17 日）

编号 3630/ б

全联盟共产党（布尔什维克）中央委员会

斯大林同志：

1937-1938 年间。当人民的敌人的亲属被驱逐出苏联的中心城市时，发生了一些歪曲执行的现象。通常情况下，该类驱逐未经调查、未经司法机关决定或召开特别会议，驱逐时间未定，大量被驱逐者无故被归类为社会危险分子。

党和苏维埃机构、内务人民委员部、检察院和法院收到了这类人关于被错误驱逐的大量申诉。

在审查这些投诉的进程中，查明了一些明显为非法驱逐的案件。

1937 年，一名职员日林斯基与他的家人一起被列宁格勒驱逐，因为他在 1935 年因“消极”被联共（布）开除。

1937 年，70 岁的老人瓦斯菲尔德·伊利亚在列宁格勒被驱逐，他来探望他的继女，后者在不久后被捕。

1938 年，在列宁格勒驱逐了女公民苏姆利斯·亚历珊德拉，一并驱逐的还有她的四个从 11 个月到 10 岁不等的孩子，驱逐原因在于她与其丈夫的联系，而后者并没有被定罪并且于今年的 5 月 9 日因为指控缺乏证据而被释放。

本该适用于反革命犯罪分子的判处驱逐制度被不分青红皂白地用在了所有被驱逐的人的身上。

与此同时，被大规模驱逐的人中，也有活跃的敌人。由于在大规模驱逐的时候对他们的身份的核查工作明显不足，使他们得以通过被驱逐来逃避逮捕和调查。

苏联内务人民委员部认为有必要：

1. 到 1940 年 1 月 1 日之前，审查 1935 年后根据内务人民委员部的指示、单独命令和特别会议的决定，没有规定驱逐期限的被驱逐者的案件。

2. 为审查上述被驱逐者的案件，在检察官的参与下，在苏联内务人民委员部将组织一批合格的工作人员，按照指示仔细研究材料，确定哪些材料是判处驱逐的依据，哪些材料是在被处以驱逐之后获得的。根据这些材料，根据每个被驱逐者的社会危险程度，逮捕借大规模驱逐运动隐藏自己身份的反革命积极分子。确定对社会危险分子居住权的限制期限，并释放被错误驱逐的人。

3. 关于驱逐期限和居留权限制的决定——通过苏联内务人民委员部特别会议来处理。

4. 苏联内务人民委员部 1937 年 6 月 15 日关于将被开除联共（布）党籍的人和被镇压者家属驱逐出中心城市的指示，与苏联人民委员会和联共（布）中央 1938 年 11 月 17 日的决议相抵触——撤销。

苏联内务人民委员部请求批准附带的命令草案，该草案已经征得苏联检察院的同意。

请您指示。

苏联内务人民委员

国家安全一级政委贝利亚

绝密

命令

“关于审查行政驱逐出中心城市的案件”

各加盟共和国、自治共和国内务人民委员，内务人民委员部各边疆区、州局局长

各加盟共和国、自治共和国、边疆区和州检察长：

在肃清莫斯科、列宁格勒和其他中心城市的社会危险分子的大规模行动过程中，内务人民委员部的前敌对领导人犯下了许多歪曲执行的罪行：驱逐通常没有区别对待，驱逐期限未定，一些人在没有充分理由的情况下被归类为社会危险分子……

苏联内务人民委员部和苏联检察院 1938 年 4 月 13 日的第 80 号通令对所有被驱逐者实行了不分青红皂白的行为：他们的护照被没收，并凭借行政流放证件生活，而这些措施本是用于被判处流放的反革命犯罪分子的。

同时，被大规模驱逐的人中，也有活跃的敌人。他们借助在大规模驱逐的时候对其的身份的核查工作的不足，得以通过被驱逐来逃避逮捕和镇压。

兹命令：

1.苏联内务人民委员部1937年7月15日关于将被开除联共（布）党籍的人和被镇压者家属驱逐出中心城市的指示以及苏联内务人民委员部和苏联检察院1938年4月13日的第80号通令——撤销。

2.最迟于1940年1月1日重新审查以下驱逐案件：

a）根据内务人民委员部局长的命令在1937-1938年被驱逐，但未指明驱逐期限的案例。涉及根据苏联内务人民委员部1937年6月15日的指示，从莫斯科、列宁格勒、基辅、顿河畔罗斯托夫、塔甘罗格、索契和索契区附近地区——被联共（布）开除党籍人员和被镇压者的家庭成员的案例；

b）1938年4月在没有决议的情况下被驱逐出莫斯科的原居住在塞拉菲莫维奇大街2号政府大楼里的被定罪的人民的敌人的亲属；

c）1938年4月在没有决议的情况下被驱逐出阿拉木图市并定居在哈萨克斯坦偏远地区的被镇压的人民的敌人的妻子；

d）1935年根据苏联内务人民委员部特别会议的决议被驱逐出列宁格勒市——但没有确定具体驱逐期限的所谓“前人民”。

3.各加盟共和国和自治共和国内务人民委员、被驱逐者居住的边疆区和州的内务人民委员部局长，在一个月内仔细核对整理所有案件档案，对其中在服刑期间被驱逐的人员的材料进行集中整理，应将其在流放期间表现的详细鉴定和结论发给他们被驱逐地的内务人民委员部局。

4.后者自收到案件之日起2个十日内，将作为驱逐依据的材料补充进入档案，核查这些指定的人员是否通过了被捕者、卧底的证词或其它材料的证明，并连同他们的鉴定结论，将案件提交给苏联内务人民委员部第一特别处——以供审查。

5.为审查这些案件，内务人民委员部将从调查室和第一特别处选派精干力量，由内务人民委员部调查室副主任马尔科夫同志和内务人民委员部第一特别处副处长巴什塔科夫同志领导。

上述的小组将通过对收到的材料进行详细研究，并根据对他们每个人的社会危害程度的评估，指示起草并同意苏联检察院关于将没有正当理由而被驱逐者解除流放的结论。确定对社会危险分子居住权限制的期限，并逮捕大规模驱逐运动中逃避打击的活跃的反革命分子。

6.关于经人民委员或其副手批准解除流放的结论——通过内务人民委员部第一特别处完成，关于逮捕的问题——通过苏联内务人民委员部调查室解决，关于驱逐期限的确定以及对居住权的限制——特别会议决定。

将所有解除驱逐人员从联合住址查询处的警戒名单中删除并销毁。

苏联内务人民委员Л • П • 贝利亚

苏联总检察长潘克拉季耶夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.376.Л.141—147.原稿，机打。

122

德意志帝国总理A·希特勒致联共（布）中央书记И·В·斯大林的信

（1939年8月21日）

在15时由德国驻苏联大使冯·舒伦堡转交В·М·莫洛托夫

（译文）

莫斯科

И·В·斯大林先生：

1.我衷心欢迎德苏贸易协定的缔结，这是德苏关系转变的第一步。

2.达成一项互不侵犯条约对我来说是德国需要长期坚持的国策。因此，德国正在重返对两个国家都有利的政治路线。因此德国政府在此种形势发生根本性变化的情况下定决心作出所有结论。

3.我接受苏联人民委员会主席莫洛托夫先生提出的互不侵犯条约草案，但我认为有必要尽快澄清有关问题。

4.至于苏联政府所希望的附加议定书，在我看来，如果德国的高级官员有机会亲自在莫斯科进行谈判的话，本质上可以在尽可能短的时间内弄清楚具体内容。否则，德国政府无法想象这个附加议定书的内容如何在短时间内得到确认和制定。

5.德国和波兰之间的紧张局势变得难以忍受。波兰对德国的举止使得危机每天都可能爆发。无论如何，从现在起，德国决心以各种方式保护自己利益不受这些贪欲的侵害。

6.我认为，如果两国有意建立新的关系，最好不要浪费时间。因此，我再次提议您在8月22日星期二接见我的外交部长，但不迟于8月23日星期三。外交部长拥有无所不包的权力，可以起草并签署互不侵犯条约和议定书。鉴于国际局势，外交部长在莫斯科停留的时间不能超过一天或最多两天。我将会很高兴收到您的及时答复。

阿道夫·希特勒

译自：АВПСССР（苏联外交政策档案馆），ф.0745，оп.14，п.32，д.3，л.63—64.出版信息：《危机之年（1938-1939年）》，文件和材料分两卷，由苏联外交部编写，1990年版，第582号文件。

123

联共（布）中央委员会书记И·В·斯大林致德国帝国总理A·希特勒的信

（1939 年 8 月 21 日）

该信由B·M·莫洛托夫于 8 月 21 日 17 点交给德国驻苏联大使Ф·舒伦堡。

德国帝国总理A·希特勒先生：

感谢您的来信。

我希望，德苏互不侵犯协定将使我们两国之间的政治关系得到真正意义上的改善。

我们两国人民需要彼此之间保持和平关系。德国政府同意缔结一项不侵略条约，为消除政治紧张局势和建立我们两国之间的和平与合作奠定了基础。

苏联政府已指示我通知您，已经同意里宾特洛甫先生于 8 月 23 日抵达莫斯科。

——И·斯大林

译自：АВПСССР（苏联外交政策档案馆）,ф.0745,оп.14,п.32,д.3,л.65.

根据《危机年代 1938—1939》内容摘录。该文件和材料集分为两卷，由苏联外交部编辑，1990 年第 583 号。

124

И·В·斯大林致И·И·普罗斯库罗夫关于情报人员的便条

（1939 年 8 月 25 日）

普罗斯库罗夫同志：

政府有指令，不得在情报部门任用波兰人、芬兰人、拉脱维亚人、爱沙尼亚人、德意志人等。向你推荐这个芬兰人的人，因为某种原因用伏罗希洛夫作为他的姓氏。

——И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.255.Л.127.副本，机打。

注释：

И·В·斯大林给红军情报局局长И·И·普罗斯库罗夫的便条是对Л·П·贝利亚的特别报告的反应。8 月 19 日，他向斯大林报告了在蒙古工农红军无线电操作员伏罗希洛夫的日志上未经授权的发报。发报事件恰好与苏联航空的起飞时间相吻合。对安全官员来说，这是在为间谍活动打下基础（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3.Оп.6.Д.24.Л.235—237.）。

125

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于从立陶宛接收被扣押的波兰军人的特别报告

（1939 年 11 月 7 日）

编号 4982/ б

绝密

斯大林同志：

考虑到从立陶宛接收被扣押的波兰军人的问题，苏联内务人民委员部认为有必要建立以下程序来接受被扣押者。

1. 为了安排被扣押者的审查、甄别和接纳工作，应当向立陶宛派遣一个由旅级指挥员Г·А·彼得罗夫同志领导下的政府委员会。包括成员有：大尉М·М·乌达钦同志、大尉В·А·索洛维约夫同志、大尉Г·Я·兹洛切夫斯基同志、国家安全大尉С·А·罗季节列夫同志、国家安全中尉И·Г·巴里亚什同志、国家安全中尉А·А·普切尔金同志。

2. 只有表达了留在苏联愿望的西乌克兰和西白俄罗斯居民才可以被接纳。

3. 将被接纳的前波兰军队的士兵和初级指挥员遣散回其原居住地。军官、军事官员和警察进行接收并看管起来：军官被送往尤赫诺夫集中营，官员和警察被送往尤扎战俘集中营，在那里进行甄别。

4. 所有政府委员会的甄别人员和苏联的接收人员都将收到一份带照片的文件，该文件将用作边境通行证和临时身份证。

5. 被扣押者通过位于古多加茨和马里辛卡内茨的四个检查站入境，每个检查站每天 250 人。

6. 与接纳战俘有关的费用（委员会在立陶宛的费用、从边界到战俘居住地以及通过铁路旅行的战俘的津贴）由财政人民委员部应苏联内务人民委员部的要求支付。

附：联共（布）中央委员会决议草案

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.50.Д.413.Л.14—15.原稿，机打。出版时没有联共（布）中央委员会决议草案。

126

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕立陶宛报纸工作人员的特别报告

（1939 年 11 月 13 日）

编号 5008/б

联共（布）中央

斯大林同志：

由白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部进行的侦查确认了如下事实：

在维尔诺出版的《语言》报的编辑是立陶宛战争部长的表亲斯坦尼斯拉夫·马茨凯维奇。他的兄弟约瑟夫·马茨凯维奇是副编辑。他们都在红军到达维尔诺之前逃跑了。

《语言》报得到了拉齐维尔公爵、波尼亚托夫斯基伯爵、特什科维奇伯爵和其他人的资助。

编辑部雇用了 28 名员工，其中确定了以下人员居住在立陶宛境内：А·波辛斯基、К·什科诺夫斯基、К·库尔斯基、К·Б·留班斯基、Г·К·维氏米尔斯基、Я·克孜尔—巴克列夫斯卡娅、К·Э·克鲁辛斯基。

我们逮捕了《语言》报的工作人员：

А·Д·特列季亚科夫，波兰人，沙皇军队军官的儿子，曾在《语言》报编辑部担任科长。

С·А·列维茨基——《语言》报的通讯员。

Я·И·克鲁波维奇——《语言》报的记者。

Е·В·鲁缅采夫，俄罗斯人，沙皇和邓尼金军队的大尉，曾担任《语言》报的行政人员和通讯员。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.283.Л.201.原稿，机打。

第一页有斯大林的批示：“莫洛托夫同志、贝利亚同志：立陶宛人应该将这些人移交给我们，还必须要求把叛徒杰瓦尔托夫斯基也交出来。И·斯大林”

127

Н·С·帕托利切夫致И·В·斯大林关于雷宾斯克飞机制造厂大火的密电

（1939 年 11 月 29 日）

编号 1163/Ш

莫斯科，联共（布）中央

斯大林同志：

11 月 27 日，在雷宾斯克 26 号飞机制造厂，3-B 号机械车间的一半被大火烧毁。曲轴箱组、气缸组、电子、青铜和铝制组几乎完全毁坏。

火灾原因调查委员会认为存在破坏行为，尚未找到直接罪魁祸首，调查正在进行中。

目前已经成立了一个紧急修复车间的委员会。已计划并正在实施以下措施：28 日晚用特制保温设备对没有起火的另一半车间进行保护，30 日——在 12 月 1 日 0 点前完成布线。至 28 日上午，车间被烧毁的部分已经被清理完毕。30 号，完成车间临时房板搭建。厂房开工后将铺设钢筋混凝土地砖。

在 133 台机器中，有 83 台需要修理。目前将修复完毕的截止日期定为 12 月 2 日，大部分设备都能在 12 月 1 日修复。有 50 台机器需要大修。曲轴箱组已采取措施。到 12 月 3 日，修好 11 台机器当中的 6 台，滑轮组计划修好 15 台机器中的 10 台。

这样一来，从 12 月 4 日起，车间将恢复一半产能。第二阶段将于 10 日完成。12 月 10 日起，车间将满负荷投产。

我们正在采取措施缩短最后完工日期，正在州内调动建筑材料和设备。

我正第二次赶往工厂。

雅罗斯拉夫尔州委书记帕托利切夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.66.Л.14.原稿，机打。

在页面上有批示：斯大林的批示：“贝利亚同志，应该找到破坏分子。И • 斯大林”；贝利亚的批示：“经济管理总局科布罗夫同志，请提出您的建议。应当严厉地进行搜查并抓到坏人。Л • Б • 贝利亚”

128

Л·П·贝利亚和Л·М·卡冈诺维奇致И·В·斯大林关于对铁路沿线临时建筑进行检查的特别报告

（1939 年 12 月 1 日）

绝密

副本

联共（布）中央委员会

斯大林同志：

内务人民委员部和交通人民委员部联合委员会派出人员检查了铁路沿线两侧 3 公里范围内的所有临时建筑。

检查发现，铁路附近有 80945 座临时建筑（“窑洞”、“上海房”、“中国房”、“挖掘城”），318260 人（与家人）居住在其中。同时，77%的临时建筑和 72%的人口位于 12 条铁路沿线：南乌拉尔线、斯大林线、突厥斯坦-西伯利亚线、托木斯克线、鄂木斯克线、阿什哈巴德线、南顿涅茨克线、伏罗希洛夫线、卡冈诺维奇线、外高加索线、西西伯利亚线、塔什干线。

在这以上 12 条线路中：

	总数		占总数百分比
临时建筑总数	80945	62711	77%
居民总数	318263	229680	72%

居民数据统计如下：

	带家庭的总数	百分比	其中一家之长的人数
总数	318263	-	113364
铁路工作人员	90149	28%	30220
在其他国家机构和企业工作人员	208 910	66%	76771
无固定职业人员	19210	6%	6373

*在居民中有 137,913 名未成年受人抚养者和 66,986 名成年受人抚养者。

临时住宅建筑的很大一部分位于最重要的铁路枢纽和设施附近：桥梁、高架桥、仓库、水泵、军用月台*。所以，例如，克拉斯诺亚尔斯克铁路线博戈托尔站最大的电梯、机车段和燃料段附近自发出现了一个由150个临时住宅组成的村庄，被称为“挖掘城”。在塔什干站，在离铁路床不远的地方，出现了一条由110间小屋组成的街道，这些都是未经政府许可而建造的。其中一些小屋将供水建筑、输油管道和煤栈桥围成一圈。在彼尔姆铁路线的吉斯洛特纳亚站，距轨道30米处，有2个由233个防空洞和临时小屋组成的村落，在当地有“蟑螂山”和“无耻小镇”之称。在彼尔姆2号站四周创建了一个名为“上海”的定居点，由252个临时住宅组成，等等。

这些定居点对火车交通的安全构成了重大威胁。此外，它们完全处于不卫生的状态，是各种流行病的温床。

铁路线附近出现如此大量临时住宅的原因是当地铁路管理部门和市、区、定居点和村的苏维埃，以及当地警察和道路运输处的不可接受的粗心大意。

地方铁路行政部门（部门、车站负责人）允许铁路工人在铁路附近建造临时住房，而这导致既定的铁路沿线建筑法规被违反。在南乌拉尔铁路线的车里雅宾斯克站附近修了109个窑洞，在某些情况下电报线被留在了窑洞内。敖德萨铁路ДН-1的科尔纳乌赫同志允许信号员克拉夫琴科在其工作的检查点区域修建窑洞。克拉夫琴科在铁路轨道下的堤防上挖了一个窑洞，挖断了水管干线，并制作了一个排水系统给他的窑洞排水。而类似的系统是由当地的火车调度员克里诺夫斯基引进的。

在一些道路上，当地政府将一些没有入库的车厢辟为临时住房，特别是在1932-1933年期间，它们直接安装在轨道上并干扰车站和节点的正常运行。在奥尔忠尼启则铁路上的马哈奇卡拉和杰尔宾特车站，有52个用于居住的车厢被放置于距铁路1.5米处。这些汽车的居民直接在铁路路堤上建造自己的地窖、储藏室和其他杂物间。在十月铁路上的莫斯科站，在军事货场附近的车站轨道上安放着46个用作住房的车厢。在捷尔任斯基铁路上的莫斯科站有53个货车车厢被直接安在轨道上。而同一条铁路的柳布利诺站——有135个。

铁路区临时住宅自发形成聚居地的另一个原因是市、区、乡、村苏维埃对建筑用地分配的态度极其不负责任，对建筑类型没有任何控制。在许多情况下，市苏维埃将铁路附属地分配建筑用地（Б·Б·古比雪夫喀山—雅罗斯拉夫尔线）。在鄂木斯克铁路线的库皮诺站，有一个包括500个窑洞的临时居民点，这些建筑很大部分是用贷款建造的，而这些贷款本该被用于建设单独的、符合标准的建筑物。

同时需要注意的是，在鄂木斯克、克拉斯诺亚尔斯克、土耳其斯坦—西伯利亚、卡冈诺维奇北方线上，内务人民委员部的大量特殊定居点被建造，大量被流放者居住在其中。

在检查过程中，发现在最重要的工业企业和国防设施附近也存在与窑洞相同的定居点。在摩尔曼斯克，在军港地区，有“罗斯塔”、“绿角”和“煤炭基地”3 个窑洞定居点，共有 241 栋建筑、2000 名居民。

在塔什干和库尔斯克，窑洞的定居点毗邻军用机场。古比雪夫州恰帕耶夫斯克市的军事化工厂附近也有许多窑洞。

经委员会检查，在临时住所的居民中确定了 10190 名前哈尔滨居民、叛逃者、完全没有公民身份的外国人、从流放地、监狱和集中营归来的前富农、犯罪分子和其他反苏分子。

检查显示当地警察、道路运输处以及铁路交通部门的指挥和政工人员根本不关心检查路口、车站周围和铁路沿线临时住所和居住在其中的人的问题。

铁路和附属地的警察机构没有对从事非特定职业人员展开核查，也没有在铁路领域执行既定的护照制度。因此，在铁路交通护照区临时住所的居民中查明了 1339 名没有护照的人和大量未登记的人。

乌拉尔—西伯利亚铁路上的临时定居点尤其充斥着反苏和犯罪分子。例如，在托木斯克铁路上临时建筑的居民中，有 1479 人存有丑化苏联的材料；在鄂木斯克铁路上为 1225 人，在东西伯利亚铁路上为 548 人，在南乌拉尔铁路上为 592 人，等等。

此外，沿着北西伯利亚铁路内务人民委员部的特别定居点中居住着 6974 名被流放者，在克拉斯诺亚尔斯克铁路的 305 和 308 公里处，有完全由流放者居住的定居点。流放者经流放地长官的许可，不居住在特殊的定居点，而是在靠近铁路轨道的地方为自己建造临时住宅等。

流放者通常与铁路工人建立日常生活关系并腐蚀他们。

在检查过程中，委员会发现并逮捕了 751 名间谍、破坏分子和犯罪分子。按铁路线划分：斯大林线——110 人，鄂木斯克线——79 人，南乌拉尔线——70 人，托木斯克线——68 人，卡冈诺维奇东南线——62 人，喀山线——40 人。

特提出以下建议**：

1）*清除铁路附近存在的临时定居点（“窑洞”、“上海房”、“中国房”等）中居住的可疑反苏和犯罪分子*，为此：

a）向苏联内务人民委员部提议在三个月内扣押并驱逐在铁路附近定居点发现的所有反苏分子和犯罪分子，并将其驱逐到偏远地区和劳改营；

b）在具有国防和经济意义的最重要铁路枢纽建立护照制度，将它们等同于行政城市，苏联人民委员会就此发布相应的法令；

c）苏联内务人民委员部制定并提交苏联人民委员会批准在具有国防和经济意义的最重要铁路枢纽实施护照制度的法规，以及扣押和驱逐居住在铁路附近定居点的反苏犯罪分子的法规。

2）禁止在通行的铁路附近建造临时住宅，并从 1940 年春开始清理存在于苏联铁路和车站附近的临时住宅，为此，苏联人民委员会应指示：

a）颁布法令，未来将拆除通行铁路两侧 2 公里以内的未经许可建造的住宅，并对其所有者进行起诉；

b）向苏联和各加盟共和国人民委员会、市和区苏维埃提出要求，责令位于铁路轨道和车站附近的临时住宅楼的业主必须在六个月内将其临时住所迁至指定区域；

c）建议市和区苏维埃根据地形，在距通行铁路两侧 2 至 3 公里的范围内分配用于建造个人住宅建筑的地块；

d）建议经济企业负责人、铁路负责人为在相关企业工作满六个月的在临时建筑物中居住工人和职员提供物资和技术援助；

e）责成交通人民委员部防止今后在距铁路线 2-3 公里以内的地方建造临时住宅。

f）责成铁路首长和铁路警察首长有系统性地检查和防止未经铁路首长特别许可在铁路沿线建造任何住宅。

3）建议内务人民委员部机构将古拉格的特殊定居点和营地与铁路之间的距离不小于 5 公里。

4）建议内务人民委员部机构防止反苏犯罪分子嫌疑人进一步堵塞铁路附近的村庄。

苏联内务人民委员贝利亚

苏联交通人民委员Л·卡冈诺维奇

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1242Л.11—18.原稿，机打。

在 16 页上有批示：“同意。И·斯大林”“同意。莫洛托夫、К·伏罗希洛夫、А·米高扬，安德烈耶夫——同意”这一页上还有解决方案的名称。

注释：

Л·П·贝利亚和Л·М·卡冈诺维奇的建议于 1939 年 12 月 11 日在联共（布）中央政治局会议

上获得通过（РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1242.）。

129

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于将“围垦者”驱逐出西乌克兰和西白俄罗斯的特别报告

（1939 年 12 月 2 日）

编号 5332/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

1920 年 12 月，前波兰政府颁布法令，在与苏联接壤的地区进行所谓的“围垦”。

围垦者完全是从前波兰军事人员中挑选出来的，他们被分配了多达 25 公顷的土地，获得了农具，并在苏联白俄罗斯和乌克兰的边界沿线定居。在良好的物质条件下受到关注和照顾，这些围垦者是前波兰政府和波兰情报部门的支柱。

内务人民委员部各机构在西白俄罗斯登记了 3998 个围垦家庭，在西乌克兰登记了 9436 个，共计 13434 个家庭。内务人民委员部在其中逮捕了 350 个人。

鉴于围垦者为各种反苏行动提供土壤，而且绝大多数人就其财产状况而言，无疑是苏维埃政权的敌人，我们认为有必要将他们连同他们的家人从他们占据的地区驱逐出去。

为此，我们请您批准采取以下措施：

1. 指示苏联内务人民委员部驱逐所有居住在白俄罗斯西部和乌克兰西部的围垦者及其家人并在林业人民委员部的林场中使用他们——在苏联内务人民委员部与林业人民委员部达成协议的情况下。

2. 对被驱逐者中的坏分子，在收集关于他们过去或现在反苏反革命活动的材料的情况下将他们逮捕，随后将有关他们的案件移交特别会议。

3. 指示苏联内务人民委员部在两年内制定并提交苏联人民委员会批准重新安置围垦者的规则，规定：

а）被驱逐者可以带走的财产和小型农具清单；

б）使用苏联林业人民委员部的生活区为被驱逐者安排特殊定居点；

c）在特殊定居点安排内务人民委员部指挥官办公室；

d）执行此措施所需的资金。

4. 确保被驱逐者的牲畜和基本农具留在原地并交由地方当局处置。

指示白俄罗斯和乌克兰人民委员会和中央委员会在两个十日内制定使用被驱逐的围垦者的不动产、他们的牲畜和农具的规则并提交苏联人民委员会批准。

5. 驱逐工作完成的截止日期定在 1940 年 2 月 5 日。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.30.Д.199.Л.3—5.副本，机打。

1940 年

130

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于Н·И·叶若夫病情的特别报告

（1940 年 1 月 11 日）

编号 83/ б

绝密

1940 年 1 月 9 日，被捕的尼古拉·伊万诺维奇·叶若夫开始抱怨右肩胛骨区域疼痛、严重头痛和全身不适。

1940 年 1 月 10 日进行的体检确定Н·И·叶若夫右肺严重发炎。

脉搏为每分钟 140 次，体温保持在 39 摄氏度以内。

已经将被捕的Н·И·叶若夫安置于适当的条件下，并对其提供持续的医疗检测。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.377.Л.109.原稿，机打。

131

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于驱逐乌克兰和白俄罗斯西部地区围垦者和武装护林队行动执行结果的特别报告①

（1940 年 2 月 12 日）

编号 559/ б

联共（布）中央

斯大林同志：

我在此报告苏联内务人民委员部为从乌克兰苏维埃社会主义共和国西部地区和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部地区驱逐围垦者和武装护林队而进行的行动结果的初步材料。

准备工作是按照在一天内完成行动的预期进行的，以排除被扣押人员逃跑和藏匿的可能性。

参加行动的内务人民委员部工作人员和警察、内务人民委员部所属红军部队、地区和农村的积极分子——52000 人。

行动于 2 月 10 日凌晨开始。到 2 月 11 日凌晨，对围垦居民、武装护林队及其家属的扣押工作已完成。

需要驱逐的数据	总数	乌克兰苏维埃社会主义共和国	白俄罗斯苏维埃社会主义共和国
	27356 户	17753	9603
	146375 人	95065	51310
2 月 11 日中午前被扣押的	26776 户	17227	9549
	137501 人	88262	49239
2 月 11 日中午前被装载入军列的	24133 户	16388	7745
	124247 人	85362	38885

对逃避驱逐或没有确认长居地的人的扣押仍在继续。

行动过程中没有发生重大事故。在一些村庄，一些围垦居民试图逃跑或抵抗驱逐。

在德罗戈贝奇州的科维尼奇村，一群当地居民试图阻止围垦者被驱逐。然而，通过内务人民委员部行动小组采取的措施，计划驱逐的 27 个家庭被带走。在捷尔诺波尔地区的库克林齐

村，一群多达60人的妇女聚集在一起，要求不要驱逐围垦者。在经过适当的解释后，这群人散去。

2月10日晚上在维列伊卡州的沃罗巴耶沃车站发现了该站站长Е•И•基谢廖夫同志的尸体，对尸体的检查确定基谢廖夫的死亡是用钝器击中后脑勺所致。对此正在进行调查。

在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国，由于严寒，气温达到零下30℃，有数起参与行动的红军士兵手指出现轻微冻伤的情况。

乌克兰苏维埃社会主义共和国和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部地区的居民对围垦者和武装护林员的驱逐反应积极。有很多当地居民协助内务人民委员部的行动小组抓捕逃脱的围垦者的例子。

载有被扣押的围垦者和武装护林队员的军列正驶向他们的安置点。

苏联内务人民委员Л•贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.30.Д.199.Л.50—51.副本，机打。

注释：

①1939-1941年，在乌克兰、白俄罗斯的西部各州和波罗的海共和国，进行了大规模镇压，在一定程度上重复了1937-1938年的大恐怖，在这些地区制定了社会性的“清洗”和苏维埃化的任务。逮捕和驱逐分几个阶段进行（见第166-168、174号文件）。1941年4月，Л•П•贝利亚向И•В•斯大林报告，在乌克兰苏维埃社会主义共和国和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州逮捕了102,408人，他们是所谓的反革命组织（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3ос.Оп.8.Д.56.Л.866.）的成员。1939-1941年。超过400,000人被逮捕和驱逐出境（更多详情参见：О•А•格尔拉诺夫、А•Б•罗津斯基《关于1939-1941年白俄罗斯和乌克兰西部地区的逮捕事件：对波兰人和波兰公民的镇压》1997年版，第77-113页）。

132

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于重庆局势的特别报告

（1940 年 3 月 2 日）

编号 810/ б

绝密

加急

斯大林同志：

苏联内务人民委员部驻重庆的情报站长发来以下信息：

重庆总体形势极为紧张。国民党内部正在讨论与共产党决裂的问题。

在这个问题上有两种观点：一种是军事部长何应钦及其支持者表达的观点。该派反对与共产党决裂，因为在他们看来，决裂可能导致国民党政府和国家的灭亡。

该集团认为有必要继续保持与中国共产党的关系。

第二种观点是军委政治部部长陈诚和“黄埔系”和“蓝衣社”所表达的。这些团体赞成立即与中国共产党决裂。他们认为，越是到后面，就越难对付共产党人。这些团体提议在两条战线上作战——同时对抗日本人和共产党人。

蒋介石尚未发表意见。

3 月 3 日至 4 日，国防最高委员会成员将举行会议，会议将讨论与陕甘宁边区的关系问题。

苏联内务人民委员贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.65.Д.578.Л.150.原稿，机打。

133

А·Я·维辛斯基和Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的备忘录附“关于消除逮捕程序缺陷”决定的草案

（1940 年 3 月 4 日）

编号 949/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

在此我们提交联共（布）中央“关于消除既有同意逮捕程序，以及释放曾经由于内务人民委员部的案件被法院保卫部门、内务人民委员部和检察官逮捕的人的程序的缺陷”的决议。

Л • 贝利亚

维辛斯基

已抄送维辛斯基同志。

草案

绝密

联共（布）中央关于消除既有同意逮捕程序，以及释放曾经由于内务人民委员部的案件被法院保卫部门、内务人民委员部和检察官逮捕的人的程序的缺陷的决议

为了消除既有同意逮捕程序以及法院保卫部门、内务人民委员部和检察院释放被内务人民委员部逮捕的人的程序方面的现有缺陷，作为联共（布）中央和苏联人民委员会 1938 年 11 月 17 日“关于逮捕、检察官的监督和调查”和 1938 年 12 月 1 日“关于同意逮捕程序”决议的补充，全联盟共产党（布）中央委员会决定：

建议法院系统、苏联检察院和苏联内务人民委员部继续遵循以下原则：

1. 明确禁止违反联共（布）中央和苏联人民委员会 1938 年 12 月 1 日决议之规定签发的逮捕令，责成内务人民委员部和检察院对违反该决议的官员追究最严厉的责任。

2.对红军和红海军高级指挥和政工人员(团级以上指挥官、政委及与其相对应的海军职务)的逮捕，须事先根据联共（布）中央书记处附署和核准征得国防人民委员或海军人民委员的同意。

3.规定经党的机关同意逮捕的人员，只有在有关党的机关事先同意的情况下，方可予以释放。

4.确定检察院只有在事先通知内务人民委员部机关的情况下才能释放从内务人民委员部机关移交检察院的案件中被捕的人。

如果内务人民委员部机关反对，在检察院和内务人民委员部的上级机构解决问题之前，不得释放被捕者。

如果苏联内务人民委员部与苏联检察院之间出现分歧，则由苏联内务人民委员部将问题移交给联共（布）中央批准。

5.明确禁止在侦查和司法程序的材料中提及党组织的决定和决议。

6.责成检察官积极参与内务人民委员部机构开展的初步调查，以消除调查中已发现的缺陷，及时根据管辖权指导调查案件，并防止无充分理由的将案件发回重新调查。

如有必要，检察机关本身有义务对从内务人民委员部收到的调查案件采取额外的调查行动。

公诉人在参与法律诉讼时，有义务采取一切措施澄清案件的全部情况。如果法院作出不公正的无罪判决和裁定将案件发回重新调查，检察官有义务根据既定程序对此类判决和裁定提出抗诉。

7.责成最高、边疆区、州、区、市和特别法院的主席在司法调查过程中充分确保对案件的所有情况进行彻底调查，并在必要时确保用最新的司法调查材料来补充初步调查的资料。

只有在庭审本身无法弥补初步调查的不足的情况下，法院才能将案件发回进一步调查。

8.责成司法机关，在判处由内务人民委员部移交的案件当中的被告人无罪释放或解除对被告人的羁押时，应当立即向内务人民委员部机关报告判决。

9.需要注意，在一些案件中，检察院和法院对从内务人民委员部移交的案件进行了肤浅和疏忽的审查，而他们正式的解决问题的方案是中止审查案件并将案件发回做进一步调查。

10.授权贝利亚同志和维辛斯基同志在苏联法院和检察院主要工作人员和内务人民委员部负责业务的主要工作人员的会议上解释这一决议。

1940 年 3 月

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.7.Л.24—28.原稿，机打。

134

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被扣押的В·西科尔斯基政府密使的文件的特别报告（摘录）

（1940 年 3 月 11 日）

编号 953/ б

联共（布）中央

斯大林同志：

正如苏联内务人民委员部 1940 年 2 月 26 日第 708/ б 号所报告的，巴黎西科尔斯基“政府”的密使日梅尔斯基兄弟——约瑟夫和斯坦尼斯拉夫在从罗马尼亚非法越境苏联的过程中被拘留，内务人民委员部切尔特科沃边防支队神不知鬼不觉地截获了他们的密件——他们在被捕的过程中将这些密件扔到了雪里。

在波兰作家亚当·密茨凯维奇的著作《先人祭》的帮助下，长时间未解密的文件现在已被破译，这本书原来是密钥。

在此，苏联内务人民委员部发送了以下从波兰语翻译过来的解密文件：

1. 给代理人的“武装斗争联盟”1 号指示

2. 1939 年 12 月 29 日“武装斗争联盟”总司令给在利沃夫市的连科夫斯基先生的命令。

3. 1939 年 12 月 29 日“武装斗争联盟”总司令给比亚韦斯托克第 2 区司令的命令。

4. 1939 年 11 月 5 日部长会议关于祖国事务的决定的摘录。

5. 1940 年 11 月 9 日给第 3 区指挥官关于收款程序的指示。

6. 1940 年 1 月 9 日给利沃夫区指挥官的备忘录。

7. 1940 年 1 月 9 日第 3 区指挥官关于无线电通信的指示。

解密后的文件被发送给乌克兰苏维埃社会主义共和国和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部。并附有关于在作战中运用这些信息的适当的指示。

乌克兰苏维埃社会主义共和国和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部被建议让赫鲁晓夫同志和波诺马连科同志知悉指定的文件的内容。

苏联内务人民委员贝利亚

绝密

翻译自波兰语

给代理人的指示第 1 号

波兰公众对占领者态度的基本准则

抵抗方法：

a）必须对占领者进行政治上的和同仇敌忾的抵制（原文如此——译注）。迄今为止的经验表明，波兰人民愤怒地拒绝与德国和布尔什维克占领者进行任何接触。波兰家庭、妇女，甚至儿童，必须用冷漠、蔑视和仇恨的石墙将自己与强盗隔离开来。强盗必须感到他们作为人民自由的折磨者和强奸者的角色是多么可耻，无论他们是自愿行动还是受到胁迫。

b）在与占领者的斗争中，应使用各种法律的、文化的、教育的和联合的形式来组织。公共生活的所有方面都应该表现出对即将到来的解放充满信念和与占领者进行斗争的精神，组织或公共团体对占领者的大规模抗议应该采取一种使占领者最没有理由进行直接镇压的形式。波兰公众将以奉献和忍耐为人民的事业提供巨大的服务。

c）波兰人将在学校、行政、商业、工业、农业、林业、铁路、邮政和卫生机构中服务，只要这样的状态使他们能够将工作的条件和他们所应承担的政治义务结合起来的话，这并不违背新波兰的利益。

d）有时，波兰人与占领当局在公共组织中旨在帮助民众的合作是允许的，不会有任何尴尬。

e）应该让波兰德意志人明白，他们以前对公民们所说的所有谎言将会遭遇报复。应当提醒波兰的共产党人，他们在占领区的活动是暴力性的，这种暴力也迟早会遭遇报复，与占领者合作的共产党人自己将会感受到，随着内政的改善，他们将永远失去波兰的舆论界并被永远唾弃。

f）间谍和奸细，在被证明有罪的情况下，将被处以死刑；证明他们有罪的文件应提交给波兰政府。

有必要将占领波兰者的残酷镇压的文件发送给委员会——被枪杀和被打成残废的人的姓名、他们的简历、照片等。

沦陷区的政治领导层将与波兰政府和法国合作。合作的形势取决于所面临的条件和存在的

可能性。波兰政府将尽一切努力为国家的秘密政治组织提供道义和物质支持。这些组织必须创建自己的交通站，以便秘密散发出版物、指示和交换秘密信件。交通站必须奉行一个地区设立两条平行的交通线的原则，确保第一条交通线不知道另一条交通线的存在，反之亦然。

一般来说，在所有的密谋工作中，以及在秘密交通站工作当中，都需要避免留下各种书面痕迹。主要是不能留下军事组织的名称、化名和其它秘密记录。目前现行的抵抗组织正在自发地组建，并应该基于以下原则置于军事指挥之下：秘密军事组织和“武装斗争联盟”是构成波兰共和国武装力量的组成部分。秘密军事组织的首席指挥官应隶属于波兰军队的最高指挥官。

组织的目标：

a）通过将精心挑选的单位联合成秘密行动联盟，创建一个积极的民族抵抗中心，中心将利用波兰公众的道德力量反对压迫。

b）为通过武装斗争共同光复国家，从波兰军队进入祖国的那一刻起，这些组织将被解散并编入正规军的行列。

行动的形式和方式：

a）向波兰公众通报政治和军事形势，并与德国和布尔什维克削弱人民道德力量的宣传作斗争。

b）对占领者保持仇恨并寻求将他们清除。

c）波兰人与占领者任何友好的、政治上的、组织上的联系都将被波兰政府视作对祖国的背叛，牵涉其中的人将受到制裁。

d）占领期间在我国领土上进行战斗和破坏活动——由“武装斗争联盟”指挥官的指示决定。后者根据最高领袖的指示指定这些行动的时间、性质和范围。

e）为在波兰正规军进入祖国时，占领区后方爆发武装起义而对干部进行军事训练的任务通过“武装斗争联盟”进行。

组织的政治定位：

a）“武装斗争联盟”组织是在我国领土上活动的唯一组织，在任何情况下都不能是几个相关组织的联盟。

b）武装斗争联盟是一个共同的超党派全国性组织，它将所有真诚的波兰人团结在其队伍中，无论他们的政治信仰如何，只要他们渴望与占领者进行武装斗争（就是该组织成员），“武装斗争联盟”同时致力于招募新成员以及创建这个联盟的新组织。

c）该联盟的所有招募工作都是在个人自愿的原则上进行的，主要是通过国内现有的社会

和政治组织以及“武装斗争联盟”的委员会来完成，这些委员会根据国务部长委员会的指示和训令行事。

d）“武装斗争联盟”的任何组成部分，不能有特权，所有波兰的组织和团体都享有平等的权利，并且必须服从“武装斗争联盟”的政治领导。

e）不允许个别团体的政治竞争和政治敌意。

f）秘密军事组织在“武装斗争联盟”地区指挥官的指导下开展其所有工作。

g）有必要避免导致损失和不必要报复的武装行动。每个武装行动都必须有一个严格定义的目的，并对应可能的损失和伤亡。

h）在当前的困难时期，波兰国家所有公民不分语言和宗教团结的基础，应该是与占领者积极的联合斗争。

i）波兰政府重申人民对解决少数民族问题的诉求。

“武装斗争联盟”——“戈赞巴”

（“戈赞巴”为索斯诺夫斯基将军笔名，他是“武装斗争联盟”的主要指挥官。——我们的注释）

1939 年 12 月 4 日

内务人民委员部国家安全总局第 2 处第 3 技术文献科副科长

国家安全上尉马祖尔翻译自波兰语

绝密

翻译自波兰语

“武装斗争联盟”总司令给公民连科夫斯基的命令

（据推测，连科夫斯基应该是在利沃夫市处于非法活动状态的多布罗沃尔斯基上校。——我们的注释）由于公民卡宾斯基被捕（亚努沙依茨将军的化名——该人已被捕，正在莫斯科接受调查。——我们的注释），我任命您为第 3 区（利沃夫市）临时指挥官。

责成您遵守我今年 11 月 29 日发给公民卡宾斯基的指示。

由于我任命的第 2 区指挥官公民柯巴（布鲁塔—斯别霍维奇将军的化名，处于非法活动的状态，正在被通缉。——我们的注释）的被捕，因此也授权您领导该区。这项任命是暂时的，直到选出对该地区合适的军官为止，届时请向新的军官转达我对第 2 区司令官的指令。我请您以笔名“Φ”通知我您的选择。我为该区的司令官留下了两个住所供选择：比亚韦斯托克或维

尔诺。

如果公民斯托利亚罗夫斯基（托卡尔热布斯基将军的笔名，他被任命为利沃夫的司令官。——我们的注释）到达利沃夫，让他服从第 3 区的指挥官。他的名字将由密使传达给您。

已经通过公民阿尔伯特（身份不明。——我们的笔记）发送给利沃夫一百万兹罗提，这些钱将被按照书商、律师或通灵大师地址发到各中介据点——根据当地政治领导人的协议进行分配。

基本上，我把一半的钱花在军事工作上。这笔钱的一部分应交给指定的第 2 区司令官。

守护者（西科尔斯基将军的笔名。——我们的注释）命令区指挥官从医院绑架被捕的公民瓦利古尔（安德斯将军的笔名——被捕，正在莫斯科接受调查。——我们的注释）并将其送到国外。

如果连科夫斯基先生因故不能履行第 3 区司令的职责，一切由他的副手负责。

总司令——戈赞巴（索斯诺夫斯基将军将军的笔名。——我们的注释）

1939 年 12 月 29 日。

国家安全总局第 3 技术文献科副科长

国家安全上尉马祖尔翻译自波兰语

绝密

翻译自波兰语

“武装斗争联盟”总司令致第 2 区司令

关于卡宾斯基被捕（亚努沙依茨将军的化名——被捕，正在莫斯科接受调查。——我们的注释），连科夫斯基先生被临时任命为利沃夫第 3 号区司令官（大概是在利沃夫市处于非法活动状态的多布罗沃尔斯基上校。——我们的注释），暂时代理比亚韦斯托克第 2 区的司令官，辖区包括前比亚韦斯托克省的维尔诺、新格鲁多克、波列斯克地区。

华沙地区的指挥官是拉昆先生（洛维茨基上校的化名。——我们的注释），他将代表我任命克拉科夫、波兹南、托伦、罗兹地区的临时司令官。

比亚韦斯托克受托与华沙——拉昆和利沃夫——连科夫斯基建立了经常性的联系，在立陶宛的 3 号基地建立起来之前，会通过这些联系向您发布指示。

请通过他们也尝试与布达佩斯 1 号基地指挥官波列辛斯基先生（扎克列夫斯基上校的化名。——我们的注释）和布加勒斯特 2 号基地指挥官普拉夫迪茨先生（罗兹特沃洛夫斯基上校的化

名。——我们的注释）联系。

对第 3 区司令官的指示对于第 2 区司令官也是一定要执行的。

在立陶宛占领区（维尔诺地区），除组织工作外，不能进行任何武装行动。

同时，我将立陶宛事务部长委员会的决定发送给您。从公民连科夫斯基那里收取活动经费。在担任第 2 区司令官后告知启动电台的可能性。将您的呼号或无线电台运行时间（技术数据）通过第 3 区司令官交给我。

给第 2 区的暗号，以及给密使用来传递给利沃夫指示的必要的识别标志。第 2 区应该向我通报识别其密使身份的标志。

请确认收到通过第 3 区转交的指示和经费。我也期待着关于第 2 区负责区域工作状况的报告。落脚点的选择由您来决定。如果比亚韦斯托克不适合，那就选在维尔诺定居。

总司令——戈赞巴（索斯诺夫斯基将军将军的笔名。——我们的注释）

1939 年 12 月 29 日

国家安全总局第 2 处第 3 技术文献科业务员

国家安全少尉切尔斯特瓦娅

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.206.Л.182—191.原稿，机打。在第一页有斯大林的笔迹“И • В”

135

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于嘉奖苏联内务人民委员部工作人员的特别报告①

1940 年 4 月 18 日

编号 1245/ б

绝密

联共（布）中央委员会

斯大林同志：

苏联人民委员会

莫洛托夫同志：

在内务人民委员部机关和部队完成党和政府任务的同时，一批工作人员无私地、圆满地完成了交给他们的任务。

苏联内务人民委员部认为有必要向内务人民委员部机关和部队中最杰出的工作人员授予政府奖励。

我提交了一份苏联最高苏维埃主席团关于授予：勋章——382 人和奖章——375 人的法令草案，供您审议。

此外，根据苏联内务人民委员部的命令，还将表彰一些杰出的工作人员。

我们提名的获奖者包括：捷卡诺佐夫同志——现任副外交人民委员、潘友新同志——苏联驻华全权代表、А·科布罗夫同志——驻柏林大使馆参赞。

我请求您的决定。

附录：苏联最高苏维埃主席团法令草案。

参考

列宁勋章——15 人

红旗勋章——36 人

红星勋章——127 人

荣誉勋章——204 人

获得勋章总人数 382 人

勇敢奖章——321 人

劳动英勇奖章——54 人

获得奖章总人数——375 人

总人数——757 人

苏联内务人民委员Л • 贝利亚

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1258.Л.135—136.原稿，机打。

注释：

①整个 1930-1940 年代的苏联领导层，多次实行对内务人民委员部员工的集体奖励。在这个特殊案例中，国家安全机构的很大一部分工作人员因参与了乌克兰和白俄罗斯西部地区的惩罚性行动，包括镇压波兰军人而获得奖励。

136

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于同芬兰交换战俘的特别报告

（1940 年 4 月 19 日）

编号 1462/ б

联共（布）中央

斯大林同志：

根据您的指示，苏联内务人民委员部报告：

一、为了苏联和芬兰之间的战俘交换，根据苏联人民委员会 1940 年 4 月 10 日的法令，成立了一个政府委员会，成员包括：委员会主席——列宁格勒军区情报处处长、旅级叶夫斯季格涅耶夫同志以及成员——外交人民委员部法制司司长助理通金同志，和内务人民委员部战俘管理局局长索普鲁年科同志[①]。

须从芬兰接收红军战俘和指挥官 5395 人，向芬兰移交战俘 800 人。4 月 16 日开始交换战俘。截至今天，4 月 19 日——107 人被移交给芬兰人，从他们那里接收了 792 人。交换发生在瓦尼克卡拉火车站，离维堡不远。

二、红军总参谋部制定了以下接收、运输和护送战俘的程序：

从芬兰来的战俘被分成班，班之下分成小组，为进一步遣送战俘任命了班长和班政委，并按以下比例分配必要的政治、管理和卫生人员：200 名战俘——1 名中级指挥官、1 名政治教官和 10 名初级指挥官，此外还有团队——2 名医生和 4 名护理人员。

根据红军总参谋部的指示，战俘没有被押送，而是由专门的指挥人员护送。

所有被俘的战俘必须安置在诺夫哥罗德市附近的兵营中，指挥人员与红军士兵分开安置。

在安置战俘的地方（在诺夫哥罗德市的军营中）兵营内部的职责分配（值班和值日）由专人来进行。不再有其他的任何警卫。

战俘班在从战俘营返回后只有在兵营中待满不少于十天才被允许进入城市。对于指挥员允许一个人前往城市。

三、为了在苏联内务人民委员部接收的战俘中开展相关的契卡作业行动，进行了如下工作：

在瓦尼克卡拉火车站交换处部署了内务人民委员部列宁格勒特别处的 8 名作战人员，负责对梯队中的战俘进行初步筛选和进一步护送，每个军列车厢一名作战人员。

在诺夫哥罗德的战俘收容所安排了一个由苏联内务人民委员部国家安全总局特别处调查室副主任、国家安全大尉卡扎克维奇领导的行动小组，他得到了有关开展工作的方法的适当指示。

四、国防人民委员部制定的运送和安置战俘的规则并不能确保他们被适当隔离，也不能保证可能的逃跑。诺夫哥罗德市的兵营只能容纳 3000 人，无法容纳所有战俘。

考虑到在被俘的战俘中，无疑会有相当多的人被芬兰和可能的其它情报部门发展为下线，苏联内务人民委员部认为有必要确保对被俘的战俘进行彻底甄别并采取适当的契卡行动措施，他们需要隔离至少 2-3 个月。

为此，我们认为将战俘安置在位于伊万诺沃州、距离维亚兹尼基火车站 47 公里的内务人民委员部尤日斯基集中营是可取的。过去，这个集中营是内务人民委员部少年犯劳教所。该营地设计可容纳 8000 人，非常适合安排战俘安置。

契卡行动小组最多将有 50 人，并提供合适的领导人。

五、为此，请您做出以下决定：

1. 建议国防人民委员部：

a）把从芬兰接收的战俘送到苏联内务人民委员部的尤日斯基集中营；

b）在战俘军列运行期间建立守卫和护送程序，排除逃跑的可能性；

c）将必要的资金转给尤日斯基集中营的支配，用于为战俘提供食物；

d）在集中营内的战俘中组织适当的工作。

2. 建议内务人民委员部：

a）在尤日斯基集中营做好准备以接收来自芬兰的战俘；

b）由苏联内务人民委员部的保卫部队组织营地外围卫队；

c）根据规范安排战俘津贴，费用由国防人民委员部财务处的资金支付；

d）确保对战俘当中被外国情报机构收买者、可疑分子和异见分子，以及自愿向芬兰投降的人采取精确的契卡行动，随后将这些人提交给法庭；

e）在 3 个月内完成甄别战俘的工作。

苏联内务人民委员Л • 贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.66.Д.580.Л.88—92.原稿，机打。

注释：

①彼得·卡尔波维奇·索普鲁年科（1908-1992），国家安全机构工作人员，少将。出生于基辅省伊佐木村一个屠宰场工人家庭。1928 年起任联共（布）党员。1938 年在红军伏龙芝军事学院接受教育。自 1938 年起在内务人民委员部——内务部的机关工作。从 1938 年 11 月到 1939 年 6 月，他是苏联内务人民委员部领导——业务工作人员培训班主任，随后担任苏联内务人民委员部书记处处长助理。从 1939 年 9 月到 1943 年 2 月，他是苏联内务人民委员部战俘和被拘禁者局（УПВИ）的局长。1943 年 2 月至 1944 年 5 月，苏联内务人民委员部战俘和被拘禁者局（УПВИ）副局长。1944-1946 年任内务人民委员部卡梅涅茨-波多尔斯克州局局长，内务人民委员部——内务部外喀尔巴阡州局局长。卫国战争结束后，他在古拉格服役，负责建筑事务。1963 年转入预备役。

137

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于苏联战俘工作的特别报告

（1940 年 5 月 23 日）

编号 2065/ б

斯大林同志：

在与芬兰交换战俘的过程中，共接收了 5277 名红军*前军人*，其中 373 名是指挥、领导和政工人员。

返回的战俘被关押在内务人民委员部的尤日斯基营地。

在集中营的战俘总数中，有：乌克兰人 1368 人、白俄罗斯人 176 人、芬兰人 19 人、卡累利阿人 173 人、鞑靼人 97 人、格鲁吉亚人 39 人、科米人 31 人等*。

为了针对战俘的专项工作，已经安排了 50 人的工作人员行动小组。

在行动组的工作过程中调查发现：间谍和可疑的间谍——106 人，反苏志愿队参与者——166 人，奸细——54 人，嘲笑我们战俘当俘虏者——13 人，自愿投降的人——72 人。

到今年 5 月 15 日。工作组审讯了*1448*名前战俘。

在芬兰情报机构招募的反苏联间谍中，值得注意以下几人：

战俘列夫·尼古拉耶维奇·罗曼诺夫曾在第 44 步兵师第 146 步兵团担任该团机要室译电员，被征入红军之前——阿什哈巴德市苏维埃的总工程师，他亲口说他被芬兰人招募从事间谍工作。

在囚禁期间，罗曼诺夫应芬兰人的要求编辑了几份反革命传单，这些传单后来成为他被招募的基础。在返回苏联之前，罗曼诺夫接受了芬兰人的一项任务，在白海运河或一个军事单位找到一份工作。为了联系，芬兰人收走了他的家庭住址。（罗曼诺夫没有被详细审问，因为他因重伤在科夫罗夫医院住院。）

出生于 1919 年的第 25 摩托化骑兵师第 138 骑兵团前红军士兵尼古拉·伊万诺维奇·格里巴在接受审讯后供述说，芬兰人多次邀请他在集中营开展针对苏联的情报工作和加入一个旨在“为了整个俄罗斯人民的利益”推翻苏维埃政权的反苏组织。

在被囚禁期间，尼古拉·格里巴向芬兰人提供了一份特殊问卷的书面答案，其中包括 50 多个军事、经济和政治性质的问题。此外，在芬兰人的建议下，格里巴接触了反苏文学，他提

到了 3 本书：《黑色飞廉花的后面》、《死亡之船》、《剪裁完美的大衣》。

在交换战俘前几天，格里巴被转移到图尔库的监狱，那里集中了非俄罗斯民族的战俘。在监狱中，格里巴被一名芬兰情报官员、俄罗斯白卫分子招募，后者提议他在返回苏联后在费尔干纳运河一家报纸的编辑部找到一份工作。这名军官告诉他，无论格里巴是否同意，情报信使都会来找他，他会使用暗号与他联系：“1940 年 3 月 1 日，你在哪里”。

战俘谢尔盖·格里高利耶维奇·西沃拉波夫，出生于 1907 年，第 44 步兵师第 146 步兵团第 1 营通信排的中尉指挥官。他承认，在被囚禁期间，在芬兰白卫分子的建议下，他回答了一份详细的问卷，涵盖了苏联生活中的军事政治和经济问题。之后，西沃拉波夫被从集中营带到赫尔辛基警察局，在那里他还以书面形式回答了一些关于苏联生活的问题。芬兰情报部门要求西沃拉波夫在未来与他保持联系，并推荐一种他认为更合适的沟通方式。西沃拉波夫推荐用无线电作为一种沟通方式。西沃拉波夫没有说他应该如何通过无线电进行沟通。在囚禁期间，西沃拉波夫以格罗多夫斯基的身份挂名。

战俘罗曼·哈里托诺维奇·舍姆别尔科，乌克兰第 44 师第 25 步兵团的前文员，在被征入红军之前，是日托米尔地区托波尔科夫斯基甜菜农场的会计，承认他于今年 1 月 19 日被白卫分子招募，在苏联境内从事反苏和间谍活动。舍姆别尔科给芬兰情报部门两份书面承诺，并奉命在农村组织反革命小组。

战俘瓦连金·瓦西里耶维奇·费申科，前 85 团俱乐部工作人员，1917 年出生，在被征入红军之前，是撒马尔罕市铁路俱乐部的艺术家。他供述说，他是在缔结和平条约后被捕的——1940 年 3 月 13 日 18 点。在集中营期间，费申科多次被芬兰情报部门招募从事间谍工作。芬兰情报官员提出让费申科去美国学习间谍活动，之后他承诺将他调往苏联从事情报工作。费申科在审讯中说，他拒绝了这个提议，但同意在战俘中进行削弱士气工作，并在芬兰情报官员的指示下，在战俘中展开游说，要求他们不要返回苏联。

战俘阿卡季耶夫，前第十八师士兵，在应征入伍前曾在基洛夫铁路马亚斯卡亚车站担任助理司机。他供述说，当他在营地多次被传唤审问时，芬兰调查员对白海—波罗的海运河和基洛夫铁路特别感兴趣。阿卡季耶夫将他所知道的有关白海—波罗的海运河的船闸和其他建筑的建造情况告诉了芬兰调查员。接到调查员的提议，让他在地图上标明基洛夫铁路上的升降机、桥梁和其他结构的信息，阿卡季耶夫看到这张地图上所有的设施都已经被标注清楚，因此他无法添加任何内容。

41 名战俘的证词当中提到，在今年 2 月芬兰指挥部与来自红军战俘和指挥官的白卫分子

中心代表组成了一个志愿部队，目的是利用它来对抗红军。

该支队成员、第 44 师第 305 团的一名前红军士兵斯捷潘·克拉夫丘克供述说，今年 2 月 25 日，在战俘营，招募了一个志愿者部队。4 号营地共招募了 152 人进入志愿部队。在通过个别征召进行招募后，该部队的所有成员都被转移到一个特殊的营地，在那里他们被分成若干个排，并在那里受到反苏策反。同时，他们被告知，该分遣队的目的是与芬兰侦察部队一起在乌赫塔方向行动。该部队的指挥人员是从懂俄语的芬兰军官中挑选出来的（4 人）。缔结合约后，每个部队成员都被问到是否想留在芬兰，并被警告说需要向苏联当局隐瞒参加志愿部队的事实。

根据参加志愿部队的战俘拉柳辛和格罗杜辛的证词，前第 14 公路养护团团长弗拉基米尔·戈洛夫，1907 年出生，非党员，在应征加入红军前曾在莫斯科服装厂担任技师，担任这个部队的征兵员。缔结合约后，戈洛夫多次召开部队成员会议，要求志愿者向苏维埃当局隐瞒自己参加支队的情况，并为剩余的叛徒提供庇护。在审讯中，戈洛夫承认了他在创建反苏分部队中的组织作用。

根据战俘安东诺西扬、西贾金和布恩达克的证词，在战俘中，乌克兰人被招募到“乌克兰军团”中，据称该军团是由在外喀尔巴阡乌克兰的英法人士创建的。白军移民、乌克兰民族主义者舒尔金和沃伦上校参与了招募工作。舒尔金向战俘布恩达克和德米特里·阿基莫维奇·格里查尤克提出加入这个军团。格里查尤克被传唤到营地办公室，芬兰人在那里递给他一封舒尔金的信，他在信中要求对他的提议作出实质意义上的答复。这封信标明了舒尔金的巴黎地址，格里查尤克应该向这个地址发送答复。（格里查尤克本人没有受到讯问，因为他表现出精神障碍的迹象。）

前红军第 13 集团军第 469 步兵团的士兵谢里夫·加里富林供述说，在鞑靼战俘中在招募人员从事间谍活动，并有为建立“伏尔加-乌拉尔国家”而斗争的鼓动。加里富林被要求与乌法市的穆斯林神职人员管理局进行联系。

现已查明，芬兰人在乌提集中营的第 44 步兵师的战俘里创建了一个反苏合唱团，由合唱指挥领导，合唱指挥是第 44 步兵师前红军士兵雷修克。这个合唱团在集中营中演奏了君主主义和宗教歌曲以及反苏歌曲。

一些战俘收到了在电台上发表反苏捏造的讲话，并呼吁红军士兵投降的建议。

战俘亚申和安德烈耶夫在芬兰白卫分子的指示下，在电影院摆姿势进行挑衅性拍摄。拍摄结束后，亚申被带到广播演播室，在话筒前对着红军士兵发表叛国式的呼吁，提出放下武器，杀死政治指导员和指挥员，主动投降。

英法等报刊记者走访战俘营。在 3 号营地，10 名战俘被传唤与记者交谈，其中包括前第 44 步兵师第 25 团副团长阿利亚诺夫少校和第 163 步兵师的护士库里钦娜。

战俘、前第 44 步兵师第 25 团红军战士加里宁和科米沙丘克的证词，确定了今年 1 月 7 日，在白卫芬兰人包围第 44 师部队期间，通过事先勾结，一群 25 和 146 团的战士和指挥官共 60 人，放下武器，主动向芬兰白卫分子投降。加里宁和科米沙丘克是自愿投降的人之一。

第 168 步兵师独立电报架设连的红军士兵霍夫琴恩、基里洛夫、谢苗诺夫和叶夫多基莫夫，在被征入红军之前曾住在卡累利阿苏维埃社会主义自治共和国，也自愿投降。

霍夫琴恩出生于 1910 年，非党员，民族成分为芬兰人，曾被芬兰人用来在红军士兵中煽动。

在 5 月 14 日抵达尤日斯基集中营的 44 名战俘中，有 21 人被囚禁，他们向芬兰人宣布他们希望留在芬兰。尽管如此，芬兰人还是将他们送回了苏联。

根据对随同这群人一起抵达的战俘费德琴科和斯穆雷金的审讯所查实的，在被遣送回苏联之前，芬兰情报部门的一名上校与所有表示希望留在芬兰的人进行了特别交谈，警告他们在任何情况下都不要将自己留在芬兰的愿望通知苏联当局。

在前战俘中确定在被囚禁期使自己身败名裂的人的进一步工作仍在继续。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.66.Д.580.Л.108—116.原稿，机打。

在*处有斯大林的笔迹“俄罗斯人呢？”

*—*处有铅笔下划线。

138

红军总参谋部情报部致联共（布）中央И·В·斯大林的备忘录附转发的特工的情报

（1940 年 6 月 4 日）

编号 251784cc

绝密

第一册

呈送消息源[①]于 40 年 6 月 3 日发来的关于以下问题的报告：

1. 关于克里普斯所谓的莫斯科之行和苏德经济关系；

2. 关于德日关系和德国驻莫斯科大使馆对苏联一立陶宛关系的反应，以及

3. 关于德国驻东京武官马茨克上校和莫斯科助理武官海根多夫中校关于在波兰和西方的战争经验的言论。

附录：12 页材料

普罗斯库罗夫

附件 1

消息源 40 年 6 月 3 日关于克里普斯所谓的莫斯科之行和苏德经济关系的报告

1.[1940 年]5 月 29 日，德国驻莫斯科大使馆收到外交部电报，内容大致如下：

柏林外交部有可靠消息称，苏联政府将接待获得特别授权的英国政府的克里普斯。

为阻止苏联政府与克里普斯就达成贸易协议或其他协议可能进行的谈判，外交部打算立即将里特尔和施努尔派往莫斯科。（作者没有看到电报，内容是在谈话中传达给他的）。

5 月 29 日晚，使馆回电给柏林，内容如下：

“大使馆认为，苏联政府即将接待克里普斯的消息很有可能是真的，但只是因为苏联政府有兴趣了解英国政府将提出什么建议。

德方可以对克里普斯的来访没有任何顾虑。苏联政府的立场是完全中立的。大使馆相信，苏联政府不会同意与英国达成任何与德苏条约相抵触或以任何方式损害德国利益的协议。

此外，经验表明，苏联政府不喜欢与那些仅仅因为激进的世界观就被派往莫斯科而背后没有实权的人进行谈判。基于此，可以假设克里普斯访问莫斯科对英国政府没有任何好处。有鉴

于此，使馆认为里特尔和施努尔没有必要因克里普斯的访问而访问莫斯科。

由于目前对里特尔和施努尔而言没有任何特别的谈判对象——一面是同苏联政府——另一面则没有，因此施努尔和里特尔将空手而归并且会给苏联带来来自德国方面新的要求和愿望，而与此同时克里普斯很可能会带来一些礼物。这就已经足够使人不愉快了。此外，在任何情况下都不应该给苏联留下一方面是里特尔和施努尔，另一方面是克里普斯之间的竞争的印象。”

5 月 30 日，苏联报纸发表塔斯社报道称，苏联不打算接受克里普斯先生为特使。这消息让所有人松了口气。

然而，5 月 31 日，大使馆收到外交部的消息，称英国政府已任命克里普斯先生为其驻莫斯科大使。尽管如此，6 月 1 日，使馆又收到了柏林的另一封电报，其中说，根据使馆 5 月 29 日电报的内容，里特和施努尔的莫斯科之行已被推迟。

2.近日，关于苏联向德国供应铬矿的贸易谈判在莫斯科举行。

几天前，这些谈判被中断，因为价格问题没有得到明确，尽管德国中间商被授权以苏联提出的相同条款和价格缔结贸易协定。

德国中介预计，这次谈判中断将能够为德国争取到更优惠的价格。

苏联要求 93.50 德国马克并通过列宁格勒的运输，德国人只给了 65.00 德国马克。由于拟出口的铬矿量为 10 万吨，因此价差高达 280 万德国马克。

因此，让苏联在价格上让步是完全不合理和不必要的，因为柏林愿意付出苏联要求的任何价格。

德国中间商使用了等待策略，因为他们预计战争将很快结束，德国将拥有更便宜的土耳其矿石，或者德国军队将在法国夺取大量矿石储备。

为了压制这种战术，苏联最好通过电报通知德国中间商，苏联可以将这种矿石用于自身的需求。

苏联不能再等了，必须给德国一周或十天的时间，在此期间它必须决定是否同意苏联的要求。

不存在任何降价的问题，因为鉴于极其不利的运输条件（已告知德国），苏联的铬矿成本不允许这种降价。

可以肯定的是，在收到这样的电报后，德国将接受苏联的要求，从而为苏联节省上述 280 万马克。

附件 2

消息源 40 年 3 月 6 日关于德日关系和德国驻莫斯科大使馆对苏联—立陶宛关系反应的报告

1. 在评估德国和日本之间的关系时，重要的是要考虑以下细节：

1940 年 4 月 17 日，日本政府向德国政府递交了一份照会，称德国对日本的交货不令人满意，并且有一些德国公司将订单退回日本的情况。因此，日本政府要求德国根据协议紧急启动供货，特别是生产汽车的机器，否则日本也将被迫改变对某些德国供货的态度。制造汽车的机器对日本至关重要。

与这份照会相关联的，是德国政府试图在当下在莫斯科举行的铁路工作人员会议上就通过西伯利亚大铁路运送重型货物（5000 吨以下）达成协议。因为没有其它方式可以运送这些物资。

德国人的圈子只担心现有的桥梁将难以承受这样的负载。

2. 塔斯社发表的“立陶宛冲突”文章在使馆内引起轰动。在这篇文章发表后的第一天，大使馆就认为苏联对波罗的海国家的直接占领迫在眉睫。与此同时，有人表示（大使馆参赞希尔格）认为德国人不会反对这种占领，因为这种占领事出有因。几天后，什么也没发生，大使和希尔格得出了不同的结论，即从立陶宛开始推进的对波罗的海沿岸国家的占领不会发生得那么快，而且苏联政府摆在第一位的任务，显然是加强自己对波罗的海国家的政治，或许还有军事的影响力。

大使从希尔格的话中无法知道莫洛托夫给立陶宛政府提了什么样的建议以化解冲突。但是可以假设这些提议包含将苏联军事或政治代表引入立陶宛政府并扩大现有苏联驻军的要求。希尔格补充说，当然，不可能知道未来几天是否会发生对立陶宛的占领。唯一清楚的是，在占领立陶宛之后，将要发生的是占领拉脱维亚和爱沙尼亚。

附件 3

消息源 40 年 6 月 3 日关于马茨克上校和海根多夫中校关于同波兰和西方的战争经验的言论的报告

1. 德国驻东京武官马茨克上校在德国进攻比利时、荷兰和法国北部的前两周，作为客人去了其中一个司令部并参与了行动。消息源没有与马茨克上校本人交谈。马茨克与他的军队同事分享了他的印象，并详细谈论了它们。

马茨克上校以极其自信的心情从比利时战区返回。西部战线的行动以如此强大的力量和速度发展，以至于所有敌人的防御计划都被推翻。伞兵和空降部队表现尤其出色。仅在鹿特丹附近，就有 15,000 人带着机枪、轻武器、高射炮和轻型坦克登陆。不幸的是，几架大型运输机在鹿特丹机场上空被敌击落。然而，安全登陆的军队人数如此之多，以至于荷兰人无法应付。伞兵在征服阿尔伯特运河方面发挥了重要作用。阿尔伯特运河无疑需要我们进行血腥的战斗，因为如果敌人及时成功地炸毁了桥梁，那么通过常规手段就绝对不可能攻克它。伞兵们首先阻止了炸桥。他们加强了通过其它方式到达那里的士兵们的力量（海根多夫不想详细谈论这种“其它”方式）。

因此，桥梁对于德国装甲部队的推进而言仍然是开放的，从而瓦解了敌人的整个防御系统。

对我们的敌人来说，同样令人惊奇的是迅速占领了列日要塞中最强大的堡垒。在这里，我们使用了近年来获得的所有经验，包括波兰战役的经验。然而，攻占列日与攻占苏台德和捷克斯洛伐克的投降密切相关。对此，曾居住在布雷斯劳的海根多夫中校表示，他本人参与了在前捷克斯洛伐克最强大的防御工事上进行的实验。在大约一年的时间里，德国指挥部系统地对这些防御工事进行了各种实验。他们经受了手榴弹、任何口径的炸弹、火攻、炸药和化学武器的考验，直到他们最终找到了一种可以夺取这种防御工事的方法。可以说，如果没有捷克斯洛伐克的投降，列日的攻陷是不可能的。现在我们也可以说，马其诺防线本身对我们来说并不是不可逾越的障碍。

关于使用的手段——此种手段被用于捷克防御工事的实验并被证明是合适的——的性质问题。海根多夫说，这是一个不能谈的军事秘密。有鉴于此，他也没能确切地说出个所以然。当被问及这是否与提到的有效手段——喷火坦克有关时，海根多夫顺便说：“是的，他们也参与了列日附近的事情。”

马茨克上校说，比利时堡垒的驻军被这次进攻的力量和新的战争手段的引入所撕碎，实际上无法坚守下去。最重要的目标和道路遭受的持续空袭极大地促进了对敌人的压制和对他们士气的打击。比如说炸弹，我们现在使用最大口径的炸弹，重达 1,700 公斤。这些炸弹装有蜂鸣器，落下时会发出震耳欲聋的轰鸣声。这为敌军士气的进一步消弭推波助澜。当这样的炸弹落在一些部队身上时，这些部队就失去了继续战斗的意志。

总的来说，比利时人和英国人的战斗非常勇敢，但他们完全无法抵抗我们的武器和我们的战略。

我们经常观察到，法国人比英国人和比利时人更容易投降，而且他们更容易交枪当俘虏。

甘末林上任后，情况有所好转。几乎在一夜之间，人们可以注意到法国的抵抗愈演愈烈，变得更加顽固。在甘末林到任之前，法国人犯了一个大错误，即分散他们的部队进行局部反攻，而不是集中他们所有可调动的部队发动大规模反攻。结果是整师整师的部队被消灭，而现在对于法国人来说兵力是如此的不足。此外，法国空军的很大一部分已停止运作。

由于我们出色的情报部门和我们的窃听哨所，我们如此及时地了解了法国进攻命令的所有细节，我们可以在受威胁的地方集结如此多的部队和物资，以至于这些部队和物资足以击退法国人的任何反击。盟军司令部十有八九不能做大的改动，主要是因为按照我们的计算，法国只有 50 个师，其中 20 个师可以算是机动编队。法国最好的突击部队在北方被切断。苏联报纸曾引用一项数据，据称我们在西线部署了大约 120 个师。我只能说，如果我们的对手相信这一点就好了。实际上，我们部署的师远远不止这个数。

我们没有在波兰战役后立即向西方发动攻势这一事实证明是非常合适的。当时，我们有两种意见。

其中一种意见，即军队的意见，总结起来就是我们应该推迟西线战役，以便有时间利用波兰战役的经验，将所有部队整合起来。此外，有必要对军备进行局部但显著的调整。

另一种意见则来自统治集团，要求立即发动进攻。幸运的是，军队的意见占了上风。

在波兰战役期间，我们的军队仍然非常杂乱无章。人们对一切进行得如此顺利只能感到惊讶万分。

在冬天已经完成了大量的工作。部队接受了整齐划一的训练，对战士的教育进行得极其严格。最后，连对敬礼的要求也从来没有这么清楚过，即使是平时在军营的院子里，最近几个月在西面围墙[②]（西线部队）的情况也是如此。即使表现出最轻微的士气低落也会立即受罚。每个战士，无论是军官还是普通的士兵，带着最小的行李箱来到这里，但如果在里面发现了其它物品，没有任何怜悯，直接靠墙罚站。

在几个月的时间里，我们将波兰战役期间表现得杂乱无章的军队转变为一支整齐划一的、有凝聚力的军队，在其中最严格的纪律起支配作用，得益于这些工作我们才能够取得目前的成功。

在这方面，法国人显然已经睡过了这个冬天。如果他们现在想后来居上，对他们来说将是非常困难的，因为他们几乎没有多少时间可以支配。

关于战争可能的进一步进程，有人说：应该假设首先将继续对法国进行战争，目的是彻底摧毁法国军队，以便使我们只面对一个敌人，即英国人。应该假设完全摧毁法国人将需要不超

过 4 周的时间。

目前看来不太可能与法国单独媾和，因为我们有能力彻底摧毁法国人，然后我们就不必害怕来自侧翼的威胁。还应该假设意大利人将从他们迄今为止进行的唯一战斗中继续前进，即通过打宣传战，逐渐走向打武器战。然而，意大利人的观望（含糊）政策，不知道什么时候才能真正发动进攻。法国灭亡后，就轮到英国了，这将不再是一件很困难的事情。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.45.Оп.1.Д.435.Лл.39–51.机打，原稿签名手写。

有笔记：允许解密。

出版信息：《1941 年文件集（第一册）》1998 年版，第 6 号文件。

注释：

①Г·凯格尔（纳粹德国和民主德国时期的德国外交官，苏联情报机构的线人）。

②显然，这是指西方的防线。

139

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于矿井火灾的特别报告

（1940 年 6 月 7 日）

编号 2319/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

今年 5 月 31 日 5 时 35 分，基泽尔煤矿托拉斯（莫洛托夫州）的列宁矿井发生火灾。

该矿整个三个斜面已被大火烧毁，目前日产煤量由原来的 1500 吨改为 600-700 吨。

4 支矿井救援队共 150 人参与灭火。

灭火采取安装耐火材料和端桥的方式，安装工作于 6 月 7 日晚完成。据初步调查，火灾是由于对明火处理不慎所致。

现场调查正在由内务人民委员部莫洛托夫州局副局长带队进行。

副苏联内务人民委员梅尔库洛夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.333.Л.198.原稿，机打。

在页面有批示：“贝利亚同志，有必要将‘玩忽职守’导致起火的罪人判处 5—8 年监禁。И • 斯大林”

140

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于调查Н·С·安加尔斯基—科列斯托夫案件的特别报告附审讯笔录①

（1940 年 6 月 29 日）

编号 2656/б

斯大林同志：

在此呈送 1940 年 6 月 26 日被捕的尼古拉·谢苗诺维奇·安加尔斯基—科列斯托夫——前马克思恩格斯列宁学院高级研究员的审讯笔录。

安加尔斯基-科列斯托夫承认，他从 1896 年到 1915 年与沙皇秘密警察合作，并在其指示下在斯摩棱斯克、斯塔夫罗波尔、罗斯托夫、哈尔科夫和莫斯科进行了积极的奸细工作。（见第 1-18 页）。

1903 年，为了消除对自己奸细活动的怀疑，安加尔斯基-科列斯托夫与秘密警察达成协议，前往日内瓦，在那里他联系了以普列汉诺夫为首的一群社会民主工党人。

安加尔斯基-科列斯托夫从日内瓦带着社会民主工党的非法材料返回俄罗斯，包括提交给俄罗斯社会民主工党顿河区委员会的俄罗斯社会民主工党第二次代表大会的会议记录（见第 9、10 页）。

二月革命后，安加尔斯基-科列斯托夫一贯反对党的领导政策：1917 年 4 月——在对当时政治形势的评估问题上反对列宁；在党的第六次代表大会上——在革命的驱动力和对当时形势的评估问题上反对斯大林；1918 年，他因在莫斯科委员会发表反对党的农村政策的言论而被开除党籍；1921 年，在莫斯科市会议上，代表“民主集中制”派和“工人反对派”的联合反对派发言（见第 19 页）。

1924 年，在作为莫斯科外贸公司的授权代表在柏林工作期间，安加尔斯基通过孟什维克外国代表团成员尼古拉耶夫斯基的招募为德国情报部门工作，并与孟什维克移民有瓜葛（见第 19、20、21 页）。

安加尔斯基-科列斯托夫与德国情报部门合作直到 1938 年。

1924 年，通过伦敦英苏贸易公司的前秘书 А·波格丹诺夫（已判刑），安加尔斯基-科列斯

托夫被招募为英国情报部门工作（见第 24、25、26、27 和 28 页）。

1932 年，在被任命为苏联驻希腊贸易代表之前，安加尔斯基-科列斯托夫被罗森戈尔茨卷入托洛茨基组织，并在罗森戈尔茨的指使下，在希腊进行敌对工作（见第 29 页、30 页、31 页）。

自 1935 年起，掌管“国际图书公司”期间，安加尔斯基-科列斯托夫也进行了敌对工作。

在与安加尔斯基—科列斯托夫一起参与反苏工作的人员中，以下人员未被逮捕：

1.伊万·雅科夫列维奇·伊扎克，苏联林业人民委员部出口部高级工程师（见第 27、28 页）。

2.弗拉基米尔·亚历山大洛维奇·亚当森，前苏联驻希腊副贸易代表，现在没有特定职业（见第 31、33 页）。

3.瓦连京·阿诺福利耶维奇·叶列涅夫斯基，前“国际图书公司”副董事长，现无具体职业（见第 35-38 页）。

4.费多尔·萨维利耶维奇·列文森，前国际图书公司出口办公室副主任（见第 35-36 页）。

И·Я·伊扎克、В·А·亚当森和В·А·叶列涅夫斯基和Ф·С·列文森正在被苏联内务人民委员部拘捕中。

对Н·С·安加尔斯基-科列斯托夫案的调查仍在继续。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

被捕的尼古拉·谢苗诺维奇·安加尔斯基—科列斯托夫的审讯笔录

（1940 年 6 月 26 日）

Н·С·安加尔斯基-科列斯托夫，1873 年生，斯摩棱斯克人，前联共（布）成员——自 1902 年以来，被捕前——马克思-恩格斯-列宁研究所高级研究员。

问：作为沙皇秘密警察的特工和德国和英国情报部门的间谍，您对多年来积极参与反革命工作的行径供认不讳。

您确认这一点吗？

回答：是的，我确认。

问题：那么我们给您机会在个人供词中讲述你所有的罪行。

答：现在我被捕了，不想再隐瞒我多年来对党和工人阶级的奸细工作，我想把我的罪行全

部告诉苏维埃调查机关。

我从 1902 年就被认为是俄国社会民主工党的成员，事实上，在那之前的四年，从 1898 年开始，我就为沙皇秘密警察充当密探。

在招供我的秘密警察从业之路之前，我将简要报告我的个人履历。

我来自一个二等商人之家，家父谢苗·阿列克谢耶维奇·科列斯托夫拥有一个有两栋房子的书店和斯摩棱斯克市最大的公共图书馆。

1893 年或 1894 年，我住在斯摩棱斯克期间，加入了由梅施利亚耶夫领导的被判处行政流放的革命者的圈子。

1896 年，我因非法持有民意党出版的两本题为《从祖国到祖国》的小册子而被省宪兵局逮捕。

在同一个 1896 年冬天，当我被一名宪兵队长审问时（我已经很久不记得他的姓氏了），我坦率地招供了这些小册子的来源，并说出了我在莫斯科接受治疗时让我收到这些小册子的学生的名字。

我还告诉警方，我还有普列汉诺夫出版的《社会民主》杂志。这本书——我在宪兵局审讯时展示过的——是我寄给当时住在斯摩棱斯克的一名学生沙莫夫斯基的。

对宪兵队长，我进一步表示，我早就放弃革命观点，不打算继续参加学生的或任何其他的反对现行国家制度的运动。

两周后，我在学生沙莫夫斯基的哥哥的担保下获释，他在城市银行担任要职，随后我为此支付了多达 1000 卢布。

一年后，内政部作出判决，我被判处 3 个月监禁，之后接受警方 2 年的监管。

在斯摩棱斯克监狱时，我对自己处于反革命立场，长期与实际革命活动没有任何关系，但同时被当局关押和迫害的事实思考了很多。在监狱里，我第一次有了与警察保持联系的想法。

1897 年出狱后，曾受邀参加斯摩棱斯克的一个学生群体的会议，但从某处得知我在宪兵局受审时的卑鄙背信弃义行为的学生特奥多罗维奇经与他人商量后建议我离开会议，这让我更加痛苦。

这种情况，加上我的反革命观点，还有资产阶级的出身，把我推上了报复、告密、背叛的道路，最终使我成为奸细。

此时的情况是这样的：出狱后，我不得不将图书馆和书店合法化，这些产业在父亲去世后就没有人看管，而父亲在我入狱后就被送进精神病院。

为此，我的母亲仿佛沉迷扑克牌游戏，在一个贵族俱乐部开始向宪兵局局长格罗米科上校输掉大笔款项，我也假装卖给他一批种马和四轮马车，但实际上二者都是对贿赂“高雅”的掩护。

与斯摩棱斯克省长办公室主任的教女贵妇季娜伊达·康斯坦丁诺夫娜·卡赞采娃（1918年去世）的婚姻完成了我道德沦丧的过程。

我开始不止一次拜访格罗米科宪兵上校，并坚持向他证明我已经永远与革命决裂了，现在我和他持同样的观点，我准备在实践中做出相应的证明。

我向宪兵上校证明说“社会主义是——一种假设，是病态道德的结果”，我承认俄罗斯现有的秩序是最好的，我准备用我的生命来保护它免受我们独特的“代表一切阶层”的知识分子或“目无长幼尊卑”的社会民主党人的腐蚀，我向他表达我对政府的效忠，“我做梦都想着被称为皇帝忠诚臣民的幸福感。”

因此，宪兵上校甚至不必为招募我付出一些努力，因为事实上，我本人主动提出要与秘密警察合作，为此我得到了他的同意。

由于格罗米科上校的四处奔走和我向警察部门的请愿，在与宪兵局合作一年后，1899 年 10 月，司法部长穆拉维约夫通知我，“奉皇帝的最高命令”，我——尼古拉·科列斯托夫——已经解除警方的公开监视，莫斯科法院和检察官已收到通知。

从 1898 年底开始，我开始经常性地向斯摩棱斯克宪兵局提交关于当地自由派和革命者的政治情绪的报告，部分是出于报复，报告了我在上面展示的学生特奥多罗维奇的反国家工作、关于加入民意党的当地居民米哈伊尔·瓦西里耶夫的情况、关于亚历山德罗夫老师的情况、关于公共图书馆董事会成员的革命情绪的情况、关于我自己的兄弟——瓦西里·克列斯托夫的情况。

我告诉了特工处关于革命运动历史的书籍《金枪鱼》的非法出版的情况、关于地方自治会议上辩论的情况、关于有激进情绪的医学会社的情况、关于有同样激进情绪的地方自治会领导的情况、关于当地学生界的其它情况，这样的消息我收集了很多，一时间很难记得住全部。

我是通过格罗米科上校——我不时在宪兵局直接拜访他，和宪兵中士（我不记得他的姓氏）——他在我住在斯摩棱斯克附近的维亚济马城的时候收到我的包裹并按照要求送到目的地——将这些报告转交给秘密警察。

那些年，我妻子在维亚济马有一家书店，但我为《斯摩棱斯克公报》和《莫斯科公报》写通讯。

在我妻子卖掉了她在维亚济马的书店后，她很快就在斯塔夫罗波尔收购了同样的书店，我们于 1899 年永久搬到了那里。

1900 年夏天，一名学生舒尔茨——当地眼科医生的兄弟——在街上递给我一份用胶印机印刷的传单，抗议警察镇压学生暴动。

收到这张传单后，我去了警察局，但没有找到那里的警察局长，然后将传单交给了值班警察。

同一天，我被传唤到宪兵办公室，他们在那里关押了我 7 个小时，然后在一名警官的陪同下，我被押送回我的公寓，搜查不是在我指认的地方（在舒尔茨家），而是在我的公寓里进行的，警察局长和两名法警出现在那里。

鉴于我妻子的歇斯底里，所有的邻居都知道了搜查，这一切都让我非常担心。

关于对我产生不必要的怀疑和由此进行的搜查，我向警察局局长投诉，抗议斯塔夫罗波尔宪兵队长的行为，这一行为的发生是因为警局早就知道我的“斯摩棱斯克案”，并且要求他们给我一个答复——为什么警察局长在法警在场的情况下谈论我给宪兵队长的供词。

这些证词——我在诉状中写道——只有检察官和特工处长才能知道，为什么它们成为法警的所有物。我向警方报告了对一名警察被安插在舒尔茨公寓旁的困惑不解——因为当时有可能将案件委托给其他人。在同一封信中我问警察局长——是否可以避免戏剧化地安排警察，因为意外出现的警察与对案件的侦破会起反作用。

最后，我向公安局局长请愿，表示应该尽早对我建立起信任，“免得我以后工作灰心”。

还是在 1899 年，我绕过斯塔夫罗波尔宪兵署，向圣彼得堡警察局局长通报了地方自治工作者沃罗诺夫斯基、卡维尔兹涅夫、波斯特尼科夫、波鲁埃克托夫和以他们为首的“扫盲委员会”以及它们在地方自治会中从事的破坏现有秩序和反国家的活动的信息，关于即将到来的示威活动的信息，关于不仅舒尔茨散发传单，我认识的其他人当中也有散发非法传单者的信息，关于当地社会活动家库利亚布科—科列茨基关于米哈伊罗夫斯基的主题的文章的信息。

1902 年，我搬到了叶先图基，在那里我得到了一份工作，担任《卡兹别克报纸》矿水城部的负责人。

还是在 1902 年，在革命者圈子里的费多尔琴科和别尔迪切夫斯基的影响下，我试图摆脱与秘密警察的联系，并为此决定前往巴黎。

在高加索的斯塔夫罗波尔，我去找省长，我告诉他，我根本不是革命者，我出国只是为了个人事务，而且停留的时间很短，关于我的详细信息可以询问警察署，在那里我作为一个至高

无上的皇帝的忠诚的臣民享有良好的声誉。

两周后，我收到了带有出国旅行权签证的护照，然后前往巴黎，在那里短暂停留，然后返回顿河畔罗斯托夫。

1902 年冬天回到俄罗斯，开始在顿河之声报社工作，同时进入罗斯托夫市管理局担任法务处长。

1902 年 5 月 1 日，我在顿河畔罗斯托夫的一个火车站被捕，并被送往新切尔克斯克监狱，在那里，关于我是奸细的流言迅速传播开来。

据我了解，这次逮捕是由车站宪兵在省政府不知情的情况下进行的，无论如何，在我被释放两周后，为了转移对我奸细活动的怀疑，我与秘密警察商议前往日内瓦。

根据罗斯托夫宪兵局的指示，通过费多尔琴科，我结识了普列汉诺夫、维拉·查苏利奇等社会民主党人，并让他们对我产生了信任。

我在日内瓦呆了一个月，然后回到罗斯托夫，收到了非法文献和一份刚刚出版的俄国社会民主工党第二次代表大会的会议记录，我把它装在一个双层底的手提箱里。

我将在日内瓦停留时收到的全部非法文献都转交给了俄国社会民主工党顿河委员会书记博古茨基，而在这之前我把所有这些都通知了秘密警察。

关于我日内瓦之行的结果、与普列汉诺夫的会面、社会民主党员对社会民主党第二次代表大会分裂的情绪以及我在罗斯托夫的露面的所有细节我都告诉了宪兵队长，他的名字似乎是马丁诺夫，但我已经记不清了，我只记得他的外在特征：身材矮小，脸上略有痘痘，棕色头发，留着小胡子。

1904 年初，我收到了一个有利可图的提议——前往叶卡捷琳诺达尔，担任罗斯托夫报纸《顿河之声》当地分社的负责人。我对这个提议很满意，罗斯托夫宪兵局也不反对我离开。

抵达叶卡捷琳诺达尔后，我以一个冠冕堂皇的借口——由于日俄战争而没有及时收到首都来的报纸，拜访了当地宪兵局并更新了自己的联系。之后定期与宪兵局的助理会面——一个我记得是中尉军衔的高个子年轻人，具体姓氏不记得了。

起初我告诉秘密警察我还没有与任何组织建立联系，但是一旦我认识宪兵感兴趣的人，我就会立即将这些人的情况报告。不久，社会民主工党在市杜马讨论预算问题时组织了一次工人示威。我作为新闻界代表出席了这次示威活动，然后将组织者——作家奥利格和流放定居点居民马丁诺夫斯基出卖给了秘密警察：他们中的第一个被捕，第二个在搜查中侥幸逃脱。

1904 年 11 月，我联系上了的俄国社会民主工党叶卡捷琳诺达尔委员会指示我在由律师施

尔斯基主持的宴会上发言。我在一个不认识我的警察局长在场的宴会上发表了革命演说，他试图拘留我，但我从后门逃了出来。

由于害怕作为奸细活动的失败——我甚至为此发表了革命演说，我当天晚上动身前往新罗西斯克，在那里待了 2-3 天，再从那里到基辅，从斯米多维奇那得到去克列缅丘格的接头暗号，在那里住了大约一个月并经过叶卡捷琳诺达尔到达哈尔科夫，我在那里待了三个月，1905 年 2 月，我被捕了。

在哈尔科夫宪兵局受审期间，我出卖了疗养院医生菲尔科夫、俄国社会民主工党委员会书记、律师舒斯特尔——我同他有接头暗号、俄国社会民主工党党员斯米尔尼茨卡娅、库切洛夫、比利亚耶夫，报告了哈尔科夫蒸汽机车厂和“格力菲利克斯花园”以及其他企业的罢工情况，报告了工人圈的信息，我在这些圈子里负责宣传工作，破获了哈尔科夫社会民主工党组织的非法据点。

在叶卡捷琳诺达尔进行的审判中，我发言时在场的警察局长被作为检方的证人，然而，当检方指控我的演讲中有短语“打倒专制！”时，他说他好像不记得了，由此我因缺乏犯罪证据而被释放。

1905 年 10 月，在俄国社会民主工党（布）库班委员会的指示下，我再次在同一个叶卡捷琳诺达尔的一次示威中发表讲话，但由于秘密警察对我的关注，这次演讲没有对我产生任何后果。

1905 年 12 月 9 日晚上，我因参加军事示威被捕，但不是被宪兵逮捕，而是被军事当局逮捕，并被流放到图鲁汉斯克边疆区 5 年。在离开鄂木斯克监狱——我在那里住了一晚——的路上，我利用别人的护照和对囚犯机器松懈的看押漏洞逃跑了。我在同鄂木斯克社会民主工党接头时收到了以舍夫图诺夫为名的护照和测量员制服，然后开车穿过秋明和彼尔姆到莫斯科。

1906 年夏天，我出现在格涅兹德尼科夫斯基巷的莫斯科秘密警察处。在秘密警察处，我会见了冯·科滕上校，我向他讲述了我自己的情况和我对未来的打算，并说目前我只想做文学工作。

“嗯，没关系，”上校说，“如果需要，我们会找到你的。”然后上校问我：“你怎么在这里居住？”我说我是带着阿尔卡季·尼古拉耶维奇·舍夫图诺夫的护照从鄂木斯克逃出来的。上校对此没有说什么，只是警告我，我随时可能被秘密警察传唤。

1906 年秋天，由于俄国社会民主工党（布）莫斯科组织即将召开会议，我确实被召集到秘密警察处，并指示我参加会议并提供有关会议的详细信息，我这样做了，后来向秘密警察通

报了关于阿列克辛斯基、波克罗夫斯基和其他发言人的讲话，以及会议的决定等信息。

1906-1907 年。我详细地通报了俄国社会民主工党（布）莫斯科组织的被称为“域外印刷区”的布尔什维克的活动，属于州和市党委员会的书库“春”，以及布尔什维克参与的国家杜马竞选活动。

根据我的举报，用于杜马选举的大量文献在莫斯科尼古拉耶夫斯基火车站被截获和没收。

1907 年，我把护照改成了亚历山大·瓦西里耶维奇·马斯连尼科夫的名字，我将此事通知了宪兵局，并对一名警察分局的探子在我不在家，想必秘密警察也不知情的情况下来到我的公寓并请我去警察局的行为表示惊讶。

我在秘密警察处的时候，他们开始问一些问题，然后问：“你现在有什么样的护照？”我说，由于警察分局探子的来访，我必须以马斯连尼科夫的名义购买新护照，此后宪兵再也没有回到这个问题上。

1907 年底或 1908 年初。我搬到了圣彼得堡，在萌芽出版社找到了一份工作，与莫斯科地主兼公证人米哈伊尔·克德罗夫的儿子在一起。在此期间，我向秘密警察处（但不是圣彼得堡，而是与我保持联系的莫斯科）通报了布尔什维克的出版活动，特别是“为了所有人的日历”，以及为工人农民问题大规模出版刊物的问题。

1909 年夏天，莫斯科秘密警察逮捕了我，指责我欺骗他，没有报告一切，审讯时在场的一名宪兵说，我在两头押宝，通报的都是鸡毛蒜皮的小事，最重要的是我给自己留了后手。

对此，我回答说，我认为这样的指责是不公平的，因为我向秘密警察报告了我所知道的一切。

所以这实际上是莫斯科秘密警察鸡蛋里头挑骨头，我解释说，他们被彼得堡的秘密警察处反超——因为彼得堡秘密警察处在“萌芽”出版社和党的印刷厂“事业”当中有经验丰富的奸细，姓氏叫施内尔森。

鉴于施内尔森有机会会见彼得堡宪兵次数比我自己和莫斯科宪兵的会面更加频繁（我通常每两个月去一次莫斯科），他的报告自然更及时。例如，由于施内尔森的报告，列宁的作品（“12 年”文集）在被带出瓦西里耶夫斯基岛的印刷厂之前就被彼得堡秘密警察扣留了。

在秘密警察的审讯中，他们起初对我很粗鲁，然后他们的语气变得温和，决定让我服完流放的刑罚——我于 1906 年就被判流放，但实际上并没有服刑。他们立即警告我，我将不得不在流放中度过不是五年，而是两年多一点的时间。

从 1909 年夏天到 1911 年秋天，我身处流放地，但不是在图鲁汉斯克边疆区，而是在条件

比较宽松的安加拉。当我在安加拉时，我只是有一次通知法警关于打算召开的关于中央图书馆党组织为流放者提供服务的问题的会议。

离开流放地后，我去了莫斯科，在那里我出现在秘密警察处，并说我打算永久留在莫斯科，但他们这次没有明确告诉我任何事情，说："好吧，我们看看吧。"

1912 年，在博罗季诺战役 100 周年前夕，我被叫到秘密警察处，被提议在庆祝活动期间离开莫斯科。我提交了一份请愿书，其中提到了我以前所有的秘密警察任务的工作，说我累了，生病了，刚从流放中回来，忙于令人沮丧的个人事务，并希望避免被被驱逐出莫斯科。尽管如此，我并没有被留在莫斯科，但我被允许前往莫斯科州的一个地方。我选择了卡希拉，在那里等待博罗季诺庆祝活动的结束，之后，在秘密警察的许可下，我回到了莫斯科。

1913 年，由于我与莫斯科布尔什维克组织缺乏真正的联系，我没有为秘密警察做任何事情，而是继续与它保持联系。

1914 年，我向莫斯科秘密警察通报了作家当中——包括职业作家和作家团体成员——的反战情绪，通报了律师雅洪托夫、布尔什维克斯米多维奇和斯捷潘诺夫—斯科沃尔佐夫的反战演讲——我与这些人保持了密切的熟人关系，通报了商业职员协会的一次会议——我作为协会会员出席了这次会议——的情况，通报了财经学院一个持失败主义立场的学生团体的情况。

我还向秘密警察递交了一份反对战争的传单，这是我从一个商业学院的学生那里收到的，他是基里洛夫或者叫奥斯特罗维加尼诺夫，我和他由于图书出版业务而熟识。

1915 年，我与沙皇秘密警察的联系结束了，因为战争期间莫斯科的非法组织几乎被摧毁，我感到很累，而且得了严重的脊椎病。

十月革命以后，我开始转向反苏工作。

我承认，在 1917 年之后，我仍然是党的敌人——为了反对这个党，我在革命前就与秘密警察密切合作。

1917 年，作为莫斯科党委委员和哈莫夫尼切斯基区的干事，我执行孟什维克的指导方针，不同意四月代表会议和俄国社会民主工党（布）第六次代表大会的决定，仍然反对社会主义革命。

1917 年 4 月，在俄国社会民主工党（布）会议上，我在评估那个时期政治局势的问题上反对列宁。

1917 年，在党的第六次代表大会上，我在革命的动力和对当时形势的评估问题上公开反对斯大林。

1918 年，我因在莫斯科苏维埃发表反对共产党在农村和争取面包斗争中的政策的演讲而被开除党籍。

1919 年，我在阳奉阴违地承认自己的错误后重新入党，但很快在 1920 年我就加入了建立在“工人反对派”平台上的伊格纳托夫和布罗夫采夫的反党集团。

1921 年，我代表联合反对派在莫斯科市会议上发言，这个联合反对派包括了“民主集中制”派、“工人反对派”和其他反党团体的代表。

然而，我的反党反苏敌对工作最活跃的时期始于 1924 年，当时我与德国情报人员、柏林孟什维克外国代表团成员——尼古拉耶夫斯基建立了间谍联系。

1923 年，作为莫斯科外贸在柏林的授权代表，我认识了尼古拉耶夫斯基，并基于共同的反苏信念，很快就与他厮混在了一起。在与尼古拉耶夫斯基的反苏谈话中，我宣称联共（布）中央仿佛不允许党内民主，老布尔什维克正在被镇压，为此我还援引了白卫分子对联共（布）领导人的诽谤言论。

在 1923-24 年。除了尼古拉耶夫斯基之外，我还会见了孟什维克利特肯斯、尤格娃、古列维奇和德国社会民主党人布赫戈尔茨，我也本着反苏精神向他们通报了苏联的情况。但我那个时期主要联系的孟什维克是尼古拉耶夫斯基。

1924 年底，尼古拉耶夫斯基根据我提供的消息，在《社会主义公报》上发表了一篇诽谤苏联的文章。这一次，我向尼古拉耶夫斯基表达了我的不满，并要求他不要再根据我提供的信息发表任何文章，因为这可能会导致我的失败。

尼古拉耶夫斯基对此表示，他正在与德国情报部门合作，他将从我那里收到的所有信息都转交给德国情报部门，并承诺将来不会以这种方式危害我，但条件是我继续向他提供德国情报部门感兴趣的信息。

我同意尼古拉耶夫斯基的提议，并开始定期向他传送有关全联盟共产党（布尔什维克）中央委员会的决定、党内分歧、党内最重要政治问题讨论过程的资料，传送了逐字记录的联共（布）中央委员会全体会议的报告内容，这些文件是我回莫斯科后收到的，旨在让前联共（布）莫斯科委员会书记泽连斯基和前联共（布）鲍曼区委书记——齐洪阅读的文件。

我一直在党和苏维埃政府的国际国内政策问题上指导尼古拉耶夫斯基，与他的间谍活动一直坚持到 1929 年底，然后在 1933 年底我恢复了为德国人所用的情报工作。

这件事是在以下情况下发生的。1932 年，我被任命为苏联驻希腊贸易代表。1933 年底，我被一位前任苏联驻希腊全权代表达夫强召见。他警告说，他知道我与德国人有关联，并为他

们提供服务。

达夫强说希腊报纸《弗拉德尼》的编辑阿尔万提诺斯*会来找我，我应该通过他继续与德国人联系。

阿尔万提诺斯很快就来到了我的贸易代表团，并提到与达夫强就此进行的一次特别谈话，要求我为德国情报部门提供新的信息。通过阿尔万提诺斯，我经常性地向德国情报机构传递了他们感兴趣的所有贸易代表团的和对外贸易人民委员部工作的情报。

1935 年，鉴于我要离开希腊，我被迫切断了与阿尔万提诺斯的联系，但通过德国情报机构的特务奥尔加·亚历山德罗夫娜·奥力格尔*恢复了间谍活动。

奥力格尔曾担任苏联驻德国前贸易代表斯托默尼亚科娃的秘书。她的丈夫拥有德国公民身份，每年都持官方签证前往德国。我从 1923 年就通过在苏联驻德国贸易代表团一起工作认识了奥力格尔，1936 年我邀请她在莫斯科的国际图书公司工作。

还是在 1936 年，在我与奥力格尔的一次谈话中，我说她的丈夫有很大的间谍活动的嫌疑。奥力格尔毫不尴尬地回答说，她也知道我与德国人的关系。她立即承认她正在收集必要的信息并将其转交给与德国驻莫斯科领事馆代表有直接联系的丈夫。

奥力格尔立即建议我继续联系德国人，利用她作为中间人。我接受了这个提议，允许奥力格尔在“国际图书公司”做机要工作，这让她有机会收到很多德国情报部门感兴趣的材料。

此外，通过奥力格尔，我将位于巴黎和布拉格的书库地址告知德国情报机关，这些书库担负着从这些地方向德国非法运送革命文学作品的任务。

1937 年，奥力格尔被捕，她的丈夫埃尔斯特*以找工作为借口试图通过电话联系我，但我通过秘书传达了我无法帮助他的答复。埃尔斯特上一次给我打电话是在 1940 年初，但我再次避免与他见面，因为我害怕失败。

1936 年，我被对外贸易人民委员部派往巴黎，商讨与法国阿歇特公司缔结总合同的问题，在这次访问中，我又为尼古拉耶夫斯基传递了间谍情报。

国际图书公司巴黎全权代表、前伯爵，现在在红军军事教育机构部工作的旅级干部阿列克谢·阿列克谢耶维奇·伊格纳季耶夫*，向我介绍了白俄侨民阿歇特公司的经理博古斯拉夫斯基，他以书面形式对该人进行了充满溢美之词的评论（它们保存在“国际图书公司”的档案中）。

博古斯拉夫斯基以苏联认定的敌人身份而闻名于世，然而，这并没有阻止知道这一点的伊格纳季耶夫向我介绍说博古斯拉夫斯基是一个完全同情苏联制度的人，此外，这个博古斯拉夫斯基也知道自 1914 年的时候，伊格纳季耶夫还是普恩加莱政府时期的沙皇政府驻法国的武官。

博古斯拉夫斯基见到我时，转达了尼古拉耶夫斯基的问候，并说如果我有任何材料，他——博古斯拉夫斯基——可以把它们交给尼古拉耶夫斯基。

第二天或第三天，我给了博古斯拉夫斯基一个写有尼古拉耶夫斯基名字的密封信封，信中包含了民众的政治情绪，特别是农村民众的政治情绪、粮食困难，以及联共（布）党内的情况的内容。这是我通过尼古拉耶夫斯基转交给德国情报部门的最后一份材料。

以后，我通过上面所说的奥力格尔与德国人保持联系。

然而，我的间谍工作有两个方向，不仅针对德国情报部门，还针对英国情报部门。

在 1924 年底或 1925 年初。因为莫斯科外贸公司的业务，我去了伦敦，在那里我会见了“伦敦英苏贸易公司”秘书阿列克谢·阿列克谢耶维奇·波格丹诺夫*，他兼职负责莫斯科外贸公司代表处的工作。我很熟悉波格丹诺夫的哥哥彼得·阿列克谢耶维奇，他曾在最高经济委员会工作，所以我很快就与阿列克谢建立了密切的关系。

阿列克谢·波格丹诺夫，从一开始的谈话就表明，他是一个反苏的人，他毫不掩饰地表达了对党和苏联政府的愤怒。

波格丹诺夫把我介绍给打字员米尔顿，按民族算——她是俄罗斯人，嫁给了一个英国人，然后和他一起去了伦敦。有一次，在与我的谈话中，波格丹诺夫向我明确表示，米尔顿被怀疑与英国情报部门有关，贸易代表团将在不久的将来解雇它。他让我保护她，因为他们说米尔顿有两个孩子。在我的帮助下，米尔顿被留在伦敦的莫斯科外贸公司工作。

在我离开伦敦之前，当时对我已经很坦率的波格丹诺夫让我向他发送有关莫斯科公共交通状况的信息，特别是关于英国人可以向苏联出售的公共汽车和卡车订单的前景。

同时波格丹诺夫直截了当地告诉我秘密情报局（军情六处）对这个信息感兴趣。1925 年上半年，我返回莫斯科后，将所需的信息发送给了波格丹诺夫。

在同一次谈话中，波格丹诺夫让我保住米尔顿的工作，出于某些事务上的原因，他对这份工作很感兴趣。我明白这关乎的是他们对情报的兴趣，除了波格丹诺夫，米尔顿也与情报有关。

不久，波格丹诺夫本人被召回苏联，在莫斯科外贸公司工作了一段时间，然后转到莫斯科从事一些大型经济项目的工作。波格丹诺夫再次与我会面时，对莫斯科的交通状况很感兴趣，我向他提供了所需的信息，这些信息是我作为莫斯科苏维埃的代表，从莫斯科公共服务处收到的。

自从 1926 年波格丹诺夫离开莫斯科后，我就再也没见过他。

1933 年底，我在希腊担任贸易代表时，英国情报部门恢复了与我的联系。

有一次，希腊船东机构海事杂志的编辑希腊人吉吉斯*同阿尔万提诺斯一起来找我。

起初，吉吉斯提到他在与希腊政府的贸易谈判中居间人的作用，我与英国人的联系，并且说他很感兴趣从我这里获取某些信息。

同时，他对苏联签署国际客货运输合同的前景尤为感兴趣。吉吉斯表示，这个需要我澄清的问题不光希腊的船东圈子感兴趣，英国人也感兴趣。

这个问题非常有趣，因为它涉及我们的整个运输计划，希腊人和英国人可以根据这些计划提高海运费率。

我向吉吉斯提交了他所需的信息，之后我命令佩雷亚的货运部门继续提交该部门拥有的所有材料，借口是——这有利于帮助吉吉斯与希腊政府的贸易谈判。

1934 年，应吉吉斯的要求，我对贸易代表团林业处负责人伊扎克*做出了相应的指示，将苏联木材出口计划的数据交给了吉吉斯。

伊扎克和我一样，处于非常困难的境地，签订了一份极其无利可图的向希腊公司供应木材的合同，与此相关，我们如此出售木材使我们面临丢失所有外汇的危险——而取代这些外汇的仅仅是烟草和肉桂。

与此相关的不愉快不仅仅在等着我，也在等着伊扎克，他和我一起起草并签署了对苏联不利的合同。我相信吉吉斯和伊扎克会在他们感兴趣的问题上完全达成一致，伊扎克也不敢反驳我。

与吉吉斯会面后，伊扎克在与我的谈话中说：“你为什么要派间谍给我？”我一脸不解，问道：“您怎么知道的？”然后伊扎克回答说：“在佩雷亚，每个人都知道这件事。”我说：“吉吉斯——不管他是不是个间谍，他都是一个有利可图的人，请你和他达成协议。”

后来，吉吉斯与伊扎克建立了全面的联系。

伊扎克是我通过交谈认识的一个反苏分子，他在国外的长期居留使他腐化堕落，并使他与臭名昭著的白卫分子斯卢茨基狼狈为奸，后者与他签订了一份对苏联极为不利的供应木炭到意大利的合同，而这一切都尽在我的掌握中。

我必须补充一点，就在 1934 年，甚至在吉吉斯和伊扎克相识之前，后者基于我们共同的反苏信仰，参与了我在希腊创建的右派—托洛茨基组织。这就是为什么我如此自信地将吉吉斯介绍给伊扎克的原因。

与吉吉斯的间谍联系因我于 1935 年被召回莫斯科而中断。

我现在开始供述我与反苏托洛茨基组织有关的犯罪工作的最后一部分，早在 1932 年，我

就参与了罗森戈尔茨组织。

我从 1917 年就认识了罗森戈尔茨。他知道我在 1917 年和 1918 年的反党演讲。

另外，1927-28 年，弗鲁姆金*在莫斯科党代表大会上因反党言论和支持右派而受到审查时，我对他表示同情。据此罗森戈尔茨知道我仍然是右派的支持者，当我参与一个反苏组织时，他提到了弗鲁姆金，罗森戈尔茨用他的话来说是从弗鲁姆金那里了解到我同意弗鲁姆金的右派观点的。

1932 年夏天，在我被任命为希腊贸易代表之前，罗森戈尔茨邀请我去他在莫斯科政府大厦的公寓。

在与我的谈话中，罗森戈尔茨再次确信我不同意党的政策，他跟我提到存在一个非法的右派—托洛茨基集团。同时，他告诉我，对外贸易人民委员部有一伙人坚守在右派—托洛茨基阵营里，并邀请我参加这伙人的工作。当我表示同意时，罗森戈尔茨给我点了该组织几个成员的名字——他的副手弗鲁姆金、出口局的前负责人拉宾诺维奇*——并提出要为了敌对工作与他们建立联系。

1932 年，在前往希腊之前，我联系了弗鲁姆金和拉宾诺维奇，并收到了他们关于进一步反苏活动的指示。

他们指示的意思是，我必须在希腊推行一项会对苏联造成物质损害的政策。为此，我不得不与希腊公司达成对苏联不利的交易，不顾市场行情进口货物，并阻挠及时租用船舶运输苏联货物。

弗鲁姆金强调，为了掩饰我们的破坏工作，必须确保事先外汇计划要实现的外汇数额，并建议通过低价销售商品来实现。

抵达希腊后不久，我以极低的价格卖出了大约 10,000 吨粮食。这项破坏活动是如此明显，以至于它成为苏联驻希腊全权代表处和驻希腊贸易代表团党组织会议的讨论主题。

1933 年，我签订了显然对苏联不利的长期垄断苏联苏打水产品销售的协议。

该协议的履行给苏联带来了巨大的物质损失，即尽管存在愿意为苏打水产品出高价的竞争者，但我们受垄断协议的约束，无权出售这些产品给其它商人。

我还在租船方面进行了破坏工作。我奉命与希腊船东签订合同，以将苏联货物运往欧洲各个港口。在 1933-34 年期间。我破坏了这些合同的签订，这造成了运输紧张局势并显着增加了成本。

意识到单独行动会很困难，我将弗拉基米尔·亚历山德罗维奇*亚当森*招募到反苏工作中，

他是苏联驻希腊的贸易副代表，我在 1933 年亲自招募了他加入组织。

自 1919 年以来，我通过与亚当森在莫斯科消费合作社理事会一起工作而与他熟识。

当时，亚当森持有反苏观点。

1925 年或 1926 年。从柏林回来后，我安排亚当森作为我的继任者，担任莫斯科外贸公司在柏林的全权代表的职位。

在柏林，我与亚当森进行了反苏谈话，批评和同情地评论了白卫军文学。1933 年底，罗森戈尔茨应我的要求，任命亚当森为我在希腊的副手。

由于我了解亚当森的反苏情绪，并考虑到我们长期的友谊以及他对我 1918 年反苏演讲的同情态度，我逐渐引导他，使他认为自己的立场——总结起来就是联合右派和托洛茨基分子改变党的政治路线的立场——是对的。我说经济人民委员部可以做很多事情来瓦解经济，迫使党的领导人做出让步。于是我逐渐为他的招募做准备，然后直接提出了他是否要参加外贸人民委员部中存在的右派—托洛茨基组织的问题。

亚当森毫不犹豫地表示同意，随后与我一起贯彻了罗森戈尔茨的破坏性指示。

我离开后，留在希腊的亚当森完全延续了我的破坏路线，他从白俄公司包租了轮船，由此影响了外贸人民委员部的整个的业务，他继续通过间谍吉吉斯和阿尔万提诺斯购买烟草，干扰了同希腊的贸易业务。

从希腊被召回后，我也把亚当森拉回到莫斯科，安排他到地方工业人民委员部我的朋友 П·А·波格丹诺夫处，后来推荐他到建筑材料人民委员部工作。

1933 年底，当我还在希腊时，我将布鲁克*（我不记得名字和父名）——前苏联贸易代表团粮食处负责人拉入了右派—托洛茨基组织。我曾多次与他进行反苏对话。有一天，我提请布鲁克注意《最新消息》报，并就一篇社论与他交换了意见。布鲁克对这篇文章表示同情，称该报的国际评论非常好。

布鲁克本人很少工作，对谷物生意也不太了解，将其委托给一位持有苏联护照的希腊移民。布鲁克在没有得到授权的情况下，与这个明显就是个骗子的希腊人签署了一份对苏联无利可图的关于向希腊商人供应苏联小麦的垄断性的协议。

1933 年，布鲁克不顾我的禁止，擅自前往苏联，据称他是奉了“谷物出口公司”董事长的指示，而在他不在时，他让那个希腊人作他的代理人——这个希腊人在他不在的时候自主地出售苏联小麦。

布鲁克回国后，在希腊的苏联侨民协会党组织讨论了他的问题。

我在招募布鲁克时利用了所有这些能让他出丑的黑材料，尤其是在他未经授权返回莫斯科期间破坏小麦销售的事实。我警告布鲁克，他无法逃避严重的责任。

同时，我与他谈了苏联的经济和政治形势，概述了前景——可以归结为放弃建设社会主义的前景。最终，布鲁克被我裹挟入了反苏组织，并接受了我的任务——破坏出售苏联小麦的机制，而不管市场行情如何。

最后两名被招募者与我在国际图书公司的工作有关，1936 年秋天我将出口办公室副主任费多尔·萨维里奇·列文森*招募到反苏组织当中，而在 1937 年夏天——招募了叶列涅夫斯基*（我不记得他的名字和父名）——“国际图书公司”副董事长。

列文森是国际图书公司中最年长的工作者之一。尽管他的领导层多次更替，但他仍然是国际图书公司中发生的破坏活动的核心人物之一。尽管党和苏维埃当局反复讨论了解除他职务的问题，但莱文森还是安然无恙。

所有的出口合同都由他经手，在这些合同里，外国公司在获得了过高折扣的同时却不用保证必须发售一定数量的苏联文学作品，这尤其影响了与法国阿歇特公司、英国劳伦斯公司和美国“图书之王”公司的期刊合同。

不用保证必须发售一定数量的苏联文学作品的垄断合同的本质是破坏并减缓了苏联出版物在资本主义国家的传播。

此外，多年来，列文森向国外输送了有关苏联技术的、军事的书和有关苏联工业的参考书，这些文献虽然合法出版，但为外国情报机构提供了一个机会，可以将这些综合的、系统化的信息用于间谍目的。一些出版物，例如工业设施参考书，属于不能完全推广的书目（应该是内部发行的意思——译注），但列文森竟然将它们输送到国外。

此前，作为进口办公室主任科员的列文森在未加密地址的情况下将军事单位的地址直接填作文献进口的收货地址，从而泄露了苏联军事设施的位置。

我与列文森进行了很长时间的反苏的谈话，从右派—托洛茨基主义的立场出发批评党的路线，从而为我将其招募入组织做好准备。

列文森的招募也得益于一个事实，正如我在上面已经表明的，早在 1936 年之前，他就积极从事破坏工作，现在不仅在图书出口方面，而且在无序定价方面也开始显现这种破坏活动的效果。例如，政治文献类图书定的价格偏高，而小说则相反——价格偏低。当我向列文森提出让他参加反苏组织的问题时，他只好表示同意。

至于叶列涅夫斯基的招募，是在以下情况下进行的。1936 年我在纽约时，我注意到有必

要对大量手工艺品进行清仓——这些手工艺品是被从苏联送过来的并且在美国存放多年，而为了保管这些东西不得不需要支付外汇。

作为这些商品销售顾问的叶列涅夫斯基表示，所有这些庞大的库存都可以在尽可能短的时间内以高于或低于正常价格的价格出售。他也确实出售了一些艺术品，但尽管他保证出售掉所有库存，但大多数库存仍未售出。

鉴于由此产生的窘境，叶列涅夫斯基用国际图书公司的许可蒙混过关，将这些积压货物退回给苏联。叶列涅夫斯基为此租了整艘轮船，抵达摩尔曼斯克后，不得不派专列火车将货物运往莫斯科。

如果不是我在副人民委员——苏金的帮助下采取了瞒天过海的手段，此番行径的破坏性将暴露无遗。

然而，尽管我们采取措施对党组织和公共组织隐瞒了此番破坏行径，但这件事还是有一部分被传开了。

还是在美国的时候，我就与叶列涅夫斯基走得很近，与他进行了反苏谈话，在纽约附近的乡间别墅里一起拜访了“图书之王”的老板，并与这位美国商人共度了一夜。因此，我完全有理由将叶列涅夫斯基视为我的人。

鉴于工作成绩不理想，以及叶列涅夫斯基在国外堕落的生活方式，在党的领导层的建议下，我将他从纽约召回。

当我试图为他重新办理去美国工作的手续时，党的机关拒绝了我的这个请求。叶列涅夫斯基没有找到适合他的工作前景。

我趁着这个机会，让叶列涅夫斯基担任我的副手，前提是他同意参加我们反苏组织的工作。

叶列涅夫斯基同意了，之后我在“国际图书公司”中正式任命他为我的副手，并安排了最重要的位置——进口工作，他在那里执行了我的破坏指示。

除了我招募的新人外，1936 年在罗森戈尔茨的指示下，我联系了我们组织的一名成员，当时担任出口办公室主任的叶夫多基娅·尼古拉耶芙娜·库金娜*，并通过她施行了在出口有关苏联工业的参考文献领域的破坏活动。

在我到“国际图书公司”工作的最初几天，我就奉罗森戈尔茨的个人指示关闭了纽约的分公司。

这一破坏性行为扰乱了苏联文学在美国的传播，并对国际图书公司造成了巨大的物质损失。

我和库金娜一起，在列文森的积极参与下，与外国公司签订了对苏联不利的协议，对苏联

文学的发行没有做一定的保证，这也导致苏联出版物在资本主义国家的发行工作受到破坏和拖延。

我们将参考书出口到国外，这些参考书中对苏联工业进行了详细的描述：工业企业的位置、设备能力等数据，这无疑大大方便了国外情报部门的工作。

这就是我要供述的关于我从 1898 年到 1940 年所做的犯罪工作的全部内容，在十月革命之前很久的时候，我就是党的顽固敌人，但我小心地掩饰我作为奸细和间谍的真实身份。

尼古拉·科列斯托夫—安加尔斯基

审讯人员：

内务人民委员部经济管理总局调查室副主任

国家安全少校芮慈曼

内务人民委员部经济管理总局调查员

国家安全中尉鲍里索夫斯基

审讯从 0 点 10 分开始，到 18 点 30 结束，中间休息了一小时。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.377.Л.164—205.原稿，机打。

第一页有斯大林的笔迹：“调查员的作用是什么？是讲故事的安加尔斯基的听众，仅此而已？”

注释：

*姓氏对面是从 1 到 12 的连续数字（12 号两次）。

①Н·С·安加尔斯基—科列斯托夫于 1940 年 5 月 12 日被捕。在初步调查期间，他多次承认和否认指控。他在发给苏联最高苏维埃主席团的赦免请愿书中解释了这种行为的原因：“……可怕的、可怕的威胁，伴随着橡胶棍的殴打，迫使我走上谎言之路。我诽谤了自己。我诽谤了一些参与我案件的人……调查组给我描绘了光明的前景，他们坚定地承诺，如果我承认自己是间谍和害虫，我就会被判处行政流放……然后我就走上了对自己和他人进行巨大诽谤的道路。我得到了保证，他们会向法庭提交对我有利的鉴定，而且如果，他们告诉我，如果您在法庭上表现良好，如果您承认所有的指控，我们就不会抛弃你。”调查是在严重违反法律，违反《刑法》和《刑事诉讼法》规程的情况下进行的。他被镇压，安加尔斯基—科列斯托夫于 1956 年被平反。

141

苏联内务人民委员部致И·В·斯大林的备忘录

（1940 年 7 月）

绝密

斯大林同志

莫洛托夫同志

内务人民委员部驻爱沙尼亚情报站长报告了以下信息：

1. 爱沙尼亚军队继续开小差，尤其是俄罗斯民族的士兵。士兵们来到我们的部队、领事馆，宣布他们不会回到军队，因为他们将面临反动分子的报复。

国际组织“救世军”的分支机构及其出版机构被解散。

从表面上看，塔林的一切都很平静。银行恐慌性挤兑存款和抢购商品的风潮停止了。前凯西莱特（爱沙尼亚民间准军事组织——译注）的成员不敢发表粗鲁的言论，他们在他们的扣眼上戴着三色爱沙尼亚民族徽章走在街上，妇女们戴着白花，从而强调她们是白色的，而不是红色的。但这样的面孔很少。关于德国和苏联可能发生冲突的谣言在敌对分子中继续流传，并强调在这种情况下德国将成为爱沙尼亚从布尔什维克手中解放者。据信德国该行动（与苏联发生冲突）的第一步是夺取对芬兰的保护权，而芬兰似乎会自愿被纳入德国的保护之下。

2. 德国大使馆要求（苏联）全权代表允许德国信托局（一个出售离开爱沙尼亚的德国人财产的组织）的两名官员前往纳尔瓦“拍摄当地的建筑名胜”，允许该局另外两名官员，在德国驻塔林大使馆参赞的带领下，允许以“拍摄和记录库雷萨雷的德国士兵的坟墓”的名义前往库雷萨雷。

3. 过去两周，在俄罗斯人口占主导地位的地区举行了群众集会和会议。所有会议的主要口号是要求立即将俄罗斯族地区并入苏联，引入斯大林宪法。

政府成立后，当地俄罗斯民众对其组成中一名俄罗斯代表都没有表示不满。而政府中的现任国民经济部长Ю·尼赫吉格（现在他将自己的姓氏爱沙尼亚化为纳尔玛），俄罗斯农民从其在ЭТК（爱沙尼亚合作社协会）的工作中了知道了纳尔玛。在科里亚金诺的一次集会上，其中一个关于纳尔玛的演讲是这样说的：“纳尔玛是小偷和骗子，他从ЭТК偷了 800 万，现在他要偷的更多。在ЭТК工作时，他完全不想和俄罗斯人说话。”

在政府中设立俄罗斯事务特别部的问题再次被提出。当地商人们在事件发生的最初几天处于恐慌之中，但在确信红军和地方委员会不会允许抢劫之后，最近几天已经平静下来，甚至在某些情况下再次昂起头来。

俄国人社会组织（俄罗斯教育协会的工会）实际上停止了工作。地方支部被年轻人占领，原先奉行敌视苏联政策的反动分子被赶走。

俄罗斯族地区的爱沙尼亚知识分子（左翼分子除外）完全置身事外，持观望态度。

俄罗斯地区的大部分凯西莱特成员交出了他们的武器，他们不参与事件，他们保持冷漠，不与俄罗斯人交谈，但他们也不采取激进的行动。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

分别发给：

斯大林同志、莫洛托夫同志。

出版信息：《波罗的海和地缘政治》文件集（1935-1945），俄罗斯联邦对外情报局、俄罗斯对外情报局档案馆，用于行政用途，莫斯科 2006 年版。

142

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕红军军人的特别报告①

（1940 年 7 月 20 日）

编号 2917/ б

副本

绝密

斯大林同志：

1940 年 3 月 3 日，由于在与芬兰白军的战斗行动中实施了导致严重后果的叛国行为，下列人员被捕：第 18 步兵师指挥官格里高利·费多罗维奇·康德拉绍夫，以及被他称作他的副官的鲍里斯·鲍里索维奇·诺维琴科夫，后者后来转任该师炮兵参谋长助理。

苏联内务人民委员部特别处进行的一项调查确认，由于康德拉绍夫犯罪般的玩忽职守行为，该师陷入了敌人的包围之中。

该师指挥所所在防区的防御由于康德拉绍夫糟糕的安排，附近的主要高地都没有被占领。

康德拉绍夫接到组织从芬兰白军包围圈撤退的命令后，并没有为撤退做任何准备。官兵没有完全知晓撤退计划，这就是为什么撤退变成了无序的逃跑的原因。

突围由两翼纵队进行——南翼和北翼。

南军撤出后，北军开始行动，敌人遂沿此翼中火力。结果，为了躲避炮火，人员开始四散溃逃。

在看到已经出现的惊慌失措之后，康德拉绍夫没有果断地采取措施保持冷静，从敌人集中的大炮、迫击炮和机枪火力中撤出人员的行动，而是抛下了纵队，逃到了第 20 团所在的地区。

在犯下这种背信弃义的罪行后，康德拉绍夫在森林中意外遇到了师炮兵参谋长助理诺维琴科夫少尉，当他与我们的部队会合时，他称他为副官。

调查还认定，康德拉绍夫放弃纵队领导，躲避参战，向诺维琴科夫表达了向敌人投降的意图，但诺维琴科夫断然拒绝了这一叛国提议。

康德拉绍夫就其没有组织所在防区的防御，没有确保人员从敌人的包围圈中撤退，在关键时刻抛弃突围的北翼纵队的行为认罪。

康德拉绍夫在上述犯罪行为中的罪行是完全成立的，这一点得到了现有材料和被告人的个

人供述的证实。

苏联内务人民委员部认为有必要将格里高利·费多罗维奇·康德拉绍夫以犯下他自己已承认的叛国罪行移送苏联最高法院军事审判庭审判。

少尉鲍里斯·鲍里索维奇·诺维琴科夫，由于他不是康德拉绍夫的副官，与他的背信弃义活动没有任何关系，也因为调查没有确定诺维琴科夫本人犯有叛国罪，后者应该被释放，同时对他提起的诉讼也应当中止。

请您指示。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.206.Л.199—201.原稿，机打。第一页有批示：“必须审判，从严处理。斯大林”

注释：

①苏芬战役对红军来说极其失败。军事反间谍部门每天向斯大林通报前线的事态。仅在1940年1月的第一个十天里，斯大林就收到了列宁格勒军区、第7、8和其他集团军特种部门负责人的22条特别报告，其中谈到红军部队战备水平低、以及各级指挥在互动中的组织混乱。在1939年冬至1940年春的战役中造成的巨大损失导致需要解释战争初期失败的原因并寻找责任人。此前，Л·П·贝利亚提议将第8集团军指挥官哈巴罗夫将军和军事委员会成员沙巴诺夫移交给军事法庭（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3.Оп.7.Д.8.）。

143

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附关于撤销联共（布）中央和苏联人民委员会“关于从与立陶宛接壤的白俄罗斯苏维埃社会主义共和国地区遣散立陶宛人”决定的建议

（1940 年 7 月 26 日）

编号 3009/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

根据联共（布）中央委员会和苏联人民委员会 1940 年 5 月 23 日“关于从与立陶宛接壤的白俄罗斯苏维埃社会主义共和国地区遣散立陶宛人”的决定，白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部开展了准备工作，以遣散表示希望移居立陶宛的立陶宛族人士。共有 36,013 人表示希望被遣散到立陶宛，指定人员的遣散尚未进行。

目前，已登记遣散的居民正在集体收回他们的申请并拒绝遣散。

鉴于局势的变化，苏联内务人民委员部认为不从与立陶宛接壤的苏联地区遣散立陶宛族公民是有利的。

苏联内务人民委员部要求撤销 1940 年 5 月 23 日联共（布）中央委员会和苏联人民委员会作出的“关于从与立陶宛接壤的白俄罗斯苏维埃社会主义共和国地区遣散立陶宛人”的决定。

白俄罗斯共产党（布）中央委员会书记波诺马连科同志对此问题表示同意。

苏联内务人民委员Л • 贝利亚

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1272.Л.291.原稿，机打。

在页面上有批示：“同意。И • 斯大林”

144

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部尤日斯基战俘营的特别报告

（1940 年 7 月 29 日）

编号 3046/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

在苏联内务人民委员部尤日斯基营地关押着 5175 名前红军战士和 293 名指挥人员战俘，这些人都是在交换战俘期间由芬兰人移交的。

苏联内务人民委员部受指示创立了旨在甄别战俘的契卡行动小组，以确定红军战士和指挥员战俘当中出现的被芬兰情报机构招募从事反对苏联的敌对活动的情况。

契卡行动小组查明并逮捕了 414 人，这些人在被俘时期积极从事叛卖工作，并被芬兰情报机构招募在苏联进行敌对工作。

其中，莫斯科军区检察院完成案件审查并将其移交给苏联最高法院军事审判庭的有 344 人。被判处枪决的——232 人（其中有 158 人的死刑判决已经执行）。

苏联内务人民委员部认为有必要对关押在尤日斯基营地的其余战俘采取以下措施：

1. 追加逮捕并向苏联最高法院军事审判庭起诉——250 名参与叛卖活动的人。

2. 前战俘，包括 4,354 人，这些人没有足够可供审判的材料，但在被俘时的状态和在战俘营表现可疑的人员——根据内务人民委员部特别会议的决定，判处 5—8 年劳教所监禁。

3. 被俘的 450 名前战俘，由于受伤、生病或冻伤被俘，没有任何黑材料的人员，——释放并移交国防人民委员部处置。

苏联内务人民委员Л • 贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.66.Д.581.Л.78—79.原稿，机打。

145

给И·В·斯大林的《真理报》编辑部文章《国际间谍的死亡》的修改稿[①]

1940 年 8 月 16 日

国际间谍的死亡

新闻报道了托洛茨基的死讯。据美国报纸报道，近年来居住在墨西哥的托洛茨基被暗杀。刺客雅克·莫尔坦·范登德赖施是托洛茨基最亲密的人和追随者之一。

进入到坟墓当中的是这样一个人，一个名字为全世界劳动人民蔑视和诅咒的人，一个多年来与工人阶级及其先锋队布尔什维克党斗争的人。资本主义国家的统治阶级失去了忠实的仆人，外国情报部门失去了一个长期的、顽固不化的特务、杀人犯的组织者——他不耻于通过任何手段来实现自己的反革命目标。

托洛茨基在背叛和变节、在政治上的两面派和假仁假义的道路上走了太长的时间。难怪列宁在 1911 年将托洛茨基命名为“犹大”，而这个当之无愧的绰号永远属于托洛茨基。

托洛茨基以孟什维克——*反革命家*开始了他的政治生涯。早在 1903 年，在俄国社会民主工党第二次代表大会上，他就激烈反对列宁，捍卫和支持马尔托夫和其他*反革命的*孟什维克领导人的观点。很快，到了俄日战争的开始，托洛茨基更加坦率地露出了*变节分子和反革命*的面孔。他陷入了极端的护国主义立场当中，即保卫沙皇、地主和资本家的“祖国”。

托洛茨基以臭名昭著的“不断”革命理论迎接了 1905 年的革命。这就是解除无产阶级武装、解除其力量的理论。1905 年革命失败后，托洛茨基支持孟什维克取消派。弗拉基米尔·伊里奇·列宁随即如此描述托洛茨基：

“托洛茨基的表现就像最卑鄙的野心家和宗派主义者。……他谈论党，但表现得比所有其他宗派主义者都糟糕。”

世人皆知，托洛茨基是八月*反革命*孟什维克集团的组织者，该集团包括所有反对列宁的团伙和派系。

正如预期的那样，托洛茨基在自己的阵营里——在帝国主义大屠杀的捍卫者的阵营里遭遇了 1914 年 8 月开始的帝国主义战争。他用关于反战斗争的“左”的话术来掩盖他对无产阶级的背叛，这些字眼是为了欺骗工人阶级。在所有最重要的战争和社会主义问题上，托洛茨基都

反对列宁、反对布尔什维克党。

二月资产阶级民主革命后，布尔什维克对工人阶级、士兵群众的影响越来越大，孟什维克托洛茨基自认为列宁的*口号在群众中大受欢迎。他于 1917 年 7 月与他的一群同伙一起加入我们党，并宣布他“解除武装”到底。

然而，随后的事件表明，孟什维克托洛茨基并没有解除武装，也没有停止哪怕一分钟的斗争，*为了反对列宁，他进入了我们的党，以便从内部将其摧毁*。

1918 年春天伟大的十月革命几个月后，托洛茨基与一群所谓的“左派”共产主义者和左派社会革命党人一起，组织了一场反对列宁的邪恶阴谋，试图逮捕和肉体消灭无产阶级的领袖列宁、斯大林和斯维尔德洛夫。与往常一样，托洛茨基本人——一名奸细、杀人犯的组织者、阴谋家和冒险家——躲在阴影里。他在这场暴行的准备中起主导作用，幸运的是这没有成功，仅仅在二十年后，他的罪行便在 1938 年 3 月对反苏“托洛茨基主义集团”的审判中被充分揭露。仅仅 20 年后，托洛茨基及其手下的肮脏罪行终于大白于天下。

在内战年代，当苏维埃国家击退了无数白卫军和干涉主义者的进攻时，托洛茨基以叛卖的行动和破坏的命令千方百计削弱了红军的抵抗力量，*因此列宁禁止他访问东线和南线*。众所周知，托洛茨基对布尔什维克老干部怀有敌意，企图枪杀一批他不喜欢的负责任的前线共产党员，或使他们落入敌人之手。

在对反苏的“右派—托洛茨基集团”的审判中，托洛茨基的整个叛卖、变节的路径被向全世界揭露：审判中的被告、托洛茨基最亲密的同伙，承认他们和他们的上司托洛茨基自 1921 年起就为外国情报特务机构充当过国际间谍。*他们以托洛茨基*为首，热心为英国、法国、德国、*日本*的情报部门和总参谋部服务。

1929 年苏联政府将反革命叛徒托洛茨基逐出祖国时，欧美资本主义界纷纷将其拥入怀中。这并非巧合，这是很自然的。因为托洛茨基早已为工人阶级的剥削者服务。

托洛茨基陷入了自己的网络中，达到了人类堕落的极限。他被自己的支持者杀害。正是他教导出来的从角落里进行谋杀、背叛和对工人阶级、对苏维埃国家的施以暴行的恐怖分子，结果了他。托洛茨基组织了对基洛夫、古比雪夫、高尔基先生的恶毒谋杀，**同时也成了他自己的阴谋、背叛、变节和暴行**的受害者。

这个卑鄙的男人就这样不光彩地结束了自己的生命，他的额头上贴着国际间谍和杀人犯的印章。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.1124.Л.63—66.原稿，机打。编辑进行了部分改正。

文本包含了斯大林的笔迹。

*勾掉：“和斯大林”；

*—*斯大林标注；

-上面写着而不是划掉的“另一个顽固不化的间谍和特工、劳动人民的死敌，已经离开了资本主义世界的政治舞台。”

注释：

①物理消灭Л·Д·托洛茨基首先由И·В·斯大林在1938年提出的。根据苏联内务人民委员部国家安全总局外国处处长С·М·施皮格里戈拉斯的证词，研究了各种消灭托洛茨基的选项。涂有毒物的书的选项被否定了，因为无法完全确定它会在未打开的情况下送达收件人。由于各种原因，1938年派出的特工小组无法到达墨西哥。直到1940年，公开文件中提到的小组才完成了任务。

146

弹药人民委员部给И·В·斯大林关于火药厂事故调查的信

（1940 年 10 月 9 日）

编号 1242c

秘密

联共（布）中央

斯大林同志：

今年 9 月 26 日第 9 号火药厂（绍斯特卡市）在火药装袋阶段发生了事故。

事故造成 13 名工人死亡，8 名严重烧伤的人正在当地医院接受治疗。

为查明事故原因，一个委员会被立即任命，并由我的副手*赫连科夫*同志领导。

委员会发现，事故最可能的原因是金属异物进入粉末，其撞击和摩擦可能导致粉末粉尘被点燃。

之前曾多次观察到异物进入粉末，混入的原因包括固定升降机铲斗的螺母松动，以及升降机铲斗的撕裂和掉落。

委员会发现火药袋装置没有接地。显然，这种情况导致了粉末粉尘被点燃。

设备未接地严重违反了工厂管理部门的现有安全技术规则。

同时查明，基本建设科首席技师扎梅斯同志在将设备交付运行时（本年 4 月），向接收委员会报告该设备已接地。

委员会查明，在此生产阶段经常违反设备停车、检查和冲洗的时间表。工厂的技术管理部门和经理部门严重违反了现有的火药储存规则，允许生产建筑物超载，甚至在建筑物附近堆放成品。

事故发生的那一刻，大楼附近（距离大楼 10-15 米）还有 117 吨火药，也燃烧殆尽，自然而然地扩大了事故规模。

事故发生时大楼内存有 54 吨火药，也就是说总共有 171 吨火药发生了燃烧。

由于严重违反技术安全的犯罪行为，*以下人员被我免职并移交法院*：

车间主任：阿尼克耶夫同志。

生产主管：科尔皮纳同志。

生产机械师：马尔琴科同志。

委员会的材料被移交给检察官，以便使上述人员承担司法责任。

根据委员会的调查结果，已针对所有火药工厂制定了额外的安全措施，用来防止发生任何事故，而首先下达的指示是彻底检查所有火药生产设备的接地情况。

12 名死亡工人的家庭获发一次性死亡赔偿金，金额如下：

5 个家庭——每个 1,500 卢布；

5 个家庭——每个 1000 卢布；

2 个家庭——每个 500 卢布，1 名死亡女工没有亲属。

根据乌克兰苏维埃社会主义共和国人民委员会的决定，为死亡工人的 5 个家庭设立了个人养老金。

其余遇难者家属将按照现行法律领取社会保险养老金。

И • П • 谢尔盖耶夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.343а.Л.18—20.原稿，机打。

第一页上有批示：“梅赫利斯同志，谢尔盖耶夫同志的“委员会”几乎不值得信任，我想让您和贝利亚一起派三四个人调查一下。И • 斯大林”

*—*处由铅笔标记下划线

147

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于弹药人民委员部领导人“破坏”工作的特别报告

（1940 年 10 月 23 日）

编号 4490/ б

绝密

斯大林同志：

苏联内务人民委员部有消息称，弹药人民委员部第 2 总局局长鲍里斯·亚历山德罗维奇·叶夫列莫夫、同一总局的副总工程师阿纳托利·费多罗维奇·车尔尼亚耶夫和人民委员部技术委员会主席亚历山大·费多谢维奇·西多拉正在进行破坏工作。

Б·А·叶夫列莫夫，А·Ф·车尔尼亚耶夫和А·Ф·西多拉没有在“什卡斯”引燃物点火器第 5 和第 53 号工厂采取必要的措施优化生产技术，致使 1939 年和 1940 年有 1.71 亿件产品报废。

叶夫列莫夫和车尔尼亚耶夫也没有组织炮弹、地雷和航空炸弹引信的设计和生产的优化工作。结果，向红军交付Д-1 和МБ雷管的工作被中断。

西多拉于 1939 年 7 月改变了现有的火炮铁壳制造工艺，取消了对其热处理的操作，这导致出现了大量的残次品。1940 年，弹药人民委员部工厂没有按计划生产出 570 万件铁壳，而是只生产了 110 万件，其中还报废了 96 万件。

此外，斯大林格勒“街垒”工厂前厂长Д·С·布德尼亚克（已判死刑）的证词揭露叶夫列莫夫为反革命的托洛茨基组织成员，布德尼亚克于 1932 年参与了该组织。在 1934-35 年。叶夫列莫夫是人民公敌И·П·帕伏努洛夫斯基的助手。

根据第 19 号工厂前厂长波别烈日斯基（已判死刑）的证词，西多拉被指控破坏工作以破坏飞机发动机零件的投产工作。

内务人民委员部认为有必要逮捕Б·А·叶夫列莫夫、А·Ф·车尔尼亚耶夫和А·Ф·西多拉。

请您指示。

相关责任人的逮捕已征得了梅赫利斯同志和弹药人民委员谢尔盖耶夫同志的同意。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.343а.Л.57—58.原稿，机打。

148

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于波兰和捷克战俘的特别报告

（1940 年 11 月 2 日）

编号 4713/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

1. 在苏联内务人民委员部的集中营中，目前关押着 18,297 名波兰战俘，其中包括：将军 2 名、上校和中校 39 名、少校和上尉 222 名、中尉和少尉 691 名、军士 4022 名、列兵 13321 名。

在 18,297 人中，11,998 人是德国附属领土的居民。

有 3303 名战俘被关押在立陶宛和拉脱维亚，并被押送到苏联内务人民委员部的集中营。

除了指挥人员外，其余的绝大多数战俘都被征用于公路和铁路的建设。

此外，在苏联内务人民委员部内部监狱中，有 22 名前波兰军队军官被内务人民委员部逮捕，他们是在乌克兰和白俄罗斯西部地区活动的各种反苏组织的成员。

通过我们对案件的登记调查以及直接面谈的筛查结果，挑出了 24 名前波兰军官，包括：将军 3 人、上校 1 人、中校 8 人、少校和上尉 6 人、中尉和少尉 6 人。

2. 我们对所有被挑出的人进行了多次谈话，结果如下：

а）他们都对*德国人*极为敌视，认为*苏联和德国*之间的军事冲突在未来不可避免，并表达了参与即将到来的战争的愿望，在他们看来，*苏德战争*（胜利在）*苏联*一方；

б）他们中的一些人表示相信，波兰的命运及其作为民族国家的复兴只能取决于苏联，他们寄希望于苏联；另一些人（主要来自被关押在立陶宛的波兰人）仍然寄希望于英国人的胜利，他们认为英国人将有助于波兰的复国；

в）大多数人认为自己不承担与所谓的西科尔斯基“政府”有关的任何义务，而有些人则宣称他们可以站在*苏联*一边参加对*德国*的战争，前提是这样的行动由西科尔斯基的“政府”以某种形式来批准。初级军官宣布他们将按照任何波兰将军的命令行事。

3. 具体而言，应关注以下人员的立场：

a）亚努沙依茨将军说他可以接管*波兰部队的领导权*，如果他们在苏联领土上被组织起来*与德国作战*，而不管西科尔斯基“政府”在这件事上指示如何，然而，他认为勾画出一个描述*波兰未来命运*的特殊政治平台是合情合理的，同时，他表示应当为居住在乌克兰和白俄罗斯西部的波兰人划出个“缓冲地带”；

b）波鲁特-斯别霍维奇将军表示，他只能在西科尔斯基“政府”的指示下采取某些步骤，在他看来，西科尔斯基“政府”代表了波兰人民的利益；

c）普热兹杰茨基将军发表了与波鲁特-斯别霍维奇类似的声明；

d）几位上校和中校（贝林、布科叶姆斯基、戈尔钦斯基、特辛斯基）宣布，他们将完全接受苏维埃政权的调遣，并且他们将承担由波兰战俘组成的*任何军事编队*的组织和领导工作，旨在*与德国*作战，以期将波兰打造为一个民族国家。他们认为未来的波兰与苏联以一种或另一种形式紧密相连。

4. 为了解内务人民委员部集中营中其余战俘群众的情绪，苏联内务人民委员部的工作组被派往现场并分配适当的任务。

由于前期开展的工作，绝大多数战俘无疑可以用来组织*一个波兰军事单位*。

为此，我们认为合适的做法是：

不放弃使用亚努沙依茨和波鲁特-斯别霍维奇将军作为*波兰军事单位*的领导者的想法，其名字可以吸引前波兰军队的某些圈子，第一时间将*师*组织委托给上述——上文提到的一群上校和中校（附上他们的参考资料），他们给人的印象是聪明、博学、政治思想正确、为人真诚。

这个小组应该有机会与波兰战俘营中志同道合的人进行秘密交谈，并选择*未来师的干部*。

干部选定后，应在苏联东南部的一个国营农场安排一个*司令部*和一个*师*驻地。会同*工农红军参谋部*专职人员拟定*师*组建方案，解决*师（坦克师、摩托化师、步枪师）*的性质问题，并提供技术—材料供给。

同时，在波兰战俘营中的列兵和军士当中，内务人民委员部机关应开展适当的*招募人员加入师*的工作。

待新兵入伍，审查完毕后，将他们分批派往*师部*所在地，对他们进行适当操练。

*师*的组织及其训练在*红军总参谋部*的领导下进行。*师*之下组织一个*苏联内务人民委员部特务处*，其任务是为*师*人员提供内部服务（监督？）。

5. 至于捷克战俘，内务人民委员部集中营有 577 人（捷克人 501 人、斯洛伐克人 76 人），

其中：参谋上尉和上尉 8 人、初级军官 39 人、军士 176 人、列兵 354 人。

在与其中选出的 13 名军官交谈的过程中，确定他们都认为*德国*是他们的最根本的敌人*并希望*与其战斗*以恢复*捷克斯洛伐克国家*。他们认为自己是为捷克军队服兵役的人，他们认为贝奈斯是他们的领导者，如果在苏联领土上组织*任何捷克军事单位*，他们将按照贝奈斯的命令加入他们，或者，至少，按照他们的指挥官*斯沃博达上校*的命令，目前他人在境外。我们应该从国外召请*斯沃博达*。

附件：正文

苏联内务人民委员Л·贝利亚

出版时没有附件。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.50.Д.413.Л.152—157.原稿，机打。*处用墨水笔划线。

149

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于逮捕在利沃夫的恐怖分子的特别报告

（1940 年 11 月 19 日）

编号 4892/б

斯大林同志：

作为 1940 年 7 月 8 日第 2760/б号的补充，我们告知您，在 1940 年 7 月 8 日在利沃夫红军之家放电影期间在其水池区域投掷手榴弹的袭击者已经被查清并逮捕。

本案共逮捕 3 人：

1. С • В • 杰古尔斯基（又名克里布特—伍罗赫），没有特定职业，波兰人。

2. М • Д • 杰德尔丘克，乌克兰利沃夫警备区红军之家水池负责人，乌克兰人以及

3. В • И • 巴尔斯基，利沃夫警备区红军之家水池木匠，波兰人。

被捕者杰古尔斯基、杰德尔丘克和巴尔斯基对他们所犯的罪行供认不讳，并供述说他们按照波兰民族主义叛乱组织“武装斗争联盟”的指示投掷了手榴弹。

调查仍在继续。

苏联副内务人民委员

梅尔库洛夫

1940 年 11 月 19 日

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.24.Д.378.Л.202.原稿，机打。

在页面上有批示：“贝利亚同志，所有这些混蛋都应该被枪毙。斯大林”“已经向费多托夫同志作出了相关指示。Л • 贝利亚 1940 年 11 月 19 日”

150

联共（布）中央政治局“关于追究叛国者及其家属责任”的决议

附Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告

（1940 年 12 月 7 日）

机密

152 号

关于追究叛国者及其家属责任

通过由内务人民委员部建议的联共（布）中央和苏联人民委员会关于追究任意离开苏联前往其它国家的公民，即出国未归者，以及这些公民的家属的责任的决议草案。

附：152 号记录副本

关于追究叛国者及其家属责任

联共（布）中央委员会和苏联人民委员会决议

1. 为了加强对苏联国家边界的保卫和加强边界的管控，除了现行法律（俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法第 58-1a 条）——该法律规定了苏联与任意离开苏联前往其他国家的苏联公民相关的刑事处罚措施——之外，规定逃亡或逃往国外的叛国者的家庭成员应被流放到苏联北部偏远地区 3 至 5 年，并没收他们的所有房屋、农具和牲畜——在他们没有犯下依法应受到更严厉惩罚的罪行的情况下。

2. 在叛国者犯罪时，与其共同生活或接受其抚养的其家庭成员，将被追究责任。

3. 苏联内务人民委员部负责审理所有追究叛国者家属责任的案件。

4. 授予苏联内务人民委员部通过特别会议的决定将叛国者家属流放到苏联偏远地区 3 至 5 年，并没收属于他们的所有房屋、农具和牲畜的权力。

5. 指示苏联内务人民委员部向苏联人民委员会提交批准关于将叛国者的家人流放和没收其财产的程序的细则，规定流放者可以随身携带的最低限度的必要个人物品和家庭用品。

联共（布）中央书记

苏联人民委员会主席

1940 年 12 月 7 日

编号П23/152

（1940 年 12 月 4 日）

编号 5250/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

现行的刑事立法并没有规定叛国者家属的责任——如果逃亡国外的人不是军人的话。

因此，叛国者的亲属，如果他们参与逃跑或未能向当局报告他们所知道的即将逃跑的事实不能被调查证实的话，则他们不受镇压。

这样一来，特别是在苏联的新边界（白俄罗斯和乌克兰的西部地区、与罗马尼亚的边界、波罗的海苏维埃共和国），那里的居民偷越国境的现象——无论是单独的还是集体的——都在持续发生，目前正在采取的打击侵犯国界者的措施没有产生预期的效果。

为了采取更有效的措施打击侵犯苏联边境的行为并加强边境管控，苏联内务人民委员部认为有必要对逃亡国外的叛国者（不仅是军人）的家属追究刑事责任。

考虑到现行立法也没有规定对叛国者家属案件的管辖，并且基于尽快审理这些案件的需要，苏联内务人民委员部认为将所有叛国者家属案件的审议工作交给苏联内务人民委员部，并在这方面授予苏联内务人民委员部通过特别会议的决定在没收财产的情况下，将叛国者家属流放到苏联北部的某些地区是合理的。

同时，我向你们提交联共（布）中央委员会和苏联人民委员会决议的草案供你们审议。

如果有必要公布这一决定，在这种情况下，苏联内务人民委员部认为应颁布苏联最高苏维埃主席团令，并附上该草案。

联共（布）中央委员会和苏联人民委员会决议的草案及苏联最高苏维埃主席团令得到了赫鲁晓夫同志的同意。

苏联内务人民委员部请求您做出决定。

内务人民委员Л • 贝利亚

苏联最高苏维埃主席团令

关于国事犯罪的补充规定

关于叛国者家属责任的条款：

1.为加强对苏联国界的保卫、巩固边境管控，规定逃亡或逃往国外的叛国者的家庭成员应被流放到苏联北部偏远地区3至5年，并没收他们的所有房屋、农具和牲畜——在他们没有犯下依法应受到更严厉惩罚的罪行的情况下。

2.在叛国者犯罪时，与其共同生活或接受其抚养的家庭成员，将被追究责任。

3.建议各加盟共和国最高苏维埃根据本令修改和补充刑法。

苏联最高苏维埃主席团主席

M·加里宁

苏联最高苏维埃主席团秘书A·戈尔金

苏联内务人民委员部关于将逃亡或叛逃出国的叛国者的家庭成员流放至苏联北部偏远地区规定的实施细则

1.叛国者的所有成年家庭成员（父亲、母亲、妻子、丈夫、孩子、岳父、岳母、兄弟、姐妹）——与其共同生活或接受其抚养的，没有实施依法应从重处罚的犯罪行为的——应被流放到苏联北部偏远地区。

2.将叛国者家属流放的决定应由苏联内务人民委员部特别会议作出。特别会议的决定基于内务人民委员部调查机构确定叛徒逃往国外的事实的调查材料作出。

3.被判处流放的人，在苏联内务人民委员部特别会议的决定公布后，立即由内务人民委员部地方机关拘留，押送流放。流放者的未成年子女与成年家庭成员一起跟随。

注意：未成年人不应被关进监狱。在发配流放之前，必须为其分配一个特殊的房间。

4.被流放者可随身携带：

a）衣服、床单、鞋子、床上用品；

b）餐具、茶具和厨房用具（勺子、刀子、叉子、水桶等）；

c）一个家庭每月供应的食物；

d）小型家用、小型手工业或手工业生产用工具和器具（斧、锯、铲、镰刀、耙子、干草

叉、锤子、凿子、缝纫机等）；

e）每个家庭成员不超过 500 卢布的现金；

f）用于包装东西的箱子或盒子。

全家所携带的这些物品的总重量不得超过 500 公斤

其余财产：贵重物品（包括家居用品）、超过上述金额的金钱、房屋、家具、农具、牲畜-将被没收。

变卖没收物品的收益上缴国家。

5. 在流放地，被定罪的叛国者家属受内务人民委员部的公开监督。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.57.Д.59.Л.54. 副本，机打；Л.55—56,59,64—66.原稿，机打。

记录第 23 号

151

В·Н·梅尔库洛夫和Б·З·科布罗夫致И·В·斯大林关于调查火药厂大火原因的特别报告

（1940 年 12 月 10 日）

编号 5331/ б

副本

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

苏联内务人民委员部对 1940 年 9 月 26 日在苏联弹药人民委员部第 9 号火药厂（绍斯特卡市）发生火灾的原因进行了调查，此次事故导致 15 名工人丧生 18 人受伤，逮捕了：

1. 列昂尼德·彼得洛维奇·伊万诺夫——前 9 号工厂厂长；

2. 格里高利·叶菲莫维奇·科尔辛——同一工厂的前总工程师。

伊万诺夫承认，自 1937 年以来，他一直是国防工业人民委员部的一个反苏组织的成员，是被国家化学工业特种企业设计所第 4 特种科的前科长Н·Л·科斯捷茨基（死于狱中）招募进去的。

伊万诺夫在科斯捷茨基的指示下，于 1938 年与弹药人民委员部技术委员会第三分会前主席Г·Г·亚诺夫（已被捕）就敌对工作建立了联系。

在 1938 年被任命为第 9 号工厂（绍斯特卡市）的厂长后，伊万诺夫进行了破坏工作，包括推迟新机组的调试、不配套安装设备和经常违反安全规则。

1940 年 9 月伊万诺夫接到亚诺夫的一项任务——为了破坏政府既定的生产火药的计划，在 5 号火药生产实体当中的一个准备并实施破坏活动。正如伊万诺夫所供认的，亚诺夫强调他选择了第 9 号工厂作为破坏对象，因为它提供了全联盟火药产量的 22%。

在同一个亚诺夫的建议下，伊万诺夫将 9 号工厂的前总工程师Г·Е·科尔辛（同案被捕）招募进了敌对工作当中。

伊万诺夫和科尔辛于今年 9 月 25 日至 26 日事先商量好，为 5 号火药的生产提出一个故意

高估的产量计划，给设备套上了比定量大两倍的БОР（实验工程局）的袋子。

由于装袋装置有大量摩擦金属部件，过载导致产生火花和粉尘起火。结果，9 月 26 日上午 8 点 30 分，9 号工厂发生了火灾。

科尔辛承认，自 1934 年以来，他是国防工业人民委员部的一个反苏组织的成员，他被喀山第 40 号火药厂的前总工程师——К·Г·拉普萨尔（已判极刑）招募进其中。

科尔辛证实了伊万诺夫的证词，即在亚诺夫的指示下，他们故意使用容量超量一倍的实验工程局袋子，导致今年 9 月 26 日发生火灾。

伊万诺夫和科尔辛在 9 号厂敌对工作的证词还揭发了：

1. 尼古拉·德米特里耶维奇·阿法纳西耶夫——前安全技术部门负责人；

2. 彼得·加夫里洛维奇·扎梅斯——前基本建设科首席技师；

3. 亚历山大·雅科夫列维奇·卡尔边科——前 5 号火药生产技师；

4. 维克多·米哈伊洛维奇·阿尼克耶夫——前 5 号火药生产第 54 车间负责人；

5. 奥列加·伊万诺夫娜·科尔宾娜——5 号火药生产的前负责人。

所有名单上的人均已被内务人民委员部逮捕。

阿法纳西耶夫承认他是 9 号工厂的反苏破坏组织的成员，他于 1940 年被Л·П·伊万诺夫招募其中。

阿法纳西耶夫在伊万诺夫的指示下，对 9 号工厂进行了破坏工作，具体表现如下：

a）允许使用有缺陷的新设备；

b）故意在生产建筑附近堆积大量火药，为火灾创造了有利条件。

扎梅斯承认，自 1940 年以来，他是在 9 号工厂运作的反苏组织的成员，是被Л·П·伊万诺夫招募其中的。

扎梅斯证实了伊万诺夫和科尔辛的证词，即由于反苏组织成员在 1940 年 9 月 26 日的敌对工作，使用实验工程局袋子的建筑着火了。今年 9 月 30 日火灾发生后，为了隐藏反苏组织犯罪的痕迹。扎梅斯提交了一份关于消除实验工程局袋子缺陷的工作的杜撰的文书，并声称该文书是在 1940 年 5 月 7 日编纂的。

卡尔边科承认，他系经常性地违反了安全规则，没有采取必要的措施清理池子里的废焦木素，还没有接地就使用了实验工程局袋，导致了火灾的发生。

阿尼克耶夫作证说，他亲自遵照伊万诺夫和科尔辛的指示，使用超量两倍的实验工程局袋，结果发生火灾。

科尔宾娜作证说，由于她犯罪般的玩忽职守，实验工程局装袋装置在投产时存在多项缺陷，并在生产建筑附近存放了大量火药，导致今年 9 月 26 日火灾的严重后果。

调查仍在继续。

附：

1）Л·П·伊万诺夫日期为 1940 年 10 月 29 日的证词。

2）Г·Е·科尔辛日期为 1940 年 10 月 31 日的证词。

苏联副内务人民委员梅尔库洛夫

苏联内务人民委员部经济管理总局局长科布罗夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.343а.Л.165—170.原稿，机打。出版时没有附件。

152

В·Н·梅尔库洛夫和Б·З·科布罗夫致И·В·斯大林关于检查弹药人民委员部机构的特别报告附А·Ф·西多拉和Б·А·叶夫列莫夫的审讯笔录

（1940 年 12 月 10 日）

编号 5333/Б

绝密*

联共（布）中央

斯大林同志：

苏联内务人民委员部在检查弹药人民委员会机构的过程中，逮捕了以下人员：

鲍里斯·阿列克谢耶维奇·叶夫列莫夫——前第二总局局长；

亚历山大·费多谢维奇·西多拉——前人民委员部技术委员会主席；

阿纳托利·费多罗维奇·车尔尼亚耶夫——原第二总局副总工程师；

格里高利·格里高利耶维奇·亚诺夫——人民委员部技术委员会第三分会前主席。

1. Б·А·叶夫列莫夫承认，自 1933 年以来，他是国防工业系统中存在的一个反苏组织的成员，被斯大林格勒“街垒”工厂的前厂长Д·С·布德尼亚克（已判死刑）招募。

1934 年，根据布德尼亚克与重工业人民委员部军事动员总局（ГВМУ）前副局长、托洛茨基分子С·З·叶尔曼（已判死刑）的约定，叶夫列莫夫被调到莫斯科工作，担任军事动员总局前局长И·П·帕伏努洛夫斯基的助理。1936 年，在同一个叶尔曼的协助下，他被任命为扎戈尔斯克苏联弹药人民委员部第 11 号底火和手榴弹厂厂长。

2. А·Ф·西多拉***承认，他曾在 1932 年被哈尔科夫拖拉机厂前厂长П·И·斯维斯顿（已判死刑）招募参加反苏工作。

1936 年，西多拉在斯维斯顿的协助下被调往莫斯科工作，担任第一飞机厂厂长，并于 1938 年被任命为国防工业人民委员部弹药总局总工程师。

1932 年，斯维斯顿获悉哈尔科夫拖拉机厂铸造车间前主任、现***弹药人民委员部莫斯科 70 号炮弹厂厂长В·И·霍胡利亚***参与了哈尔科夫拖拉机厂的反苏组织，1938 年，西多拉就与后者就敌对工作建立了直接联系（参见西多拉的第 5、9、10 页的证词）。

西多拉在弹药人民委员部的破坏性工作如下：

1）故意不开发制造铁质炮弹壳的工艺流程，导致废品占所有产品的比例高达 50%；

2）破坏政府特别决定规定的轧制铁弹壳生产；

3）拖延 122 毫米炮弹壳的生产进度，为此为它们（122 毫米炮弹壳）的制造提供低质量的金属（见第 11、12、13 页）。

3. А·Ф·车尔尼亚耶夫***承认他是一个存在于国防工业中的破坏组织的成员，并且在第 11 号工厂和苏联弹药人民委员部第 2 总局都按照本案中被捕者Б·А·叶夫列莫夫的指示进行了敌对活动。

车尔尼亚耶夫供述说，在叶夫列莫夫的指示下，他没有在 5 号和 53 号工厂采取必要措施优化什卡斯引燃物点火器的生产技术，因此产生了大量废品；故意拖延这些工厂工具的更新换代，也没有设计出用于炮弹、地雷和航空炸弹的引信。

4. Г·Г·亚诺夫***承认他在弹药人民委员部技术委员会进行破坏工作，故意允许在火药厂生产厂房附近储存大量火药，造成频繁自燃。同时，亚诺夫否认他参与了今年 9 月 26 日在第 9 号火药厂（绍斯特卡市）的破坏行为，此次破坏行为导致 15 名工人遇难，18 人受伤。

伊万诺夫和科尔辛的证词是分开呈现的。

由于车尔尼亚耶夫和亚诺夫隐瞒了他们实际进行的反苏工作的全部内容，我们将继续审问他们，并将另外提供证词。同时提交Б·А·叶夫列莫夫 1940 年 12 月 6 日和А·Ф·西多拉 1940 年 11 月 29 日的审讯笔录，苏联内务人民委员部认为有必要逮捕：

1. 瓦西里·雅科夫列维奇·希巴诺夫——苏联副弹药人民委员。

2. 米哈伊尔·斯捷潘诺维奇·伊尼亚什金——前苏联副弹药人民委员，被联共（布）中央解职。

3. 弗拉基米尔·伊万诺维奇·霍胡利亚——苏联弹药人民委员部第 70 号工厂的负责人。

霍胡利亚的敌对工作也被目前被拘留的 70 号工厂的前首席冶金师Ю·И·维尔日斯基的证词所揭露，该人与霍胡利亚 1940 年以前围绕 70 号工厂的破坏活动和已被判处死刑的车里雅宾斯克拖拉机厂铸铁车间主任П·В·里亚斯科夫斯基和该厂前总工程师Е·И·古列维奇有关联。

请您指示。

附件：正文

苏联副内务人民委员梅尔库洛夫

苏联内务人民委员部经济管理总局局长科布罗夫

被逮捕的亚历山大·费多谢维奇·西多拉的审讯笔录

（1940 年 11 月 29 日）

А·Ф·西多拉，1901 年生于克里米亚苏维埃社会主义自治共和国达列萨林村，乌克兰人，自 1939 年以来一直是联共（布）党员。在被捕之前系苏联弹药人民委员部技术委员会的成员。

问：在之前的审讯中，您承认 1932 年你参与了一个存在于哈尔科夫拖拉机厂的，由该厂前任厂长斯维斯顿领导的破坏集团。

您确认这些证词吗？

答：是的，我确认。

问：请详细说明——您在什么情况下参与了敌对工作？

答：我于 1930 年在哈尔科夫拖拉机厂遇到了潘捷列伊蒙·伊万诺维奇·斯维斯顿，我在那里担任冲压车间的负责人。还是 1930 年，我被斯维斯顿两次派往美国出差，在国外待了大约 8 个月。

滞留美国和在美国生活的外在方面影响了我的政治情绪。我还没有成为苏联政权的绝对敌人，但偶尔分享我住在美国的印象，我表达了对苏联生活、食品供应困难和消费品缺乏的不满。斯维斯顿时常助长我的反苏情绪，他用心倾听我关于美国的故事，并把他自己对苏联局势的反苏批评给加了进来。

在确认我赞同他对现有体制的敌意态度后，斯维斯顿开始邀请我去他家。从 1931 年开始，我就和工厂的其他领导一起经常拜访斯维斯顿的公寓。

问：说出他们的名字。

答：除了我之外，常去斯维斯顿家里拜访的有：他的副手——*鲍里斯·马尔科维奇·施聂尔森*，工厂总工程师——亚历山大·达维多维奇·布鲁斯金，工具车间负责人——*巴维尔·亚历山大洛维奇·阿里波夫*和铸造车间负责人——弗拉基米尔·伊万诺维奇·霍胡利亚。

他们都是斯维斯顿的跟班，并得到了他的支持。

在斯维斯顿的公寓里举行的聚会期间，他们在不断饮酒的同时，谈话的内容不仅围绕着工厂的事务，而且围绕着整体情况——工业的形势进行，同时还会听到了针对联共（布）中央领

导层的反党攻击。

斯维斯顿表示，集体化政策不合他意，集体农庄据称在导致农业衰落方面难辞其咎。他说，我们不应该催促生产拖拉机，因为农民还不能用拖拉机工作——他们还没发展到能使用拖拉机的程度。

斯维斯顿在我面前毫不犹豫地表达了他对党的敌对态度，只是在1932年才告诉了我在哈尔科夫拖拉机厂进行实际的敌对工作的实质，因为他那个时候确信我完全同意他的反苏观点。

1932年9月底或10月初，斯维斯顿邀请我独自一人去他的公寓谈话。他说情况正在滑向灾难，“必须拯救祖国”。我逐字复述这句话，因为我在当时与斯维斯顿的长时间对话中对这句话印象特别深刻。他谈了很多：关于似乎存在的利用最近建立的许多新企业的不可能性，关于集体农庄没有生命力的问题——缺乏衣服、鞋类和食物，以及工业化和集体化政策据称遇到了来自民众的敌意。谈话结束时，斯维斯顿说：“和我们有同样想法的人必须反抗国家存在的不公正现象。”

对于我提出的问题——有没有人能够解决这些问题？——斯维斯顿给出了答案：乌克兰的一些领导人不同意党的政策，但是，可能出于谨慎，他没有说出名字，仅限于表明这些人在党内秘密做着自己的工作，并邀请我加入他们。

同时，斯维斯顿表示是时候让我从同情他的观点开始做正事了，我向斯维斯顿保证我已准备好按照他的指示采取行动。我们的谈话就这样结束了。

在几天后举行的会面中，斯维斯顿作为上次谈话的后续行动告诉我，在哈尔科夫拖拉机厂，他团结了一群不同意党的政策并在实质上支持右派的人。然后斯维斯顿提到了：布鲁斯金、施聂尔森、阿里波夫和霍胡利亚，他们在工厂中，每个人都在自己的部门内进行破坏工作。

在同一次谈话中，斯维斯顿给了我一项具体的破坏工作任务：使用劣质材料制造拖拉机零件。

问题：你完成这个任务了吗？

答：是的，在接下来的工作我都是按照斯维斯顿的指示进行的。所以，拖拉机的曲轴和凸轮轴都是我用有裂纹的劣质金属生产的：杆由泡沫金属制成，底座由磷含量高的金属制成。

由于我的破坏工作，仅在1933年7月，就多达80%的制造出来的曲轴和30%的凸轮轴报废。

1933年底，我被任命为哈尔科夫拖拉机厂的生产负责人，我经常性地耽误从铸造和锻造到机械装配车间的零件供应。

我经常耽误设备的检查和维修：铸造车间的传送带和烘箱以及机械加工车间的“独一”机

床，这些都影响了生产计划的实施和产品的质量。

与此同时，我延迟了工厂生产车间的工具供应，这也扰乱了他们的正常运行。

我在哈尔科夫拖拉机厂进行的破坏性工作从 1933 年持续到 1936 年。

1936 年 7 月，在斯维斯顿的协助下，我被任命为第一飞机制造厂（莫斯科）的厂长。

在离开哈尔科夫拖拉机厂之前，我与斯维斯顿在他位于哈尔科夫郊区的别墅里进行了交谈。

问：请复述这段对话的内容。

答：斯维斯顿在谈话开始时告诉我，我在他的推荐下被任命为厂长。他说，虽然我们分手了，但在莫斯科的飞机厂，我仍然必须遵守我在哈尔科夫拖拉机厂的路线。

然后，斯维斯顿建议我抵达莫斯科后，向重工业人民委员会秘书处长谢姆什金汇报工作，从他那里我获得了必要的联系，以便在莫斯科开展进一步的反苏工作。

问：你联系过谢姆什金吗？

答：1936 年 8 月，我在重工业人民委员部拜访了谢姆什金，说我有斯维斯顿的指示。

谢姆什金回答说，关于我他已经被斯维斯顿事先告知，并提出让我接受图波列夫的所有必要指示，图波列夫当时担任重工业人民委员部航空总局的总工程师。

谢姆什金事先告诉我说，需要时图波列夫本人会打电话给我。

问题：您与图波列夫见面了吗？

答：是的，在 1936 年 11 月或 12 月，我被图波列夫叫到他的办公室。

图波列夫建议以他的名义联系 1 号工厂的总工程师——**叶夫格拉夫•普尔费罗维奇•希库诺夫**，并表示将事先告知后者需要就工厂的所有工作来联系我。

同年年底，也就是 1936 年，我与希库诺夫建立了联系，我和他一起在第一工厂进行了破坏工作，旨在延缓向红军供应现代化的作战飞机的进程。

问：你在第一工厂的破坏工作是什么？

答：我和希库诺夫在管理机构面前为过时的“埃尔泽特”飞机的生产辩护，并破坏了新型战斗机生产的开发工作。

“埃尔泽特”飞机的速度已达到极限，且达不到 1936 年提出的飞航要求。此外，这架飞机（“R-5”型）是用木头制成的，很容易磨损。尽管知道这一切，希库诺夫和我仍然为生产“埃尔泽特”的必要性辩护，但根据政府的决定，此种飞机被停产，工厂被提议转而生产金属材质的“伏尔蒂”飞机和“И-15”战斗机（改装）。

在接到新的政府任务后，我们仍继续生产无法使用的“埃尔泽特”，我和希库诺夫同时拖

延了原型机的设计和生产，从而妨碍了И-15飞机的试制生产。我们无视И-15飞机的设计师波利卡尔波夫向工厂提出的要求,没有及时为他提供场地和设计师,还拖慢了生产图纸的交付。

1938年8月，由于一号工厂在我的领导下工作一塌糊涂，我被免去厂长职务，同年10月我被任命为国防工业人民委员部第21总局（弹药）总工程师。

随着调往第21局，我与航空业的反苏组织成员失去了联系。

问：这是否意味着你停止了你的敌对工作？

答：我没有这么说。我恢复敌对工作是在以下情况下进行的。1938年10月或11月，霍胡利亚就工作的事情来第21总局找我，关于他参与哈尔科夫拖拉机厂破坏小组的事，我已经在上面说过。

霍胡利亚在谈话开始时对我调任到总局表示满意，并告诉我他已经在莫斯科工作，担任第70号炮弹厂厂长。

霍胡利亚问道——我现在是否还像以前在哈尔科夫拖拉机厂时,在斯维斯顿的领导下那样工作？我说我已经切断了所有可能危及我的联系。

然而，作为回应，霍胡利亚开始责备我懦弱和无端的惊慌失措。霍胡利亚同时表示，他不怕在70号厂开展工作，我为什么要改变我的信念？而不是为了我们共同事业的利益而利用我在人民委员部的职位的便利条件。

在得到我同意恢复破坏工作的保证后，霍胡利亚建议我联系***列夫·所罗门诺维奇·库珀***，他曾担任第21总局副总工程师。我答应霍胡利亚联系库珀。

问：您照此办理了吗？

答：库珀自己这么做了。1938年12月，库珀——他在与我在总局一起工作的两个月里认识了我——来到我的办公室，并在就官方问题进行了简短的交谈后告诉我，他得到了霍胡利亚的委托。

经过进一步交谈,我与库珀建立了联系,他告诉我他有一个任务——干扰铁质炮弹的生产,并拖延176号和187号工厂（图拉）的生产。

我问库珀——他个人从谁那里接受了这样的任务，但那次他拒绝回答。只是在1939年初，在弹药人民委员部组建之后，库珀在一次谈话中说，他正在从火药总局总工程师格奥尔基·格奥尔基耶维奇·亚诺夫和弹药人民委员部副部长——****尼古拉·马特维耶维奇·赫连科夫****那里接受关于破坏工作的任务。

问：您亲自联系过他们吗？

答：我个人与亚诺夫和赫连科夫没有关系，但从库珀的话中我知道他们参加了弹药人民委员部当中的破坏组织。

在与我建立联系时，库珀说在第 21 总局仍然没有可以依靠的人，但我们不能没有他们，所以我必须进行相应的工作。我同意这一点。

问：请详细说明你在弹药人民委员部进行的全部破坏工作。

答：根据 1939 年政府批准的计划，176、187 厂（图拉）和 184（喀山）厂应生产约 800 枚铁质炮弹壳。

为了将铁质炮弹壳生产计划付诸实施，需要研发一个庞大的工艺流程。早在 1939 年初，176 号工厂现有的库德里亚夫采夫热加工工艺不能保证足量地，特别是高质量地实现弹壳生产计划的情况就已经显而易见。尽管如此，库珀和我并没有刻意改变流程。库珀还为工厂提供了劣质铁，因此该计划在 1939 年中断，即使是少量制造出的弹壳——也有 50%的废品。

在第 187 号工厂，有一个使用ЛИМ（列宁格勒金属研究所）的冷方法制造弹壳的工艺流程。1939 年 7 月或 8 月，应红军炮兵司令部的要求，更改了 76 毫米铁制炮弹壳的图纸，但在我的指示下，没有制造出正确的排气装置。结果，多达 10 万个弹壳无法使用。

1939 年，第 187 号工厂被责成生产 100 万枚铁轧炮弹壳。政府的这个决定被我们破坏了，1939 年，187 号工厂连一个铁轧炮弹壳都没有生产出来。

我应该指出，生产炮弹壳的决定是在赫连科夫的提议下做出的，他误导了决策制定者，没有告诉他们 187 号工厂完全没有准备好生产炮弹壳。

由于 1939 年底第 187 厂生产失败，我被叫到赫连科夫那里，他建议我向弹药人民委员部的一些工厂重新分配生产 122 和 152 毫米铁轧炮弹壳的计划。

当我提醒赫连科夫这些炮弹壳连图纸都没有，工厂的设备也不适合生产铁轧炮弹壳时，赫连科夫说这对他来说并不算什么新闻，并提出立即执行他的指示，将相应的计划发送给工厂。

赫连科夫知道 1940 年一季度，176 厂和 187 厂无法掌握新口径炮弹壳的生产，而这会扰乱配套射击，但赫连科夫指示我生产铁炮弹壳，并暂停生产黄铜炮弹壳。我接受了赫连科夫的这个任务，耽误了铁制弹壳生产的研发，给国家造成了很大的损失。

笔录根据我的供词准确记录，我已通篇阅读。

西多拉

审讯人：

苏联内务人民委员部经济管理总局调查室调查员、国家安全中尉马力索夫

被捕的鲍里斯·亚历山德罗维奇·叶夫列莫夫的审讯笔录

（1940 年 12 月 6 日）

Б·А·叶夫列莫夫，生于 1903 年，莫斯科本地人，俄罗斯族，自 1930 年系前联共（布）党员，被捕前是苏联弹药人民委员部第二总局的负责人。

问：您因在国防工业中从事敌对工作而被捕。您是否打算就对您提出的指控的案情提供详尽的证词？

答：我不承认我有罪，因为我从未进行过任何敌对的工作。

问：您是如何进入弹药人民委员部第二总局工作的？

答：1939 年 1 月，我从扎戈尔斯克市的弹药人民委员部第 11 号信号弹、底火和手榴弹工厂厂长的位置上被提拔到弹药人民委员部机关工作。

问：您是怎么进入 11 号工厂的？

答：1936 年底，在原重工业人民委员部军事动员总局（ГВМУ）副局长——托洛茨基分子谢苗·扎哈罗维奇·叶尔曼的协助下，我被任命为第 11 厂厂长。而他随后被内务人民委员部机构逮捕。

问题：在被分配到 11 号工厂之前，您在哪里工作？

答：1934-1935 年。我曾担任伊万·彼得洛维奇·帕伏努洛夫斯基的助手，他是军事动员总局局长，他也于 1937 年被捕。

问：谁推荐你到军事总动员局工作的？

答：丹尼尔·菲利波维奇·布德尼亚克——斯大林格勒“街垒”工厂的前厂长。

问：他现在在哪里？

答：布德尼亚克于 1937 年或 1938 年逮捕了。

问：您怎么解释？这些已经确认为敌人的人竞相推荐您在这个和那个岗位上工作并担任领导职务。

答：可能，帕伏努洛夫斯基、叶尔曼和布德尼亚克认为我是“他们自己的人”。

问：根据什么？

答：我认为我是一个不会出卖他们、会掩盖他们犯罪活动的人，值得信赖。

问：何以见得？

答：早在我被提名之前，在 1933-1934 年，在斯大林格勒与我的反复交谈中，布德尼亚克就表达了他对托洛茨基分子的同情，并表达了对党的集体农庄发展政策的不同意见，但出于朋友的感情我没有向党的机关通报他的这种情绪。

问：布德尼亚克与您分享他的托洛茨基主义观点只是出于“朋友的感情”吗？

答：我不否认，在与布德尼亚克的多次谈话中，我支持他对党的政策的不满。布德尼亚克见我没有泄露我们之间发生的反党谈话的内容，就相信了我。

问：您不要绕弯子，而是应该交代您与布德尼亚克关系的真相。

答：我会说实话。从 1933 年开始，我不仅是布德尼亚克的政治伙伴，而且由于敌对工作，我在组织上也与布德尼亚克有联系。

问：请详细说明——您是在什么时候以及在什么情况下与布德尼亚克建立组织联系的？

答：我是 1932 年通过与布德尼亚克在苏联重工业人民委员部武器军械联合企业一起工作时与他认识的。1932 年 11 月，我被布德尼亚克提升为他的主管财务的副手，1933 年 8 月，在他调往斯大林格勒担任“街垒”工厂厂长后，在布德尼亚克的坚持下，我被任命为该工厂的副厂长。

抵达斯大林格勒后，布德尼亚克和我住在同一所房子里，经常和女人们一起喝酒。在日常生活当中建立亲密关系的基础上，我们多次就政治话题进行坦诚交谈，布德尼亚克抱怨自己受排挤，没有出路，同时对皮达可夫表示同情——皮达可夫全方位地支持他。

布德尼亚克看出我是一个同情他的人之后，开始以个人的立场公开表达对党的中央委员会的不满，同时表达了他对托洛茨基分子——从他的视角来看——的偏执的立场。布德尼亚克赞扬老托洛茨基分子，强调他们对国家的功勋，对托洛茨基分子的方针表示同情，并表示不同意党的发展和加强集体农庄的路线。与布德尼亚克交谈的结果是，我很快就开始分享他的反苏观点。

1933 年 11 月，“街垒”工厂主要装置的事故变得更加频繁。在我被邀请到他的公寓时，我提请布德尼亚克注意到这种情况，并问他——怎么了？布德尼亚克告诉我，在他的带领下，在他领导的工厂里，一群与他一样对国家局势持“特殊”观点的工人们已形成了一个集团，这使我立刻明白，这些事故是这群人所为。在继续表达对国家领导层的不满的同时，布德尼亚克说我也应该加入这个集团。

问：你对这个提议有何反应？

答：一开始我犹豫了，不知道是同意布德尼亚克的提议，还是向有关部门报警，揭露他创

建的集团，但后来我决定了，因为如果我要是出卖他，把我们捆绑在一起的因素则太多了，因此我同意了布德尼亚克的建议。

问：布德尼亚克有没有告诉你他创建的集团的成员？

答：在和我的谈话中，布德尼亚克说他的集团成员是：凯塔诺维奇——首席机械师、列尔涅尔——财务经理、切尔卡索夫——第一车间负责人和列别津斯基——“街垒”工厂热处理车间负责人。列别津斯基和凯塔诺维奇在之后被捕，但我不确定*切尔卡索夫和列尔涅尔*的命运。

问：布德尼亚克在招募你加入反苏集团时有没有给你安排什么任务？

答：正如布德尼亚克在同一次谈话中向我解释的那样，起初我的任务只是不干扰“街垒”工厂正在进行的破坏工作。

然而不久，我病倒了，不得不动身前往莫斯科接受长期治疗。

1934 年我去莫斯科之前，布德尼亚克建议我联系重工业人民委员部军事动员总局（ГВМУ）副局长——叶尔曼，说他会预先告知后者关于我的事。布德尼亚克说，通过叶尔曼，我们将解决您调到莫斯科工作的问题。我开始跟着叶尔曼，也确实被他任命为重工业人民委员部军事动员总局局长——帕伏努洛夫斯基的助手。

问：您有没有因为敌对的工作联系过叶尔曼？

答：我没有与叶尔曼建立敌对工作的联系，但我很清楚布德尼亚克向叶尔曼推荐了我作为他们志同道合的人。然而，不管怎样，我试图削减子弹工厂 1935 年第四季度的生产计划，但这些工厂的党组织认为我发布的计划是破坏性的。由于此事闹得沸沸扬扬，我不可能继续留在军事动员总局，我被派往第 17 厂（波多利斯克市）担任财务室副经理。

在前往波多利斯克之前，我与叶尔曼进行了交谈，他承诺会尽快提拔我。1936 年 9 月，在叶尔曼的协助下，我被任命为第 11 号信号弹、底火和手榴弹厂（扎戈尔斯克市）的厂长。

问：您是想说您被拉进反苏集团后，没有进行任何实际的敌对工作。这是真的？

答：我是从 1936 年被任命为 11 号厂厂长后才开始从事破坏性工作的。

问题：这次破坏活动是什么？

答：在我被任命为第 11 厂厂长后不久，我就与厂党委书记格里高利·弗拉基米罗维奇·宗别（他于 1937 年被捕）建立了密切的关系。从一开始，我们不仅在工作上，而且在日常生活中都变得亲密。

1936 年，在布德尼亚克的推荐下，一名托洛茨基分子*布里利安托夫被允许进入工厂，不久之后他被内务人民委员部逮捕。我还在工厂里雇佣了其他有可疑的过去的人，包括德意志族

人雷德利希*，他的亲戚住在国外，卢登科，他不被允许在保密工厂工作，还有其他人，我现在不记得他们的姓氏了。

所有这一切都让宗别有理由坦率地与我交谈，他让我明白他准备继续支持我关于工厂人事的方针路线。

此外，宗别告诉我他知道我与国防工业中的反苏组织的联系，并且让我明白他是从布德尼亚克或叶尔曼那里知道我与他们的联系。反过来，宗别告诉我在 11 号工厂存在一个反苏组织，并告诉我了其人员构成。

问：宗别向您提到了该组织当中的谁？

答：宗别告诉我，除了他之外，这个组里还有：希巴诺夫，他当时是第一车间的负责人，现在是副人民委员；米哈伊尔·斯捷潘诺维奇·伊尼亚什金——弹壳车间负责人，而其最近的职务是副弹药人民委员，和*****萨文*****（我不记得名字和父名）——11 号厂的总工程师。

问：您是否联系过宗别列出的任何个人？

答：是的，联系过。

问：和谁？

答：与希巴诺夫。

问：怎么样的联系？

答：1937 年春天，由于希巴诺夫的错误，工厂的曳光剂（杯子）的生产计划被破坏。我把希巴诺夫叫到我的办公室，直接说我从宗别那里知道他希巴诺夫参与我们集团的事情，以及曳光剂生产计划被破坏的真正原因。我告诉希巴诺夫，他的疏忽使我们所有人都面临失败的威胁，并建议他以后更加小心地工作。希巴诺夫对我的话一点也不感到惊讶，并表示他会考虑我的指示。

问：你在 11 号工厂进行过实际的敌对工作吗？

答：是的，我做过。

问：敌对工作是如何体现的？

答：我在 11 号厂的敌对工作如下：

a）生产车间和辅助车间的建设不成比例，消防供水系统建设和电力设施改造滞后，导致电线自燃，由于在工厂内堆积了大量炸药，因此特别危险；

b）无视安全预防措施，导致 5 号车间在 1938-1939 年间多次发生爆炸并造成人员伤亡，直到我调到弹药人民委员部工作为止；

c）用于红军的特殊类型产品的产量经常性减少，民用订单的生产量相应增加，因此该工厂经常性地完不成“ДМ-11”烟幕弹的生产计划，手榴弹的生产计划也经常完不成。

同时，希巴诺夫阻挠了用于45毫米炮弹的诺德尔菲尔德导火引信（３ＴＨ）的投产。结果，在1937年和1938年。本该列装在红军武器装备上的约100万根导火引信没有列装。

此外，该工厂在1937年生产了数十万信号弹筒、信号手榴弹和飞机信号弹，这些弹药配备了不稳定的有色焦木粉，无法坚持到既定的保质期。在实际使用中，这些植物产品会发出错误颜色的信号，因此这些弹药不得不报废。

工厂第5车间的前任负责人,现任弹药人民委员部第二总局总工程师的阿纳托利·费多罗维奇·切尔尼亚耶夫，也直接参与实施了破坏信号弹和手榴弹生产的行动。

问：您对切尔尼亚耶夫了解多少？

答：切尔尼亚耶夫是希巴诺夫的亲信。在希巴诺夫的坚持下，切尔尼亚耶夫于1937年底被我任命为该厂的总工程师。然后希巴诺夫告诉我，切尔尼亚耶夫参与了敌对工作。从希巴诺夫处得到这个消息后，我拉近了同切尔尼亚耶夫的关系，并进一步联系他进行破坏工作。

问题：继续供述您的破坏工作。

答：1938年，我承接了510号飞机信号弹生产车间的改装任务，以用来生产航空曳光弹（ＣＡＢ-3)。然而，根据后来修改的设计，车间没有配备原始设计中设想的小工作室，而是配备了劣质的防护罩。很明显，这些防护罩并不能隔离液压机上曳光弹闪爆所产生的火焰。然而，希巴诺夫与工厂总工程师费多尔·瓦西里耶维奇·科兹洛夫一起，故意篡改设计，错误地改装车间，导致1939年发生爆炸，造成3名工人死亡，车间暂时瘫痪。

我个人在实施这项破坏行为中的罪行是,在我已经是弹药人民委员部第二总局局长的情况下，我允许违反设计的情况出现，并且没有阻止灾难发生。

1939年1月，我被任命为弹药人民委员部中央供销局局长，同年5月，又被任命为第二总局局长。

和我同时，Ｍ·Ｃ·伊尼亚什金被任命为副弹药人民委员（主管人事)，他立即开始把第11厂的工作人员拉进人民委员部。在我知道的11号工厂反苏集团成员当中伊尼亚什金把希巴诺夫调到了弹药人民委员部,先是让他担任人民委员部委员会成员,后来则让他当副人民委员。

同时，我在希巴诺夫的推荐下，将切尔尼亚耶夫调到人民委员部并被任命为第二总局的副总工程师。随着1939年9月切尔尼亚耶夫被调到人民委员部，我就破坏工作与他建立了直接联系。

于是，在弹药人民委员部，一群原第 11 厂的工作人员纠集在一起，继续着敌对工作。该集团包括：M・C・伊尼亚什金、A・Φ・希巴诺夫、A・Φ・车尔尼亚耶夫，以及我，叶夫列莫夫。

问：您在弹药人民委员部的敌对工作是如何体现出来的？

答：我阻挠了什卡斯引燃物点火器的开发和生产。对 5 号工厂（列宁格勒），我没有给予他们在金属方面的技术支持，也没有将 53 号工厂生产底火的工艺流程转交过去，而 53 号工厂已经有相应的制造这些底火的经验，因此，直到 1940 年 10 月，5 号厂还没有研发出底火的生产技术，底火实际上也没有投产。

1940 年初，国防委员会指示弹药人民委员部继续使用虫胶——需要从印度进口——的国产替代品。切尔尼亚耶夫和我参与了改用国内虫胶替代品为第二总局的弹药喷漆问题的研究工作。

切尔尼亚耶夫提出艾杜糖醇作为进口虫胶的替代品。如果我们能正确使用艾杜糖醇，我们真的可以不用进口虫胶了，但是我和切尔尼亚耶夫在没有保障提供艾杜糖醇的配方的情况下，建议底漆厂改用艾杜糖醇，结果使什卡斯引燃物点火器出现了大量废品。

早在 1940 年 7 月，我就知道此类产品的报废现象，但我没有采取任何措施阻止报废品的产出。

结果什卡斯引燃物点火器在 53 号工厂（绍斯特卡市）有 1.5 亿件废品，在 5 号工厂（列宁格勒市）有 3000 万件废品，给国家带来了 100 万卢布的损失。

当根据 1940 年下半年进行的一项调查确认什卡斯底火的报废是由于切尔尼亚耶夫推荐了未深入研发配方的艾杜糖醇漆导致的这一事实时，切尔尼亚耶夫开始表现出不安，并在他与我的一次谈话中要求我帮他从这件事当中脱身，但我回答说我无能为力，我们失败了，我们都必须对此负责。

1940 年，我还阻挠了在民用工厂建设用于制造雷管设备的专门装配厂的工作。

早在 1939 年 11 月，政府就指示弹药人民委员部在索夫林-扎戈尔斯克区建造一家雷管设备工厂。我没有完成这项任务，而是建议在 358 号工厂（莫斯科附近的孔策沃区）安排雷管设备的生产。然而，该厂的改造被推迟，使该厂仍未生产雷管设备。

在我的指示下，在 358 号工厂建造了两个地窖，用于存放价值 10 万卢布的底火——雷管，但莫斯科市苏维埃禁止在市区建造爆炸物仓库，这就是为什么弹药人民委员部被迫叫停已经开始的建设的原因。

与此同时，在我的指示下，索弗里诺设备厂的选址工作暂停，因此，直到我被捕的那天，政府决定规定的新设备厂的建设才开始。

此外，我没有及时保障新工厂，特别是穆罗姆的263号工厂、新洛莫夫的255号工厂的设计图，以及没有保障及时为新的制造雷管的工厂提供场地。结果，用于实施新建设的投资没有得到使用，并且违反了政府设定的建设（这些工厂）时间表。

问：这些您在弹药人民委员部敌对工作的全部内容吗？

答：我亲自领导破坏新的底火——信号弹工厂建设的敌对工作，而1940年希巴诺夫进行了对按政府指示建设的装备工厂的投产进行破坏的敌对工作。

在55号工厂（巴甫洛格勒市）——这里的工作直接由希巴诺夫领导，用该工厂设备制造出来的炮弹经常性地出现过早爆炸的现象。由于在巴甫洛格勒的靶场经常出现炮弹过早爆炸的现象，一些重型火炮系统被禁用，炮弹的生产混乱。

希巴诺夫还阻挠了切博克萨雷第320号信号弹工厂的建设，根据政府的决定，该工厂的第一期工程将于1940年投入使用。

问：您个人与希巴诺夫在弹药人民委员部的破坏工作有关联？

答：是的。1940年春，被任命为副弹药人民委员的希巴诺夫召见我到他的办公室谈话。他说，在弹药人民委员部，我们必须同心协力，就像我们以前在扎戈尔斯克的第11工厂工作一样，并要求从现在开始，第二总局的所有活动我只能与他联系。我向希巴诺夫保证，将来我会按照他的指示行事。

过了一会儿，我向希巴诺夫报告，253号（穆罗姆市）和254号（车里雅宾斯克州科佩斯克市）信号弹工厂的建设中断，因为设计机构没有及时提交工作图纸，并且也没有建设所需的电缆。希巴诺夫听了我的信息，说还有比这些建设项目更重要的问题，所以没有必要在这件事上强求，不会有什么可怕的事情发生。

根据与希巴诺夫商量好的决定，我推迟了与这两个信号弹工厂建设相关的所有问题的解决。

希巴诺夫也批准了我暂停索弗里诺雷管设备厂建设的决定。

1940年7月，在与我的谈话中，希巴诺夫抱怨他处境艰难，因为他的总局的工厂没有完成半年的生产计划。希巴诺夫总结道，哪怕你要是能帮我出手，情况也不至于如此糟糕，你要小心你的失败。希巴诺夫进一步表示，内务人民委员部正在调查他，并表示担心他会不会被捕。

希巴诺夫不仅知道我的破坏工作，而且还授权我采取措施推迟新的建设并干扰设备和底火工厂实施生产计划。

这就是我要展示的关于我和我的同伙在苏联弹药人民委员部进行的破坏工作的全部内容。

问：您远远没有把您在弹药人民委员部所做的工作全部展示出来。

答：我展示了所有主要的东西，我会尽量回忆我的敌对工作的所有细节，并提供进一步的证词。

我的话语全部正确记录，我已通篇阅读。

叶夫列莫夫

审讯者：

苏联内务人民委员部经济管理总局调查室主任助理、国家安全上尉克罗奇科

苏联内务人民委员部经济管理总局调查室调查员、国家安全中尉科诺年科

文本包含斯大林的手写笔记：

*姓氏被圈出。

**姓氏被圈起来，在页面的空白处有笔迹：“除名？”

***姓氏被圈起来，编号从“I”到“IV”。

*–*姓氏带有下划线，并在空白处有笔迹：“他们在哪里？”

–姓氏有下划线，并在空白处有笔迹：“他在哪里？”

–姓氏带有下划线，并在空白处有笔迹：“库珀在哪里？”

****–****姓氏带下划线，并在空白处有笔迹：“赫连科夫在哪里？”

*****–*****姓氏带有下划线，并在空白处有笔迹：“萨文在哪里？”

153

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致斯大林关于М·А·肖洛霍夫的信的特别报告[①]

（1940 年 12 月 20 日）

编号 5562/ б

副本

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

就肖洛霍夫同志寄给您的信的实质内容，我们报告如下：

1. 在他的信里，肖洛霍夫同志这样写道：

“别洛科涅夫告诉了我以下内容：去年，在他被关押在乌赫特佩乔拉集中营期间，他不止一次见过斯拉布琴科，因为他们在同一个站点工作，从斯拉布琴科的话中，别洛科涅夫得知斯拉布琴科被判处死刑，但随后被减刑为 20 年监禁并处剥夺政治权利 5 年。别洛科涅夫最后一次见到斯拉布琴科是 1939 年 6 月，随后斯拉布琴科随同一群囚犯押送到北方的图尔特库尔。

8 月，斯拉布琴科让从图尔特库尔返回乌赫特佩乔拉集中营的囚犯拉古金向别洛科涅夫问好……”

针对肖洛霍夫同志相关的问题：“别洛科涅夫微笑着回答说他绝对不会弄错，因为他和斯拉布琴科是同乡，他，别洛科涅夫从小就认识斯拉布琴科，从 1920 年开始他们在一起工作，1923 年，别洛科涅夫作为党的支部书记，他吸纳了斯拉布琴科入党。”

2. 我们对肖洛霍夫同志的话进行了彻底调查。

在我们的建议下，内务人民委员部罗斯托夫州局局长阿巴库莫夫同志亲自走访了别洛科涅夫同志所在的奥尔霍维罗格村并询问他与斯拉布琴科会面的情况。

随后，别洛科涅夫被带到莫斯科，并多次受到苏联内务人民委员部梅尔库洛夫同志和其他工作人员的详细讯问。

别洛科涅夫表示：

“我从科特拉斯被派去建造位于乌赫特佩乔拉集中营的铁路。

大约 1939 年 6 月 13 日，在铁路桥附近工作时，在桥的另一边，大约 50-60 米的距离，我

看到了一个熟悉的人，看起来像斯拉布琴科。我喊道：‘伊万·米哈伊洛维奇，你好啊。’他们从那里回答：‘你好啊。’我又喊了一声：‘他们给了你多少年？’我听到了答案：‘20 年。’说到这里，我们的喊声被守卫打断了。”

“在当时和现在，我都不能判断那个人是斯拉布琴科，因为在我看来和斯拉布琴科相似的人离得很远，而且天气多云，下着毛毛雨。

我也听不出他的声音是不是斯拉布琴科，因为我已经很多年没有和他说话了。”

“在与肖洛霍夫同志的谈话中一样，以及在与斯拉布琴科妻子的谈话中，我并没有声称我看到的正是伊万·米哈伊洛维奇·斯拉布琴科，但相反，在谈到这一事件时，我预先说明，也许我认错了人，因为我把另一个身材和他有些相似的犯人认作了斯拉布琴科。”（来自 1940 年 11 月 20 日对别洛科涅夫的讯问笔录。）

至于斯拉布琴科（肖洛霍夫同志在信中所写）1939 年在乌赫特佩乔拉集中营时，通过被关押者拉古金向别洛科涅夫问好，被讯问的别洛科涅夫表示，斯拉布琴科转达的问候的时间并非发生在 1939 年，而在 1937 年 11 月，当他意外地发现自己与上面说的拉古金被关在同一个牢房里。

拉古金曾被我们安置在内务人民委员部的第 40 号集中营中，在接受调查讯问时，他作证说，他确实在 1937 年与别洛科涅夫同在一个牢房，但他并不认识斯拉布琴科，也没有向别洛科涅夫传达斯拉布琴科的任何问候。

此外，在审讯中，别洛科涅夫作证说，他和斯拉布琴科不是同乡，他第一次见到斯拉布琴科是在 1923 年，是偶然见到的，他没有吸纳斯拉布琴科入党，自己也从未担任过党的支部书记。

根据个人资料斯拉布琴科是第比利斯市人，别洛科涅夫是罗斯托夫州的奥尔霍维罗格村人。

3. 1937 年 8 月斯拉布琴科被处决的事实，我们根据苏联内务人民委员部和内务人民委员部罗斯托夫州局档案中斯拉布琴科调查档案的原始文件予以核实。

据证实，斯拉布琴科于 1937 年 3 月 9 日被捕，关押在米列罗沃市的监狱，没有被送往集中营，8 月 16 日，根据内务人民委员部亚速-黑海边疆区局三人小组的决定，他被判处死刑。根据内务人民委员部亚速-黑海边疆区局司令员签署的一项命令，该判决于 1937 年 8 月 21 日被执行。

据调查，伊万·米哈伊洛维奇·斯拉布琴科过去和现在都没有出现在集中营里。

肖洛霍夫同志被邀请到苏联内务人民委员部，被告知了我们调查到的所有材料，并确定别

洛科涅夫误导了他。

4.从伊万·米哈伊洛维奇·斯拉布琴科的调查档案中可以清楚地看出他被前格拉乔夫农机站经理И·Г·克列涅夫—科尔日科夫、前任国营谷物农场“红色曙光”工人委员会主席П·Д·梅尔库洛夫、前集体农庄副主席И·Т·杰明以及证人В·Т·克鲁别洛夫、“红麦穗”养猪集体农庄的铁匠П·А·普利图金娜、“红麦穗”养猪集体农庄的康拜因（联合收割机）手В·И·库兹明等人的证词，以及与И·Г·舍甫琴科和П·Д·梅尔库洛夫的对质所揭发，卷入了敌对活动当中。此外，在联共（布）中央监察委员会驻亚速—黑海边疆区特派员案中还发现了一些斯拉布琴科的有罪材料，据此他于1936年5月17日被开除出党。

5.在自己的信中，肖洛霍夫同志还要求找到被捕的卡普列耶夫和舍甫琴科，因为根据他掌握的信息，“他们于1937年8月被枪杀，别洛科涅夫声称他于1937年深秋在米列罗沃监狱看到了卡普列耶夫，并且与舍甫琴科被关押在米列罗沃监狱同一件牢房直到1937年2月”。

就此问题接受调查讯问的别洛科涅夫表示说，他从未见过卡普列夫，无论是在监狱里还是在集中营里，他和舍甫琴科一起在卡缅斯卡亚监狱呆了不到一天，除了他的姓氏之外，他对他一无所知。而在卡缅斯卡亚监狱见面之前，他也不认识舍甫琴科。

我们的核查确定舍甫琴科和卡普列耶夫是在1937年12月31日被枪毙的。

6.通过对肖洛霍夫同志来信的内容进行复查，在许多内务人民委员部机构中，经过特别挑选的小组对被捕、定罪、枪决，通过证词等的登记进行了核查。

根据调查材料，我们采取措施，消除发现的不足，并在内务人民委员部各局、处和机构中建立统计核查工作。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联内务人民委员部国家安全总局局长В·梅尔库洛夫

注释：

①根据М·А·肖洛霍夫的申请，早在1938年就成立了一个由处长В·Е·切萨尔斯基和内务人民委员部书记处处长И·И·沙皮罗参加的特别委员会，以核实作者对被捕者的违法行为的申诉。该委员会在大规模行动期间工作，没有发现任何违规行为。

1941 年

154

В·Н·梅尔库洛夫和Б·З·科布罗夫致И·В·斯大林关于绍斯特卡火药厂“反苏”集团的特别报告附Л·П·伊万诺夫的审讯笔录

（1941 年 1 月 17 日）

绝密

副本

联共（布）中央

斯大林同志：

作为对 1940 年 12 月 10 日编号 5531/б 关于被苏联内务人民委员部捣毁的弹药人民委员部绍斯特卡 9 号工厂内的反苏集团敌对活动的报告的补充，苏联内务人民委员部报告如下：

被捕的前破坏组织成员Л·П·伊万诺夫——前 9 号工厂厂长、Г·Е·科尔辛——前工厂总工程师和В·М·阿尼克耶夫——前 9 号工厂 54 号车间主任承认他们通过违反火药生产工艺来进行敌对活动。

伊万诺夫和Г·Е·科尔辛供认他们经常违反制造推进剂的技术规范，因此生产的推进剂不稳定且弹道数据不佳。

这些不合格的火药都变成了火炮系统的装药并交付红军。

9 号工厂的敌对工作主要体现在使用颗粒纤维素制成的ЦГ12/7 火药上，由于违反技术规范，制成的颗粒有个别颗粒分解的迹象。

伊万诺夫和科尔辛表明这种火药不能被用作装药，因为分解的颗粒会进一步分解并自燃。

1940 年，第 9 号工厂为红军提供了约 400 吨低耐用性的火药，这些低质量的火药被用作 1910/1930 年型号的 76mm 高射炮和 107mm 加农炮的装药。

上述违反技术法规的行为还导致了成分不均匀的火药的投产，从而导致炮弹在射击过程中弹着点的分散。

被捕的В·М·阿尼克耶夫证实了伊万诺夫和科尔辛关于他们在第 9 工厂在用颗粒纤维素制造ЦГ粉末领域进行的敌对工作的证词。

根据国防人民委员部的消息，1940 年 12 月 10 日，在卡卢加 66 号仓库中发现了 1910/1930 型号的 107mm 加农炮的 18 个装药含有已被分解的ЦГ12/7 火药，而这些火药是 1940 年 2 月由弹药人民委员部第 9 工厂制造的。

被捕的伊万诺夫和科尔辛被审问是否有可能消除他们在ЦГ12/7 火药生产中的敌对工作的后果时，供认说：

为了获得具有良好弹道的稳定推进剂，有必要清除他们在工厂故意制造的违反技术规范的行为，特别注意推进剂的浸泡、干燥、压制和装袋操作。

苏联内务人民委员部认为采取以下措施是合理的：

1. 责成苏联弹药人民委员部消除在伊万诺夫、科尔辛和阿尼克耶夫的证词中所述的违反ЦГ型 12/7 火药制造技术规范的行为。

2. 为防止 1940 年生产并运往红军仓库的ЦГ12/7 火药可能发生自燃，建议苏联国防人民委员部彻底检查这些火药，从仓库中取出有分解迹象的火药，在例行射击中使用它们。

附：Л·П·伊万诺夫、Г·Е·科尔辛、В·М·阿尼克耶夫的供词。

苏联副内务人民委员梅尔库洛夫

苏联内务人民委员部经济管理总局局长科布罗夫

Л·П·伊万诺夫的审讯笔录（1940 年 12 月 30 日）

Г·Е·科尔辛的审讯笔录（1940 年 12 月 26 日）

В·М·阿尼克耶夫的审讯笔录（1940 年 12 月 29 日）

被捕的列昂尼德·彼得洛维奇·伊万诺夫——1940 年 12 月 30 日

Л·П·伊万诺夫，1906 年生人，坦波夫州科兹洛夫市人，俄罗斯族，自 1927 年起为联共（布）前党员，被捕前系绍斯特卡 9 号工厂厂长。

问：您承认您在绍斯特卡 9 号火药厂从事敌对工作，您供述您向红军交付了不合格的火药。您确认这些证词吗？

答：是的，我确认，但我想补充一下我在 1940 年 10 月 29 日提供的调查证词。

问：您有什么要告诉调查组的？

答：9 号工厂于 1939 年底开始生产不合格的火药。1939 年 10 月，在 9 号工厂生产的 12/7

级推进剂中发现了白色颗粒，表明二苯胺含量不足，因此这些推进剂的化学性质不稳定。

问：为什么 12/7 粉末含有白色颗粒？

答：将乙醚和二苯胺倒入混合器时，焦木素结块，因此二苯胺没有渗透到整个团块中，压出粉末后得到结晶，即不稳定的颗粒在粉末中被发现。

发现的白色颗粒证明粉末性质不合格，必须立即停止压制。但是，在同我们反苏集团的一名成员、工厂的总工程师——科尔辛商量好后，我下令不要停止压制火药，继续生产明显无法使用的产品。直到 1939 年 11 月底，该工厂已经生产了 600 吨不合标准的火药后，才停止了压制。

带有白色颗粒的 12/7 型火药没有被红军采用，而是留在工厂用作例行射击。

问：您向红军交付了哪些型号的耐久度降低的火药？

答：火药“ЦГ”型 12/7 不合格，耐久性降低，弹道数据不佳。这种型号火药的报废是由于在其制造过程中违反了技术规范。

问题：在制造“ЦГ”推进剂时违反了哪些技术规范？

答：1940 年 3 月，为了缩短浸火药的时间，我向 5 号火药生产负责人——科尔宾娜和同样负责 5 号火药生产的 54 号车间主任——阿尼克耶夫提出更改浸火药工艺规程并将水温从 60 摄氏度提高到 70 摄氏度。由于浸泡过程中水温升高，火药呈黄绿色，表明其部分分解。

然而，工厂实验室对这种粉末进行的测试在耐久性方面显示出令人满意的结果，即暂时会保持活性，虽然可疑的颜色和绿色颗粒的存在表明分解已经发生。尽管如此，在 1940 年 4 月，我同意了科尔辛的意见——将 40 吨有分解迹象的火药放入普通批次的袋子中，期望移交给军事仓库的火药会继续分解。

问：军械局仓库的火药进一步分解会导致什么？

答：自燃和火灾。

问：您是否就此事专门与科尔辛进行了对话？

答：我没有具体告诉科尔辛关于仓库中火药自燃的可能性，也没有这个必要，因为他是一个相当有经验的化学家，知道将有分解迹象的火药交付给军用仓库的后果。

由于一起在 9 号工厂进行敌对活动的关系，我们彼此很熟悉，知道我们的所作所为是为了给国家造成损害。

9 号厂总共交付了红军约 400 吨不稳定火药。

问：请详细供述你们在 9 号厂推进剂生产中违反技术规范的情况。

答：出于敌对活动的目的，经我批准的在生产“ЦГ”型 12/7 火药中违反技术规范的行为如下。

1）尽管处理时间符合技术规定，但在混合器中处理粉体时违反了压力控制要求。因此，控制压力为 90 公斤，而不是所需的 110 公斤，结果粉末皮带在压制时质量很差。

2）在没有此操作所需的控制压力表的情况下进行皮带加压，因此无法确定生产皮带时的确切压力是多少，这导致压制出的不合格品的百分比增加。

3）切割后的火药干燥方式不正确，残留大量杂质（而不是 20-22%——25-28%），导致粉粒质量变差，重量密度下降使粉末同等重量下体积增加。原本打算在防空系统下使用的火药被证明无法使用，转而被用于 107 毫米加农炮，甚至返厂加工以将它们与密度更大的火药混合。

4）在普通批次火药装袋的环节也违反了技术规范。包括将小批次火药装袋而没有经过干燥后预先混合以及实验室检测分析。结果整个批次火药成分异常，而且在射击时会导致大量炮弹散射。

在缺乏挥发性物质和评定火药耐用性数据的情况下就开始了普通批次火药的装袋。

在实验分析证实结果不令人满意的情况下反复实验，由于误差极限与规范数值之间差得不是太大，因此通常情况下重复分析会得到符合误差范围下限的数值。

问：调查了解到，在你的官方解释中，你试图证明火药发绿不是因为按照你的指示违反了既定的浸泡火药的技术规范，而是因为 53 号车间在搅拌工作上的粗心大意，使火药和搅拌机上的绿色颗粒混在一起。

您对火药的报废做过这样的解释吗？

答：不，我没有给出这样的解释。

问：您和 9 号工厂军代表克列斯基亚尼诺夫谈过 12/7 型火药变绿的原因吗？

答：是的，谈过，但是同克列斯基亚尼诺夫谈话时我并没有试图将火药的报废归因于第 53 次车间粗心的搅拌工作。只是说为了消除这个缺陷，在浸泡火药时需要将水温降低 10 摄氏度。

问：在和军代表的谈话中，你没有试图将火药报废的责任推卸给 53 号车间主任鲁斯特？

答：我没有。

问：这不是真的。调查发现您所安排的生产方案是导致火药报废的真实原因，而您试图用 53 号车间工作上的疏忽来掩盖这一点。

您与工厂军代表谈话的实质会让您想起在第 9 工厂敌对工作的同谋之一。

（被捕的前 9 号工厂 5 号火药生产单位 54 车间前主任Ｂ・Ｍ・阿尼克耶夫被带了进来）

在相互确认并声明没有个人恩怨，被捕者被问及以下问题：

问阿尼克耶夫：您承认自己的什么罪行？

答：我承认如下罪行，在 1940 年 3 月至 4 月期间，我参与了工厂总工程师格里高利・叶菲莫维奇・科尔辛在 9 号工厂的敌对工作，在他的指示下，我参与了 9 号工厂 1940 年 9 月 26 日ＢＯＰ袋装的火药爆炸案的准备和实施。

问伊万诺夫：那您承认自己的什么罪行？

答：我承认我自 1939 年 2 月以来就是 9 号工厂反苏集团的主要成员，并于 1940 年 9 月策划并实施了ＢＯＰ装袋装置爆炸案，造成了人员伤亡。

问阿尼克耶夫：您是否与伊万诺夫 9 号工厂的敌对工作进行过私下接触？

答：没有，但是从科尔辛处我知道他属于我们的反苏组织。

问阿尼克耶夫：你对向红军交付不合格的火药这件事有什么了解？

答：我知道不合格的“ЦＧ”型 12/7 火药被 9 号工厂交给红军，因为根据厂长——伊万诺夫的指示 1940 年 1 月 54 号车间在浸泡了两三批该型火药后更改了技术规范。据我所知，根据伊万诺夫的指示，浸泡过程中的水温从 60 摄氏度提高到 70 摄氏度。

问伊万诺夫：浸泡火药时的水温是否按照您的要求升高？

答：是的，按照我的命令。

问阿尼克耶夫：继续您的供述。

答：我还必须告知调查组，伊万诺夫在与工厂的军事代表克列斯基亚尼诺夫交谈时，在解释火药“ЦＧ”中出现绿点的原因时表示，火药报废是由于以下事实：第 53 车间负责人鲁斯特添加了含有绿色染料的生产废料。有了这个解释，伊万诺夫试图证明他改变浸泡火药技术规范的指示是正确的。

在向伊万诺夫指出分析表明粉末中不含染料后，他继续断言，由于鲁斯特的错误，在搅拌器上仍然会有绿色染料，日常残留的有绿色颗粒的废物与优质的火药粉末被混在了一起。

问阿尼克耶夫：您是怎么知道伊万诺夫和军代表谈话的内容的？

答：谈话发生在 1940 年 1 月最后几号或 2 月上旬，地点是 54 号车间，我在场。

问伊万诺夫：您是否确认阿尼克耶夫的证词？

答：不，我不确认。

问伊万诺夫：你和克列斯基亚尼诺夫谈过火药变绿的原因吗？

答：说过。

问伊万诺夫：这次谈话是在谁面前进行的？

答：在阿尼克耶夫在场的情况下，但不是 12/7 型火药，而是 7/7 型火药，实际上是在搅拌机上残留了有色废料。

问阿尼克耶夫：您是否坚持认为与军代表谈话的内容是关于火药 12/7 型，而不是 7/7 型？

答：是的，我坚持。

（对质中止）

问伊万诺夫：您在 9 号工厂隐瞒了更多敌对工作的事实，您将被详细讯问，但现在告诉我——您交付的哪些火药货物不合标准？

答：交付给红军耐久度降低的“Ц Г”型 12/7 火药，总量约 400 吨。

所有这些火药都转化为 1910/30 年型号的 76 毫米高射炮和 107 毫米加农炮的装药。耐久性不合格的 12/7 型火药主要出现 1940 年 3 月到 6 月的批次当中。

所有这些推进剂都有可能在仓库中开始分解。为防止可能发生的自燃，军械局仓库内所有批次的今年 3-6 月交付的 12/7 型火药装药，必须进行彻底检查，随后进行特殊管理。

问：如何消除你们制造“Ц Г”型火药的破坏行为的后果？

答：为了将来获得具有良好弹道和令人满意的耐用性的“Ц Г”型 12/7 火药，工厂必须严格遵守既定的技术规范，立即消除我列出的所有违反其制造技术规范的事实。此外，在红军中服役的不稳定火药，必须在当前的射击中使用，不能长期存放在军械局的仓库中。

笔录正确地记载了我所说的话，我已通篇阅读。

伊万诺夫

审讯于 1 点 30 开始，3 点 30 结束。

审讯人：

内务人民委员部经济管理总局调查室高级调查员、国家安全上尉——安德烈耶夫

内务人民委员部经济管理总局第 2 处第 1 科科长、国家安全中尉——兹韦列夫

内务人民委员部经济管理总局调查室调查员、国家安全中尉——苏金

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.343а.Л.220—231;223—234.原稿，机打。

注释：

1941 年 6 月 24 日，苏联最高法院军事审判庭判处Л·П·伊万诺夫、Г·Е·科尔辛、В·М·阿尼克耶夫和Н·Д·阿法纳西耶夫死刑。考虑到绍斯特卡火药厂案中造成的大量人员伤亡，在平反过程中仅针对这些罪犯并未犯下的毫无根据的进行蓄意破坏活动的指控进行平反。

155

苏联内务人民委员部致联共（布）中央书记斯大林和苏联人民委员会主席莫洛托夫附转发的特工情报的备忘录

（1941 年 1 月 21 日）

编号 308/ б

绝密

在此发送从柏林收到的特工情报。

苏联内务人民委员Л • 贝利亚

特工情报

据德国空军司令部参谋部一位消息人士透露，由于同英国战争中出现的困难和战争前景的进一步恶化，戈林越来越倾向于与英美达成协议。主要困难在于，随着战争的拖延，德国的经济形势明显恶化。

根据从柏林的可靠消息来源获得的信息，德国人试图与美国人达成协议的事实被证明，戈林最亲密的助手——米尔希元帅和乌德特上将在为美国驻柏林大使馆安排早餐会时，后者表示在与美国武官佩顿的谈话中，已向他表示德国愿意与美国达成协议。

据同一位线人称，塔斯社对德国军队出现在保加利亚的辟谣给德国空军部留下了如同炸弹爆炸般的印象。戈林下令将空军部的“俄国文摘”转移到空军参谋部的所谓活跃部门，该部门负责制定和准备军事行动。空军参谋部下令在苏联领土上空进行大规模侦察飞行，目的是通过拍摄和绘制准确的地图来侦察包括列宁格勒在内的边境地带。配备改进型相机的飞机将在高空飞越苏联边境。

类似消息还从德国海军司令部参谋部工作人员鲁德曼那里获得，但后者并未证实空军参谋部的这些措施与塔斯社的上述辟谣有关。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.23078.Т.1.Л.199–201.机打，未经验证的副本，有笔迹。

156

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附联共（布）中央关于拆分苏联内务人民委员部为两个人民委员部的决议草案

（1941 年 2 月 3 日）

编号 661/ б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

在此向您发送联共(布)中央关于拆分苏联内务人民委员部为两个人民委员部的决议草案：

1. 苏联内务人民委员部；

2. 苏联国家安全人民委员部。

附：草案

苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联最高苏维埃主席团令

关于拆分苏联内务人民委员部

将苏联内务人民委员部拆分为两个人民委员部：

1. 苏联内务人民委员部；

2. 苏联国家安全人民委员部。

苏联最高苏维埃主席团主席

М. 加里宁

最高苏维埃主席团秘书

А·戈尔金

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1295.Л.110—111.原稿，机打。

在第一页和第二页有笔迹“记录第 26 号 п 120”。

在特别报告上有批示：“同意。И • 斯大林”“莫洛托夫同志、卡冈诺维奇同志——同意（А • 波斯克列贝舍夫）”“伏罗希洛夫同志——同意（А • П）”“日丹诺夫同志——同意（А • П）”“米高扬同志——同意（А • П）”“安德烈耶夫同志——同意（А • П）”“加里宁同志——同意”。

157

Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫、В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于确认联共（布）中央政治局对国家安全人民委员部任命的特别报告

（1941 年 2 月 6 日）

编号 742/ б

副本

绝密

联共（布）中央

И・В・斯大林同志：

鉴于苏联内务人民委员部已被拆分为两个人民委员部，现就任命加盟共和国和自治共和国国家安全人民委员和国家安全人民委员部俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国各州局、边疆区局局长的事宜

请您批准：

I

各加盟共和国国家安全人民委员：

1）乌克兰苏维埃社会主义共和国——П・Я・梅西克同志，目前担任苏联内务人民委员部经济管理总局第一处处长。

2）白俄罗斯苏维埃社会主义共和国——Л・Ф・察纳瓦同志，目前担任白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

3）阿塞拜疆苏维埃社会主义共和国——С・Ф・叶梅利亚诺夫同志，目前担任阿塞拜疆苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

4）格鲁吉亚苏维埃社会主义共和国——А・Н・拉帕夫同志，目前担任格鲁吉亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

5）亚美尼亚苏维埃社会主义共和国——А・В・科罗特科夫同志，目前担任亚美尼亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

6）乌兹别克苏维埃社会主义共和国——А・Н・萨吉来同志，目前担任乌兹别克苏维埃

社会主义共和国内务人民委员。

7）哈萨克苏维埃社会主义共和国——А・Н・巴布金同志，目前担任哈萨克苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

8）土库曼苏维埃社会主义共和国——И・И・达维多夫斯基同志，目前担任内务人民委员部阿什哈巴德铁路道路运输处处长。

9）塔吉克苏维埃社会主义共和国——А・В・哈尔琴科同志，目前担任塔吉克苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

10）吉尔吉斯苏维埃社会主义共和国——С・Д・阿布申科同志，目前担任吉尔吉斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

11）卡累利阿—芬兰苏维埃社会主义共和国——М・И・巴斯卡科夫同志，目前担任卡累利阿—芬兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

12）立陶宛苏维埃社会主义共和国——П・А・格拉德科夫同志，目前担任立陶宛苏维埃社会主义共和国第一副内务人民委员。

13）拉脱维亚苏维埃社会主义共和国——С・М・舒斯金同志，目前担任拉脱维亚苏维埃社会主义共和国第一副内务人民委员。

14）爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国——Б・Г・库姆同志，目前担任爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

15）摩尔达维亚苏维埃社会主义共和国——Н・С・萨济金同志，目前担任摩尔达维亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员。

II

国家安全人民委员部俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国各州局、边疆区局局长：

1）莫斯科州——П・Н・库巴特金同志，目前担任内务人民委员部莫斯科州局局长。

2）列宁格勒州——П・Т・库普林同志，目前担任内务人民委员部哈巴罗夫斯克边疆区局局长*。

3）哈巴罗夫斯克边疆区——А・Н・切斯诺科夫同志，目前担任内务人民委员部哈巴罗夫斯克边疆区局副局长。

4）滨海边疆区——М・М・格维希阿尼同志，目前担任内务人民委员部滨海边疆区局局长。

5）高尔基州——В・В・古宾同志，目前担任内务人民委员部高尔基州局局长。

6）斯维尔德洛夫斯克州——И・В・伊万诺夫同志，目前担任内务人民委员部斯维尔德

洛夫斯克州局局长。

7）车里雅宾斯克州——И·Д·索特尼科夫同志，目前担任内务人民委员部车里雅宾斯克州局局长。

8）新西伯利亚州——Г·И·库德里亚夫采夫同志，目前担任内务人民委员部新西伯利亚州局局长。

9）莫洛托夫州——М·М·波塔什尼克同志，目前担任内务人民委员部莫洛托夫州局局长。

10）古比雪夫州——Н·Е·拉边科夫同志，目前担任苏联内务人民委员部经济管理总局科长。

11）罗斯托夫州——С·В·波科吉罗同志，目前担任内务人民委员部罗斯托夫州局副局长。

12）奥尔忠尼启则州——В·М·潘科夫同志，目前担任内务人民委员部奥尔忠尼启则州局局长。

13）克拉斯诺达尔边疆区——Ф·И·舒利硕夫同志，目前担任内务人民委员部克拉斯诺达尔边疆区局局长。

14）阿尔泰边疆区——З·В·尼古拉耶夫同志，目前担任内务人民委员部阿尔泰边疆区局局长。

15）阿尔汉格尔斯克州——В·И·潘菲洛夫同志，目前担任内务人民委员部阿尔汉格尔斯克州局局长。

16）沃洛格达州——П·П·孔达科夫同志，目前担任内务人民委员部沃洛格达州局局长。

17）沃罗涅日州——С·Ф·皮斯门斯基同志，目前担任内务人民委员部沃罗涅日州局局长。

18）伊万诺沃州——А·С·布里诺夫同志，目前担任内务人民委员部伊万诺沃州局局长。

19）伊尔库茨克州——Н·В·斯米尔诺夫同志，目前担任内务人民委员部伊尔库茨克州局局长。

20）加里宁州——Д·С·托加列夫同志，目前担任内务人民委员部加里宁州局局长。

21）基洛夫州——К·Д·叶戈辛同志，目前担任内务人民委员部基洛夫州局局长。

22）库尔斯克州——П·М·阿克肖诺夫同志，目前担任内务人民委员部库尔斯克州局局长。

23）克拉斯诺亚尔斯克边疆区——И·П·谢苗诺夫同志，目前担任内务人民委员部克拉

斯诺亚尔斯克边疆区局局长。

24）摩尔曼斯克州——А·Ф·卢奇金同志，目前担任内务人民委员部摩尔曼斯克州局局长。

25）鄂木斯克州——М·Е·扎哈罗夫同志，目前担任内务人民委员部鄂木斯克州局局长。

26）奥廖尔州——К·Ф·费尔萨诺夫同志，目前担任内务人民委员部奥廖尔州局局长。

27）奔萨州——Г·С·格列尔金同志，目前担任内务人民委员部奔萨州局局长。

28）梁赞州——С·Г·尤里耶夫同志，目前担任内务人民委员部梁赞州局局长。

29）萨拉托夫州——Г·М·伊夫金同志，目前担任内务人民委员部萨拉托夫州局局长。

30）斯摩棱斯克州——Е·И·库普里亚诺夫同志，目前担任内务人民委员部斯摩棱斯克州局局长。

31）斯大林格勒州——А·И·沃罗宁同志，目前担任内务人民委员部斯大林格勒州局局长。

32）坦波夫州——С·Т·米特利亚舍夫同志，目前担任内务人民委员部坦波夫州局局长。

33）图拉州——С·Г·列谢特尼科夫同志，目前担任内务人民委员部图拉州局局长。

34）赤塔州——И·Б·波尔特诺夫同志，目前担任内务人民委员部赤塔州局局长。

35）契卡洛夫州——И·В·布兹林同志，目前担任内务人民委员部契卡洛夫州局局长。

36）雅罗斯拉夫尔州——М·А·诺索夫同志，目前担任内务人民委员部雅罗斯拉夫尔州局局长。

III

俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国境内自治共和国国家安全人民委员：

1）布里亚特—蒙古苏维埃社会主义自治共和国——И·С·沙巴林同志，目前担任布里亚特—蒙古苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

2）巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国——А·Г·索科洛夫同志，目前担任巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

3）达吉斯坦苏维埃社会主义自治共和国——А·И·潘捷列夫同志，目前担任达吉斯坦苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

4）卡巴尔达—巴尔卡尔苏维埃社会主义自治共和国——П·А·克雷洛夫同志，目前担任卡巴尔达—巴尔卡尔苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

5）卡尔梅克苏维埃社会主义自治共和国——Г·Я·贡恰罗夫同志，目前担任卡尔梅克

苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

6）科米苏维埃社会主义自治共和国——С·Г·卡巴科夫同志，目前担任科米苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

7）克里米亚苏维埃社会主义自治共和国——Г·Т·卡拉纳泽同志，目前担任克里米亚苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

8）马里苏维埃社会主义自治共和国——М·Н·伊万诺夫同志，目前担任马里苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

9）莫尔多瓦苏维埃社会主义自治共和国——М·И·萨维诺夫同志，目前担任莫尔多瓦苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

10）伏尔加沿岸德意志人苏维埃社会主义自治共和国——А·М·阿斯塔霍夫同志，目前担任伏尔加沿岸德意志人苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

11）北奥塞梯苏维埃社会主义自治共和国——А·С·左杰拉夫同志，目前担任北奥塞梯苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

12）鞑靼苏维埃社会主义自治共和国——Е·М·莫洛佐夫同志，目前担任鞑靼苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

13）乌德穆尔特苏维埃社会主义自治共和国——М·В·库兹涅佐夫同志，目前担任乌德穆尔特苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

14）车臣—印古什苏维埃社会主义自治共和国——П·Н·利亚扎诺夫同志，目前担任车臣—印古什苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

15）楚瓦什苏维埃社会主义自治共和国——С·Е·别洛利佩茨基同志，目前担任楚瓦什苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

16）雅库特苏维埃社会主义自治共和国——М·П·涅克拉索夫同志，目前担任雅库特苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员。

马林科夫

Л·贝利亚

В· 梅尔库洛夫

莫斯科市

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.17.Оп.163.Д.1298.Л.14—18.原稿，

机打。

在第一页上有批示“同意（把戈格利泽放到中央委员会的指示里）。И • 斯大林”“同意——莫洛托夫；同意——日丹诺夫；同意——安德烈耶夫；同意——卡冈诺维奇；同意——米高扬；同意——伏罗希洛夫”。

*勾掉了“ С • М • 戈格利泽同志，目前担任内务人民委员部列宁格勒州局局长”

158

苏联国家安全人民委员部致斯大林、莫洛托夫、米高扬的特别报告

（1941 年 2 月 8 日）

编号 18/м

绝密

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全人民委员梅尔库洛夫

由国家安全人民委员部第 5 处第 1 科茹拉夫廖夫同志整理

基于“斯捷潘诺夫”根据“科西嘉人”的资料的消息

来自柏林的消息

“科西嘉人”报告如下：

I. 关于反苏战争的准备

许多事实表明，德国军事指挥部正在系统地准备对苏联的战争。例如：

1. 在与最高统帅部的一位官员谈话时，后者显然表达了最高统帅部内存在的情绪，根据所有资料，德国在 1941 年打算对苏联发动战争。开始对苏联军事行动的第一步将是德国人对罗马尼亚的完全军事占领。战争的目的是将苏联从列宁格勒到黑海的欧洲领土的一部分从苏联剥离，并在这片领土上建立一个完全依赖德国的国家。在苏联其他地区，根据这些计划，将建立一个“对德友好的政府”。

2. 德国统计局军事经济部接到最高统帅部的命令，要按地区绘制苏联工业企业位置的地图。这样的地图在同英国作战以前也被绘制过，以用来引导选择飞机轰炸的对象。

3. 教育部外国文学司俄语处处长斯内尔接到军事当局的通知，如有必要，他将被动员到其中一个军事法庭担任俄语翻译。

II. 关于苏德贸易协定

近日，德国经济部领导参事会议召开，会议由负责人主持。该部俄罗斯司副司长特尼尔登就苏德已缔结的贸易协定进行了总体汇报，同时指出，德方有一些不满意的地方。这些要点如

下：

a）在苏方的坚持下，德国对苏联的出口和以前一样，仅限于机器和机床，而德国人打算将不太稀缺的商品的出口纳入协议。

b）德方对每个季度审查苏德之间供应关系状态的条款也不满意。

c）德方特别关心苏联供应钴的协议条款，目前德国没有这样的协议。德国人希望从法属摩洛哥获得钴，但并没有坚定的信念认为他们能够做到这一点。

III．关于德国经济形势的资料

德国和占领区的每月铁产量为 230 万吨。在洛林重建受损严重的工业后，铁产量可能会有所增加。

德国的橡胶消费量为每月 8000 吨，其中 2000 吨为天然橡胶，其余为合成橡胶。

煤炭产量为每年 5 亿。

1941 年的石油需求将依靠由国外购买的石油和可用储备和供应来满足。

粮食的情况是这样的，只有当苏联完成所有粮食的交付时，才有可能避免通过凭票供应以减慢向民众分发粮食的速度的现象出现。

比利时面临严重的粮食短缺。比利时军队指挥官在他的报告中说，比利时的城市人口已经几个月没有吃到土豆了。德国应该尽快向比利时供应 20,000 吨粮食，同时等待开启与苏联就向比利时出售粮食的贸易谈判。

最困难的情况是劳动力。所有获得所谓“工作假”的士兵，即那些被开除军队从事生产工作的，又被召回军队。

机构和企业请求最高统帅部从应征入伍的人当中保留总数约 600 万人用于工业生产。目前德军的人数，按照普遍的看法，是 8-9 百万人。德国人希望通过在巴尔干国家招募 1-150 万工人来部分弥补劳动力短缺。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.23078.Т.1.Л.205–209.文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

159

Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫、В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于确认联共（布）中央政治局对国家安全人民委员部领导任命的特别报告

（1941 年 2 月 8 日）

编号 722/ б

副本

绝密

联共（布）中央

И・В・斯大林同志：

鉴于内务人民委员部被拆分为两个人民委员部，我们现就任命苏联国家安全人民委员部高级官员的下列建议提请你们审议批准。

请批准：

任命目前担任乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员的伊万・亚历山德罗维奇・谢罗夫同志为苏联国家安全第一副人民委员。

苏联国家安全副人民委员：

波格丹・扎哈罗维奇・科布罗夫同志，目前担任苏联内务人民委员部经济管理总局局长；

米哈伊尔・瓦西里耶维奇・格里波夫同志（掌管人事），目前担任苏联内务人民委员部人事处副处长。

1）情报局局长П・М・菲京同志，目前担任苏联内务人民委员部第五处（外事处）的处长；

他的副手：

П・А・苏多普拉托夫同志，目前担任苏联内务人民委员部第五处处长；

В・М・扎鲁宾同志，目前担任苏联内务人民委员部第五处副科长。

2）反间谍局局长П・В・费多托夫同志，目前担任苏联内务人民委员部第三处（反间谍处）处长；

他的副手：

Т・М・波尔舍夫同志，目前担任土库曼苏维埃社会主义共和国内务人民委员；

Л・Ф・拉赫曼同志，目前担任苏联内务人民委员部第二（秘密政治）处副处长。

3）秘密政治局局长С・Р・米尔施泰因同志，目前担任苏联内务人民委员部交通运输总局局长；

他的副手：

Н・Д・戈尔林斯基同志，目前担任苏联内务人民委员部第三处（反间谍处）副处长；

И・Г・舍韦廖夫同志，目前担任苏联内务人民委员部第二处（秘密政治）副处长。

4）调查室主任Л・Е・弗拉德兹米尔斯基同志，目前担任苏联内务人民委员部第三处（反间谍处）处长；

他的副手：

А・А・埃绍洛夫同志，目前担任苏联内务人民委员部调查室主任；

Л・Л・施瓦尔茨曼同志，目前担任苏联内务人民委员部经济管理总局调查室副主任。

5）莫斯科克里姆林宫司令部司令员，少将Н・К・斯皮里东诺夫同志，目前担任此职务。

6）党政领导同志护卫处处长Н・С・弗拉西克，目前担任此职务。

7）核算—统计处处长Л・Ф・巴什塔科夫同志，目前担任苏联内务人民委员部第一特别处处长。

8）外勤监视、设备安装、搜查和逮捕处长Д・Н・沙德林同志，目前担任此职务。

9）业务技术处处长Е・П・拉普辛同志，目前担任苏联内务人民委员部第二特别处处长。

10）加密解密处处长А・И・科培采夫同志，目前担任此职务。

11）行政财政经济处处长А・М・达维多夫同志，目前担任苏联内务人民委员部总务局副局长。

12）秘书长В・А・戈洛瓦诺夫同志，目前担任苏联内务人民委员部副秘书长。

马林科夫

В・梅尔库洛夫

Л・贝利亚

莫斯科市

160

国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥、Л·П·贝利亚的备忘录附转发的特工情报

（1941 年 3 月 6 日）

编号 336/м

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的关于德国东线计划的特工情报。

国家安全人民委员梅尔库洛夫

由国家安全人民委员部第一局茹拉夫廖夫同志整理

来自柏林“科西嘉人”的特工情报

据称，德国最高当局正在认真讨论将战线转向东方以对抗苏联的可能性。据称，这些计划主要基于德国和被占领地区（例如比利时）的极其严重的粮食状况，那里开始了真正的饥荒。农业部长达里关于德国粮食储备充足的估计被证明是错误的，供应形势如此严峻，以至于计划在 2 月份降低粮食消费标准。

根据四年计划委员会一名官员提供的信息，该委员会的几名成员接到一项紧急任务，要计算德国通过占领苏联的欧洲部分可以获得多少原材料和食品储备。

同一位线人报告说，陆军总参谋长哈尔德上将寄希望于德国军队无条件的成功和闪电般地占领苏联，首要目标是乌克兰，据哈尔德说，那里的铁路和公路状况良好，将促成目标的实现。同一个哈尔德还认为占领巴库及其油田是一件容易的事，据称德国人可以在破坏行动和军事行动后迅速恢复油田。哈尔德认为，红军将无法对德军的闪电攻势做出足够的抵抗，俄罗斯人甚至没有时间销毁储备的资源。

至于四年计划委员会对这种行动的经济影响的核算，据说这些核算都给出了负面的预测。

与之相反，贝克尔上校的计算证明了对苏联的军事行动将获得很高的经济收益。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）. Д. 23078. Т. 1. Л. 202－204. 文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本第 1 号。

161

国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚的报告附转发的特工情报

（1941 年 3 月 14 日）

编号 488/м

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

国家安全人民委员梅尔库洛夫

由国家安全人民委员部第一局第一处第一科雷步金同志

基于“科西嘉人”1941 年 3 月 9 日的消息整理

来自柏林的消息

1. 根据消息人士从德国空军参谋部顾问舒尔茨-博伊森那里得到的信息，德国空军在苏联领土上的航拍工作正在全面展开。德国飞机从布加勒斯特、柯尼斯堡和吉尔金斯（挪威北部）的机场飞往苏联一侧，并从 6000 米的高度拍摄照片。尤其是德国人拍摄了喀琅施塔得要塞，拍摄的效果很好。

所有关于航拍的资料都在由施密特上校领导的德国空军参谋部第 5 侦察处整理和汇总。

2. 德国记者、柏林高等政治学校教授埃格蒙特·策赫林在安全部门和国家社会主义党外交政策部门有很大关系网，他告诉同一消息源，据称他从两名德国元帅那里知道德国人已经解决了今年春天对苏联采取军事行动的问题。同时，德国人预计俄罗斯人在撤退时将无法（放火）烧毁仍然是绿色的庄稼，他们将能够利用这些庄稼收获粮食。

消息源将策赫林描述为一个容易夸大其词的人。

3. 军事经济统计研究所副所长、政府高级顾问扬格-利特克在与消息源交谈时说，在德国总参谋部看来，红军只能抵抗 8 天，然后它就会被打败。对乌克兰的占领应该剥夺苏联的主要生产基地，正如计算表明的那样，苏联完全依赖于此。在那之后，德国人据称打算让他们的部队继续东进，从苏联人的手中夺取高加索并一直推进到乌拉尔山，据德国人说，乌拉尔可以在

25 天内到达。

扬格-利特克和策赫林表示，德国入侵苏联是出于目前德国对苏联的军事优势的考虑。

译自：《1941 年》（第一册）（20 世纪俄罗斯丛书）莫斯科，民主基金会出版社，1998 年版，第 769-770 页，ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

162

红军总参谋部侦查局局长戈利科夫中将给国防人民委员部、苏联人民委员会和联共（布）中央的报告

“德国军队针对苏联的军事行动的言论、[组织工作]和计划”

（1941 年 3 月 20 日）

关于 1941 年春天与苏联开战的可能性的大部分情报数据来自英美资源，毫无疑问，他们今天的任务是希望恶化苏联和德国之间的关系。同时，从法西斯主义产生和发展的性质，以及它的任务——执行希特勒在他的著作《我的奋斗》中如此充分而“多彩”地阐述的珍贵的计划，我们总结了 1940 年 7 月至 1941 年 3 月期间一切值得认真关注的可用情报信息。

近来，英美等国都在议论德军进攻苏联。在我们在不同时间收到的所有言论中，以下是值得注意的：

1. 据称戈林同意与英国签署合约并反对苏联。

2. 日本武官宣称，希特勒据称宣布在西方取得快速胜利后，将对苏联发动攻势。

3. 在柏林，人们谈论德国和苏联之间的一些重大分歧。对此，德国大使馆表示，在英法之后，将轮到苏联。

4. 土耳其报纸《SonPosta》报道称，德国驻奥地利部队指挥官在向军队训话时表示，德国的主要敌人是俄罗斯人，德国士兵可能被委以进一步扩张德国边界的任务。

5. 美国驻罗马尼亚大使在给华盛顿的电报中报道说，吉古尔朱与戈林有过一次谈话，戈林在谈话中说，如果德国在与英国的战争中没有成功，它将被迫继续执行它的旧计划夺取乌克兰和高加索地区。

6. 德国武官表示，在与英国的战争结束后，德国人将帮助芬兰夺回失去的领土。

7. 希特勒打算在 1941 年春天解决东方问题。

8. 在莫斯科与南斯拉夫武官的谈话中，后者表示芬兰是苏联的利益区。近日，德国驻莫斯科大使馆参赞皮尔格[①]直言，芬兰人在冬天英勇作战，不会割地给俄国。最近，德国人一直在煽动芬兰人反对俄罗斯人。芬兰人已经在谈论“与苏联的边界尚未最终确定，让我们看看欧洲缔结和约后会发生什么”。

9. 南斯拉夫武官认为，德国人有两种倾向：一种倾向认为苏联目前军力和国内关系薄弱，坚持在合适的时机与日本一起了结苏联，并摆脱宣传中一直悬在德国上空的“达摩克利斯之剑”；第二种倾向认为，苏联并不弱，俄罗斯士兵的防御能力很强，这已经被历史证明了。不应该冒险，最好与苏联保持良好关系。

10. 英国和法国记者断言，德国正在发生某种形式的力量部署。在斯德哥尔摩，德国和英国进行了谈判，来自英国的代表是劳合·乔治，但这些谈判并没有产生任何结果。希腊记者报道说，1940 年 7 月，德国和英国在马德里进行了谈判，德国对苏联不满，因为后者提出了一些新的要求。

11. 德国和意大利对罗马尼亚边界的保证完全针对苏联。这些保证得到德国和罗马尼亚之间的军事协议的补充。这些保证将结束苏联对巴尔干地区的渗透。

12. 罗马尼亚外长斯特鲁扎试图说服冈特向罗斯福提交德苏和平的建议。希特勒想要和平，因为他对苏联的耐心几乎耗尽，苏联只有在 1942 年才能为战争做好充分的准备。他还说，非正式的和平谈判正在斯德哥尔摩、马德里和爱尔兰举行。

13. 德国军官中有传言说，1941 年 2 月，希特勒在体育宫举行的军官毕业典礼上的演讲中说，德国有使用其 228 个师的军队的三种可能性：攻击英国、通过意大利进攻非洲，以及反抗苏联。

14. 预计 1941 年 5 月德国和苏联之间会发生冲突。消息源强调，这一观点在军界和外交界都有表达。没有人对这些计划做出正面回应。人们相信，战争蔓延到苏联只会使国家社会主义政权更接近终结。布劳希奇的侄子在外交部担任要职，也表达了这一观点。

15. 瑞典武官在确认 1941 年春天准备进攻苏联的信息时强调，该信息是从一名军方人士那里收到的，并且是基于希特勒的一项高度机密的命令，这项命令只有有限的官员圈子里的人才能接触到。

外交部东方司司长施利佩表示，莫洛托夫对柏林的访问可以与贝克的访问相提并论。在芬兰或保加利亚问题上都没有达成一致。

对苏联发动进攻的准备工作早于莫洛托夫访问的时间就开始了，但一度暂停，因为德国人错误地估计了他们战胜英国的时机。在春天，德国人希望让英格兰屈服，从而让他们腾出手来对付东方。

16. 对英作战，集中在②海峡的兵力就足够了，剩下的兵力可以自由地对苏联作战。为了让东方局势更加明朗，消除苏联可能站在英国一边的持续性危险，以及占领乌克兰为欧洲提供食

物，这次进犯是必要的。

在计划对苏联采取行动最可能的选项中，以下值得关注：

1.根据我们在柏林的全权代表于1940年12月15日收到的匿名信（附录1）[③]，选项1：

“……打击的主要方向：a）从卢布林沿普里皮亚季到基辅；b）从罗马尼亚的雅西和布科维纳之间向杰杰列夫方向进发，以及c）从东普鲁士到梅梅尔、维林、别列津纳河，再沿第聂伯河到达基辅”；

2.根据1940年12月的基辅特别军区的数据（附录2）[④]得出的选项2：

“……三个主要攻击方向：a）从东普鲁士向立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚方向。这次打击的优势在于立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚会立即成为德国的盟友。此外，芬兰立即加入德国以夺取被占领的领土；b）通过加利西亚和沃伦。部队将得到乌克兰人和罗马尼亚军队支持，罗马尼亚谋求从苏联手中夺取领土。

第二和第三方向的部队集群将包围在小波兰的敌军。在该区域的其余部分，在正面方向施加辅助打击，以清扫该地区的剩余部分。

在东方，苏联将与日本接壤，这对德国来说是一个优势，因为敌人必须同时建立两条战线，因此不可能集中力量对付德国。”

3.3号方案根据我们1941年2月的情报报告（附件编号3）[⑤]得出：

“……为了对苏联发动进攻，创建了三个集团军群：第1集团军群在陆军元帅博克将军的指挥下向彼得格勒方向发起进攻[⑥]，第2集团军群在陆军元帅龙施图特将军的指挥下[⑥⑦]——向莫斯科方向进攻，以及由陆军元帅里布将军指挥的第3集团军群——向基辅方向进攻。

对苏联进攻的开始暂定为5月20日”。

除了这些文件，根据其他消息来源可知，对苏联的进攻计划如下：

a）战胜英国后，德国向苏联进军，假定从两个侧翼发动攻击：覆盖北部（即芬兰）和巴尔干半岛。

b）德国公司“TrenchMain”有限公司的商务主管[宣称]对苏联的攻击将通过罗马尼亚进行。为此，德国正在修建一条从保护国[⑧]通过斯洛伐克到匈牙利的高速公路，目的是将军队转移到苏联边境。匈牙利和罗马尼亚允许德国使用所有交通线路进行部队移防，并允许它建造新的机场、摩托化部队配件基地和弹药库。匈牙利允许德国使用其部分机场。所有罗马尼亚军队和军事技术设施都由德国指挥部支配。

c）南斯拉夫武官斯米多维奇（?）宣称，在解决巴尔干问题时，很难想象德国人将把矛头

指向何处，但他个人相信这一切都发生在对苏联的进攻之前.德国人进入达达尼尔海峡这一事实本身就是对苏联的直接行动。总的来说，希特勒从未改变过他在《我的奋斗》一书中提出的纲领，而这个纲领就是战争的主要目标。希特勒以友谊为手段，使他能够解决重建欧洲的问题。

d）根据我们武官 3 月 14 日的消息，关于德国改变其战争战略计划的传言在罗马尼亚持续存在。在与我们的消息源交谈时，一位德国少校说：“我们正在彻底改变我们的计划。我们正前往东方，前往苏联。我们将从苏联获取粮食、煤炭和石油。那样我们就会立于不败之地，可以继续与英美的战争。”罗马尼亚前部长的战友里奥萨努上校在与我们的消息源的私人谈话中说，罗马尼亚军队的总参谋部正在与德国人一起制定与苏联开战的计划，该计划应该预计三个月内开始。

德国人在前往土耳其的那一刻忌惮苏联的反应。为了防范苏联的威胁，德国人想主动出击，抢占苏联最重要的经济区，尤其是乌克兰。

e）根据来自我们柏林的武官的报告，根据完全权威的消息来源，对苏联的敌对行动应该会在 1941 年 5 月 15 日至 6 月 15 日之间开始。

结论：

根据以上所有陈述和今年春季可能采取的行动方案，我认为对苏联开始行动的最可能日期是战胜英国后或与英国缔结为德国带来光荣的和约之后的某一时刻。

关于今年春天对苏联战争不可避免的谣言和文件应该被视为来自英国甚至德国情报部门的错误信息*。

红军总参谋部侦查局局长

戈利科夫中将

备注：亲笔签名，经认证的副本。有注释和更正。附上德国进攻苏联的可能选项示意图。

注释：

①原文如此。正确的写法——希尔格。

②这是指英吉利海峡。

③未发布。

④未发布。

⑤未发布。

⑥这是指列宁格勒。

⑦原文如此。正确的写法——伦德施泰特。

⑧这是指被德国占领的捷克斯洛伐克地区。

*文件的样式和拼写被保留。

译自：ЦАМОРФ（俄罗斯联邦国防部中央档案馆）.Оп.14750.Д.1.Л.12–21./《1941 年》（第一册）（20 世纪俄罗斯丛书）莫斯科，民主基金会出版社，1998 年版。

163

国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥、Л·П·贝利亚的报告附转发的特工情报

（1941 年 3 月 27 日）

编号 725/м

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

国家安全人民委员梅尔库洛夫

由国家安全人民委员部第一局第一处第一科雷步金同志

基于“科西嘉人”1941 年 3 月 24 日的消息整理

来自柏林“科西嘉人”的消息

德国空军部的一名工作人员在同我们消息源谈话时说：

德国空军总参谋部正在开展针对苏联的敌对行动的密集工作。正在制定计划轰炸苏联最重要的目标。据信首先轰炸桥梁枢纽，以阻止后备力量的运输。制定了轰炸列宁格勒、维堡和基辅的计划。总参谋部定期收到苏联城市和其他实体的照片，特别是基辅市。

根据在参谋部掌握的信息，驻莫斯科的德国空军武官非常积极地寻找苏联发电厂的位置，亲自开车绕过发电厂所在的地区。

德国空军武官的报告和密码电报以前通过外交部发送，现在直接发送到参谋部。

在空军司令部的军官中，有一种观点认为，对苏联的军事行动应该在 4 月底或 5 月初进行。这些日期与德国人为自己保存粮食收成的意图有关，希望苏联军队在撤退期间不会烧毁绿色的庄稼。

译自：《1941 年》（第一册）（20 世纪俄罗斯丛书）莫斯科，民主基金会出版社，1998 年版，第 799 页，ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）. 文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

164

Н·С·赫鲁晓夫和И·В·斯大林就同罗马尼亚接壤的边境地区的不安状况来往的密电

（1941 年 4 月 2 日）

莫斯科

联共（布）中央

斯大林同志：

今天，4 月 1 日，切尔诺夫策州格雷波克斯基区最近的四个村庄的部分农民前往区中心格雷波克斯科耶镇，要求将他们送到罗马尼亚。人群约有一千人。

4 月 1 日中午，人群进入格雷博科耶镇，走近内务人民委员部区处的大楼，一些人举着十字架，有一面白色横幅（正如游行的参与者自己解释的那样，应该是象征和平的意图）。一个十字架上写着："兄弟们，看，这是红军打坏的十字架。"人群中没有看到任何武器。

在向他们解释了在内务人民委员部区处大楼四周进行此类集会属非法并要求他们解散后，人群逐渐散去。一些人以同样的诉求逼近区执行委员会的大楼：将他们送到罗马尼亚。

在距离边境 15-16 公里的格雷博科耶镇，州党委第一书记已经驻扎在那里，在切尔诺夫策市的州执委会主席、国家安全局局长以及其他工作人员向那里派遣了从当地人当中挑选的、忠诚于我们的懂罗马尼亚语的人。

到 4 月 1 日晚到格雷博科耶镇的人逐渐散去。

国家安全局长下令逮捕煽动者，该工作已于今晚完成。

两天前，几组有着相同需求的农民来到了斯托罗日涅茨边境区的区执行委员会。原来，他们是被富农和"戈尔吉斯特"煽动的。在斯托罗日涅茨区被指认的煽动者已被逮捕。

今天布尔米斯坚科同志已经动身前往切尔诺夫策。

4 月 1 日 19:00 左右，格雷波克斯基区有 500-600 人的人群试图突围到罗马尼亚。边防人员开火。结果，根据初步统计，大约有 50 人死亡和受伤，其余人逃离。没有人突破边界。

乌克兰共产党（布）中央书记赫鲁晓夫

1941 年 4 月 2 日

编号 451/ш

基辅

赫鲁晓夫同志：

从您的报告中看不出想离开去罗马尼亚的农民是什么民族身份，其中有乌克兰人吗？比例是多少？总的来说，从您的报告中可以看出，你们在边境地区的工作进展得非常糟糕，当然可以向人群开枪，但开枪不是我们的主要工作方式。解释“戈尔吉斯特”这个词。等您答复。

斯大林

1941 年 4 月 3 日

编号 429/ш

莫斯科

联共（布）中央

斯大林同志：

向您报告，想去罗马尼亚的农民按民族成分算是罗马尼亚人，这中间没有乌克兰人。“戈尔吉斯特”这个词准确翻译过来是“近卫军”，这是最近“铁卫团”分子的自称。

您关于我们边境地区工作薄弱的批评是正确的。为了改进切尔诺夫策州的工作，布尔米斯坚科昨天动身前往该地。

乌克兰共产党（布）中央书记赫鲁晓夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.59.Л.5,7—8.原稿，机打。

165

来自英国首相丘吉尔给И·В·斯大林的信的内容

（1941 年 4 月 3 日）

“……我从一个可靠的特工那里得到可靠的信息，当德国人认为南斯拉夫陷入他们的包围圈时，即 3 月 20 日之后，他们开始将五个装甲师中的三个从罗马尼亚转移到波兰南部。他们一得知塞尔维亚革命，就取消了这次调动。阁下很容易理解这个事实的重要性。”

译自：W·丘吉尔《第二次世界大战回忆录》，伦敦 1950 年版，第 3 卷，第 320 页。这封信于 1941 年 4 月 21 日由克里普斯大使转交给И·В·斯大林。

166

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于Ж·К·巴赫案的特别报告

附审讯笔录

（1941 年 4 月 7 日）

922/M

绝密

副本

联共（布）中央

斯大林同志：

苏联国家安全人民委员部在此提交 1941 年 3 月 27 日对被捕的拉脱维亚军队瑟米加利亚人师前指挥官扎尼斯·卡尔洛维奇·巴赫将军的审讯笔录。

1921-1922 年，作为拉脱维亚驻莫斯科武官，巴赫通过其侨民和秘密特工在苏联领土上开展了积极的情报工作。

1922 年，国家政治保卫总局机关破获了拉脱维亚情报部门的间谍网络。对此，在苏联政府的坚持下，拉脱维亚政府机构将巴赫撤出莫斯科。

巴赫承认，自 1940 年 10 月以来，他是在拉脱维亚境内活动的反苏军官阴谋组织的主要成员，他与拉脱维亚军事学校的前校长克林森将军有牵连。

巴赫供认，阴谋组织中的军官正在为在所谓的德国对苏联的战争爆发时举行反对苏维埃政权的武装起义准备干部。

该组织的主要成员克林森在德国驻里加大使馆秘书的协助下，与在柏林的拉脱维亚驻德国武官普伦斯涅尔上校建立了联系。

克林森收到了来自普伦斯涅尔的消息，德国政府界曾承诺——在适当的时候——向军官组织提供适当的帮助。

通过巴赫的证词被曝光为反苏军官组织的主要成员：

1. 阿尔图尔·雅科夫列维奇·丹涅别尔戈斯，目前在红军服役，担任第 24 国土步兵军炮兵主任，炮兵少将（第 28、30 和 32 页）；

2.阿尔图尔·亚诺维奇·达尔别尔格斯，现任第24国土步兵军的后勤部长，军需少将（第28、31和33页）；

3.尤里乌斯·克里什亚诺维奇·罗森塔尔，拉脱维亚军队前上校。现任驻扎在图库姆市（拉脱维亚）的第181步兵师参谋长，上校（第28、32页）；

4.伊万·伊万诺维奇·普克西斯，前白军军官，现任米塔瓦第24国土步兵军第20骑兵团指挥官，上校（第32页）；

5.鲁道夫·米哈伊洛维奇·克林森，拉脱维亚军校前任校长，拉脱维亚军队前将军，退伍。住在拉脱维亚苏维埃社会主义共和国（第22-33页）；

6.尼古拉·雅科夫列维奇·阿别利吉斯，拉脱维亚军队前中校。他目前是第183师第295步兵团的指挥官（第27、30、32页）；

7.尼古拉·达维多维奇·巴洛吉斯，拉脱维亚军队前中校。目前在采西斯市第285步兵团服役（32页）等。

由于被巴赫点名的绝大多数人是红军（拉脱维亚第24国土步兵军）的军人，巴赫的调查档案被移交给国防人民委员部第三局进一步调查。

关于巴赫供词中指出的平民，我们已指示拉脱维亚苏维埃社会主义共和国的国家安全人民委员部采取必要的特工行动措施。

附录：正文

苏联国家安全人民委员

Ｂ·梅尔库洛夫

审讯笔录

扎尼斯·卡尔洛维奇·巴赫

（1941年3月27日）

Ж·К·巴赫，1885年出生，生于科尔奇马贝尔祖（拉脱维亚）库尔迪加县萨提克乡，曾任瑟米加利亚人师师长，拉脱维亚陆军将军，获授三枚拉脱维亚、一枚爱沙尼亚、一枚瑞典和两枚波兰勋章。在他被捕时，他是内河航运人民委员部里加工厂的一名规划师。

问：您是从什么时候开始在拉脱维亚军队服役的？

答：自1918年12月13日，即拉脱维亚资产阶级宣布独立以来。

问：你之前在做什么？

答：直到 1918 年，我都是俄国沙皇军队的一名军官。当沙皇军队遣散时，我任第 37 步兵军司令部高级副官。

1918 年 2 月上旬，我从沙皇军队复员后，动身前往乌克兰，后移居拉脱维亚永久居留，很快就被接纳进拉脱维亚国民军中服役。

问题：什么职位？

答：在我以前的学校朋友、律师安东斯的帮助下，我被战争部聘为总务科长。

问题：安东斯与战争部有什么关系？

答：没有。然而，安东斯与当时的拉脱维亚激进民主党领袖、后来的共和国总统泽姆加尔斯关系密切，安东斯通过他安排我在战争部任职。

问题：当时谁领导拉脱维亚的资产阶级政府？

答：当时，卡尔·乌尔马尼斯是拉脱维亚政府的首脑。不得不说，K·乌尔马尼斯的资产阶级政府和后来的聂德尔政府一样，没有得到拉脱维亚人民的任何支持。因此，尽管没有自己的武装力量，但乌尔马尼斯政府斯当时甚至不敢进行局部人口动员入伍。

与此同时，乌尔马尼斯政府也没有闲着。1918 年底，他与德国驻拉脱维亚司令部的官方代表魏宁格就建立联合武装部队进行谈判，以对抗该国日益增长的革命运动。

问：您知道这个协议的结果吗？

答：作为与魏宁格谈判的结果，创建了三个民族单位：德意志人单位、拉脱维亚人单位和俄罗斯人单位，它们隶属于德国司令部代表舍别尔特少校，后来隶属于联邦国防军的组织者和领导人弗莱彻少校。舍别尔特的助手是罗伯特·科里亚维什中校，他现在是一个独立的拉脱维亚国土军的指挥官。

俄罗斯单位由俄罗斯白军和各种犯罪分子组成，拉脱维亚单位主要的人员来自被关押在德国集中营的前拉脱维亚囚犯。

随着 1918 年 12 月拉脱维亚苏维埃政权的建立，革命运动愈演愈烈，特别是在乌尔马尼斯逃离的西部地区。革命运动甚至影响到了在德国指挥下新成立的拉脱维亚民族单位。

结果，在 1918 年 12 月下半月左右，拉脱维亚部队发生了起义，但遭到了乌尔马尼斯政府的残酷镇压。

问：当时乌尔马尼斯依靠什么武装力量？

答：拉脱维亚部队的革命起义在德国的反革命部队和俄国白军的直接帮助下，被乌尔马尼

斯政府镇压。

此时，乌尔马尼斯政府已经从反动军官、富农和学生中组建了一些新的单位。具体而言，创建了以下连：一个由雅尼斯·巴洛吉斯指挥的军官连，一个由普利尼诗中尉指挥的富农连，以及一个由格伦特曼上尉指挥的学生连。

尽管拉脱维亚起义部队遭到血腥屠杀，并建立了一支新的德国-拉脱维亚反革命联合军队，但乌尔马尼斯政府及其军队在红色军团的猛烈攻击下被迫离开里加，逃往利巴瓦市。与乌尔马尼斯政府一起，所有政府机构都被疏散到利巴瓦，包括战争部，其总务科长就是我——巴赫。

乌尔马尼斯政府趁留在利巴瓦城和红军攻势意外暂停之际，大力寻求外界帮助。

问：您指的是哪种外部帮助？讲清楚。

答：乌尔马尼斯和一些政府成员（我不记得他们的名字）从利巴瓦市一起出国与英、法、德三国政府就协助他们抗击苏维埃军队进行谈判。

乌尔马尼斯并没有在国外呆太久。1919 年 2 月下旬左右，他和随行人员一起返回利巴瓦市。这时，新的总司令弗莱彻少校从德国抵达，他重组了德国部队，创建了所谓的“国土防卫军”。

作为乌尔马尼斯与英国、法国和德国代表谈判的结果，一些武器、被服和军事单位被送到拉脱维亚。

1919 年 2 月下旬左右，德国将军冯·德·戈尔兹抵达拉脱维亚，他率领所有反革命武装部队与红军作战。

与此同时，战争部长扎里基斯代表乌尔马尼斯政府重组了所有拉脱维亚部队。结果，在拉脱维亚西部活动的分散的反革命拉脱维亚部队被合并为一个营，隶属于德国指挥部。

问：谁负责新创建的营？

答：这个营的指挥官原是科尔帕克上校，他死后，拉脱维亚白军部队由巴洛迪斯领导。

在冯·德·戈尔兹将军抵达利巴瓦 10-15 天后，所谓的“铁之师”从德国交于他指挥。在冯·德·戈尔兹的直接领导下聚集在拉脱维亚西部的所有反革命力量都被派去与红军作战。

问：众所周知，您个人并没有对此作壁上观。交代你在其中扮演的角色。

答：这段时间，我一直担任战争部总务科长，参加组织反红军的斗争。

1919 年 4 月，在奈德尔牧师在德国军队的帮助下发动政变后，我和其他乌尔马尼斯的支持者一起辞去了战争部的职务。

问：您做了什么？

答：在扎里基斯的指示下，我与哈特曼大尉、普连斯涅尔上校（最近在德国担任拉脱维亚武官）、上尉拉马茨、中尉雷曼和其他军官一起非法前往爱沙尼亚，由泽米坦上校节制。

问：泽米坦当时在爱沙尼亚扮演什么角色，你被派去受他指挥的目的是什么？

答：1919 年 1 月至 2 月，乌尔马尼斯在国外逗留期间，与爱沙尼亚白卫政府达成协议，对红军部队进行联合武装斗争。

根据该协议，在爱沙尼亚领土上组建了所谓的“北方军团”，这是爱沙尼亚白军的一部分。泽米坦上校监督了在爱沙尼亚组建拉脱维亚白卫部队的所有工作。后来他指挥这些部队与红军进行武装斗争。反过来，泽米坦从属于爱沙尼亚白军指挥官利多纳将军。

在泽米坦的指示下，我前往普斯科夫市，将居住在那里的拉脱维亚人疏散到拉脱维亚，在那里我一直呆到 1919 年 7 月。

1919 年夏天，随着乌尔马尼斯的第二次掌权，我回到里加市，在西曼森将军的命令下，被任命为新成立拉脱维亚军队总司令部作战科科长。

作为作战科科长，我的工作时间并不长，从 1920 年 1 月起，我被临时分配担任作战处长。

问：据了解，随着总司令部参谋部的成立，在其他部门中，组织了对内和对外情报处。这些处被分配了哪些职能？

答：对苏俄进行情报和反间谍工作。我必须说，对内情报处与反间谍工作一起，领导并直接开展了反对具有革命思想的个人，主要是反对共产党人的斗争。

从成立的第一天起，总司令部参谋部的对外情报处就开始将其秘密特工安插到苏俄后方，执行破坏和间谍任务。

问：谁负责对外情报处？

答：多年来，对外情报处的创建者和负责人是拉脱维亚军队的大尉雨果·罗森斯坦，他最近担任的是拉脱维亚军队的总参谋长。

对外情报处处长助理是斯特里普大尉。

对内情报处先由贝克尔领导，后来由阿尔普领导。他们都按照指示和政府政策行事。

问：那是什么政策？告诉我们。

答：以乌尔马尼斯为首的拉脱维亚资产阶级政府从成立之初就对苏俄采取了强烈的敌对立场。他们千方百计阻挠任何旨在与苏维埃俄罗斯和解的行动，并且在他们的政策上以西方帝国主义国家，主要是英国和法国为指导。

例如，我知道 1920 年 1 月，第一个拉脱维亚代表团前往莫斯科，旨在对能否与苏俄政府

达成协议进行摸底。同时，代表团并没有局限于这些职能并与苏俄政府签订了停战协议。乌尔马尼斯和拉脱维亚军队总司令巴洛迪斯对这一行为非常不满，并没有承认。

问：如何看出来的？

答：代表团回国后，乌尔马尼斯政府没有就停止敌对行动作出任何指示。从巴洛迪斯的副官贝克尔斯大尉的话中，我知道乌尔马尼斯和巴洛迪斯对停战协议的缔结感到愤怒。

问：如何解释这个现象？

答：乌尔马尼斯的反苏政策，以及法国和英国对他的压力。

我从贝克尔斯那里得知，英法两国政府通过军事使节了解到与苏俄停战的消息后便时常围堵乌尔马尼斯和巴洛迪斯，要求他们继续对苏俄进行武装斗争，在这方面，他们承诺会增加对拉脱维亚的援助……

与此同时，以罗森斯坦大尉为首的拉脱维亚对外情报处实质上变成了一个对苏俄进行国际间谍活动的部门。

根据拉脱维亚军队总司令部前参谋长拉津什上校的命令，对外情报处定期向在资产阶级拉脱维亚领土上的帝国主义国家军事使团首脑移交其掌握的关于苏俄的材料。

正如我从罗森斯坦的话中所知，拉脱维亚情报部门的工作与其他国家的反苏联情报部门的联系一直持续到最近。

问：在针对苏联的联合情报工作中，罗森斯坦与哪些外国情报部门的代表有联系？

答：我从罗森斯坦那里得知，他通过驻拉脱维亚的法国武官阿尔尚上校与法国情报部门有联系。我不知道同罗森斯坦一道参与反苏情报工作的其他情报部门代表的姓名。

问：您不可能不知道这一点，因为您自己积极参与了反苏联的情报工作。交代真相。

回答：我说的是实话。与阿尔尚有联系的外国情报部门代表的姓名，我不知道。

至于我个人参与的反苏情报工作，我也不隐瞒。

1921 年，我被任命为拉脱维亚驻俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国的武官，直接在苏俄领土上指导拉脱维亚军队总司令部参谋部的情报工作。

问：除了你，还有谁被派往苏俄？

回答：我记得除了我之外，以下拉脱维亚情报官员也被派往俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国：阿尔伯特·克鲁米内什、因德里克森、斯特罗德斯、阿尔弗雷德·梅达乌斯、德鲁姆斯、尼科贝尔格，似乎还有崩德尔斯。

为了译码和为情报工作创造有利条件，所有这些人作为在苏联领土上组织的拉脱维亚官方

机构的雇员，特别是在遣返委员会成员的幌子下都被派往苏维埃俄罗斯。

不得不说，随着拉脱维亚与苏联政府缔结和平条约，以罗森斯坦为代表的拉脱维亚军队总司令部参谋部对外情报处广泛运用了相关权利——根据与俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国的和平条约，授予拉脱维亚在苏俄领土上建立其官方机构的权利。外国情报部门将其雇员派进这些俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国开展间谍活动的机构。

例如，我知道拉脱维亚情报官员 A·克鲁米内什、因德里克森、德鲁姆斯、斯特罗德斯和尼科贝尔格是拉脱维亚外交部遣返委员会的正式成员，而梅达乌斯被认为是武官随员。上述的每个人都与特工网络相连，在这个网络的帮助下，他们进行了情报工作。但是，我不认识他们的特工。

问：首先，请介绍一下您的特工。谁与您私下接触过？

回答：我个人也有一个秘密特工网络，我从他们那里收到了对我们情报部门感兴趣的秘密信息，但在这些特工中，我只记得其中的几个。

问题：究竟是谁？

回答：在莫斯科与我有联系的特工中，我记得以下几位：

涅曼——有好几个姓氏，他的民族是波兰人，现在应该在 45-50 岁左右，他在一个苏联军事机构工作（我不记得是哪个），他在报告上署了一个代号“普特尼斯”。

问：谁招募了他？

答：为了刺探苏俄的情报，涅曼是被波兰驻拉脱维亚武官（我不记得他的姓氏）招募的，经拉脱维亚情报部门同意，被安插到苏俄领土。这甚至是在我去莫斯科工作之前就发生了。

问：涅曼给了你什么秘密信息？

答：大多数时候，我从涅曼那里接到红军司令部的命令，关于红军部队人数和部署的信息以及其他一些秘密数据，现在我不记得其中的内容了。

问题：涅曼从何处以及如何获得这些数据？

答：他在他的服役地点设法得到了一些材料，他通过他的朋友得到了一些信息。

就个人而言，我与涅曼并没有长时间保持联系，他于 1922 年被捕。

问：您是怎么知道这件事的？

答：拉脱维亚军队总司令部参谋部对外情报处专门通知了我涅曼被捕的事。他们是怎么知道这件事的，我不知道。

问：后来您又见过涅曼吗？

答：1922 年夏天，出乎我意料的是，涅曼来到拉脱维亚大使馆，告诉我他被捕了，但他设法逃脱了羁押。从涅曼的叙述中，我意识到逃跑的版本是虚构的，他被契卡逮捕并被招安。不仅我自己有这个观点，还有其他一些认识涅曼的外国情报部门的高级官员也有这个观点。

除了涅曼，我还接触过沙皇军队的上校艾文（我不记得他的名字和父名），拉脱维亚人，现在他大约 55-60 岁。1921 年春，我亲自招募了他。艾文试图前往拉脱维亚永久居留，对此，他多次向我讨要证明文件。我就是利用这个情况来招募他的。

自从艾文在红军司令部服役以来，我从他那里得到了非常有意义的信息，包括红军的作战训练、红军实力、军队重组计划以及其他一些与上述信息同样重要的信息。

问：您知道艾文最近在哪里吗？

答：我很清楚，艾文于 1921 年底前往拉脱维亚永久居住，在那里他是拉脱维亚卫士团塔尔辛斯基团团长助理。我没有关于艾文的更多信息。

问：与您有联系的拉脱维亚秘密情报人员还有谁？

答：我还记得和图佩有联系（我不记得他的名字和父名），拉脱维亚民族，当时他 30 岁，据我所知，他是红军参谋部的助理指挥官。

问：图佩也是你个人招募的？

回答：没有。为了有利于拉脱维亚情报部门的间谍工作，我的秘书梅达乌斯招募了图佩。1922 年，在梅达乌斯暂时不在莫斯科期间（他前往里加市），我和图佩有几次会面，期间我从他那里得到了非常有价值的信息。

问：什么性质的信息？

答：我从图佩那里收到了红军绝密命令的副本以及有关红军规模的信息。在拉脱维亚时，我得知图佩在苏联被捕并被判处死刑。

问：您并未招认您所知的所有拉脱维亚情报部门的特工。您在隐瞒谁？

答：我不否认，我确实没有说出所有与我个人接触的特工和隶属于我的合作者的名字，但我很久以前就想不起来了。事实上，我们秘密特工的骨干分子都在 1922 年被契卡机关抓获（我也不记得被捕特工的名字）。1922 年 5 月，我的助手梅达乌斯被曝光并被捕，1922 年 8 月，我动身返回拉脱维亚，就再也没有回到莫斯科。

我辞去驻俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国拉脱维亚武官一职的原因是，在我们的特工被曝光后，苏联政府在其照会中要求拉脱维亚政府撤销我的武官职务。

问：你离开莫斯科后，谁领导苏联领土上的情报工作？

答：在我之后，苏俄的情报工作由弗莱堡领导（我不记得他的名字和父名）。我将其余尚未曝光的特工交给了他。

问题：您将哪些特工转隶给弗莱堡？

答：据我所知，我总共给弗莱堡 6—7 个特工供他联系。

在这部分特工中，我只记得涅曼和图佩。我现在记不起其他特工的名字了。

我不知道对俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国情报工作的进一步措施，因为自 1922 年年中我离开了莫斯科，我便与情报工作再无瓜葛。

问：您回到拉脱维亚后做了什么？

答：我在拉脱维亚军队的人事单位服役。1922 年 11 月，我被任命为维泽梅师的参谋长。我一直担任这个职位直到 1931 年 6 月下旬，之后调任第 4 瓦尔默步兵团团长，1934 年 8 月被任命为切索沃第 5 步兵团团长。然后我是拉特加尔师师长助理，从 1936 年秋天到 1940 年 11 月，我是瑟米加利亚人师师长。

我再说一遍，随着我进入拉脱维亚军队人事部门服役，我停止了情报工作，与其再无瓜葛。

问：然而，您与反苏工作有直接关系。请供述这一点。

答：拉脱维亚军队从组织之初直到最近，都是由我们本着仇恨苏联的精神培养起来的。即使在 1939 年，尽管与苏联签订了互助协议，但在这方面的教育工作并没有减弱，反而加强了。

问：这是如何体现出来的？

答：随着苏联和拉脱维亚签订互助协定和在拉脱维亚领土上建立苏联军事基地，我军引入了所谓的特殊“座谈时间”，在其中灌输尖锐反苏、诽谤中伤的舆论，追求的目标是：引起士兵对苏军的愤怒。

出于同样的目的，当时的陆军参谋长罗森斯坦将军就芬兰和苏联之间的战争行动过程向部队指挥官发出了显然是对苏联进行诽谤的报告。

显然还有其他类似的事实，但我现在想不起来了。

问：您在回避对所提出问题的直接回答。不要拿让罗森斯坦当您的挡箭牌。众所周知，您本人就是拉脱维亚军队的反动将领，与其他军官一起，直到最近还积极参加了反苏斗争。我们建议您老老实实谈论这个问题。

答：我认为，原拉脱维亚军队的反动分子，主要是那些没有加入新成立的“国土军”的军官，正在进行地下反苏工作。

问：我们是在问您反苏活动的具体事实，而不是“假设”。你明白吗？

答：我明白。

问：在这种情况下，您只能老实坦白。从你自己开始说起。

答：我必须承认，在之前的审讯中，我确实对调查人员隐瞒了我所知道的关于拉脱维亚存在反苏阴谋组织的一切情况。

问：您为什么要隐瞒？

答：我有强烈的民族主义情绪，所以不想出卖志同道合的同伙和阴谋组织的帮凶。

问：请详细说明它是一个什么样的组织，您个人在其中担任什么职务？

答：我说的是在拉脱维亚境内活动的反苏军官阴谋组织，它联合了前拉脱维亚军队中最反动的部分军官。我过去认识的这个阴谋组织的大部分成员都积极参加了反对红军的武装斗争。

据我所知，该组织的任务是通过武装起义将拉脱维亚从苏联分离出来，并在其中建立资产阶级制度。我个人是这个组织的积极参与者。

问：从什么时候开始的？

答：从 1940 年 10 月开始。我进入阴谋组织的行为是在以下情况下发生的。

1940 年 10 月 8 日左右，罗伯特·克利亚文什将军（现为拉脱维亚“国土军”指挥官）召开了前拉脱维亚军队师长会议，讨论向即将新成立的红军“国土军”移交军事财产。

会议结束后，我和库尔兰师的指挥官斯潘德克将军和拉特加尔师的指挥官克林森将军一起回家。我们都处于一种激动的状态，意识到面对正在发生的事我们变得无所作为。在我们回家的路上我们一直在谈论这个问题。我于是产生了在一个更窄圈子里更坦率地谈论可能前景的愿望。

在注意到我的想法后，克林森建议我们去“罗马”餐厅（罗马宾馆）。“在那里，”正如克林森所说，“我们谈谈。”斯潘德克和我同意了。

问：你有没有在餐厅的其他客人面前公开讲话？

答：没有。我们谨慎地将自己安置在一个单独的包间，谈话之前曾要求为我们提供食物。

在餐厅里，在温馨亲切的气氛中，我们每个人都毫不犹豫地公开表达了对苏联政府措施的不满和愤怒。

在就此问题进行了简短和精神上一致的交换意见后，克林森直接将“我们不会容忍这种情况，我们需要果断行动”的问题摆在我们面前。

对我和斯潘德克将军来说，克林森想组织对苏维埃政权不满的前拉脱维亚军队的反动军官，与拉脱维亚新建立的国家制度作斗争的企图是再清楚不过的。克林森随后告诉我们，他已经在

这个方向上采取了一些步骤。

问：他具体告诉了你什么？

答：克林森说，我们的“少壮派”军官中有志同道合的人。一路上，他告诉我们，“拉脱维亚军校毕业军官协会”的代表（没有提到他们的名字）与他接触，主动要求创建一个军官组织，在拉脱维亚准备反对苏维埃政权的武装起义，目的是将权力掌握在自己手中。

问：“拉脱维亚军校毕业军官协会”的代表就此目的找到克林森的原因是什么？

答：这是因为克林森在前拉脱维亚军队“少壮派”军官的反动分子中享有很高的威望。1919 年，克林森是拉脱维亚军事学校的组织者和校长，该学校的学员积极参加了反对红军部队的武装斗争。克林森本人因个人积极参与与苏维埃军队的战斗而被拉脱维亚政府授予“拉切普勒西斯”军事勋章。

克林森接受了“少壮派”反动军官的提议，接管了拉脱维亚苏维埃社会主义共和国地下反苏军官组织的领导权。克林森亲自将此事告诉了我和斯潘德克。

问：克林森只通知了您这件事吗？

答：不是。克林森说，我们面临着准备将“国土军”转化为阴谋组织的军事力量的任务。为此，克林森继续说道，有必要在军团的各单位建立自己的支部。

此外，克林森告诉我们，他已经设法在采西斯师创建了这样的支部，并且正在图库姆斯师进行相应的准备工作（他没说出这些支部成员的名字）。

针对我和斯潘迪克对其所说的，只有一个“国土军”的力量我们什么也做不了的疑问，克林森回答说他正在采取措施从一个欧洲大国那里获得适当的帮助。

问：他说的是哪个大国？

答：克林森说，我们可以从德国政界获得最重要的帮助，因为它没有放弃对波罗的海国家的主张。至于它与苏联的友好条约，不是为了爱情，而是为了利益。克林森告诉我们他的观点，一旦德国结束与英国的战争，它就会开始对苏联进行军事行动。

问：与德国政界建立联系的构想是怎样的？

答：克林森决定向德国驻里加大使馆提出申请，以便他们协助与在德国的前拉脱维亚武官、在柏林的拒绝归国者普伦斯涅尔上校建立联系。克林森希望通过普伦斯涅尔获得德国政府的意见。

然后我们商量好，斯潘德克和我回到我们的工作地点后，将开始招募反苏军官进入我们的组织。后者则被委托将反动军官组织在自己周围，在“国土军”中散布各种捏造的反苏言论。

我们决定暂时仅限于此，将来根据情况，我们将向组织的新成员提供额外的指示。那个时期的主要任务是散布谣言，说拉脱维亚的苏维埃政权只是暂时的，拉脱维亚很快就会恢复以前的国家制度。与此同时，我们组织的成员应当夸大苏联在即将到来的与德国的战争中面临不可避免地失败的说法。

问：您个人将谁招募进了阴谋组织？

答：在德文斯克，我招募了瑟米加利亚人师第 10 团团长斯库恩施上校和该师第 11 团团长阿别利吉斯上校。我在与该师的共同服役过程中很清楚这些人的反苏情绪，因此根据克林森为我设定的任务招募了他们。

特别是斯库恩施对苏维埃政权有着刻骨仇恨，在 1919-1920 年期间，他是与红军作战的拉脱维亚白军的头子。由于积极参与反对苏维埃政权的武装斗争，斯库恩施被拉脱维亚政府授予两枚“拉切普勒西斯”勋章。随着拉脱维亚军队的清算，他被除役。

问：您在德文斯克待了多久？

答：我在德文斯克逗留时间不长，11 月 2 日我回到里加，11 月 4 日我已经被开除军籍。几天后，克林森来到我的公寓。

问：他是怎么知道您回到里加的？

回答：我相信克林森得知我抵达里加的消息与发布的将我从军队除名的命令有关。

问：他到公寓来拜访你的目的是什么？

答：为了指导我处理我们组织的事务，克林森告诉我，他已经与“国土军”的后勤部长达尔别尔格斯将军、该军的炮兵主任丹涅别尔戈斯将军，前拉脱维亚军队空军总长因丹斯将军，“国土军”师参谋长罗森塔尔上校建立了联系并将他们招募进阴谋组织。

此外，克林森告诉我，他已经访问了德国大使馆，并正在与使团秘书进行会谈，以协助我们组织与普伦斯涅尔建立联系。

问：应当假设克林森也让您了解了这些谈判的结果。对吧？

答：是的。克林森告诉我，使馆秘书起初出于害怕发生挑衅事件不想接待他，但后来同意接受他的一封信，转交给普伦斯涅尔。

问：那封信里有什么？

答：克林森在给普伦斯涅尔的信中详细介绍了他在拉脱维亚创建的反苏阴谋组织，并要求联系德国政府界了解他们对此的看法，以及该组织是否可以指望来自德国的武装援助。

过了一段时间，克林森再次出现在大使馆，并收到了一封回信，普伦斯涅尔说他已经设法

联系到了德国政府的代表。普伦斯涅尔指出，德国政府代表承诺未来会向该组织提供援助，但一切都将取决于国际形势。

与此同时，普伦斯涅尔建议继续我们已经开始的“争取国土军”的工作。这意味着我们必须继续在“国土军”中创建我们阴谋组织的支部。

问：您能告诉我目前谁有普伦斯涅尔写给克林森的信吗？

回：正如克林森告诉我的那样，这封信在德国驻里加大使馆被他销毁了。这是在大使馆秘书的坚持下完成的。

与此同时，我告诉克林森，我在德文斯克亲自招募了斯库恩施和阿别利吉斯加入组织。

我和克林森之间再没有别的谈话了。

问：您的意思是说，您与阴谋组织的联系就到此为止了？

答：没有。我只是回答不准确。我的意思是说，当我们在我的公寓见面时，克林森和我之间没有说其他的事情。而在之后，我依然与我们组织的成员保持联系。

例如，在 1940 年 12 月初，我参加了阴谋组织主要成员的非法聚会，该集会在丹涅别尔戈斯的公寓举行，他现在是“国土军炮兵主任”。

问：这次聚会的性质是什么？

答：这是我们阴谋组织骨干分子的第一次有组织的会议。在会议上，与会的每个人都介绍了他们实际所做的工作。之后，主持会议的克林森指示各单位的军官与拉脱维亚卫士团分子建立联系。同时，他告知参会人员，采西斯师当中我们组织的成员已经与拉脱维亚卫士团分子建立了联系。

出席这次会议的因丹斯将军被要求与里加市的拉脱维亚卫士团分子建立联系。

问：拉脱维亚卫士团分子有隐藏武器吗？

回答：我不知道。据推测，如有必要拉脱维亚卫士团分子会从“国土军”的军需仓库收到武器。这应该得到我们阴谋组织的一名成员达尔别尔格斯将军的协助，正如我在上面已经表明的那样，他是“国土军”的后勤部长。

问：除了你、克林森和因丹斯，还有谁参加了这次非法聚会？

答：我们阴谋组织骨干分子在丹涅别尔戈斯的公寓的此次非法会议，除了我之外，还有如下参加者：

1）克林森将军——前拉特加尔师师长；

2）达尔别尔格斯——“国土军”后勤部长；

3）因丹斯将军——前拉脱维亚军队空军总长；

4）丹涅别尔戈斯将军——“国土军”炮兵主任；

5）普克西斯上校——“国土军”骑兵团团长；

6）罗森塔尔上校——“国土军”师参谋长；

7）阿别利吉斯上校——最近在采西斯师服役，被我个人招募到组织中；

8）巴洛吉斯上校——采西斯师军官。

除了我列出的人外，参加会议的还有我们组织的其他成员——“国土军”不同单位的代表，但我不知道他们的名字。

在丹涅别尔戈斯将军公寓处的会议结束后留下来的人有：我——巴赫、克林森、因丹斯、达尔别尔格斯和丹涅别尔戈斯。

达尔别尔格斯告诉我们，他与“国土军”的参谋长伍德登什将军进行了交谈，后者被告知“军官们正在组织与拉脱维亚的苏维埃政权作战，这是由一名已被“国土军”撤职的将军领导的”。

正如达尔别尔格斯所说，伍德登什批准了我们的行动，并建议将此事通知“国土军”指挥官罗伯特·克利亚文什将军。

然后我们委托克林森亲自联系克利亚文什，要求后者接管组织的领导权。

问：在不知道他对组织的态度的情况下，您有什么理由联系克利亚文什并提出这样的建议？

答：伍德登什显然毫不意外地建议我们求助于克利亚文什将军，即因为，正如我们所认为的，他已经知道我们组织的存在和活动。

我必须说，达尔别尔格斯被指示将我们阴谋组织的计划向伍德登什和盘托出，并邀请他加入我们。

问：这些谈判的结果是什么？

答：我不知道，因为很快，即 1940 年 12 月下半月，我就已经被捕了。因此，我对这个组织一无所知。

问：这是真的吗？

答：是的，没错。我对军官组织之后的情况一无所知。但是，我知道在拉脱维亚存在另一个将拉脱维亚卫士团分子和反动学生联合起来的反苏民族主义组织。

问：您是怎么知道这件事的？

答：我在 1940 年 12 月 17 日或 18 日左右，也就是在我被捕前几天，从拉脱维亚卫士团分子和反动学生中得知拉脱维亚存在一个反苏民族主义组织。我是从拉脱维亚前总理的兄弟卡尔·布洛德内克那里得知此事的，我跟他最近在苏联内河航运人民委员部里加造船厂工作。

问：为什么布洛德内克告诉你这件事？你和他有什么共同点吗？

答：以前卡尔·布洛德内克是我的同学，而且他很清楚我的反苏情绪。因此，他与我分享了这个反苏组织的存在。

问：布洛德内克到底告诉了您什么？

答：布洛德内克告诉我，他的弟弟阿道夫·布洛德内克最近在国际卧铺车协会里加分会任职，是拉脱维亚卫士团和反动学生的反苏民族主义组织的负责人。布洛德内克没有告诉我其他任何事情。

问：您认识这个反苏组织的成员吗？

答：没有。布洛德内克只向我提到他的兄弟阿道夫作为这个组织的领导者。他没有告诉我任何其他人属于这个组织的事情。

审讯于 13 点 00 分开始。

中断了 3 小时 25 分。

（从 16 点 45 分休息到 20 点 30 分。）

我已阅读了审讯笔录，我所有的话都用我能理解的俄语准确地记录下来。

Ж·巴赫

审讯人：

苏联国家安全人民委员部调查室主任助理、国家安全大尉罗德斯

苏联国家安全人民委员部调查室 2 处 6 科科长、国家安全少尉莱德斯

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.206.Л.203—232.原稿，机打。

注释：

1941 年 7 月 18 日，苏联最高法院军事审判庭判处丹涅别尔戈斯，少将，第 24 国土步兵炮兵司令、А·Я·达尔别尔格斯，少将，第 24 国土步兵军的后勤部长、И·И·普克西斯，上校，第 24 国土步兵军第 40 骑兵团团长、Ю·К·罗森巴尔斯，上校，第 24 国土步兵军第 181 步兵师参谋长、Я·Я·因丹斯，拉脱维亚空军前将军、Ж·К·巴赫枪决。1941 年 10 月 18 日判决被执行。在军事法庭庭审中，没有一个被告人承认参加反革命组织并于 1940 年

12 月 18 日召开会议。Ж•К•巴赫也否认参与该组织，要求法院考虑到他在 1921 年至 1922 年在俄罗斯工作时并非苏联公民，而是在莫斯科代表独立的拉脱维亚的事实。

1957 年 8 月 24 日，军事审判庭以缺乏犯罪事实为由推翻原判决。Ж•К•巴赫于 1992 年 4 月被平反。

167

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥和Л·П·贝利亚附发送自柏林的特工情报的备忘录

（1941 年 4 月 24 日）

编号 1253/м

绝密

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全人民委员梅尔库洛夫

由国家安全人民委员部第一处第一科雷步金同志

基于“准尉”1941 年 4 月 17 日的消息整理

来自柏林的消息

消息源报告：

一、关于德国人的反苏计划

消息人士指出，随着德国军队在丹麦的成功推进，主张入侵苏联的圈子的情绪有所平息，因为德国人现在怀有通过打击其重要的交通线和石油产区以赢得与英国在中东的战争的希望。因此，非洲的胜利现在成为人们关注的焦点。

不过，消息人士强调，反苏行动计划并未从议程中删除，空军司令部以和过去同样的强度来为针对苏联的行动进行准备，这体现在总体行动计划里对轰炸目标的详细测定的工作上。相关工作当中最重要的地方是使用德国飞机在苏联领土上空飞行时拍摄的照片。

据驻斯德哥尔摩和赫尔辛基的德国空军武官称，苏联政府就芬兰方面侵犯苏联边界向芬兰人提出抗议。芬兰人将此事通知了德国人，表明德国飞机最好从海上飞到苏联领土，绕过芬兰，以避免同苏联的关系复杂化。芬兰人还表示，如果德国飞机从挪威飞经芬兰，则他们不会向德国飞机开火。最后一个声明导致来自希尔克内斯空军基地的德国飞机经芬兰飞入苏联领空的事件。

罗马尼亚总参谋部不断接到报告称，苏联的军事措施对罗马尼亚的威胁越来越大，苏联飞机多次飞越罗马尼亚边境。这些信息明显是德国本着煽动反苏情绪的精神起草的。德国人向罗马尼亚人承诺提供100架轰炸机、一些俯冲轰炸机和战斗机。

二、关于部队的情绪

戈林被认为是军界反苏计划的发起者，而里宾特洛甫则是这一行动的反对者。戈林和里宾特洛甫之间的分歧甚至发展成为他们之间的私人敌意。

据所有消息来源称，布劳希奇将军也是反苏行动的拥护者之一。几天前，一位消息人士与布劳希奇的侄子、德国军队的上尉进行了交谈。后者说，是时候结束欧洲各国人民之间的斗争并联合所有力量反对苏联了。消息人士认为，这些想法来自布劳希奇本人，他侄子只是借用他的观点。

根据消息人士的观察，绝大多数德国军官表面上反对希特勒，进攻苏联的想法在他们中间也不得人心。

在军队中，士兵的厌战情绪开始表现出来。消息人士认为，与1939年相比，德军的打击力量大大减少。他特别提到了车辆的损耗。

三、德国人对苏联空军的评估

熟悉苏联飞机工业的德国委员会向航空总部发送了一些报告，对雷宾斯克的飞机工厂给予了好评。

在空军司令部，人们详细登记收到的关于苏联采取的军事性质反制措施的信息，而且，他们评价这些措施是纯粹的防御性的，而这些评价被苏联令人信服的克制所证实。根据消息来源的观察，这些信息对狂妄自大的人有清醒的影响。

德国人认为，苏联空军在数量上相对于德国的优势被德国飞行员的更高的素质所抵消，这使得发生战争时德国可以迅速消除这一优势。在质量上，根据空军司令部的说法，苏联飞机并不逊色于德国飞机，只是苏联空军没有斯图卡型俯冲轰炸机。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.23078.Т.1.Л.291–295.文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

168

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥和Л·П·贝利亚附发送自柏林的特工情报的备忘录

（1941 年 4 月 30 日）

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和С·К·铁木辛哥的备忘录

（1941 年 4 月下旬）

根据苏联国家安全人民委员部收到的情报报告，德国军队继续在与苏联的边界上集结，步兵部队、炮兵和摩托化部队正在向东大规模移动。

部队的主要集中地区是卢布林、佩列梅什利、克拉科夫和东普鲁士地区。驻扎在波兰总督府辖区内的军队总数粗略估计为 1,200,000-1,500,000 人。

在部队调动的同时，也注意到了在与苏联接壤的边界地区增加了弹药和装备的供应，以及强制性地修建防御工事、机场和高速公路的情况。关于与增加的军事运输有关的终止全德国铁路私人运输的信息得到确认。

苏联边境的边防部队得到了部分部队作为补充。

根据得到确认的信息，根据德国当局的命令，国家机关工作人员的家属从波兰总督府撤离到德国本土的工作即将结束。特别是华沙地区的疏散工作应在 4 月 7 日前完成。

据未经证实的消息，梅梅尔市目前正在疏散。波兹南市和西里西亚地区的城市已被宣布为首当其冲的战争危险区。

根据外国特工的消息，已经确定了许多事实，国家机关的储备雇员和铁路工人收到军事当局的秘密动员令，将任命这些人到苏联领土内的地区工作。特别是哈尔科夫、斯摩棱斯克、敖德萨、比亚韦斯托克、奇热夫和苏联其他城市都被登记在了此类任务之中。

消息来源：萨夫琴科同志第 832 号电报、查诺夫同志第 1506 号电报、1941 年 4 月 5 日梅谢克同志第 37617 号电报、卧底特工消息源“科西嘉人”第 112 号情报、卧底特工消息源“普鲁特”、卧底特工消息源“伊万”。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.23078.Т.1.Л.383–385.

169

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和С·К·铁木辛哥附发送自柏林的特工情报的备忘录

（1941 年 5 月 1 日）

编号 1420/м

绝密

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全人民委员梅尔库洛夫

基于“法兰克福人”1941 年 4 月 28 日第 141 号

来自柏林的消息

1. 据德军最高层消息人士透露，日前，德军最高统帅部召开会议，讨论了橡胶、汽油和粮食的形势问题。

a）军事部门对橡胶的需求量确定为每月 6000 吨。现有两个合成橡胶厂共生产合成橡胶 4000 吨。

橡胶短缺应该通过从法属印度支那通过日本和苏联进口天然橡胶来弥补。对橡胶的购买来自日本，据称是为了他们自己的需要，然后通过苏联运往德国。

b）德国军队密集的空中行动和巴尔干地区的战争大大消耗了汽油的储备。汽油的情况变得如此复杂，以至于德国人打算不惜一切代价加快对伊拉克的攻势，以占领石油产区。为此，德国军队通过意大利加强向利比亚的调动，目前正在巴尔干地区集结部队。对伊拉克的袭击应该是从埃及经土耳其进行，或者通过佐泽卡尼索斯群岛和土耳其沿海的海上运送部队。在最高指挥部的圈子里有传言，如果对伊拉克的进攻成功，对苏联的进攻将会开始——从土耳其向高加索，从西方向乌克兰——发动进攻。

c）到秋季，德国的粮食储备将耗尽。新的收成将无法满足 1942 年的消费量，因此正在制定计划，准备即将开展的针对苏联的行动旨将乌克兰从苏联分割出来。

2. 据德国武装力量总参谋部的消息人士透露，全摩托化的所谓“快速军”（SchnelleArmee）

的 20 个师集结在利沃夫和普热梅希尔地区以及在保护国和斯洛伐克的苏德边境上。

这支军队的司令部正在匆忙从其他单位招募懂俄语的士兵和军官。

3. 近期，德国基尔港遭到英国空军频繁和猛烈的轰炸。城里没有一条完好的街道，有的街道上甚至有十几栋房屋被毁。由于 4 月 13 日至 20 日复活节周期间的轰炸事件，导致基尔有 400 人丧生，20,000 人无家可归。主要受到影响的地方是船厂周边的工人定居点，导致国家造船厂无法正常运转。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.23078.Т.1.Л.341–344.文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

170

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、С·К·铁木辛哥和Л·П·贝利亚附发送自柏林的特工情报的备忘录

（1941 年 5 月 5 日）

编号 1450/м

绝密

向你们发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全人民委员 В·梅尔库洛夫

来自柏林的消息

1.“科西嘉人”报告：

经济部新闻官克罗尔（他也是《德国之乡》杂志的编辑之一）在该部负责官员会议上的一份报告中提到了俄罗斯问题，他说：“苏联将被德国要求站在轴心国一方对英国采取行动”。为了保证苏联将在‘轴心国’一方战斗到出现决定性的结局，德国将要求德国军队从苏联那里占领乌克兰，可能还有波罗的海国家。”

根据克罗尔的说法，这些措施对德国来说是必要的，因为在不久的将来，德国军队将对苏伊士运河采取果断行动，因此德国需要东部的和平。

四年计划委员会特尔内丁的副手莫维德告诉消息人士，德国对苏联的行动对德国确保东部和平至关重要。

2.“准尉”报告：

4 月 29 日，希特勒在柏林体育馆向年轻的军官毕业生发表的演讲中说：

“在不久的将来，将会有许多人似乎无法理解的事件。然而，我们正在计划的措施是国家所必须的，因为红色的乌合之众在欧洲抬头。”

此信息是消息来源从几名官员那里获得的，但有待进一步核实。

译自：《1941 年》（第二册）（20 世纪俄罗斯丛书）莫斯科，民主基金会出版社，1998 年

版，第 152 页，ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

171

苏联国家安全人民委员部致联共（布）中央И·В·斯大林、苏联人民委员会B·M·莫洛托夫和苏联内务人民委员部Л·П·贝利亚的备忘录随附转发的英国驻苏联大使C·克里普斯的电报

（1941 年 5 月 5 日）

编号 1451/м

现发送英国驻苏联大使克里普斯 1941 年 4 月 23 日给英国外交部的第 412 和 413 号电报的内容。

电报的内容是由苏联国家安全人民委员部通过特工渠道从伦敦收到的。

苏联国家安全人民委员梅尔库洛夫

基于来自伦敦第 2950 和 2965 号的消息

日期为 1941 年 4 月 30 日

1941 年 4 月 23 日英国驻苏联大使克里普斯给英国外交部的第 412 和 413 号电报内容。

以下是我在最近事件背景下对苏德关系状况的印象总结：

1. 明显的敌意不仅没有减少，而且随着危险的临近——增加了。

2. 开始成为党外势力的军队坚信战争不可避免，但他们渴望至少推迟到冬天。

3. 苏联政府将屈服于德国的压力，只要这不严重影响他们的军事准备或军事训练。

4. 如果希特勒对保证和承诺感到满意，那么他就不需要攻击俄罗斯。

5. 如果他对承诺不满意，那么他将不得不攻击苏联，因为任何切实可行的保障德国人控制其国内供给品的供应和运输的建议都将被苏联政府拒绝。

6. 关系进一步发展的进程将取决于希特勒要求苏联服从的程度，这一点将在不久的将来会明朗起来。

7. 当前，两国政府的行动特点是，拒绝使用施压政策，加强军事准备。

8. 最强大的制衡力是对我们可以在德国人撤离其在西欧的占领区并让希特勒在东方放开

手脚的条件下与德国单独缔结和约的担心。

我知道这是一个非常微妙的问题，需要通过间接渠道来好好研究。尽管如此，我认为它是一个非常困难的游戏中最有价值的一张牌，我们很可能会找到一些方法来使用这张牌。

苏联通过非法渠道获取信息的才能至少在这次可以为我们所用。

除了上述补救措施外，一些合理有效的平衡德国压力的方法可能是：

a）对土耳其加入轴心国的担心；

b）对美国反对日本并完全停止与苏联的贸易的担心。

9. 最令人遗憾的是，土耳其似乎不想做任何可能迫使它在这个方向上承担某些义务的事情。美国在与苏联对话和向苏联施加明确压力这方面无所作为。

苏联国家安全人民委员部第一局局长菲京

译自：ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）РФ.Ф.3ос.Оп.8.Д.56.Л.1160–1163.

172

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和Л·П·贝利亚附发送自华沙的特工情报的备忘录

（1941 年 5 月 5 日）

编号 1452/м

绝密

在此发送苏联国家安全人民委员部从华沙收到的，关于德国在总督辖区上进行军事准备的特工情报。

苏联国家安全人民委员 В·梅尔库洛夫

基于 1941 年 5 月 1 日来自柏林的 148 号电，

其内容根据来自华沙的伊万同志提供的信息获得

来自华沙的消息

根据最近几天从各种渠道收到的情报，可确认：

1. 华沙和总督辖区内的军事准备工作正在公开进行，德国军官和士兵坦率地谈论德苏之间即将发生的战争，这是已经确定的事情。战争应该在春季野战工作结束后开始。据德国士兵援引他们长官的话声称德国军队占领乌克兰由第五纵队从内部提供保障，该纵队在苏联领土上运作良好。

4 月 10 日至 20 日，德国军队在夜间和白天不间断地向东穿过华沙。由于军队的不断流动，华沙街头的一切交通都停止了。东向的铁路上主要是装载重炮、卡车和飞机零件的火车。4 月中旬以来，华沙街头出现了大量军用卡车和红十字会车辆。

华沙的德国当局已下令整饬所有防空洞，使所有窗户变暗，在每个房屋中建立卫生小队，并召集所有以前解散的红十字小队。所有私人和民间机构的车辆，包括德国的车辆，都被动员起来并被军队征用。

自 4 月初以来，所有学校全部停课，其场地被军队医院占用。

总督辖区上的所有客运被禁止，但华沙-奥特沃克线上的郊区交通除外。

“哈特维格”公司从柏林运来了 4 台柴油发电机，这些发电机安装在华沙中央火车站的隧道中，以便独立于城市发电厂为铁路线供电。

东线军队的总部设在奥特沃克。据称，德国人希望首先从西面直接打击乌克兰，然后在 5 月底通过土耳其向高加索发动攻势。

德国军官在总督府深入学习俄语以及苏联边境领土的地形图，这些地图已分发给他们每个人。

有关在与苏联接壤的边界上建立防线和单独防区的信息正在确认中。所有的工作都是在著名的“齐格飞防线”建造者——工程师托德的指导下，由德国工人和士兵进行的。而辅助工作，主要是土方工程，则动员了 35000 名犹太人。特别是，周围 250 个村庄的所有居民都被驱逐出罗多姆市地区。这里建立了许多设防区域。塞德莱茨镇也变成了一个防御点。所有波兰人都被驱逐出新塞德莱茨地区。德国军队在这里忙于改善旧的和修建新的通往苏联边境的公路。在所有道路上，木桥都用铁梁加固。正在采购穿越布格河的渡船设施。

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.21616.Т.2.Л.269–271.文件具有标记和指定的发送单位，但是文件本身为未经核定的副本。

173

红军侦查局“关于 1941 年 5 月 5 日德军在东部和东南部的集结”的特别报告

（1941 年 5 月 5 日）

编号 660477 c c

在巴尔干战役成功完成后直到现在，4 月下半月进行的德军集结的实质可以简化如下：

1. 在整个西部和西南边境，包括罗马尼亚和芬兰，加强对苏联的集结。

2. 进一步加强通过中东（土耳其和伊拉克）、西班牙和北非对英格兰的行动。

3. 加强在斯堪的纳维亚的德国军队，在那里他们可以用挪威的领土对抗英国、瑞典和苏联。

为了实现这些目标，使用了位于法国、比利时、荷兰被占领地区的部队，以及在南斯拉夫和希腊战败后可抽调的部队。

此外，来自南斯拉夫的德国军队去向如下：

a）通过匈牙利和奥地利到达克拉科夫地区、喀尔巴阡乌克兰和波西米亚；

b）到达罗马尼亚，包括摩尔多瓦和北多布罗加地区。

5 月 5 日苏联对面的德军总数达到 103-107 个师，其中 6 个师位于但泽和波兹南地区。这些师当中——23-24 个师位于东普鲁士；西部特别军区对面——29 个师；基辅特别军区对面——31 - 34 个师；喀尔巴阡乌克兰——4 个师；在摩尔多瓦和北多布罗加——10-11 个师。（收到的一些关于仅摩尔多瓦就有 18 个德国师的信息没有得到足够的确认，需要核实。）

在集结的针对苏联的部队的组成中，值得注意的是坦克部队从 4 月 25 日的 9 个师增至 5 月 5 日的 12 个师；摩托化师，包括摩托化骑兵师——从 4 月 25 日的 7 个师到 5 月 5 日的 8 个师；山地师——从 4 月 25 日的 2 个师到 5 月 5 日的 5 个师。

在战区的军事行动准备工作中，各类型的建设正在紧锣密鼓地进行。第二条战略交通铁路线正在斯洛伐克、保护国和罗马尼亚建设，特别是东西走向的铁路线。弹药、燃料和其他类型军事补给仓库的加固建设正在进行中。机场和着陆点网络正在扩建。

此外，从波罗的海到匈牙利的整个边界沿线的人们正被驱逐出边境地带。

罗马尼亚政府发布了一项从摩尔多瓦撤离机构和贵重物品的秘密命令，实际上已经在执行。石油公司被命令在油箱周围建造混凝土墙。

城市防空、防空洞建设、动员测试等演练正在加强。

德国军官正在加强对我边境的侦查。

据报道，维也纳召集了了解加利西亚和波兰的预备役军官。

以南斯拉夫腾出来的部队为代价，在捷克和摩拉维亚领土上建立了一个预备队总司令部，从而恢复了与南斯拉夫开战前的集群，总兵力为最多 10 个师。

针对苏联的匈牙利和罗马尼亚用兵的情况如下：

1. 匈牙利军队总兵力增至 60 万人。匈牙利军队的 10 个军中，3 个整军（6、7、8）、第 9 军一部和 3 个独立旅集中在喀尔巴阡乌克兰。

2. 罗马尼亚全军半数以上集中在摩尔多瓦和多布罗加，即：11 个步兵师、2 个骑兵师、1 个骑兵旅、1 个机械旅、2 个山地步枪旅。许多兵团被直接推到边界。

3. 在罗马尼亚军队正在进行的重组中，最高统帅部特别注意航空兵、坦克兵和工兵部队的干部配备，而牺牲了步兵的干部。

罗马尼亚军队的军官正在德国教官的指导下接受加强训练，并被送往边境地带。

罗马尼亚领土上最强大的德国和罗马尼亚军队的集群集结在布科维纳和摩尔多瓦北部。

在芬兰，尽管芬兰政府反驳，但德国军队的大规模登陆是不争的事实，即：4 月 10 日，10,000 人在阿博港从德国船只下船；4 月 29 日，12000 人在同一个港口登陆。

此外，整个冬季约有 4,000 名德国军人驻扎在芬兰。

一些消息源的观察表明，德国军列在卸货时已经朝向并将继续沿铁路和公路向北穿过罗瓦涅米到达希尔克内斯。

根据这些军列和车队的数量，必须假设大部分登陆的德国军队仍在芬兰。

此外，整个 4 月，满载用于防御性建筑的弹药、设备和建筑材料的德国轮船的到来也备受关注。在罗瓦涅米以东的维卡车站建造了大型的德国军用仓库。

在挪威，由于 4 月份的转运，德国军队的总数从 10 个师增加到 13 个师，转运还在继续。

结论：

1. 在两个月内，在对苏边境地区的德国师数量增加了 37 个师（从 70 个增加到 107 个）。其中，坦克师的数量从 6 个师增加到 12 个师。加上罗马尼亚和匈牙利军队，这将达到大约 130 个师。

2. 必须考虑到德军在保护国和罗马尼亚领土上集群针对苏联的进一步集结的情况——集群以从南斯拉夫腾出来的部队为代价。

3. 在挪威领土上的德国军队可能会进一步加强，未来可以通过芬兰和海上使用北挪威集群

对抗苏联。

4. 目前在中东作战的德军可用兵力分为 40 个师，其中 25 个在希腊、15 个在保加利亚。出于同样的目的，多达两个伞兵师集中在一起，可能会在伊拉克使用。

红军总参谋部侦查局局长戈利科夫

译自：ЦАМОРФ（俄罗斯联邦国防部中央档案馆）.Оп.7237.Д.2.Л.97–102.机打，经认证的副本，指定发送给：斯大林、莫洛托夫、伏罗希洛夫、铁木辛哥、贝利亚、库兹涅佐夫、朱可夫、布琼尼、沙波什尼科夫、库利克。

出版信息:《苏联共产党中央通报》1990 年第 4 号，第 219—220 页；А •Ф •基谢廖夫、Э •М •沙金编《国史文选（1914—1945）》莫斯科 1996 年版。

174

红军总参谋部侦查局“关于1941年5月15日各战区和战线军事行动中军队部署情况”的特别报告

（1941年5月15日）

编号660506ｃｃ

德国军队在5月上半月的重新集结，其特点是在包括罗马尼亚在内的整个西部和西南边境沿线继续加强对苏联的集结，并进一步加强了在中东、非洲和挪威地区对英国的作战力量。

对收到的数据进行统计和比较，得出了1941年5月15日德国武装部队沿边界和前线的部署如下。

1.在与苏联接壤的地区。

德军对苏联的总人数达到114-119个师，其中6个师位于但泽-波兹南-托伦地区。其中，步兵——82-87个师，山地——6个师，坦克——13个师，摩托化——12个师，骑兵——1个师。

以下方向的集群得到了加强：

在华沙方向——不到1个师；

在克拉科夫方向——在札莫希奇地区，两个摩托化师已经抵达，在托马舍夫地区——5个炮兵团，其中2个是重型的；

多达5个师集中在普列索夫方向的兹博罗夫、普列索夫、弗拉诺夫（斯洛伐克）地区；

在摩尔多瓦——3个师。

在我们边境的德国武装部队部署如下：

a）在东普鲁士——23-24个师，包括18-19个步兵师、3个摩托化师、2个坦克师和7个骑兵团；

b）在华沙方向针对西部特别军区——30个师，包括24个步兵师、4个坦克师、1个摩托化师、1个骑兵师和8个骑兵团；

c）在卢布林-克拉科夫地区针对基辅特别军区——33-36个师，包括22-25个步兵师、5个摩托化师、6个坦克师和5个骑兵团；

d）在但泽、波兹南、托伦地区——6个步兵师和1个骑兵团；

e）在斯洛伐克（兹博罗夫、普列索夫、弗拉诺夫地区）——五个山地师；

f）在喀尔巴阡乌克兰——4 个师；

g）在摩尔多瓦和北多布罗加——13-14 个师，包括 3 个摩托化、1 个山地师、1 个坦克师。

2. 在巴尔干半岛。

在巴尔干半岛的德国军队总数达到了 47-49 个师；其中有：

在罗马尼亚——6 个师（不包括摩尔多瓦）；

在南斯拉夫——9 个师；

在希腊——17-18 个师，其中 6 个师直接位于土耳其边境；

在保加利亚——15-16 个师，其中 6 个师直接位于土耳其边境。

据称，以预备队和南斯拉夫的部队为代价在保加利亚建立的针对土耳其的军队由赖歇瑙将军领导。

与此同时，保加利亚军队的重新武装以牺牲德国转移给它的物资（显然是战利品）为代价。

据消息人士透露，德国已向保加利亚转让了 1200 件武器、多架飞机、坦克和 2000 辆汽车。

3. 在非洲战线。

非洲战线上有 7 个德国师。

有信息表明，希腊的部分师的部队也应该被用于在非洲对抗英国。

4. 在西欧被占领国家。

a）在法国、比利时、荷兰和丹麦的西北海岸——46 个师；

b）在法国被占领的地区内——9 个师；

c）在与西班牙的边界上——9 个师。

根据收到的最新信息，有 4-5 个师为了针对直布罗陀的军事行动正准备通过西班牙转运。

d）在挪威，无论是在该国北部还是南部，由于通过瑞典和芬兰的转运，各增加了一个师，因此，在挪威的师总数增加到 14 个，其中 5 个属于北挪威集群（5 月 5 日有 4 个），包括 3 个山地师。

5、德军部队、弹药、装备等物资继续运抵芬兰。在芬兰港口卸货的部队（步兵、炮兵、工兵和通讯兵）沿着公路向北行驶，但在抵达的部队中，有一个师留在了芬兰国内。

6. 在意大利——9 个师。

7. 总司令部预备队。

a）在该国的中心——大约 12 个师；

b）在奥地利和保护国领土上——11 个师，共 23 个师。

此外，空军有 8-10 个伞兵师，其中希腊 1-2 个师，法国和比利时北部海岸 5-6 个师，国内 2 个师。

结论：

与苏联接壤地区的德国军队继续增加。

德军主要集中地区是：总督府领地南部、斯洛伐克和摩尔多瓦北部。

红军总参谋部侦查局长戈利科夫中将

译自：ЦАМОРФ（俄罗斯联邦国防部中央档案馆）.Оп.7237.Д.2.Л.109–113.特殊形式的打字稿。经认证副本。指定发送给：斯大林、莫洛托夫、伏罗希洛夫、铁木辛哥、贝利亚、库兹涅佐夫、日丹诺夫、朱可夫、布琼尼、沙波什尼科夫、库利克、梅列茨科夫、扎波罗热茨。

175

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于И·Ф·萨克利耶尔的特别报告附审讯笔录

（1941 年 5 月 15 日）

编号 1674/м

在此向您发送И·Ф·萨克利耶尔 1941 年 5 月 11 日的审讯记录。

调查仍在继续。

苏联国家安全人民委员

B·H·梅尔库洛夫

速记

伊万·费里莫诺维奇·萨克利耶尔的审讯笔录

1941 年 5 月 11 日

И·Ф·萨克利耶尔，1900 年生，本德利县阿巴克雷扎布乡人，摩尔多瓦族，苏联公民。前联共（布）成员，受过高等教育。被捕前系红军空军武器与装备总局副局长。

审讯于 14 点 15 分开始。

问：您被指控从事颠覆和间谍工作多年。您对此认罪吗？

答：我承认在 1936 年我被当时的炮兵总局局长尼古拉·阿列克谢耶维奇·叶菲莫夫招募进德国情报机构，以破坏红军空军武器方面的工作。

问：您和空军有什么关系？

答：1936 年，我被任命为空军军备局局长。我的职责包括红军战斗机的武器装备。

问：您说叶菲莫夫是德国情报机构的特工。你怎么知道这件事？

答：叶菲莫夫在 1936 年带我从事破坏工作的那一刻亲自透露了这一点。

问：您在隐瞒某些事情，因此我们不清楚叶菲莫夫向您公开他与德国情报部门的联系有何意义。详细供述它是如何发生的？

回答：叶菲莫夫告诉我他与德国人的合作是有原因的，因为他知道我与德国情报部门的联系。

问：所以，你不仅在进行破坏工作以破坏空军的武器，而且你还是一个间谍。对吧？

回答：是的。我必须坦率地声明，我开始从事破坏红军空军武器的破坏活动，正是因为我更早被德国情报部门聘用从事间谍活动。叶菲莫夫知道这一点，正如我在上面已经招认的那样，他在 1936 年利用这种情况让我参与了对空军的联合破坏工作。

问：您在什么时期与德国情报部门在间谍工作中建立联系？

答：我在 1931 年成为一名德国特工，从那一刻起直到我被捕为止，我都向德国情报部门发送了关于红军火炮和空军武器的数量和质量状态的间谍信息。

问：我们将详细询问您向德国情报部门提供的间谍信息的性质，现在说明究竟是谁以及在什么情况下招募您与德国情报部门合作？

答：我于 1931 年被德军总参谋部情报部上尉史帕尔克招募来从事间谍活动。

问：1931 年您在哪里工作？

答：当时我在列宁格勒的捷尔任斯基炮兵学院任教。

问：您是在那遇见的史帕尔克吗？

回：不是。我与他的会面是在柏林，1931 年 7 月，我与前陆海军人民委员部秘书亚历山大·格里戈里耶维奇·奥尔洛夫、炮兵学院教师米哈伊尔·马克西莫维奇·斯特鲁谢尔巴和红军通讯兵副监察员尼古拉·科卡捷耶夫（我不记得他的父名）被红军情报局派往那里一起执行任务。

问：您去柏林的目的是什么？

答：我们被情报局派去观摩德国国防军炮兵部队的射击，并出差了大约 2 个月。

在此期间，我们都遇到了一些德国军官，并在军事部听了几场关于火炮使用的讲座。史帕尔克上尉在所有的出差和讲座中都作为翻译陪伴我们。

问：我们问的不是讲座，而是德国情报部门让你从事间谍工作的情况。老实交代！

答：我被史帕尔克上尉巧妙地缠住了。1931 年 9 月，我们的旅行即将结束时，我和奥尔洛夫代表我们整个团队在凯宾斯基餐厅（位于柏林的中心街道之一）为陆军部代表，特别是给我们讲课的贝彻少校，还有史帕尔克上尉安排了晚宴。

在这次晚宴上，我喝醉了，随口向史帕尔克上尉说了一些关于红军炮兵部队结构和组织的秘密信息。这种情况成为了史帕尔克开始积极对付我并让我越来越从属于他的影响这一事实的基础。

史帕尔克上尉千方百计腐蚀我，让我醉酒和放荡。有几次他邀请我和他一起去位于维多利亚-路易丝阅兵场的夜间酒吧，周围都是不知名的轻浮女子，我和她们一起玩乐和放荡。有几次我喝醉了，他们带我去一些公寓，让我去拜访一些水性杨花的女人。

结果史帕尔克上尉把我收拾得服服帖帖，最后我作为红军代表彻底被他拉下水。

问：您不是一个人在柏林，而是和一群其他红军代表一起在柏林。你怎么能经常跟着史帕尔克去逛夜店，而不用担心奥尔洛夫、科卡捷耶夫和斯特鲁谢尔巴会知道呢？

答：我必须说，此时奥尔洛夫、科卡捷耶夫和斯特鲁谢尔巴已经离开柏林，整个团队只剩下我一个人。

在红军参谋部炮兵总局和柏林贸易代表处工程部的指示下，我去了一段时间的荷兰以便到蔡司工厂接收订购的“科纳德-Б”高射炮火控装置，但很快我回到柏林，最后落入了德国特务史帕尔克的手中。

问：你和史帕尔克上尉有什么业务联系吗？

答：没有。

问：你为什么会见他？

答：我与史帕尔克上尉的会面是偶然的。从荷兰回到柏林后，我在那里呆了几天，写了一份出差报告。

1931 年 10 月的一天，在离菩提树下大街的大使馆不远的地方，我遇见了史帕尔克上尉。他问我住在哪里，我会在柏林呆多久。我回答说我过几天就去苏联。

在这次会面中史帕尔克上尉对我非常关心，并提出与他共度一晚并玩得开心。我同意。第二天，按照事先安排，他在格斯贝尔施特莱赛街 39 号接我，我住在那里，住在苏联寄宿公寓的一个单独房间里。

和我待了 25-30 分钟后，史帕尔克提出要和他一起坐车。我们上了一辆出租车，驱车穿过城市几个街区，在维多利亚—路易斯阅兵场的一家餐馆停下来。

史帕尔克邀请我去一家餐馆，那时那里已经有一些女人了。我们刚一坐下，几个女人就好像受了特殊的命令似的走到了我们的桌子前，毫不客气地跪在地上，拥抱并亲吻了我。所有这一切都伴随着史帕尔克招待的各种酒类进行着。

深夜，当我已经醉得很厉害时，我被护送到同一家餐厅的一个单独的房间里，还有一位风尘女子，我和她一起淫乱到了早上。

所有这些“款待”都是史帕尔克上尉自费安排的。

几天后，我和史帕尔克一起去了另一家餐厅，在那里我也在一些特殊的公寓里喝酒与女人淫乱。

问：史帕尔克上尉在跟你喝酒时会和你有什么样的对话？

答：通常，在只有我们俩的时候，史帕尔克不会放过任何机会从我这里得到关于红军规模和战斗力特征的信息。

这段时间，我深深地受到了史帕尔克的影响，以至于对他关于军队纪律状况、关于正在准备当中的红军炮兵物资的变化等等的所有问题有问必答。

问：你有没有把有关红军的秘密信息以书面形式传达给史帕尔克上尉？

答：当时我还没有传达。确实，在凯宾斯基餐厅吃午饭时，我口袋里的笔记本不见了，我在上面记下了我收集到的有关德国军队及其武器的秘密信息。我隐瞒了我的笔记本失踪的事实，没有向任何人报告。

问：这本笔记本是怎么从你那里消失的？

答：我不确定，但我相信它是被坐在我旁边的史帕尔克上尉悄悄地从我的口袋里掏出来的。

这些情况导致史帕尔克每次都越来越坚持要求我提供他感兴趣的有关红军的信息。

问：您收到过史帕尔克上尉的礼物或钱吗？

答：我没有主动索取过，他自己说服我接受了他的礼物。

问：什么样的礼物？

答：有一次，在一次谈话中史帕尔克问我在柏林给自己买了什么，打算带些什么作为礼物。我回答说我想买一些东西，但我没有足够的钱来买。在这种情况下，史帕尔克什么也没说，在下一次会面中，当我们前往其中一家小酒馆时，他主动提出顺便去一趟去百货公司的路，正如他所说，在那里可以看到我需要的东西，并表示这家店是直接有向苏联寄包裹的业务。

问：您答应了吗？

答：是的，在商店里，史帕尔克建议我买必要的东西，并说他可以受累为我买的东西付钱。

问：您也答应了吗？

答：此时我已经与德国情报官员史帕尔克的关系纠缠不清，以至于我同意他的所有建议，特别是他提出“客气地”把我买的东西挂在他的账上的建议。

在我的记忆中，我为自己买了一件外套、一只金表、一双靴子，此外还给我在列宁格勒的

妻子寄了一个包裹，里面装着妇女儿童用品。史帕尔克全额支付了我购买的东西的费用，同时在我的夹克口袋里塞了一叠钱，我后来数了，里面有几百马克。

问：您从史帕尔克那里总共收到了多少钱物？

答：我总共从史帕尔克上尉那里收到了大约两千马克的钱和礼物。

问：史帕尔克上尉给你钱和礼物是有原因的，但显然是为了在某些事情上让您为他效劳。他对您提出了什么要求？

答：我离开柏林的时候，史帕尔克在车站，在这里他已经直接提出了我与德国情报部门合作的问题。

在与史帕尔克的最后一次会面中，他明确暗示我在柏林与他在一起的消遣时光对我影响很大，我将不得不继续为他提供一些善意的服务。史帕尔克说，如果我不想在回到苏联后遇到任何麻烦，那么我必须继续向德国情报部门提供它需要的信息。

我在柏林与史帕尔克发生的一切都使我没有任何可能拒绝他的提议。另外，在车站在送行快要结束的时候史帕尔克的一个举动让我目瞪口呆。

问：什么举动？

答：他给我展示了几张照片，照片中我和他被一群风尘女子簇拥着，举止异常亲昵。

在这之后，我在如何对待史帕尔克提出的与德国情报部门从事间谍活动的提议上可以说是毫无退路，我只好同意了他的建议。

问：离开柏林时，您从史帕尔克那里得到了什么任务？

答：史帕尔克说他将通过一个带有暗号“史帕尔克向您问好”的特别信使与我在列宁格勒恢复联系，我必须向他传送德国情报部门感兴趣的信息。我没有收到来自史帕尔克的任何其他指示，我们就分手了。

问：您什么时候回到列宁格勒？

答：1931 年 10 月中旬。

问：什么时候以及在什么情况下德国情报部门的代表恢复了与您的联系？

答：我当时在维堡一侧的捷尔任斯基炮兵学院服役，住在若列斯河的堤岸旁，离学院步行约 15 分钟。通常我去上班，然后步行穿过铸造工人大桥回家。

问：不要拐弯抹角，直接回答问题。学院和您公寓的地址与恢复与德国情报部门的通信有什么关系？

答：1931 年 12 月的一天晚上，我从学院回来，沿着若列斯河堤向家走去。一个不知名的男人走近我，他的身高高于平均水平，身材结实，戴着眼镜，穿着一件带领子的棕色外套，戴着一顶同样是棕色的芬兰帽子。

这个人追上我，问道：“你是伊万·费里莫诺维奇吗？”我的回答是肯定的。然后他向我道歉，说他必须和我谈谈。对于我的问题——你是谁，你想和我谈谈什么问题——陌生人专注地看着我，没有回答，而是说：“史帕尔克向您问好。”

我很清楚，这是德国情报部门的特使，史帕尔克在柏林火车站谈到了他。

问：他是谁，姓什么？

答：我不知道他的姓氏，因为他没有表明自己的身份。由于会面地点离我家不远，陌生人主动提出让我和他一起沿着堤岸散步。我同意了，但我显然很紧张。在注意到这一点后，德国情报人员让我不要担心，从他口袋里掏出一个烟盒，点了一支烟，递给我一支烟。

问：您抽烟吗？

回答：没有。我拒绝了敬烟，并告诉他我不抽烟。然而，陌生人坚持向我敬烟，而且，正如我后来确信的那样，这不是偶然的。

问：这是什么意思？

答：他打开烟盒不是为了请我抽烟，而是为了让我看到里面的照片，以使我完全相信这个人是史帕尔克的代表。

问：您与德国情报联络员的这次会面是什么时候举行的？

答：我已经说过了——那是 1931 年 12 月下旬的某一天晚上 7 点。

问：显然此时天已经完全黑了。我们不明白您怎么会注意到您的照片在烟盒里？

答：我们沿着被路灯照亮的路堤走。陌生人带我靠近路灯并打开烟盒，以便我可以看到里面的东西。我清楚地看到了我在烟盒里的照片。

然后使者说，我应该根据指示准备好关于将要列装红军的新型大炮的信息，以便转交给史帕尔克。与此同时，他提到烟嘴里放了一张纸，上面写着数字信息的呈现顺序（口径、武器重量、系统、初速、射速、弹丸重量、爆炸装药重量、全弹重量、有效射程和最大射程）。他建议不要丢掉烟嘴，按照烟卷上记号的要求，更准确地说，牢牢记住根据德国情报部门感兴趣的信息数字呈现的顺序，然后销毁记号。

信使警告说，如果有必要用文字对数字进行评论，则必须更改笔迹并用印刷体书写。与此

同时，他指出：“不要试图告诉我们虚假信息，因为我们会检查所有内容并会发现你的弄虚作假之处。在这种情况下，一切后果自负。很明显，您很清楚这样一个事实，任何人都不应该被告知我们会面的事实，以及我们之间发生的谈话内容。您完全掌握在我们的手掌心里，稍有不慎，就会招来不愉快的后果。”

问题：您是否只需要提供有关大炮的情报？

答：不，我也被要求获取其他间谍情报。

使者说，我有责任关注红军和其他种类的武装力量的变化，并将这些报告。同时，他提到：“您在学院工作，那里有实验物品的资料，请注意这个，并向我们通报。”

“为了保密，”信使说，“联系的暗号不会一直相同，而是每次会面都会改变。”对于下一次会面，他设置了暗号：“瓦西里向您问好。”

使者表示不急于完成任务，并将下次会面定在 3 月（具体日期确实不记得了）中午 12 点在城市火车站的巨幅铁路线路图下进行。

之后我们就分手了。我朝家的方向走，他朝相反的方向走。

问：此使者是如何找到您的？

答：显然，根据我在柏林告诉史帕尔克的公寓地址，以及根据他拥有的我的照片。我应该指出，我提到的使者也来到过我的公寓。

问：什么时候？

答：就在同一天，就在我在若列斯河堤与他会面之前不久。

问：当时您在家吗？

答：不，我在班上。

问：您怎么知道他来过你的公寓？

答：当德国情报联络员与我会面时，我非常震惊，并没有立即回到公寓，而是在城市街道上闲逛了大约两个小时。回到家，妻子的妈妈说今天来了一个男人，问我什么时候在家。我打听来人的特征，原来是他——德国情报机构的使者。

问题：现在您妻子的母亲在哪里？

答：她于 1938 年去世。

问：您妻子见过这个男人吗？

答：没有，因为那时她和她的朋友在一起。

问：你完成了通过信使交代的德国情报机构的任务了吗？

答：是的，我完成了。在约定的时间，即 1932 年 3 月，我出现在城市车站，很快就有同一个信使向我走来。他不知不觉地打了招呼，走出走廊，我跟着他。

趁着走廊里没有人的时候，我把事先准备好的火炮材料方面的秘密情报卷成一根管子递给了他，他立刻塞进了烟盒里。

问：你向他转交了什么情报？

答：据我所知，是现代化野战炮和现代化防空炮的秘密资料。同时，我将学院正在开发的师属火炮的信息告诉了信使*。

信使建议，在定于 1932 年 5 月底或 6 月初举行的下一次会面中，准备有关驻扎在列宁格勒的红军部队的规模、状况和装备的信息。他说可能会有其他人来和我一起参加这个会面，但这应该不会让我感到尴尬，因为他会说出暗号并展示我在烟盒中的照片。

我不记得下一次会面的暗号是什么，但我们约定在岛上文化休闲公园前的桥上见面。

果然，接下来会面时出现的是另一个人：大约 25 岁，有点驼背，牙齿坏了。在他告诉我暗号后，我将根据商定的任务实现准备好的收集到的秘密情报交给了他，特别是关于学院正在开发的炮兵火控装置的情报——这些情报是我在参与军械局相关研发工作的过程中知道的。

问：这第二个联系人是谁？

答：我不认识他，就像我不认识在 1932 年至 1934 年期间，即直到我离开列宁格勒去莫斯科工作前从我那里为德国情报部门收集间谍情报的第一个和两个后续联系人一样。

我只记得在每个个案中，与信使的会面都是根据预先确定的暗号进行的。我在冬宫附近的涅瓦河堤岸上，在利戈夫卡和涅瓦大街的拐角处，以及在叶利谢耶夫商店附近的涅瓦大街（我不记得它的名字）对面的街道上遇到了他。

问：这是一个冠冕堂皇的回答。你不可能不认识那些与你从事间谍工作有关的人。您在列宁格勒遇到的德国情报机构的联系人的名字是什么？

答：我承认我是间谍，我不隐瞒我作为德国情报部门特务的实际工作，现在我对隐瞒任何人都没有兴趣。我真诚地声明，我不知道我向其传递间谍信息的德国情报人员的姓名。我记得这个案例：当我遇到其中一位联系人时，我让他说出他的名字，他回答说：“这不符合我的利益，也不符合你的利益。”从那以后，我再没有提及这类问题，他们自己也从来没有说出过自己的名字。

问：这是真的吗？

答：是的，千真万确。我不认识代表德国情报部门来找我的人。我在列宁格勒工作期间，通过接触我的人转交了以下间谍材料：关于火炮原型、用于发射高射炮和海军炮的实验装置的工作，关于海军炮，我向他们报告了我直接从开发该设备的 213 号厂获得的情报。

问：您与 213 号厂有什么关系？您在那里有间谍工作的关系吗？

答：没有。我曾到 213 号厂做光学仪器顾问。我把我知道的关于这个厂的秘密情报传给了德国人。

除此之外，我还向德国人转交了关于军队纪律和战斗训练状态秘密特征的有代表性的数据。

问：您表示 1934 年您搬到莫斯科工作。你接到了什么任命？

答：1934 年 3 月，我被任命为炮兵总局军械局局长。

问：德国情报部门是否意识到这一点？

答：没有。在列宁格勒，我与德国情报官员的最后一次会面原定于 1934 年 5 月的头几天，但没有成行，因为我在 3 月份已经前往新工作地点的莫斯科，因此无法及时通知他们关于新任命的消息。后来，我已经在莫斯科时，当德国情报部门的代表再次联系我时，我告诉了我新工作的确切地点，他们对此非常满意。

问：怎么可能，在一个案例中，你说你没有实现告知联系人关于调动新工作的事，同时在莫斯科您又联系了德国情报部门。事实证明，您自己努力与德国人重新建立联系。

答：不，他们找到了我。列宁格勒的联系人知道我公寓的电话号码，而且显然是给家里打了电话。家人没有起疑，可能就说我搬到莫斯科工作了。

1934 年 9 月，当我在大奥夫奇尼科夫巷的 12 号房里已经有了一套公寓时，信使大概是通过地址局找到了我。

9 月，德国情报部门的一名代表在离我家不远的地方会见了我，并使用在列宁格勒失败的会面前使用的最后一个暗号与我建立了联系。

问：您认识莫斯科的哪些联系人？

答：我不知道他们中的任何一个姓氏。从谈话中可以看出，他们中的大多数是德国人。

问：您会说德语吗？

答：我不会说德语。

问：您是如何与信使沟通的？

答：他们都说一口流利的俄语，并且与我完全流利地谈论了德国情报部门任务的本质。

问：他们是什么意思？

答：直到1936年底，德国情报部门给我的任务仅限于向其提供有关红军的令人感兴趣的信息。

问：您在这段时间传递了什么样的间谍信息？

答：1934-1935年，我在红军炮兵总局工作期间，通过其特殊联系人向德国情报部门传输了以下间谍情报：现役高炮测距仪的技术和定量数据，防空设备的数量和类型，关于探照灯和声音探测器，关于瞄准具、测距仪和火炮火控设备的实验项目的信息。

自1936年以来，即加入空军局后，我向德国情报机构传递了如下情报：关于苏联战斗机的武器装备（射击点数量、机枪和大炮类型、弹药基数具体数量），飞机的基本作战特性，关于“陶宾”“沃尔科夫－亚尔采夫”和“萨里热夫－加尔金”23毫米炮，关于“什瓦克”20毫米炮的数据，关于机枪“什卡斯”的数据，关于这几种炮以及机枪的弹药数据（燃烧弹、穿甲弹和炮弹）以及某些类型的炸弹和雷管的数据*。

后来，我又报告了芬兰战争最终弹药消耗总量的数据。

这样一来，我向德国提供了有关红军空军武器装备所有主要项目的情报。

问：从您所供述的情况来看，我们可以得出结论，1936年之后，在接受德国情报部门的任务时，您不仅仅从事间谍工作。对吧？

答：是的，没错。1936年底或1937年初，我接到了德国情报部门的一项任务——在传递间谍情报的同时，开始通过破坏红军战斗机武器来进行颠覆活动。

问：究竟是谁在什么情况下给了您这个任务？

答：我是通过当时在柏林的武官亚历山大·格里戈里耶维奇·奥尔洛夫收到这条指示的，他在间谍工作中与德国情报部门有关联。

问：您是怎么知道这件事的？

答：我是从叶菲莫夫那第一次得知此事，从1936年开始，在他的领导下，我在空军总局进行了破坏武器的破坏工作，然后在奥尔洛夫在莫斯科逗留期间他亲自通知了我。

问：奥尔洛夫是如何告诉您他与德国情报部门的关系的？

答：1936年，叶菲莫夫因为联合破坏工作让我与奥尔洛夫取得联系。有一次在1936年底，在与奥尔洛夫在军械局大楼中就这个话题进行谈话时，他说德国人很清楚我们在空军的颠覆活

动，他们有兴趣进一步加强对红军空军战斗机武器的破坏工作。

由于我已经在叶菲莫夫那里知道奥尔洛夫与德国人有瓜葛，因此我很清楚，他跟我谈的是关于根据德国情报部门指示加强破坏工作的事。我在 1939 年的下一次与德国情报代表会面上更加确信了这一点。

问：他是谁，您何必与他见面？

答：在 1939 年 7 月中的某日，我在谢尔普霍夫卡与德国情报部门的信使进行了例行会面。在传递给他间谍情报后他说，下周天我会与德国情报部门的高级代表会面并得到新的指示。

本次会面于上午 11 点在谢尔普霍夫高速公路出城的道路上进行。我们商量好我会穿白色西装，棕色鞋子和明亮的棕色帽。

当时，我在高速公路的右侧，在第一个下坡开始的地方的木桥上。很快在我附近停了一辆海外牌子的封闭式轿车。司机向我招手，他想问我一些东西。当我走近汽车时，他问这条路可不可以到图拉。我给了肯定的回答。

这时，开车的门打开了，乘客紧紧地看着我，对出了暗号：“库尔斯克向您问好”，并邀请我坐在车里。

这是一个俄语说得不好的德国人，在 32-35 岁左右，中等个头，体格结实，深棕色头发，圆脸。他穿着浅棕色单排扣西装。作为一个特殊的特征，应该指出的是，他在左脸颊的下半边有一个小疤痕。

在通往波多里斯克方向的途中，陌生人从西装侧口袋中拿出并打开了一本笔记本，我看到了我的照片卡。之后，他问：“我希望您现在可以坦诚相见？”在获得了肯定的答案后，陌生人按照德国情报机构的要求询问了我一系列的问题以澄清我传递的情报当中的一些细节，并询问了苏联西部国境上航空武器弹药的保障状况。我就所有这些问题给了他全面的秘密数据信息。

问：这次会议与之前的会议有何不同？你说它有特殊的性质？

答：在进一步的谈话中，陌生人使我明白他知道我在军用航空领域进行的破坏工作。他提请我注意加快颠覆工作的必要性，主要有以下两个方向：延迟飞机装备机炮和中断弹药生产。

最后，他提议经常向德国情报部门通报我进行的破坏工作的结果。

之后我们的谈话就结束了。回程的路上，距离莫斯科 8-10 公里，我下了车，然后步行到有轨电车那儿。

问：您再一次没有告诉我们这个人是谁。

答：我不知道他的名字和工作地点。从谈话中我确信他在航空方面有特殊的知识，而且显然是一名军事工作者。

问题：怎么看出来的？

答：我上车时，陌生的人说了一句话，我清楚地听到了一个词“少校”。不管是姓氏还是军衔，我还是不明白。

问：您只见过他一次吗？

答：是的。我再也没有遇到过这个人。然而，我在航空作战武器领域的破坏活动中，一如既往地通过信使向德国情报部门通报情况。

问：应当这么认为，您的信息没有得不到回应并且您收到了进一步的指示？

答：我不否认我也收到了德国驻莫斯科武官科斯特林少将*关于破坏工作的指示。

问题：何时，何地？

回答：我从 1931 年就认识科斯特林，并在我去德国之前第一次被介绍给他。1940 年 5 月或 6 月，我在红军中央俱乐部观看有关德国空军在波兰行动的电影时偶然遇到了科斯特林。

影片结束后，德国代表和红军指挥人员在红军中央俱乐部场所共进晚餐，我也被邀请参加。

离开礼堂时，科斯特林向我打招呼，礼貌地拉着我的胳膊，把我领进了正在安排晚餐的房间。我们在他旁边坐下，几位外国人在一张普通桌子的尽头。晚饭后，当在场的人已经喝了相当多的酒，房间里变得很嘈杂时，科斯特林开始谈论我在德国的出差。

我表达了我对军事演习的印象，并向科斯特林感谢德国军官对我的关注。

科斯特林随后毫不含糊地强调，我一定对史帕尔克上尉有好感，出乎我意料的是，他低声说道：“史帕尔克向您问好。”

我很清楚科斯特林知道我与德国情报部门的间谍关系。

在那之后，科斯特林问我是否记得 1939 年开车遇到我们共同的“朋友”。得到肯定答复后，科斯特林强调，当前完成此人交给我的任务尤为重要，因此建议要全力以赴，有力地完成这项任务。

这么看来，科斯特林不仅知道我的间谍工作，而且还知道我按照德国情报部门的指示在红军空军中进行的颠覆活动。

告别时，科斯特林表示相信他很快就能以更坦率的方式与我详细交谈。

问：那之后你和科斯特林会面了吗？

答：没有。我再也没有见过科斯特林。但在与他交谈后，我与德国情报机构的信使进行了两次会面。

一次会面于 1940 年 10 月在马雅可夫斯基地铁站举行，最后一次会面于 1941 年 1 月（我不记得确切日期）在彼得罗夫卡举行，在莫斯科大剧院的天篷下*。

这两次，我都将有关军用飞机的轻武器、机炮和轰炸武器的信息传递给了德国情报部门的信使；我还向他们通报了我在空军进行的破坏活动的结果。

此后，我与德国情报部门的联系就被切断了。

问：也就是一月之后你没有见过它的任何代表吗？

答：我本来应该会面的，但没来得及，因为在约定的会面前不久我被捕了。

问：您的下一次接头应该在什么时候和谁发生？

答：根据与德国情报人员的约定，我们原定于 5 月 3 日中午 12 点在距离中央文化休闲公园不远的克里木土堤（К р ы м с к и й в а л 莫斯科地名，直译——译注）会面。会面安排在那一天，因为那天是非工作日，我白天可以离开家。

问：您在混淆一些东西。直到 1941 年 4 月，苏联人民委员会才决定将休假日期推迟到 5 月 3 日。您如何早在 1 月份就将约会的 5 月 3 日确定为非工作日？

答：我确实给了一个不准确的答案。我只是假设休息日会推迟到 5 月 3 日。如果不是这样，那么即使在我自己的工作时间内，我也有很多机会离开办公室。

因此 5 月 3 日与德国情报机构信使会面的所有条件均已具备。然而，会面因为我无法控制的原因，即我被捕，而没有发生。

问：您是否因为为德国情报部门的出色服务而获得了金钱奖励？

答：收到过，但不是定期的。1935 年和 1936 年，我通过信使收到 5000 卢布。我不否认德国情报部门的代表每次都给我钱，但我拒绝了。

问：的确如此吗？

答：是的，没错。我基本上讲述了我的间谍工作的一切。

问：在审讯开始时，您承认 1936 年被叶菲莫夫招募通过破坏红军空军的武器装备来进行破坏活动。

关于您的破坏工作和与敌人的联系，您将被进一步审问。

审讯中止。

我亲自阅读了笔录，我所有的话都被正确记录。

萨克利耶尔

审讯人：

苏联国防人民委员部第 3 局副局长、国家安全少校奥谢特洛夫

苏联国家安全人民委员部调查室主任助理、国家安全大尉罗德斯

苏联国家安全人民委员部调查室主任助理、国家安全上尉库列绍夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.256.Л.28—64.原稿，机打。第一页有斯大林的笔记：“只给莫洛托夫看。”“阅。В•莫洛托夫”。

*该段落在页边空白处有单行下划线。

*–*铅笔下划线。

176

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林的特别报告附联共（布）中央和苏联人民委员会关于在立陶宛苏维埃社会主义共和国采取措施清除反苏分子、刑事犯罪分子和社会危险分子的决议草案

（1941 年 5 月 16 日）

编号 1394/ б

绝密

在此呈送联共（布）中央和苏联人民委员会关于在立陶宛苏维埃社会主义共和国采取措施清除反苏分子、刑事犯罪分子和社会危险分子的决议草案。

决议草案已经经立陶宛共产党（布）中央书记斯涅奇库斯同志同意。

请您指示。

附件：正文

苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联国家安全人民委员В·梅尔库洛夫

绝密

联共（布）中央和苏联人民委员会决议

“关于在立陶宛苏维埃社会主义共和国采取措施清除反苏分子、刑事犯罪分子和社会危险分子”

由于立陶宛苏维埃社会主义共和国存在大量前反革命民族主义政党成员、前警察、宪兵、地主、工厂主、前立陶宛国家机构的高级官员和其他从事反苏颠覆工作并被外国情报部门为间谍目的利用的人员，联共（布）中央和苏联人民委员会决定：

1. 允许立陶宛苏维埃社会主义共和国的国家安全人民委员部和内务人民委员部逮捕并没收财产并将他们送到集中营 5 至 8 年，在集中营服刑期满后，将以下几类人员流放到苏联偏远地区的定居点 20 年：

а）反革命政党的活跃成员和反苏民族主义白卫队组织的参与者（陶金尼克（立陶宛民族

联盟——立陶宛的一个法西斯民族主义组织——译注）、天主教行动、绍利斯特（立陶宛步枪兵联盟——立陶宛的民族主义民兵组织——译注）等）；

b）前秘密警察、宪兵、前警察和监狱的高级官员，以及有犯罪材料指控的普通警官和狱卒；

c）前大地主、大工厂主以及前立陶宛国家机构的高级官员；

d）有犯罪材料指控的波兰、立陶宛和白军的前军官；

e）继续从事犯罪活动的犯罪分子。

2.允许立陶宛苏维埃社会主义共和国的国家安全人民委员部和内务人民委员部对以下人员逮捕并流放到苏联偏远地区的定居点20年并处没收财产：

a）第1条中指定的类别的家庭成员——“a”、“b”、“c”、“d”，在逮捕时与他们同住或受他们抚养者；

b)头目已转入非法活动状态并逃避国家机关打击的反革命民族主义组织成员的家庭成员；

c）头目已被判处死刑的反革命民族主义组织成员的家庭成员；

d）通过遣返程序从德国抵达的人，被登记遣返德国却拒绝离开的德意志人——在存在有关于他们的反苏活动和与外国情报部门有可疑联系的材料的情况下。

3.允许立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部将之前在立陶宛前警察机构登记，现在继续从事卖淫活动的妓女行政驱逐到哈萨克斯坦北部地区5年。

4.根据本决议逮捕和流放者的案件应委托苏联内务人民委员部特别会议审议。

5.责成苏联国家安全人民委员部和内务人民委员部制定关于逮捕和流放本决议所指人员的程序的特别指令，其中规定：

a）组织一个特别营地，本决议第1条所述人员将在被捕后立即从立陶宛押送至该营地；

b）被捕者在上述营地集中后，特别会议的决定正式生效；

c）本决议第2条规定的人员在被捕后，立即送往定居点，随后在苏联内务人民委员部特别会议上办理手续；

d）将鄂木斯克和新西伯利亚州、克拉斯诺亚尔斯克边疆区以及哈萨克苏维埃社会主义共和国的阿克纠宾斯克州、巴甫洛达尔州、北哈萨克斯坦州和库斯塔奈州定义为定居点。

6.责成立陶宛共产党（布尔什维克）中央委员会和立陶宛苏维埃社会主义共和国人民委员会与苏联内务人民委员部和国家安全人民委员部共同领导本决议规定的措施。

7.指示立陶宛共产党（布尔什维克）中央委员会和立陶宛苏维埃社会主义共和国人民委员

会制定并立即实施加强下级党和苏维埃机构的措施，以果断地改进党和苏维埃的工作。

8. 责成苏联国家安全人民委员部和内务人民委员部协助立陶宛苏维埃社会主义共和国国家安全人民委员部和内务人民委员部机关执行本决议规定的措施，为此：

a）派苏联国家安全人民委员梅尔库洛夫同志和苏联副内务人民委员阿巴库莫夫同志去立陶宛；

b）派遣苏联国家安全人民委员部高等学校的立陶宛民族学员用于业务和调查工作，总人数为 67 人。

c）在行动的准备和实施期间，暂时在立陶宛与白俄罗斯的边界上建立一个拦截区，为此分配最多 400 名边防警卫。

9. 立陶宛应该在*三天内*完成逮捕和驱逐行动。

译自： Л•Е•利申主编:《1941 年》（第二册） （20 世纪俄罗斯丛书）莫斯科，民主基金会出版社，1998 年版，第 221-223 页，РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.89.Оп.18.Д.3.Л.1—6. 副本，机打；ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3ос.Оп.8.Д.1.Л.42—47.原稿，机打。

在第一页有批示：“梅尔库洛夫同志，去准备吧。И•斯大林”

*—*勾掉并写上“一个月内”。

177

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于逮捕和驱逐波罗的海沿岸加盟共和国“反苏”分子行动总结的特别报告

（1941 年 5 月 17 日）

2288/M

联共（布）中央

斯大林同志：

此为从立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国逮捕和驱逐反苏犯罪分子和社会危险分子的行动最终结果的总结。

一、在立陶宛：

被捕——5664 人。

驱逐——10187 人。

总共有 15,851 人被镇压。

在拉脱维亚：

被捕——5625 人。

驱逐——9546 人。

总共有 15,171 人被镇压。

在爱沙尼亚：

被捕——3178 人。

驱逐——5978 人。

总共有 9156 人被镇压。

二、所有三个共和国的总和：

被捕——14,467 人。

驱逐——25,711 人。

被镇压总数——40,178 人，

其中：

a）反革命民族主义组织的活跃成员

被捕——5420 人。

家庭成员被驱逐——11,038 人。

b）前秘密警察、宪兵、警察、狱卒

被捕——1603 人。

家庭成员被驱逐——3240 人。

c）立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚的前大地主、大工厂主和国家机关高级官员

被捕——3236 人。

家庭成员被驱逐——7124 人。

d）波兰、拉脱维亚、立陶宛、爱沙尼亚和白军的前军官，没有在本土军服役并有犯罪材料者

被捕——643 人。

家庭成员被驱逐——1649 人。

e）被判死刑的反革命组织成员的家庭成员

被捕——27 人。

驱逐——465 人。

f）通过遣返程序从德国抵达的人，被登记遣返德国却没有离开前往德国的德意志人，有犯罪材料的

被捕——56 人。

驱逐——105 人。

g）拒绝接受苏联公民身份的前波兰难民

被捕——337 人。

驱逐——1330 人。

h）犯罪分子

被捕——2162 人。

i）在立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚的前警察机构登记，现在继续从事卖淫活动的妓女

驱逐——760 人。

j）曾在红军本土军服役，有犯罪材料的立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚军队的前军官

被捕——933 人。

其中：

在立陶宛 285 人；

在拉脱维亚 424 人；

在爱沙尼亚 224 人。

三、行动中，发生多起被执行人武装抵抗、企图逃跑的事件，造成 7 人死亡、4 人受伤。

我们的损失：4 人阵亡，4 人受伤，其中包括：阵亡——第 183 步兵师独立侦察营营长格拉博申科、片警别尔纳尔、警察杜维利斯、参与行动的里加 464 号工厂积极分子康德拉季耶夫；轻伤——国家安全人民委员部高等学校的学员瑟宾、红军战士西罗塔、红军战士巴布科夫、一名汽车司机。

苏联国家安全人民委员

梅尔库洛夫

译自：РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.89.Оп.18.Д.6.Л.1—4.副本，机打。

178

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林的特别报告附在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州抓捕“反革命分子”措施的决议草案

（1941 年 5 月 24 日）

编号 1591/ б

绝密

为使联共（布）中央和苏联人民委员会 1941 年 5 月 14 日的 1299—526 с с 号决议得以执行。在此呈送在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州抓捕反革命分子措施的决议草案。

白俄罗斯共产党（布）中央委员会书记波诺马连科同志已同意该草案。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联国家安全人民委员В·梅尔库洛夫

绝密

联共（布）中央委员会、苏联人民委员会决议

关于在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州抓捕反革命分子

草案

为震慑白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州反革命组织和集团的活动，联共（布）中央委员会和苏联人民委员会决定：

1. 责成白俄罗斯国家安全人民委员部和内务人民委员部的机构继续扣押波兰反革命叛乱组织的成员。

2. 将以下人士逮捕并流放到苏联偏远地区的定居点 20 年，并没收财产：

а）头目已处于非法状态并躲避当局追捕的波兰民族主义组织成员的家属；

b）头目被判处死刑的上述反革命民族主义组织的成员的家属；

с）逃往国外的反革命组织成员、前波兰军队军官、前宪兵、警察、秘密警察和前波兰政府官员的家属。

3. 国家安全人民委员部和内务人民委员部机关加强卧底侦查工作，确保卧底侦查工作的良好组织和开展。

白俄罗斯国家安全人民委员部和内务人民委员部应派行动人员协助西部地区地方政府开展上述行动。

4. 责成白俄罗斯国家安全人民委员部和内务人民委员部确保没收民众的非法枪支，逮捕和起诉未经许可持有武器的人。

5. 本决议委托白俄罗斯苏维埃社会主义共和国国家安全人民委员察纳瓦同志和内务人民委员马特维耶夫同志负责实施，苏联国家安全人民委员部和内务人民委员部派工作组从旁协助。

联共（布）中央委员会书记、苏联人民委员会主席

И • 斯大林

译自：РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.89.Оп.18.Д.4.Л.1—3.副本，机打。

179

苏联国家安全人民委员致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和Л·П·贝利亚关于德国对苏战争计划的备忘录，附通过特工途径获取的访谈内容

（1941 年 5 月 25 日）

编号 1856/M

绝密

今年 5 月 19 日在同消息源“中学生”谈话时他说到了如下内容：

德国现在在苏联边境集中了大约 160-200 个师，装备了大量的坦克和飞机，数目大约有 6000 架。

苏联和德国之间不太可能发生战争，尽管它在德国很受欢迎，而目前与英国的战争却遭到民众的反对。希特勒不能冒与苏联开战这样的风险，因为害怕破坏国家社会主义工人党的团结。虽然苏联战败是毋庸置疑的，但德国还是要花 6 个星期左右的时间去打仗，在此期间，来自东方的物资供应会停止，而组织德国自己的供应链需要很长时间，如果有美国的帮助，那英国就更强大了。德国将失去夏天，饥饿的冬天将再次来临。

在边境集结的德国军队必须向苏联表明行动的决心——如果他们被迫这样做的话。希特勒希望斯大林就此会变得更加通融，停止对德国的各种算计，最重要的是，会提供更多的商品，特别是石油。

苏联在与德国的边界上也有庞大的军队——一支 400 万人的军队，但这支军队丝毫没有吓倒德国。德国只担心，战争的后果必然会对苏联造成足够大的破坏，经济会变得足够混乱，以至于需要很长时间才能恢复秩序。德国不会立即从与苏联的这场战争中受益。

从军事角度来看，苏联的主要问题在于完全没有能打的军官。或许，还不知道世界历史上还有没有如同苏联与芬兰的战争期间发生的如此不当地指挥军事行动的例子。即便苏联最终获胜，也没有任何军事上的功绩，很简单，他们每平方公里投掷了这么多的钢铁，他们把一切都弄坏了，而敌人在战争结束时没有什么东西可值得射击的。对德国来说，这样的操作不可接受，而有足够多的答案（其它打法）。与此同时，德国人现在拥有布劳希奇、凯特尔、隆美尔、李斯特等天才将军，他们与世界军事史上最优秀的军事领导人甚至不相上下。除了苏沃洛夫和某

种程度上的库图佐夫之外，俄罗斯人通常很少有优秀的军事领导人，尽管 1812 年战争的计划实际上不是库图佐夫的计划，而是两名为亚历山大沙皇服务的德国将军的计划。俄国人想在波兰与拿破仑一战，但德国人警告说，拿破仑将能够在公开战斗中击败任何俄罗斯军队。他唯一不能赢得的就是俄罗斯的冬天。为了说服亚历山大听从德国人的建议付出了很多努力。结果，不应有的荣耀落在了库图佐夫身上。

在芬兰作战的苏联坦克质量极低，经常在途中损坏。即使在没有战争的波罗的海，红军占领波罗的海期间，所有的道路上都堆满了破旧的坦克。怎么可能用这样的装备来对抗不惧在撒哈拉沙漠行驶上千公里的德国坦克呢？

苏芬战争也表明，苏联飞机机组人员不知道如何战斗。芬兰人最多拥有 200 架飞机，而苏联方面投入了 2500 架飞机，却仍然无法使芬兰舰队瘫痪，也没有设法瓦解运输。看看德国人在南斯拉夫和希腊做了什么？

如果与德国发生战争，苏联的首都将转移到斯维尔德洛夫斯克。这是斯大林的计划。德国的计划是首先摧毁俄罗斯欧洲部分的所有发电厂，这很容易做到，因为它们比较大，而且数量很少。第聂伯河水电站将首当其冲。大型工业将在几天内停摆；农业也很快就会开始遇到巨大的困难，因为它现在依赖于使用拖拉机，但他们没有足够的燃料，因为巴库和格罗兹尼可能在战争的第一天就着火了，而其余油田的石油产量仍然很少。为了快速摧毁巴库，德国人将利用伊拉克的领土。

德国对苏联的战争计划以最详细的方式制定。战争的最长持续时间为 6 周。在这段时间里，德国将几乎占领整个苏联的欧洲部分，但不会去动斯维尔德洛夫斯克的政府。如果斯大林随后能设法挽救苏联其他地区的社会主义制度，那么希特勒也不会干涉。

最有意思的是，连芬兰军界都制定了在德国军队的帮助下征服苏联的计划，而且他们也需要 6 个星期就能完成！

这个计划的作者究竟是谁——“中学生”没有说，只是说军方普遍喜欢写计划。他举了毛奇的例子：据说毛奇在被告知法国已向普鲁士宣战时正在阅读一本书。毛奇头都没有抬，嘟囔道：“战争计划在右边第五格，拿走吧！”“中学生”说，军方应该准备好计划以防万一。

“中学生”表示，德军也像斯科罗帕茨基和其它人等那样，有一些“小伎俩”，他们把这些小伎俩放在口袋里以防万一，但其是否真的管用值得怀疑。

苏联国家安全人民委员梅尔库洛夫

译自：ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）РФ.Ф.3ос.Оп.8.Д.57.Л.1500–1504.机打，底稿。

180

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部边防部队抓获德国情报机构特工的特别报告

（1941 年 5 月 29 日）

编号 1654/ б

绝密

联共（布）中央和苏联人民委员会

斯大林同志：

今年 4 月和 5 月，内务人民委员部边防部队共三次抓获了配备无线电台的训练有素的德国情报人员。

今年 4 月 18 日在第 94 边防支队（斯科列，乌克兰苏维埃社会主义共和国）防区，一名柏林情报部门的特工茨维纳尔在三名武装偷渡者的护送下被送到苏联，他们为他携带了两个发射和接收无线电台，一个是固定电台，另一个是便携式电台。固定电台计划安装在利沃夫市。通过它，利沃夫、德罗戈贝奇、斯特雷、鲍里斯拉夫和克列缅涅茨—布罗德等地的情报数据就会传送回德国。

在抓捕过程中，特工进行了武装抵抗。茨维纳尔在枪战中丧生。

5 月 14 日，在第 88 边防支队（舍别托沃火车站，白俄罗斯苏维埃社会主义共和国）防区，П・Ф・勃列舒克从德国越过边境时被抓获。

调查确定勃列舒克在柏林被德国情报部门招募并派往苏联，其任务是收集有关比亚韦斯托克-科韦利铁路沿线的红军驻军、道路状况和军事建筑的信息。

为了通讯，勃列舒克配备了一个无线电发报器。

5 月 26 日，在第 107 边境支队（立陶宛苏维埃社会主义共和国马里扬泊列）的防区，德国情报机构的特工布热兹尼亚克和库西（捷克人）被抓获。

И・Т・布热兹尼亚克——俄罗斯人，1912 年至 1919 年——俄罗斯、英国、法国和前波兰军队的军官，自 1940 年以来——德国军队的上尉。

被抓者随身携带着一个远程收发电台，里面有完整的设备和电码、译码物品、苏瓦乌基县

以及立陶宛和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国区域的地图、6,000 卢布的苏联货币和假的苏联护照。

为了进一步调查，所有被抓者都被转送到国家安全人民委员部。

苏联内务人民委员贝利亚

译自：ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3ос.Оп.8.Д.9.Л.47—48.原稿，机打。

181

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林的特别报告附联共（布）中央委员会和苏联人民委员会关于苏联国家安全人民委员部新局构成安排的决议草案

（1941 年 5 月 29 日）

编号 1394/M

联共（布）中央

斯大林同志：

奉您的指示，现呈送联共（布）中央委员会和苏联人民委员会关于在苏联国家安全人民委员部内组建对航空工业、弹药、武器和电站人民委员部进行监管的总局的草案。

同时发给您局的架构图。

请您指示。

附件：正文。

国家安全人民委员

梅尔库洛夫

绝密

联共（布）中央委员会、苏联人民委员会决议

“关于改变苏联国家安全人民委员部架构”

草案

为改进对最重要的具有国防意义的人民委员部的监管，加强打击外国情报机构在这些人民委员部的设施和企业中从事间谍活动、颠覆活动、破坏活动和恐怖活动的斗争。联共（布）中央委员会和苏联人民委员会决定：

在苏联国家安全人民委员部组成部分内，组建专门局，负责为航空工业、弹药、武器和电站人民委员部提供监管。

将组建的局命名为苏联国家安全人民委员部第四总局（特别局）。

作为国家安全人民委员部第四总（特别）局的组成部分，组建 4 个处：

第一处监管航空工业；

第二处监管弹药工业；

第三处监管武器工业；

第四处监管电站。

除特工业务科外，每个处都有专门的调查科，只对相应的人民委员部的案件进行调查。

在苏联国家安全人民委员部的所有地方机构中——若该地区内有上述四个有重大国防意义的人民委员部所属的设施和企业——组建类似的处和科。

在可能的情况下，第四总（特别）局的组织部门应配备具有航空工业、弹药、武器和动力装置工业领域相应知识的工作人员。

苏联国家安全人民委员部现有的第一（情报）、第二（反间谍）、第三（秘密政治）局应分别更名为苏联国家安全人民委员部总局。将调查室更名为苏联国家安全人民委员部调查局。

提议苏联国家安全人民委员部，在两天内制定并*批准*新成立的局的编制，为其配备人员并开始工作。

第四总（特别局）局

航空

航空工业人民委员部

飞机制造科

引擎制造科

航空仪表科

飞机制造试验科

引擎制造试验科

调查科

实验科学研究所

弹药

弹药人民委员部

火药科

炮弹科

子弹科

底火—爆炸物科

调查科

武器

武器人民委员部

火炮科

步兵武器科

调查科

电站

电站人民委员部

电站运营科

电站和输电线建造科

调查科

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.6.Л.136—140.原稿，机打。*—*为斯大林所加，在空白处有记号“?”.

182

红军总参谋部侦查局关于至 1941 年 6 月 1 日德国部队集结的特别报告

（1941 年 5 月 31 日）

编号 660569

至 1941 年 6 月 1 日德国部队集结状况

5 月下半月，德军总司令部以牺牲从巴尔干地区腾出来的部队为代价，引起了以下后果：

1. 恢复了针对英国的西部集群；

2. 增强了针对苏联的力量；

3. 集结了总司令部预备队。

德国军队的总体部署如下：

针对英国（各方向）——122-126 师；

针对苏联——120-122 个师；

预备队——44-48 个师。

德军针对英国的具体部署：

在西部——76-80 个师；

在挪威——17 个师，其中 6 个位于挪威北部，可用于对抗苏联；

在非洲和意大利——17 个师；

在希腊包括克里特岛——12 个师。

德军针对苏联方向部署如下：

a）在东普鲁士——23-24 个师，包括 18-19 个步兵师、3 个摩托化师、2 个坦克师和 7 个骑兵团；

b）在华沙方向针对西部特别军区——30 个师，包括 24 个步兵师、4 个坦克师、1 个摩托化师、1 个骑兵师和 8 个骑兵团；

c）在卢布林-克拉科夫地区对抗基辅特别军区——35-36 个师，包括 24-25 个步兵师、6 个坦克师、5 个摩托化师和 5 个骑兵团；

d）在斯洛伐克（兹博罗夫、普列索夫、弗拉诺夫地区地区）——5 个山地师；

e）在喀尔巴阡乌克兰——4 个师；

f）在摩尔达维亚和北多布罗加——17 个师，包括 10 个步兵师、4 个摩托化师、1 个山地师和 2 个坦克师；

g）在但泽、波兹南、托伦地区——6 个步兵师和 1 个骑兵团。

总司令部预备队集中如下：

a）在德国的中心——16-17 个师；

b）在布雷斯劳、摩拉维亚的俄斯特拉发、卡托维兹地区——6-8 个师；

c）在罗马尼亚中部（布加勒斯特及其西部）——11 个师；

d）在保加利亚——11 个师。

德国在五月针对苏联的调动，应该注意如下情况：

在 5 月下半月，德军开始建立作战纵深，如上所述，集中在罗兹线以西的克拉科夫——6-8 个师；

从南斯拉夫、希腊和保加利亚向罗马尼亚领土转移大量军队后，德国人大大加强了他们在右翼针对苏联的力量，增加了其在东部针对苏联的战线整体结构中的比重（现在在罗马尼亚，算上摩尔达维亚，共有 28 个师）。

至于对抗英国的战线，德国指挥部此时已经拥有进一步在中东开展行动和对抗埃及的必要力量（29 个师，包括希腊、克里特岛、意大利和非洲），同时相当迅速地恢复了其在西部的主要集群，同时继续向挪威调兵（从普托金港），在未来对英伦三岛采取主要行动。

综上所述，可以看出，巴尔干战役结束后德军的重组基本完成。

红军总参谋部侦查局局长戈利科夫中将

译自：ЦАМОРФ（俄罗斯联邦国防部中央档案馆）.Оп.7237.Д.2.Л.117–119.特殊形式的打字稿，经过认证的副本。指定发送给：斯大林、莫洛托夫、伏罗希洛夫、铁木辛哥、贝利亚、库兹涅佐夫、日丹诺夫、朱可夫、梅列茨科夫。

183

红军总参谋部侦查局“关于罗马尼亚准备战争”的特别报告

（1941 年 6 月 5 日）

第 660586 号

罗马尼亚军队处于戒备状态。

从 4 月中旬开始，罗马尼亚指挥部开始增加军队规模。4 月 21 日开始征召集结预备役人员和预备役军官，现在已具有潜在的总动员性质。动员令以最短的时间交给了被动员的人。动员令由经过专门培训的团队递送。被动员者的派遣受到警方的特别监视。

截至 1941 年 6 月 1 日，罗马尼亚军队的总体构成如下：

集团军 3 个、军 7 个、步兵师 20 个、近卫师 1 个、摩托化步兵师 1 个、骑兵师 4 个、山地步兵旅 4 个、独立骑兵旅 2 个、机械化旅 1 个、防御工事旅 2 个。

其中，在摩尔达维亚有 9 个步兵师、2 个骑兵师、2 个山地步枪旅，据未经证实的资料显示，在皮亚特拉报告有 1 个摩托化旅。

该集群可以同由两个步兵师和一个骑兵旅组成的多布罗加集群编为同一个集群。

这样一来，在苏联对面已经集中了 11 个步兵师、2 个骑兵师、1 个机械化旅、2 个山地步枪旅和 1 个独立的骑兵旅。

在使用所有人力资源和德国武器装备的情况下，罗马尼亚军队可以达到 40 个步兵师，总兵力可达 180 万人。

在过去的六个月里，罗马尼亚司令部特别关注航空、坦克和工程部队。在第 1 和第 2 坦克团以及特库切市航空学校的德国军官的带领下，罗马尼亚军队的军官们已经接受并正在继续接受强化训练。380 名完成学业的军官被派往位于摩尔达维亚的部队。

应注意骑兵军的存在，而以前骑兵没有被编成过军。

罗马尼亚军队的武器装备来自斯柯达和德国的工厂。

苏联南部的地形图已于 5 月发给罗马尼亚军队的军官。

在摩尔达维亚，客运列车在减少，为期 10 天。据官方消息，部队集中在罗马尼亚北部。

在与苏联的边境地区报告，野战部队占领了第一线的战壕。

摩尔达维亚城市的国家机构以及边境地区的当地居民已确认撤离。罗马尼亚国家银行将其

档案从布加勒斯特转移到普雷代亚尔。有命令要求每个家庭在6月15日之前在城镇和村庄修好战壕或原始防空洞。

部里发布了一项关于在学校提前举行考试的指令，以便为军营和医院准备建筑物。考试必须在6月10日之前完成。对医学院最后几年的学生以及其他专业的学生也下达了征召集结令。

罗马尼亚总参谋部官员坚持认为，根据安东内斯库的非官方声明，罗马尼亚和苏联之间的战争应该很快开始。

红军总参谋部情报局局长戈利科夫中将

译自：ЦАМОРФ（俄罗斯联邦国防部中央档案馆）.Оп.7237.Д.2.Л.117–119.印在公文纸上的打字稿，经过认证的副本。有批示，发送给：斯大林、莫洛托夫、伏罗希洛夫、铁木辛哥、贝利亚、库兹涅佐夫、日丹诺夫、朱可夫、马林科夫。

184

红军总参谋部侦查局“关于罗马尼亚军事准备”的特别报告

（1941 年 6 月 7 日）

编号 660606

许多消息源证实了罗马尼亚的动员。招募年龄从 19 岁到 42 岁的人员。征召是通过电报进行的。与此同时，马队和大车队也被调动起来。

作为动员的结果，罗马尼亚军队将达到 100 万人，最多可部署 30 个师。

铁路减少了客运和普通货物的运输，将来自南斯拉夫和保加利亚的德军以及武器（大炮、坦克、探照灯等）和军事装备运送到摩尔达维亚和北多布罗加。

至于德国自己，从 6 月 4 日起，在通过科斯琴和法兰克福（这两个点都在柏林以东的奥得河上）的铁路和高速公路上恢复了向东密集的交通。

运输人力、坦克、重型装备、防空和野战炮、车辆、探照灯和燃料。

波兹南地区实际上已经成为一个军营。

与此同时，作为维斯瓦河对面一些编队延迟的代价，边境上的德国军队进一步加强，比如来自科尔采地区的 168 和 111 步兵师——他们的方向是雅罗斯拉夫。第 183 步兵师抵达胡里，第 62 步兵师从胡里地区直接开往边境。

结论：

考虑到罗马尼亚动员是作为进一步加强德国在欧洲右翼的手段，因此必须特别留意在波兰的继续加强德国军队的情况。

红军总参谋部侦查局局长戈利科夫中将

译自：ЦАМОРФ（俄罗斯联邦国防部中央档案馆）.Оп.7237.Д.2.Л.120–121.特殊公文纸上的打字稿，经过认证的副本。发送给：斯大林、莫洛托夫、伏罗希洛夫、铁木辛哥、日丹诺夫、马林科夫、朱可夫、库兹涅佐夫、贝利亚。

185

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫和Л·П·贝利亚的特别报告

（1941 年 6 月 12 日）

编号 2215/м

绝密

现发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全副人民委员科布罗夫

基于 1941 年 6 月 11 日来自柏林的第 4115 号消息

来自柏林的消息

“准尉”报告：

“在德国航空部和空军参谋部的领导层断言德国进攻苏联的问题终于得到解决。不知道是否会提前向苏联提出任何要求，因此必须考虑意外打击的可能性。

戈林的总参谋部从柏林搬到了罗马尼亚。6 月 18 日，戈林应该会出现在其参谋部的新的部署地点。同日，二线空军应该会从法国调往波兹南地区。

德国、芬兰和罗马尼亚总参谋部联合行动的谈判正在加速进行。

芬兰飞行员也参加每天在苏联领土上空的侦察飞行。

根据消息人士手中的文件，很明显，主攻目标最初应该是摩尔曼斯克、摩尔曼斯克铁路、维尔诺、比亚韦斯托克、基什尼奥夫，德军司令部力争在北部从东普鲁士绕过，在南面从罗马尼亚绕过，形成钳形攻势，逐渐逼近以包围位于总督府处边界上的红军。

此外，莫斯科及其周边地区的飞机制造厂、波罗的海港口和白海运河也计划成为空军参谋部轰炸的目标。”

译自：ЦАСВРРФ（俄罗斯联邦对外情报局中央档案馆）.Д.23078.Т.1.Л.432–434.有批示，指定发送，未经证实的副本。

186

苏联国家安全人民委员部致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫的特别报告

（1941 年 6 月 17 日）

编号 2279/м

现发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全人民委员Ｂ·梅尔库洛夫

来自柏林的消息

1. 德国准备对苏联进行武装进攻的所有军事准备已全部完成，打击随时都可以进行。

2. 在空军参谋部的圈子里，6 月 6 日的塔斯社消息被认为非常具有讽刺意味。他们强调这种说法没有任何意义。

3. 德国空袭的目标首先是斯维里-3 发电厂、莫斯科生产飞机零部件（电气设备、滚珠轴承、轮胎）的工厂，以及汽车修理厂。

4. 匈牙利将积极参与德国方面的敌对行动。一些德国飞机，主要是战斗机，已经出现在匈牙利机场。

5. 重要的德国飞机维修点位于：柯尼斯堡、格丁尼亚、格鲁琼兹、布雷斯劳、马尔堡；波兰米利奇飞机发动机修配厂、位于华沙的奥恰其厂，尤其是在黑里根凯尔的重要工厂。

一位在德国经济部工作的消息人士报告说，苏联被占领土“未来区”的军事经济局局长已被任命，即：国家社会主义党杜塞尔多夫的领导人之一阿蒙，被任命到高加索地区；经济部的前工作人员布朗特被任命到基辅——他直到最近还在法国的经济部门工作；斯图加特经济商会的负责人布雷格尔被任命到莫斯科。所有这些人都应征入伍，前往作为集结点的德累斯顿。

施洛特勒被任命为“苏联被占领土”经济管理局的总负责人——经济部外国处处长，他仍在柏林。

经济部里的人说，罗森伯格还在一次针对苏联“被占”领土的经济工作者会议上发表讲话，他说“苏联的概念应该从地理地图上抹去”。

无误。

苏联国家安全人民委员部第一局局长

菲京

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.50.Д.415.Л.50–52.原稿。

187

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于德国军事准备的特别报告[①]

（1941 年 6 月 17 日）

编号 2279/м

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

在此向您发送苏联国家安全人民委员部收自柏林的特工情报。

苏联国家安全人民委员

В·梅尔库洛夫

基于“准尉”和“科西嘉人”1941 年 6 月 16 日的 4261 和 4262 号消息

来自柏林的消息

德国准备对苏联进行武装进攻的所有军事准备已全部完成，打击随时都可以进行。

在空军参谋部的圈子里，6 月 6 日的塔斯社消息被认为非常具有讽刺意味。他们强调这种说法没有任何意义。

德国空袭的目标首先是斯维里-3 发电厂、莫斯科生产飞机零部件（电气设备、滚珠轴承、轮胎）的工厂，以及汽车修理厂。

匈牙利将积极参与德国方面的敌对行动。一些德国飞机，主要是战斗机，已经出现在匈牙利机场。

重要的德国飞机维修点位于：柯尼斯堡、格丁尼亚、格鲁琼兹、布雷斯劳、马尔堡。波兰米利奇飞机发动机修配厂、位于华沙的奥恰其厂，尤其是在黑里根凯尔的重要工厂。

一位在德国经济部工作的消息人士报告说，苏联被占领土“未来区”的军事经济局局长已被任命，即：国家社会主义党杜塞尔多夫的领导人之一阿蒙，被任命到高加索地区，经济部的前工作人员布朗特被任命到基辅——他直到最近还在法国的经济部门工作，斯图加特经济商会的负责人布雷格尔被任命到莫斯科。所有这些人都应征入伍，前往作为集结点的德累斯顿。

施洛特勒被任命为“苏联被占领土”经济管理局的总负责人——经济部外国处处长，他仍在柏林。

经济部里的人说，罗森伯格还在一次针对苏联“被占”领土的经济工作者会议上发表讲话，他说“苏联的概念应该从地理地图上抹去”。

无误。

苏联国家安全人民委员部第一局局长

菲京

在页面上有批示：“梅尔库洛夫同志，可以把您的“消息源”从德国空军参谋部送去见鬼了。这不是“消息源”，是谣言制造者。И • С т ”

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.50.Д.415.Л.50.原稿，机打。

注释：

①对外情报和军事情报人员关于德国准备对苏联开战的报道从 1941 年春天开始最为密集。然而，苏联领导人并不知道巴巴罗萨计划。И • В • 斯大林对收到的特别报告的消极反应可以解释为他相信这是英国特务部门蓄意散布错误消息的结果，在他看来，这是试图推动苏联与德国开战。另一方面，斯大林认为德国在两条战线上进行战争将无利可图，而且孕育着失败。

188

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林关于在白俄罗斯西部诸州逮捕和驱逐“反苏”分子的行动总结的特别报告

1941 年 6 月 21 日

2427/м

联共（布）中央

斯大林同志：

在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州逮捕和驱逐反苏和社会异己分子行动的最终结果总结如下。

一、在比亚韦斯托克州：

500 人被捕。

11405 人被驱逐。

总共有 11,905 人被镇压。

在布列斯特州：

300 人被捕。

3039 人被驱逐。

共镇压 3339 人。

在巴拉诺维奇州：

476 人被捕。

2,723 人被驱逐。

共镇压 3199 人。

在平斯克州：

363 人被捕。

驱逐了 2299 人。

共有 2,662 人被镇压。

在维列伊卡州：

420 人被捕。

2887 人被驱逐。

共镇压 3307 人。

二、总的来说，在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国的所有西部州：

2059 人被捕。

22,363 人被驱逐。

总共有 24412 人被镇压。

包括：

a）各式各样的波兰、白俄罗斯、乌克兰、俄罗斯和犹太反革命民族主义组织的领导人和积极分子，前波兰国家官员和其他反革命分子

2059 人被捕。

6,655 名家属被驱逐。

b）被判处死刑者家属

1293 人被驱逐。

c）从事非法工作的人的家属

3652 人被驱逐。

d）逃往国外的人的家属

7105 人被驱逐。

e）以前被捕但现在正在接受调查的各种反革命组织领导人和积极分子的家属

2093 人被驱逐。

f）以前被镇压的地主的家属

驱逐 47 人。

g）以前被镇压的宪兵和警察的家属

231 人被驱逐。

h）商人、工厂主、贸易商及其家属

驱逐 708 人。

i）以前受镇压的高级官员和前波兰军队军官的家属

驱逐 469 人。

三、行动中，抓捕对象在试图逃跑时，造成 2 人死亡、1 人受伤。

我们这边没有损失。

在比亚韦斯托克州，一名被驱逐的前波兰军和沙皇白军上校的妻子克米茹克用剃刀割断了自己的喉咙并死亡。

在平斯克州，应该被逮捕的已被捕的反革命组织参加者的妻子巴尔科维奇中毒身亡。

没有其他事件。

四、被捕者被关押在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州的监狱中，被驱逐者被装入军列送往定居点。

苏联国家安全人民委员 B·梅尔库洛夫

译自：РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.89.Оп.18.Д.7.Л.1—3.副本，机打。

189

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于特种技术局专家参与研制"103-У"飞机的特别报告

（1941 年 7 月 16 日）

编号 2217/ б

绝密

致苏联国防委员会主席斯大林同志：

鉴于“103”型和“103-У”型飞机的工厂和国家飞行试验的结束以及将飞机“103-У”型引入鄂木斯克工厂的批量生产的决定，苏联内务人民委员部认为向苏联政府提交申请，要求赦免 30 名直接参与研制“103-У”型飞机的特种技术局囚犯是合情合理的。

建议将被释放的这些专家编入特种技术局编制并将他们派往鄂木斯克工厂参与 103 型飞机的批量生产。

在此向您发送了一份来自特种技术局的专家名单，这些专家在飞机“103”的制造中表现尤为突出，苏联内务人民委员部请您指示。

附录：在“103”型飞机研制中表现突出的被囚禁的特种技术局专家名单

苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

名单

在“103”型飞机研制中表现突出的被囚禁的特种技术局专家

1. 安德烈·尼古拉耶维奇·图波列夫
2. 亚历山大·瓦西里耶维奇·纳达什凯维奇
3. 亚历山大·罗曼诺维奇·博宁
4. 谢苗·阿布拉莫维奇·维格多尔奇克
5. 谢尔盖·米哈伊洛维奇·叶格尔
6. 格奥尔基·谢苗诺维奇·弗兰克尔

7. 约瑟夫·格里高利耶维奇·涅曼

8. 鲍里斯·安德烈耶维奇·绍科

9. 德米特里·谢尔盖耶维奇·马尔科夫

10. 弗拉基米尔·安东诺维奇·奇热夫斯基

11. 季莫费·彼得洛维奇·萨普雷金

12. 米哈伊尔·尼古拉耶维奇·彼得罗夫

13. 弗拉基米尔·列昂季耶维奇·亚历山德罗夫

14. 格奥尔基·亚历山德罗维奇·奥泽洛夫

15. 弗拉基米尔·瓦西里耶维奇·阿列

16. 费多尔·马克西莫维奇·什帕克

17. 伊万·米哈伊洛维奇·兹沃诺夫

18. 阿列克谢·瓦西里耶维奇·科瓦诺夫

19. 日耳曼·瓦西里耶维奇·斯特拉什诺夫

20. 阿列克谢·伊万诺维奇·茨维特科夫

21. 弗拉基米尔·谢尔盖耶维奇·丹尼索夫

22. 伊万·赫里斯托福罗维奇·穆托夫琴斯基

23. 瓦西里·斯捷潘诺维奇·沃伊托夫

24. 德米特里·路德维戈维奇·托马谢维奇

25. 尼古拉·安德烈耶维奇·索科洛夫

26. 伊万·卡齐米罗维奇·博罗夫斯基

27. 约瑟夫·马尔科维奇·斯科连斯基

28. 阿列克谢·米哈伊洛维奇·切里穆欣

29. 阿伦·尤利耶维奇·罗戈夫

30. 亚历山大·埃曼努伊洛维奇·斯特林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.108—110.原稿，机打。第一页有批示“贝利亚同志，同意。И·斯大林”

190

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附П·Н·库巴特金和М·И·茹拉夫廖夫关于德国空袭莫斯科后果的特别报告

（1941 年 7 月 22 日）

1443

副本

绝密

苏联内务人民委员、国家安全总政委Л • П • 贝利亚同志

作为 7 月 22 日晚上在莫斯科和莫斯科州敌机袭击的结果，我们记录了以下工业设施和住宅建筑的损坏和火灾。

莫斯科总共发生了 1166 起燃烧弹引起的火灾，其中很大一部分被及时遏止蔓延。

792 人遭受火灾和破坏的波及。其中，死亡 130 人、重伤 241 人、轻伤 421 人。

以下工业和国防设施以及住宅遭到空袭：

捷尔任斯基“第三城市制造厂”（位于红色普列斯尼亚区）被投掷了数枚燃烧弹。造成的火灾导致冷库、纺纱厂、化学实验室和工人宿舍被烧毁。没有人员伤亡。具体损失正在调查中。

“红色火炬”工厂被投掷了 15 枚燃烧弹，工厂仓库被烧毁。

燃烧弹命中了杜纳耶夫工厂仓库，具体损失正在调查。

一家带有材料仓库、粮囤的利口酒和伏特加工厂和所有与其相邻的铁路月台被轰炸摧毁。

有一枚燃烧弹投到了多罗哥米洛夫伏龙芝化工厂。大火被当地消防队扑灭。

一枚燃烧弹命中了 46 号工厂（孔策沃区），烧毁了一个车库和一个棚屋。损失估计为 2-3 千卢布。

一枚燃烧弹落在第 95 厂（孔策沃区）的屋顶上。火源很快被扑灭。

科什金 7 号工厂（罗斯托金斯基区）被投下了 19 枚燃烧弹，火灾的起火源很快被扑灭，生产罐爆炸导致一名工人受伤。

莫斯科机床制造生铁铸铁厂遭到高爆炸弹袭击，第 12 工段的一部分、实验室和第三生活区被摧毁。没有人员伤亡。损失正在调查中。

11 枚燃烧弹投向了航空工业人民委员部 115 号工厂。由此产生的火灾被迅速扑灭，没有造成物质损失。一名值班员受伤。

属于莫斯科地区动力系统管理局高压电网的红色普列斯尼亚和索科利尼基 30 千瓦线路受损，损失金额已被确定。

在变电站（菲力）投下的燃烧弹摧毁了储油罐。

航空工业人民委员部 240 号工厂被投下了 3 枚燃烧弹。大火被立即扑灭。没有损失。

3 枚燃烧弹投向了孔策沃变电站。由此产生的火灾很快就被遏止，没有损失。

伏龙芝中央热电厂被 7 枚燃烧弹所击中，大火被迅速扑灭，没有物质损失。

航空工业人民委员部 132 厂 12 号车间区域有 27 名工人被高爆弹炸伤，其中 11 人重伤。

“口径”工厂附近被投下了高爆弹，工厂没有被破坏。

22 号厂因燃烧弹起火，烧毁了准备车间和临时居住营房。一名守卫被害。

在“红玫瑰”联合企业，一家染色店被一枚燃烧弹点燃。大火被当地消防队扑灭。没有损失。

在莫斯科地雷厂投下了 8 枚燃烧弹。由此产生的火灾很快被扑灭。

汽车修理厂范围内被投掷了 10 枚炸弹，这些炸弹被及时排除，未发生火灾。

一枚燃烧弹摧毁了国家储备局的糖库。损失正在调查中。

在拉科夫和克拉索克工厂的防空洞中，一枚高爆炸弹炸死 13 人，炸伤 14 人。

在五一区，火灾导致 5 个军用仓库着火，2 辆汽车和 1 辆坦克被毁。

两枚燃烧弹投向了位于雅罗斯拉夫尔火车站附近的“交通货物站”杂货仓库。火被迅速扑灭。损失正在调查中。

地铁北部机车库（铁道区）的车间被一枚高爆炸弹击中，导致球形车间瘫痪。损失正在调查中。

基辅区“城市电站”区域一个俱乐部、一个食堂、一个采购车间和一个车库被一枚燃烧弹烧毁。没有人员伤亡。

燃烧弹引起的火灾摧毁了赫鲁晓夫 5 号面包厂（红色普列斯尼亚区）的仓库和木工车间。5 人受伤。

投在红色普列斯尼亚有轨电车车站的高爆炸弹爆炸，造成 2 人受伤。

投在“莫斯科薄板厂”的燃烧弹摧毁了临时居住营房和瓶塞厂。

红色普列斯尼亚区的油库因燃烧弹爆炸而起火，部分装有油的储油罐被点燃。火已被扑灭。

在莫洛托夫区投下的一颗高爆炸弹摧毁了ГУ-ТАП仓库。损失正在调查中。

高爆炸弹的命中摧毁了位于克鲁泡特金大街22号的莫斯科市消防局的部分建筑物。爆炸造成1人死亡，17人受伤。

6枚燃烧弹投向了真理报工厂的卡车仓库和锅炉房。火情被及时扑灭。没有损失。

涅米洛维奇—丹钦科大街上的演员之家被4枚燃烧弹命中由此产生的火灾被当地部队扑灭。损失正在调查中。

普希金广场上投下了15枚燃烧弹，导致“莫斯科”咖啡馆的建筑着火。火被迅速扑灭。

一枚炸弹被投在了总参学院大楼上。火势来不及蔓延，被当地部队扑灭。

一枚高爆炸弹炸毁了联共（布）莫斯科市党委大楼的玻璃和框架（古比雪夫街，13号）。玻璃弹片炸伤了管理处的3名工作人员和莫斯科共青团的一些工作人员。

三颗燃烧弹命中了马克思恩格斯列宁学院的大楼。火势很快被当地力量扑灭。

在基辅区，燃烧弹彻底摧毁了科学院的分院、第57中学和苏维埃宫的食堂。没有人员伤亡。

两颗高爆炸弹被扔在列宁图书馆的建筑上。没有造成严重伤害，也没有人员伤亡。

一枚高爆弹被扔在乌斯金斯基桥上，爆炸的威力形成了一个洞。

两颗高爆弹命中了1905年镇（红色普列斯尼亚区），炸毁了第三城市制造厂的幼儿园和民防总部。还是在这一地区，列宁剧院、莫洛佐夫俱乐部、莫斯科包装材料厂、骑兵学校和3个马场被燃烧弹点燃。大火已经被扑灭。

在谢列皮哈镇（红色普列斯尼亚区），燃烧弹引燃了石油化工厂、棉花工厂和水果和蔬菜仓库。

一颗高爆炸弹落入一个野战战壕中（红色普列斯尼亚区），爆炸造成7人死亡。

在孔策沃区，27座住宅楼被燃烧弹的火灾摧毁和部分摧毁。在爆炸和火灾中，有3人死亡，4人受伤。

9枚高爆和燃烧弹被扔到了环线铁路的轨道上，布拉采沃站，利霍博尔到麻雀山之间的电话和电报线、3节军用车厢起火，其中军用车厢起火导致30名士兵受伤。

5枚高爆弹投向基辅火车站大楼。3人遇难。

投向加里宁铁路莫斯科郊外车站的4枚高爆弹和燃烧弹损坏了4条铁路线和3辆装有军用货物的货车。2人遇难。

燃烧弹袭击了莫斯科西部铁路，点燃了油罐车和油库。损失正在调查中。

在莫斯科-雅罗斯拉夫尔铁路上投下了 2 枚炸弹，部分摧毁了莫斯科货运车站的建筑。

在库尔斯克铁路和卡兰切夫广场之间的中转站投下的高爆炸弹炸毁了长 40-50 米的一条轨道。

在莫斯科市所有区，总共有 65 家工业企业、3 条供水管道、2 座发电厂、1 座桥梁、3 条铁路轨道、3 个联络网、1 条天然气管道和 169 座住宅楼被损毁或部分损毁。

7845 人无家可归。

在莫斯科市和莫斯科州的许多区（莫斯科沃列茨基、捷尔任斯基、斯大林、共产国际、乌赫托姆斯基、基辅、兹韦尼格罗德、纳罗-福明斯克、克拉斯诺戈尔斯基、孔策沃、鲁斯基）发现了从敌机上散布的传单。

通过采取的措施，共收集并没收了约 600 份传单。附上传单的正文。

7 月 22 日晚上收到的有关据称敌人在莫斯科州某些区空降的消息没有得到核查证实。

莫斯科市的纳罗-福明斯克、希姆基、乌瓦罗夫斯基、梅季希、普希金、季米特洛夫和斯大林区的歼击营，动员起来的社会力量和集体农户对村庄、林地和田地进行了排查，结果是没有发现地方空降部队。

内务人民委员部莫斯科市和莫斯科州局局长、国家安全中校茹拉夫廖夫

国家安全人民委员部莫斯科市和莫斯科州局局长、国家安全三级政委库巴特金

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.18—30.副本，机打。

第一页有手写笔迹：“归档。И • С т ”“N • B”。

191

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于德国空袭莫斯科结果的统计数据的报告

附М·И·茹拉夫廖夫的备忘录①

（1941 年 7 月 22 日）

苏联内务人民委员、国家安全总政委Л·П·贝利亚同志：

关于 1941 年 7 月 21 日夜至 7 月 22 日敌人空军空袭莫斯科的结果，根据初步数据：

总共有 792 人在空袭中受到伤害，

其中：

死亡 130 人。

重伤 241 人。

轻伤 421 人。

建筑物被毁 37 座。

造成的损失：

供水管 2 条。

燃气管网 3 条。

电网 3 条。

火灾发生 1166 起，

其中：

在国防设施 36 起。

在军事设施 70 起。

在铁路运输设施 8 起。

在具有重要经济意义的设施 241 起。

在科学和文化机构 151 起。

在住宅 660 起。

内务人民委员部莫斯科市和莫斯科州局局长、国家安全中校茹拉夫廖夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.33—34.副本，机打。

在第一页有机打笔迹：“分别发送给：斯大林同志、莫洛托夫同志”。

注释：

①为了减轻德国航空兵轰炸莫斯科的负面影响，И·В·斯大林下令安排一个被击落的德国飞机、缴获的武器、未爆炸的炸弹和其他战争战利品的展览。8 月 13 日贝利亚向斯大林报告说，与联共（布）莫斯科市委一起，在高尔基文化和休息公园准备了这样的展览，并准备在 8 月 14 日开放。除了缴获的军事装备和武器展品外，还展出了飞行员、高射炮手、内务人民委员部战斗机营的战士、警察和消防员的照片，以及苏联最高苏维埃主席团对在莫斯科空袭中表现突出的人的奖励的法令（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3ос.Оп.8.Д.10.Л.310—311.）

192

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于从敌人飞机上投下的传单的特别报告

（1941 年 7 月 22 日）

编号 2246/ б

国防委员会

斯大林同志：

苏联内务人民委员部在此呈送敌人飞机上投下的传单*。

苏联副内务人民委员梅尔库洛夫

全世界无产者，联合起来同布尔什维主义作斗争！

列宁许诺了什么？斯大林给予了什么？

列宁答应把所有的土地给农民。斯大林把农民赶进集体农庄，让他们成为自己的农奴。

列宁答应给工人工厂和制造厂。斯大林把工厂和制造厂变成国有财产，把工人当作奴隶，只因迟到了 20 分钟便把他们关进监狱。

列宁承诺在所有教育机构提供免费教育。斯大林规定了所有中学和高等学校的学费。

列宁向劳动人民承诺免费医疗。斯大林制定了治疗和药物费用。

列宁承诺免除工人和农民的一切税收。斯大林对劳动人民征收了数十项直接税和间接税（所得税、住房与文化生活建设税、公债），他从农民那里拿走了他们免费生产的一切（交公粮）。

列宁承诺有完全的言论自由。斯大林剥夺了所有言论自由，除了向“伟大而英明的（领袖）”颂读赞美诗和对所谓的“幸福快乐的生活”表示感谢的自由之外。

列宁许诺完全的新闻自由。斯大林也剥夺了新闻自由：你在报纸上试试写下没有地方可以买到靴子或裤子（会造成什么样的结果）。

列宁承诺集会、游行和示威的自由。斯大林驱使衣衫褴褛、饥肠辘辘、精疲力竭的工人集会，让他们高呼幸福生活，并向他，“人民之父”奉送贺词。

列宁承诺废除死刑。斯大林在内务人民委员部的地下室射杀了数十万人，因为他们敢于抗议斯大林主义政权。

列宁承诺结社和工会自由。斯大林清算了工会，将它们变成了他的政党的执行机构，并且不允许任何结社，除了共产主义社团或与它们一起唱赞歌的社团。

列宁承诺选择职业的自由。斯大林强行将孩子从父母那里带到职业学校的集体宿舍，让他们成为他自己永远的苦役犯——矿工、锁匠、炉工。

列宁以劳动人民代表苏维埃的名义许诺了人民的权力。斯大林为自己夺取了苏联的所有权力，并将最高苏维埃变成了一部傀儡喜剧，在那里“一致”批准了斯大林变本加厉奴役苏联人民的所有法律和法令。

列宁承诺减少工作日。斯大林增加了工作日。

列宁承诺增加工资。斯大林没有增加工资，但通过增加工作日和生产规范，削减了工资。

列宁承诺每个人都有丰富的商品和安全的生活。斯大林确保最重要的物品：鞋子、布匹、成衣等完全的短缺，以及苏联工人半贫困半饥饿的生活。另一方面，他慷慨地奖励他的支持者：契卡干部、党的工作人员和红军指挥官——慷慨地赐予他们勋章和金钱。

列宁承诺个人不可侵犯。斯大林使苏联人民的生活永远处于对逮捕和处决的恐惧之中。

列宁许诺一个公平的人民法院。斯大林以“反苏情绪”的嫌疑逮捕了数百万手无寸铁的苏联公民，并将他们投入集中营和特别定居点（1940 年，苏联监狱和集中营中有超过 1000 万无辜的苏联人）。

列宁承诺消除军队并组织志愿工人民兵。斯大林将军队增加到 500 万，维持这支军队这对劳动人民来说是一个沉重的负担。

列宁承诺同所有国家建立睦邻友好关系。斯大林攻击和平国家并占领它们，因此将数以百万计的人民置于死地，并使整个世界恢复对俄罗斯人民的敌视。

红军指战员同志们！

难道现在你们还不清楚，对俄罗斯犯下所有上述罪行的那个人吗？他不是他自称的“劳动人民最伟大、最英明、最杰出、最受人爱戴的领袖和各族人民之父”，而是全人类最大的罪犯，是所有劳动人民的真正敌人，是土匪，是各族人民的敌人。

打倒斯大林政权！

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.1,11об.原稿，机打。

*公开了一份传单。

193

Г·А·博尔科夫致И·В·斯大林关于疏散领导人家属的密电

（1941 年 7 月 24 日）

编号 1477ш

发送自哈巴罗夫斯克

莫斯科

国防委员会主席斯大林同志：

政府命令远东方面军军事委员会为所属人员举办大型培训班。这些措施的及时性和权宜性，由于日本军方最近强硬地抬头并已经采取了多项动员措施——是完全显而易见的，不需要任何额外的解释。但是，在 1941 年 7 月 21 日红军总参谋部关于这个问题的指示中，方面军司令部被警告说，所有提高配属人员的工作都应该秘密进行，不得进行不必要的宣传和议论。现在方面军司令部已着手解决这个问题，在我们看来，基本上正确解决了这个任务。

就我个人而言，我对整个事情中只有一种情况感到困惑。在我看来，我们的军事领导人太急于疏散首长的家属。令我们遗憾的是，国防人民委员部和内务人民委员部的个别领导人的指示促成了这种匆忙。

因此，例如，在今年 7 月 21 日红军总参谋部的密电中，第 10 条明确规定：“受威胁地区的首长家属，首先是撤退到其它军区的部队首长的家属应先疏散到西伯利亚军区东部的州。”

早些时候，在一封日期为今年 7 月 18 日、由后勤部长叶尔莫林同志签署的密电中，它向方面军指挥部解释说：“疏散人口和贵重物品的实体和时间由苏联人民委员会下属的疏散委员会和方面军军事委员会确定，方面军军事委员会鉴于目前的情况，被授予独立制定疏散程序和时间的权力。”

此外，在同一条指令中还说：“被疏散的陆军、海军现役军人和负责人员的家属有权自行选择居住地，莫斯科和列宁格勒除外。”

我们摘录的指示不仅相互矛盾，而且最重要的是，它们与苏联人民委员会 1941 年 7 月 5 日关于“战时疏散人员规范”问题的法令相矛盾。

最后，昨天，即今年 7 月 22 日，内务人民委员部边疆区局局长收到一封由车尔尼绍夫同志签署的密电——该密电同时发送给哈巴罗夫斯克、滨海边疆区、布里亚特蒙古、雅库特苏维埃社会主义自治共和国、赤塔和伊尔库茨克州的内务人民委员部机关。在密电中命令将内务人民委员部工作人员的家属从受威胁的前线疏散到后方，并于今年 7 月 30 日报告该命令的执行情况。

如此一连串令人困惑和矛盾的疏散指令，如果我们现在就开始执行，将不会带来任何好处。相反，任何过早撤离指挥人员、内务人民委员部工作人员家属，即使我们再加上党务和苏维埃负责人的家属——的行为，在我们看来，都会在民众中散播恐慌，并造成不必要的有害议论，因为这个，我们远东地区的人受到了政府的警告。

我理解有必要为从前线地区撤离一些家庭，特别是儿童和老人做好准备。*现在有必要在一个范围狭窄的人群中制定疏散计划。我们已经被提议从计划转向行动，被提议开始疏散。是不是为时过早？我们是不是有点超前了？

请求您，斯大林同志，就此问题做出指示。

——联共（布）哈巴罗夫斯克边疆区书记博尔科夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.59.Л.17—18.原稿，机打。

*—*之间的部分被用线划出

第一页有斯大林的批示“哈巴罗夫斯克边疆区委员会博尔科夫同志：边防人员和指挥人员家属需要撤离前线。如果不采取这样的手段，德国人的突然袭击会导致指挥人员家属丧生。日本人的突然袭击也会发生同样的情况。”

194

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于内务人民委员部结构的特别报告

（1941 年 7 月 30 日）

副本

编号 2311/б

绝密

联共（布）中央和苏联人民委员会

斯大林同志：

根据联共（布）中央委员会关于将内务人民委员部和国家安全人民委员部合并为一个单一的内务人民委员部的决定，我提请联共（布）中央委员会和苏联人民委员会批准苏联内务人民委员部的结构、关于任命人民委员部及其外围机构高级官员的建议。

在提交批准的结构中特别规定了在苏联内务人民委员部中创建：

a）在铁路、海运、河流、汽车运输以及公路沿线和民航机队进行契卡工作的交通运输管理局；

b）在飞机制造、武器、弹药、机械工程、化学、石油工业、发电厂和通信等最重要的企业中，作为契卡工作部门的一部分的经济管理局；

c）为提高侦查工作的质量，并将其与特工行动工作更紧密地联系起来，设想在每一个契卡的业务局中设立一个调查室。

d）将内务人民委员部内卫部队局合一（取代当前两个局并立的情况），新的局将管理保卫工业企业、铁路枢纽和设施，以及负责押运任务的所有部队。

此外，我们正在研究并将在未来几天内将在现有作战部队的基础上创建内务人民委员部军级部队的问题提交给您研究。

为了确保系统地对滨海边疆区、赤塔州和布里亚特—蒙古苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员部机构的工作进行检查和协助。苏联内务人民委员部请求推荐任命内务人民委员部哈巴罗夫斯克边疆区局局长格格利泽同志同时兼任苏联内务人民委员部滨海边疆区、赤塔州和布里亚特—蒙古苏维埃社会主义自治共和国全权代表。

请您决定。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

苏联内务人民委员部结构

人民委员

副人民委员

1.苏联内务人民委员部秘书处。

2.人民委员部下设的监察组。

3.人民委员部特别会议秘书处。

I.契卡业务局

4.情报（第一）局。

5.反间谍（第二）局。

6.秘密政治（第三）局。

7.特种局。

8.交通运输局（铁路、海运、内河和公路运输、民用、航空机队、高速公路）

9.经济管理局（航空、武器、弹药、机械工程、化学、石油工业、电厂和通讯等各人民委员部最重要的工业企业）。

10.特别重大案件调查室。

11.第一处（保卫处）。

12.第一特别处（调查统计与缉查）。

13.第二特别处（控制各类通讯、无线电广播、无线电捕获、设备操作）。

14.第三特别处（监视、搜查、逮捕）。

15.第四特别处（高频通信、无线电实验室、特别侦查技术组和罪犯利用）。

16.第五特别处（密码）。

17.第六特别处（国家贵重品保管局）。

II.行政业务局

18.警察总局。

19.消防总局。

20.地方防空总局。

21.国家档案局。

22.监狱管理局。

23.战俘和被拘禁人事务管理局。

24.莫斯科克里姆林宫司令部局。

25.内务人民委员部歼击营指挥部。

III.部队管理局

26.内务人民委员部边防部队总局。

27.内务人民委员部内卫部队总局（保卫铁路设施、特别重要工业企业和执行押运任务）。

28.内务人民委员部作战部队局。

29.内务人民委员部军事供应局。

30.内务人民委员部部队政治局。

31.内务人民委员部军事建设处。

IV.惩戒和劳教局

32.强迫劳改营和犯人流放地总局。

33.机场建设营总局。

34.铁路建设营总局。

35.水利工程建设营总局。

36.工业建筑营总局。

37.采矿、冶金和燃料工业营总局。

38.林业营局。

39.古比雪夫工厂建造营局。

40.远东地区的劳改营。

41.公路总局。

42.内务人民委员部物资技术供应局。

43.经济局。

44.人事处。

45.中央计划和财政处。

46.动员处。

47.铁路和水运处。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.7.Л.144—148.副本，机打。

195

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕两名德国伞兵的特别报告

（1941 年 8 月 2 日）

编号 2580/б

绝密

联共（布）中央

斯大林同志：

今年 7 月 30 日在列宁格勒州的瓦尔代区，两名德国侦察兵着陆，他们立即被捕并被带到苏联内务人民委员部。

在审讯中被捕者招认了自己的如下情况：

1.M·A·加夫金—豪克，1905 年出生，卡累利阿—芬兰苏维埃社会主义共和国乌赫塔区人，卡累利阿族。从 1927 年起，他住在芬兰，以杂志的分销代理为业。

2.K·Г·皮拉格，拉脱维亚族，拉脱维亚德文斯克市人，一直住在那里直到 1941 年 2 月，之后他通过疏散委员会前往德国。职业是电工。

在初步审讯中，被拘留者招认，他们两人在德国对苏开战前夕被送到什切青和柯尼斯堡，在那里他们接受了颠覆、无线电勤务、手榴弹投掷和手枪射击方面的训练。

今年 7 月 29 日在列宁格勒州奥波奇卡区的德国上尉毛里茨建议他们两人越过苏联区域前往瓦尔代区，以了解红军部队的数量和部署情况。

今年 7 月 30 日晚上。两名侦察兵带着无线电设备乘坐带有苏联识别标志的德国飞机被送往列宁格勒州的瓦尔代区。

飞机降落后飞回，加夫金—豪克和皮拉格进入森林，以便将红军制服换成平民制服，在那里他们被当地集体农户在军队指挥员的协助下逮捕。

从被抓者那里缴获无线电收发设备、电报密码、两支装弹匣的手枪、两套备用制服、2,000 卢布、9 张带有部队戳印和圆形图章的表格和 6 张铁路硬卧票据。

苏联内务人民委员部认为，同红军总参谋部侦查局共同利用*在我们控制下*的电报员加夫金—豪克向德国驻芬兰司令部传递关于西北方面军情况的假消息是可取的。

请您指示。

附：被抓者和电台的照片

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.256.Л.67—68.原稿，机打。在第一页有批示："同意。И·斯大林"

— 处有波浪形下划线

注释：

早在 1941 年 8 月 8 日，Л·П·贝利亚在给И·В·斯大林的一份特别报告中就报告了建立游击队支队和派遣作战小组到德军后方进行颠覆工作的情况。侦察破坏活动成为国家安全机关的重要工作领域之一。贝利亚提出的"内务人民委员部机关应继续组织游击队支队和破坏小组"的建议得到了斯大林的批准，批示是："同意"（俄罗斯联邦总统档案馆.Ф.3.Оп.50.Д.470.Л.18—21.）。8 月 10 日，贝利亚指示谢罗夫、彼得罗夫、阿波罗诺夫和苏多普拉托夫提交他们的建议。关于执行斯大林指示的决定之一是在 1942 年 1 月创建苏联内务人民委员部第四局，其任务是负责在德军后方组织侦查和破坏活动。Э·奈特的著作中详细描述了贝利亚的作用（参见：А·奈特《贝利亚：斯大林的第一个中尉》普林斯顿大学出版社 1993 年版，第 121—124 页）。

直到 1942 年下半年，提交给斯大林的特别报告主要是关于游击队支队和行动小组数量的信息。准备不足、装备不全的小组无法在被占领土上开展有效的活动，容易成为敌人的猎物。与中心的沟通问题没有得到很好的解决，没有足够的广播电台。

1941 年底至 1942 年上半年，小组领导人之一的Е·А·特勒盖夫的回忆对评价特遣部队小组的活动有意义。特勒盖夫指出："我们已经筋疲力尽，特别是在最初的几天，我们试图尽快地离开前线时。我们把十天的供应量拉长到了二十天，然后只能等着饿死了。事实上，直到八月我们根本没有面包，甚至没有盐。我们不得不用随机得到的东西来凑合，比如误入森林的一匹马，或者在森林边缘发现的一个土豆坑。这种饥饿状况一直持续到 1942 年 8 月至 9 月，那时各个村庄都在收获庄稼粮食。"

特勒盖夫作战小组在截至 1943 年底的这段时间里对铁路进行了 22 次重大破坏，进行了几

十次战斗、伏击和其他行动。然而，随着大多数小组在1941年下半年被放弃，联系中断。只有少数人能够在敌后转为作战部队。

随着前线局势的变化，各行动小组的物质技术保障得到改善，经验得到积累，他们的行动开始取得实效。

1942年4月，贝利亚要求斯大林批准国防委员会关于每月供应制造150—200台无线电设备计划的决定，计划在美国和英国购买必要的材料，费用为50000美元（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3.Оп.9.Д.9.Л.211.）。

196

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于组织莫斯科市最重要的企业安保的特别报告

（1941 年 8 月 21 日）

绝密

编号 2494/б

联共（布）中央

斯大林同志：

遵照您的指示，为了防止敌对分子向敌机发射光照或其他信号，苏联内务人民委员部在莫斯科市选定了 11 家最重要的企业，并在这些企业附近的区域实行了特殊的管理制度。

这些企业如下：航空工业人民委员部——第一、二十二、二十四、三十九厂、斯大林汽车厂、第一国营轴承厂、锤子镰刀厂和电子联合企业、电机厂、汽车电气设备厂、古比雪夫变压器厂和灯厂。

环绕这些企业建立了 7 个安全区域。在空袭期间，除特殊通行证外，在所有这些区域内禁止任何活动。

晚上 9 点至早上 6 点，未在这些区域公寓登记的人员不得在区域内公寓逗留。每栋房屋都有负责房屋灯火管制和居民登记的人员。

如果新来者与区域内的企业或机构没有直接关系，则新来者在区域内房屋中的登记则中止。

已开始对居住在区域内的人员进行全面排查，以便将可疑人员转移到区域外。

这些企业和住房部门的灯火管制情况正在检查中，企业的军事警卫和工人和职员的人员的情况正在检查中。

苏联内务人民委员部的负责人被任命为区域长，指派给他们每个人 10 名契卡干部和 25 名警察行动人员用于开展工作。

除了警察和内务人民委员部的工作人员外，当地通过审查的相应企业的工人和职员也参与到这些区域的放哨和保卫工作中来。

正在开展其他一些措施，详见附录。

联共（布）莫斯科市委书记谢尔巴科夫同志同意实施以上区域保卫制度。

监督相关措施落实的工作委托给梅尔库洛夫同志。

在此我附上一份在莫斯科市规模最大的国防企业所在地区建立特别制度的措施清单和一份关于在莫斯科市规模最大的国防企业所在地区实行特别制度的命令的副本。莫斯科市规模最大的国防企业所在地，以及关于引入特殊制度的命令的副本。

附录：正文

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

出版信息：《莫斯科保卫战时期的卢比扬卡》莫斯科 2002 年版，第 56—58 页。

在第一页上有批示“贝利亚同志，把发电厂加上就好了。И·斯大林”

出版时没有附录。

197

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附苏联人民委员会和联共（布）中央关于从伏尔加沿岸德意志人共和国、萨拉托夫州和斯大林格勒州搬迁德意志人规则的草案

（1941 年 8 月 25 日）

编号 2514/б

联共（布）中央

斯大林同志：

奉您的指示，在此呈送苏联人民委员会和联共（布）中央关于从伏尔加德意志人共和国和萨拉托夫州及斯大林格勒州迁移的规则的决议草案。

总共有 479,841 人将被强制迁出这些地方，其中包括来自伏尔加德意志人共和国的 401,746 人、来自萨拉托夫州的 54,389 人和来自斯大林格勒州的 23,756 人。计划在哈萨克苏维埃社会主义共和国东北部诸州、克拉斯诺亚尔斯克和阿尔泰边疆区、鄂木斯克和新西伯利亚州进行重新安置。

联共（布）萨拉托夫州委第一书记弗拉索夫同志、斯大林格勒州委第一书记楚亚诺夫同志、伏尔加河沿岸德意志人共和国委员会第一书记马洛夫同志已知悉转发的决议草案。

请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

副本

绝密

苏联人民委员会和联共（布）中央委员会决议

1941 年 8 月莫斯科克里姆林宫

苏联人民委员会和联共（布）中央委员会决定：

1.将所有来自伏尔加德意志共和国以及萨拉托夫和斯大林格勒州的德意志人总共 479,841 人重新安置到以下边疆区和州：

克拉斯诺亚尔斯克边疆区——75,000 人

阿尔泰边疆区——95,000 人

鄂木斯克州——84,000 人

新西伯利亚州——100,000 人

哈萨克苏维埃社会主义共和国——125,000 人

包括：

塞米巴拉金斯克州——18,000 人

阿克莫拉州——25,000 人

北哈萨克斯坦州——25,000 人

库斯塔奈州——20,000 人

巴甫洛达尔州——20,000 人

东哈萨克斯坦州——17,000 人

2.所有德意志人，包括城市和农村地区的居民，包括联共（布）和共青团成员，都无一例外地需要重新安置。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.178.Л.6—9.原稿，机打。

决议草案部分公布。

注释：

除了在 1941—1944 年期间驱逐德意志民族的苏联公民之外，其他民族也遭到大规模驱逐（见第 249、253、259、263、265 号文件）。大量来自贝利亚的关于驱逐人民的特别报告被保存在档案中，证明人民委员亲自参与组织驱逐。

总共有 61 个民族的人口在战争年代接受了重新安置（详情参见：Н·Ф·布盖《流放人民：战争与社会，1941—1945》莫斯科 2004 年版，第 306—330 页）。

Д·雷菲尔德的著作详细描述了卫国战争期间的驱逐问题。在Э·奈特的作品中，贝利亚在战争年代的角色更为多面，雷菲尔德侧重于他活动的镇压方面（参见：D·雷菲尔德《斯大林和他的吊死鬼》企鹅出版社 2005 年版，第 377—409 页）。

198

П·М·菲京致И·В·斯大林关于内务人民委员部情报局收到的A·艾登同波兰大使在伦敦谈话记录的特别报告

（1941 年 8 月 28 日）

副本

绝密

在此呈送英国外长 A·艾登同波兰大使于今年 8 月 18 日在伦敦的谈话记录，记录由苏联内务人民委员部情报局通过特工手段获得。

“1.今天下午，波兰驻伦敦大使受西科尔斯基将军的委托来找我谈谈波兰政府由于苏波协议和最近的事件所面临的困难。

2.他说，由于很可能在不久的将来他将被委托领导波兰的外交政策，现在他将尝试向我详细描述这些困难。波兰的公共舆论，无论是在这，还是在波兰，都对苏波协议的达成感到震惊。波兰人普遍认为苏联参战是一个积极的现象，不仅因为这场战争会给德国的资源带来沉重的负担，也因为苏联会因此被削弱。波兰人明白，苏联转变为盟友会多少将波兰和波兰的利益抛诸脑后。开诚布公地说，波兰人的普遍观感是苏波协议的缔结反而削弱而不是加强了波兰在波兰东部边界方面反对苏联的立场。最重要的是，英美联合声明已经发布，该声明强调自决原则，这将使波兰人在其西部边界方面也感到失望。但泽无疑是德国的一座城市，但对波兰来说在经济上很重要，而且只要德国人在东普鲁士，从军事角度来看，波兰西部边境几乎是无法防御的。波兰民众的士气仍未消散，但现在第一次有迹象表明，德国的宣传开始采取可能对波兰人成功的策略，即宣传盟军想要把波兰变成俄国人的奴隶。

大使建议，虽然他目前不想坚持这一点，但英王陛下政府应该向波兰政府发表某些公开声明或提交意见，在声明或意见中表示在某种意义上说，它不打算严格坚持适用自决原则而完全不考虑其它因素，比如经济和国防因素。他不得不坦言，英美联合声明引起了波兰舆论的疑虑。

我告诉拉钦斯基伯爵，我们总是很高兴听到他关于波兰政府的一切观点。

在我看来，总统和首相在起草宣言时不太可能将波兰边界考虑在内。也许除了最一般的外交辞令，英王陛下的政府很难在波兰政府所希望的意义上对宣言进行一些修饰。尽管如此，我随时准备与大使一起深入探讨这个问题。

拉钦斯基伯爵随后谈到了波兰的内部危机，西科尔斯基将军希望尽快解决这个危机。现在已经很清楚，不可能在政府中吸纳民族民主党的成员。由于 8 月 1 日《泰晤士报》上的一篇文章，西科尔斯基将军仍然与他的一些同事有麻烦，如果我同意发表公报，拉钦斯基伯爵会交给我草案，这将对将军有所帮助。

我告诉他，虽然我同意草案中的所有内容，但在官方公开声明中提出《泰晤士报》的问题并不是很合适。不过，我可以给大使写一封与草案内容大致相同的信。我也可以尝试说服《泰晤士报》发表另一篇令波兰政府满意的文章。我也可以考虑是否应该在 8 月 30 日对各省发表的演讲中说点什么，以平息《泰晤士报》文章的产生的观感。之后，我口述并给了他我的信，附上一份副本……”

在这份记录中提到的公报草案和艾登给西科尔斯基密信的副本。这两份文件都声明《泰晤士报》不是政府机构，也不反映英国政府的官方观点。

——苏联内务人民委员部情报局局长菲京

译自：《俄罗斯外国情报史文集（6 卷）》第 4 卷 1941—1945，莫斯科 1999 年版，第 528—530 页。

199

П·М·菲京致И·В·斯大林关于英国针对高加索石油资源计划的特别报告

（1941 年 9 月 22 日）

绝密

苏联国防委员会

斯大林同志：

根据我们掌握的情报，在苏德战争开始后不久，英国的中东军队司令部就得到了英国战争部的批准，安排了一次特别任务。这个任务是摧毁我们的高加索油田，以防止它们落入德国人手中，如果这种危险（高加索油田落入德国人手中——译注）被证明是真实的。

这个代号为“第 16 号任务（P）”的任务准备以伊朗北部为基地，在那里准备好在适当的时候进行到高加索的空运。

在他们关于这个问题的来往函件中，英国人一再强调需要格外小心，以免苏联政府知道存在这样一个任务的事实——这可能会严重损害克里普斯和马克—法尔兰工作。

克里普斯已经在斯大林同志面前提出了在准备摧毁德国人可以使用的苏联供给能源方面进行合作的问题，但得到的答复是，苏联政府将自行决定，这种合作的时机何时到来。

后来，在伦敦的指示下，克里普斯在给斯大林同志的一封信中再次提到了这个问题，但再次无疾而终。

此后，克里普斯提出（伦敦同意的）建议，如果允许在适当的时候向苏联承诺对高加索油田的破坏进行赔偿，则可以加速该问题的解决。作为由汉基勋爵主持的特设委员会举行了多次会议的结果，并在英国驻苏联经济代表团成员别尔特鲁德的参与下，起草了以下英文声明，现将其发送给克里普斯：

1.在发生如下的情况，即如果苏联政府为了防止德国人夺取油田而将油田摧毁，英国政府承诺在战争期间和战争结束后两年向苏联供应从英国及其帝国获得的等量的石油。

2.英国政府承诺向苏联提供相当于它自己在同一时期拥有的石油吨数。

3.英国政府承诺协助苏联购买钻井设备以更换被毁坏的设备。

为了使这一声明更具分量和实际的意义，别尔特鲁德前往华盛顿，那里的国务院正在罗斯福的指示下处理这个问题。几天内，别尔特鲁德应该会带着一份美国草案声明返回伦敦，在伦敦熟悉这份草案之后，只需要罗斯福的签名。现在假定别尔特鲁德将与比弗布鲁克代表团一起前往莫斯科，并随身携带向苏联政府发表的英国和美国就此问题商定和批准的声明文本。

同时，伦敦有关人士表示，既然苏联政府无论如何都会摧毁油田，那就不应急于交出这些声明，因为它们对英国施加了一定的义务，而这个义务是可以避免的。另一方面，反对这项方针的人指出，由于未来的石油供应不明朗，苏联政府不敢及时摧毁油田，最终这些油田将落入德国人之手。无论如何，现在的问题是这些声明是否应该交给苏联，或者可以不用交给苏联，基本上可以由克里普斯自行决定。

——苏联内务人民委员部情报局局长菲京

译自:《俄罗斯外国情报史文集(6 卷)》第 4 卷 1941—1945,莫斯科 1999 年版,第 533—535 页。

200

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于扩大特别会议权力的特别报告

（1941 年 11 月 15 日）

副本

2805/б

绝密

国防委员会

斯大林同志：

在内务人民委员部的共和国、边疆区和州机构中，被军区军事法庭和地方司法当局判处死刑的囚犯被关押数月，等待上级法院对判决的批准。

根据现行程序，各军区军事法院以及加盟共和国最高法院、自治共和国和边疆区、州法院的判决，只有在分别获得苏联最高法院军事审判庭和刑事司法审判庭的批准后，它们才具有法律效力。

然而，苏联最高法院的决定本质上不是终审裁定，因为它们是由联共（布）中央政治局委员会审议的，该委员会也将其意见提交给联共（布）中央委员会，只有在此之后案件才会得到最终裁决，然后该裁决再次提交最高法院，最后由苏联内务人民委员部执行。

例外情况是宣布处于战争状态的地区和军事行动的地区，这些地区执行苏联最高苏维埃 1941 年 6 月 27 日令，根据该令，方面军军事委员会，特别是在因军事行动而造成的特殊情况下，有权批准军事法庭判处的死刑并立即执行判决。

目前，共和国、边疆区和州的内务人民委员部监狱中已累计有 10,645 人被判处死刑，这些人在等待上级法院对其案件的判决。

根据战时条件，苏联内务人民委员部认为应采取如下合理措施：

1.允许苏联内务人民委员部对所有被判处死刑、目前被关押在监狱以等待最高法院批准判决的囚犯执行军区军事法庭和共和国、边疆区、州司法机构的判决。

2.授予苏联内务人民委员部特别会议在苏联检察长参加的情况下，基于俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法典第 58-1a、58-1б、58-1в、58-1г、58-2、58-3、58-4、58-5、58-6、58-7、58-8、58-9、58-10、58-11、58-12、58-13、58-14、59-2、59-3、59-3a、59-3б、59-4、59-7、59-8、59-9、59-10、59-12、59-13 条之规定，处理内务人民委员部机构内出现的关于反革命罪行，特别是危害苏联政府秩序的危险罪行的案件的权利，对相关罪行施以恰当的处罚直至处决。特别会议的决定应视为终审裁定。

请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

被囚禁于内务人民委员部—内务人民委员部局监狱当中被判处死刑，等待苏联最高法院军事审判庭终审裁定的被捕者数目表

1.北奥塞梯苏维埃社会主义自治共和国——769

2.哈巴罗夫斯克边疆区——467

3.莫洛托夫州——420

4.斯维尔德洛夫斯克州——419

5.鞑靼苏维埃社会主义自治共和国——400

6.哈萨克苏维埃社会主义共和国——396

7.格鲁吉亚苏维埃社会主义共和国——395

8.车里雅宾斯克州——394

9.乌兹别克苏维埃社会主义共和国——361

10.斯大林格勒州——356

11.滨海边疆区——350

12.萨拉托夫州——342

13.基洛夫州——320

14.达吉斯坦苏维埃社会主义自治共和国——300

15.高尔基州——300

16.克拉斯诺亚尔斯克边疆区——290

17.科米苏维埃社会主义自治共和国——272

18.新西伯利亚州——269

19.阿尔汉格尔斯克州——268

20.莫斯科州——265

21.阿塞拜疆苏维埃社会主义共和国——243

22.古比雪夫州——235

23.克拉斯诺达尔边疆区——220

24.坦波夫州——214

25.伊尔库茨克州——200

26.鄂木斯克州——182

27.契卡洛夫州——160

28.巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国——156

29.沃罗涅日州——150

30.奔萨州——150

31.沃洛格达州——144

32.阿尔泰边疆区——143

33.赤塔州——140

34.乌德穆尔特苏维埃社会主义自治共和国——120

35.雅罗斯拉夫尔州——118

36.伊万诺沃州——113

37.卡巴尔达—巴尔卡尔苏维埃社会主义自治共和国——99

38.布里亚特—蒙古苏维埃社会主义自治共和国——79

39.马里苏维埃社会主义自治共和国——70

40.梁赞州——63

41.吉尔吉斯苏维埃社会主义共和国——60

42.塔吉克苏维埃社会主义共和国——55

43.莫尔多瓦苏维埃社会主义自治共和国——50

44.亚美尼亚苏维埃社会主义共和国——40

45.土库曼苏维埃社会主义共和国——38

46.罗斯托夫州——23

合计：10645

——苏联副内务人民委员科布罗夫

1941 年 11 月

译自：РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）Ф.89.Оп.18.Д.9.Л.1—4.副本，机打。

201

П·М·菲京致И·В·斯大林关于发给日本驻柏林大使馆电报内容的特别报告

（1941 年 12 月 10 日）

国防委员会

斯大林同志：

向您报告日本外务省发送给柏林日本大使馆的电报内容。该电报被英国政治情报机构截获并部分解码。

苏联内务人民委员部情报局通过特工手段从伦敦收到了电报内容。

“与美国的谈判陷入僵局，日本政府面临着作出严肃决定的需要。与希特勒和里宾特洛甫会面并在保密的情况下向他们解释当下的局势。民主大国以东方君主的方式行事。他们正在调动军队并迫使日本也这样做。这些调动可能会导致武装冲突，可能比预期的要早得多……（原版中未破译的一些文字）如果与民主国家发生战争，日本将继续牵制远东的俄罗斯军队，如果俄罗斯人联合民主国家进攻我们，日本将进行强有力的抵抗。但是，要向希特勒解释，日本的主攻方向将集中在南部，我们打算避免在北部采取蓄意行动……”

译自：《俄罗斯外国情报史文集（6 卷）》第 4 卷 1941—1945，莫斯科 1999 年版，第 542—543 页。

202

П·М·菲京致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、В·Н·梅尔库洛夫关于英国驻苏联大使克里普斯给英国外交部密电内容的特别报告

（1941 年 12 月 14 日）

国防委员会

斯大林同志、莫洛托夫同志、贝利亚同志：

内务人民委员部

梅尔库洛夫同志：

向你们报告英国驻苏联大使克里普斯今年 12 月 6 日发送给英国外交部的第 214、215、216 号电报的内容。

电报内容由内务人民委员部情报局通过特工手段由伦敦获得。

“1.今天早上我见到了西科尔斯基将军，他把他与斯大林谈判的内容告诉了我，并要求尽快转达给您。他证实了我对斯大林可能所持观点的初步描述——这是我在他到莫斯科之前给他的，结果证明比他在这里收到的任何东西都更准确、更好，而且他的谈判完全成功，将两国之间不稳定的关系转变为充满信任和合作氛围的双边关系。有时，这些谈判很困难，需要将军极大的坚韧不拔的精神。当他第一次提出将波兰军队从苏联撤至周边国家的问题时，斯大林将此解读为美国、波兰和我们之间的阴谋，并告诉将军，如果发生这样的事情，全世界都会嘲笑他（斯大林）。就此，西科尔斯基要求斯大林给出他的替代建议（关于该建议见下文）。

2.晚宴上，斯大林发表了非常友好的讲话，将军确信斯大林如他所说，同意战后在波兰建立一支强大军队的想法。斯大林宣布他同意西科尔斯基在广播讲话中的每一个字。他看到了讲稿，并在播送之前作出了这一声明。已经签署的声明几乎没有改变波兰人提出的措辞。

3.斯大林坚决要求释放所有波兰人，并宣布他决心加快这一进程。他在被告知波兰军队缺乏给养后对此感到非常生气，他告诉安德斯将军，波兰人应干预他与苏联军官的谈话，以平息他的愤怒。他告诉他的军需将军，后者不能仅靠命令和指示来养活军队。那些还在以前就同情波兰人的俄罗斯军官对此表示满意，并表示相信未来的情况会发生转变。

4.谈判的结果是，根据斯大林的提议，波兰军队和民兵应集中在乌兹别克斯坦，主力应位于塔什干与波斯边境之间，一部分力量安置于塔什干以东。俄罗斯人在谈论向波兰人提供给养的可能性，但在武器方面，他们主要依靠我们和美国。

西科尔斯基看到了最后的电报，明白我们武装波兰军队尚需时日，但他希望到 1942 年 5 月前能够做到这一点。西科尔斯基也希望现在的给养情况会令人满意，据我所知，他在这方面完全不指望我们的帮助。(不过，如果俄罗斯人不能兑现承诺，相应的要求也可以在以后提出。)我提请他注意补给的困难，并特意问他对有关波斯公路通行能力的最后一份电报是否有什么想法。(当然，在他去莫斯科之前，我告诉了他 11 月 24 日陆军部第 53861 号电报的要点。)他向我保证他知道这件事。西科尔斯基认为，为了未来苏波关系，有必要接受斯大林的提议，而不是坚持让波兰人离开俄罗斯。

5.斯大林同意 3 万人离开，加上 5000 人——如我设想的那样，是被西科尔斯基纳入到他最初的备忘录中的空军和海军部队。现在西科尔斯基正在谈论他希望在中东拥有 9000 名以内波兰人而其余人留在英国的愿望。斯大林同意在苏联建立 5-7 个师，以在将来组建集团军。

6.按照我的提议，西科尔斯基请斯大林指派给他两个顾问一起访问波兰营地，斯大林显然很高兴，他为此指派了潘菲洛夫将军和维辛斯基。

7.西科尔斯基将军将于 12 月 12 日返回并会见斯大林。

8.斯大林非常坦率地谈及战争形势，表示苏联军队在莫斯科战线战况良好，克莱斯特将军集团的彻底失败，已经消除了对高加索地区的威胁，同时捕获了大量战利品，尤其是车辆（11,000）。冯博克将军从莫斯科前线消失，他将来要么被杀，要么被撤职。现在取而代之的是李斯特将军。斯大林深知这样的敌人有多危险。

9.在莫斯科周围，斯大林拥有 70,000 名预备骑兵，并希望尽早有机会将其用于抗击德国人的行动。

10.根据西科尔斯基的说法，无论莫斯科的命运如何，俄罗斯人都将继续战斗，这是毫无疑问的。根据斯大林的说法，冬季的状况开始对德国军队造成影响。德国坦克的优势仍然很大，但他们的空中优势很小。

11.与他身边的人员相比，斯大林在很大程度上致力于军事，这给西科尔斯基留下了深刻的印象。将军非常有信心，目前没有政权垮台的危险。

12.西科尔斯基告诉我改善波兰人待遇的可能性。例如，在塔什干，取消了将波兰人驱逐出该地区的命令，现在波兰人可以进入该城市。

13.他完全理解未来出现显而易见的现实困难的可能性，特别是身处极北地区的波兰人的释放问题，但他设想会通过真诚的努力来解决这个问题。他也明白，一些地方当局即使在收到莫斯科的指示后也可能我行我素。

14.波兰大使馆获准派遣其代表前往该国各个地区，并拥有足够广泛的权力来研究波兰人的状况并为他们提供可能的帮助。

15.通过了在可能的情况下为波兰人提供符合他们资格的工作的决定。例如，现在从事伐木和清洁道路工作的坦克的发明家和杰出的化学家，将获得符合他们专业的工作。将军现在正在考虑将这些高素质的人送到英国的问题：要么送往南方，要么，如果可能，通过阿尔汉格尔斯克。

16.午餐时，斯大林开始谈论波兰的东部边界的问题，但西科尔斯基拒绝讨论这个问题，理由是如果他设定了新边界后从俄罗斯回来，那么“全世界都会嘲笑他”。

斯大林幽默地对这一立场表示欢迎，称和平会议没有克服不了的困难，并表示希望在和平会议召开之前，双方能达成共识。斯大林对希特勒使用了激烈的言辞，称他为疯子和模仿狮子的兔子。不过，他说，从军事角度来看，希特勒身边有几个好人。

17.我问西科尔斯基将军有没有可能判断斯大林对英王陛下政府的感情。

将军在特别保密的状态下说，根据他所听到的一切，他绝对可以肯定斯大林对英国政府的深切不信任。在他看来，这部分是拜未能就军事计划达成一致所赐。他认为最近会议上使用的策略（主要来自盟国媒体的报道）没有什么助益，为此在这方面有必要拒绝愉快的和赞美的短语，能够利用现有关系当中现实的可能性，并坦率地讨论出现的困难——如果它们需要被克服的话。

18.西科尔斯基告诉我他试图解释我们已经提供了多么强大和全方位的帮助，以及我们实际上很难就开辟第二战场做任何事情。他避免提及波斯北部和高加索地区，因为他认为触及这样一个话题的危险太大了。他还解释说，我们对增加工业生产无能为力，而美国在这方面落后于我们，因此俄罗斯人必须尽一切努力从美国取得更严肃的结果。

19.作为对我们不信任的一个例子，他引用了斯大林关于我们希望在新加坡使用波兰军队的假设。西科尔斯基拒绝了这一假设，称我们在没有波兰人的情况下在那里也有大量自己的军队。

将军让斯大林明白他对英国的完全忠诚，之后就没有再谈这个话题了。”

——苏联内务人民委员部情报局局长菲京

译自:《俄罗斯外国情报史文集(6 卷)》第 4 卷 1941—1945,莫斯科 1999 年版,第 543—546 页。

1942 年

203

Л·П·贝利亚、А·С·谢尔巴科夫、В·П·普罗宁致И·В·斯大林关于疏散人口返回莫斯科的报告备忘录

（1942 年 1 月 8 日）

绝密

国防委员会

斯大林同志：

战争期间从莫斯科市有 220 万人被疏散到苏联东部的州。目前，莫斯科市有 237 万人。

随着近年来军事形势的变化，大量撤离人员正在返回莫斯科。

根据 1941 年 9 月 20 日国防委员会“关于限制进入莫斯科”的决定，苏联内务人民委员部于 1941 年 9 月 23 日发布了一项命令，根据该命令，只有企业工人和机构职员可以凭警察机关的特别通行证进入莫斯科，该通行证是根据相应的人民委员部的申请签发的。

与内务人民委员部机关为驱逐未经许可返回莫斯科的撤离公民而采取的措施相关，后者中的一些人开始在莫斯科附近的车站下火车，从那里乘坐郊区火车或在高速公路上通过路过的汽车和马拉大车将他们送往莫斯科。

这样，从 1941 年 12 月 19 日到今年 1 月 5 日的这段时间，内务人民委员部在铁路站点[和]火车站的交通管理机构、莫斯科警察和内务人民委员部莫斯科区的保卫人员在高速公路上将 19550 名试图返回莫斯科的人拘留并驱逐出莫斯科境外。

为了阻止先前撤离的公民无组织地进入莫斯科，我们要求国防委员会接受所附的国防委员会草案，该草案规定了进入莫斯科市的程序。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

联共（布）莫斯科市委书记谢尔巴科夫

莫斯科市苏维埃主席普罗宁

译自：《莫斯科保卫战时期的卢比扬卡：从俄罗斯联邦安全局中央档案馆中获得的苏联国家安全机关的材料》莫斯科 2002 年版，第 115—116 页。

204

П·М·菲京致И·В·斯大林关于У·丘吉尔和Ф·罗斯福会谈的特别报告

（1942 年 1 月 25 日）

苏联国防委员会

斯大林同志：

在此呈送苏联内务人民委员部情报局从伦敦收到的关于丘吉尔和罗斯福在华盛顿谈判的特工情报的内容。

该情报由可信赖的来源根据知悉的文件以及与驻英美国外交和其他代表团的各类职员的谈话编纂而成。

据消息源透露，谈判的主要问题如下：

“1.丘吉尔的主要目标是阻止美国武器，尤其是海军力量转移到太平洋。丘吉尔担心美国军方会坚持改变先前的计划，以更加关注太平洋地区的事件。出于这个原因，丘吉尔试图阻止可能发生的变化，加快了他前往华盛顿的步伐。他的任务成功地完成了，他带来的德国人新的侵略计划的报告在这方面发挥了重要作用。英国假定法西斯军队在积累必要的资源后会立即开始新的战役，并将在海陆空三军的参与下大规模展开。本次战役将分为三个阶段：

a）为直布罗陀提供运输服务，并在欧洲一侧集结一支庞大的军队。在取得制空权后，部队将立即开始穿越海峡。德国人已经在西班牙机场部署了必要的人员，建立了沿海炮台，使他们能够控制海峡的航行。直布罗陀本身将被绕过并暂时被忽略。

b）在军事行动的第一天，将对卡萨布兰卡、马拉喀什和达喀尔同时进行空中和海上袭击。德国人认为，这些港口的法国叛徒会让他们容易地占领，并为他们提供真正的支持。

c）机械化部队的快速打击，旨在消除法国抵抗（如果有的话），保障上述港口的交通线。此前派出的小型守备队和船队将对盟军试图挽回败局的尝试进行反击。

德国计划的第二部分包括夺取马德拉岛、加那利群岛和佛得角，以分散盟军海军的注意力，并在其试图夺取这些地点的过程中使其（盟军海军——译注）遭遇惨重的失败。基本上，德国人希望获得可以供其海军使用的沿海基地，他们可以利用这些基地完全保障交通线路。

根据英国政府现有的观点，这个计划被推迟只是因为德国人不确定法国舰队和北非人民将扮演的角色。现在假设德国人对成功充满信心，不管法国人是否为实现他们根本不感兴趣的目标而合作。

由于美国外交在这几年一直在同法国博弈并成功地让德国默默无闻，丘吉尔坚持采取适当的反制措施，甚至冒着疏远当下的法国并促使其完全投入德国人怀抱的风险。最后，丘吉尔希望保证用于占领某些北非要地和大西洋群岛的军事单位不会转移到太平洋。1940 年 11 月，美国为此专门组建了相应的突击部队，其任务是占领冰岛、亚速尔群岛、佛得角、加那利群岛、达喀尔甚至卡萨布兰卡。这些部队接受了特殊训练并得到强化，特别是被派往攻占达喀尔的部队。丘吉尔担心，由于这些部队可用于美国太平洋领土上的作战，他们会被调到太平洋。

为了防止美国在决定对法国的态度问题上出现外交摇摆的可能性，戴高乐的军队占领了圣皮埃尔岛和密克隆岛，结果国务院的观点发生了众所周知的变化。已经发生的事件表明，尽管美国就法属西印度群岛和大西洋属地问题向维希政府作出了保证，但并未发生严重的破裂（应该是戴高乐占领圣皮埃尔岛和密克隆岛未造成美国和维希政府关系破裂？），维希政府愿意与行动更快的一方站在一起。

2.丘吉尔宣称德国在非洲海岸的海军基地可能对大西洋的交通构成巨大威胁。在提及通过南大西洋和开普敦的海上航线的极端重要性后，丘吉尔坚持保留这条航线，以保持护航力量的经济、安全和集中，因此整个太平洋战区东部将能够保持防御态势，不需要大量兵力。他还强调了阻止日本舰队和德国海军为攻击驶往远东的船只进行的可能接触的重要性，而如果德国人成功在非洲海岸建立基地，这种情况就会发生。

丘吉尔成功地说服罗斯福和总司令让出突击部队，这些部队本是事先安排在大西洋海区行动，按照太平洋海区的军事和舰队领导人的计划使用。相反，这些部队将在数量上和物质上得到加强。

3.公布的工业总产值增幅超过军工生产管理局计划原定10%的数据，展现出了各行各业都可以达到这个数字的信心，除了其中一些，特别是汽车，出于在战争状态下恢复自己和平时期的产能的愿望，它提出了建设特别军工厂的独立方案。军工生产管理局副局长克努森反对该计划，而丘吉尔在比弗布鲁克的帮助下设法打破了反对。结果就是出现了公布的这个计划，然而，在前六个月，工业产出预计不会有强劲增长，只是在1942年的最后三个月，公布的计划将完成40%。

4.鉴于1942年前6个月不会实现既定计划，为什么不能满足军用物资供应的所有要求，在讨论中提出了进一步重新分配的问题。然后出现了落实这一问题的多种可能性：

a）减少对英国的供应。

b）减少对苏联的供应。

c）推迟进攻行动，例如在太平洋，减少船舶交通，甚至以丧失现有领土和阵地为代价。根据上述的所有可能性，就该问题达成了折衷解决方案。

丘吉尔同意在德国在北非或中东开始进攻的情况下，一定程度地减少对苏联的补给，因为这样德国人将被迫在俄罗斯战线上占据防御阵地，并且任何威胁突破会变小。

作出的决定已经产生了效果，即澳大利亚人和荷兰人反对丘吉尔的这种计划并公开谴责它。然而，美国人找到了一个折衷的解决方案，即为澳大利亚人和荷兰人派遣他们齐装满员的武装部队并运送一些军事物资。对英国也作出了同样的决定，将派遣美军替换训练有素的英军，在这种情况下，这些替换下来的英军可以转移到现有的战区，与美国大西洋突击部队进行联合作战。

5.后者与决定向爱尔兰施压，迫使其将爱尔兰海军基地移交给美国的决定密切相关。首先，美国军队将在北爱尔兰登陆，在美国人自己的努力下，已经在那里建立了几个基地。该计划的

实施将确保英国的海上护航船队横渡大西洋。此外，美国军队将准备好在德国袭击爱尔兰或爱尔兰决定终止中立的情况下进入爱尔兰。在英国承诺将首先使用自己军队的情况下，美国军队将在英国进行训练。

6.决定在交通线沿线以下地点建立基地：特立尼达、达喀尔、开普敦、福克兰群岛、德里、马德拉斯和仰光，美国海军和地面部队将驻扎在这些地方。

7.同时决定开始与葡萄牙的最后谈判，在它同意与盟国政府建立秘密联盟的情况下，向其保证在战争结束后保留它的帝国和它以前的边界并对其作出一系列的小让步。为加强他们的守备部队，葡萄牙将应该保证向其殖民地派遣军队，以防止突然袭击并在德国入侵的情况下挽救大部分军队。此外，有传言说正在进行关于在葡萄牙制造威胁德国人侧翼的谈判——如果德国人胆敢通过西班牙入侵直布罗陀的话。虽然英国人质疑这是否明智，但美国人非常重视这样的运动。葡萄牙对该提议的反应是积极的，并制定了必要的计划，其有效性将在未来得到体现。

8.最后，决定了美国将对维希政府施加最后的压力，并获得它的保证，以便在德国进军西班牙的情况下在北非组织抵抗。尽管维希集团里有很大的反对意见，但美国人相信他们当中有足够强大的支持来实现美国想要的结果。尤其是，维希集团情绪的变化可以用苏联抵抗的成功和世界同盟的最终建立来解释。另一方面，德国人正在推动法国陆军和海军的决定性变革，达尔朗显然同意了这一点。

盟军战略中的混乱的一点是，美国人无法不期待德国在北非的打击，尽管英国人说这样会失去行动突然性的主动权和速度。所有这一切都还处于大辩论的过程中。”

——苏联内务人民委员部情报局局长

菲京

译自:《俄罗斯外国情报史文集(6 卷)》第 4 卷 1941—1945,莫斯科 1999 年版,第 546—549 页。

205

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于苏联内务人民委员部机构在敌后活动的特别报告

（1942 年 2 月 13 日）

编号 191/б

根据您的指示，内务人民委员部会同前线地区的党组织，在战争期间开展了训练和派遣游击队、战斗、破坏和侦察小组到敌人后方的工作。

内务人民委员部战斗营的最优秀的战士和指挥官、地方的党和苏维埃积极分子是派往敌后的支队和小组的基础。

对转移到敌人后方的支队和小组的训练是在小型武器和爆破专家教官的参与下，在内务人民委员部州局和地区处的课程中进行的。

自用武器、手榴弹、燃烧液体、炸药和弹药的装备是由内务人民委员部用可用资源提供的；缴获的武器和弹药被大量使用。

需要注意的是，在一些情况下，地方上用土办法制造了手雷和反坦克手榴弹、无声射击的迫击炮、燃烧瓶投掷装置、延时地雷等，用于武装游击队员。

在游击队预计活动的地区，事先建立了食物、武器和被服的基地，在敌人占领该地区的情况下，可以为留在敌占区的游击队的行动提供 2—3 个月的供给。

处于前线的州和共和国（列宁格勒、加里宁、莫斯科、斯摩棱斯克、奥廖尔、库尔斯克、图拉、梁赞、罗斯托夫州、卡累利阿—芬兰、白俄罗斯、乌克兰苏维埃社会主义共和国）在敌后总共有 1600 个游击支队 27000 人，500 个破坏小组 2250 人。

此外，在前线地区正开展日常性的工作，用战斗营的战士、契卡干部和地方苏维埃积极分子组建新的支队和小组，将他们送到敌人的后方。1941 年下半年，总共有 198 个游击支队 43796 人和 1033 个破坏小组 4893 名破坏小组战士被部署到敌人的后方。

游击队、战斗、侦察和破坏小组，留在被敌人占领的领土上，随后转入敌后作战，主要执行消灭敌人有生力量、设备和破坏铁路交通、桥梁、通讯等的任务。游击队摧毁的目标主要由军事总指挥部拟定——司令部分配给他们战斗任务。战争期间被内务人民委员部派出的游击支队最具特色的作战行动如下：

1.1941 年 9 月，苏联内务人民委员部将一支由 34 名内务人民委员部军官组成的游击支队投入敌人后方，以国家安全大尉Д·Н·梅德韦杰夫同志为指挥官。该支队的活动区域是奥廖尔和斯摩棱斯克州。在投入敌后 4 个月后，该支队凭借携带武器逃出敌人包围圈的红军指战员的加入，人数增至 230 人。

该支队进行了 50 次军事行动，消灭了 425 名官兵，其中包括 2 名将军，炸毁了 9 架飞机、10 辆汽车、4 辆蒸汽机车、30 节车厢、10 座桥梁、6 家工厂和大量军事装备。该支队策划了 3 起军用列车相撞事故。

在对奥廖尔州日兹德拉市和霍季姆斯克市的突袭行动中，德国指挥官办公室和自治市政厅被完全摧毁。接下来的几天，梅德韦杰夫同志的支队把这些城市牢牢掌握在手中，后来在自治机构中清除了叛徒和变节分子，支队补充了必要的食物，拿走了 60 万苏联卢布和德国马克，然后为了接下来的行动，离开城市前往森林里。

在梅德韦杰夫同志所在支队的军事行动中，有 8 人牺牲，其中包括该支队参谋长、内务人民委员部部队三级军事工程师Д·Д·斯塔洛维罗夫同志以及小组指导员，内务人民委员部部队二级军事技术员А·Ф·博格柳波夫同志——他们英勇战斗到最后一颗子弹。

在 16 名伤员中，12 人康复并归队。

战斗行动结束后，支队于 1942 年全员返回莫斯科——230 人。

2.内务人民委员部莫斯科局组建了两个游击支队，由国家安全上尉卡维尔兹涅夫同志和国家安全中尉巴巴金同志领导，他们连同一个由内务人民委员部部队中尉卡拉谢夫同志指挥的游击支队于11月被调到西部前线，任务是消灭位于莫斯科州乌戈茨基扎沃德镇的德第12军军部。

在袭击中，多达450名德国士兵和军官，包括一名将军，被游击队歼灭；军部房屋和守备队被消灭，燃料和弹药库被烧毁，多达120辆汽车和多达150匹战马被毁，通讯被切断，并缴获了军部的文件。

行动中，有4名游击队员牺牲，8人失踪，3人受伤。伤者中有游击支队队长、内务人民委员部部队中尉卡拉谢夫同志。

游击队行动的成功通过一系列截获的德军和兵团司令部的命令得到证实。

例如，1941年11月25日的德国第127步兵师指挥部的命令当中提到：“最近，许多地方的敌人已将单个的人或整支部队投送到前线后方，以便经常地烧毁后方的定居点。11月24日晚，一个约300人、装备精良的战斗机营，袭击了第12军所在的乌戈茨基扎沃德。”

由于游击队的成功行动，西方面军军事委员会向最杰出的游击队员及其领导人颁发了苏联勋章和奖章。

3.在1941年11月被乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部派出的由内务人民委员部部队少校卓别林同志指挥的游击支队袭击了位于乌克兰苏维埃社会主义共和国阿尔乔莫夫斯克地区的谢列布良卡村的德国部队指挥部。打死了36名德国士兵并俘虏了2名军官，同时缴获了军部的文件和各种军事物资。

第二天，游击队袭击了邦达里村的驻军，在那里他们杀死了80名德国士兵和2名军官。

由战斗营政委萨布罗夫同志指挥的乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民部游击支队从乌克兰领土穿越到奥廖尔州特鲁布切夫斯基区，与四个地方支队联合。1941年12月下旬和1942年1月上旬，由151人组成的联合支队发动了一系列袭击，消灭了8辆载有敌军步兵的车辆、25名德国警察和苏泽姆卡地区的整个法西斯地方行政机构。同时，游击队员缴获了战利品：2挺机枪、2把冲锋枪、50支步枪、12000发弹药、一辆汽车和12辆自行车。

之后，游击队炸毁了特鲁布切夫斯基区的 2 座铁路桥，炸毁了铁轨，并造成一辆装有军用货物的火车失事。

萨布罗夫同志的支队还在该处，我们通过无线电与其保持联系。

4.1941 年 12 月下旬，在外奥涅加地区敌后行动的卡累利阿—芬兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部 708 人的游击旅对芬兰驻军进行了多次成功袭击。

这些行动使森诺古布村苏维埃地区所有芬兰侵略者被清除，游击队杀死了 71 名芬兰士兵和军官，13 名芬兰人受伤、17 人被俘，其中包括 1 名军官和 7 名下士。

与此同时，该旅从芬兰人那里缴获了 12 挺重机枪、2 把冲锋枪、50 支步枪、3 万发子弹、军部文件和各种军事装备。

5.由内务人民委员部军官 A·A·罗普霍夫斯基同志指挥的 7 人游击小组被内务人民委员部加里宁州局派遣到敌后，该小组消灭了 100 名德国士兵，成功实施了两次火车相撞，摧毁了一个弹药库，炸毁了 2 辆坦克、4 辆摩托车、2 辆弹药车和 1 个敌人军部汽车，摧毁了通讯设施并俘虏了一名军官。

6.1941 年 12 月 27 日，在警察中士杰杰尔切夫同志和支队政委、国家安全中士马克耶夫同志的指挥下，图拉州切尔别斯基区的游击队在梅日博尔车站炸毁了一条铁路线。

这次行动确保了挺进当中的红军部队对利赫温站的占领，德军因此无法取出装载着汽车、摩托车和自行车以及大量食物、步枪和弹药的两节车皮。

我们的两个师用缴获的武器和给养进行了补给。

在这次行动中，游击队打死了德军 27 名士兵、5 名军官，并从敌后接应了撤退的 4500 名红军士兵和指挥官。

根据苏联最高苏维埃主席团令，游击队员被授予勋章和奖章，支队士兵切卡林同志被追授苏联英雄称号。

与此同时，游击队消灭了地方居民当中敌人的叛徒和帮凶。游击队还在支队活动地区的群众中进行了解释工作和政治鼓动。

总的来说，游击队行动的结果，根据卡累利阿—芬兰苏维埃社会主义共和国、列宁格勒、加里宁、莫斯科、图拉、奥廖尔、库尔斯克、罗斯托夫州和乌克兰苏维埃社会主义共和国的不完全统计，游击队的袭击给敌人造成的损失为：21,180 人被杀、受伤和被俘（其中 751 人是军官）；摧毁指挥部 52 所；摧毁战斗机 33 架；摧毁坦克和装甲车 180 辆；摧毁枪支和迫击炮 81 件；缴获或报废机枪和冲锋枪 267 件；瘫痪的汽车和摩托车 2005 辆；摧毁桥梁、仓库和敌人基地 398 座；摧毁部分通讯线路 923 条；缴获的步枪 1240 支；捕获的弹药 127400；缴获的自行车 132 辆；被摧毁的广播电台 12 座；摧毁的载有货物的货车 449 辆。

游击支队和破坏小组进行了大量工作，在敌人占领的领土上的公路、铁路、工业企业中埋设地雷，摧毁敌方铁路的机车车辆，以及破坏敌占区的粮食储备和工业原料。

战争期间，内务人民委员部的前线机关在敌后进行了重要的侦察工作。为了这些目的，契卡干部被编入游击支队中，他们被分配了侦察性质的任务。仅在加里宁、莫斯科、图拉州和乌克兰苏维埃社会主义共和国，3314 名侦察特工经常越过前线，提供有关敌人总部位置、火力点、机场和部队部署的信息。这些特工获得的情报会立即报告给相应的军事兵团和指挥部以供作战使用。

游击支队和侦察人员还从敌后接应了 33000 被敌人包围的红军指战员撤退。

内务人民委员部机关继续训练游击队和破坏小组并将其调动到敌人的后方。从现在已经清除了法西斯侵略者领土的地区，游击支队和小组正在向仍然有敌军的邻近领土转移并进行颠覆工作。

在战争期间，根据苏联最高苏维埃的法令以及方面军军事委员会的决定，490 人被授予苏联勋章和奖章。图拉州的一名游击队员被追授苏联英雄称号。

最近几天，一些游击队从后方返回，苏联内务人民委员部认为他们的行动成功地消灭了敌人，我们正在申请向 206 名最杰出的领导人和战士授勋。

其中：5 人——列宁勋章；42 人——红旗勋章；79 人——红星勋章；5 人——荣誉勋章；33 人——“勇气”奖章；42 人——战功奖章。

随函附上苏联最高苏维埃主席团法令草案，请您作出决定。

——苏联内务人民委员贝利亚

译自：《伟大卫国战争中的苏联国家安全机构》莫斯科 2003 年版，第 116—121 页。

206

П·М·菲京致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国外交部秘密备忘录的特别报告

（1942 年 2 月 20 日）

副本

绝密

国防委员会

斯大林同志、莫洛托夫同志、贝利亚同志：

我们将今年 1 月 15 日英国外交部的秘密备忘录的内容通知您，该备忘录已发送给政府成员知悉。

备忘录的内容是苏联内务人民委员部情报局通过特工途径从伦敦获得的。

“关于德国局势的备忘录。

自 12 月中旬以来，英国媒体上出现了许多关于德国军队困境、内部分歧和德国士气恶化的文章。因此，不无明显原因，英国公众开始认为德国战败将很快到来，甚至在夏季之前结束欧洲战争。这种思维方式是非常危险的。一般来说，刊物基于的是以下形势：

1.希特勒与将军之间的冲突，最极端的表现体现在 12 月 21 日布劳希奇被解职上。

德军在俄军的强大压力下撤退。

冬季物资收集以及希特勒、戈培尔和他们的伙伴异常悲观的圣诞和新年演说。

关于德国动乱，关于在街道十字路口安排配备机枪的巡逻队，关于希特勒将他在东线的总部转移，关于从东线召回党卫军部队，以及关于在军队和德国东部之间建立防疫警戒线的消息。

关于军队逃兵人数增加，关于从东线撤出进行补给和重组的部队悲惨的身体和道德状况，以及关于在贝桑松、康斯坦茨、别尔哥罗德和其他地方处决德国士兵的信息。

伤寒传播的报告。

当然，以这种方式呈现的画面被描绘为有利的，但不幸的是，许多事实尚未得到证实，他们的解读在很大程度上过于乐观。

让我们挨个观察这些情况：

毫无疑问，最近希特勒和他的将军们在如何进行俄国战役的问题上出现了分歧，军队和党的关系不健康。但这有多危险，我们还没有足够的信息来下结论。

2.在忍受主要目标失败的同时，德军开始有计划地撤退，俄军成功的程度只能通过他们给德军撤退带来多大程度的混乱来判断。到明年春天，德国人可能能够发动攻势，这个攻势一旦开始，就可能取得重大成功。然而，报纸里的报道只给出了这样的印象，德军处境艰难，俄军已经突破了希特勒式的维亚济—布良斯克防线，正在夺取大量军事物资（例如，最近的关于 14 个坦克师和 10 个步兵师的军事物资被缴获的报道）和德国人正面临石油严重短缺问题的报道。

3.至于希特勒和戈培尔在新年和圣诞节前的悲观讲话，这可能是因为希特勒得出了东线局势不可再隐瞒的结论，并希望借此使冬衣收集工作更加成功（据说已经收到超过 6000 万件保暖衣服）。这只能佐证处于良好精神状态的德国平民有着非凡的信心。根据我们大多数最好的消息源的消息，德国没有出现任何民众士气显著下降和有组织的反对派的迹象。毫无疑问，作为东线战役的结果，德国士兵的士气有所下降。至于平民百姓，冷漠可能已经让位于没有把握甚至怀疑。毫无疑问，老年人的消沉和厌战情绪有所增加，但是 35 岁以下人群的纪律性和狂热性在我们看来，仍然没有动摇。

因此就留下了一个存在争议的问题：什么时候德国人的士气会真正开始崩溃，那种像1918年发生的迅即的崩溃，而不是逐渐发生的崩溃。

4.关于党卫军从东线撤出的消息是错误的。处于休息和补给目的从东线撤出的党卫军部队并不比别的作战部队多。几个月前，希姆莱将他的总部搬到了东线——他定期访问的东线。到目前为止，没有发生严重的骚乱，除了偶尔发生的混乱情形（例如，排队抢食物），关于在街上设立机枪巡逻队的信息也完全没有得到证实。

5.事实上，逃兵人数并没有明显增加。自然，对于拥有286个师的军队的德国军事当局而言应该时不时地对身处占领区的不听话的士兵采取点更严厉的措施。从东线返回的德国士兵可能会说，他们不返回东线会比较好，但没有证据表明他们不会遵守返回俄罗斯前线的命令。从前线撤出补给的部队往往处于可怜的状态中，但如果不是这样，他们就会继续留在第一线。

关于斑疹伤寒的传播，迄今已确诊40例，发病地在奥德河畔法兰克福以西的地区。但是，我们必须记住，伤寒是东欧的一种流行病，很自然地，随着军事行动的进行，伤寒的传播范围会进一步扩大。我们已经热情地利用斑疹伤寒在德国和被占领土上进行恐吓宣传，因此我们必须小心不要落入我们自己设置的陷阱。”

——苏联内务人民委员部情报局局长

菲京

译自：《俄罗斯外国情报史文集（6卷）》第4卷1941—1945，莫斯科1999年版，第550—552页。

207

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于出于军事目的使用铀原子能的特别报告

（1942 年 3 月 1 日）

绝密

苏联国防委员会

斯大林同志：

在一些资本主义国家，与正在进行的通过原子核裂变获得新能源的工作相关，铀的原子能用于军事目的的研究已经开始。

1939 年，法国、英国、美国和德国展开了深入的研究工作，以开发出一种利用铀制造新型爆炸物的方法。这些工作是在高度保密的情况下进行的。

从所附的苏联内务人民委员部通过特工途径在英国获得的关于铀委员会在铀原子能问题上的活动的绝密材料中，可以清楚地看出：

a）英国战时内阁考虑到德国有可能能成功解决这一问题，非常重视将铀原子能用于军事目的的问题。

b）战时内阁铀委员会，由英国著名物理学家 G·P·汤姆森协调英国重要科学家的工作，这些科学家在研究使用铀原子能的问题——从理论方面和纯粹应用方面，即制造具有巨大破坏力的铀炸弹。

c）这些研究基于铀的一种同位素 U-235 的使用，它具有高效裂变的特性。为此，需要使用铀矿石，其中加拿大、比属刚果、苏台德地区和葡萄牙有最可观的储量。

d）侨居英国的法国科学家哈里班和科瓦尔斯基开发了一种利用重水处理过的氧化铀分离铀 235 同位素的方法。

英国科学家佩尔斯教授和物理科学博士比奇开发了一种使用西蒙博士设计的扩散装置分离反应性同位素 U-235 的方法，推荐在铀的生产中实际使用。制造铀炸弹。

e）在开发提取生产 U-235 方法的过程中，除了英国的一些研究机构外，伍尔维奇兵工厂以及“大都会维克斯”公司和化学康采恩“帝国化学工业”也直接参与其中。该康采恩对获得 U-235 和生产铀弹的方法的发展状况进行了以下评估：

“利用原子能制造铀弹的研发工作已经到了需要广泛开展工作的阶段。这个问题可以解决，必要的工厂也可以建起来。”

f）铀委员会正在寻求与相关研究机构和美国公司（杜邦）的合作，仅限于理论问题。

应用方面的开发基于以下主要情形，并通过理论计算和实验工作确认，即：

伯明翰大学教授 R·佩尔斯从理论上确定了 10 公斤 U-235 的重量是一个临界值。这种物质的量如果低于临界值，那它是稳定且完全安全的，而当 U-235 的质量超过 10 公斤时，就会发生渐进裂变反应，引起巨大爆炸。

在设计炸弹时，活性部分应由两个相等的一半组成，它们的总和超过临界值。根据伍尔维奇兵工厂研究部的菲尔博森教授的说法，要使这些 U-235 部件产生最大的爆轰力，位移运动的速度必须在 6,000 英尺/秒的范围内。随着这个速度的降低，铀原子裂变的连锁反应会发生衰减，爆炸的威力显著下降，但仍超过普通炸药的爆炸威力很多倍。

泰勒教授计算过，10 公斤 U-235 的破坏作用相当于 1,600 吨 TNT。

铀弹生产的全部复杂性在于难以将铀的活性部分——U-235 与其他同位素分离，制造防止解体的弹壳，以及获得所需的位移运动速度。

据帝国化学工业公司（ICI）康采恩的数据，分离 U-235 同位素需要 1,900 套西蒙博士的系统，成本为 3,300,000 英镑，整个工厂的成本将在 450-500 万英镑。

有了这样一个每年生产 36 颗炸弹的工厂，一枚炸弹的成本将是 236,000 英镑，而 1,500 吨 TNT 价值 326,000 英镑。

对有关英国军事用途铀问题发展的材料的研究得出以下结论：

英国最高统帅部考虑从原则上解决铀原子能（U-235）在军事用途上的实际应用问题。

英国战时内阁铀委员会为设计和建造铀弹制造工厂对初步理论部分进行了研究。

英国顶级研究机构和大公司的科学家们的努力和潜力被整合起来，旨在解决特别机密的铀235 问题。

英国战争内阁正在处理有关组织铀弹生产原则性方案的问题。

基于铀 235 原子能的实际应用问题对于苏联军事目的的重要性和紧迫性，建议：

解决在苏联国防委员会下建立一个科学和咨询机构的问题，该机构由权威人士组成，以协调、研究和指导苏联所有科学家、科学研究组织处理铀原子能问题的工作。

确保著名专家秘密知悉苏联内务人民委员部关于铀的材料，以便进行评估和适当使用。

按：苏联的核裂变问题由苏联科学院的卡皮察院士、列宁格勒物理研究所的斯科别利岑院士和哈尔科夫物理技术研究所的斯卢茨基教授来研究。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：《俄罗斯外国情报史文集（6 卷）》第 4 卷 1941—1945，莫斯科 1999 年版，第 673—675 页。

208

П·М·菲京致И·В·斯大林关于从英国消息源处收到的信息的特别报告

（1942 年 3 月 14 日）

根据与美国驻英国大使馆有联系的可靠消息源的信息，位于伦敦的苏联内务人民委员部情报局的情报站长报告如下：

“美国人圈子对德国军舰沙恩霍斯特号、格奈森瑙号和欧根亲王号离开布雷斯特非常关注。根据美国人的说法，这是法西斯在美国向苏联承诺的大部分军事物资将运往苏联的那一刻，切断与摩尔曼斯克和阿尔汉格尔斯克的联系的计划部分实施。相信这些舰艇将与冯·提尔皮茨号和另外两艘最近建造的战列舰协同工作，以阻止向苏联运送大量军需物资的行动。美国人记得 1940 年夏天纳粹对船队的成功袭击。他们不相信纳粹有意攻击冰岛或准备入侵英国。

这个观点被转达给英国人，美国人声称有必要立即纠正这种情况。美国人怀疑所有这三艘船都受到严重损坏。他们援引在布雷斯特轰炸船只的经历，并说威廉港和汉堡的船只照片可能是假的。英国人则声称，当船只通过海峡时，北海开始进入天气十分恶劣的时期。雾、雪、雨、冰雹和风暴意味着，在船只离开一周后，能见度非常差，以至于潜艇和船只在 200 码的距离内几乎看不到任何东西。

海军部认为，在这种情况下，潜艇用鱼雷击中欧根亲王号简直就是一个奇迹。

尽管如此，美国人推测德国人在海峡进行了一次巧妙的集结，以将英国人的注意力和力量从德国海岸转移，并允许他们的其他大型海军编队从奥斯陆向北穿过特隆赫姆，甚至可能更远。到纳尔维克、哈尔斯塔和特罗姆瑟，那里正在为攻击船队和封锁俄罗斯北部港口做最后的准备。因此，美国人提议将海军力量集中在该地区，以便用相应的舰队护送即将前往俄罗斯的运输船队。”

——苏联内务人民委员部情报局局长

菲京

译自:《俄罗斯外国情报史文集(6 卷)》第 4 卷 1941—1945,莫斯科 1999 年版,第 560—561 页。

209

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于运动员中“亲法西斯”情绪的特别报告

（1942 年 3 月 19 日）

绝密

编号 444/б

联共（布）中央

斯大林同志：

苏联内务人民委员部有材料证明以下运动员的亲法西斯情绪和敌对工作：尼古拉·彼得罗维奇·斯塔罗斯廷，联共（布）党员，莫斯科城市会社“斯巴达克”主席；安德烈·彼得罗维奇·斯塔罗斯廷，联共（布）党员，“体育和旅游”工厂董事长，和彼得·彼得罗维奇·斯塔罗斯廷，联共（布）党员，“斯巴达克”会社生产联合企业厂长。

1937—1938 年，对由德国驻莫斯科大使馆雇员冯·赫瓦德在体育工作者中创建的间谍组织案件的清算调查确定了尼古拉·斯塔罗斯廷和安德烈参与该组织的情况。

对该组织的被捕成员В·Н·斯捷布列夫、В·Н·里亚博孔和С·Г·克里沃诺索夫的调查显示Н·П·斯塔罗斯廷与赫瓦德有联系并执行他的带有间谍性质的任务。

В·Н·斯捷布列夫、В·Н·里亚博孔和С·Г·克里沃诺索夫自己的证词在审判中得到确认并被定罪。

在进一步深入调查的过程中，得到了Н·П·斯塔罗斯廷和他的兄弟们有反苏情绪，并散布诽谤联共（布）和苏维埃政府领导人的谎言的情报。

在莫斯科附近进入战争紧急状态之际，尼古拉·斯塔罗斯廷和安德烈向他们的周围人散布失败主义情绪，准备留在莫斯科，希望在城市被德国人占领的情况下执掌“俄罗斯体育”。

斯塔罗斯廷兄弟这一时期的政治情绪可通过以下迹象来判断。

安德烈·斯塔罗斯廷对与他关系密切的亲信说：

“德国人将占领莫斯科、列宁格勒。占领这些中心——这是布尔什维主义的终结、苏维埃政权的消灭和新秩序的建立……

1929 年吸引我入党的布尔什维克思想，现在已经完全消失，一点痕迹也没有。”

1941 年 11 月举行的特别的小晚会记录了尼古拉·斯塔罗斯廷及其家人的以下言论：

H·斯塔罗斯廷：“这是德国攻势的第 11 天，嗯，一周后他们就会来到这里。我们要赶紧把公寓收拾好，明天把一切都安排妥当。”

“……如果你要住房间，只需要从犹太人那里拿就是了，因为他们不会再来这里了。”

妻子：“……戈利齐诺离莫斯科 10 公里，小女子（斯塔罗斯廷的女儿）要学德语，我也要学，不然德国人会来，可我连话都不会说……”

斯塔罗斯廷：“是的，有趣的生活即将到来。”

妻子：“1917 年很有趣，为生命而战，现在他们正在摧毁一切。”

斯塔罗斯廷：“那时候有什么有趣的吗？”

妻子：“推翻沙皇制度”。

斯塔罗斯廷：“现在正在推翻共产主义。”

妻子：“很快……”

为了准备与德国占领当局合作并把阶级异己分子聚拢到自己的周围，斯塔罗斯廷开始积攒物质财富（外汇、黄金）和食品储备。

已经确定斯塔罗斯廷家族与“斯巴达克”体育会社所属的工业合作社和工业企业系统中侵吞社会主义财产的团伙有关联。

这个团伙大范围地进行肆无忌惮的活动，特别是在战争期间。该团伙成员目前已有 15 人被捕。被告人的证词揭露尼古拉·斯塔罗斯廷为该组织的领导人之一。

尼古拉·斯塔罗斯廷利用他在苏维埃机构和经济机构的个别领导人中的关系，收受巨额贿赂，非法截留红军动员对象，并为阶级异己分子和犯罪分子安排在莫斯科的户口登记。

*苏联内务人民委员部认为有必要逮捕Н·П·斯塔罗斯廷和А·П·斯塔罗斯廷。

请您指示*。

——苏联内务人民委员

国家安全总政委贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.207.Л.96—98.原稿，机打。

在第一页上有批示：“以外汇投机和盗窃工业合作社财产的罪名——逮捕。И·斯大林”。

*-*铅笔下划线。

210

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于拘捕德国破坏分子的特别报告

（1942 年 4 月 25 日）

编号 732/б

绝密

国防委员会

斯大林同志：

*1942 年 3 月至 4 月，内务人民委员部拘捕了 76 名德国军事情报人员，他们作为侦察和破坏团体的组成人员被飞机空投部署，并单独从事间谍和破坏工作*于沃洛格达、雅罗斯拉夫尔、伊万诺沃、亚历山德罗夫（伊万诺沃州）、奔萨、莫洛托夫、坦波夫、古比雪夫、斯大林格勒、喀山、高尔基等城市和西方面军的军事后方。

从被拘留者身上缴获了 21 个便携式无线电收发电台，他们应该通过这些无线电台加密传输收集到的信息并报告破坏行动的结果。

所有*这些德国特工都是前红军指战员*，他们被德国人俘虏，在情报学校被招募和训练。*其中，原红军中级指挥官 25 人、初级指挥官 19 人、普通士兵 32 人。

部分被派来的特工（23 人）自愿出现在内务人民委员部机关内并坦白。

为了限制德国情报机构在上述城市的活动，并制造被派来的间谍团伙和个人执行德国情报任务工作的假象，我们设法用 12 个被捕获的敌方无线电台与德国在华沙（德国军事情报中心）、普斯科夫、德诺、斯摩棱斯克、明斯克、哈尔科夫、波尔塔瓦市的情报机构建立了无线电联系。

苏联内务人民委员部认为，*被俘获的德国电台可用于红军最高统帅部的利益，在红军部队的部署和重组方面误导敌人*。

因此，如果您认为这项措施是适当的，我们认为有必要**指示红军总参谋部作战局局长波金同志和情报总局局长潘菲洛夫同志制定一个规程，用于炮制针对敌人的虚假信息的材料，并将其转交给苏联的内务人民委员部，以通过被俘获的德国电台付诸实施**。

请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.50.Д.404.Л.60—61.原稿，机打。

第一页上有批示："贝利亚同志，我同意波金和潘菲洛夫同志之前给我看的他们的虚假信息规程。И·斯大林"。

*-*铅笔下划线。

-在页边空白处划掉一笔。

注释：

随着与德国侦察破坏部队作战经验的积累，国家安全机构的活动有了新的方向。在卫国战争期间，可操作的无线电台向敌人提供错误情报。在战争期间，使用了 152 个被俘德国特工的无线电台。仅由于无线电台，军事反间谍部门就识别并逮捕了 400 多名敌方特工（详见：В·В·科罗文《卫国战争期间的苏联情报和反间谍部门》，莫斯科 2003 年版）。

211

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕“反革命”集团领导人М·П·姆加尔的特别报告

（1942 年 4 月 28 日）

编号 748/б

绝密

国防委员会

斯大林同志：

今年二月。苏联内务人民委员部收到情报，称雅罗斯拉夫尔铁路交通局莫斯科分支机构政治处指导员米哈伊尔·普罗科菲耶维奇·姆加尔，自 1939 年以来的联共（布）党员，在散播反苏言论，并且把心怀不满的人聚集在他周围。

进一步核实发现，М·П·姆加尔正起草反革命文件，以便复制和分发。

根据这些信息，姆加尔被我们逮捕。

在 М·П·姆加尔处的搜查发现了他编纂的一些反革命文件。尤其是《现代奴隶制之国》、根据计划拟定关于战争的反革命文件的纲领和对抗苏维埃政权的实际任务的清单。

文件附后。

初步调查确定 М·П·姆加尔和志同道合的人一起，打算建立一个叫做“劳动人民党”的反革命组织，并指定自己为这个“党”的中央委员会成员。

寄希望于苏联在与德国的战争中失败，姆加尔通过反革命组织成员И·П·绍金采取措施与德国人建立联系，以获得开展敌对工作所需的资金和指示。

本案共逮捕 5 人：

1.米哈伊尔·普罗科菲耶维奇·姆加尔。

2.伊万·彼得罗维奇·绍金，联共（布）党员，雅罗斯拉夫尔铁路交通局莫斯科分支机构政治处《在斯大林的道路上》报纸执行主编。

3.亚历山大·依拉利翁诺维奇·阿佐夫，联共（布）党员，雅罗斯拉夫尔铁路第 10 路段副段长。

4.瓦西里·瓦西里耶维奇·布雷金，联共（布）党员，前加里宁铁路技师—建筑师，退休人员。

5.谢尔盖·安德烈耶维奇·奇斯佳科夫，前共青团成员，1919 年至 1922 年，后出于其自己的自由意志而退出，西北方面军对空勤务局排长助理。

调查仍在继续。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.207.Л.96—98.原稿，机打。

在第一页有批示：“抓。斯大林”

注释：

М·П·姆加尔编写的文件描述了斯大林建立的政权的特点。首先，工业化和集体化的快速发展受到了批评。作者指出，这些转变与巨大的压力、贫困化和人口物质条件的恶化有关。“历史上还没有人知道农民所遭受的人性泯灭的欺凌。”作者写道。他指出，斯大林把集体化的过激行为的责任推给了执行者，用军队镇压农民起义，用税收负担扼杀集体农户和个体农户。姆加尔用形象化的表达方式来描述人民的心情，包括小曲：“起来，列宁，起来，祖父们！五年计划骗了我们！”姆加尔展示了当局对批评斯大林路线的反对派进行的无情斗争。他的作品中还强调了使用强迫劳动、工人和农民被剥夺权利，以及低出生率等问题。姆加尔对政府在战争期间的政策分别进行了批评，这表现为他对苏维埃情报局关于前线真实情况的报告的不信任，

批评了对被俘的数百万苏联士兵的背叛，以及对他们的妻子和孩子福利关怀的缺乏。因此，他着手创建一个社会主义政党，与该政权作斗争，并加强与在反希特勒联盟中成为苏联的盟友的英国和美国的联系。

在伟大的卫国战争期间，打击后方和前线的所谓反苏组织是国家安全机关工作的最重要方向之一。我们可以同意P·斯蒂芬的说法，他指出，即使在战争期间，国家安全机关也保留了其战前时期惩罚性的特点，旨在加强斯大林政权（斯蒂芬《斯大林的秘密战争：苏联反间谍部队对抗纳粹》堪萨斯大学出版社 2003 年版，第 81 页）。在战争期间，仅国家安全人民委员部就发现了大约五千个所谓的反苏维埃反革命组织。

212

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于游击支队在斯摩棱斯克和奥廖尔州暂时被敌人占领的区域活动的特别报告

（1942 年 5 月 10 日）

编号 839/б

1942 年 5 月 1 日，在斯摩棱斯克州的敌后，我们与 40 个活动的游击队支队建立了联系，总人数为 15,520 人。

四个大游击支队直属红军指挥部："祖父"支队，人数 5200 人，占据多罗戈布日市和格林卡车站；拉佐支队——2,143 人和Ф·Д·支队——2363 人，他们叶利尼亚市地区活动；扎博支队 1608 人。

这些支队主要由被敌人包围的指战员组成。

其余的游击队主要由当地居民组成，并在内务人民委员部工作人员或地方党和苏维埃机构工作人员的领导下运作。

在这些支队中，规模最大的是 1500 人的卢基亚诺夫支队。剩余支队人数从 226 人至 23 人不等。

奥廖尔州德占区，活动着 65 个游击分队。到 1942 年 5 月 1 日，已与其中 47 个支队、总人数 10700 人建立了联系。

由 36 至 68 名军人组成的五个游击分队在红军指挥官的指挥下运作。一支 600 人的支队在奥尔洛夫大尉的指挥下在佳季科沃地区活动，奥尔洛夫大尉被西方面军司令部调到敌人后方，组建一个指挥部，以领导柳季诺沃、佳季科沃、奥尔忠尼启则格勒和布良斯克地区的活动。

佳季科沃市由佳季科沃区的游击队控制，由一名内务人民委员部工作人员先秋林指挥。

在一名内务人民委员部工作人员叶姆柳京的指挥下，9 支共有 8000 人的游击支队控制着纳夫梁斯基、特鲁布切夫斯基、谢夫斯基和布拉索夫斯基地区的领土。

1942 年 4 月 24 日，这些支队的南部联队占领了谢列金娜—布达、布卡列夫卡、切尔纳茨科耶等村庄。在战斗中，游击队击败了 3 个匈牙利营。

佳季科沃、奥尔忠尼启则格勒、茹科夫斯基和柳季诺沃区的游击队配备了 11 门大炮、15 门迫击炮、23 挺重机枪和 43 挺轻机枪。

奥廖尔州的游击队动员并运送了 15,000 人穿越前线编入红军；为国家国防基金募集了 650,000 卢布，并认购了 1,000,000 卢布的军事贷款，直接以现金收取的认购金额为 600,000 卢布。

在进行作战行动的同时，斯摩棱斯克和奥廖尔地区的游击队员不断进行军事和特工侦察。

游击队的一切行动，都与完成红军军事司令部的任务相关，是根据我军前线和敌后部队的利益进行的。

个别游击队由飞机提供急需的食物、药品和弹药。

为了组建新的游击队并让敌后活动的游击支队更加活跃，由指挥官和政治工作人员，以及由在从占领者手中解放出来的地区活动的游击队员组成的内务人民委员部作战小组正在被调往敌后。

正在采取措施与所有游击队建立可靠的通信，并向其中最大的支队提供无线电设备。

此外，苏联内务人民委员部组织了 8 支游击支队在斯摩棱斯克州活动，5 支游击支队在奥廖尔州活动。

这些支队的人数——每支 35 人。

苏联内务人民委员部游击支队的主要任务是在敌后进行特工和军事侦察。

各支队定期向军事指挥部和中心传送有关敌军部队部署、防线构筑、机场位置、弹药库、我方航空兵轰炸结果等有价值的情报数据。

这些支队还组织破坏敌方交通。

1942 年 4 月 9 日至 20 日，在沃罗帕耶夫同志的指挥下，苏联内务人民委员部的一个游击支队在距离斯摩棱斯克 15 公里的鲁德尼亚—斯摩棱斯克铁路线上活动，用敌方畜力和设备使 3 辆军列脱轨，一座桥梁被炸毁，消灭了一个有 11 人的武装警察联队。

1942 年 4 月 13 日，在巴扎诺夫同志指挥下，斯摩棱斯克—奥尔沙线上活动的一个支队在克拉斯诺—奥西诺夫卡车站附近炸毁了一辆装有地雷的火车。火车倾覆导致一辆蒸汽机车、10 节车厢被毁，火车交通从 4 月 13 日中断至 25 日。

1942 年 4 月 21 日，赫沃斯托夫同志指挥的一个支队在维捷布斯克—斯摩棱斯克铁路沿线的列克文斯卡亚—普洛斯卡亚车站地区作战，用敌方的大炮和畜力炸毁了两个军列的地雷。爆炸造成多人伤亡。

1942 年 2 月 24 日至 5 月，在谢斯塔科夫同志的指挥下，苏联内务人民委员部的一个游击队在奥廖尔州的柳季诺沃地区作战，消灭了 4 名军官和 122 名敌军士兵、6 名警察，炸毁了铁路桥，拆除了 3 处铁轨，德国食品仓库被攻占。

——苏联内务人民委员贝利亚

译自：《伟大卫国战争中的苏联国家安全机构》莫斯科 2003 年版，第 421—423 页。

213

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于释放被囚专家的特别报告

（1942 年 6 月 16 日）

编号 1051/б

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

根据您的指示，被任命为航空工业人民委员部 500 号工厂的总设计师的А·Д·查罗姆斯基于 6 月 4 日，开始对 M-30 柴油发动机进行微调。同时，我下令派苏联内务人民委员部第四特别处的一批专家到这个工厂，他们在А·Д·查罗姆斯基的领导下工作，对 M-20 柴油发动机的设计和生产以及 M-30 柴油发动机的生产都有所了解。

在苏联内务人民委员部特种技术局工作期间查罗姆斯基和与他一起工作的个别专家对分配给他们的职责表现出非常认真的态度，并在解决重要的技术问题方面表现出有益的主动性和坚定性。

考虑到上述情况，以及需要为А·Д·查罗姆斯基提供独立解决与 M-30 柴油发动机微调相关的各种技术和组织问题的一切可能，*我认为向苏联最高苏维埃主席团提交提前释放申请是可取的，随着犯罪记录的删除，А·Д·查罗姆斯基和 8 名被监禁的柴油专家将被派往 500 号工厂*工作。

附专家名单，请您指示。

附：9 人名单

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

提请提前释放的被囚禁的苏联内务人民委员部第 4 特别处专家名单

1.阿列克谢·德米特里耶维奇·查罗姆斯基

2.阿法纳西·安提波维奇·舒米林

3.安德烈·德米特里耶维奇·格拉乔夫

4.斯捷潘·格拉西莫维奇·斯捷茨基

5.列昂尼德·谢苗诺维奇·塔特科

6.费多尔·马特维耶维奇·维列夫金

7.斯捷潘·马克西莫维奇·科萨科夫

8.伊万·伊万诺维奇·西多林

9.米哈伊尔·阿尔森蒂耶维奇·莫尔恰诺夫

核对无误。

——苏联内务人民委员部第 4 特别处处长B·克拉夫琴科

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.111—113.原稿，机打。*-*在页边空白处划掉两行并有批示：“同意。И·斯大林”

214

Б·А·德文斯基致И·В·斯大林关于从罗斯托夫州驱逐祖国叛徒家属的密电

（1942 年 6 月 16 日）

编号 3994ш

从罗斯托夫发出

莫斯科

中央书记斯大林同志：

第一，在曾被德军占领的罗斯托夫州的地区，仍有叛徒家属在德军被赶出罗斯托夫和一些地区时随德军离开。现在这些地方有红军部队，筑起了防御工事，这些家庭的情绪显然是坏的，必须尽快将他们赶走，因为让他们守在这里是越来越危险了。

*在从占领下解放出来的地区和罗斯托夫市，我们总共确定了 1447 个这样的家庭。

我请求您在未来几天内加快推进国防委员会关于驱逐此类家庭的决定*。

第二，如果我们从顿河左岸驱逐危险分子，那么就更有必要将这些人从右岸城市驱逐，这些城市是军队最近的后方（罗斯托夫、新切尔卡斯克、沙赫特、新沙赫金斯克、卡缅斯克、米列罗沃、红苏林、兹维列夫斯基区–利哈雅车站和曾经被侵略者占领的地区）。总的来说，这样的家庭数量由我们确定为一千左右。

我也请您加快审议这个问题。

——联共（布）罗斯托夫州委书记德文斯基

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.66.Л.47.原稿，机打。在页面上有批示：“贝利亚同志，您的意见？И·斯大林”

215

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于镇压祖国叛徒家庭成员的特别报告

（1942 年 6 月 18 日）

编号 1066/б

绝密

份数编号 1

国防委员会

斯大林同志：

1.根据现行法律和政府机构的决定，叛国者的家庭成员，根据俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法典 58-1«а»条和其他加盟共和国刑法典的相应条款，逃离或叛飞国外的处流放西伯利亚偏远地区 5 年（俄罗斯联邦社会主义共和国刑法典第 58-1«в»条和联共（布）中央及苏联人民委员会 1940 年 12 月 7 日的决定）。

此外，根据红军最高司令部大本营 1941 年 8 月 16 日第 270 号令，在战斗中撕下识别标志逃往后方或向敌人投降的指挥员和政工人员家属将被追究责任。对此类叛国者家属的镇压是根据军事法庭的判决执行的，这些判决被送往祖国叛国者家属居住地并由当地内务人民委员部机构执行。

战争期间，内务人民委员部共收到司法机关判刑 2,305 人，其中 1,852 人被内务人民委员部追究责任。650 个家庭没有被找到或被证明生活在被敌人占领的领土上。

内务人民委员部还采取措施镇压那些杀害了指挥官而投向敌方的军人家属。战争期间，各方面军共发生 16 起此类案件，为此 45 个家庭受到起诉，其中 24 个家庭被镇压，其余家庭正在落实镇压措施。

2.但是，犯有间谍罪或叛变并协助德国占领军，在被占领土内为德国占领军的惩戒和行政机构效力，以及在敌占区被解放时主动追随占领军逃跑的人员的家属，按照现有法律法规和政府命令的精神不承担任何责任。

内务人民委员部的机构在从敌人手中解放出来的地区对这类人员进行了记录。查明此类家庭 10298 个，总人口 37350 人（其中男性 2244 人，女性 15251 人，儿童 19855 人）。

此外，在苏联后方地区，有 1220 人因为德国的和与我们交战的国家从事间谍活动被定罪，2917 人因同样的罪行被调查。

在红军部队中，特务处以间谍罪、叛国未遂和叛国企图逮捕了 23,000 多人。

苏联内务人民委员部认为，这些人如果被判处死刑的话，对他们的家属也应该进行镇压。

在此附上国防委员会决议的草案，请您指示。

附：正文

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.57.Д.59.Л.68—70.原稿，机打。

216

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被敌军包围的沃尔霍夫方面军第2突击集团军司令部的特别报告

（1942年7月21日）

根据沃尔霍夫方面军内务人民委员部特务处的报告，从特务处工作人员和逃离包围圈的第2突击集团军指挥官那里得知，这支军队的指挥部陷入包围。

今年6月23日，失去了对南部和西部部队的控制的第2突击集团军军事委员会，决定将军部撤回第59集团军所在地。

同一天，根据军队指挥官弗拉索夫中将的命令，所有电台都被捣毁，因此与北方部队失去了联系。

6月23日23点钟，军事委员会和集团军司令部从德罗维亚诺田野地区的指挥所迁至格卢希察河东岸第57步兵旅指挥所，更接近敌军缺口所在地，第二天晚上，和特务处工作人员一起，在特务处连队的一群战士的掩护下，排成纵列，走向包围圈的出口。

在到达波利斯季河之前，在战场上，纵队迷失了方向，继续向北移动，遇到了敌人的掩体，掩体中的机枪、大炮和迫击炮向其开火。

负责前方警戒的内务人民委员部集团军特务处副处长戈尔波夫命令不许战斗，部队向右并继续前进，与此同时军事委员会成员和指挥官们躺在弹坑里并滞留原地。

枪声平息后，集团军司令弗拉索夫和集团军参谋长维诺格拉多夫上校返回第382步兵师指挥所，消失在森林中，而军事委员会其他成员和指挥官向不同的方向四散逃离。

特别是集团军军事委员会的成员祖耶夫和列别杰夫，政治部主任、团级政委加鲁斯和集团军特务处副处长索科洛夫加入了由团长博洛托夫上校指挥的第382步兵师的残余部队。

6月27日，祖耶夫、列别捷夫、加鲁斯和索科洛夫与多达600人的战斗部队向前冲出包围圈，但博洛托夫在战斗途中受重伤，部队失去控制，陷于敌人的炮火下的战斗人员四散逃往森林中，一些士兵投降了。

逃往森林中的还有军事委员会成员祖耶夫和列别杰夫、集团军特务处副处长索科洛夫，以

及内务人民委员部诺夫哥罗德区处处长格里申。

索科洛夫和格里申带着一群战士和指挥官前去侦察确定集团军司令弗拉索夫的下落，但没有找到他们，无功而返，而且也没有在预定地点碰上祖耶夫和列别杰夫，于是他们于今年 7 月 5 日自行逃出了包围圈。

索科洛夫从与不知道姓名的指挥官的谈话中，知道祖耶夫可能受伤了。

此外，索科洛夫、格里申以及从包围圈中逃脱的第 57 步兵旅火炮供应负责人祖布科夫说，当着他们的面，总参谋部联络官哈莫夫向第 267 步兵师师长波塔波夫上校报告，他说第 2 突击集团军内务人民委员部特务处长沙什科夫受重伤自杀，他的文件被哈莫夫没收。文件被立即交给了特务处副处长索科洛夫，后者将它们销毁。

哈莫夫和波塔波夫没有逃离包围圈。

7 月 8 日逃离包围圈的第 57 步兵旅第 3 营参谋长科齐尔上尉说，从第 46 步兵师通信营营长罗森伯格少校（他还没有逃出包围圈）那里，他知道弗拉索夫中将、参谋长维诺格拉多夫和第 46 步兵师师长切尔尼上校在 6 月 28 日位于格卢希察河边的森林里。

7 月 14 日，德国广播电台在最高统帅部的报道中播出：“在最近的沃尔霍夫包围圈打扫战场的过程中，第 2 突击集团军指挥官弗拉索夫中将在他的避难所被发现并被俘虏。”

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：《伟大卫国战争中的苏联国家安全机构》莫斯科 2003 年版，第 61—65 页。

217

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于斯大林格勒形势的特别报告

（1942 年 9 月 23 日）

编号 1614/б

苏联内务人民委员部报告东南方面军特务处的一份情报：“9 月 22 日，在第 62 集团军的防区，不超过一个步兵师的敌人在 70-80 辆坦克和飞机的支援下，在斯大林格勒市中心、察里察河谷、铁路桥区域和克鲁托伊峡谷地区进行了进攻性战斗，他们占领了大粮仓区域、第三路堤的铁路、中央码头的区域并直奔伏尔加河。

这样一来，第 62 集团军被敌人分成 3 部分，因此一些指挥官表示，有必要将用集团军的部队组建 3 支集群，隶属于第 62 集团军参谋部。

在第 64 集团军的防区，向前推进的敌人经过了一天激烈的巷战，取得了不同程度的成功，压制了我们的部队并占领了库波罗斯诺耶的南郊和库波罗斯纳亚小山谷。白天，敌机不断地以小飞机群向上述打击方向轰炸我军的战斗编队。

我军对敌造成重大损失。仅在市中心的一个区域，就有 25 辆敌坦克被击毁。

经过多日的顽强战斗，我军也损失惨重，主要是敌机造成的。比如，近卫步兵第 13 师还剩下 500 名能活动的士兵；内务人民委员部第 10 师——60 个能活动的士兵；第 42 旅——20 个士兵。其他一些前线部队的情况也类似。

由于兵团人数缺乏，目前 62 集团军最多只有五千人。

军事专家认为，撤出人数少的兵团指挥部并进行重组，转为齐装满员的兵团，兵团总数不超过 10 个是合理的，这样便于对部队的指挥和控制。

9 月 22 日，火箭弹齐射消灭了第 62 集团军第 3 拦阻营的一个连，该连由 23 人组成。正在对此进行调查。

今天，在敌人的进攻突破中，近卫十三师的两个连出现动摇，开始撤退。其中一个连的指挥官米罗柳博夫中尉也惊慌失措地逃离了战场，将连抛在了后面。第 62 集团军的拦阻支队迟滞了部队的撤退，恢复了态势。米罗柳博夫中尉在队列前被枪毙。

在第 62 集团军支队开展工作的特务处工作人员巴甫洛夫和这个支队 13 人的战斗小组在中

央渡口集合了不到 400 名各个部队的战士并率领他们冲锋陷阵。

第 62 集团军和第 64 集团军拦阻支队一昼夜扣留了 659 人，其中 7 名懦夫和 1 名破坏分子在队列前被枪毙。24 人被捕，其中：间谍 1 人、叛国者 3 人、懦夫 8 人、逃兵 4 人、自残者 8 人。其余被拘留者被送往各部队。

苏联内务人民委员

译自：《伟大卫国战争中的苏联国家安全机构》莫斯科 2003 年版，第 282—283 页。

218

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附关于战后欧洲安排和波兰角色的情报

（1942 年 12 月 23 日）

编号 2114/б

国防委员会

斯大林同志：

贝奈斯召见了苏联驻伦敦全权代表处顾问奇恰耶夫同志，并交出了波兰部长兼波兰战后重建委员会主席玛里安·塞达博士的报告，强调这是一份官方文件，文件反映了在伦敦的波兰领导层对未来欧洲安排和波兰作用的看法，并警告需要严格保密。

该报告以英文撰写，日期为今年 9 月，共 35 页，共 4 张草图，标题为：“波兰和德国以及欧洲的战后重建”。

序言指出，这些材料旨在总结波兰政界和经济界关于战后欧洲问题和波德关系的讨论。以下是报告摘要。报告分为 5 个部分：

1.总纲。

2.德国的解除武装和赔偿。

3.边界问题（波德边界、波罗的海和波俄边界）。

4.中欧和东南欧的组织与世界组织。

5.国际经济合作。

1.在“总纲”一节中说，当前战争中造成的人员伤亡和破坏的行径不应不受到惩罚。德国和轴心国的主要合作伙伴必须处于这样一种境地，使他们将来无法将人类置于更可怕的灾难中。

战后秩序必须保证**所有民族**和国家和平的繁荣。如果没有充分组织良好的国际合作，就无法构想这样的秩序。德国帝国主义和军国主义，加上日本的暴行，在 1919 年至 1939 年间对和平构成了威胁。

作者提到凡尔赛条约所犯的错误、国际联盟未能阻止这场战争等。

波兰作为东中欧的一个国家，除了南部边界外，四面八方都处于困难和危险的境地。根据凡尔赛条约，它没有得到这样的战略边界，可以为它提供对德国的适当防御。

西方国家对中欧和东南欧的穷国特别是波兰的投资兴趣不大，相反，他们在德国工业上投入了巨额资金，从而为德国军事机器的恢复做出了贡献。国际条约在安全方面区分了西欧和东欧。一个例子是洛迦诺公约，它标志着德国在东欧腾出了双手。指出中欧和东南欧国家之间缺乏密切合作，它们之间的对立以及它们政策的短视，为德国人所利用。在这场战争结束后德国及其轴心国的主要伙伴必须根据《大西洋宪章》第 8 条进行有效和持久的解除武装，并向受战争影响的国家支付全额赔款。有必要根据与德国接壤的国家的政治、军事和经济形势，特别是那些受到德国东进威胁的国家的政治、军事和经济形势来重划边界。需要的是在中欧和东南欧建立一个合适的组织，一个具有普遍性的国际组织和对国际经济关系的可靠监管机制。

2.德国的解除武装。它指出需要通过盟军长期占领德国全境来对德国进行***道义上的解除武装***，以对德国民众的社会意识产生心理上的影响。****德国领土应当被占领：西部——由西方盟国占领，东部——由波兰占领，与捷克斯洛伐克接壤的地区——由捷克斯洛伐克占领****。正如在西部占领区之间主要的分界线是莱茵河那样，在东部，自然边界应该是奥得河和尼斯河。***物质上的裁军***应表现为解散所有陆、海、空部队，销毁或将所有军事物资移交给战胜国。

除了占领军之外，还应该建立一支装备轻武器的、没有中央指挥部的小型德国警察部队来维持德国的内部秩序。所有直接生产战争物资的工厂和制造厂必须销毁或转移到盟国。为了更有效地解除德国的武装，以下产业必须被摧毁或转移给战胜国：

1）全部的电工钢和轻金属的生产。

2）常规钢材的生产——部分。

3）机器，特别是自动机床的生产——部分。

4）化工生产——部分。

为了吸纳劳动力，必须为德国提供发展轻工业——纺织、皮革和食品工业的机会。德国必须恢复它给其他国家造成的所有破坏。波兰作为第一个被攻击和破坏的国家，应该在这方面享有特殊的特权。赔偿金必须从德国的国家资本和国民收入中支付。*****波兰应接收大多数工业企业。德国应该将大部分铁路、海上和空中交通设备转让给它。被摧毁的领土必须从德国获得各种类型的建筑材料——木材、水泥等。德国必须归还其带走的所有艺术品和文化财富，或用其自己收藏的物品补偿那些被毁坏的物品*****。

3.边界问题。本节详细介绍了德国和波兰之间关系的历史事件；举例说明了德国东部和东北部目前的领土属于波兰的情况；事实证明，为了反对德国在波美拉尼亚东部的野心，波兹南

和西里西亚与东普鲁士应该成为战后波兰的一部分。东普鲁士和但泽并入波兰将使波兰与德国的边界从 1,263 英里缩短至 785 英里。将上西里西亚留在德国的手中，会在波兰和捷克斯洛伐克之间留下一个强有力的楔子，将给波兰和捷克斯洛伐克想要拥有一块接壤领土的愿望造成困难——这是建立联邦或邦联及保障其安全的基本条件。建议通过将德国人重新安置到德国来解决居民的问题。

a）波罗的海。满足波兰在其边界和进入波罗的海沿岸方面的诉求尚不能确保波兰、中欧和东南欧的国家安全，除非同时获得从波罗的海到北海的航行自由的保障。为了建立安全保障建议控制基尔运河；运河的管理和防御任务应移交给英国。所有波罗的海国家和英国必须共同经营运河。应该在运河两侧建立防御区，这不是德国主权的一部分。英国应该在靠近德国海岸的北海岛屿，特别是易北河口以及波罗的海岛屿上建立海军和空军基地。波兰也应该在波罗的海西部建立基地。

b）波兰—俄国边界。波兰必须保持其在东部的旧边界。只有波兰和苏联之间的长期友好合作才能确保他们针对德国的安全。但在此之前，两国必须接受两国都是拥有自己势力范围的大国的原则。他们之间的关系应该建立在完全平等的基础上。任何“保护”或“领导”的想法都应该摒弃。它们中的任何一个都不应达成直接针对他国的协议或联合。1921 年 3 月 25 日的里加条约应被视为解决旧的俄波领土争端的基础。通过缔结该条约，波兰决定放弃属于 1742 年、1793 年和 1895 年分割地区的近一半（12 万平方英里）领土，以实现其与其东部邻国关系的正常化。因此，波兰做出了巨大的牺牲。以下是关于需要将“1939 年 9 月苏联占领”的领土和城市归还波兰的各种证据。这些领土几个世纪以来一直属于波兰。俄罗斯从未拥有它们，或者在波兰处于外国统治之下的短时间内拥有它们。“几个世纪以来，波兰在其东部地区种下了基督教和西方文明，波兰骑士精神的花朵在那里牺牲，捍卫了西方的理想。”在自愿承认《里加条约》的基础上建立波兰和苏联的友好关系不仅符合两国的利益，也符合整个欧洲的普遍和平与稳定的利益。

4.中欧和东南欧的组织。位于中欧和东欧边界的波兰民族是该地区最大的民族。几个世纪以来，它进行着政治和经济工作，警惕德国危险已成为它的传统。即使在上述边界内，单靠波兰也无法胜任一直坚守在德国东部和从巴尔干半岛到南部的一线的艰巨任务。因此，中欧和东南欧国家必须搁置先前的争端，担负起实现自身经济、文化、政治和军事目标的任务。这些国家指的是：波兰、立陶宛、捷克斯洛伐克、保加利亚、希腊以及在某种程度上的土耳其。在北部，该区域与丹麦、瑞典、挪威和三个波罗的海国家接壤：拉脱维亚、爱沙尼亚和芬兰。尽管

这些国家一直并将继续与中欧和东南欧保持密切关系，但它们因经济和政治身份的特殊性而互相有所区别。中欧和东南欧国家集团只能在改革、邦联的基础上建立，并通过这些方式密切合作。然而，中欧和东南欧的最佳形式是波兰、立陶宛、捷克斯洛伐克、匈牙利和罗马尼亚的联邦，而巴尔干地区则是南斯拉夫、阿尔巴尼亚、保加利亚、希腊和或许还有土耳其的联邦。

如果创建两个政治联合体，则属于这两个联邦的国家可以拥有密切的经济关系。立陶宛也应该在这样一个联合体中找到自己的位置；它和波兰之间的密切关系将是立陶宛民族和国家存在的绝对保证。经济和政治方面的考虑支持罗马尼亚加入这个联邦，但首先必须解决东南欧最困难的问题——特兰西瓦尼亚争端，匈牙利和罗马尼亚之间应该在同一个联邦或邦联的两个国家框架之下解决该争端。不仅是波兰，中欧和东南欧所有国家都应该积极与俄罗斯合作维护和平，但这并不意味着它们应该在俄罗斯的“领导”之下。俄罗斯在中欧和东南欧的“领导地位”将成为驱使这些国家取悦德国的最大弱点。此外，将苏联纳入自给自足的经济体系不符合大多数欧洲国家经济商品交换的利益，因为那会将它们排除在国际经济交流之外。中欧和东南欧绝不能与西欧和盎格鲁—撒克逊世界隔绝。盎格鲁—撒克逊列强必须在维护西欧以及中欧和东南欧的安全方面发挥突出作用。

5.普世的国际组织。这部分提到许多将世界组织起来的计划，但并非所有计划都是真实的。一个大陆范围内的欧洲联邦将不可避免地导致德国在该大陆的统治以及实现世界统治的新尝试。一个横跨美国、英国和北欧国家的大西洋联邦无法保证永久和平、孤立大陆和激励德国扩张。因此，这将对中欧和东南欧国家以及整个世界构成直接威胁。战后，安全问题必须由联合国家来捍卫。战时合作将为一个不限于大陆的世界组织奠定基础。如今，敌对国家只能在一定时期后才能加入世界大家庭，即它们在民主自由和平等的基础上为这种合作做好准备之后。“英语国家与中欧和东南欧国家以及德国和俄罗斯的永久政治和经济合作，是大小国家和平与繁荣的必要条件。”英国在未来欧洲大陆的组织中应该发挥的作用将非常大，在某些领域甚至处于主导地位。它获得的四海皆准的政治和道德权威，特别是在战争过程中，将对完成这项使命大有帮助。

6.国际经济合作。本章讨论战后重建工作的问题，提到了英国和美国通过提供贷款、原材料、机械、设备等援助的必要性。作者反对将世界划分为工业和农业国家，捍卫每个国家根据需要发展工业的想法。贸易和工业生产必须在国际秩序下进行规划。金钱、人口、交通等问题必须通过国际合作解决。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.35—42.原稿，机打。

*-*斯大林在页边空白处用一条线勾勒出来。

-有下滑波浪线。在空白有笔记：“乌克兰呢？”

-有下划线和 1）、2）分别为的编号。

****-****在页边空白处划掉一行。在空白处有笔记：“苏联呢？”

*****-*****在空白处有笔记：“波兰人”。

1943 年

219

B·M·莫洛托夫和A·И·米高扬致И·B·斯大林关于在乌兹别克斯坦组建三人小组的报告

（1943 年 3 月 12 日）

И·B·斯大林同志：

乌兹别克斯坦共产党（布）中央委员会书记尤苏波夫同志和乌兹别克苏维埃社会主义共和国内务人民委员科布罗夫同志报告说，在乌兹别克共和国境内，特别是在食品和纺织工业企业以及贸易网络中，盗窃工业品和食品的案件数量显着增加。

因此，在 1942 年下半年，仅内务人民委员部当局就对盗窃货物的人提起了 2,423 起刑事诉讼。

尤苏波夫和科布罗夫同志请求批准成立一个由乌兹别克斯坦共产党（布）中央委员会书记尤苏波夫同志、内务人民委员科布罗夫同志和共和国检察长别利亚耶夫同志组成的共和国三人小组，为了果断地制止盗窃和浪费货物，赋予它庭外审理案件的权利，并判处 50 名劫匪枪决并处没收财产，随后以检察院的名义在媒体上公布判决结果。

考虑了尤苏波夫和科布罗夫同志的建议，我们提议：

在乌兹别克苏维埃社会主义共和国，所有盗窃和浪费工业品和食品的案件都应按照既定的司法程序进行审查，而不是共和国三人小组，责成苏联总检察长博奇科夫同志、苏联司法人民委员雷奇科夫同志：

a）确保用加急程序调查和审议工业品和食品的盗窃和浪费案件；

b）对恶意盗窃货物的人（最多 20 人）适用死刑——枪决并处没收他们的个人财产，然后乌兹别克苏维埃社会主义共和国检察院的名义在当地媒体上公布判决的内容；

c）立即执行判决。

——B·莫洛托夫

A·米高扬

43 年 3 月 12 日

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.212.Л.211—212.副本，机打。

第一页有批示：“盗窃分子不仅是小偷，而且是国家的敌人。我反对莫洛托夫同志和米高扬同志的提议。我赞成尤苏波夫和科布罗夫的提议。我坚持我的建议。И·斯大林”；

“同意——А·米高扬”；“莫洛托夫同志同意斯大林同志的建议。А·П";“加里宁同志——同意“。

220

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林提交给联共（布）中央关于在解放区消灭间谍、破坏分子和德国人帮凶的备忘录

（1943 年 3 月 19 日）

机密

联共（布）中央政治局委员和候补委员：

安德烈耶夫、贝利亚、沃兹涅先斯基、伏罗希洛夫、日丹诺夫、

卡冈诺维奇、加里宁、马林科夫、米高扬、莫洛托夫、

斯大林、赫鲁晓夫、什维尔尼克、谢尔巴科夫同志

受斯大林同志委托，向你们发送苏联副内务人民委员梅尔库洛夫同志 1943 年 3 月 18 日关于在红军从敌军手中解放的城市和地区识别和消灭间谍、破坏者、德国同谋和匪帮的备忘录，供你们参考。

附录：20 页

——联共（布）中央特别处负责人 A·波斯克列贝舍夫

绝密

国防委员会

斯大林同志：

1943 年 3 月 10 日，在红军从敌军手中解放出来的城市和地区，内务人民委员部的地方机构和行动小组逮捕了 30,750 人。

斯大林格勒州

总共逮捕了 2,450 人，其中包括：德国情报机构特工和间谍嫌疑人 479 人、德国人帮凶 1423 人、土匪和逃兵 78 人、其他反苏分子 470 人。

在斯大林格勒市，今年 2 月 2 日至 8 日期间，内务人民委员部与部队单位一起进行了围剿，检查了地下室，仔细搜查了城市里的活动小屋和壕沟。经此行动，5000 多名德国士兵和军官被验明正身并拘留，在一些情况下，他们在被捕过程中进行了武装抵抗。

在雷奇科夫斯基镇，齐尔斯基区的一个居民点，以前镇长马克西姆·安东诺维奇·克莱宁为首的敌特情报站被消灭。该敌特情报站由 7 人组成，他们在雷奇科夫斯基镇被占领期间执行了德国司令部的任务，以识别游击队、共产党员和苏维埃积极分子。在撤退期间，该站被德国人留在红军后方从事间谍活动。

已经确定，前白军分子以及过去被镇压和被没收了土地的富农的亲属进行了特别积极的叛卖工作。

在希罗金斯卡娅哥萨克村，一群前白军分子Я·Е·古谢夫、П·Д·瓦西里耶夫、Ф·К·巴雷切夫、Д·В·顿涅茨科夫（均已被捕），为德国人效劳，识别并出卖被包围的党和苏维埃的积极分子、红军士兵和指挥官，在民众中传播德国的呼吁书，在武器的威胁下将居民撵出去参加防御工作。

在佩雷拉佐夫斯基庄园，为罗马尼亚宪兵队效劳的是И·В·谢尔盖耶夫，他是一名白军侦缉队员的儿子，其父于 1937 年因反革命活动被判处死刑。

谢尔盖耶夫积极参与了侵略者的所有活动，识别并出卖了游击队、党和苏维埃积极分子（已被捕）。

沃罗涅日州

逮捕 3926 人，其中包括 218 名德国情报人员和间谍嫌疑人、2861 名德国帮凶、319 名红军逃兵、528 名其他反苏分子。

被捕者中有 16 名联共（布）党员和预备党员，47 名共青团成员。

根据从罗索希市警察局查获的材料，查处了 53 名联共（布）党员，这些人在提交给警方的传记中称自己受到了苏联政府的侵犯和迫害，并在千方百计与党脱离关系。

特别是在这些文件中发现了前罗索希市联共（布）区委委员、俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国最高苏维埃代表、勋章获得者克雷科滕给警察的自白书，其曾担任罗索希市农机站站长。

“我没有在集体农庄的大会上发言，没有执行党的命令，没有进行反对德国军队的鼓动。

我请求伟大的德国人民给我自由的生活，我会诚实地工作，我不会与任何人有任何联系，我会诚实地履行德国人民的所有法律。”

事实证明，在盖世太保的审讯中，克雷科滕出卖了他认识的所有留在敌后的共产党人。

原来，在入党时，克雷科滕隐瞒自己来自富农家庭，父母被剥夺了财产。

尽管如此，克雷科滕还是被盖世太保枪杀了。

在拉琴斯基区长的案卷中，还发现了来自联共（布）28 名党员和 7 名联共（布）预备党

员的 35 份类似自白书，其中包括前拉琴斯基区玛丽耶夫斯卡亚农机站站长、联共（布）党员格沃兹坚科的，内容如下：

“致区长扎维鲁赫先生。

我，格沃兹坚科，请求您允许在集体农庄工作。我被疏散了，但又回到了拉琴斯基区，我希望诚实地工作，听从上级的指示。我撕毁了我的党证。”

格沃兹坚科被捕。

在被捕的德意帮凶和特务中担任重要职务的有：

巴兰尼科夫——前沃罗涅日州执行委员会责任指导员。

巴兰尼科夫在德意侵略者的指使下，在坎捷米罗夫斯基区、拉琴斯基区和皮萨列夫斯基区成立伪游击队，在那里骗取苏联爱国者、共产党员和共青团成员，然后出卖他们。

维久申科——从前是奥尔忠尼启则市的一名工程师、经济学家，被德国人任命为市管理局住房处的负责人，然后转投意大利秘密警察，在他们的指示下，他进行了奸细工作。

维久申科与意大利军队一起抵达沃罗涅日州的区域，在那里他在警察机构工作。当入侵者撤退时，他们留下他从事间谍活动。

在坎捷米罗夫斯基区，一群青少年被拘留（П·И·菲利波维奇，出生于 1931 年；В·И·菲利波维奇，出生于 1928 年；Н·М·舍甫琴科，出生于 1930 年），他们被德国人通过前线调来，任务是炸毁德国人遗留的弹药库并搜集红军部队的情报信息。

现已查明，有 208 名德意占领者的帮凶跟着他们一起逃跑，包括以下人员：

普什卡列娃，前共青团博古恰尔区区委书记。随着入侵者的到来，她给他们带来了共青团组织的名单，然后嫁给了一名意大利军官。

诺沃西茨基，联共（布）拉琴斯基区的前宣传员。他被侵略者任命为博古恰尔粮仓的会计。

罗斯托夫州

2804 人被捕，其中：德国情报人员和可疑间谍 221 人、德国帮凶 1807 人、逃兵和土匪分子 121 人、其他反苏分子 655 人。

被捕者中包括：联共（布）党员和预备党员——34 人，共青团员——95 人。

在罗斯托夫市，德军司令部着手建立“顿河、库班和捷列克的哥萨克联邦政府”。

对此，1942 年 11 月，在德国的白军将军克拉斯诺夫特别向顿河哥萨克发出呼吁。然而，这个“政府”并不是由德国人组成的。

为了引诱哥萨克参加罗斯托夫对抗红军的武装斗争，建立了“顿河哥萨克总部”，由哥萨克

B·M·奥德诺拉洛夫领导，他自称为上校（已随德国人逃跑）。

总部的积极参与者是前哥萨克少尉乔索夫和采矿工程师克拉斯尼扬斯基（均已被捕）。

正如他们所表现的那样，总部设法在罗斯托夫市组建了一个哥萨克百人队，在卡缅斯克市组建了两个不满员的哥萨克百人队。德国人宣称哥萨克部队将用于警察任务，但他们一成立，德军指挥部就将他们派往前线，用于与红军的战斗。

在新切尔卡斯克市查获了盖世太保的情报站，该站由前联共（布）新切尔卡斯克市委指导员T·C·苏霍鲁琴科（已被捕）领导。

苏霍鲁琴科是一个歼击支队的指挥官，他于 1942 年夏天陷入包围并返回新切尔卡斯克，在那里他被德国人逮捕。在调查过程中，他就他所知道的留在敌后的共产党员和歼击支队战士提供了详细的证词。不久，他被招募并被释放，之后他亲自辨认并将隐藏在城市和周边村庄的 20 名共产党员交给了盖世太保。

根据盖世太保的指示，苏霍鲁琴科出于奸细活动的目的，据称以联共（布）地下委员会的名义向共产党人写了一封呼吁书。

苏霍鲁琴科与一名被他招募从事奸细工作的当地居民，联共（布）党员布图尔利诺夫和前面包联合工厂厂长、联共（布）党员切列米索夫（均已被捕）保持联系。

调查仍在继续。

第二个被查处的新切尔卡斯克市盖世太保情报站由前新切尔卡斯克市派出所军事登记股登记员Ф·И·泽姆良斯基领导，该人因滥用职权于 1942 年被开除（通缉中）。

参与该情报站活动人员辨认并向盖世太保出卖了苏联的爱国者。

被捕的如下人员：H·A·巴里东诺夫，前联共（布）预备党员，曾在劳动合作社“皮草维修合作社”担任鞋匠；C·Д·顿巴雅克，肉类加工厂香肠车间主任；E·B·谢妮娜和H·M·科兹洛娃，前内务人民委员部市处打字员，之前随疏散撤离，与泽姆良斯基有间谍工作上的联系。

调查仍在继续。

在被捕的特务和帮凶中：

A·C·萨夫诺夫，前第 35 骑兵师第 5 骑兵团红军战士，于 1942 年 8 月被派往罗斯托夫敌方一侧，在那里他被盖世太保招募从事奸细工作，并作为德国情报站长被派往塞利瓦诺夫斯基区的沃洛萨蒂农场。

红军部队解放农场后，A·C·萨夫诺夫打着逃脱被俘的幌子，试图渗透红军从事间谍活动，被揭穿。

A·M·科瓦连科——联共（布）党员、前防疫站技术员，曾任扎维金斯基区基谢廖夫卡镇警察局长，同时他还是德国情报站线人。

在基谢廖夫卡镇被占领期间，他将 4 名联共（布）党员和 27 名逃离德军包围圈的军人交给了德军。

A·H·波尔谢娃，前基辅区克留科夫农场的小学教师。在农场被占领期间，她被罗马尼亚反侦察部门招募从事奸细工作。她两次通过前线被派往红军后方执行侦察任务。

С·Д·奥布霍夫，切尔内舍夫斯卡亚哥萨克村居民，农民出身。在切尔内舍夫斯卡亚哥萨克村的战斗中他通过发信号向德军指示了红军撤退的方向，结果德军烧毁了 11 辆苏军坦克。在德国人的领导下，他进行了奸细工作。

斯塔夫罗波尔边疆区

5216 人被逮捕，其中包括德国情报人员和间谍嫌疑人——312 人、德国帮凶——4652 人、逃兵和土匪分子——252 人。

被捕者中包括——德国人在撤退时留在我们后方的间谍团伙参加者。

在格奥尔基耶夫斯克市，逮捕了 3 批，共计 13 名毕业于华沙和瓦尔代德国情报学校的德国特工：西多联科、扎亚茨、切尔内、别戈罗良等人。这些人之前都是被德军俘虏的红军指战员，他们受命在红军后方进行侦察工作，并通过无线电将获得的信息传送给德国人。

在斯塔夫罗波尔市，德国特工阿巴卡洛夫和乌马罗夫被德国情报部门留下，他们的任务是渗透到达吉斯坦苏维埃社会主义自治共和国进行间谍活动和破坏活动。从被捕者身上缴获了手枪、指南针、双筒望远镜和 94,000 卢布的现金。

在同一个地方，在搜查德国情报学校所在地时，在其它被扣押的文件中发现了一份包含 212 名正在接受培训的德国特工的名单。根据这份名单，确定并逮捕了 3 名间谍：加斯帕良、阿尔秋诺夫和安东扬茨，他们是敌人留在红军后方从事情报工作的。

在尼古拉耶夫哥萨克村和五山城市，敌人情报处 101 情报组驻地，逮捕了 12 名德国特工。被捕者中包括德国情报机构安全屋的老板斯捷潘诺娃和切尔涅茨卡娅。

在斯塔夫罗波尔市逮捕了 10 各亚美尼亚民族主义团体的参加者，该团体由来自德国的前达什纳克（亚美尼亚民族主义组织，有社会民主党色彩——译注）将军、侨民德罗创建。

这个自称为“组委会”的团体有以下人加入：师范学院教授阿加米扬，该人曾经在法西斯报纸《高加索晨报》工作；医生哈拉基耶夫、博格丹诺夫和前教师穆萨列扬，他曾在城市管理局的德国人手下工作。该组织在亚美尼亚人中发起宣传鼓动，旨在寻求帮助侵略者。

克拉斯诺达尔边疆区

6000 人被逮捕，其中包括 309 名间谍和间谍嫌疑人、3011 名德国帮凶、1480 名逃兵和土匪分子，以及 1200 名其他反苏分子。

以下担任要职的德国帮凶被捕：

阿尔马维尔市警察局局长索斯诺夫斯基——前市贸易处工作人员。

警察局秘密科调查员诺维科夫，前保卫者委员会成员。

警察局秘密部队长官波别列日内，前中等技术师范学校物理学教师。

德国出版的报纸《库班公报》的秘书切恩基米罗夫，前《阿尔马维尔公社》报编委会秘书。

阿尔马维尔城市管理局住房管理局负责人波塔波夫，联共（布）党员、前市房管局负责人。

盖世太保工作人员米哈伊洛夫，前“迪那摩”商店负责人。

在阿尔马维尔市，一个由 4 人组成的德军情报站被捣毁：扬沙科夫、奥谢尼扬茨、阿萨图良茨和阿加西扬，这些人是德军在撤退前留下的以在我们后方从事间谍活动的前德罗将军的达什纳克军的军官。

乌克兰苏维埃社会主义共和国

1768 人被捕。其中：德国情报人员和那些间谍活动嫌疑人 94 人、德国人帮凶 1591 人、逃兵 21 人、其他反苏分子 64 人。

在乌克兰的一些城市，德国人招募了著名的乌克兰民族主义者来领导各种行政机构的工作。

在伏罗希洛夫格勒，活跃的德国帮凶是乌克兰民族主义者——市长甘钦、市管理局行政处处长雅科夫列夫、该地区庄园的管理员达维多夫及其副手多博维延科、劳务交换市场主任索伯卡尔、警察局长库拉克（均已被捕）。现已查明，派往敌人后方组织游击队的个别共产党人已经叛变。

前乌克兰共产党（布）科尔科夫斯基区委指导员罗特文在 1941 年 8 月和一群共产党员被乌克兰共产党（布）中央派到敌后，任务是——在科尔科夫斯基区建立地下党组织并组织游击支队。

在科尔科夫斯基区，罗特文被德国人扣押，在审讯期间，他告诉了他从乌克兰共产党（布）中央委员会那里收到的带有密码的任务，为此应该有一个信使来找他，然后他以“爱德华”为代号被招募并被释放。不久，罗特文出卖了来到他身边的联络员斯捷潘诺夫，前乌克兰共产党沃伦州委员会指导员。

在盖世太保的指示下，罗特文前往乌克兰的沃伦、日托米尔和基辅州，在那里他辨认并像

德国人出卖了 10 名共产党员、29 名共青团成员和 12 名游击队员。

罗特文被派到红军后方，任务是出现在乌克兰共产党（布）中央委员会，根据德国人炮制出来的杜撰内容报告工作，接收给被占领土上活动的地下党组织的指令和密码。

罗特文已被捕。

案件的调查仍在继续。

列宁格勒州

109 人被捕。其中：德国情报人员和间谍嫌疑人 19 人、德国人帮凶 60 人、其他反苏分子 30 人。

在施吕瑟尔堡市查处并捣毁了一个德国人留下的、由前施吕瑟尔堡市苏维埃代表康德拉舍夫领导的德国间谍情报站。

П·А·康德拉舍夫（已被捕）——前施吕瑟尔堡市的市长，在该市被占领期间，是德国秘密警察的线人，从事辨认游击队、苏维埃积极分子和报告居民情绪动向的工作。

在康德拉舍夫的奸细网络中招募了前“西北河流航运局”前工作人员П·П·科尔涅夫、П·И·捷列申科夫、П·И·德米特里耶夫（均已被捕）。

现已查明，在康德拉舍夫和情报站其他人员的告发下，德国人逮捕了 15 名苏联爱国者。在撤退期间，德国人分配给该站的任务是在红军后方进行颠覆性的间谍活动。为了给康德拉舍夫的身份加密，德国人解除了他的城市市长的职务，并将他关押在司令部的拘留所里，宣称是因为他帮助施吕瑟尔堡市居民拉波奇金的家人逃到红军的后方。

调查证实，拉波奇金（父子）是德国情报机构的特工。1943 年 1 月上旬，他们被调到红军后方，在前线从事破坏和间谍活动，拉波奇金一家 4 口假装自己是逃亡者。（拉波奇金父子已被逮捕。）

调查仍在继续。

盖世太保特务Г·Д·巴图林是“西北河流航运局”的前工作人员，曾因反苏活动而被定罪，他从施吕瑟尔堡的信徒那里收集了圣像，并组建了一个小教堂，他自己在那里举行祈祷仪式。巴图林查明了信徒的情绪，将识别出来的苏联爱国者出卖给盖世太保（被捕）。

在基里希区，一批盖世太保特务被揭发，他们在占领该区期间进行了积极的识别游击队和苏维埃积极分子的奸细工作。

这批人中被捕的有：

Н·И·罗谢夫，前联共（布）党员，于 1939 年因生活腐化而被开除，基里希区消费者联盟

的一名工作人员，和X·M·莫加佐夫，非党员，原基里希区苏维埃的养马员。

在罗谢夫和莫加佐夫的告发下，德国人逮捕了游击队员马罗夫、村苏维埃主席拉热娃和卢格村集体农庄主席斯托尔波夫斯基。

在托斯诺区的德国走狗中，逮捕了以下人员：

希尔德布兰特，德意志族人，托斯诺区红博尔镇居民，曾任镇警长。

希尔德布兰特在德国人手下逮捕并亲自射杀了6名苏联爱国者。

鲁多夫是同一地区波波夫卡村镇的居民，德国人在他的告发下，在同一个村镇枪杀了游击队员——集体农户科扎科夫的家人和伊热夫斯克工厂的钳工、游击队员康德拉季耶夫。

现已查明，德国人进行了识别“德国和芬兰血统”的人的工作。有30个家庭，在向德国人或芬兰人提交了他们祖先的种族证明后，占领军将他们疏散到后方，为他们举行了隆重的欢送仪式。

加里宁州

176人被捕，其中包括30名德国情报人员、122名德国帮凶和24名其他苏联分子（原文如此，应为反苏分子——译注）。

在大卢基市，从德国特务和积极的帮凶中逮捕了以下人员：

Б·И·楚里洛夫，出身贵族，前沙皇军队军官，前“菜种品类公司”办公室的高级农艺师，担任了大卢基市长。

菲利皮科夫，前红军少校，被德国人俘虏后被任命为集中营警长，在战俘中辨认共产党人、政治工作者和犹太人。随后，他任市警察局局长，直接领导对游击队的讨伐。

科瑟列夫，前律师，为德国人效命时时担任地区警察负责人，然后被占领者任命为市法院主席。

潘捷列夫，1929年至1932年曾是联共（布）党员，因渎职被定罪被开除党籍，前大卢基广播电台保卫部门负责人。作为市警察局长的助理，他亲自折磨被捕的苏联爱国者。

埃尔绍夫，前内务人民委员部内卫部队的红军士兵，在大卢基被德国人俘虏，作为调查员加入警方。他进行了多达60起调查案件，盖世太保为此枪杀了20名苏联公民，埃尔绍夫因此被授予法西斯徽章。

调查材料证实，许多在德国行政机构工作的人同时也是盖世太保的特务。

据被捕的宪兵队女翻译科里亚基斯供述，监狱长尤尔根松、副市长古多夫斯基、警察安德列耶夫、加弗里洛夫和菲尔萨诺夫同时是盖世太保的秘密线人（均已被捕）。

根据被捕的城市警察局长助理潘捷列夫的供述，这类德国特务的任务是在行政和警察人员中识别不可靠的人。

奥廖尔州

4844 人被捕。其中：德国情报人员和间谍活动嫌疑人 227 人、德国帮凶 1449 人、逃兵 2037 人、其他反苏分子 1131 人。

在被捕的帮凶分子中，有 88 名前红军指战员，他们临阵脱逃或被德国人俘虏并自愿加入占领者创建的旨在与游击队作战的武装支队。

在被抓捕的德国特务和帮凶中以下的人需要引起注意：

С·П·索宾，在占领期间，他担任科尔普尼扬斯克区管理局局长。在被缴获的地区司令部的文件中，发现了有索宾签名的文件，坐实了他的叛卖工作。

Р·Я·瓦修科娃，前共青团员，科尔普尼扬斯克区交通科前任货运代理，曾在德国司令官办公室担任翻译，致力于识别游击队和其他苏联爱国者。

卡尔梅克苏维埃社会主义自治共和国

303 人被捕，其中德国特工和间谍嫌疑人 28 人、德国帮凶 243 人、逃兵和土匪分子 16 人、其他反苏分子 25 人。

德军司令部利用民族主义情绪，试图在卡尔梅克组建一支卡尔梅克志愿骑兵部队。

敌人设法建立了 10 个志愿的卡尔梅克骑兵连，每个连 40 至 300 人，其中大部分是来自红军的逃兵。

这些部队的任务是保护前线道路、侦察红军最近的后方和打击游击队。

卡尔梅克连的组织者是德国人多罗，他自称为“卡尔梅克未来的统治者”。

在德军撤退期间，这些连大部分未能随德军撤退，而是留在红军后方，躲藏在切尔诺泽梅尔斯基、特洛伊茨基和凯切涅罗夫斯基的草原上。

由于卡尔梅克苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员部采取的措施，334 人自愿投降，30 人带着武器被俘虏，46 人被击毙。缴获机枪和冲锋枪 7 支、步枪 133 支、配套子弹 5018 发。

在被捕的德国帮凶中担任要职者：

埃利斯塔市长Н·П·特鲁巴，前市地政处农艺师，有一个兄弟在国外，是白俄侨民。

埃利斯塔市卡尔梅克居民市长 В·祖格里诺夫，前银行工作人员，白卫分子——前侨民。

报纸《自由之地》的编辑В·玛努伊洛夫，前富农。

城市德军供应局局长塔拉索夫，前联共（布）党员，因反苏活动被开除党籍。

市警察局副局长库什金，过去曾因涉嫌间谍罪被捕。

现已查明，侵略者打算组建“卡尔梅克政府”。

1942 年 12 月初，来自德国的白俄侨民——卡尔梅克人来到埃利斯塔：С·Ш·博尔达诺夫和他的儿子巴利诺夫，他们都身着德国军队的军官制服。

在埃利斯塔期间，他们研究了卡尔梅克的形势，并宣称在德军拿下阿斯特拉罕和斯大林格勒后，德军司令部将创建“卡尔梅克政府”，由现居住柏林的通杜托夫·达赞亲王 24 岁的儿子领导。为了能同卡尔梅克人眉来眼去，德军司令部赋予他们相对俄罗斯人而言的特权地位。例如，卡尔梅克人是免于交税的——牛奶、鸡蛋、肉类，而俄罗斯人则有义务缴纳；卡尔梅克警察配备步枪，俄罗斯警察没有武器。

卡巴尔达—巴尔卡尔苏维埃社会主义自治共和国

1729 人被捕，其中：德国情报人员和间谍嫌疑人 10 人、德国帮凶 538 人、逃兵和土匪分子 524 人、其他反苏分子 507 人。

1942 年 11 月在帕利奇克市，德国占领军成立了所谓的“代表卡巴尔达—巴尔卡尔利益的政府”。以前公爵克列梅托夫和当地律师沙多夫（正在通缉）为首，他们的任务是维持“卡巴尔达—巴尔卡尔的秩序和管理农业”。

随着侵略者的到来，当地民族主义者在某个查拉耶夫（土地工人，前联共（布）党员，已被捕）的倡议下，在与德国人一起抵达的白俄侨民的领导下，创建了一个计划“将俄罗斯人驱逐出卡巴尔达—巴尔卡尔并与卡拉恰伊合并”的组织。

在五月区破获了由德国情报部门创建的“顿河、库班和捷列克哥萨克统一委员会”。“委员会”由前富农В·А·伊万诺夫（已被捕）领导。

“委员会”的任务包括：间谍工作、支持德国军队的宣传和鼓动。

同时，“委员会”提到了德国指挥部的承诺，“战后将哥萨克人在沙皇俄国享有的一切特权归还给他们”。

在撤出卡巴尔达—巴尔卡尔苏维埃社会主义自治共和国地区之前，德国人在一些地方的红军的逃兵和占领者的帮凶中组建了武装团伙，赋予他们在红军后方组织起义运动的任务。

在切列克区，在撤退期间，侵略者在逃兵、前红军指战员和德国帮凶中组成了一个多达 300 人的团伙，用步枪和冲锋枪武装他们，并宣布 2 个月后返回，并交给武装团伙任务——在这期间牢牢把守住峡谷。

该团伙的首领是奥斯曼诺夫·哈吉达乌特——前联共（布）区委工作人员，曾获得“劳动英勇”奖章，扎马耶夫·哈吉尔——前地区法官，张古拉佐夫·马格梅特——前区地政处负责人，梅楚卡耶夫——前区执委会主席和张吉舍夫——前集体农庄主席，去年被联共（布）开除。

由于采取的措施，该团伙的 245 名成员被逮捕，其中包括扎马耶夫、张古拉佐夫和梅楚卡耶夫。抓捕期间，收缴了 119 支步枪、约 2000 发子弹。

清楚匪帮残余的工作仍在继续。

在从厄尔布鲁士峡谷的居民点撤退之前，德国人散布挑衅性的谣言，称苏军将消灭所有留在被占领土的当地居民，同时敦促人们逃到山上等待他们的归来。

由于这次挑衅，峡谷里多达 200 名居民——男人、女人和孩子——带着集体农庄的牛上山。一些人手持步枪和冲锋枪。在联共（布）区委员会和卡巴尔达—巴尔卡尔苏维埃社会主义自治共和国内务人民委员部采取措施后，所有离开的人都被送回了自己的家，武器被收缴。

北奥塞梯苏维埃社会主义自治共和国

共逮捕了 942 人，其中包括 100 名德国特工和间谍嫌疑人、506 名德国帮凶、298 名逃兵，以及其他 38 名反苏分子。

在阿拉吉尔市，破获了一个由德国人留下的间谍站，由前教师沃多皮亚诺夫（已被捕）领导。

已经查明，甚至在德国人到来之前，沃多皮亚诺夫就在敌视苏维埃政权的人和社会异己阶级出身的人中创建了一个反苏组织，设定了在红军后方为德国人收集间谍情报和培养叛乱干部的任务。

入侵者到来后，沃多皮亚诺夫将该组织与德国情报部门联系起来。

该案 5 人被捕，其余参与的线人均被通缉。

德军在阿尔东区卡德戈伦村镇留下的间谍叛乱组织也被清算。

德国人安插了某个B·X·叶尔加诺夫，前联共（布）党员，前第 345 师 1165 步兵团通信连副指导员，作为这个组织的领导。

现已查明，该组织包括 57 人，其中 15 人被捕（包括叶尔加诺夫），其余人被通缉。

在阿拉吉尔，发现了一群盖世太保特务，其成员将共产党人、游击队员及其家人以及所有反对德国人的人出卖给德国人。

其中，被捕者有：

波尔托拉茨卡娅——德意志人，护士；

达捷耶娃——前共青团组织秘书；

库佩耶娃——前联共（布）党员、前内务人民委员部阿拉吉尔区处档案馆馆长；

杰姆别科娃——前集体农庄会计师。

现已查明，起初德国占领者并没有对当地居民施用暴力，而是号召已经到山林间的居民返回家园，照顾好自己的家。德国命令规定，未在规定期限内返回家园的人将被视为游击队员，一旦被捕，将立即被枪决。德国人还试图拉拢老年人到自己这一边，并在他们的帮助下影响民众。

由于害怕承担责任，部分人从山区返回家园，此后德国讨伐队开始镇压他们。

为帮助地方内务人民委员部机构在被红军从敌军手中解放出来的城市和地区恢复正常秩序，清除敌人留下的间谍、破坏者、德国帮凶和土匪，苏联内务人民委员部的行动人员小组被派往这些地区。

——苏联副内务人民委员梅尔库洛夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.207.Л.159—175.原稿，机打。

备忘录第一页有批示：“发送给联共（布）中央政治局委员和候补委员。И·斯大林”

221

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于戴维斯抵达的特别报告

（1943 年 5 月 19 日）

编号 244/м

绝密

国防委员会

斯大林同志：

约瑟夫·戴维斯一行于今年 5 月 17 日 14 时 30 分抵达古比雪夫。

除了在城市中漫步一个半小时外，戴维斯和他的随行人员在美国大使馆大厦度过了余下的一天。

在散步的过程中，戴维斯参观了一家旧货店和一家外国人特供商店，在那里他买了一套丝绸面料。他以过度劳累为理由，拒绝了之前意向中的视察一号飞机工厂的活动。

当天晚上，戴维斯与美国大使馆一等秘书珀金斯就苏波断绝关系进行了交谈，戴维斯对波兰政府的政策持否定态度，称其为“愚蠢和不合时宜”，据称他还与波兰驻华盛顿大使交谈过。

22:00 戴维斯接待了墨西哥大使金塔尼亚，他对与他的谈话没有表现出特别的兴趣。

今年 5 月 18 日 8 点 50 分戴维斯从古比雪夫飞往斯大林格勒，在布尔什维克区委员会书记丘亚诺夫同志的陪同下，他检查了市中心被毁坏的建筑物、工厂和保卢斯被捕的房子，在视察一处约有五架德军飞机坠毁的现场时，戴维斯在这些飞机的背景下被拍了几次照。

**在为斯大林格勒捐躯的战士的合葬墓那里，戴维斯向墓地上献花，将所有陪同他的人排成两排，他自己站在中央，向聚集的战士和斯大林格勒的居民发表讲话，内容如下：

“亲爱的同志们！我是来参观英雄之城的。保卫这座城市的人们成功让德国人止步于此。我是来代表美国总统罗斯福和美国人民向阵亡英雄的坟墓献花的。苏联、美国和英国的人民在他们领导人的领导下将能够打败希特勒。光荣属于苏军士兵”**。

在得到有时敌方侦察机会飞入斯大林格勒地区的答复后，戴维斯询问他是否有战斗机护送，并亲自核实了机场是否有战斗机。

离开斯大林格勒前，为戴维斯和区执行委员会的陪同人员安排了一顿简单的早餐，戴维斯

为此感谢对他的照顾，并表示到访斯大林格勒给他留下了“不可磨灭的印象”。

——苏联国家安全人民委员

梅尔库洛夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.70—71.原稿，机打。

在第一页有斯大林的批示：“为什么这些事没有报道？我们报纸的报道员都哪去了？”

*-*铅笔划下划线。

-用铅笔划下划线，并在空白处划了三笔下划线。

222

Л·П·贝利亚、В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于特别会议组成人员的特别报告

（1943 年 5 月 20 日）

编号 431/б

绝密

斯大林同志：

在此请求增补苏联内务人民委员部特别会议的组成人员，其中包括国家安全人民委员部和国防人民委员部反间谍总局——“施密尔舒”的工作人员。

在此提交联共（布）中央决议草案。请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

苏联国家安全人民委员В·梅尔库洛夫

全联盟共产党（布尔什维克）

关于苏联内务人民委员部特别会议组成的决议草案

1943 年 5 月

增补如下成员加入苏联内务人民委员部特别会议：

a）苏联国家安全人民委员及能够代替他的第一副手；

b）反间谍总局“施密尔舒”局长及能代替他的第一副手。

联共（布）中央书记斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.8.Л.28—29.副本，机打。

223

A·C·谢尔巴科夫呈送给И·B·斯大林的关于第 7 独立集团军特务处工作的报告

（1943 年 5 月 22 日）

国防人民委员

苏联元帅И·B·斯大林同志：

根据您个人的指示，红军总政治部调查了第 7 独立集团军司令员、少将克鲁季科夫同志关于集团军特务处工作的报告。

结果汇报如下：

I

1.第 7 独立集团军军事委员会质疑尼库林和什韦多夫间谍指控的正确性。根据集团军特务处的调查材料，案情描述如下：

德国情报局的线人尼库林，由德国情报局提供武器（手枪和手榴弹），从德国情报局那里得到了在红军中进行广泛间谍活动的任务——招募间谍、炸毁桥梁、纵火焚烧军队仓库、苏维埃机构等。尼库林有听从自己指示的特务—联络员，这些人穿越前线，将尼库林收集到的间谍情报传递给德国人。在其他的间谍中，尼库林招募了红军指挥官什韦多夫少尉*。

对案件的核查结果如下：И·A·尼库林，1910 年生人，1939 年在红军服役，参加*与芬兰白军的战斗，负伤，后被认定不适合服兵役。尼库林完全不识字（他只知道如何写自己的名字），在战前和战时曾在齐赫文斯基木材交易所担任木匠。尼库林的四个兄弟在红军服役*。在占领期间，尼库林在德军占领的领土上生活了一个半月。尼库林和什韦多夫是在什韦多夫所在的部队驻扎在尼库林住处的附近时认识的。

调查材料显示，尼库林招募的特务—联络员叶卡捷琳娜·伊万诺娃今年 15 岁。伊万诺娃的三个兄弟在红军服役。

少尉什韦多夫在认识尼库林数周后，带着他的部队前往锡尼亚维诺附近的沃尔霍夫前线，在那里他当了逃兵。*什韦多夫被第 7 集团军军特务处拘押，他最初被控逃兵，然后被控从事间谍活动。被捕后一段时间，什韦多夫承认从事间谍工作，并供述说他被尼库林*招募为间谍。

审讯时，什韦多夫告诉我和阿巴库莫夫同志，在调查员伊尔贾宁要求他说出同伙的名字后，

他什韦多夫从他指挥的排中说出了两名红军士兵的名字。但伊尔贾宁否认了这些人，并要求说出其他人的名字。之后，什韦多夫便诽谤了尼库林。

被捕时，尼库林不承认有任何罪行，在进入牢房后，他承认犯有间谍罪。

调查证实，指控尼库林和什韦多夫从事间谍活动没有客观事实。*因为，例如，生活在偏远村庄的尼库林在各方面都是文盲，而据称德国人布置以下任务*：

“我必须收集如下情报：

1.红军步兵、火炮、迫击炮、装甲车、工兵、特种兵、后方部队的位置、数量构成和武器装备情况。

2.指挥部、部队、编队部署。

3.弹药、武器、炸药、食品、饲料、燃料和润滑油等军用财产的仓库所在地。

4.防御构筑物的位置和组成。

5.机场的位置和飞机数量。

6.防空系统的位置。

7.道路状况和交通强度。

8.新建的道路。

9.红军部队人员和平民的政治道德状况。

在收集间谍信息的同时，军官还指示我进行破坏活动，组织炸毁桥梁、放火焚烧军事仓库和苏维埃的机构。”

这部分尼库林的证词完全由高级调查员伊尔贾宁撰写，勉强会写自己名字的尼库林在这样的审讯笔录上签下了自己的名字。

集团军特务处有充分的机会核查“联络员”叶卡捷琳娜·伊万诺娃的活动。然而，叶卡捷琳娜·伊万诺娃*不仅没有被逮捕，而且没有被审问，尽管有充分的机会，因为她仍然住在同一个地方*。复查确定叶卡捷琳娜·伊万诺娃没有接受尼库林的间谍任务，也没有越过前线。

特务处有充分的机会查明手枪和手榴弹是如何落到尼库林手里的。对尼库林如何获得武器的调查表明，叶卡捷琳娜·伊万诺娃的兄弟，一个 13 岁男孩曾告诉尼库林，他有缴获来的手榴弹和手枪。尼库林从男孩伊万诺夫手中拿走了武器，尼库林把手枪交给什韦多夫换面包，并用手榴弹炸鱼来捕鱼。*特务处的工作人员哪怕通过传唤询问叶卡捷琳娜·伊万诺娃的弟弟，男孩伊万诺夫，也能很容易查明武器的来源问题。但他们连这都没有做。因此，由于对调查的不公正态度，尼库林和什韦多夫被指控从事间谍活动*。

什韦多夫应该被逮捕并作为逃兵受审。尼库林犯有非法储存和未上缴缴获的武器罪，但没有事实和材料指控他从事间谍活动。第 7 独立集团军军事法庭驳回了间谍指控。

尼库林和什韦多夫的调查案件由特务处的高级调查员伊尔贾宁领导，他的民族是芬兰人。伊尔贾宁之前曾在内务人民委员部工作并被解雇。

第 7 独立集团军特务处副处长寇松直接领导并积极参与了调查工作。*寇松从 1929 年到 1938 年在内务人民委员部工作。1938 年因涉嫌参加反革命组织被捕。然后他被判无罪，自 1939 年以来，他再次在内务人民委员部机构工作。

伊尔贾宁和寇松对尼库林和什韦多夫进行了不公平的调查。

2.与尼库林和什韦多夫类似的案件是关于对叶菲莫夫的间谍指控的案件*。

1942 年 11 月 29 日，红军士兵叶菲莫夫被特务处调查员传唤作证。在审讯过程中，叶菲莫夫告诉特务处调查员，他叶菲莫夫于 1941 年被德国人抓获但脱逃。这引起了怀疑，事实上，这也是拘留他的依据。11 月 30 日，叶菲莫夫在审讯中供认了间谍活动。

对调查材料的分析表明，对叶菲莫夫案的调查极其肤浅并充满恶意。所有指控仅基于被告本人的供述。而且，所有这些供词都充满了自相矛盾和难以置信的内容。

特务处有足够的机会核实叶菲莫夫的身份并收集更多关于他的更深入的资料。然而，他们连这都没有做。叶菲莫夫有罪的唯一客观证据是他投降，他于 1941 年 9 月在包围圈里被俘并留在德军占领的领土上。在叶菲莫夫从被俘中归来以及叶菲莫夫居住的地区（托罗佩茨基区）被红军解放后，他被内务人民委员部集中营核查后，被再次征召入红军，并在那里服役 8 个月。

由于叶菲莫夫在 1943 年 4 月 30 日的军事法庭会议上断然推翻了他的供词，而且没有任何其他证明他有罪的材料，叶菲莫夫被无罪释放。

为了核查叶菲莫夫在随后被红军解放的被占领土上居住期间的行为，工农红军总政治部高级监察员、上校多林同志和反间谍总局高级调查员、少校科瓦连科同志被派往加里宁州的托罗佩茨基区。经现场查证（采访了多名认识叶菲莫夫的人），确定叶菲莫夫于 1941 年 12 月下旬从德国被俘中回来后，一直与父亲生活在一起，从未离开过村子，*在德国人来到这一地区期间，他没有与他们接触和交流，没有进行反苏鼓动，也没有出卖任何苏维埃积极分子。同时，根据调查材料，案件被这样描述，居住在托罗佩茨基区的叶菲莫夫据称与德国人有密切关系，在餐厅与他们一起喝酒，把政治指导员尼基福罗夫的妻子玛丽亚出卖给德国人，并在当地人民中进行反苏鼓动*。

对叶菲莫夫提出毫无根据的间谍指控的罪魁祸首是集团军特务处高级调查员谢多金大尉

和调查室主任，他也是集团军特务处副处长寇松中校。

3.在尼库林、什韦多夫案和叶菲莫夫案之后，第 7 集团军军事法庭及其主席谢沃斯佳诺夫同志对一些已经通过法庭庭审并因间谍罪被法庭定罪的人的调查的正确性表示怀疑。于是，军事法庭开始对佩什诺夫和利亚林、马斯连尼科夫和尼基京、斯塔菲耶夫被控从事间谍活动的调查材料的正确性表示怀疑。但已经不可能对这些案件进行应有的调查，因为被判有罪的人（除了利亚林）都被枪毙了。

II

经过对集团军军事委员会和军事检察官呈送的备忘录中列出的所有其他反革命罪案件进行核查，证实集团军特务处*在军事检察官的纵容下确实扭曲调查并违反苏联法律。

1.红军战士雅科夫列夫，1923 年出生，共青团员，自 1941 年 11 月起在红军服役，期间表现无可指摘。1942 年 4 月 25 日，他与另外两名士兵一起作为证人被该营特务处负责人尼古拉耶夫同志传唤审讯。在前往特别部门的路上，雅科夫列夫找到了一份芬兰传单，并在审讯结束后立即将其交给了负责人尼古拉耶夫。仅凭此就足以逮捕雅科夫列夫并以反苏煽动的罪名对他展开调查。在调查过程中，存在以下作假行为：在制作雅科夫列夫的搜查报告时，在集团军特务处高级调查员伊佐托夫大尉的指使下，该传单被列入雅科夫列夫的搜查报告中，被认定为是通过对雅科夫列夫的搜查发现的。对雅科夫列夫的指控自始至终都牵强附会，而军事法庭正确地宣告雅科夫列夫无罪。

2.红军战士古谢夫，1922 年出生，共青团员，自 1942 年 12 月以来被 162 要塞区特务处以有计划的反苏煽动和叛国意图逮捕。1943 年 3 月 6 日，集团军军事法庭审查了古谢夫的案件，宣布他无罪。核查查明，古谢夫发表过不健康的、政治上不正确的、有时接近反苏的言论，这导致了特务处对他的逮捕。对案件的调查是敷衍了事的。现实中发生的具体事实在调查材料中得到了政治定性，歪曲了案件的实质。证人给特务处执行代表索洛维约夫的证词显然被歪曲了。

3.格里高利杨中尉，共青团员，自 1939 年起在红军服役，1942 年 9 月 26 日被海军第 3 旅特务处以临阵脱逃、自愿投降、表达破坏意图的罪名逮捕。核查查明格里高利杨事实上是在 1941 年 6 月，即在战争的最初几天，与七名士兵一起被派去侦察，遭到敌人猛烈火力的攻击，他感到惊慌失措并向德国人投降。同一天，在他被捕后 5-6 小时，他从囚禁中逃脱。格里高利安在逃离德军时负伤，痊愈后，在第 110 步兵师服役，参加了莫斯科的战斗，再次负伤，出院后继续在第 7 独立集团军军的部队服役。在此期间，他多次参加战斗，在他的战斗记录中，他杀死了 20 个以上的芬兰人，是一位意志坚强、勇敢的指挥官。格里高利扬没有任何反苏和破

坏的言论和意图，这些指控完全是捏造的。此案被军事法庭驳回，格里高利扬被捕 3 个月后获释。

4.红军战士切尔涅佐夫，1896 年生，第一次帝国主义战争参加者。切尔涅佐夫三兄弟现在在红军服役。切尔涅佐夫于 1942 年 6 月被第 368 步兵师特务处逮捕，罪名是反苏煽动和叛国意图。逮捕和指控切尔涅佐夫的依据是红军士兵波拉仁斯基的情报，他是特务处的秘密线人。在调查过程中，波拉仁斯基提供了明显混乱的证词，并在与切尔涅佐夫的对质中最终抛弃了这些证词。然后，在师特务处长的指示下，他被逮捕了。在被拘留 11 天后，波拉仁斯基重申了他最初的证词，即切尔涅佐夫正在进行反苏煽动并打算转投芬兰人。庭审中，波拉仁斯基再次稀里糊涂，改变了最初的证词。根据所有的信息，波拉仁斯基是一个奸细。军事法庭宣告切尔涅佐夫无罪。

5.近卫军准尉、炮手兼无线电操作员费多罗夫采夫，联共（布）预备党员，自 1937 年以来一直在军队服役，自卫国战争开始以来一直在前线服役。由于参加芬兰战役，他被授予红旗勋章，在卫国战争中他被授予红星勋章。卫国战争期间，他出动 128 架次，团长评价他是勇敢的战士，随时准备完成团长的任务。1942 年 8 月 6 日，费多罗夫采夫以反苏煽动罪被第 4 航空驻扎区特务处逮捕。

核查证实，费多罗夫采夫向其他士兵转达了他在收音机上收听的法西斯白卫队节目的内容。因此，逮捕费多罗夫采夫是有根据的，但鉴于他在与德国人的战斗中的军事工作，军事检察官放弃了费多罗夫采夫的案子。

6.第 7 独立集团军军事检察官呈送的备忘录中还有关于科斯马蒂赫、拉扎连科、科罗廖夫、戈里亚切夫在没有充分理由的情况下接受审判的事实说明。所有这些人都被法庭宣判无罪。

以下事实证明了第 7 独立集团军的某些兵团对逮捕的态度相当轻率。*1943 年第一季度 272 步兵师特务处逮捕了 15 人，并指控他们犯有反革命罪。在 15 起案件中，特务处驳回了 8 起案件，军事检察院驳回了 2 起案件*。

1942 年下半年，第 4 步兵军因反革命罪被捕 215 人，43 人（占被捕者的 20%）因缺乏指控证据而获释。同时，应该指出的是，第 272 步兵师特务处处长博日奇科少校在一次会议上表示，对证人的逮捕和传唤没有任何问题，因为把红军士兵叫到特务处是一种政治工作。

III

*调查显示，特务处在调查方法上存在曲解和违反法律的行为。特别是，特务处使用已经被判死刑*从事间谍活动的人充当牢房卧底。比如，在被指控进行反苏煽动的红军士兵戈里亚

乔夫案中，在调查组没有收集到足够的指控材料后，调查组招募了于 1943 年 1 月 29 日被判枪决的间谍热卢德科夫。这位热卢德科夫于 1943 年 2 月 8 日在审讯中作证说，与他一起在牢房里的戈里亚乔夫正在进行反苏煽动。值得一提的是，第 4 航空驻扎区特务处调查员维诺格拉多夫在审讯笔录中记录热卢德科夫“未受审”，也就是说维诺格拉多夫明显在作假。

在被判犯有间谍罪的马斯连尼科夫案中，间谍卡尔内舍夫作为牢房证人被招募，而他已被判死刑。

在其他案件中使用了类似的牢房证人这一事实可以由以下事实证明：1942 年 2 月 2 日，第 114 步兵师军事法庭以准备集体叛逃敌营的罪名将红军士兵库切里亚维和古谢尔判处死刑。对与库切里亚维和古谢尔同案的红军士兵，在两天后——2 月 4 日，执行了判决，而对库切里亚维和古谢尔的判决则是几个月没有执行。1942 年 5 月初，当集团军军事委员会开始怀疑为什么不对这些人执行判决时，集团军特务处处长上校多布罗沃尔斯基同志向委员会提交了一份以监禁代替死刑以使他们能够揭发其他人的申请书。

在集团军特务处的实践中，有这样的事实*，即被告在被送去法庭之前，被传唤到调查组作出指示，以让他们供述他们在特务处调查时所供述的内容*。特务处的高级调查员伊尔贾宁证实了这一点，他承认，根据寇松的命令，被告在庭审前被传唤到调查组，并在那里被指示如何在法庭上供述。寇松中校先是否认了这些事实，然后说可能有这样的事实，但他并不知情，然后承认将被告传唤到调查组，但目的指是告诉他们押送守则，虽然众所周知，押送守则是由审前拘留室主任来执行的。

在特务处的实践中，存在着令人讨厌和不必要的集团军特务处调查人员出席听证会的事实。第 7 独立集团军军指挥官克鲁季科夫少将的报告中提到了在对什韦多夫和尼库林案进行听证时要求高级调查员伊尔贾宁回避而随后调查组的书记员卡尔纳乔夫作为押送员前往法庭的事实——这是实际存在的情况。而这是根据集团军特务处副处长寇松中校的命令执行的。

寇松中校否认在休庭间用香烟招待被告（这里应该是指用香烟烫被告——译注）的事实。特务处高级调查员涅克拉舍维奇说，有一次他用香烟招待了被告。军事法庭秘书扎伊采夫证实，高级调查员涅克拉舍维奇经常这么干，而寇松中校这么干了两回。

IV

结论：

第 7 独立集团军司令员*克鲁季科夫少将向您报告的关于集团军特务处枉法的具体事实的部分，基本上是正确的*。至于报告中的概述是不正确的。

核查表明，在一些间谍案件中，指控仅基于被告自己的供词。然而，指挥官报告中关于大多数间谍案件的共同特点是完全缺乏客观证据，所有关于间谍和破坏工作的指控都基于被告人自己供述的概括是不正确的。总的来说，第 7 独立集团军的特务处在查处德国和芬兰的特务方面做了大量工作，断言所有间谍和破坏工作案件的指控都是仅基于被告自己的供述是错误的。

第 7 独立集团军指挥官的报告中关于调查机构没有采取措施搜查和逮捕外国情报机构线人的概述是不准确的。例如，在 1942-43 年通过被告证词暴露的 30 名特务和线人中，有 5 人被抓获并被判处死刑。

因此，对第 7 独立集团军特务处工作的核查发现，在集团军特务处和兵团特务处的工作中，存在着重大而严重的缺点，也存在着枉法现象。具体的罪魁祸首是：

1.第 7 独立集团军特务处副处长，兼任调查组组长——寇松中校；

2.集团军特务处高级调查员、上尉伊尔贾宁，芬兰族；

3.集团军特务处高级调查员谢多金；

4.162 要塞区特务处调查员伊佐托夫上尉；

5.162 要塞区特务处侦缉人员索洛维约夫。

同时，如果谢多金、伊佐托夫、索洛维约夫、尼古拉耶夫（遇害）等人的工作失误确实可能是缺乏经验的结果而且算是真正的调查失误的话，那么寇松和伊尔贾宁的工作中的错误就是从职业角度看来也是枉法的。寇松的不诚实行为让我更加相信这一点。在尼库林和什韦多夫的案中，寇松告诉我，他“被调查员蒙蔽了”，他说他只审问了 1 次，而且不超过 15 分钟，而事实上他审问了尼库林很多次。寇松先是说被告没有被传唤到调查组接受指示，然后他说他们被传唤了，但这是调查人员在他不知情的情况下进行的，等等。所以说呢？寇松撒谎成性，在这些小事上都这样，以后在更严肃的事情上就更难相信他了。*

第 7 独立集团军特务处处长多布罗沃尔斯基上校对调查监督不力，将过多的业务委托给寇松。

需要注意的是，在对集团军军事委员会的材料进行调查时，一些特务处的工作人员要么否认已经确定的事实，要么千方百计大事化小，抹煞问题的尖锐性，*坚持“不要在公共场合洗脏床单。”的原则，就连特务处处长多布罗沃尔斯基同志也说：“为什么要打扰斯大林同志？告诉我就好了，一切都会当场纠正和消除。”*

需要指出的是，第 7 独立集团军惩戒机构工作的另一个重大缺陷，实际上是*军事检察官格拉西莫夫司法上校及其助手瓦西里耶夫司法少校对调查缺乏检察监督。格拉西莫夫逃避了监

督职责，将这一行为归咎于他的助手瓦西里耶夫*。瓦西里耶夫以及这些兵团的检察官在很大程度上只是在起诉书上盖章，而没有深入探讨案件的实质。

在军事法庭的工作中，有一种出于在审理案件时害怕承担全部责任的保证。这可以从大量的兵团司令部军事法庭、军事委员会和军事法院的未批准的判决得到证明。1942—1943 年间 1529 起死刑判决中的 577 起或 37%的死刑判决改为监禁。在许多情况下，这些量刑上的变化是对罪犯事实上赦免的结果，但在很多情况下，这些量刑上的变化是对案情实质存在分歧的结果。在特务处（现在的“施密尔舒”）的工作人员中，有很多没经验、不识字的人。应通过将数千名政工人员调到反间谍机构来纠正这一缺陷。

建议

建议：

**1.由于调查工作中的枉法行为，寇松和伊尔贾宁应被反间谍机构解职，并由特别会议决定在集中营中监禁 5 年。

2.由于调查工作中的犯罪般的错误——将谢多金、伊佐托夫、索洛维约夫从反间谍机构解职，并将他们调往作战部队**。

РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.461.Л.21—35.原稿，机打。

*-*处用铅笔在空白处划线。

—处被勾掉并由斯大林在第 2 段中写道：“（调往）归红军后勤部长领导的惩戒营”。

224

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被囚禁专家工作的特别报告

（1943 年 8 月 9 日）

665/б

绝密

国防委员会主席И·В·斯大林同志：

在苏联内务人民委员部第 4 特别处，有一批专家参与了佩-2 和图-2 飞机的设计并参与了这些飞机的批量生产。

目前，与交办给米亚西谢夫同志改装佩-2，以及交办给图波列夫同志在航空工业人民委员部第 23 号工厂投产图-2 系列飞机的工作相关，航空工业人民委员部的沙胡林同志与首席设计师图波列夫和米亚西谢夫同志提交了一份关于要求提前释放参与佩-2 和图-2 飞机开发和批量生产的一些专家，以及这些专家在航空工业人民委员部工作的方向的申请。

考虑到被囚禁的专家在研制佩-2 和图-2 飞机方面的丰富经验，苏联内务人民委员部认为让这些专家参与佩-2 和图-2 飞机的进一步工作并申请将他们提前释放，同时清除 38 名在设计和建造佩-2 和图-2 飞机过程中表现特别突出的专家的犯罪记录是可取的。

在此附上指定专家的名单和鉴定。

附：正文。

——苏联内务人民委员贝利亚

绝密

名单

苏联内务人民委员部第 4 特别处表现特别突出的专家

1.伊万·彼得罗维奇·阿斯塔霍夫，1902 年生，前 21 号工厂总机械师。于 40 年 5 月 31 日由苏联最高法院军事审判庭根据 58-7-11 条之规定判处 10 年劳改。

一位经验丰富的工程师—工艺师，参与了 102 型飞机的生产技术的开发，并直接参与了将该系列飞机投入量产的工作。

2.伊戈尔·鲍里索维奇·巴宾，1914 年出生，前第 70 号工厂的工程师—设计师。1938 年 5

月 20 日在苏联内务人民委员部特别会议上被判处劳改 5 年。

一个有能力、积极主动的工程师。作为通用型研发团队的首席工程师，他在图-2 飞机的连杆和结构开发及其改装方面做得非常出色。

3.维克多·费多罗维奇·巴格里，1898 年生，前 32 号工厂的技术总监。于 40 年 5 月 30 日被苏联最高法院的军事审判庭根据 58-6-7-11 条之规定判刑 10 年。

一名合格的、积极主动的工程师，参与了佩-2 和图-2 飞机的设计和建造。他非常了解这些飞机的技术，在推动图-2 飞机投入批量生产的工作中表现出色。

4.尼古拉·费多罗维奇·波恰洛夫，1897 年生，前全联盟航空材料研究所化学技术处处长。于 40 年 5 月 31 日被苏联最高法院的军事审判庭根据 58-7-11 条之规定判处 10 年劳改。

工艺工程师，佩-2、图-2 和 102 型的机械组组长。他对替代品进行了多项研究工作。分配给他的工作进展顺利。

5.巴维尔·瓦西里耶维奇·布德科维奇，1904 年生，前第 43 号飞机制造厂量产设计局局长。于 40 年 5 月 28 日被苏联最高法院的军事审判庭根据 58-6-7-10-11 条之规定判刑 10 年。

非常勤奋和积极的工程师。他负责了图-2 飞机螺旋桨发动机组布局和协调的所有主要工作。分配给他的工作都能完美无缺地完成。

6.尼古拉·尼古拉耶维奇·布拉科夫，1900 年生，前全联盟航空材料研究所实验室主任。于 40 年 5 月 29 日，被苏联的最高法院军事审判庭根据第 58-7-11 条之规定判刑 10 年。

合格的、认真的工程师。他作为技术专家参与了佩-2 和图-2 飞机的设计和制造。

7.弗拉基米尔·列昂基耶维奇·弗拉德舍夫斯基，1902 年生，前全联盟航空材料研究所高级工程师。于 40 年 5 月 31 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典第 58-7-11 条之规定判处 10 年劳改。

经验丰富的木材工程师。开发并投入生产了许多由胶木制成的零件。满怀激情地工作，认真、积极地完成分配的任务。

8.尼古拉·叶夫根尼耶维奇·加林，1892 年出生，32 号工厂的前工程师—设计师，于 37 年 8 月 10 日被莫斯科市法院特别审判庭根据第 58-10 条第 1 款之规定，判处 10 年劳改。

积极主动和非常勤奋的工程师。他在佩-2 和图-2 飞机的工作图纸的深入研究和出版方面做了大量工作。

9.季莫费·马尔科维奇·赫勒，1904 年生，前高尔基汽车厂车间主任。于 40 年 12 月 23 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据第 58-7-9-11 条之规定判处 5 年劳改。

高素质的工艺工程师。他对汽车行业的各种冲压件方法了如指掌，成功地将他的经验转到飞机生产中，极大地简化和加速了飞机的批量生产。

10.亚历山大·谢尔盖耶维奇·伊万诺夫，1893 年生，前莫洛托夫汽车制造厂总工程师。于 40 年 12 月 23 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据第 58-6 条第 2 款、58-7-11 条之规定判处 5 年劳改。

技术精湛的工程师和有能力的组织者。他制定并实施了为生产配备特殊锻模的计划，从而简化并加速了飞机的制造。由于他出色的组织能力，他在专家中享有很高的权威。

11.尤里·瓦西里耶维奇·卡尔加诺夫，1899 年生，前 125 号工厂的总工程师。40 年 5 月 28 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典第 58-7-11 条之规定判处 10 年劳改。

具有丰富飞机生产知识的设计工程师。他在将图-2 飞机引入批量生产方面做了大量工作。他在工作中坚定而执着。

12.彼得·彼得罗维奇·马尔科维奇，1893 年生，43 号工厂的前设计师。40 年 5 月 28 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-6-7-11 条之规定判刑 10 年。

一位高素质、经验丰富的设计师，为佩-2、图-2 和 102 飞机研发了许多非常成功的设计。

13.巴维尔·安德烈耶维奇·米罗斯拉夫斯基，1908 年出生，前 22 号工厂车间主任。38 年 6 月 6 日在苏联内务人民委员部特别会议上以从事间谍活动被判处 8 年劳改。

作为一名经验丰富的工艺工程师，他负责了 103、图-2 型飞机生产设备的设计和制造的所有主要工作。他认真对待自己的工作，对分配的任务积极、准确地完成。

14.康斯坦丁·斯坦尼斯拉沃维奇·米特列维奇，1902 年生，前车里雅宾斯克拖拉机厂发动车间主任。40 年 5 月 30 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典第 58-7-8-9-11 条之规定判处 10 年劳改。

一位机械工程师，对飞机大规模生产的组织有很好的了解。他对图-2 飞机的液压系统制造技术进行了许多改进。

15.亚历山大·伊万诺维奇·涅克拉索夫，1883 生，前中央空气流体动力学研究院掌管科研的副院长。40 年 5 月 28 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-6-7-11 条之规定判刑 10 年。

具有丰富理论知识的合格工程师。他在飞机机翼振动、颤振等研究方面提出了许多理论问题。具有良好的数学技能和知识。

16.叶夫根尼·伊万诺维奇·萨夫科夫，1884 年生，原军事工程学院教授。1939 年 8 月 15 日在苏联内务人民委员部特别会议上因参与反苏组织和破坏活动被判处 8 年劳改。

合格的计算工程师。他主要负责图-2 飞机机翼和副翼的设计及其修改。他还在稀缺材料的替代品方面做了大量工作。

17.维克托·潘捷列莫诺维奇·萨哈罗夫，1909 年生，前“莫斯科电影制片厂”录音部门的工作人员。37 年 12 月 22 日在苏联内务人民委员部特别会议上以反革命活动判处 10 年劳改。

一个精力充沛、能干的工程师。作为工作组的首席工程师，他独立完成了图-2 飞机建造的多项工作。

18.爱德华·约瑟福维奇·谢尔曼，1905 年生，前航空工业人民委员部学校管理总局顾问。40 年 5 月 30 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-6 条之规定判刑 10 年。

一位才华横溢的工程师，在佩-2、图-2 和 102 型飞机的设计中完成了多项重要任务，在将图-2 飞机引入批量生产方面做得非常出色。

19.瓦西里·格里高利耶维奇·斯皮里柯夫，1899 年生，前 124 号工厂总工程师。40 年 5 月 31 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-7-11 条之规定判处 10 年劳改。

设计工程师，研发了佩-2、图-2 和 102 飞机的多项关键设计，为图-2 飞机的批量生产做了大量工作。

20.阿尔谢尼·尼古拉耶维奇·索洛马欣，1903 年生，前 18 号工厂的总机械师。40 年 5 月 30 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-7-11 条之规定判刑 10 年。

参与佩-2、图-2 和 102 飞机设计和制造的设计工程师，他作为将图-2 飞机投入批量生产的车间负责人做得非常出色。

21.米哈伊尔·亚历山大罗维奇·乌萨乔夫，1909 年生，前 156 号工厂厂长。于 39 年 6 月 20 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典 17-58-7 条之规定判处 15 年劳改。

作为一名富有创造力和执行力的工程师，他参与了佩-2、图-2 和 102 型飞机的开发，他为将图-2 飞机引入批量生产做了大量工作。

22.阿布拉姆·萨摩伊洛维奇·费施泰因，1891 年出生，前塑料总厂副厂长。40 年 5 月 31 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-1a-58-7-11 条之规定判处 10 年劳改。

化学工程师，塑料领域经验丰富。在金属的塑料替代品方面进行了多项工作。组织并确保为图-2 飞机生产这些零件。

23.鲍里斯·约瑟福维奇·比尔久格，1909 年生，是 89 号工厂的前设计工程师。38 年 6 月 2 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据第 58-6 条之规定判处 8 年劳改。

合格的设计工程师，负责佩-2 和 102 飞机的设计计算工作，认真对待分配的职责。

24.列昂尼德·亚历山大罗维奇·迪亚科诺夫，1909 年生，前莫斯科市苏维埃交通局高级工程师。39 年 4 月 29 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据第 58-10 条之规定判处 8 年劳改。

一名勤奋、能干的工程师，参与了 102 飞机螺旋桨发动机组的研发和组装。他积极参与了飞机的飞行测试。所有分配的工作都会快速主动地执行。

25.伊万·尼基季奇·科维特科，1901 年出生，前空军科学测试研究所陆上飞机处处长。38 年 9 月 9 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据 58-10 条之规定判处 8 年劳改。

一名合格的工程师，熟悉飞机的操作。他在 102 型飞机的飞行测试方面做了大量工作，他的工作准确、精细、高效。

26.格里高利·基里洛维奇·科洛特科夫，1908 年生，前 22 号工厂处长。在 39 年 4 月 23 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据刑法典 58-8-10-11 条之规定判处 8 年劳改。

工艺工程师。参与了图-2 和 102 飞机的技术开发。遵守纪律而勤奋的工程师。

27.伊万·米哈伊洛维奇·科斯特金，1886 年出生，原第 301 厂总工程师。41 年 4 月 7 日在苏联内务人民委员部特别会议上因参加反苏右派托洛茨基组织而被判处 8 年劳改。

具有良好生产知识的高素质工艺工程师。他为改进飞机生产技术做了大量工作。

28.埃弗拉姆·索罗门诺维奇·马尔库索夫，1905 年生，前 33 号工厂的机械车间主任。40 年 5 月 29 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典 58-1a、58-7-9-11 之规定判刑 10 年。

经验丰富的机械工程师。102 航空发动机工作组组长，精力充沛，能干，优秀的组织者。

29.卢维姆·索罗门诺维奇·马罗尔，1896 年生，前 135 号工厂设计局组长和首席工程师。40 年 5 月 29 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典 58-7-11 之规定判刑 10 年。

高素质的设计工程师。作为组长，他完成了佩-2 和 102 飞机的多项设计，独立研发了副翼和着陆襟翼的设计，取得了良好的效果。

30.札尔曼·莫夫舍维奇·梅耶尔松，1903 年生，前中央空气流体动力学研究院武器处处长。40 年 5 月 29 日被苏联最高法院军事审判庭根据刑法典 58-7-11 之规定判刑 10 年。

高素质的工程师，飞机武器领域的专家。他完成了 102 飞机安装轰炸装置和轻武器的所有主要工作，并在国家测试中获得了委员会优秀的评价。

31.马特维·亚历山大罗维奇·尼姆尔尼茨基，1897 年生，前 22 号工厂的车间主任。被苏联最高法院军事审判庭于 40 年 5 月 29 日根据刑法典 58-6 条第 1 款之规定判刑 10 年。

具有良好理论和实践训练的合格的设计工程师，具有良好的组织能力。他在佩-2 和 102 型飞机的设计上做了大量工作，在 102 型飞机的建造过程中为工厂提供了极大的实际帮助，纪

律严明，主动性强。

32.尼古拉·格里高利耶维奇·努罗夫，1895 年生，前 81 号工厂的副总设计师。于 40 年 5 月 28 日被苏联最高法院军事审判庭根据 58-6 条之规定判刑 10 年。

高素质、经验丰富的设计工程师。作为 102 型飞机的副总设计师，他在 102 型飞机的设计和建造方面做了很大的工作，他的工作为国家测试的成功通过做出了贡献。

33.维亚切斯拉夫·巴甫洛维奇·涅夫达钦，1887 年出生，前机械技术工业联合体总工程师。被苏联最高法院军事审判庭于 40 年 5 月 31 日根据刑法典 58-6 条第 1 款、58-10 第 1 款的规定判刑 10 年。

在航空领域具有丰富实践经验的合格设计工程师。参与了佩-2、图-2、102 型飞机的设计和制造，认真、准确地对待工作。

34.康斯坦丁·叶菲莫维奇·波利舒克，1897 年生，前红军军用电气工程学院院长。39 年 7 月 2 日在苏联内务人民委员部特别会议上根据 58-7-10-11 条之规定判处 8 年劳改。

高素质、经验丰富的电气工程师，102 飞机电气和无线电设备组的负责人。他成功地解决了与飞机电气无线电设备相关的许多复杂的设计问题。积极主动，精力充沛，持之以恒。

35.伊万·库兹米奇·普洛岑科，1899 年出生，前中央空气流体动力学研究院掌管科研的副院长。被苏联最高法院军事审判庭于 40 年 5 月 28 日根据刑法典 58-1a、58-7 条之规定判刑 10 年。

具有丰富理论知识的高素质工程师。参与了佩-2、图-2 和 102 飞机的设计和制造，监督了新型三轮底盘的开发。在他的工作中，他表现出极大的创造力和主动性。他真诚地对待分配的职责。

36.康斯坦丁·伊万诺维奇·特鲁诺夫，1896 年生，前茹科夫斯基空军学院战术教官。被苏联最高法院军事审判庭于 40 年 5 月 29 日，根据 58-6 之规定判处 10 年劳改。

航空战术领域的杰出专家。在苏联内务人民委员部第 4 特别处工作期间，他就第 4 特别部设计的飞机的战术使用提出了许多问题。准确、认真地完成分配的工作，同时表现出主动性和毅力。

37.尤里·特洛菲莫维奇·沙塔洛夫，1902 年生，前 21 号工厂设计处处长。被苏联最高法院军事审判庭于 40 年 5 月 28 日根据 58-9-11 条之规定判处 10 年劳改。

102 型飞机的副总设计师，有经验，有资格。具有飞机制造知识的工程师。

他监督了 102 飞机的所有动态和静态测试，并积极参与了原型飞机的投产。

38.叶夫格拉夫·泊尔菲利耶维奇·舍库诺夫，生于1894年，前1号工厂的总工程师。被苏联最高法院军事审判庭于39年5月14日根据58-7、17-58-8-9-11条之规定判处20年劳改。

在实际管理工作中具有丰富经验的高素质工艺工程师。积极主动、精力充沛的专家。他在佩-2和102型飞机的生产技术方面做了大量工作。作为装配车间的技术专家，他的工作在许多方面为原型机的尽快推广做出了贡献。

——苏联内务人民委员部第4特别处处长B·克拉夫琴科

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.142.Л.114—121.原稿，机打。在第一页有批示：“贝利亚同志，同意。И·斯大林”

225

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于从伦敦和纽约收到的特工情报的特别报告

（1943 年 11 月 1 日）

绝密

国防委员会

斯大林同志、莫洛托夫同志、贝利亚同志：

苏联国家安全人民委员部在此报告以下从伦敦和纽约收到的有关英美武装部队准备入侵法国领土的情报信息。

入侵行动计划于 1944 年 3 月开始。计划在欧洲进行军事行动的英美武装力量的比例确定为美国 70%和英国 30%，除了挪威，为此行动准备的 90%英军和 10%的美军已经就位。

首先是计划以进攻卡昂（诺曼底）为方向攻占诺曼底和布列塔尼。为了这次行动计划分配 100 个师（70 个美国师和 30 个英国师）。最初的登陆应该由 20 个师的部队进行，从中会分出一个 8-9 个师的突击组。

在西面执行主攻计划的同时计划在罗纳河口以 6 个师的部队进行诱敌作战。此外，盟军司令部还计划进行另一次地面行动，预计将为此分配 26 个美国师。

目前，这些行动所需的部队正集中在英国境内，特别是美国军队的大量人员正在从北非转移。

——苏联国家安全人民委员 В·梅尔库洛夫

译自：《俄罗斯外国情报史文集（6 卷）》第 4 卷 1941—1945，莫斯科 1999 年版，第 613 页。

226

B·C·阿巴库莫夫致И·B·斯大林关于指战员们对新苏联国歌反应的特别报告

（1943 年 12 月 23 日）

编号 343/a

绝密

国防委员会

斯大林同志：

苏联人民委员会在报刊上发表的《关于苏联国歌》的决定，在红军指战员中引起了广泛的反响。

红军的将领和军官们赞成用新的国歌代替《国际歌》，新国歌歌词歌颂我们伟大的苏维埃祖国，自由共和国的坚不可摧的联盟，并且“（歌词）与我们事业的内容和苏维埃制度的本质是相契合的。”

雅科夫列夫，上将、红军炮兵总局局长：

“在国外，这被视为退步，视为对盟国的让步，但实际上并非如此。毕竟，我们在战争期间采取了数个这样的步骤：我们取消了政委——什么也没发生，（部队）反而因此更加善战了，我们（为撤销的政委）引入了将军级别，给他们每个人都戴上了肩章——这加强了纪律性。

我们创立了至圣的主教公会（俄罗斯东正教的最高权力机构——译注），选举了宗教主教，解散了共产国际，最终取消了《国际歌》，这一切都是为了祖国的利益。

《国际歌》怎么可能和杀死几十万苏联人、把我们的国家变成荒漠的德国禽兽在一起相提并论？

消灭法西斯邪灵——这些是现在必须面对的任务，因此一切能够加速法西斯主义灭亡的东西都应该被使用。”

诺维科夫，空军元帅、红军空军司令：

“国歌的内容很丰富。显然，音乐听起来同样有力。这个措施很及时，因为旧国歌已经过时了，它的内容不符合时代精神。”

谢沃斯季亚诺夫，上校、西方面军第 5 集团军工程处处长：

“新的苏联国歌与当今的时代相契合，极大地体现了最高统帅斯大林同志的作用。”

尼基金，空军上将、红军空军副司令员：

“极好的国歌。它的内容非常非常具有永恒意义。这是我们需要的国歌。新国歌的每一个字都能感受到我们人民的巨大力量。”

德米特里延科，上校、红军后方参谋部科长：

“新国歌非常正确地提到了列宁和斯大林，指出我们是被斯大林培养的——忠于人民。

这反映了伟大人民的时代，苏联的建立，以及生活在其中的英雄的人民的成长。”

特克马佐夫，少将、白俄罗斯方面军参谋部情报处处长：

“国歌的新版本教导要爱祖国，爱特定意义上的祖国，而不是一般的什么国。它总结了祖国概念的含义，而重要的是，苏联是被伟大的俄罗斯统一的。国歌谈到祖国，并且用这些话语使每个人都为自己的民族和苏维埃国家所有民族的团结而自豪。”

拉赫马诺夫，医务少将、红军中央军医委员会委员：

“新国歌充分反映了我国的政治形势。其内容是根据斯大林同志的讲话和他的历史性的指示写成的。”

茹拉夫廖夫，空军中将、红军空军参谋部作战局局长：

“苏联的新国歌符合我们的时代。其案文由斯大林同志亲自修改。

现在用这些词配出好的音乐是非常重要的。”

马卡洛夫，上校、莫斯科独立防空集团军军参谋部财务处处长：

“歌词很好，涵盖了一切：第一段是俄罗斯，第二段是列宁和斯大林，第三段是红军。副歌——关于各族人民的友谊。”

斯摩棱斯基，少校、西方面军第 33 集团军参谋部军械局情报科高级助理：

“这首关于列宁和斯大林的美妙赞美诗应该被所有民族唱响，而不是在什么别的歌曲当中，而是在国歌中唱响。”

康德拉托夫，上校、西方面军第 5 集团军第 72 步兵军参谋长：

“新国歌的歌词反映了团结在苏维埃俄罗斯周围的苏维埃共和国的力量。歌词述说着祖国和各族人民的友谊，述说着伟大的领袖列宁和斯大林，他们为俄罗斯民族指明了道路，并激励他们勇敢地面对狂妄自大的法西斯分子。”

博格丹诺夫，中校、莫斯科独立防空集团军第二拦阻气球师师长助理：

“在共产国际在完成了它在组织工人阶级方面发挥的使命后解散的那一刻，便意味着国际

歌已经失去了它的功能。我们政府采用新的国歌歌词的做法非常正确，它反映了苏维埃政权在其存在的26年中所走过的完整的道路，并生动地反映了我们国家的缔造者——列宁和斯大林的作用。”

莫塔耶夫，上校工程师、红军空军航空工程总局处长：

“最后，我们想起了伟大的俄罗斯，而我们差点把这个完全忘记了。这个词已从俄语词典中删除。这是一个很大的错误。

我们国家的基础——孕育苏联的基础，就是俄罗斯。在此基础上，有必要进行教育。这些词创造了伟大的传统，而我们现在正需要这些传统。”

索罗金，上校、伏罗希洛夫高等军事学院的学生：

“新国歌的词句极为深邃，意味深长。整首国歌反映了我们国家的现状和我们的力量。”

基斯洛夫，中校、莫斯科独立防空集团军第56防空炮兵师参谋长：

“改变国歌是必要的措施。在内战期间，国际歌还能发挥它的作用，但现在它不能反映苏联的现实。

新的国歌充分反映了我们现实的本质。新国歌歌颂了建设幸福生活的领袖和组织者，也颂扬了我们英勇的军队。”

库里洛夫，空军少将、伏龙芝中央机场负责人：

“国际歌的内容已经过时，与当前的情况不符。新国歌充分反映了现实和多民族苏联的生活。”

阿尔申，少将、国防人民委员部人事总局副组长：

“国歌非常好。歌词欢快，内涵丰富。我想更快地听听国歌的旋律听起来如何。也许，斯巴斯基塔上的时钟会敲响国歌的旋律。”

克拉斯诺谢科夫，上校、红军空军参谋部学院处处长：

“当然，国际歌已经过时了。旧国歌的内容是关于旧世界的毁灭。我们还要说我们要摧毁旧世界到什么时候，在我们已经达到了社会主义社会的情况下。”

奥斯特罗乌莫夫，中校、莫斯科特别防空集团军第56师参谋长：

“这就是我的理解，这是一首非常合乎现实的国歌文本。用这样的歌词会很好，它表达了俄罗斯民族和我们的领袖为建立俄罗斯——苏维埃国家所做的所有工作。现在我们的盟友会思考这一点，并且会更加重视我们。历史上第一次，俄罗斯民族会像现在这样受到称赞。”

恩斯特，少将、伏龙芝军事学院装甲部队教研室主任：

“国歌非常好，优美而有力量。它讲述了我们国家的过去、现在和未来，以及苏联的任务。当然，歌词与国际歌完全不同。国际歌不再符合我们国家的生活条件，不再符合我们国家因社会主义胜利而发生的变化。

很明显，我们在改变国歌时考虑到了我们与盟友的关系。”

伊瓦申科，西方面军参谋部防空炮团上尉：

“国际歌没有反映苏维埃政权的社会主义本质，也就是说，没有反映我国 26 年来的根本变化。

我们建立了社会主义新祖国，废除了人对人的剥削，苏联各族人民生活在兄弟大家庭中。在与德国法西斯侵略者的神圣斗争中，我们正在为我们的自由独立而战。

新的国歌将颂扬我们这一代艰辛而光辉的道路，以及我们与外国侵略者的斗争。”

康德拉季耶夫，中将、红军道路管理总局局长：

“我国政府采用新国歌的行动是及时的，反映了当前卫国战争的整个过程。”

苏霍沃伊，中校、白俄罗斯方面军参谋部作战处处长高级助理：

“在伟大卫国战争的形势下，国歌的出现是对所有热爱自由的人民打败法西斯主义的召唤。”

戈尼罗博科夫，少校、乌克兰第 4 方面军装甲和机械化部队作战处处长高级助理：

“的确，国际歌已经过时了。他所说的‘起来饥寒交迫的奴隶，起来全世界受苦的人’——与现实不符。我们怎么是奴隶呢？我们是伟大苏维埃国家的人民。”

叶若夫，上校、白俄罗斯方面军参谋部部机要处处长：

“《国际歌》的内容现在已经过时了。旧国歌强调无产阶级领导权，新国歌体现全体人民。”

边斯基，少将、红军部队组建局局长：

“国歌有着重要的意义。歌词记载了社会主义建设和英勇斗争的巨大成就。”

加尔采夫，上校、红军军需总局第一处处长助理：

“新国歌的内容符合我们这个时代的所有要求。它反映了苏联的现实、特色和成就。”

伊万琴科，少校、列宁格勒方面军第 67 集团军情报处处长助理：

“采用这首国歌是正确决定。国歌很纯熟，简洁明快，比国际歌短，这样会更容易演奏。”

费久宁，莫斯科特别防空集团军第二拦阻气球师的中尉技术员：

“在唱旧国歌时，很多词句——让人觉得他们被剥夺了，不仅被剥夺了，而且在我们这个时代的意义根本没有被赋予其中。的确，我们早已超越了‘奴隶世界’，创造了一个新的、我

们自己的祖国。新的国歌简洁、内容优美，反映了苏联人民的全部感情。”

基谢廖夫，上校、列宁格勒方面军第 13 航空集团军防化处处长：

“新的国歌很好，因为它将反映当今的现实并动员起来保卫自己的国家。”

日尔诺布列夫，中校、西方面军第 33 集团军参谋部装甲和摩托化部队参谋长：

“替换国歌的歌词是绝对正确的。新国歌充分反映了我国苏维埃政权存在 26 年和当前反对法西斯奴役的卫国战争时代发生的变化。”

一些红军将领和军官对用新歌词替换苏联国歌发表了积极的评价，认为这是在我们与盟国——英国和美国合作的影响下完成的。

沃尔斯基，中将、红军装甲机械化部队副司令员：

“由于我们与英国和美国建立了友好关系，在所有会议上他们都被迫演奏国际歌，这当然不是他们喜欢的，因此有必要引入一首新的国歌，符合时代精神的同时不贬低苏联的尊严。新的国歌很好，让我们将期待它演奏时的声音。”

格连达利，空军中将、红军空军参谋部情报局局长：

“很高兴我们终于在国歌中想起来俄罗斯了，但在我看来，这里是对罗斯福和丘吉尔的一些让步。”

瑟乔夫，中校工程师、红军防空炮兵装备局会计和计划科科长：

“起来，饥寒交迫的奴隶——现在在我们与英国和美国的友好关系中这是不可接受的。这是对盟友的让步。当然，现在如果他们要求改变现有制度和选择沙皇，我们无疑不会同意。”

沃罗比约夫，中校、列宁高等政治培训班讲师：

“这一切都是在盟国的巨大影响下完成的。他们支配自己的意志，更何况他们现在成功了，在我们的国家在战争中筋疲力尽时，不得不考虑他们的意志。因此，我们必须放弃用俄罗斯工人的用鲜血争得来的国歌。”

勒热夫斯基，少校、西方面军第 49 集团军参谋部装甲和摩托化部队局局长高级助理：

“与其他措施一样，在我们的盟友的压力下，用新的国歌取代了国际歌。我们的政府在迅速开辟第二战场上不遗余力。”

寇松，上校、红军中央军事通信局人事处处长：

“新国歌的推出是重大事件之一，因为国际歌在当今时代无法存活。我们与资本主义国家结成了联盟，国际歌说要废除奴隶制，而我们的盟友则在剥削人。”

别利科夫，少校、莫斯科军区军官旅第 53 军官团参谋长：

“苏联的新国歌被发布是因为国际歌损害了我们盟国——英国和美国的国内生活。”

霍扎伊诺夫，中校工程师、红军军械总局第五处处长：

“新国歌的出版与国际关系有关。这是在盟国会议上提出的问题，据推测，他们在取代国际歌的问题上谈妥了。”

科罗廖夫，少校、西方面军第 33 集团军参谋部作战处科长助理：

“国歌文本的改变是在英美外交官的要求下进行的，他们不喜欢旧的国歌国际歌。”

多尼切夫，少校、红军情报总局指挥人员情报进修培训班战术讲师：

“改变国歌的歌词并不是因为旧国歌不符合我们社会主义国家的新宗旨，正如政府法令中所指出的那样，使用新歌词是因为我们想要取悦不喜欢国际歌的盟友。”

弗罗洛夫，军需上校、红军军需总局运输和经济供应局第 6 处处长：

“以前，我们是孤立的、孤独的，所以我们可以在唱歌和说话的时候，不必听其他人对我们的评价。现在我们必须听取其他国家的意见，并为我们的盟友改编我们的国歌。因此，随着对教会和国际运动的态度发生变化，不得不将国歌的歌词改为更无害的歌词”。

萨韦利耶夫，莫斯科独立防空集团军参谋部通信局大尉工程师：

“国歌的更换与德黑兰国务活动家们的会议有关，与我们国家政策的新方向有关，也与共产国际的解散有关。”

克雷洛夫，上校、红军军需总局科长：

“我们正逐渐向天佑沙皇作为国歌的方向靠拢。我们正在逐渐改变我们的基本宗旨，并接近那些使我们的盟友感到愉悦的立场。”

沃尔科夫，少校、白俄罗斯方面军参谋部作战训练处高级处长助理：

“这并非没有罗斯福和丘吉尔的压力，他们迫使斯大林同志改变我们的国歌，因为歌词里面有‘旧世界打个落花流水’，而他们不喜欢。”

巴索娃，红军化学学院德语教师：

“这是英国人的事，这是他们的影响力，是他们使我们教会的地位现在达到了高得离谱的地步。他们迫使我们放弃最好的理想并清算了共产国际。现在是他们迫使我们废除了《国际歌》。无论新的国歌是什么，对我来说地位永远不会像《国际歌》那样。我是个老人，但每次听到国际歌，我都会兴奋得肌肤震颤。不，我反对。这都是受英国的影响。”

科什尼茨基，红军高等学术培训班的学生：

“新国歌的通过也与德黑兰会议直接相关，在德黑兰会议上，盟国向斯大林同志提议放弃

与我们的世界革命理念有关的一切。盟军可能很快就会开辟第二战场。”

别洛夫，军需上校、红军军械总局财务局副局长：

“国际歌作为国歌与共产国际的解散是不能共存的，因为我们在国际歌中号召摧毁旧世界并建立一个新世界。如果我们没有这样做（用新国歌——译注），那么英国和美国就会产生某种不信任。”

一些红军军官对用新版苏联国歌代替《国际歌》表达了否定意见，也有人认为新国歌只有在卫国战争期间才会存在，之后将被替换成另一新版国歌，甚至回到《国际歌》。

科佩罗夫，少校工程师、红军空军进口局第三处处长：

“国歌并没有反映我们在战前一直讲述的和平建设的伟大和悲壮。”

戈利采夫，少校、远程航空兵报纸《红色之鹰》的特约记者：

“在我所知道的许多国家的国歌中，就其艺术和内在内容而言，这将是最失败的一首国歌——它是一组押韵粗俗的口号的集合，其中还没有君主主义国歌天佑沙皇那样的力量和美感。”

彼得罗夫，中校工程师、沃尔霍夫方面军装甲部队局管理处处长：

“告别前苏联国歌是一种遗憾。国际歌体现了一种冲动、一种英雄主义、一种战斗的欲望，总的来说这是一首可爱的国歌，是一首使人变得高尚的国歌。而新的国歌虽然我们没有听过，但从内容来看，并不有趣。不是我们习惯的歌词。遗憾的是通过这点我们否定了为苏维埃政权而战的精神。”

尤纳什，大尉、红军军需总局第 3 科科长：

“这首国歌的歌词中没有任何崇高和诱人的东西。歌词不好记，让人反应迟钝。”

格洛万，上校、红军总参谋部作战局第二波罗的海方向副主任：

“显然，苏联的新国歌只在战争期间使用，因为我们不拒绝对全世界革命运动发展的影响。”

瓦西里耶夫斯基，大尉工程师、红军空军进口局第三处处长助理：

“再过两三年，国歌就会过时，总的来说，它并不反映苏联的和平目的，而是再次对战争进行了美化。”

费拉托夫，红军水文气象总局中央设计局工程师：

“旧歌威严雄浑，内涵深刻，新歌犹如一首什么曲子。”

托罗霍夫，中校、乌克兰第 4 方面军第 28 集团军侦察处处长：

“我不喜欢新国歌的歌词，里面没有战斗的火焰。现在根本不值得改变国歌。”

诺尔特金，军需大尉、红军军需总局高级科长助理：

“新国歌的内容不是指南性的，甚至不是陈述性的。在国歌中，对俄罗斯民族有一种崇高的敬意，而其他民族则处于沉默状态。此种黑暗要素可以被用作大俄罗斯沙文主义。俄罗斯民族彻头彻尾地突出是显而易见的。”

亚斯特列波夫，中校、远程航空兵通信处科长：

“苏联的新国歌由一组简单的词组成，但就国歌的音乐而言，亚历山德罗夫没有什么好期待的，他的所有音乐都是单调的，并且基于连续不断的噪音。”

博加特廖夫，少校、白俄罗斯方面军第 48 集团军后方作战处科长助理：

“我们已经经历了许多不同的‘歌曲’，而这将在战后改变。这样的国歌是战争的产物，本质上只反映了今天的任务。”

科尼切夫，少校、莫斯科军区第二医学院军事系负责教学工作的副主任：

“新国歌不像国际歌那样庄严，言语和思想更简单。新国歌的出现无疑与共产国际的解散有关，是延续我们退让政策的事件。这纯粹是通往新的什么地方的路。”

穆什尼科夫，兽医少校、西方面军第 49 集团军后勤兽医局局长高级助理：

“新的国歌并没有反映今天。它没有提及共产党和共产主义，尽管那是我们的主要目标。”

洛姆捷夫，行政中尉、红军通信总局第 5 局海军邮政处副处长：

“你考虑一下‘光荣属于……’，这甚至还是在使徒保罗时期就这么唱过。为什么国际歌会被放弃，毕竟它是一首有战斗力的革命的国歌，是能为所有民族所唱的。”

特里福诺夫，中校、白俄罗斯方面军第 16 航空军作战处高级处长助理：

“新的国歌是在战争期间临时引入的，以保持与英国和美国的良好关系。在与德国人的战争结束时，这首国歌将立即被取消，国际歌将再次出现”。

巴雷切夫，大尉工程师、红军空军机场建设局第一处高级处长助理：

“我不喜欢新国歌的歌词。里面没有庄严，而从歌词上看，它更像是一首歌曲，而不是一首国歌。”

斯特利金，行政中尉、沃尔霍夫方面军通讯局文书：

“我们需要写这样一首国歌，能永远流传下去的国歌。但是新国歌的歌词只反映了现在正在发生的事情。战后，它们不会反映将成为主流的情况。”

索科洛夫，上校、红军空军作战局第一处高级处长助理：

“新国歌——权宜之计。它只包含了这个时代——卫国战争时代。里面有关于军队的歌词，

也反映的是这个时代的东西，但它会在战后继续存在。”

斯伯姆博尔，少校、远程航空兵人事处处长高级助理：

“这首国歌是用不规则的，并且粗鲁的语言编写的。例如，如何将“俄罗斯”和“联盟”这两个词联系起来。国歌的歌词是由一些迄今不为人知的诗人写的。这是我生命中的第三首国歌。第一首国歌是《天佑沙皇》，第二首是《国际歌》和第三首，就是现在在报纸上发表的这个。与最后一首国歌相比，第一首国歌的歌词在风格和弹性上都经过精心挑选。第一首国歌的音乐非常好，现在我记得以前是如何演奏国歌的，那时我的心跟着旋律一起颤抖。”

莫罗佐夫，大尉、白俄罗斯方面军第 48 集团军作战处处长助理：

“嗯，会出现一个‘沿着彼得大街’（俄罗斯传统民歌——译注）之类的东西。在我看来，每首国歌本质上都应该是保守的。国歌的任何变化都意味着国家政策的某种根本变化。

我们还没有用过《天佑沙皇》呢。上帝啊，这将是一首好的国歌，而我们会用“人民”这个词来代替“沙皇”这个词。”

除了对使用新的苏联国歌歌词的负面反应外，红军个别军人的敌对言论也被记录下来。

列德涅夫，红军水文气象总局中央设计局工程师：

“新的国歌软弱无力，它的采用是瞎忙活，他们犯了一个大错误，他们使用了关于个人崇拜的词藻。”

皮留金，少校工程师、红军汽车与坦克装甲总局装甲列车和装甲车辆局处长助理：

“我们被诅咒了 26 年吗？虽然是的，但是是被打上了烙印的。‘起来，全世界受苦的人。’没错——受苦的人仍然几乎被饿得半死。当然，现在唱这样的东西很无耻。让他们写新的吧，好赚大钱。”

列瓦乔夫，大尉、莫斯科军区高等骑兵军官学校的学生：

“今天他们唱一件事，明天唱另一件事。聆听天主之母和聆听这首国歌，都是一个德性。有必要为这首国歌找到一个像葬礼进行曲一样的旋律。我们对它不屑一顾。”

斯佩兰斯基，大尉工程师、红军水文气象总局第 3 处处长：

“我不清楚为什么列宁和斯大林这些人物会被包含在国歌的文本中，因为国歌将存在许多世纪，而领导人都是你方唱罢我登场”。

巴拉诺夫，上尉、莫斯科独立防空集团军参谋部探照灯事务局局长助理：

“我们国家的本质已经发生了巨大的变化，我们不再面临建设共产主义社会的任务，我们正在滑向资产阶级制度。在这方面，马克思主义不再适合我们，需要修正。”

莫伊先科，大尉、列宁格勒方面军轻武器和机枪指挥人员进修课程营的学生：

“很快，我们将随着《天佑沙皇》的曲调唱一首国歌。一切归旧。”

沙拉波夫，红军中央办公厅行政经济处处长：

“剩下的就是改变和解散布尔什维克人的党。1918-1919 年鼓动的是什么，那个时候有‘土地归农民，工厂归工人’的口号和言论自由，然后这些就被压制了下来，数以百万计的人低下了自己的头。”

——阿巴库莫夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.98—114.原稿，机打。

在第一页上有批示：“重要。需要试探某些人。斯大林”

*-*处姓氏用铅笔勾描出来，在空白处用两行下划线标出。

-在空白处划了两行下划线。

227

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于逮捕同德国占领军合作者的特别报告

（1943 年 12 月 28 日）

编号 1188/б

绝密

副本

国防委员会

斯大林同志：

属于在被临时占领的苏联领土上享有德国占领当局赋予的大量特权并被德国侵略者广泛用作他们在乌克兰的支柱的组成部分的，有所谓的“德意志裔人”。

“德意志裔人”的范畴主要包括德国移民以及非德意志民族，但其家庭中有德国亲戚的人。在某些情况下，与德意志民族无关但值得德国当局特别信任的人也包括在“德意志裔人”类别中。

在乌克兰总督辖区治下，有专门的机构用来确定对“德意志裔人”的态度和归属并对其进行照顾。

被归类为“德意志裔人”的个人在组织自己的贸易和工业企业方面享有显著的特权，完全免征所得税，而当他们为德国人效命的时候，会获得比正常工资高 50%的工资和多项其他福利。

“德意志裔人”被纳粹入侵者广泛用作警察、讨伐队员和德国机构的雇员。

在德国军队撤退期间，属于“德意志裔人”类别内的人员由德国人有组织地疏散，并为他们提供交通工具等。

乌克兰苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部目前正在乌克兰所有从敌人手中解放的领土上对“德意志裔人”进行秘密登记。

在基辅市已经有 184 个“德意志裔人”被清点了出来。

苏联内务人民委员部认为有必要逮捕在从敌人手中解放出来的领土上发现的所有“德意志裔人”。对于那些有充分理由起诉至军事法庭的人——起诉之，所有其余的“德意志裔人”及其家人将被驱逐到阿尔泰边疆区。除此之外还应驱逐将被法院定罪的那些“德意志裔人”的家属。

请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.178.Л.73—76.原稿，机打。

在第一页有批示：“逮捕所有人，把他们关押在特殊的集中营里，在特殊的监督下强迫他们劳动。斯大林”

1944 年

228

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于开展对卡尔梅克族人员进行重新安置行动的特别报告

（1944 年 1 月 3 日）

编号 1/б

绝密

国防委员会

斯大林同志、莫洛托夫同志：

根据最高苏维埃主席团法令和苏联人民委员会 1943 年 12 月 28 日的决议，苏联内务人民委员部开展了向东部地区重新安置卡尔梅克族人员的行动。

为确保行动顺利进行，防止发生抵抗或逃跑事件，内务人民委员部提前采取了必要的军事行动措施，在居民点组织了护卫工作，集合了需要重新安置的人，将他们护送到装载处并送上军列。

行动开始时，750 名卡尔梅克人被捕，他们是帮派成员、土匪、德国侵略者和其他反苏分子的积极帮凶。

总共有 26,359 个家庭，即 93,139 名移民被分到 46 个军列，被送往阿尔泰和克拉斯诺亚尔斯克边疆区、鄂木斯克和新西伯利亚州的安置点。

行动过程中没有发生任何事故或过激行为。

有安置人员的军列由内务人民委员部工作人员押送。

苏联内务人民委员部与地方组织一起采取必要措施，在定居点接收移民并提供住房和就业机会。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.1.副本，机打。

229

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于“清理”从敌人手中解放出来的领土的特别报告

（1944 年 1 月 8 日）

编号 28/б

绝密

副本

国防委员会

И·В·斯大林同志、В·М·莫洛托夫同志：

1943 年，内务人民委员部红军作战部队后方保卫部队在清剿从敌人手中解放领土和履行保卫后方职能的过程中，共拘捕 931549 人，其中：

军事人员——582515

平民——349,034

在被扣押的军人中：

无组织地离开战场——42807

从所属部队掉队——158585

被敌人俘虏——88,221

逃出包围——18086

持有不正确办理的公文——254922

违反国防人民委员部 0860—19894 号令的人

在被扣押的平民中：

从防御工程中逃脱的人——3560

逃离拘留场所的人——114

那些躲避征召入红军的人——65,259

躲避重新安置的靠近前线地带的居民——11110

违反前线规章的人——113790

无身份证明文件——87,665

可疑分子——67,536

在被内务人民委员部情报机构为保护前线后方而扣押的所有人中，有 80,296 人被揭发并逮捕，其中：

敌方特工——4822

叛徒和变节分子——14626

警察和讨伐队员——5663

德国的心腹和帮凶——21,022

红军逃兵——23418

抢劫犯——929

其他犯罪分子——9816

此外，还有 95 名德国情报部门伞兵被拘押并移交给了施密尔舒。

在西部、白俄罗斯和乌克兰第 30 方面军（此处疑似有误，应为第 3 方面军，原文如此——译注）后方被拘留的敌方特工人数最多。

一年来，内务人民委员部后方保卫部队清剿土匪团伙 114 个，参加人员 636 人，抓获单个土匪 160 人。

土匪分子主要是德国侵略者的走狗和帮凶，以及从逃兵走上土匪道路的前红军军人。

受土匪分子影响最大的是乌克兰第 1、第 2、第 3、第 4 和前北高加索方面军后方，共歼灭、逮捕土匪 604 人。

从敌方特工和土匪手中缴获：

轻机枪——4

步枪——391

手枪和左轮手枪——89

手榴弹——109

爆炸物——75 公斤

电台——10

敌方特工、祖国叛徒、变节分子、土匪、逃兵、德国侵略者的追随者和帮凶以及其他犯罪分子根据属地原则已被移交给内务人民委员部、国家安全人民委员部和施密尔舒的反间谍机构。

被扣押的军人——无组织地从战场上撤退，从他们所在部队掉队并且缺乏指定文件的——

在核实后被送往他们的部队以及方面军和集团军的编组点。

那些逃避红军兵役、逃离防御工作和拘留场所以及长期违反前线规章的人被转移到内务人民委员部的地方机构，并将追究他们的责任。

内务人民委员部卡累利阿方面军后方保卫部队在 1943 年与渗透或试图侵入方面军后方的敌侦察和破坏小组发生了 29 次战斗冲突。这其中杀死敌方官兵 269 人、俘虏 40 人。

在红军进攻部队的后方，8686 名敌军官兵被拘留，并被移交给战俘收容所。

在内务人民委员部业务小组清理前线地带期间从战场上收集并从地方居民手中没收缴获的和国产的武器弹药：

飞机——85

坦克——757

装甲车和装甲运兵车——31

不同口径的枪支——230

迫击炮——539

反坦克步枪——290

轻重机枪——1712

冲锋枪——2488

步枪——34783

左轮手枪和手枪——1341

不同口径的炮弹——302827

地雷——78774

手榴弹——47,176

不同种类的子弹——5478536

此外，在前线后方发现 150 个无人看守的国产武器弹药仓库和 19 个敌人撤退时被遗弃的仓库。

仓库移交给红军各部队和兵团指挥部。

1943 年，内务人民委员部部队 3 个团、3 个非独立营，在完成保护方面军后方的主要任务的同时，按照方面军和集团军军事委员会的命令，参加了与敌军正规部队的战斗。他们消灭了 379 人，俘虏了 217 名士兵和军官。

被捕获的战利品：汽车——50，拖拉机——100，炮弹——2100，子弹——超过 1000 万，

电话线——超过 200 公里，汽油——200 吨，装有弹药和军事装备的推车——11。

1943 年，在作战行动和履行职责过程中，守卫方面军后方的内务人民委员部部队遭受的损失：牺牲或因伤牺牲 480 人、受伤 1203 人、失踪 12 人。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

证明

1943 年，下列人员参加了与敌军正规部队的作战行动：

卡累利阿方面军

自战争开始以来，第 82 边防团一直在保卫列斯基肯特方向，在它前面有两个芬兰营，人数超过 2,000 人。

该团的下属没有与芬兰白军进行重大战斗；双方的行动仅限于寻找侦察兵和抓捕被控制的俘虏——"舌头"。

第 80 边防团与敌人有交火，保护了波韦涅茨和扎涅日斯基湾的东海岸以及奥涅加湖。

前西南方面军

1943 年 3 月 1 日至 3 月 11 日，内务人民委员部第 143 步兵团奉方面军军事委员会的命令，在通往伊久姆镇的南部道路上进行防御战。

前北高加索方面军

43 年 1 月 14 日到 31 日第 23 边防团第 2 营在 46 集团军指挥官的命令下进行了进攻性战斗并占领了迈科普市。

1943 年 3 月至 6 月，第 26 和第 95 边防团的两个联合支队作为内务人民委员部作战部队的一部分参加了在塔曼半岛突破德军“浅蓝线”的战斗。

——作战处处长叶夫列莫夫上校

1944 年 1 月

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.9—13.副本，机打。

230

B·C·阿巴库莫夫致И·B·斯大林关于波兰家乡军的特别报告

（1944 年 2 月 1 日）

编号 371/A

副本

绝密

国防委员会

斯大林同志：

作为对今年 1 月 30 日“施密尔舒”总局编号 370/A 报告的补充，通过对被捕的波兰军官 B·A·佩尔卡、K·A·米拉舍夫斯基、Э·Г·罗托茨基、З·Б·克胡特尼茨基和И·A·博布罗夫尼茨基的进一步审讯表明，名为“家乡军”（国内军队）的波兰地下军事组织在各省组织自己的营，以在红军接近波兰边界时针对红军开展武装行动，或在波兰领土上向德国人发动进攻时在苏联军队的后方开展武装行动。

正如被捕者所招供的，根据巴拉诺维奇州斯托尔布茨区的地下波兰指挥官“斯维里”——沃罗科姆斯基的说法，他通过“家乡军”的监察员，一位代号为“伯利克”的中校与这支军队的指挥官“格鲁特”将军，然后是他的继任者“布尔”将军，以及在伦敦的波兰流亡政府的代表柯拉耶夫斯基联系——他们知道正在组建的波兰地下营应该是未来的波兰军队的核心，现在在波兰各地储备的人员会加入其中（未来的波兰军队——译注）。

因此，被捕的前波兰第 331 营副官米拉舍夫斯基中尉招供说：

“根据‘斯维里’的话，我知道我们的第 331 波兰营应该是波兰军队的核心，而位于地区的超过 500 人的预备队也应当加入其中。同时，‘斯维里’强调，其他地区也有类似的营和预备队。

‘斯维里’还表示，将从华沙向全波兰发出讲话信号，全波兰将起来阻止红军进入波兰领土。

‘斯维里’一直强调，我们现在有义务为此做好准备，积累力量，节省武器弹药，尽量不要与苏联游击队发生争端，并与他们保持良好关系，并在适当的时候，将他们驱逐出我们的领

土。

这个‘斯维里’在1943年落叶季11日（11月11日）在捷列夫诺耶市镇的国庆节演讲中对此进行了最生动的表达，他在谈到这个节日对波兰人民的意义时说：‘我们，一小群波兰人在波兰东部边境，这证明了我们生活并将继续生活在这里并且不会将我们的土地交给任何人的事实。’”

另一名被捕者，前波兰第331营副连长博布罗夫尼茨基中尉在该部队作如下供述：

“从‘家乡军’领导层的命令，以及从这个组织的地下媒体那里，我知道‘家乡军’目前正在训练人员，组建分队，储备武器弹药，在为红军部队接近波兰边界时进行武装行动做准备。

目前，‘家乡军’并未对德国人进行任何积极的斗争，只允许对德国人进行个别的破坏活动和恐怖活动。”

被捕的克胡特尼茨基中尉和罗托茨基中尉也提供了类似的供述。

被捕的前波兰第331营指挥官佩尔卡少校在这个问题上的证词略有不同。

根据佩尔卡的说法，“家乡军”的行动应该发生在红军深入波兰腹地追击德国人之后。

佩尔卡供述：

“根据‘斯维里’的说法，这种行动应该发生在红军的后方，当红军为追击德国人而深入波兰时。行动预定持续到战争结束，以期达成这样的结果，在缔结和平条约时，波兰军队驻扎在波苏边界（即1939年之前的边界）。

此外，‘斯维里’表示，正在组建的营要同苏联游击支队保持表面上的友好关系，但未来他们和红军一样，将被波兰人从西白俄罗斯和西乌克兰的领土上驱逐出去。”

关于解除波兰第331营武装时缴获的反苏文件，被捕的佩尔卡少校和克胡特尼茨基中尉招认，这些文件属于“家乡军”和位于华沙和各省的波兰政府代表，它们被营参谋部保留了下来并作为实践活动的指导方针。

克胡特尼茨基供认：

“提交给我的文件属于第331波兰营的参谋部。

这些文件被保存在总部的一个壁橱里，有权翻看的人是：‘斯维里’和佩尔卡。

一些文件属于‘斯维里’个人，它们被保存在一个特殊的文件夹中，上面有‘斯维里的文件’的字样。我自己在位于参谋部建筑物内的壁橱里看到了它们。

缴获的文件内容反映了‘家乡军’的活动，它们指导了我们营的日常实践工作。”

被捕的佩尔卡营长也证实了这一点，他招认说：

“波兰第 331 营参谋部保存的反苏文件属于‘家乡军’，作为该营实践活动的指南。”

除了反苏宣传和用对苏联敌对态度向该营士兵开展工作之外，正如被捕的米拉舍夫斯基招供的那样，第 331 波兰营的指挥官还采取了公开攻击苏联游击队员的方法。这方面最引人注目的表现是骑兵队少尉努尔科维奇枪杀了 10 名游击队员。

被捕的米拉舍夫斯基供认说：

“我不得不承认，对苏联游击队的攻击是按照斯维里的命令进行的，这可以说是针对苏联游击队行动的开始。

我必须补充一点，如果说在我组织的波兰支队存在的第一个阶段，与苏联游击队的关系是正常的，我们与他们协调了所有行动的话，那么在被重组为 331 波兰营后，在斯维里的领导下，佩尔卡等人与苏联游击队的关系急剧恶化，波兰营的士兵与他们之间的冲突变得更加频繁，尽管我和佩尔卡个人试图表现出我们与他们的良好关系。”

正如博布罗夫尼茨基所说，波兰地下媒体为在 1939 年之前的疆界内建立波兰边界进行宣传，他们利用丘吉尔关于西科尔斯基之死的演讲，声称丘吉尔似乎承诺保证波兰的东部边界。

被捕的博布罗夫尼茨基招供说：

“丘吉尔就西科尔斯基之死发表的讲话，被‘家乡军’的地下媒体用于反苏目的。我个人在其中一份报纸上读到，据称丘吉尔向波兰人民保证，英国忠实于其承担的所有义务，包括在保证 1939 年之前波兰东部边界的义务”。

在“家乡军”部队进行演练和战术训练的同时，还开展了爆破手的专项训练，旨在在“家乡军”与红军对抗期间利用他们搞破坏。

关于这些人员的培训，被捕的科胡特尼茨基中尉招认说：

“在华沙，我完成了为期一个半月的破坏工作方法学习课程，该课程由谢特科维奇指导。

在波兰第 331 营指挥的一个连，我接到‘斯维里’的任务，不是筹备个别小组进行破坏活动，而是将整个第 2 连（投入破坏活动），并在反对红军的行动中炸毁斯托尔布齐—科伊丹诺沃线上的铁路桥。”

在此呈送以下由波兰文件的俄语翻译，这些文件是在波兰 331 营解除武装时缴获的。

1.1943 年 9 月 16 日第 13 期《甜蜜的波兰》杂志，是新格鲁代克省地下斗争领导机构的机关报，其中刊载了：由伦敦的波兰政府在新古鲁代克省的代表署名的“致农民的呼吁书”和“致工人的呼吁书”，以及由地下斗争领导人署名的“警告”文章。

2.“家乡军”司令部命令。

3.斯托尔布齐区地下指挥官“斯维里”的指导方针，该方针由其亲笔撰写。

4.“给战区司令斯卢浦”的指示。

此外，在解除波兰营的武装期间，还缴获了几份与所有其他文件一起存放的俄文反苏文件，其中包括署名波兰维尔纳地区安全警察——索科尔的“边境农民”，以地下斗争局名义发布的“公告”和日期为 1943 年 6 月的“向波兰人”的呼吁。

在此提供这些文件的副本。

——阿巴库莫夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.269.Л.32—41.原稿，机打。

231

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于组建第 1 罗马尼亚步兵师的特别报告

（1944 年 2 月 7 日）

编号 140/б

副本

绝密

国防委员会

斯大林同志：

国防委员会关于从战俘中组建苏联内务人民委员部罗马尼亚第 1 步兵师的决议已经完成。

该师按红军步兵师编制，总兵力 9562 人，其中：军官 856 人、士官 4393 人、士兵 4313 人。

师长是坎布里亚中校，师参谋长是特克卢中校。

为了在梁赞军事学校配备军官，从罗马尼亚战俘的军士中训练了 500 名步兵、炮兵和通信中尉。

该师除马匹外，武器弹药及各类装备齐全，配套工作将于 2 月底完成。

该师于今年 2 月 10 日完成了战斗训练。根据莫斯科军区指挥部初步评估，该师训练状态良好。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.91.副本，机打。

232

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于驱逐车臣人和印古什人准备的电报

（1944 年 2 月 17 日）

编号 7

绝密

电报第 5351、5352 号

44 年 2 月 17 日

斯大林同志：

驱逐车臣人和印古什人的准备工作即将结束。经查实，登记重新安置 459,486 人，其中包括居住在与车臣—印古什接壤的达吉斯坦地区和弗拉季高加索市的人。我在现场检查准备安置并采取必要措施的情况。

考虑到行动的规模和山区的特殊性，决定在 8 天内进行驱逐（包括把人员送入军列的过程），其中前 3 天的行动将完成所有低地和山前地带、部分山区居民点（的驱逐工作），覆盖人口超过 30 万人。剩下的 4 天，将在所有山区进行驱逐，覆盖剩余的 15 万人。

在低地行动期间，即在前三天，所有在 3 天后执行驱逐工作的山区居民点，将事先被由契卡干部指挥的部署在那里的部队小组封锁。

车臣人和印古什人之间有很多说法，很多的说法尤其与部队的出现有关。部分居民对部队的出现作出反应，根据官方的版本，认为似乎是红军部队在山区条件下进行演习。另一部分居民表达了关于车臣人和印古什人被驱逐的假设。有些人认为他们会驱逐土匪、德国帮凶和其他反苏分子。

已注意到大量关于需要抵制驱逐的言论。我们在计划的契卡行动措施中考虑了所有这些因素。

已采取一切必要措施确保驱逐在上述日期范围内有序进行，并且不发生严重事件。特别是为了驱逐工作将招募来自达吉斯坦和北奥塞梯与车臣—印古什相邻的集体农庄和农村地区的 6—7000 名达吉斯坦人和 3000 名奥塞梯人，以及这些地区有俄罗斯居民居住的地方的俄罗斯族农村积极分子。俄罗斯人、达吉斯坦人和奥塞梯人也将部分用于保护被驱逐者的牲畜、住房

和农场。在接下来的几天里，行动的准备工作将全面完成，驱逐计划于 2 月 22 日或 23 日开始。

鉴于行动的严肃性，请允许我留在此地直到行动完成，至少让我待到 2 月 26 日至 27 日。

——苏联内务人民委员贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.167—167об.副本，机打。

233

知名医学工作者致И·В·斯大林请求释放Л·А·济利别尔教授的信的摘录

（1944 年 3 月 1 日）

致苏联人民委员会主席、苏联元帅约瑟夫·维萨里奥诺维奇·斯大林同志

最尊敬的约瑟夫·维萨里奥诺维奇！

我们，以下签名人，向您发出请求，要求释放目前身在莫斯科隶属于内务人民委员部第 4 特别处的医学博士Л·А·济利别尔教授。

我们这样请求是因为济利别尔此刻的工作对红军来说特别必要，也因为我们对他的清白充满信心。目前，他的健康状况非常糟糕。

济利别尔教授在免疫和疫苗制造方法方向上的杰出研究，现在尤其需要以最有力的速度继续进行，以为前线和后方进行防疫保护。

名誉院士、斯大林奖获得者、功勋科学家加马列亚

功勋科学家、勋章获得者莫罗佐夫教授

功勋科学家叶尔莫里耶娃教授

斯大林奖获得者、勋章获得者索洛维耶夫教授

斯大林奖获得者、生物科学博士雅各布松

斯大林奖获得者、医学博士舒布拉泽

斯大林奖获得者、医学科学副博士丘马科夫

斯大林奖获得者恩格尔加特教授

院士、斯大林奖获得者、医务中将、科学院副院长Л·奥尔别里

社会主义劳动英雄、院士、斯大林奖获得者、医务中将、红军首席外科医生Н·布尔坚科

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.255.Л.187—191.原稿，机打。在第一页有斯大林的批示：“贝利亚同志，应当立即释放”，以及“已执行。Л·贝利亚。44 年 3 月 22 日”

234

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于德国伞兵特工的特别报告附综合报告

（1944 年 3 月 17 日）

编号 188/б

绝密

副本

国防委员会

И·В·斯大林同志、В·М·莫洛托夫同志：

今年 1 月 1 日至 3 月 10 日内务人民委员部的机构和部队拘留了 10 名敌方侦察伞兵。

所有被拘留的伞兵都是德国情报部门从被关押的前红军军人中招募的。

从跳伞者那里缴获：手枪和左轮手枪——7，对讲机——2，现金——113,400 卢布。捡到 6 个降落伞。

附上逮捕敌方伞兵的综合报告。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

综合报告

关于被拘押的敌人伞兵

（1944 年 1 月 1 日至 3 月 10 日）

1.1944 年 1 月 1 日，在波尔塔瓦州格罗宾斯基区戈里斯拉夫齐村，拘押了敌方伞兵伊万·伊万诺维奇·马久申科，1918 年出生，白俄罗斯苏维埃社会主义共和国的列奇茨基区谢苗诺夫卡村人，专业是土地测量。

被拘留者供述说，他于 1941 年被征入红军，在一个建筑营服役，并于 1943 年 4 月以下士的军衔被派往陆军第 80 近卫步兵师担任机枪组组长。在波尔塔瓦州的奥波什尼亚地区，他被德国人俘虏。在基洛夫格勒战俘营期间，他于今年 1 月 1 日被招募。被投放到我们的后方，任

务是侦察驻军部队的部署、克列缅丘格地区的工业和铁路设施状况。

在搜查过程中，从拘留者那里缴获了：TT 手枪、指南针、1,564 卢布的现金和伪造的文件。

2.今年 1 月 11 日在切尔尼戈夫州库梅科夫斯基区科夫钦村，1915 年在莫斯科出生的德国伞兵侦察员尤里·德米特里耶维奇·叶戈罗夫，又名弗拉基米尔·德米特里耶维奇·巴尔科夫，向地区警察部门自首。

战前，他担任莫斯科市财政局特别处的检查员。1941 年 7 月，他自愿加入伏龙芝民兵师。在斯帕斯—杰米扬斯克市附近的战斗中被包围并投降。

1943 年 4 月，在佩列梅什利市的战俘营中，叶戈罗夫被招募并送到情报学校。

从情报学校毕业后，他被飞机空投到我们后方，任务是侦察涅任市区红军部队的位置和人数；确定武器的种类，尤其是大炮和火器；观察火车在铁路上的运行；查明盟国对苏联的援助数额，以及红军未来拟进攻的方向。

自首后，叶戈罗夫指出了他的着陆地点，在那里发现和收缴了 2 个降落伞，其中一个是货物降落伞，内有一个对讲机；一个“纳甘”左轮手枪；涅任地区的地形图；各种文件，包括几个带有第 1 乌克兰方面军第 60 集团军的 143 和 487 步兵师假印章和戳子的空白表格，以及 37,000 卢布。

叶戈罗夫被移交给基辅军区“施密尔舒”反间谍处。

3.今年 1 月 12 日在戈梅利州斯维尔洛维切斯基区波波特镇附近，内务人民委员部授权的工作机构捕获了一名敌方伞兵亚历山大·伊万诺维奇·戈诺什维林，1915 年生，鞑靼苏维埃社会主义自治共和国人。

在审讯中，戈诺什维林招供说，他被德国人囚禁期间，于今年 1 月 12 日从华沙郊区的一所军事情报人员特殊学校毕业。被飞机空投到红军后方，任务是：确定红军部队的动向、人数和武器。为了传递信息，戈诺什维林配备了对讲机。

被抓者处缴获了：一把“纳甘”左轮手枪、一个电台、各种文件和带有戳子和印章的空白表格，4 万卢布。

戈诺什维林被移交给国家安全人民委员部机构。

4.今年 2 月 6 日在切尔尼戈夫州戈罗季安斯基区境内，德国侦察伞兵伊万·彼得罗维奇·雅库宁，1922 年生，梁赞州人被拘留。

雅库宁作证说，从 1941 年 1 月到 1942 年 7 月，他在前线，在罗索什市附近的一场战斗中，被德军打伤并被俘虏。在佩列梅什利市战俘营期间，他被一名毕业于华沙情报学校的德国军官

招募，并于 1944 年 2 月 4 日被飞机空投到戈罗德尼亚区格尔斯克镇附近，任务是监视戈梅利—巴赫马奇铁路段的军列活动。

在对雅库宁个人搜查中，查获了用 A·Г·科兹洛夫名义的文件、一把“纳甘”左轮手枪、两个降落伞（其中一个是货物降落伞）、各种伪造的文件和空白表格、28,000 卢布。

5.今年 2 月 22 日在沃罗涅日州沃罗比耶夫斯基区境内抓获了敌方伞兵伊万·普拉托诺维奇·索特尼科夫，1903 年出生，哈尔科夫州阿列克谢耶夫斯基区谢苗诺夫卡镇人，原第 95 骑兵团红军战士。

1941 年 12 月，索特尼科夫被德军俘虏，被德军情报部门招募，毕业于华沙情报学校，1943 年 8 月被飞机抛入我军后方，任务是查明博古恰尔—坎捷米罗夫卡、罗索什—乌拉佐沃—库普扬斯克—哈尔科夫铁路线上军队向前线的部署和调动。

着陆后，索特尼科夫藏在尼科尔斯科耶镇他妻子的一位亲戚那里，他拥有一本以准尉 B·K·韦利奇科名义制作的假红军证件作为文件。

被抓者被转交给奥廖尔军区的“施密尔舒”反间谍处。

6.今年 2 月 25 日至 26 日内务人民委员部乌克兰第 1 方面军的后方保卫部队执勤小组在巴利亚舒夫镇（罗夫诺西南 32 公里），拘留了两名德国情报部门伞兵：

亚历山大·谢尔盖耶维奇·索洛维约夫，代号“索科洛夫斯基”，1922 年出生，莫斯科州伊斯特拉区的古奇科沃镇人，曾是共青团员，曾任第 3 空降旅中尉技师；

伊万·尼古拉耶维奇·尼基福罗夫，代号“沃尔科夫”，1916 年出生，梁赞州杜布罗夫斯基区卡利基诺镇人，前第 23 步兵师第 225 步兵团士官。

他们曾被关押在乌曼市的一个战俘营中。

在审讯中，他们招供，他们于 1943 年 10 月被一名德国军官招募，并在波尔舍维奇侦察学校（利沃夫以东 15 公里）学习了三个月。

今年 2 月 21 日用飞机从利沃夫机场空投到兹多尔布诺夫铁路交汇处区域，任务是侦察罗夫诺—杜布诺、罗夫诺—奥斯特罗格铁路线上的坦克和大炮的集结的情况，查明第二道防线的区域和准备程度。

他们被提供了伪造的 1816 号医院的文件。

缴获：带弹药的“纳甘”左轮手枪、伪造的文件和 6900 卢布。捡到两个降落伞。

被抓者被移交到乌克兰第一方面军的“施密尔舒”反间谍局。

7.今年 3 月 3 日在波卢切村（涅韦尔西南 50 公里）内务人民委员部波罗的海第一方面军

后方保卫部队的执勤小组拘留了两名德国情报机构的伞兵特工：

德米特里·巴甫洛维奇·阿克肖诺夫，代号“阿诺丁”，1911 年出生，巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国斯特尔利塔马克市人，阿拉木图州塔尔迪—库尔干居民，曾是联共（布）预备党员，前第 2 突击集团军第 19 近卫步兵师第 56 步兵团上士排长。

尼基福尔·卡尔波维奇·卡拉什尼科夫，绰号“阿福宁”，1911 年出生，奔萨州的斯维舍夫卡镇人，古比雪夫居民，原第 2 突击集团军 327 步兵师 1102 步兵团中尉连长。

在审讯中，他们招供，第一个在 9 月，第二个在 1942 年 6 月被德国人俘虏，被招募到红军后方从事间谍活动，在瓦尔加（爱沙尼亚）的一所情报学校学习了四个月。

今年 2 月 26 日被飞机空投到舍舒里诺地区（托罗佩茨以北 37 公里），任务是侦察红军部队沿托罗佩茨—大卢基—涅韦尔路线的部署和调动，查明沿托罗佩茨—内维尔铁路的军列活动，侦察第 7 突集团击军的部队，特别是 119 和 357 步兵师。完成任务后，他们回到了德国人那里。

缴获：“纳甘”左轮手枪、手枪、伪造的文件，包括有权检查文件的证件。

被抓者被移交给第 4 突击集团军的“施密尔舒”反间谍处。

8.今年 3 月 6 日在波尔塔瓦地区的沙茨克区境内，敌方伞兵康斯坦丁·叶菲莫维奇·科先科被拘留，他出生于 1921 年，是克拉斯诺达尔边疆区人，被德国飞机空投。

在审讯中，科先科供认在今年 1 月，从白采尔科维市和他在同一架敌机上有 3 名特工被转移到我们的后方，他们在着陆后逃跑。已经采取了通缉措施。

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9402сч.Оп.2.Д.64.Л.179—184.副本，机打。

235

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国和美国政府对待法国民政机构问题的态度的特别报告

（1944 年 4 月 12 日）

绝密

И·В·斯大林同志、В·М·莫洛托夫同志、Л·П·贝利亚同志：

苏联国家安全人民委员部报告以下信息，这些信息描述了英美领导层对法国民政机构问题的态度。

根据我们与英国外交部关系密切的消息源的信息，罗斯福为艾森豪尔准备了一项关于法国民政机构的秘密指令。

根据该指令，艾森豪威尔被授予在法国不仅与法国民族解放委员会联系，还与其他地方当局保持联系的权利，但是，禁止开展任何可能被视为承认法国委员会或法国政府其他行政部门的活动。

国务院已就此事征求英国外交部的意见，但尚未收到答复。

该指令将在华盛顿参谋长联席会议进行讨论，如果获得批准，国务院打算与法国民族解放委员会驻华盛顿代表Ж·莫奈开始谈判。

此外，我们通过特工手段在伦敦获得了以下两份有关此问题的秘密文件的文本副本：

a）1944 年 3 月 24 日的第 337 号电报。驻阿尔及利亚公使麦克米伦致英国外交部。

“回复您的第 296 号电。

应您之邀就您提出的问题发表我的意见，我必须声明，在我看来，罗斯福对艾森豪尔将军的秘密指示是故意冒犯法国民族解放委员会，而这个机构是他所承认的并且他向其派驻了大使级别的代表。我对美国代表拒绝返回阿尔及利亚并不感到惊讶。

此外，应该指出的是，法国委员会相对于所有其他获得完全承认的盟国政府具有一些优势。

法国委员会位于法国领土上，管理着一个庞大的帝国，指挥着站在联合国家一边参加斗争的陆军、海军舰队和空军机队。法国委员会还得到了协商会议中大多数法国人民的支持，协商

会议最近一直在制定措施，为未来的法国建立一个真正的民主制度。

尽管如此，法国民族解放委员会受到的尊重不如所谓的波兰、希腊和南斯拉夫政府。

如果罗斯福指令的内容为法国人所知，那么已经在北非和法国受到损害的美国人的声望将彻底跌落。由于人们普遍认为陛下政府的观点通常与总统的观点一致，因此英国的威信也有可能因此受到损害。

如果苏联政府趁机完全承认法国委员会，结果会很不愉快。”

b）1944 年 4 月 1 日英国驻华盛顿大使哈利法克斯致英国外交部的第 75 号电报：

“我向邓恩（赫尔的助手）和麦考利（史汀生的助理战争部长）通报了情况。

邓恩同意我们对苏联大使的答复，并表示在欧洲咨询委员会与苏联政府澄清此事之前，不应将关于法国民政机构的指令传达给艾森豪威尔。

邓恩说，美国国务院理解俄罗斯不愿意在德国投降的最终条款被接受之前在欧洲咨询委员会提出任何其他问题。不过，他暗示俄罗斯人不会严格遵守这一立场。

邓恩非常重视传递给法国委员会的信息的性质，并以最友好的方式在心理上对待它。他认为有必要通过在华盛顿的代表 Ж·莫奈与法国委员会进行谈判，可以很好地利用他在伦敦的关系（显然是通过法国委员会的代表维耶诺）在阿尔及尔找最好的译员，而在那里将发生同艾森豪威尔的会谈。无论选择何种方案，我们与法国委员会的关系都应以我们当着艾森豪威尔的面作出的任命委员会代表团的提议以及我们关于希望与委员会保持密切友好合作的愿望的声明为基础，我们打算与其在信任与合作的气氛中解决法国民政机构的问题。

我们可以公开声明，虽然我们目前不能承诺不与任何其他法国人（维希政府除外）保持联系，但我们不打算这样做，无论如何我们将与法国委员会协商此类事宜。

邓恩补充说，他猜测伦敦的法国人收到了一份罗斯福指令的副本，对此他深感遗憾。

我并不打算记录邓恩的评论，但需要注意的是，根据他的话，可以假设美国打算以对待一个被承认的政府的方式向法国委员会发送一封热情的信。”

——苏联国家安全人民委员

В·梅尔库洛夫

译自：《俄罗斯外国情报史文集（6 卷）》第 4 卷 1941—1945，莫斯科 1999 年版，第 613—615 页。

236

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于在索菲亚—布达佩斯、索菲亚—维也纳等德国通信线路上拦截和解密通信的特别报告

（1944 年 4 月 18 日）

编号 327/б

绝密

副本

И·В·斯大林同志：

苏联内务人民委员部、国家安全人民委员部自 1941 年秋季以来一直不定期开展解密情报业务，自 1942 年春季以来，在德国的索非亚—布达佩斯、索非亚—维也纳等通信线路上的加密无线电通信已被系统地记录下来。

通过测向，确定了无线电发射机的位置，它位于保加利亚的索非亚市郊。

根据截获和解密的具有组织性质的信件的含义，已经查明它来自保加利亚的德国空军武官，其工作人员先以“克拉特”，后来以“比戈”为代号签署了电报。许多电报也没有签名就发出去了。

电报内容主要涉及红军部队的动向。

对这些材料进行了特别研究，首先是为了确定它们与现实的对应关系，其次是这些信息可以通过哪些渠道渗透到索非亚。

通过红军总参谋部对这一类电报中的很大一部分的核实，确定电报中绝大多数有关红军部队及其动向的数据与实际情况完全不符，是臆想出来的。

一些电报是红军总参谋部批准通过我们的电台与德国人进行无线电佯动而发送的虚假信息的重复。

核查中发现，关于部队调动概况的一些非常小部分的没有说明部队的数量和确切的调动方向的电报所展示的结果与事实相似。

应该考虑到，这些似是而非的信息可能是德国人通过空中侦察、拦截基层军队通讯的无线

电报和无线电电话线以及审讯战俘而确认的。

目前，这些线路上的加密通信仍在继续，虽然与过去相比，已经明显减少。

国防人民委员部“施密尔舒”反间谍总局每次都会检查截获的电报内容与现实的对应性。

具体关于无线电报这方面，红军总参谋部安东诺夫同志通过核对存放于苏联国家安全人民委员部第 5 局文件汇编中到 1944 年 4 月 14 日编号 5/1/2532 前的电报，查明：

1.电报正文：

1944 年 4 月 12 日。第 41 号无线电报。

从索非亚发往布达佩斯。

“第 2 波罗的海方面军接到命令，准备向里加、奥斯特洛夫和普斯科夫方向发动进攻。”

核对结果：

波罗的海第 2 方面军确实接到了进攻令，但不是 4 月 12 日，而是 4 月 1 日。对里加的进攻纵深没有计划。任务规定在 4 月 5 日至 6 日开始进攻，但实际上进攻是在 4 月 7 日发动的。

因此第 41 号电文是在进攻五天后才发出去的。

2.电报正文：

1944 年 4 月 12 日。第 40 号无线电报。

从索非亚发往布达佩斯。

“据情报到 3 月 12 日第 191 夜间轰炸机师、第 64 独立战斗机旅、28 架运输机和 8 架救护飞机从加里宁飞往涅韦尔—大卢基前线地区。”

核对结果：

红军空军既没有第 191 夜间轰炸机师，也没有第 64 独立战斗机旅。3 月 12 日我们从加里宁重新部署的航空部队并未向任何地方飞行。

3.电报正文：

1944 年 4 月 12 日。第 35 号无线电报。

从索非亚发往布达佩斯。

“部署在列奇察的第 271 夜间轰炸机师的部队奉命准备与一个夜间战斗机中队、27 架攻击机和 20 架远程侦察机一起飞往博布鲁伊斯克前线地区。”

核对结果：

白俄罗斯方面军的空军拥有第 271 夜间轰炸机师，但它没有部署在列奇察，也没有接到准备飞行的命令。

4.电报正文：

1944 年 4 月 12 日。第 42 号无线电报。

从索非亚发往布达佩斯。

“如下部队从克列梅涅茨（利沃夫东北部）派往扎罗日齐：一个摩托旅、第 18 反坦克旅、一个摩托化防空团、两个步兵旅、一个地雷工兵团和两个突击工兵营。”

核对结果：

第 18 反坦克旅不属于第 1 乌克兰方面军的部队。在位于克列梅涅茨的单位中，没有一个单位在指定时期内调动到任何地方。雷巴尔科的坦克和机械化部队可能在通过克列梅涅茨时被探查到，这在时间上是一致的。

苏联国家安全人民委员部截获相应电报和通过国防人民委员部“施密尔舒”反间谍总局进行的电报核验工作仍在继续。

——贝利亚

梅尔库洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.265—268.副本，机打。

237

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·米高扬关于斯维尔德洛夫斯克州粮食状况的特别报告

（1944 年 4 月 21 日）

国防委员会——И·В·斯大林同志、

国防委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志、

苏联人民委员会——А·И·米高扬同志：

内务人民委员部斯维尔德洛夫斯克州局报告了从地方当局获得的有关该地区粮食状况的以下信息：

从 1944 年初开始，该州的粮食困难略有加剧，原因是计划从集中储备接收的商品粮没有完全到位。

在今年第一季度，该州从集中储备中获得的肉及其替代品的 67%被用于计划需求，动物油——51.3%、鱼制品——37.8%、糖果——13.7%。

与此相关，在主要工业部门中，鱼肉类食品供应卡配给范围为 45%至 70%、脂肪为 36%至 60%、谷物和面食为 50%至 80%。

向城市市场运送食品及其价格的形势已显著恶化。在斯维尔德洛夫斯克市场，1943 年第四季度马铃薯交付量为 60000 公担，但是 1944 年第一季度——只有 7000 公担，动物油的供应量分别为 85 和 242 公担（怀疑 85 处少了个 0——译注），牛奶——6400 和 3500 升。马铃薯的价格从每公斤 50 涨到 75 卢布，肉类从 200 涨到 350 卢布，动物油从每公斤 900 涨到 1000 卢布。

下塔吉尔、伊尔比特、卡缅斯克—乌拉尔斯克和州里其他主要城市的农产品市场的运送状况及其价格情况大致相同。

根据从内务人民委员部 20 个市办公室收到的不完全统计，截至 1944 年 4 月 1 日，从市和区医疗机构就医的人中，登记了 22,400 名营养不良患者。这在城市人口中占绝对多数，主要是企业工人。

仅截至 1944 年 3 月，死于营养不良者：斯维尔德洛夫斯克——451 人，下塔吉尔——428 人，谢罗夫——112 人。

95%的谋杀案都是为了获得食物配给卡、少量食物和物品而实施的。84%的凶手为低技能工人，以及无犯罪前科、与犯罪分子无联系的职员、集体农户和个体农户。

——苏联内务人民委员Л·П·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.293—294.副本，机打。

注释：

在整个伟大的卫国战争期间，И·В·斯大林收到了关于向人民提供食物的特别报告。除了关于被围困的列宁格勒的饥荒后果的数据外，1941-1944 年的报告中还出现了国内后方人民遭受的可怕灾难。1941 年 12 月，莫斯科、伊万诺沃、赤塔、伊尔库茨克、斯维尔德洛夫斯克州、滨海边疆区、哈巴罗夫斯克、克拉斯诺亚尔斯克地区的内务人民委员部在检查士兵家属情况时指出，红军士兵的妻子和孩子几个月没有收到津贴，他们常常受饿，没有为被疏散的人创造最基本的生活条件。例如，住在莫斯科的К·Е·达维娜给她在前线的丈夫写信说："我的生活非常糟糕，完全没有东西可吃。在我的卡上他们只给 400 克的面包，20 天只给了 100 克的糖……在市场上完全没有什么可买的……也许，你会死于前线的子弹，而我将在这里死于饥饿……"（ЦАФСБ（俄罗斯联邦安全局中央档案馆）.Ф.3ос.Оп.8.Д.15.Л.86.）。1942 年春天，在内务人民委员部向斯大林提交的关于阿尔汉格尔斯克和沃洛格达州食品供应的特别报告指出，人口死亡率上升，特别是一岁以下儿童的死亡率。3 月份，仅阿尔汉格尔斯克的街道和房屋就发现了 700 具尸体（同上，Ф.3.Оп.9.Д.9.Л.124—125.）。1942 年 3 月，车里雅宾斯克的军事书报检查部门披露了许多从莫斯科和列宁格勒疏散出来的人的投诉信。被疏散的工人给他们的亲属写信："每天一次性发放 800 克面包，一下子就吃完了，然后饿到第二天，别问了"，"我们有很多人死了，里亚波夫和瓦斯卡·格里波夫都死了，总的来说，我们列宁格勒的人病得很厉害……"，"……现在他们开始给到杂货店去买奶酪和面包的粮票，但这些粮票是由工头或主管发放的，所以他们没有拿到工人那里，因为给他们的很少，但是给主管的很多。"（同上，Л.169—172.）。1944 年前线形势发生变化后，人民的食品供应没有得到根本的改善。例如，1944 年 4 月来自乌兹别克斯坦的特别报告谈到了费尔干纳、苏尔汉河和安集延州的饥饿和大量死亡的现象。在 3 月的一个集体农庄中就有 25 人死于饥饿（ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.252—253.）。

238

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于契卡行动小组在克里米亚苏维埃社会主义自治共和国“清理”“反苏”分子的特别报告

（1944 年 5 月 1 日）

编号 387/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

作为我们今年 4 月 25 日报告的补充。苏联内务人民委员部报告了契卡行动小组清除克里米亚苏维埃社会主义自治共和国反苏分子的工作。

内务人民委员部、国家安全人民委员部和国防人民委员部“施密尔舒”机构逮捕了 4,206 名反苏分子，其中 430 人被查明为间谍。

此外，4 月 10 日至 4 月 27 日，内务人民委员部后方保卫部队共拘押 5115 人，其中包括德国情报和反间谍机构特工 55 人、叛国者和变节分子 266 人、敌人的帮凶和走卒 363 人，以及一些讨伐队参加者。

49 名穆斯林委员会成员被捕，其中包括阿巴斯·伊兹迈洛夫——卡拉苏巴扎尔区穆斯林委员会主席、巴塔尔·巴塔罗夫——巴拉克拉瓦区穆斯林委员会主席、贝利亚伊·阿布利佐夫——西梅兹区穆斯林委员会主席、穆萨·阿利耶夫——祖伊区穆斯林委员会主席。

穆斯林委员会在德国情报机构的指示下，招募鞑靼青年加入志愿支队，与游击队和红军作战，挑选相应的人员并将他们派往红军后方，在克里米亚的鞑靼群众中进行积极的亲法西斯宣传。

穆斯林委员会的成员得到德国人的资助，此外，还有一个广泛的“贸易”和“文化和教育”机构网络，同时用于间谍工作。

在保卢斯的德军第 6 集团军在斯大林格勒被击败后，费奥多西亚穆斯林委员会在鞑靼人中

筹集了 100 万卢布来帮助德军。

穆斯林委员会的成员在工作中以“克里米亚只属于鞑靼人”的口号为指南，散布有关克里米亚并入土耳其的谣言。

1943 年，土耳其特使阿米尔·帕夏来到费奥多西亚，号召鞑靼人支持德国指挥部的活动。

在柏林，德国人建立了一个鞑靼民族中心，其代表于 1943 年 6 月来到克里米亚以熟悉穆斯林委员会的工作。

已查明并逮捕了大量来自敌方的特务、走卒和德国法西斯侵略者的帮凶。

今年 4 月 20 日被捕的游击队士兵В·И·斯帕诺夫在审讯中供认说，他于 1943 年 3 月被刻赤的纳粹“帝国保安部”招募从事间谍工作，并被赋予招募特工和创建根据地的任务。

斯帕诺夫创建了一个由 10 名特工组成的驻地，之后他被任命为宪兵法警。

1943 年 10 月，斯帕诺夫被招募进德国反间谍机构的游击队以从事颠覆活动。

斯帕诺夫指证的特务在被通缉中。

在苏达克市，一名德国情报机构的头目В·П·彼得洛夫被捕，他在苏达克建立了一个由 7 人组成的谍报站，在我们的后方从事颠覆活动。彼得罗夫指证的特工被逮捕并供认自己属于敌方情报机构。

在阿卢普卡地区挖出了有 9 人组成的德国间谍小组，德军司令部命令他们留在我们后方，通过投放细菌的方式对阿卢普卡—西梅兹地区疗养院的水源进行投毒和污染。

在辛菲罗波尔市，“帝国保安部”的一名调查员和特工А·П·卢金，以及辛菲罗波尔“帝国保安部”德国殖民者的翻译吉尔登伯格被捕。根据他们的证词，查出了 34 名德国间谍。

5 人在此案中被捕，对剩余间谍的通缉和逮捕仍在继续。

在苏达克市，地区穆斯林委员会主席比克尔·乌梅罗夫被捕，他承认在德国人的指示下，组织了一支由自富农犯罪分子组成的志愿部队，并积极与游击队作战。

1942 年，我军在费奥多西亚城区登陆时，乌梅洛夫部队抓住了 12 名红军伞兵并将他们活活烧死。

30 人在此案中被捕。

在巴赫奇萨莱市，叛徒贾法尔·阿比布拉耶夫被捕，他自愿加入了德国人于 1942 年创建的讨伐营。由于阿比布拉耶夫与苏联爱国者的积极作对，他被任命为一个讨伐排的指挥官，并处决了涉嫌与游击队有联系的平民。

在军事法庭上，阿比布拉耶夫被判处绞刑。

在苏达克市，参与扣押和杀害苏联伞兵的前克里米亚警察三人小组成员И·А·科斯秋克被捕。科斯秋克亲自追查并射杀了苏军空降部队特务处的负责人和帮助伞兵的三名当地居民。

在占科伊区逮捕了由三名鞑靼人——马姆别特、阿比拉耶夫、谢里莫夫组成的团伙，他们在1942年3月按照德国情报部门的指示在毒气室毒死了200名茨冈人。

据现有信息，在克里米亚的德国情报机构成立了“新一代民族—劳动联盟”（НТСНП）、“真正的俄罗斯人党”和“乌克兰全国委员会”，以在被德国人俘虏的红军士兵中招募特工。

据我方特工的情报，德国情报部门于1943年在辛菲罗波尔创建的НТСНП组织在克里米亚的俄罗斯居民中从事反苏宣传，为此目的他们挑选反苏知识分子，还招募间谍人员在苏联战俘中侦察与其敌对的人。

我方特工提供了许多有关该组织工作的值得注意的情报，其正确性正在验证中。

由克里米亚的德国司令部创建的俄罗斯族法西斯组织“真正的俄罗斯人党”由克里米亚的罗马尼亚反间谍部门负责人凯勒伯爵领导，他在克里米亚被占领之就前住在塞瓦斯托波尔。该组织克里米亚中心的成员是费多夫，又名А·П·加夫里底——盖世太保军事部门的工作人员，他从保加利亚抵达克里米亚；布尔捷耶夫——活跃的叛国者，法西斯报纸《克里米亚之声》的编辑。

根据捕获的一名德国情报官员的个人记录，确定了该组织的10名活跃成员，其中包括：波利斯基、拉尔斯基和别列佐夫——前红军指战员。

根据现有资料，除了上述法西斯组织外，德国情报机构还成立了一个地下组织，以在德国部队从克里米亚撤退的情况下，在我方后方进行颠覆活动。

该组织还致力于以各类运动队、剧团、乐队和其它会社为幌子，通过对15至19岁的年轻人进行相应的培养，吸引他们从事反苏的颠覆工作。

已采取措施查明该组织的成员。1942年冬，德国情报部门在克里米亚成立了“乌克兰全国委员会”，由某个硕巴尔领导。“乌克兰全国委员会”的总部是贸易企业“康苏姆”，其所有工作人员都是委员会成员。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.64.Л.385—389.副本，机打。

239

普罗托波波夫致И·В·斯大林、Г·М·马林科夫关于塔吉克斯坦的“资产阶级—民族主义集团”的密电

（1944 年 5 月 17 日）

编号 1920/ш

联共（布）中央

И·В·斯大林、Г·М·马林科夫：

作为编号 1488ш电报的补充，在此报告，经国家安全人民委员部机关和塔吉克边防军区首长对材料进行彻底核查后，穆尔加布区执行委员会主席阿尔特科夫参加资产阶级民族主义侨民集团的罪名成立。库特马马特·阿尔特科夫是组织穆尔加布区居民移居到阿富汗和中国的移民活动的领导人之一。塔吉克斯坦共产党（布）中央委员会已对穆尔加布地区执行委员会主席阿尔特科夫发出逮捕令。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.207.Л.191.原稿，机打。

注释：

Л·П·贝利亚此前曾报告披露了一个由五个“移民叛徒团体”组成的强大组织。团伙领导人被指控在穆尔加布区的集体农户中进行反苏民族主义鼓动，散布关于动员全体男性人口加入红军的奸细谣言，以及批评食品和物资供应中断的批评性言论。27 人被捕。为了加强边境，实际上增加了边境支队的人数（ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.214.）。早在 1946 年，塔吉克斯坦穆尔加布区民族主义团伙的案件就被认定为假案（АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.9.Л.34—38.）。

240

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于被俘的罗马尼亚将军对罗马尼亚前国王的态度的特别报告

（1944 年 5 月 24 日）

绝密

编号 503/б

И·В·斯大林同志：

今年 5 月 22 日我与罗马尼亚被俘的马扎里尼、拉斯卡尔、德米特留、涅杰利亚和布拉特斯库将军就他们对流亡的罗马尼亚前国王卡罗尔的态度以及罗马尼亚政军各界对他的态度进行了交谈。

参与对话的罗马尼亚战俘普遍对前国王卡罗尔持积极的态度，并表示有意与卡罗尔合作，但也有一些保留。

马扎里尼将军和迪米特留将军强调，只有得到苏联政府的支持，他们才会与卡罗尔国王合作，如果卡罗尔只有美国和英国的支持，他们将拒绝与他合作。

根据罗马尼亚将军们的说法，如果卡罗尔国王反对德国人，大多数老军官都会支持卡罗尔国王。

作为君主主义者，被俘的将军们认为战后时期罗马尼亚最好的政府形式将是君主立宪制。

在将军们的普遍看法中，米哈伊国王不受军队、人民和政党的支持，但拉斯卡尔将军表示，人们应该考虑支持米哈伊国王利用他母亲获得支持的可能性。

将军们非常重视卡罗尔国王在罗马尼亚社会眼中被他的第二任妻子的“卑贱”出身所损害的事实。

以下是罗马尼亚将军的谈话录音和手写陈述的摘录：

罗梅留斯·萨伏瓦·德米特留，1892 年出生，旅级将军，出身于将军家庭，受过高等军事教育，罗马尼亚军队的职业军官，曾获六枚勋章，第 20 步兵师师长，1943 年 1 月在斯大林格勒被俘。

在他自己的手写声明中，德米特留写道：

“我从 1912 年就认识卡罗尔国王，当时我和他一起在军队服役。卡罗尔国王一直信任我。如果卡罗尔国王再次登上罗马尼亚的王位，那么我将在他身边并以同样的忠诚为他服务，但前提是卡罗尔国王得到苏联及其盟国——美国和英国政府的支持和承认。1940 年，罗马尼亚许多人对卡罗尔国王退位和离开罗马尼亚表示遗憾。我认为，卡罗尔国王对现在发生在罗马尼亚的所有不幸的指责并不完全正确。人民曾非常爱戴卡罗尔国王。

我现在没法说，面对罗马尼亚的不幸，这些爱戴是否得以保留，罗马尼亚历史上从未见过这样的事情，卡罗尔国王也应对这种不幸负责。

罗马尼亚军队对卡罗尔国王留下了美好的回忆，至今仍然存在。我相信大多数罗马尼亚军官团都站在卡罗尔这边。年轻军官受到“军团精神”的影响，老军官保留了对卡罗尔国王的爱戴。卡罗尔国王可能得到自由党的全力支持，尤其是塔塔雷斯库派，得到了布拉蒂亚努派的部分支持。在卡罗尔国王的整个统治期间和他离开罗马尼亚之前，农民党，特别是曼纽—米哈拉基派，都反对他。该党由卡利涅斯库领导的“民族复兴阵线”派——这个派团结了农民党的大多数成员，始终支持卡罗尔国王。极左和极右的政党都可能反对卡罗尔国王，尤其是那些与“军团”结盟的政党。

返回罗马尼亚后，卡罗尔国王还可以依靠人民党，其成员属于自由党或与自由党团结一致，并且还能得到国王的密友阿杰图亚努领导的旧保守党残余势力的支持。在军队中，卡罗尔国王可以依靠他的前将军米哈伊——前宫廷元帅兼战争部长，保罗·西奥多雷斯库——前秘书兼战争部长（卡罗尔国王最好的朋友）和塔塔兰——前驻巴黎武官，以及卡罗尔国王在位任命的海军舰队和空军机队的大部分军官——的支持。

如果卡罗尔国王带着救国之心回到罗马尼亚，他会受到很好的对待。苏联、美国和英国政府可为卡罗尔提供什么样的支持非常重要。如果卡罗尔国王得到了这些支持，情感问题就不是问题了。

只要卡罗尔国王与俄罗斯合作，只要苏联政府支持他，我就会亲自留在他身边。

米哈伊国王在罗马尼亚没有什么意义，在我看来，他是一个没有任何权力的孩子。米哈伊将不得不离开这个国家，因为所有政党、人民和军队都不会支持他。”

米哈伊尔·康斯坦丁诺维奇·拉斯卡尔，1889 年出生，师级将军，出身贵族家庭，罗马尼亚军队职业军官，军校毕业，指挥第 6 步兵师，获得罗马尼亚和德国高级勋章，1942 年 11 月在斯大林格勒投降被俘。

拉斯卡尔忠于卡罗尔国王，并相信卡罗尔国王重新掌权将是罗马尼亚走出战争的理想之路。

据拉斯卡尔称，格奥尔格·布拉吉阿努的自由党和曼纽·米哈拉基的农民党将支持卡罗尔国王。拉斯卡尔认为，卡罗尔国王内心是民主派，会向民主党派让步，以积极对抗德军支持的铁卫军。

根据拉斯卡尔的说法，军队，尤其是老军官团，可能完全站在卡罗尔国王一边，因为安东内斯库的领导地位已经名誉扫地。罗马尼亚人民将欢迎卡罗尔国王重新掌权。而亲英和亲法的罗马尼亚资产阶级也将支持卡罗尔国王。

至于卡罗尔国王重新掌权将出现什么问题，可能会因为卡罗尔的妻子在罗马尼亚不受待见造成一些隔阂，而他过去对民主的严厉限制也会令反对党不满。

根据拉斯卡尔的说法，米哈伊国王的母亲会组织与卡罗尔国王的争斗。

就拉斯卡尔个人而言，他认为他有可能会参加卡罗尔国王一方的行动。

拉斯卡尔在自己的手写声明中写道，“卡罗尔国王的回归必须得到罗马尼亚人民的同意。”

尼古拉·伊万诺维奇·马扎里尼，1894 年出生，师级将军，出身贫苦地主家庭，罗马尼亚军队职业军官，毕业于军事学院，曾任保加利亚武官、罗马尼亚军队总参谋部副参谋长。作为第 5 步兵师的指挥官，他于 1942 年 11 月在斯大林格勒地区投降被俘。在罗马尼亚政界和军界，马扎里尼有着广泛的人际关系。

在他自己的手写声明中，马扎里尼写道：

“只有在苏联、美国和英国的官方支持下，卡罗尔国王才有可能返回罗马尼亚。

只有在这种情况下，前国王卡罗尔才能在人民和军队眼中占据优势。

应该记住，这个问题会造成父子之间的冲突。为了避免这种情况，米哈伊国王必须立即退位并加入他父亲的阵营，因为在我看来，父亲不可能同意与他的儿子作对。

如果卡罗尔国王没有世界上伟大的民主国家的支持，该国的社会和政治生活就不可能发生有利于他的变化。

个人认为，卡罗尔国王回归的可能性很小。我非常爱戴前国王卡罗尔，但他的个人行为和他的独裁倾向并没有让我有机会保持对他的以前那样的情感。卡罗尔国王以国家救世主的身份重返罗马尼亚，可能会再次吸引所有民主党派来支持他，并且可以指望大多数罗马尼亚人民会追随他。”

在一次口头谈话中，除上述内容之外，马扎里尼将军表示，只有得到苏联、美国和英国政府的全力支持，他才能参加卡罗尔国王对德国人的活动，并且如果苏联政府不参与支持，他将不会与卡罗尔合作。

萨伏瓦·弗洛罗维奇·涅杰利亚，1890 年出生，旅级将军，出身地主家庭，罗马尼亚军队职

业军官，前第 11 步兵师师长，1942 年 12 月在米列罗沃地区被俘。

在他自己的手写声明中，涅杰利亚将军说：“军队对卡罗尔国王的离开感到遗憾。尽管我早就离开了这个国家，但我仍然认为，罗马尼亚人民和军队会对卡罗尔国王陛下的到来做出积极的反应。

罗马尼亚人民同情卡罗尔国王，相信他的爱国主义和领导国家的能力。军队对卡罗尔国王更加同情。

我认为大多数政治家也会对卡罗尔国王的回归感到高兴。当然，首先要让人们知道盟国（苏联、美国和英国）对卡罗尔国王登基的看法，以及他们将在什么条件下支持他。

我相信，除了亲德派、军团分子和现政府，其他人都会支持卡罗尔国王的到来。如果卡罗尔国王陛下为了祖国的利益而来领导国家，那么我准备帮助他。我相信米哈伊国王的问题会毫无困难地解决，因为他必须与安东内斯库政府做切割。”

康斯坦丁·伊万诺维奇·布拉特斯库，1892 年出生，旅级将军，出身大地主家庭，职业军官，被授予罗马尼亚和德国勋章。1943 年 1 月在斯大林格勒被抓获俘虏，时任骑兵师师长。

布拉特斯库在谈话中表示，如果卡罗尔试图恢复自己的王位，除了与德国人有密切关系的人外，罗马尼亚人民都会支持他。

布拉特斯库说卡罗尔不太可能得到罗马尼亚政党的支持，因为这些政党一度都被卡罗尔解散了。

此外，布拉特斯库表示，在他看来，谁将成为罗马尼亚国王的问题并不重要。

谈话是与每位将军分别进行的。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.181.Л.115—121.原稿，机打。

241

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于驱逐克里米亚境内保加尔人、希腊人和亚美尼亚人合理性的特别报告

（1944 年 5 月 29 日）

编号 541/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

在克里米亚的克里米亚鞑靼人被驱逐后，内务人民委员部、国家安全人民委员部继续努力查明和抓捕反苏分子，检查和清理居民点和森林地区，以拘押可能逃避驱逐的克里米亚鞑靼人，以及逃兵和土匪分子。

在克里米亚境内，目前居住着保加尔人——12,075 人，希腊人——14,300 人和亚美尼亚人——9,919 人。

保加尔居民主要居住在辛菲罗波尔和费奥多西亚之间的地区以及占科伊区的定居点。有多达 10 个村苏维埃，每个村苏维埃都有 80 至 100 名保加尔人。此外，保加尔人在俄罗斯和乌克兰的村庄中以小聚居的方式生活。

在德国占领期间，很大一部分保加尔人积极参与德国人为德国军队征购粮食和食品的活动，协助德国军事当局调查和逮捕红军指战员和苏联游击队员。

由于向德国占领者提供帮助，保加尔人从德国司令部收到了所谓的“安全证书”，其中表明某某保加利亚人的人格和财产受到德国当局的保护，对其侵犯者将面临处决的威胁。

德国人在保加尔人中组织了警察支队，并从保加尔人中招募人员派往德国工作和在德国军队中服役。

希腊人居住在克里米亚的大部分地区。很大一部分希腊人，尤其是在沿海城市的希腊人，随着占领者的到来，开始从事贸易和小工业。德国当局在贸易、货物运输等方面协助希腊人。

亚美尼亚人居住在克里米亚的大部分地区。没有亚美尼亚人口的大型定居点。

德国人组织的“亚美尼亚委员会”积极协助德国人，开展了大量反苏工作。

在辛菲罗波尔市，有一个由前达什纳克将军德罗领导的德国情报组织“德罗梅达尔”，该组织领导了针对红军的情报工作，并为此创建了几个亚美尼亚委员会，负责在红军后方从事间谍活动和颠覆活动，以及帮助组织亚美尼亚志愿军团。

亚美尼亚国家委员会在来自柏林和伊斯坦布尔侨民的积极参与下，开展了宣传“亚美尼亚独立”的工作。

有所谓的“亚美尼亚宗教团体”，这些团体除了宗教和政治问题外，还从事亚美尼亚人之间的贸易和小型工业之间的组织活动。这些组织向德国人提供援助，特别是成为了“为德国的军事需要”筹集资金的渠道。

所谓的“亚美尼亚军团”是由这些亚美尼亚组织组建的，并得到了亚美尼亚社区的资金支持。

苏联内务人民委员部认为将所有保加尔人、希腊人和亚美尼亚人从克里米亚境内驱逐是合理的。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.161—163.副本，机打。

242

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于在哈萨克苏维埃社会主义共和国扣留德国伞兵特工的特别报告

（1944 年 6 月 1 日）

编号 559/б

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志、

苏联人民委员会——莫洛托夫同志、

红军总参谋部——安东诺夫同志：

作为我们今年 5 月 20 日的报告的补充。关于在哈萨克苏维埃社会主义共和国古里耶夫州境内扣留一群敌方伞兵一事，苏联内务人民委员部报告如下：

5 月 26 日，两名在枪战中逃跑的伞兵被拘留。至此，被派来的 14 人被全部拘押。该团伙的所有成员都是哈萨克人，他们是前红军指战员，在不同的时间被德国人俘虏。

除了之前报告中提到的 5 月 16 日自愿投降的波日巴耶夫和扎尼耶夫之外，该团伙还包括：

阿里汉·阿加耶夫，代号“阿加伊·伊兰诺夫”，团伙头目，前红军上尉，德国人授予他上尉军衔（在枪战中被击毙）。

祖尔哈伊尔·达夏诺夫，电台台长，代号“祖尔哈伊尔·扎吉罗夫”，德军司务长（被击毙）。

该团伙的医生，代号“巴尔喀什·巴塔舍夫”，又名“卡姆科尔·巴塔舍夫”，姓氏未定，德军士官（被击毙）。

无线电操作员艾哈迈德·穆哈梅迪耶夫，代号“艾哈迈德·阿尔吉罗夫”、“米尔·阿尔吉罗夫”，1918 年出生，西哈萨克斯坦州人，德军士官。

穆罕贝特·“德尼舍夫”，姓氏不详，德军上级准下士（被击毙）。

萨尔特马哈姆别特·乌拉佐夫，代号“穆哈梅多夫”，1912 年出生，哈萨克苏维埃社会主义共和国古里耶夫州人。

马泰·奥马罗夫，代号“伊布雷·朱努索夫”，1920 年出生，新西伯利亚州人，前共青团

员，曾任小学教师，1939 年起在红军服役，军衔中士。

克尼斯别克·巴瓦舍夫，代号“科占·图涅格诺夫”，1920 年出生，南哈萨克斯坦州人，前共青团员。

拉希姆·克里姆贝尔基耶夫，代号“卡里姆·霍吉姆别托夫”，1921 年出生，塔什干州人，前共青团成员。

科尼斯派·基舍巴耶夫，代号“基日拜·阿曼卓罗夫”，1913 年出生，阿克莫拉州人，曾任伊希姆农机站德拖拉机机师。

阿卜杜卡德尔·阿里扎诺夫，代号“凯丹·卡德罗夫”，1917 年出生，南哈萨克斯坦州人，曾就读于江布尔的畜牧兽医技校。

伞兵招认，阿加耶夫小组是德国人于 1942 年夏天创建的。该小组毕业于勃兰登堡情报学校，然后在卢肯瓦尔德学习破坏活动。伞兵的任务是在我们境内上建立破坏小组，重点关注毛拉、前巴依（中亚和中国新疆地区的地主的称呼——译注）和红军逃兵。据称，没有指明具体的破坏目标。

在行动中，发现了两个基地，其中的财物和武器被伞兵埋在地下。在基地，以及被击毙和被拘押的伞兵处，没收了以下物品：两挺机枪和一个装有备件的箱子、8 支冲锋枪、9 支步枪、10 支手枪、26 枚手榴弹、20,000 多发子弹、约 50 公斤 TNT 炸药、电器保险丝、140 个导火索和燃烧弹、3 个电台、3,000 多份哈萨克语反苏传单、一台印刷机、铅字、51 个降落伞、658,000 卢布，以及军服、食品和文件。

苏联内务人民委员

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.168—169.副本，机打。

243

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于从克里米亚驱逐特殊定居者的特别报告

（1944 年 7 月 4 日）

编号 693/б

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

苏联内务人民委员部报告说，在克里米亚驱逐特殊定居者——鞑靼人、保加尔人、希腊人和亚美尼亚人的工作——已经完成。

被驱逐的总人数——225,009 人，包括：

鞑靼人——183,155

保加尔人——12,422

希腊人——15,040

亚美尼亚人——9621

德意志人——1119

以及外国人——3652

所有鞑靼人都到达定居点并安置如下：

在乌兹别克斯坦苏维埃社会主义共和国各州——151604 人。

在根据 1944 年 5 月 21 日的国防委员会法令规定的俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国的各州——31,551 人。

保加尔人、希腊人、亚美尼亚人和德意志人的人数为 38202 人。正在前往俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国的巴什基尔苏维埃社会主义自治共和国、马里苏维埃社会主义自治共和国、克麦罗沃、莫洛托夫、斯维尔德洛夫斯克、基洛夫州和哈萨克苏维埃社会主义共和国的古里耶夫州。

3652 名其他外国人被送往乌兹别克苏维埃社会主义共和国的费尔干纳州重新安置。

所有新来的特殊定居者都拥有令人满意的生活条件。

重新安置的鞑靼特殊定居者中有很大一部分从事农业工作——在集体农庄和国营农场，在伐木场、企业和建筑场地工作。

驱逐行动期间，现场或途中均未发生任何事故。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

为克里米亚特殊文件夹制作了一个副本。

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.275.副本，机打。

244

B·H·梅尔库洛夫、沙塔林、费多谢耶夫致И·B·斯大林和B·M·莫洛托夫关于阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克形势的特别报告

（1944 年 7 月 4 日）

编号 2497/м

绝密

从阿尔汉格尔斯克发出

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志：

在了解了阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克的情况后，我们报告：

1.1941 年 10 月，随着英国军事代表团抵达阿尔汉格尔斯克，阿尔汉格尔斯克市和莫洛托夫斯克市将被移交给英国成为租借地煽动性的谣言首次出现。

这些不同版本的谣言在 1942、1943 和 1944 年初定期出现。

这些谣言的主要来源是在外国武装干涉期间与英国关系密切的人，他们希望英国人占领阿尔汉格尔斯克州。

例如：在不同时间被捕并与英国人有联系的阿尔汉格尔斯克居民——М·В·克留科夫，前大船东；А·Ф·卡金诺娃，前阿尔汉格尔斯克一家电影院的老板，以及医生Е·М·塞瓦斯季娅诺娃。审讯时，他们承认散布有关阿尔汉格尔斯克州即将成为英国租界的谣言。一位前阿尔汉格尔斯克大商人的妻子——该商人于 1938 年被判处死刑，Н·Д·维嘉金娜——曾于 1919 年至 1923 年居住在英国，于 1942 年 3 月宣称：

“想想英国人为什么会在这里？他们来到这里的原因与 1919 年相同。北部边疆对他们来说是最美味的食物。”

有证据表明，英国也参与了上述煽动性谣言的传播。

上面说的维嘉金娜的女儿与前英国驻阿尔汉格尔斯克军事任务负责人蒙德上尉同居，她告诉熟人，根据蒙德的说法，苏联政府已将苏联北部的所有森林都租让给了英国。（蒙德已经回

到英国。）

1943 年 5 月被捕的第 25 锯木厂的考勤员З·Г·卡尔班作证说，1942 年 11 月，英国轮船“古利斯坦”号的水手戴姆·苏利文专门指示她散布有关英国即将占领苏联北部的煽动性谣言。（苏利文已离开阿尔汉格尔斯克。）

被捕的“再生黑色金属采购、加工、销售总局”阿尔汉格尔斯克办公室工作人员Л·Н·萨波戈娃供述说，1943 年，与她有联系的英国使团的一名下士约翰·科布于 1943 年多次告诉她英国即将占领阿尔汉格尔斯克州。（科布已返回英国。）

2.1944 年 5 月至 6 月，煽动性的谣言再次出现：反苏分子和普通民众开始将阿尔汉格尔斯克采取的改善城市、疏散医院和在南部地区重新安置波兰人的措施解释为准备将阿尔汉格尔斯克移交给英国人。

在党这条线上，6 月在阿尔汉格尔斯克市委全会上，区委书记奥德罗戈尼科夫同志通过解释在该市进行的活动的原因和目标，警告基层组织的书记们有关此类谣言以及打击谣言的必要性。

煽动性谣言的传播具有以下数据特征：

a）国家安全人民委员部阿尔汉格尔斯克州局有关于 138 人的材料，他们以某种形式散布这些谣言。在这 138 人中，大部分是职员（59 人）和没有特定职业的人（33 人）。谣言也在阿尔汉格尔斯克军区和白海舰队（19 人）的军人中传播开来。

根据掌握的材料，70 人被传唤，并以适当的谨慎形式受到审讯，其中 15 人承认相信这些谣言并传播，42 人作证是从集市上和排队等候有轨电车时的其他人那里得知谣言的，但对此没有在意。

b）根据我们的指示，阿尔汉格尔斯克市各区委书记与基层党组织书记进行了交谈。交谈期间，在 192 名书记中，有 20 名报告说，一些工人和职员曾就阿尔汉格尔斯克被移交给英国的传言与他们联系，要求解释，24 名书记报告说他们是从不属于所在单位的人那里偶然得知这些传闻的。其余 148 人表示，他们对这些谣言一无所知。

因此，应该认为，上述煽动性谣言在城市人口中已经相当普遍。没有理由相信这些谣言对广大民众的士气、政治状态和行为有任何明显的影响，因为大多数接触到这些谣言的居民并不相信它们。然而，政治上落后、庸俗分子却认真对待这种反苏挑拨，询问这些传言的可靠性，并相互谈论英国统治下可能的生活状况。

3.值得注意的是，在阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克，民众的政治工作开展得很差。报告

和讲座很少在工厂和制造厂阅读，报纸没有按时送达读者，图书馆藏书的使用没有安排起来，此外，报纸和书籍很少，尤其是在莫洛托夫斯克市。公众对政治事件缺乏认识无疑助长了各种谣言和误解的传播。

4.鉴于散布的谣言主要都在说，如果把苏联北方租让给英国人，会使物质生活条件改善，会开新商店，会带来更多的货物等，我们了解了如何处理阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克居民的供应问题。需要注意的是，北方的食品和工业品库存本身就不足，通常都没有完善的储备。

英国人利用供应困难，通过少量施舍，轻松地与当地居民建立联系。

5.英国军事代表团目前有 61 人，美国代表团——4 人。除少数人外，他们都在 1943 年 10 月后抵达苏联。英国人试图让尽可能多的人完成他们的使命，并经常更新其人员。

抵达阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克的外国船只通常会在港口停泊两周到一个半月。1941 年至 1944 年期间总共有 222 艘外国轮船，15540 名船员造访了阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克。

通常，与美国人相比，英国人的行为更加傲慢和无礼，他们纵容对苏联公民的流氓行径。

因此，例如：今年 5 月，英国人将电流注入绑在英国使团驻地围栏上的电线中。某少年洛巴诺夫试图偷窃堆在任务院子里的罐头食品时碰触到电线，在电流的影响下无法挣脱。警察库列绍夫也陷入了同样的境地，他当时打算将男孩从电线上拖走。出来大喊大叫的英国人嘲笑他们，15—20 分钟后才采取措施将他们摆脱了电流。本案材料在外交人民委员部。

外国人，主要是英国人，与当地居民建立广泛的联系，主要是与妇女姘居，用各种礼物，主要是食物贿赂她们。

1,150 多件外国人与城市居民的联系的事件被国家安全委员部机构记录在案，其中或多或少的经常性的关系——有 150 件。

6.伴随着有家庭关系性质的亲密联系而来的，是英国和美国人与苏联公民之间建立的间谍联系。

1941-1944 年期间，苏联公民中的 41 名英国间谍和 2 名美国间谍被国家安全机构揭发并逮捕了，其中 1943 年 29 人，1944 年上半年 11 人。

英国人广泛利用居住在阿尔汉格尔斯克地区的波兰人进行间谍活动。因此，在被捕的 43 名间谍中，有 25 人是波兰人。

参与情报活动的英国使团人员（蒙德、克顿、索顿、邓、伯格等）在不同时间离开苏联。来自英国使团的其他被认定为情报人员的 5 人（里伊斯、亨德尔森、别尔德、威博尔特、鲍威

尔）被驱逐出苏联。

7.阿尔汉格尔斯克州国家安全机关自卫国战争开始至 1944 年 7 月 1 日在打击间谍、反苏等敌对分子的过程中，共逮捕 2716 人。

1944 年上半年因散布煽动性谣言被捕 23 人。

为限制英美与苏联公民的联系，将最可疑的可能为外国人敌对活动基地效劳的人从阿尔汉格尔斯克剔除出来，卫国战争期间，将 266 人从阿尔汉格尔斯克驱逐到偏远地区，其中 1944 年上半年——61 人。

8.我们采取了以下措施：

a）逮捕和起诉 9 名恶意散播谣言者；

b）准备和审查与外国人有可疑关系的人、各种窝点老板和散布煽动性谣言的人的材料，将总共 142 人驱逐出阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克；

c）作为苏联国家安全人民委员部工作组对国家安全人民委员部阿尔汉格尔斯克州局工作监察的结果，已计划并正在采取措施改善国家安全人民委员部州局在打击间谍活动方面的工作：以此为目的利用国际俱乐部，安排了一些特别的措施；

d）会同联共（布）州委和市委主席团成员、党的区委书记制定了加强和改进鼓动宣传工作的措施；

e）在阿尔汉格尔斯克大型基层党组织书记与区委、市委工作人员的会议上，费多谢耶夫同志作了关于当前形势的指导性报告。

在区委、市委、区委宣传鼓动者会议上也做了同样有指导意义的报告，为的是将他们派到企业和机构就这一主题进行报告。

9.我们认为以下措施是合理的：

a）将 142 人从阿尔汉格尔斯克市和莫洛托夫斯克市驱逐到阿尔汉格尔斯克州的偏远地区，内务人民委员部和国家安全人民委员部有关于他们与外国人有可疑联系、散布煽动性谣言等的材料；

b）向阿尔汉格尔斯克长期派驻联共（布）中央宣传鼓动部宣传组进行相应的工作，加强对阿尔汉格尔斯克市和莫洛托夫斯克市政治和艺术文献的供应；

c）考虑到阿尔汉格尔斯克和莫洛托夫斯克作为外国人访问港口城市的特殊性，责成贸易人民委员部全额供应分配给阿尔汉格尔斯克州的食品和制成品。

在阿尔汉格尔斯克市开设一家杂货店和一家百货公司。

——梅尔库洛夫

沙塔林

费多谢耶夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.207.Л.195—202.原稿，机打。在第一页有斯大林的笔记：“重要”。

245

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于“反苏”教派组织的特别报告

（1944 年 7 月 7 日）

编号 707/б

国防委员会——И·В·斯大林同志：

苏联国家安全人民委员部查处了一个反苏教派组织“真正的东正教基督徒”，该组织主要由前富农和以前因反苏活动而被定罪的人组成。在梁赞、沃罗涅日和奥廖尔州的一些地区有这个组织的团体。

该组织的活跃成员处于非法状态，普通成员住在有围墙的房子里，男人蓄头发，女人拒绝婚姻，但在他们彼此则过着淫荡的生活方式。

宗派分子过着寄生生活，从事反苏工作：他们不纳税，他们逃避履行国家义务并逃脱红军兵役，他们对苏维埃政权的征召视而不见，他们不接受苏维埃文件。

由于害怕苏维埃对儿童的影响，该组织的成员不允许他们上学并用敌视苏维埃政权的精神教育他们。

由于他们信奉：“被捕入狱的人是上帝所拣选的，是钉在十字架上的，而天国是保证给他的”，因此对积极参与者的逮捕并没有对组织成员产生应有的影响。

考虑到该组织对梁赞、沃罗涅日和奥廖尔州多个地区的集体农庄的腐蚀，苏联内务人民委员部做出了一项决定——重新安置“真正的东正教基督徒”组织的成员和他们的家庭成员到鄂木斯克、新西伯利亚州、阿尔泰和克拉斯诺亚尔斯克边疆区，将他们分散在几个特殊的定居点，在那里他们将受到内务人民委员部的监督。

搬迁者范围如下：

在梁赞州 10 个区的 62 个定居点中——416 户 1323 人；来自沃罗涅日州五个区的 18 个定居点——99 个农场 274 人；来自奥廖尔州两个区的 7 个定居点——22 个农场 76 人。总共——1673 人。

重新安置将于 1944 年 7 月 15 日根据国家安全人民委员部梁赞、沃罗涅日和奥廖尔州局基于被安置者属于该组织的核实信息而编制的人员名单进行。

请您同意。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.305—306.副本，机打。

246

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于苏联内务人民委员部后方保卫部队行动的特别报告

（1944 年 7 月 11 日）

编号 730/6

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志；

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

今年 4—6 月期间。内务人民委员部红军前线后方保卫部队在清理从敌军手中解放的领土的过程中，在保卫前线后方的工作中，拘留检查了 267141 人，包括：

军事人员——115973

平民——151,168

在被拘留的军人中：

无组织地逃离战场者——615 人

从所在部队掉队者——25364

从包围圈中逃出者——243

被敌人俘虏者——5288

违反国防委员会第 0860 号令者——2466

持有不正确文件者——81997

在被拘留的平民中：

逃避红军征兵者——22949

逃脱防御工作者——509

非法返回安置区者——61157

没有文件者——30779

违反前线规章制度者——21,775

可疑分子——13987

此外，在第 1 波罗的海方面军、第 1、2 和 3 白俄罗斯方面军的后方，有 4835 名德军士兵和军官以及 182 名弗拉索夫分子在试图进入方面军后方时被拘留。

在内务人民委员部前线后方保卫部队情报机构对被拘留的人员进行筛查时查出：

敌方特工——1592

叛徒和变节分子——1838

警察和讨伐队员——762

德国人的狗腿子和帮凶——1267

帮派参与者——2604

红军逃兵——7573

抢劫犯——251

其他犯罪分子——2250

在查处的敌方特工中，有 26 名伞兵特工。

被拘留和查处的人被转移到：

红军集结地——22492

所在部队和军代表处——70829

内务人民委员部集中营——6526

内务人民委员部和国家安全人民委员部各区域机构——13455

“施密尔舒”反间谍机构——9926

检察院——391

警察机构——40722

其余人在查清楚后被释放。

内务人民委员部第 1 白俄罗斯方面军和第 1 乌克兰方面军后方保卫部队在乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州与乌克兰民族主义者组织的土匪团伙发生了 142 次军事冲突。打死土匪 2564 人、活捉 2247 人。

此外，还拘留了 1939 名单个土匪。

在与强盗团伙的冲突中，内务人民委员部前线后方保卫部队损失如下：124 人牺牲、53 人受伤、18 名士兵和军官失踪。

在卡累利阿方面军的后方，内务人民委员部部队的行动分队与四个芬兰人的侦察和破坏小组发生了战斗冲突，每个小组的人数从 40 到 200 人不等。

此役，打死打伤 44 人、俘虏敌军官兵 4 人。

行动分队损失：9 人牺牲、11 人受伤、1 人失踪。

44 年 6 月 27 日，保护乌克兰第 1 方面军后方的内务人民委员部 92 边防团的 4 个前哨站与红军部队在扎布洛托夫地区（科洛梅亚东南 20 公里）与德军作战。敌人被赶回普鲁特河，有 30 人丧生。

前哨站损失：4 人阵亡、1 人受伤。

内务人民委员部前线后方保卫部队在清理前线接近地带，以及与土匪发生冲突时在战场上收集和从地方百姓手中没收的缴获和国产的武器弹药如下：

火炮——32

迫击炮——49

反坦克步枪——19

机枪——371

冲锋枪——632

步枪——3667

手枪——259

炮弹——2724

地雷——3672

手榴弹——4009

子弹——超过 430 万发

电台——8

汽车——26

摩托车——7

自行车——50

收缴和回收的武器弹药被移交给战利品队和红军各部队和兵团的仓库。

在过去的一段时间里，由内务人民委员部前线后方保卫部队和红军作战部队训练的狙击手

毙伤敌方官兵8025人。

狙击小组损失：12人牺牲、11人受伤。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.325—327.副本，机打。

247

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于消灭德国伞兵和空降兵小组的特别报告

（1944 年 7 月 15 日）

编号 753/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

今年 5 月至 7 月期间，内务人民委员部、国家安全人民委员部和国防委员会“施密尔舒”清剿了 13 支德军伞兵小组和 2 支空降突击部队，总兵力共 162 人，其中 103 人被捕、29 人在拘捕中毙命、10 人出庭受审。在被击毙和被捕的伞兵中，有 18 名德国人。

伞兵被投到哈萨克苏维埃社会主义共和国的古里耶夫州、卡巴尔达苏维埃社会主义自治共和国、格鲁吉亚苏维埃社会主义共和国、阿斯特拉罕、奥廖尔州、乌克兰苏维埃社会主义共和国的塔尔诺波尔、卡梅涅茨—波多里斯克、斯坦尼斯拉夫斯克州和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国的戈梅利州。

在德国情报人员参与之下确定的任务是：在工业和交通设施中搞破坏、杀死苏维埃和党的工作人员、在红军后方的逃兵和反苏人士中组建土匪团伙、侦察红军部队的人员和装备。

从伞兵和空降兵那里缴获了无线电设备、大量武器和爆炸物。

苏联内务人民委员部请求向内务人民委员部、国家安全人民委员部的作战人员、内务人民委员部的军官、军士和士兵以及在消灭地方空投伞兵和空降兵的行动中表现突出的平民授予苏联勋章和奖章。

随函附上苏联最高苏维埃主席团令草案，请您决定。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.65.Л.351—352.副本，机打。

248

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于指战员对地方居民进行骚扰和抢劫的特别报告

（1944 年 7 月 20 日）

编号 777/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志；

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

今年六月，摩尔达维亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员部逮捕了红军坦克部队独立修理和恢复营的 15 名军人，他们在当地进行骚扰和抢劫。

今年 6 月 15 日坦克指挥官哈桑诺夫率领的一群军人，坐着坦克抵达科秋扬斯基区谢斯塔赫村找食物，用自己的制服换葡萄酒。军人喝醉后开始斗殴，用机关枪、步枪开火，驱散了村苏维埃的工作人员。

6 月 18 日，野战军炊事车主任卢詹斯基上尉在坦克手面前宣布部分食物短缺，并提出向邻近的村镇讨要食物和酒。

按照这一指示，18 个坦克手乘一辆坦克抵达库什米尔卡村，用制服换了酒和食物。坦克手喝醉后，其中两人开车到公民马丁的家里，开了两枪，拿走了用来换酒的制服，拿走了马丁公民的酒，用坦克轧坏部分附属建筑，然后消失在村子里。

途中，醉酒的坦克兵以枪毙为威胁从牧羊人那里带走了 12 只羊。在谢斯塔赫村，他们从公民农科那里带走了小牛和家居用品。在同一个村庄，他们强奸并抢劫了 55 岁的公民纳库·季娜依达，还抢劫了马尔托洛格村的一名居民。

本案逮捕：野战军炊事车主任卢詹斯基上尉、机务连高级班长奥克尔金上尉、坦克车长科

列斯特廖夫、哈桑诺夫少尉、阿布罗西莫夫中尉等人。

案件调查已经完成并提交给乌克兰第 2 方面军军事委员会。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Оп.66.Д.9—10.副本，机打。

249

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·安东诺夫

关于逮捕逃兵和逃避服红军兵役者的特别报告

（1944 年 7 月 27 日）

编号 812/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志、

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

今年五月，内务人民委员部机构拘留了 24898 名逃兵和 26300 名逃避在红军服役者，其中军官 285 人、士官 1065 人、士兵 49850 人。

在被捕者中，有 9128 人被逮捕并移交给国家安全人民委员部、“施密尔舒”和检察院。35,543 人被转移给守备部队首长和区军事登记和征兵办公室。

清理了 187 个由逃兵和逃犯组成的犯罪集团。在武力镇压时，有 43 人丧生。

抓获 220 名逃兵分子的帮凶和藏匿者。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.60.副本，机打。

250

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于扣留德国伞兵的特别报告

（1944 年 8 月 2 日）

编号 838/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

今年 7 月 15 日至 21 日，在列宁格勒州拘留了敌方伞兵：

Е·А·别列津，1923 年出生，普斯科夫居民，前共青团员。在滞留在德军占领的领土期间时，他为宪兵队效命；

Ф·П·乌里扬诺夫，1920 年出生，前联共（布）党员，原红军营营长。今年 3 月，他被德国人俘虏；

П·М·维德梅杰夫，生于 1920 年，基洛夫格勒州人，曾被德国人俘虏，以及

П·Д·韦德尔尼科夫，1913 年出生，列宁格勒人，被德军俘虏。

被拘留者供认说，他们于 7 月 14 日和 15 日被派出去执行侦察和破坏任务，并弄清在查别尔卡—新谢利耶—卡捷日娜地区派遣突击部队的可能性。

被拘留者的武器、伪造的文件和爆炸物均被没收。

今年 7 月 21 日，在维堡东南 55 公里的卡累利阿—芬兰苏维埃社会主义共和国境内，1922 年出生的芬兰伞兵雅克·约甘诺维奇·海纳宁被拘留，他是芬兰军队第 31 步兵团第 1 营第 2 连的士兵。

海纳宁供述说，7 月 21 日晚上，他被空投下来，目的是与之前在维堡东南 50 公里的米亚克利亚利亚村地区被空投下来的五名芬兰伞兵联系。

在海纳宁登陆现场，发现了 120 公斤的食物和无线电蓄电池。

提到的小组配备了无线电，在列宁格勒方面军后方行动。

7 月 20 日，在试图逮捕该小组期间，该小组进行了武装抵抗，打伤了两名红军士兵。

消灭这一小组的行动仍在继续。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.117—118.副本，机打。

251

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·安东诺夫

关于解除波兰家乡军士兵和军官武装的行动的结果的特别报告

（1944 年 8 月 3 日）

编号 841/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志、

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

苏联内务人民委员部在此报告解除“波兰家乡军”士兵和军官武装的行动的结果以及在立陶宛苏维埃社会主义共和国正在执行的契卡行动措施。

根据参加行动的白俄罗斯第 3 方面军的团和兵团提供的信息，共有 7,924 名官兵被解除武装。

其中，4400 名官兵被护送到集结点、2800 名士兵被指挥员和押运队遣散回家。

除此之外，波罗的海第 4 方面军的加入解除了 400 名波兰士兵的武装。

在解除波兰人武装期间，缴获了以下物品：步枪 5500 支、冲锋枪 370 支、轻重机枪 370 支、轻型炮 12 门，以及 27 辆汽车、7 个电台、720 匹马。

几天之内，贝林（苏联波兰第一集团军的指挥官——译注）军队的一名代表在集结点招募了 440 名士兵。军官团拒绝加入贝林的军队，声称没有来自最高指挥部的命令让他们这样做。

有人企图将一个波兰地下组织出版的传单扔进营地。传单上写到，波兰人被通过诡谲和欺诈方式解除武装，不应加入贝林的军队，被解除武装的波兰人只能向伦敦负责等等。传单被没收。

战前，维尔诺有 32 万居民。在占领期间，大约有 80,000 人分散到村庄，并被德国人带到

德国。此外，据当地居民称，德国人逮捕并枪杀了 40,000 多名犹太人和其他公民。

目前，多达 20 万人居住在维尔诺和郊区。绝大多数居民是波兰人。已经查明立陶宛人在撤退期间与德国人一起离开，因为担心苏联政府和波兰人对他们在占领期间积极帮助德国人的行为展开报复。

波兰人和立陶宛人之间存在敌对关系。这是因为在德国人占领立陶宛期间，立陶宛人占据了城市和农村的所有重要行政职位，并且对波兰人不利。

此外，在德国人的指示下，立陶宛将军普列霍维丘斯在立陶宛人中组织了一个师，对波兰人和游击队实施惩罚措施。这个师残酷地镇压了当地居民。

维尔诺居民对城市从德国占领者手中解放出来的反应积极，并对教堂的礼拜不是用立陶宛语而是用波兰语进行表示满意，并表示希望维尔诺成为西乌克兰或西白俄罗斯的一部分，但不是立陶宛的一部分。

根据未经证实的情报信息，特拉凯县的居民正在征集签名，以便给斯大林同志写信，请求将维尔诺地区并入西白俄罗斯。

维尔诺的劳动知识分子同意成立波兰民族解放委员会，相信通过这一措施，波兰将成为一个独立的国家。

部分民众，尤其是神职人员、波兰民族主义者和反动知识分子，认为全国委员会是非法的，并效忠伦敦政府。

在所有解放的县中，完全由立陶宛人组成的地方行政部门纷纷逃离。德国人将警察和讨伐机关留在原地，在他们那里组织自卫队并邀请他们保卫他们的城市。例如，特拉凯和帕内维斯市由自卫队保卫。红军进城后，这些人躲进了森林里。

已安排了行动措施以逮捕自卫队成员。

在所有的县，留下了大量今年 2 月被德国人赶走的俄罗斯人。例如，在帕内韦日斯县，滞留着德国人从列宁格勒州赶走的 3,000 多人以及牛和农具。

其他县还有奥廖尔、库尔斯克、斯摩棱斯克等州的居民。

7 月 14 日至 7 月 20 日，立陶宛苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部、国家安全人民委员部逮捕了 516 人，其中包括：间谍——52、德国占领者的积极帮凶——91、德国占领当局行政机构的主要官员——302、地下反苏民族主义组织成员——36 和犯罪分子——35。

此外，内务人民委员部的机构和部队还抓获了 570 名试图逃往西方的德国士兵和军官。

在与某些德国人团伙的军事冲突中，785 名士兵牺牲。

从被捕者和居民手中没收的武器：步枪 984 支、机枪 405 支、迫击炮 132 支、手榴弹 137 支、子弹 450,000 发。

立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部在斯文茨扬茨克县捣毁了一个由 4 个人组成的波兰民族主义团伙。抓获了波兰人——杰姆宾斯基、古托维奇、佛里亚克和彼得鲁卡涅茨。

在对所谓的“波兰家乡军”的军官进行调查工作的过程中，确定在维尔诺及周边县有一个搞密谋的波兰军事叛乱组织。

根据被捕的库尔奇茨基将军和科舍硕夫斯基上校的供述，该组织由华沙中央的全权代表和维尔诺地区代表、非法移民者“若瑟”领导。

波兰所有以前的省都有区代表，而区代表下又拥有县代表。

科舍硕夫斯基和库尔奇茨基供述说，维尔诺地下委员会的活跃成员之一是维尔诺国立大学前校长斯捷凡·叶列恩克罗伊茨教授，后者正在被通缉中。

根据情报资料，波兰民族主义者正在积极开展反苏活动。

立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部正在采取措施逮捕以“若瑟”为首的民族主义者的地下领导层。

自今年 7 月 27 日起，根据白俄罗斯第三方面军军事委员会的命令，在立陶宛苏维埃社会主义共和国境内动员民众参加红军。

征兵办在征兵时不解释命令、不发通知书，而是派信使带名单，邀请应征者到集合点。

征兵队伍中，传出煽动性的谣言，说这不是动员，应征者将被流放到西伯利亚。

这样一来，动员，尤其是在立陶宛人中的动员并不令人满意。

比如说，7 月 26 日至 7 月 31 日，维尔诺县动员了 5000 人，1700 人来到征兵站，只有 950 人去了火车站上了军列。

在一些县，立陶宛法西斯分子“陶金尼克”利用这一情况，开始在躲避征兵的立陶宛人中组织团伙。于是，在潘涅维日县，出现了两个手持步枪和机枪的土匪团伙，每个团伙最多 50 人。

有“陶金尼克”分子炮击沿公路移动的军事纵队的事实。

已采取措施清算“陶金尼克”团伙。

据立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部地方机构称，军队工作人员将敌人留下的食物、仓库和衣物用品带走，而没有做登记。

在军队方面，发生了抢劫和为非作歹的情况。民众抱怨红军从居民手中夺走食物、牲畜和

物品，并屠宰牲畜以获得肉食。在特拉凯县，红军抢劫了一座教堂。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.124—129.副本，机打。

252

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫、А·И·安东诺夫

关于在卡巴尔达苏维埃社会主义自治共和国捕获德国伞兵的特别报告

（1944 年 8 月 4 日）

编号 844/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志、

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

今年 7 月 31 日和 8 月 3 日在卡巴尔达苏维埃社会主义自治共和国的巴克桑和切格姆区，两批共计 43 人的伞兵从德国飞机上被空投。

在被空投下来的人中，3 人被抓获、5 人被击毙。

根据被拘留的伞兵的供述，这两个团体都由卡巴尔达人组成，他们大多是德国军队从北高加索撤退期间自愿与德国人一起离开的德国人的积极帮凶。他们在德国的情报和破坏学校学习。

伞兵的任务是与在卡巴尔达苏维埃社会主义自治共和国领土上活动的匪帮建立联系，在卡巴尔达人中组织叛乱团体，对铁路运输和工业进行破坏，以及收集和通过无线电向德国传送军事政治情报。

从伞兵手中缴获 3 部电台、密码和密钥。

在着陆区发现并从跳伞者手中没收：降落伞 38 支、冲锋枪 4 支、手枪 4 支、伪造的文件、大量炸药、冲锋枪和手枪弹药、军民制服和约 400 万卢布。

已采取措施抓捕躲藏的伞兵。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）. Ф. 9401 сч. Оп. 2. Д. 66. Л. 123. 副本，机打。

253

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于为消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）军事组织开展契卡—军事行动的特别报告

（1944 年 8 月 5 日）

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

据乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部、国家安全人民委员部报告，最近，由于红军部队向西部推进以及驻扎在罗夫诺州的内务人民委员部的某些部队撤离，乌克兰民族主义者组织（ОУН）的地下组织和乌克兰反抗军（УПА）的土匪组织加强了他们的活动。

已注意到乌克兰民族主义者组织的团伙从波兰和利沃夫州转移到沃伦、塔尔诺波尔和罗夫诺州。

几个总人数高达 1000 人的团伙越过西布格河到达沃伦州的各区。

在过去的两周里，针对苏维埃和党的积极分子、红军家属和向内务人民委员部机构自首的前匪徒的谋杀案有所增加。曾发生过ОУН团伙在征兵站和沿途暴力抓捕应征者的案例。

7 月 28 日至 30 日，在沃伦地区活动的УПА团伙截获多支应征入伍者队伍并将他们驱赶进了森林，总人数为 1,130 人。

为了采取措施镇压ОУН团伙的行动，苏联副内务人民委员克鲁格洛夫同志被派往当地。

内务人民委员部部队正在被调往受影响的地区。

为防止ОУН团伙从波兰领土渗透到利沃夫、沃伦和罗夫诺州，正在采取措施沿苏联和波兰之间的边界线建立边防支队。

在清剿ОУН团伙的契卡行动中（2 月至 7 月），17,550 人被击毙，17,480 人被活捉。

3,795 人向内务人民委员部机构自首。

4743 名ОУН和УПА的积极参与者被捕。

缴获的武器和弹药：大炮 14 门、迫击炮 85 门、大口径机枪、重机枪和轻机枪 600 挺、左轮手枪 436 支、手榴弹 6567 支、子弹 600,000 发、地雷 6060 枚、炮弹 6110 枚、电台 20 部。查获 158 个食品仓库。

在针对红军逃兵和逃脱兵役人员的拘捕方面，27.06 万人被送入征兵办公室。

在行动中，内务人民委员部和红军部队的行动人员、指挥员和士兵在行动中阵亡 700 人、受伤 562 人。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.130—131.副本，机打。

254

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于迁移祖国叛徒家属的特别报告

（1944 年 8 月 18 日）

编号 898/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

在高加索矿泉城市群的度假城市（五山城、基斯洛沃茨克、热列兹诺沃茨克、叶先图基、矿水城）居住着德国帮凶积极分子、祖国叛徒和变节者、被判有罪和自愿同德国法西斯占领军离开者家属共 850 人。

为了清理这些城市，苏联内务人民委员部决定将上述家庭迁往新西伯利亚州。

重新安置将在 1944 年 9 月 1 日之前进行。

请您同意。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.232.副本，机打。

255

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于在乌克兰苏维埃社会主义共和国境内消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）武装团伙措施的特别报告

（1944 年 8 月 19 日）

编号 900/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

与科涅夫同志和梅赫利斯同志给您发来的关于乌克兰民族主义者匪帮在利沃夫州地区活动的电报相关，苏联内务人民委员部报告，利沃夫、沃伦和塔尔诺波尔州新解放区的内务人民委员部机关和部队正在采取必要措施抓捕和消灭土匪。

苏联内务人民委员部第一副人民委员克鲁格洛夫同志已经就位；在受土匪影响的地区的内务人民委员部部队和契卡人员的力量得到了加强。为了消灭匪帮，还使用了守卫与波兰边界的边防部队。

在此呈送有关利沃夫州形势的信息。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.233.副本，机打。

256

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于在青少年中拘留德国伞兵—破坏分子的特别报告

（1944 年 9 月 27 日）

编号 1030/б

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

今年 8 月 25 日至 9 月 4 日在明斯克、鲍里索夫、奥尔沙、巴拉诺维奇和涅维尔区以及斯摩棱斯克州，空投了由 8 至 15 岁青少年组成的德国伞兵破坏者团伙。

在空投下来的人中已经有 22 人被拘留。

根据被拘留者的供述，1943 年在科尼诺市（波兰）和汉堡市，德国人为从奥尔沙、明斯克、亚尔采沃和奥廖尔孤儿院掳走的青少年组织了破坏学校。

学校教授地形学、颠覆和穿越前线的战术。

从学校毕业后，少年们带着炸毁蒸汽机车的任务被空投到我们的后方。

从被拘留者身上查获具有煤形状和颜色的炸药团块，发给他们用于投掷。

对其余伞兵的搜索仍在继续。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.66.Л.352.副本，机打。

257

B·C·阿巴库莫夫致И·B·斯大林关于A·П·铁木辛哥的特别报告附审讯笔录

（1944 年 10 月 5 日）

编号 551/A

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志：

在此呈送审讯被捕的苏联元帅 C·K·铁木辛哥的侄子阿法纳西·普罗科菲耶维奇·铁木辛哥的记录。

阿法纳西·铁木辛哥承认，在敖德萨州被敌人占领的领土上生活期间，他曾担任过一段时间的地区警察负责人，然后他被罗马尼亚宪兵队队长斯捷凡涅斯库招募，根据他的指示，他识别了游击队员、共产党员和对侵略者怀有敌意的人。

在敖德萨州从罗马尼亚入侵者手中解放前不久，A·П·铁木辛哥同来自布加勒斯特的罗马尼亚侦探局军官德拉古列斯库见过两次面。

正如A·П·铁木辛哥所供述的那样，他告诉德国和罗马尼亚情报官员他所知道的关于铁木辛哥元帅的信息。

此外，A·П·铁木辛哥还说，跟他一起在敌占区的还有铁木辛哥元帅的妹妹——A·K·库纠玛，她被德国人和罗马尼亚人就 C·K·铁木辛哥的情况进行了审问，和他（A·П·铁木辛哥）一样，她没有受到占领当局的镇压。基于此，考虑到罗马尼亚人A·П·对铁木辛哥的态度，有理由怀疑 A·K·库纠玛也同罗马尼亚情报部门合作。

值得一提的是，今年 5 月，敖德萨州解放后，A·K·库纠玛来到莫斯科找 C·K·铁木辛哥并留在了他的别墅里。在她住在别墅期间 C·K·铁木辛哥和库纠玛进行了长时间的交谈，专门为此离开了建筑物，因此技术设备无法记录他们的谈话。关于这一点今年 7 月 5 日的第 033 号/A 已经向您报告过了。

我们已建立了对于 A·K·库纠玛的卧底监视。

为了更彻底地澄清从A·П·铁木辛哥，可能还有 A·K·库纠玛从罗马尼亚人那里收到了什么

样的间谍任务，位于罗马尼亚的“施密尔舒”机构被指示识别德拉古列斯库和斯捷凡涅斯库并秘密收押他们。

对A·П·铁木辛哥的审讯仍在继续。

——阿巴库莫夫

审讯笔录

被捕的阿法纳西·普罗科菲耶维奇·铁木辛哥

（1944 年 10 月 4 日）

A·П·铁木辛哥（查班），1908 年出生，伊兹梅尔州基利斯基区福尔曼卡村人，1940 年起成为苏联公民，非党员，农民。

问：调查中有关于您在敌人暂时占领的领土居住期间的犯罪活动的信息。

请对此作出供述。

答：1942 年 12 月至 1943 年 2 月，我住在罗马尼亚军队占领的敖德萨州境内，我在罗马尼亚人那里担任萨夫兰地区中心的警察局长一职，同时作为罗马尼亚语的翻译被宪兵队所用。

问：你是在什么情况下发现自己在被敌人占领的领土上的？

答：战前，我住在伊兹梅尔州福尔曼卡村的出生地，我于 1940 年 7 月上旬从罗马尼亚抵达那里，当时正值苏联解放比萨拉比亚。

随着卫国战争的开始，我和我的其他亲戚被疏散到奥尔忠尼启则边疆区的伊佐比尔诺耶村。

1942 年 8 月，我住的地方被敌人占领，我没有及时离开。

我违背自己的意愿一直站在敌人一边，特别是因为我是苏联元帅 C·K·铁木辛哥的亲戚，我害怕德国人和罗马尼亚人的镇压。

问：您和铁木辛哥元帅是什么关系？

答：我是 C·K·铁木辛哥的侄子，我的姑姑安娜斯塔西亚·康斯坦丁诺芙娜·库纠玛和我一起留在敌占区，是铁木辛哥元帅的妹妹。

问：德国人知道您是 C·K·铁木辛哥的亲戚？

答：我向德国和罗马尼亚当局隐瞒了我是 C·K·铁木辛哥的亲戚。考虑到伊佐比尔诺耶村的许多居民都知道我和他的关系，我和我的家人于 1942 年 9 月前往比萨拉比亚，我认为在那里我可以避免被镇压。

带着从德国指挥官办公室拿到的通行证，我们驱车前往蒂拉斯波尔市，我们在那里被拘留

并被投入集中营。

在这个集中营的审讯中，我不得不承认我是铁木辛哥元帅的侄子。

问：您没有说实话。您在蒂拉斯波尔主动向罗马尼亚人告知您与C·K·铁木辛哥的亲戚关系。

您为什么这样做？

答：我声明直到我在蒂拉斯波尔接受审讯时收到了指控我与铁木辛哥有关系的文件之前我都没有承认这一点。

问：您在撒谎。您的妻子M·A·铁木辛哥表明你们事先商量向罗马尼亚当局告知你们与C·K·铁木辛哥的关系。

您现在隐瞒它的目的是什么？

答：我撒了谎。事实上，在蒂拉斯波尔，我和妻子商量好不再向罗马尼亚当局隐瞒我们与C·K·铁木辛哥的关系。因为我们担心罗马尼亚人会在我的出生地查到我，确定我是元帅的亲戚，然后他们就可以把我们枪毙。因此，我们决定，如果他们在审讯中再次向我求证，那么我就承认我是他的侄子。

所以我就这么做了。1942年11月初，当我被传唤到集中营接受审讯时，我向罗马尼亚军官坦白并告诉他们，铁木辛哥的妹妹A·K·库纠玛和我在一起。她被传唤接受审讯，并证实了我的供词。

问：罗马尼亚人有要求您提供关于C·K·铁木辛哥的详细情况吗？

答：不，这次我没有受到关于C·K·铁木辛哥的讯问，但在下一次审讯时，他们要求我详细介绍他的情况。

问：您向罗马尼亚人提供了哪些关于铁木辛哥元帅的信息？

答：11月20日左右，我又被传唤审讯，当时除了罗马尼亚军官外，还有德国军官在场。

在审讯过程中，他们坚持要求我提供我所知道的关于C·K·铁木辛哥的情况。

他们感兴趣的是他住在哪里、他是否有家庭、他现在在哪里、我是否见过他，以及我是否与铁木辛哥元帅有书信往来。

我回答说我和C·K·铁木辛哥不熟，但他一直住在莫斯科，在克里姆林宫，我与他没有任何通信，也很久没有见过他了。

对此，审问我的罗马尼亚官员说我没有说实话，因为1940年C·K·铁木辛哥来到福尔曼卡村，我无疑在那里见到了他。

我肯定，元帅确实是在 1940 年 7 月上旬来到福尔曼卡，我解释说我没有见过他，因为那时我不在村子里。其余住在福尔曼卡的亲戚在他们在家乡居住期间与元帅会面。

我说他有妻子和孩子，随后就这点被问到 C·K·铁木辛哥的妻子是不是比萨拉比亚人。我回答说她不是比萨拉比亚人，但她是哪的人，我不知道。

然后我被问到铁木辛哥的妻子或他家里的任何人是否来过福尔曼卡，我的回答是否定的。

之后，我被问到住在比萨拉比亚的铁木辛哥的哪些亲戚去了莫斯科找元帅。

起初我回答说 C·K·铁木辛哥的亲戚都没有去过莫斯科，然而，我的话被打断，军官开始大喊我在撒谎，因为他们知道元帅的兄弟叶菲姆·铁木辛哥的莫斯科之行。

对此，我被迫确认叶菲姆真的在 1940 年去找了 C·K·铁木辛哥并在莫斯科他的住处呆了一段时间。

军官开始坚持要求我提供有关叶菲姆目前下落的信息，但我不知道这一点，只说叶菲姆已被疏散到苏联后方，具体在哪里——我不知道。

此外，他们还向我寻求供述，为什么我在战争开始时从比萨拉比亚撤离，然后留在被占领土，现在我要返回比萨拉比亚。与此同时，他们称我为“苏联特工”“布尔什维克”，殴打我并威胁要把我枪决或送往德国。

审讯结束后，他们传唤了我姑姑 A·K·库纠玛，但她被审讯的内容，我不知道。

问：他们对您做了什么？

答：他们不再对我进行镇压，第二天我和其他比萨拉比亚人和乌克兰人一起被从蒂拉斯波尔送到巴尔塔看守。

从巴尔塔，我和妻子被分进多达 30 人的小组并被派往敖德萨州的区中心——萨夫兰镇，而我的姑姑——A·K·库纠玛以及其他人被送到区中心别斯恰内，在那里后来我才知道，她在执政官办公室（区管理局）的食堂里当了一名工人。

和我一起到萨夫兰镇的人被派往不同的集体农庄工作，但我被留在了萨夫兰，我首先在那里的一个集体农庄工作，然后他们带我去当警察。

问：谁雇用您在警察中服役？

答：1942 年 11 月 23 日，我们到了萨夫兰镇。宪兵队长佩特雷斯库听到我说罗马尼亚语，对我说：“好吧，你会成为一名好警察的。”对于我的反对意见——我不能在警察局工作，因为我患有疾病，佩特雷斯库回答说：“好吧，没什么，那么你就是我的翻译”。他立即下令将我留在萨夫兰并为我提供一套公寓。他命令我每三天到宪兵队向他报告一次。

遵照佩特雷斯库的命令，我多次出现在宪兵队的登记处。

12 月中旬，佩特雷斯库把我叫到他的办公室，宣布我被任命为警察。我试图拒绝，但佩特雷斯库断然坚持并威胁说，如果我不同意就要处理我。我被他的威胁吓坏了，同意去当警察，很快就上任了。

因此，从 1942 年 12 月 23 日到 1943 年 2 月，我在萨夫兰镇担任警察。

问：您是一个普通的警察吗？

答：不，我被任命为萨夫兰镇的警察局长，我手下有 7 名警察。

问：佩特雷斯库是否知道您是铁木辛哥元帅的亲戚？

答：是的，他在从巴尔塔押送我们的宪兵交给萨夫兰的文件中知道这件事。

问：您为什么被任命为警察局长？

回：我无法解释这一点。佩特雷斯库第一次见到我就立即告诉我，我会去当警察。

几天后，也许是在佩特雷斯库熟读了从巴尔塔寄来的文件之后，他在和我的谈话中问我为什么我没有告诉他我是 C·K·铁木辛哥的侄子。然而，在那之后，佩特雷斯库并没有改变主意，仍任命我为警察局长。

问：您给出了错误的解释。罗马尼亚当局尽管知道你与铁木辛哥元帅的关系，但不仅没有镇压您，还任命您为警察局长。

我们建议您说实话。

答：我没有对调查组隐瞒任何事情，但我无法解释为什么我没有受到罗马尼亚当局的镇压，而是被任命为警察局长。

问：您曾以什么姓氏在萨夫兰担任警察局长？

答：起初我以真姓铁木辛哥担任警察局长，但在 1943 年 1 月 14 日左右，佩特雷斯库把我叫到他的办公室，让我改姓。

从那一刻起，我被用了查班这个姓。随后，在 1943 年夏天，当文件重新登记时，我获得了一本姓氏为查班的新护照。

问：为什么佩特雷斯库建议您更改姓氏？

答：正如佩特雷斯库向我解释的那样，我不得不将姓氏铁木辛哥更改为另一个姓氏，以避免来到萨夫兰的罗马尼亚人或德国人可能产生误解和麻烦。

问：您作为警察局长履行了哪些职责？

答：作为警察局长，我每天派警官到执政官办公室值班，晚上在镇里巡视，派人看管集体

农庄仓库，收税，执行执政官办公室动员当地居民和交通工具的命令，向集体农庄发送执政官办公室关于交纳肉和鸡的指示。

另外，根据佩特雷斯库的命令，同时，作为一个懂罗马尼亚语的人，我为执政官办公室做翻译。

问：您是否参与了宪兵队的搜查和逮捕行动？

答：是的，作为警察局长，在佩特雷斯库的指示下，我参与了宪兵进行的搜查。

比如，在 1943 年 1 月，我与宪兵一起搜查了一位当地居民古梅内依，我们收到消息说他的房子里藏着几支步枪、一把左轮手枪和子弹。

在搜查古梅内依时，我们发现了一把左轮手枪和子弹，之后他被宪兵逮捕了。

我必须声明，在我为警察局效命的整个期间，我所做的工作给我带来了负担，并一再要求佩特雷斯库将我从警察局中解脱出来。

起初，彼得雷斯库不同意我的请求，但在 1943 年 2 月 1 日，当我再次找到他时，他愤怒地撕下我的警察袖标，拿走了我的警察证，从那时起我就不再担任警察。

问：您离开警察局后做了什么？

答：离开警察局后，我病了很长时间，什么也没做，从 1943 年 4 月起，我被任命为萨夫兰一家杂货店的售货员。

我在这家商店工作到 1944 年 3 月，当时罗马尼亚人被驱逐出萨夫兰。

问：谁任命您为商店的售货员？

答：德米特里·尼古列斯库执政官，我曾直接从属于他，任命我为一家杂货店的售货员。

应该说，我基本上担任商店的负责人，因为我个人负责商店的工作并签署了所有文件。

问：您与宪兵保持联系吗？

答：在我被免去警察局长职务后，我与宪兵没有任何关系，也没有与它保持联系。

问：作为一名翻译，你被宪兵利用过吗？

答：是的，有一次在 1943 年 12 月初，在审讯住在萨夫兰镇的彼得·索宾期间，我实际上是在宪兵队担任翻译。

问：也就是说，即使在离开警察部门后，您仍继续与宪兵保持联系？

答：不，我没有与宪兵保持联系，我参与审讯索宾是在以下情况下发生的：

索宾来到我的公寓，虽然我之前对他知之甚少，并说我要小心点，因为有人想杀了我。

对于我关于谁想杀我以及为什么要杀的问题，索宾回答说，萨夫兰有一些自称游击队员的

土匪。据他说，他们打算杀死我，认为我与宪兵有联系，而且据我的告密，宪兵似乎杀死了战俘丘巴。我知道丘巴在警察局服役，然后他因某事被宪兵逮捕，但过了一段时间他被释放了。我对丘巴被谋杀一无所知，也没有向宪兵告密。

因此，我对索宾的陈述感到惊讶，并试图从他那里找出究竟是谁威胁要杀死我。然而，索宾并没有明确告诉我任何事情，而是开始愤怒地谈论萨夫兰的居民博斯图巴里斯基、马齐普尔和罗曼纽克，称他们为需要被消灭的土匪，因为不应该让无辜的人因为他们而受苦。据他说，游击队将杀死 2-3 名罗马尼亚人，为此宪兵将杀死无辜的人。

同时，索宾告诉我他应该和宪兵队长谈谈，并让我安排在我的公寓与他会面。

由于我不想卷入宪兵的事情，我拒绝答应索宾的要求。

当天晚上，索宾离开后，宪兵出乎意料地来到我的公寓，逮捕了我。

问：您试图在这里误导调查。没有人逮捕你，你自己来到宪兵队并报告了索宾报告的内容。说说这些吧。

答：我承认，我试图隐瞒调查，在索宾离开后，我立即去找宪兵队长斯捷凡涅斯库（他在佩特雷斯库离开后被任命），告诉他我与索宾的谈话。

在我陈述之后，斯捷凡涅斯库命令我和两名宪兵找到索宾并带到他这。

在被带到宪兵队后，索宾在审讯期间告诉斯捷凡涅斯库萨夫兰地区存在一个拥有武器的苏联地下组织，并出卖了其 20 多名成员。

斯捷凡涅斯库让我将索宾的证词翻译成罗马尼亚语，因此我作为翻译参加了这次审讯。

审讯结束后，我回家了，索宾也被释放了，第二天宪兵开始在萨夫兰进行搜捕。

问：也就是说您和索宾一起出卖了存在于萨夫兰的苏联地下组织？

答：是的，是的。我成为了索宾背叛的帮凶，但我这样做是因为我担心自己的生命。

问：难道不是因为您在执行罗马尼亚宪兵的任务吗？

答：我没有接到罗马尼亚宪兵的任何任务。

问：别说谎了。告诉我，您什么时候与宪兵建立了犯罪联系？

答：我固执地隐瞒了我被罗马尼亚宪兵招募的事实，但现在我决定说实话。

事实上，自 1943 年 12 月以来，我是罗马尼亚宪兵的特工，在萨夫兰负责识别共产党人、游击队员和反对罗马尼亚当局的人。

问：谁招募您担任宪兵特工？

答：早在被招募之前，我就很清楚宪兵想要利用我，因为在我承认与铁木辛哥元帅的关系

后，我不仅没有受到镇压，反而被释放出集中营，被任命为警察局长。

1943 年 1 月，前宪兵队长佩特雷斯库告诉我，我欠罗马尼亚人很多，必须在他们面前赎罪。

虽然当时我没有被佩特雷斯库招募，但宪兵认为我是一个值得信赖的人，因为有几次宪兵来找我，询问当地居民反对罗马尼亚人的信息。

1943 年 12 月上旬，在我向宪兵告发索宾并参与了他的审讯后，宪兵队长斯捷凡涅斯库建议我在萨夫兰当地居民中识别游击队员、共产党员和其他任何进行反对罗马尼亚人工作的人。

我试图拒绝，说我无法识别这些人，因为我不是当地居民，也不认识萨夫兰的任何人。然而，斯捷凡涅斯库坚持己见，他告诉我我已经与宪兵有联系，因为我已经告发了索宾，并威胁说如果我不同意执行宪兵任务，我将被逮捕并被清除。

趁着这个机会，斯捷凡涅斯库逼迫我同意作为宪兵的特工执行宪兵的任务。

问：您是否就此与斯捷凡涅斯库签署了协议？

答：不，斯捷凡涅斯库没有要求我提供这样的协议，但在审问索宾之后，在死亡威胁下，我签署了不会告诉任何人在审讯索宾期间发生的事情以及他提供的证词的承诺书。

问：你在宪兵队的任务中做了什么叛卖工作？

答：招募结束后，斯捷凡涅斯库警告说，我们谈话时在场的宪兵阿尔布会与我保持联系。

三天后，阿尔布来到我的商店，并提供了一些宪兵感兴趣的当地居民的名字，提出要仔细监视他们，弄清他们的情绪并确定他们是否与游击队有联系。

我答应阿尔布来完成这个任务。

随后，当我与阿尔布会面时，我将我查清的有关这些人情绪的信息告诉了他，但我无法与游击队建立联系，这让阿尔布感到不满。

1944 年 1 月下旬，我带着商店的会计文件被传唤到执政官办公室。事实证明，这只是叫我去拜会抵达萨夫兰的罗马尼亚军官德拉古列斯库的借口。

裁判官把我介绍给他，说德拉古列斯库想私下和我谈谈。后者邀请我悄悄进入森林，他打算在那里和我说话。

当我来到林场时，德拉古列斯库告诉我他来自布加勒斯特，是罗马尼亚侦探局的代表，他对我作为宪兵特务的工作产生了兴趣。

应该说德拉古列斯库完全了解我的工作，因为在谈话中他提到了索宾以及与他有联系的苏联地下组织的成员的情况。

在我详细地向他报告我在宪兵队的工作后，德拉古列斯库放我走了。

问：您从德拉古列斯库那里收到了哪些任务？

答：这次我没有接到德拉古列斯库的任何任务，但是一个月后，也就是2月底，当德拉古列斯库再次来到萨夫兰时，在与我会面时，他指示查清楚，随着红军攻势的成功，当地居民之间正在进行什么样的与此相关的议论，萨夫兰的哪些居民想要避免撤离并等待苏军的到来。

在那之后，我再也没有见过德拉古列斯库，罗马尼亚人从萨夫兰撤离的工作很快就开始了。

问：您是否也与罗马尼亚人一起从萨夫兰撤离？

答：我被迫离开萨夫兰，因为宪兵强迫我离开。

还是在萨夫兰时，我就试图避免疏散，说因为交通不便我不能离开。然后，在宪兵队长的命令下，我得到了一辆马车和三匹马，之后我无法拒绝行程。

然而，在途中，我故意落后于宪兵，前往我姑姑A·K·库纠玛的居住地别斯恰内村，留在那里等待红军部队的到来。

问：这不是真的。您被德拉古列斯库故意留在红军解放的领土上。

您从他那里接到了什么任务？

答：我主动留在别斯恰内村等待红军的到来，没有接到德拉古列斯库的任何任务。

问：您之前供述了您的姑姑A·K·库纠玛在蒂拉斯波尔被德国和罗马尼亚官员审问的情况，但您隐瞒了她的犯罪联系。说说吧。

答：正如我已经表明的那样，1942年11月在蒂拉斯波尔的集中营时，我在审讯中承认我是C·K·铁木辛哥的侄子，并供认说他的妹妹A·K·库纠玛和我一起在集中营里。

此后，库纠玛被德国和罗马尼亚官员审问了两次。

从库纠玛的话中，我知道在审讯中她被详细询问了铁木辛哥元帅的情况，但她提供了关于他的什么证词，她没有告诉我。

我姑姑A·K·库纠玛和我一样，从集中营获释，被派往执政官办公室工作，随后没有受到罗马尼亚当局的镇压，这一事实让我们有理由相信，也许她也被罗马尼亚人招募，但我不清楚这一点。

问：您试图保护库纠玛并且对德拉古列斯库给您的任务保持沉默。就这些问题您将被详细审问。

我的供述被准确记录，我阅读了笔录。

铁木辛哥

审讯人：

“施密尔舒”总局副处长、中校别洛乌索夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.256.Л.77—93.原稿，机打。

注释：

1940 年 7 月（此处有误，应为 1944 年，原文如此——译注），А·П·铁木辛哥被特别会议决定以叛国罪判处 10 年监禁，1954 年 11 月释放。

258

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于加强波兰反间谍机构的特别报告

（1944 年 10 月 17 日）

编号 1100/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志：

在此呈送谢罗夫同志从卢布林发来的报告。

为了加强波兰部队的反间谍工作，阿巴库莫夫同志将派遣 100 名“施密尔舒”工作人员。

在内务人民委员部、国家安全人民委员部方面，我们正派遣 15 名同志向波兰国家安全机关提供援助。

阿巴库莫夫同志——在“施密尔舒”这方面和谢罗夫同志——在当地，将向波兰军队反间谍局及其负责人克茹什科同志提供必要的协助。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

来自卢布林

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

为安排作战军事措施，按照您的指示，我们在各县的工作中组织了：特工、调查、定位搜索和作战军事小组。同时安排了合格可靠的工作人员用以在工作中联系并协助波兰民族解放委员会安全处。

在现场了解波兰军队的反情报机构和波兰民族解放委员会安全处与“家乡军”的叛乱部队的斗争的组织情况如下：

1.波兰军队的反情报机构数量很少（504 个在编人员），作战人员素质不够。在大多数团中，没有按照要求配置 4 名特工，最多只有 1 名特工，而且不会说波兰语，这使得进行卧底工作变得困难。这种情况导致的结果是波兰军队的单位和编队在作战方面表现不佳，因为我们不了解渗透到波兰军队队伍中的敌对分子的所有意图。

波兰军队反间谍局的工作也受到以下事实的负面影响(根据反间谍局局长克茹什科同志所说)，没有人在莫斯科指挥他们，也没有帮助他们的工作。克茹什科同志本人用他所受过的契卡训练，无法胜任分配给他的职责。

为了防止波兰军队出现进一步大规模逃兵现象，有必要加强反间谍机构。

2.在“家乡军”解除武装后，后者的士兵在未经充分甄别的情况下被送往波兰军队，结果“家乡军”的领导层通过渗透他们的士兵和军士进行敌对鼓动，要求对军队现有秩序采取行动，并组织将波兰军队的士兵大规模转移到“家乡军”的营地。

事实证明，在过去的两个月里，每天有 40—50 名士兵和军官带着武器从波兰军队中逃跑。

在十月的 15 天里，约有 2000 人当了逃兵，但指挥部并未采取果断措施制止逃兵。

3.波兰民族解放委员会安全机构也很薄弱，因此“家乡军”分子最近加强了他们的活动。

根据我们掌握的远非完整的数据，卢布林有一个“家乡军”的武装组织，号称人数超过 1000 人，正在积极开展叛乱活动。

只需指出 10 月 15 日星期日在卢布林的“家乡军”分子在房屋的墙壁上写下了许多标语：“家乡军永存”“布尔将军万岁”等。

在各县，叛乱分子肆无忌惮地活动着，例如：

在克拉斯诺斯塔夫斯基县，“家乡军”第 3、7 团正在组建中。叛军袭击了县监狱，释放了 5 名被捕人员；

在霍尔姆斯克县有“家乡军”支队，人数超过 300 人。这些部队在各县进行了 10 多次武装袭击。15 名地方工作人员被打死，其中包括 4 名公安部门工作人员被杀，他们押送被捕者并释放了 4 名被捕人员；

在扎莫斯金斯基县，组建了第 9“家乡军”团和第 8“家乡军”突击团。在县里，叛军杀害了 11 人，其中 5 人是红军军人，12 人被逮捕，其中 6 人是现役“家乡军分子”；

一支多达 300 人的“家乡军”分遣队正在卢布林县开展行动。五名红军军人被谋杀；

在弗拉达夫斯基县，成立了一个“家乡军”支队，人数为 200 人。发生了 6 起谋杀警察的事件；

在比夫多拉斯基县，组建了“家乡军”机构，人数在 30—40 人之间；

克拉斯尼斯基县有两个“家乡军”支队，最多 100 人。叛军犯下了 5 起谋杀案，并释放了 10 名被捕者。

在其他县，也有土匪行径。

波兰民族解放委员会安全处在城市和乡村进行的特工业务工作都非常薄弱。处长拉特科维奇抱怨业务人员的不足，他们的资质低下。

此外，我相信在波兰民族解放委员会安全处的机构中，也有损害我们共同事业的“家乡军”分子。这方面的一个例子是以下事实：今年10月初安全处逮捕了“家乡军”分子比涅茨基——“家乡军”卢布林军区的反间谍负责人。事实证明，比涅茨基曾两次被波兰民族解放委员会安全处反间谍负责人拉姆科夫斯基审问，而且还被调查员审问了24小时。之后，比涅茨基在没有判决的情况下被枪杀。当我问拉特科维奇和拉姆科夫斯基时，比涅茨基（他对“家乡军”的叛乱活动有很多了解）做了什么供述，拉特克维奇说比涅茨基没有提供任何证据，也没有承认任何事情，所以他们决定枪毙他。

正如我们所确定的，比涅茨基被卢布林市被捕的“家乡军”指挥官科米茨和其他一些被捕者所知，他们有可能与他们进行对质并揭发比涅茨基。这次处决让我们有理由假设安全部门的某个人害怕比涅茨基的证词，准备处决他。

4.鉴于截至10月15日，“施密尔舒”小组逮捕的人已入狱2—3周，证词大多陈旧，今天我们将逮捕已证实为“家乡军”卢布林第五区指挥官阿利亚马。此外，我们提走了4名来自保安部的被捕人士以进行更彻底的审讯并查明他们在该市的关系。

今天正在与各县的业务工作人员举行会议，以开始在县工作。还就这些问题向方面军的“施密尔舒”反间谍局局长发出了指示。

5.昨天，10月15日，在热舒夫斯基地区，一个与伦敦和塔兰托（意大利）合作的波兰无线电电台被缴获。被捕者：无线电操作员马可夫斯基以及助手帕里斯和霍多尔。正在进行调查。

从一名从华沙省来到卢布林的消息人士那里收到特工情报显示，在德军占领的波兰领土上组织了以博尔特诺夫斯基将军为首的波兰政府。与此相关的是，德国人从集中营中释放了所有波兰人。波兰国旗悬挂在城市中。

今晚，18名军士和1名初级军官（上尉）从波兰第一预备役团（驻扎在卢布林以西2公里处）逃跑。现正有组织地搜寻和抓捕这群逃兵。

在10月12日夜间逃跑的波兰第31团的1400人中，内务人民委员部部队昨天在清理森林时拘留并解除了31名士兵的武装，其中包括波兰第33团的22名士兵，波兰军队参谋部的逃兵情况未知。根据第33团士兵的证词，与他们一起开小差的共有40人。我们已经安排了对其余逃兵的通缉。

今天下午，安全处逮捕了代号“努尔特”的“家乡军”卢布林军区指挥官督察爱德华·亚辛

斯基。我们正在进行调查，以查明和逮捕“家乡军”卢布林军区的领导人。

6.为了对波兰军队和各县的“家乡军”叛乱组织造成决定性打击，我认为宜采取以下措施：

a）有必要加强波兰军队的反间谍机构，为其配置有编制的岗位，为此，至少需要派遣 500 名“施密尔舒”业务人员；

b）解除所有现在波兰军队中的前“家乡军”分子的武装，并将他们关押在特殊营地。各区被拘留的“家乡军”分子也应被送到集中营；

c）派遣 15 名内务人民委员部、国家安全人民委员部有能力的工作人员到这里为波兰民族解放委员会安全处打击叛乱分子的工作提供实际帮助。

请您指示

苏联副内务人民委员——谢罗夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.67.Л.1—6.副本，机打。

注释：

将内务人民委员部和国家安全人民委员部的工作人员派往苏联势力范围内的东欧国家的做法，从波兰开始，在 1940—1950 年代得到进一步发展。1945 年 9 月，苏联国家安全人民委员部的三名工作人员被派往保加利亚内务部担任教官（ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.98.Л.387.）。

259

B·C·阿巴库莫夫致И·B·斯大林和B·M·莫洛托夫关于英国情报机构“特工”П·M·古谢夫的特别报告附审讯笔录

（1944 年 10 月 18 日）

编号 566/A

绝密

国防委员会

И·B·斯大林同志、

B·M·莫洛托夫同志：

在此呈送对被捕的英国情报机构特务П·M·古谢夫的审讯记录，他曾是苏联驻瑞典武官的秘书——今年 10 月 1 号已经通过编号 547/A文件向您报告过相关情况。

应特别注意古谢夫的供述，即苏联驻瑞典大使馆的雇员中存在外国人——瑞典人、挪威人和德国人，他们大部分构成了柯伦泰大使的亲密圈子，并受到她的庇护。

古谢夫还供述说，在这些人中，他认识瑞典警方的一名特工，以及一些在大使馆工作的其他外国人，显然是由瑞典警方或德国情报机构为间谍目的而安插的。

——阿巴库莫夫

审讯笔录

被捕的彼得·米哈伊洛维奇·古谢夫

（1944 年 10 月 18 日）

П·M·古谢夫，1907 年出生，俄罗斯族，列宁格勒人，苏联公民，前联共（布）党员，受过高等教育，1939 年毕业于伏龙芝军事学院，前苏联驻斯德哥尔摩（瑞典）武官秘书，红军少校。

问：今年 9 月 30 日讯问时。您供认说您是英国情报部门的特工，但您没有说出您所有的间谍关系。说说吧。

答：在上次审讯中，我供述了 1943 年 7 月我在瑞典担任苏联武官秘书时，被英国情报部

门招募从事反苏间谍活动，同时转交给英国情报部门军官赫宁森和罗伯特提供了同我有联系的特工，以及为了军事使命准备派遣到挪威的苏联特工的信息。

1944 年 3 月，我将新来的苏联武官机构工作人员的特征提供给了英国情报部门。

我之前已经就我犯下的罪行以及与我有关联的英国间谍提供了详尽的供词，我无话可说，但我必须声明，在苏联驻斯德哥尔摩大使馆有一名工作人员，是瑞典警察的特工。

问：说出这名工作人员的姓氏

答：韦斯特雷姆是瑞典公民，民族为瑞典人，是苏联大使亚历山德拉·米哈伊洛芙娜·柯伦泰的私人司机。

问：您怎么知道韦斯特雷姆与瑞典警方合作？

答：1943 年 8 月，斯德哥尔摩的瑞典警察逮捕了苏联特工——当地居民米哈伊尔·卡茨和他的儿子雷纳特·卡茨，他们通过他们的电台与红军情报总局保持直接联系。

为了了解他们被捕的情况，我会见了米哈伊尔·卡茨的妻子。在一次谈话中，她说审判结束后她与丈夫会面，后者要转交给我一本书。

我意识到这本书交给我是有目的的，回到大使馆后，我开始与武官尼基图什夫上校和他的助手彭尤金中校一起研究。通过放大镜，我们能够注意到一些字母标有圆点。

依次阅读这些字母后，我们了解到，在瑞典国家电报电台、总参谋部和警察追踪到他与莫斯科联系的电台信号后，卡茨被瑞典人逮捕了。

卡茨还警告说，在他的案件的审判中，他了解到在苏联大使馆担任司机的瑞典人是瑞典警察的特务，他报告了他——卡茨访问大使馆的情况。

虽然卡茨没有指明司机的名字，但很明显他的信息指的是韦斯特雷姆，司机中唯一的瑞典人。所有其他司机都是俄罗斯人。

问：韦斯特雷姆被大使馆开除了？

答：不，当我于 1944 年 6 月 15 日离开斯德哥尔摩前往莫斯科时，韦斯特雷姆继续担任大使的司机。

需要说明的是，韦斯特雷姆得到了柯伦泰的支持，可以自由进入使馆大楼，我经常可以在使馆和军事使团的顾问、秘书和其他雇员办公室门口看到他。

收到卡茨的消息后，我意识到韦斯特雷姆这样做并非偶然，而是在瑞典警方的指示下，对苏联大使馆的工作人员进行监视。

除了韦斯特雷姆，还有其他外国人在大使馆工作，他们显然是瑞典警方或德国情报机构为

了间谍目的而安排的。

问：您说是什么样的外国人？

答：直到最近，仍有几名瑞典人、挪威人甚至德国人在苏联驻斯德哥尔摩大使馆工作。

这些外国人构成了柯伦泰的个人朋友圈，享受她的庇护，尽管所有这些人不能令人信任，但他们已经在大使馆工作了几年。

大使馆工作人员想知道为什么柯伦泰周围都是外国人，特别是为什么她信任德国人。

比如大使的保姆是德国女人艾玛·达柏尔特，她享受柯伦泰的特别庇护，可以出入她的办公室，几乎一直陪在她身边。达伯尔特与柯伦泰一起前往在索尔切巴登（斯德哥尔摩郊外），在那里，帕斯基维在其中一家酒店与柯伦泰会面，讨论了苏联和芬兰之间的停战问题。

柯伦泰的贴身仆人是挪威女人兰特·拉维克，长期居住在大使馆，享有在整个建筑内自由行走的权利，并有机会观察每一个访问苏联大使馆和武官处的人。通常可以在 2 楼和 4 楼看到她，那里是军事和海军武官处、密码室以及大使公寓所在的地方。

通过观察这个仆人的行为，我已经形成了一个明确的观点，即兰特·拉维克在某人的指示下正在监视使馆工作人员。

直到 1943 年底，一位瑞典女人（我不记得她的姓氏）担任大使馆清洁工，她应该在开始工作前打扫房屋，但每天白天都可以在大楼里见到她。

一个同样可疑的人是瑞典人布兰廷，他在大使馆担任律师。

问：您对布兰廷了解多少？

答：在大使馆，所有员工都知道布兰廷是瑞典社会民主党的成员，该党在整个战争期间对苏联持敌对立场，并预言俄罗斯将在与德国的战争中战败。

布兰廷是该党的活跃成员，并没有在大使馆处理任何法律问题，尽管他的月薪为 500 克朗。

1942 年底，柯伦泰亲自给了他唯一的任务——解决斯德哥尔摩的一位房主和他的房客——大使馆雇员之间发生的冲突。布兰廷未能完成委托给他的任务，使馆雇员被示威性地驱逐出他住的公寓。

大使馆的一名工作人员舍金不止一次对布兰廷在大使馆的逗留感到惊讶，并告诉我：“大使为什么要付给这样一个坏蛋很多钱？如果大使馆需要律师，她为什么不想从苏联邀请一个。”

我个人看到外国人如何聚集在柯伦泰周围，得出的结论是，她更信任德国和瑞典的专家而不是俄罗斯人。柯伦泰已经在瑞典生活了 14 年，并且在很大程度上脱离了苏联的现实。

问：您有什么理由这么说？

答：我会举一些具体的例子。1942 年，“国际旅行社”斯德哥尔摩分社的负责人西多连科的妻子从苏联来找她，她是一位专门研究儿童疾病的医生。

得知此事后，许多使馆工作人员的妻子开始向她寻求建议，并邀请孩子接受治疗。妇女们说，去看她们的家庭医生更方便。柯伦泰知道这一点后，她打电话给西多连科，正如他后来告诉我的那样，斥责他允许他的妻子行医，说瑞典医生比俄罗斯人更好、更有经验，因此有必要使用他们的服务。

当西多连科表示，这是孩子们的母亲自己要求的时候，柯伦泰禁止西多连科的妻子接诊。

无非是柯伦泰对外国人的特别信任，这就解释了这样一个事实：在 1942 年在大使馆的幼儿园里，一名德国妇女担任教师，一名德国人教使馆工作人员的德语，甚至在一个员工妻子组成的唱歌圈子里，领队的也是德国人。

1943 年 11 月 7 日，合唱团举行音乐会时，在场的工作人员及其家属对在对德战争期间，一名德国人在苏联驻斯德哥尔摩大使馆教苏联公民唱歌感到愤怒。而且，据我所知，这个德国人是德国军队的一名军官。

问：这个德国人姓什么？

答：他的姓氏是施特姆贝尔。

问：您怎么知道施特姆贝尔是德国军队的一名军官？

答：武官助理佩纽金告诉了我这件事，然后他提请我注意施特姆贝尔继续留在斯德哥尔摩的事实，尽管事实上大多数德国人因动员入伍而离开瑞典前往德国。

应该指出的是，武官尼基图舍夫上校在同一个施特姆贝尔那上德语课。

另一位德语老师，是一位名叫赫尔塔的德国人，我不记得她的姓氏了，她给临时代办谢苗诺夫、顾问维特罗夫和司机特罗茨基授课。她和施特姆贝尔一样，受到大使的青睐，大使将她推荐给所有打算学习德语的人。

赫尔塔于 1942 年受柯伦泰的指示，担任幼儿园老师。

它提请注意这样一个事实，即赫尔塔的丈夫是德国人，他没有被应征入伍，虽然他到了应征年龄并且德国实行全国动员。

只因为这些德国人、挪威人和瑞典人享受柯伦泰的庇护，使得他们可以留在大使馆，其中一些人甚至因为他们的挑衅行为而被原谅。

比如，瑞典人斯托尔格在大使馆工作，他被列为新闻局的翻译。柯伦泰很了解他。1943 年 11 月 7 日，斯托尔格在未经许可的情况下将瑞典国家社会主义党的两名成员带到了苏联大

使馆的一个招待会上。

按塔斯社的员工——帕夫洛夫的话来说，斯托尔格带来的客人被他称为狂热的法西斯分子。

正式招待会结束后，大使馆里只剩下苏联公民，斯托格继续和他的法西斯朋友呆在一起，他不得不被要求离开。

考虑到这一点，在红军建军 25 周年之际，我没有给他发邀请函，但他不请自来地出现在招待会上，并再次由同他一起参加的法西斯朋友陪同。那一次，坐到晚上 10 点后，斯托尔格开始肆意破坏，不得不被大使馆开除。柯伦泰没有对这些事实做出反应。

我必须说，在大使馆举行的招待会上，还有其他一些人，表现并不比斯托尔格好。

在其他客人到来之前，白俄侨民波西伯爵夫人通常会出现在大使馆，她是柯伦泰的熟人，除了她之外，谁也不认识，她利用柯伦泰对她的好态度，让自己横行无忌。

另一个像波西一样的使馆访客是瑞典人尼尔森，她自称是医生，只在早餐和午餐期间拜访柯伦泰。

波西和尼尔森扮演着柯伦泰的追随者角色，她们知道大使馆发生的各种事情。

柯伦泰对外国人的喜爱在斯德哥尔摩是众所周知的，她在瑞典人中享有声望并非巧合。然而，在我看来，柯伦泰的这个声望不是作为苏联大使获得的，而是一种私人声望。

在这方面表现出的事实就是，以敌视苏联、打着“中立”为名组织援助德国人的瑞典外长君特，在柯伦泰生病期间多次私下拜访她。

此外，在我看来，大使馆的一些工作人员也不值得信任，因为他们被瑞典警方拘留了。

问：瑞典警方拘留了哪些大使馆雇员？

答：1944 年初，发生了两起瑞典警察拘留使馆工作人员的案件，其中一起和另一起拘留了参与使馆机要工作的人。

一个星期天，大使馆机要员苏罗金在大使馆俱乐部看了一场电影，在信使阿菲诺格诺夫处吃过午饭后，去城里散步。凌晨 2 点，苏罗金在两名警察的陪同下醉醺醺地返回使馆。

大使馆的所有员工不得不与我谈论这件事，都表示不应允许苏罗金使用密码，但是，在柯伦泰的指示下，他在这个岗位上又做了很长时间，并且然后被调到贸易使团。

也是在 1944 年初，在苏罗金事件发生后不久，大使馆的工作人员彼得洛夫和巴甫洛夫在一次乘车闲逛时被警察拘留，我不知道他们是如何被释放的。

这件事报告给了柯伦泰，但巴甫洛夫留在塔斯社工作，而彼得洛夫继续担任机要员。

我还必须交代，1940 年，当我到瑞典工作时，尼基图舍夫上校在介绍我工作时告诉我要

考虑到柯伦泰的性格特征，他认为她对所有员工都很友善，但同时倾向于对他们搬弄是非。尼基图舍夫说，她只善待了一些被认为是她最喜欢的员工。

在使馆工作 4 年多的时间里，我观察到一些工作人员如何完全不当地使用大使的特殊照顾。

1940 年，某个沃尔芬应其在大使馆做助理的妻子的要求，来到了安全信使的岗位上工作。

沃尔芬以不寻常的方式赢得了柯伦泰的喜爱。当得知柯伦泰在其 70 岁生日之际被授予劳动红旗勋章时，沃尔芬一大早在大使馆收集了所有花瓶中的鲜花，并在柯伦泰还在床上时将它们赠送给她并亲吻她的手。

从那时起，正如尼基图舍夫上校告诉我的那样，柯伦泰认为信使沃尔芬是大使馆中最有文化和教养的人。

沃尔芬趁着柯伦泰宠儿的名声，开始调侃一些有责任心的工作人员，尤其是冷嘲热讽了顾问塞梅诺夫。尼基图舍夫上校警告了他一句，沃尔芬便恶语相向。

与大使关系密切的沃尔芬同时与可疑人士有联系。

问：到底是和谁？

答：在斯德哥尔摩的维拉加登街上大使馆旁边的房子里，住着一位白俄侨民，我不知道她的姓氏。我们之所以关注她，是因为她一直在窗前，看着大使馆的出口。从使馆二楼的窗户可以看出，这名女子虽然假装忙着织毛衣，但时不时看向使馆的门，放下工作，拿起铅笔。并做了一些笔记。

一天晚上，应安全信使库德里亚夫采夫的邀请，我从窗户向那个白俄侨民居住的房间望去，看到了坐在桌旁的沃尔芬。

问：沃尔芬现在在哪里？

答：1944 年 8 月，在莫斯科，我遇到了情报总局第二科的高级助理斯塔罗斯金少校，他在瑞典呆了一段时间，认识大使馆的工作人员。

斯塔罗斯金告诉我，沃尔芬在红军外语学院找到了一份斯堪的纳维亚语教师的工作。我们都对此感到惊讶，因为我们知道沃尔芬的瑞典语不太流利。

另一个与柯伦泰关系密切的是某个卡班科夫，他是机要室的负责人。卡班科夫在使馆工作人员中因酒鬼而声名狼藉。

在与我的谈话中，大使馆的秘书格拉乌尔说卡班科夫不能被免职——这是柯伦泰禁止的。

斯德哥尔摩居民安娜·伊万诺芙娜·彼得洛娃是柯伦泰的密友，她在大使馆接待她。

尼基图舍夫上校曾告诉我，彼得洛娃非常可疑，她有可能被瑞典警方招募。我不知道尼基

图舍夫有什么关于彼得洛娃的事实。

笔录正确记录了我的话语，我已通篇阅读。

古谢夫

审讯人：

“施密尔舒”总局调查处科长、少校索科洛夫

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.256.Л.97—108.原稿，机打。

注释：

古谢夫为英国情报部门工作的指控被证明是假的，他随后得到了平反。

260

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于向比亚韦斯托克派遣В·С·阿巴库莫夫、Л·Ф·察纳瓦和克里文科的特别报告

（1944 年 10 月 29 日）

编号 1161/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

根据波诺马连科同志电报中您的指示，阿巴库莫夫同志和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员察纳瓦同志带着国防委员会“施密尔舒”和白俄罗斯苏维埃社会主义共和国国家安全人民委员部领导小组被派往比亚韦斯托克以实施必要的措施。

为了使阿巴库莫夫和察纳瓦同志实施的措施得到保证，内务人民委员部部队的 2 个团被调到比亚韦斯托克。

部队将在 1944 年 10 月 31 日结束前就位。

至此，内务人民委员部部队的 3 个团共 4500 人将集中在比亚韦斯托克。

领导比亚韦斯托克的内务人民委员部部队的是苏联内务人民委员部少将В·克里文科。

所有被派遣的同志都得到了指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.67.Л.83а.副本，机打。

261

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫的特别报告

附В·С·阿巴库莫夫和Л·Ф·察纳瓦关于同家乡军斗争的报告备忘录

（1944 年 11 月 9 日）

编号 1207/б

绝密

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Г·М·马林科夫同志：

在此呈送身处比亚韦斯托克的阿巴库莫夫同志和察纳瓦同志的进一步的信息。

截至 11 月 8 日，1,200 名家乡军和其他地下组织的积极参与者在比亚韦斯托克省和比亚洛—波德拉斯基县被捕。

一些家乡军的积极参与者被捕，他们在波兰政府机构担任各种职务。

在维索克—马佐维茨基县，一个与伦敦保持联系的家乡军比亚韦斯托克参谋部的电台被查获和捣毁。电台全体工作人员被捕。

正在逮捕针对重新安置苏联乌克兰人和白俄罗斯人工作进行颠覆活动的人。

11 月 3 日，位于比亚韦斯托克市的波兰第 2 集团军第 9 师有 31 人携带武器离开。追逃期间击毙了 19 人，其余人正在通缉中。

对保卫红军仓库的指战员所携带的弹药、燃料和润滑材料进行了检查。

由于工作上的无所作为以及未能在比亚韦斯托克市履行指挥员的职责，方面军军事委员会解除了比亚韦斯托克军事指挥员萨佩尔科少校的职务。取代他担任城市指挥员职务的是里亚季科夫中校。

从被捕的家乡军和其他地下组织成员处缴获：机枪 95 支、步枪和冲锋枪 1232 支、无线电台和无线电接收装置 24 部，以及手榴弹、地雷、子弹和炸药。

阿巴库莫夫同志奉命仔细核查向红军指战员购买武器的案件，并报告结果。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

苏联内务人民委员部

Л·П·贝利亚同志：

在此报告，截至今年 11 月 8 日，在比亚韦斯托克省和比亚洛—波德拉斯基县，“家乡军”的活跃成员和其他地下组织成员——1200 人被捕，其中：今年 11 月 8 日上午有 1030 人被捕。由第 84176 号特殊军列押送至内务人民委员部的奥斯塔什科夫斯基集中营。

被捕者中的家乡军积极参与者：

“家乡军”比亚韦斯托克督察、代号“弗兰克”的前波兰陆军少尉拉夫里什，他也是“ПН”（独立的波兰——原文处波兰语俄语转写——译注）比亚韦斯托克军区的指挥官，负责“家乡军”的三道环形防御线，在试图向红军指战员购买武器时被捕；

由伦敦流亡政府任命的比亚韦斯托克市政厅的土地事务官、前波兰军队的上尉——科辛斯基，代号“水星”。从红军指战员那里买了武器；

“家乡军”比亚韦斯托克军区情报反间谍局副局长巴斯塔奇，代号“维尔瓦”，与一个特务团伙有联系，其中人一些被我们逮捕；

布列斯特市“家乡军”环形防线指挥官——代号“鲍勃”的卡扎科维奇，曾在“家乡军”中积极工作；

地下组织“ПОВ”（人民军队组织）的比亚韦斯托克军区的副指挥官——切尔诺戈尔斯基，代号“列特”，波兰人；

“家乡军”赞布罗夫斯基环形防线的宣传负责人——Я·В·扎兰斯基代号“奥戈罗德尼克”，波兰人；

比亚韦斯托克市“家乡军”的破坏和恐怖小组（所谓的КЕДИВ——破坏者指挥部）的指挥官В·С·斯捷茨基，代号“黑鹰”，前“ПОВ”成员；

罗姆任斯基县赞布罗沃市地下组织“ПН”（独立的波兰）区司令——斯坦尼斯拉夫·塔尔诺夫斯基，代号“山猫”；

从华沙抵达赞布罗沃市组织地下工作和建立通讯的“家乡军”的联系人——斯克热克泽农。逮捕他时，从他身上没收了 100 份非法报纸《泽龙布》（波兰地名——译注）、105 份家乡军传单、一把左轮手枪和 3 颗手榴弹；

ВСК（科韦塔部队勤务）比亚韦斯托克环形防线指挥官雷巴尔奇克·阿涅利，代号“亚历

山德拉”和她的继任者卡金斯卡娅，她们负责通信勤务并为“家乡军”的参加者制作伪造文件。逮捕时没收了她们的非法报纸；

地下组织“波兰反抗军”的活跃成员克罗列夫斯基，代号“克鲁克”，从红军购买武器。在他被捕时，没收了一把“纳甘”左轮手枪、两枚手榴弹和 36 发子弹；

比亚洛—波德拉斯基县积极活动的“家乡军”招募员B·C·克农，波兰人。他创建了一个由 200 人组成的“ПЗП”（波兰反抗军）组织；

比亚洛—波德拉斯基县区指挥官、前波兰军队少尉Б·П·赫维德丘克；

“家乡军”的积极参加者利特科夫斯基和普谢洛姆斯基，根据他们的供述，发现了一个武器仓库，在那里缴获了 13 支步枪、6 枚手榴弹、一箱子弹、一箱药品和其他军事物资；

以团伙头目克洛索夫斯基为首的 10 人的“家乡军”团伙在安全屋被捕。在搜查过程中，没收了非法文献（传单和报纸）；

在比亚韦斯托克县的苏珀拉斯尔镇，“家乡军”的 6 名成员被逮捕，其中的领导人是连长C·K·彼得洛夫斯基，波兰人；

在比亚韦斯托克省的瓦西尔科沃镇，“家乡军”成员马图什夫斯基、齐里克和科廷斯基被逮捕，他们分发了他们从华沙收到的非法文献，并呼吁“家乡军”成员积极武装斗争，反对民族解放委员会。

作为采取了卧底行动的成果，在比亚韦斯托克省维索克—马佐维茨基县的弗朗基—皮亚斯基村发现了“家乡军”比亚韦斯托克军区参谋部的无线电接收和发射站，该部通过它与伦敦波兰流亡政府保持沟通。

今年 11 月 7 日在电台运作时，其所有人员都被逮捕，无线电收发器和电台日记被没收。

被捕者包括无线电报接线员库切尔·维托尔德，又名莫伊撒·斯坦尼斯拉夫，代号“斯摩拉”，以及电台工作人员弗兰科夫斯基、亚马茨科夫斯卡娅、普里斯、卡利诺夫斯基、苏宾斯基和扎姆热茨基。

根据库切尔今年 11 月 8 日的证词。逮捕了：

“家乡军”比亚韦斯托克军区作战通讯主管诺瓦克，代号“亚尼娜”，前波兰军队上尉，于 1941 年初乘降落伞降落到比亚韦斯托克州境内，从事反苏颠覆工作；

代号“马尔佳—札特卡”的“家乡军”比亚韦斯托克军区联络官米娅杜舍夫斯卡娅；

“家乡军”比亚韦斯托克区的安全屋看守和联络员、莫西齐茨卡村村长切斯拉夫·戈洛舍夫斯基和“家乡军”比亚韦斯托克军区参谋部联络官柴可夫斯卡娅。

此外，一些“家乡军”的积极参加者被捕，他们在波兰政府和其他机构担任各种职务：

什多罗夫斯基，“家乡军”连长，他窃据了科内申斯基乡警长的职位，安排了一些“家乡军”成员在警察中服役，包括他的兄弟。

什多罗夫斯基兄弟都是盖世太保的特务。在逮捕时，他们的武器被没收；

别库恩科，克雷恩科夫斯基乡乡长、“家乡军”的连长。逮捕时缴获武器和非法文献；

里斯茨基和则涅维奇，伦敦流亡政府比亚韦斯托克省安全部队的代表和联络员，他们潜入比亚韦斯托克省安全部门内部监狱中充当警卫，在那里建立被捕者与在逃“家乡军”成员之间的联系。

B·A·克拉耶夫斯基，贝尔斯基县博特金乡的警官。在被捕时，他武力拒捕，并因此受伤；

A·A·谢特钦斯卡娅，贝尔斯基县博特金乡乡长的工作人员，“家乡军”妇女部，即所谓的“科韦塔部队”成员。

以下是从被捕的“家乡军”和其他地下组织成员中查获的：

迫击炮——9 门

机枪——95 挺

冲锋枪、步枪和手枪——1232 支

手榴弹和地雷——1240 枚

子弹——94100 发

电台——9 部

无线电接收装置——15 部

炸药——74 公斤

我们已向当地所有行动小组发出指示，以查明试图破坏重新安置的犯罪分子并逮捕他们。我们已经剔除了个别针对安置运动进行破坏的人。

在各县工作的每个移民安置委员会都配备了数量为 5 名内务人民委员部士兵的警卫。

由于工作上的无所作为以及未能在比亚韦斯托克市履行指挥员的职责、酗酒和与可疑的波兰籍人士交流，在我们的提议下，白俄罗斯第二方面军军事委员会免去了该市少校军事指挥员萨佩尔科的职务，取代他担任城市指挥员职务的是里亚季科夫中校。

白俄罗斯第二方面军的“施密尔舒”机构与司令部部一起对波兰境内的人员、弹药、燃料和润滑油仓库进行了检查。

结果，185 名玩忽职守的人被查处并被开除。

今年 11 月 3 日，来驻扎于比亚韦斯托克的波兰第 2 集团军第 9 师的 31 人带着武器离开。在对逃兵的有组织追击下，19 人在格罗德诺市地区越过边境后被击毙，部分人被捕，其余的被通缉。

今年 11 月 6 日至 7 日晚上。对居住在比亚韦斯托克市的人的证件进行了彻底核查，结果逮捕了 41 参加“家乡军”的人和一名其他犯罪分子。

我们正在继续采取进一步行动，以抓获“家乡军”的成员、波兰地下组织和德国军事情报机构的特工。

我们暂定今年的 11 月 11 日，将第二军列梯队押送到奥斯塔什科夫斯基内务人民委员部集中营。

结果之后上报。

——阿巴库莫夫

察纳瓦

已被“高频电台”接收

1944 年 11 月 8 日

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.67.Л.301—308.副本，机打。

262

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林В·М·莫洛托夫、А·И·安东诺夫关于非法解除红军兵役的事实的特别报告

（1944 年 11 月 18 日）

编号 1237/б

绝密

副本

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

红军总参谋部——А·И·安东诺夫同志：

内务人民委员部机构破获了区兵役局和负责兵役检查的军医委员会工作人员非法解除红军兵役的案件。

今年 10 月 10 日内务人民委员部伏罗希洛夫格勒州局逮捕了伏罗希洛夫格勒市兵役局的 5 名工作人员——第一室主任贝科夫、他的副手斯莫利亚尼诺夫、办事员多赫诺、守备部队军医委员会委员阿捷耶夫和委员会的秘书科奇涅夫。

这些人给那些应服兵役的人伪造病假证明，免除他们在红军全部或长时间的服役，为此收受两千至一万卢布的贿赂。

经侦查发现，13 名红军逃兵和逃避兵役人员是由犯罪分子提供了虚假证件。

15 人在此案中被捕。

此案已移交给军事检察官，有罪者将被提交军事法庭。

10 月，内务人民委员部撒马尔罕州局查处了希阿布区兵役局的一批工作人员，他们向那些逃避动员的人发放虚假的不适合服兵役证明以收取贿赂。

此类证明颁发给逃避兵役者亚德加罗夫、阿兰巴耶夫、萨菲耶夫等人。

在此案中逮捕：希阿布区兵役局局长彼得连科、第 2 室主任斯佩希夫采夫和书记员加布里埃罗夫。

案件的调查仍在继续。

今年 9 月，斯塔夫罗波尔边疆区的内务人民委员部查处了一批莫洛托夫区兵役局的工作人员和医务人员，他们解除了应在红军中服役人员的兵役以收取贿赂。

在此案中逮捕：莫洛托夫区兵役局局长施巴科夫；兵役局第 1 室主任平京；莫洛托夫区卫生处门诊部负责人、军医委员会委员扎沃龙科夫；医疗站负责人卡尔边科和无特定职业者齐甘科夫。

现已查明施巴科夫和平京非法解除了 13 人的兵役并从 27 人的应征者名单中将他们删除。

9 月，内务人民委员部西哈萨克斯坦州局破获了卡拉纠宾斯克州兵役局局长哈桑诺夫的犯罪活动。

现已查明，哈萨诺夫帮助休假期间充当逃兵的军人以收取贿赂。

为了大量的食物，他安排到休假者穆卡托夫到区兵役局干总务，而后者本应该出现在他的部队里。

该案已移交检察机关。

今年 7 月 27 日在莫斯科州的扎戈尔斯克区，布特金因逃避红军服役而被捕。

经查明，布特金在逃避服役时得到了扎戈尔斯克市兵役局第 2 室主任米罗诺夫和高级指导员雅科夫列夫的协助，并贿赂了他们。

米罗诺夫和雅科夫列夫被捕。

7 月，莫洛托夫州恰斯金斯基区代理兵役局长什福林被捕。

什福林因收取贿赂解除了如下应征者的红军兵役——食堂管理全权托拉斯的切尔内舍夫和集体农户戈尔多宾和卢金。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.67.Л.366—368.副本，机打。

263

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部关于消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）武装团伙行动结果的报告

（1944 年 11 月 29 日）

编号 1283/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

呈送一份乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部关于在斯坦尼斯拉夫斯克、罗夫诺和捷尔诺波尔州消灭大股乌克兰民族主义者组织（ОУН）团伙的契卡作战行动结果的报告副本。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

发送自利沃夫

莫斯科，苏联内务人民委员部——Л·П·贝利亚同志：

1.今年 11 月 27 日内务人民委员部州局的工作组和一个由 220 名前游击队员组成的民警支队在捷尔诺波尔州扎列西耶–帕坎诺夫策–扎罗泽村之间的三角地带追上并包围了在今年 11 月 17 日被击败的阿塔曼（哥萨克军事指挥官的称呼，此处是“乌克兰起义军”军事单位头目的称呼——译注）“罗曼”和“亚斯特雷布”哥萨克独立分队匪帮的残兵。战斗从 10 点开始，一直持续到 11 月 27 日 20 点结束。

行动的结果是：240 名土匪被击毙，其中包括在“罗曼”和“亚斯特雷布”被残匪联合推举的新的哥萨克独立分队队长阿塔曼。他身着红军炮兵军官制服。在被击毙者中，还发现了保安局哥萨克独立分队指挥官“奥尔利克”的尸体。

缴获战利品：8 挺轻机枪、1 门营属迫击炮、500 枚地雷、2 个榴弹发射器、500 枚手榴弹、1 个反坦克步枪、153 支步枪、30,000 发步枪子弹、12 支手枪，俘获载有 55 件食物、制服、药品和手术器械的大车。

被击毙者中有许多哈萨克人、乌兹别克人和俄罗斯人。被击毙者的制服是多种多样的。许多人身着红军官兵的制服。

我们的损失：3 名士兵牺牲、6 人受伤。

乌克兰起义军（УПА）哥萨克独立分队被彻底消灭。

2.11 月 20 日至 23 日，据秘密情报，内务人民委员部罗夫诺州局反盗匪处与内务人民委员部内务部队第 24 旅的一个单位进行了一次军事行动，以消灭盘踞在罗夫诺州的米佐奇和杜布诺夫斯基区的境内的什罗科夫破坏和恐怖主义团伙。

行动的结果是：打死了 25 名土匪，俘虏了 50 人，其中包括代号为“祖科维涅茨”的上区（乌克兰起义军战区划分单位——译注）安全部门通讯头目、安全局上区线人“费多尔”；米佐奇区下区（乌克兰起义军战区划分单位——译注）司令“赫姆尔内”；同一地区ОУН的政治顾问，代号“面包”，又名“瓦西里”，和ОУН组织问题顾问“罗曼”。

在被抓获的毙命土匪中，确认了以下人员：代号为“希罗基”的罗夫诺州颠覆组织的头目、代号为“普塔什卡”的野战宪兵队长、代号“泽连内”的ОУН的罗夫诺州联络组成员和州领袖、代号“莫罗坚科”的安全局下区司令，绰号“亚什卡”的米佐奇区大莫沙尼泽村自卫司令部指挥官以及代号“扎鲁波夫卡”的同村村民。

战利品缴获：轻机枪 1 挺、步枪 12 支、冲锋枪 2 挺、左轮手枪、手枪 3 支，炸毁地上的 80 个土匪掩体。

对被拘留者的案件正在调查中。

11 月 24 日 23 时许，200 多人的团伙袭击了斯坦尼斯拉夫斯基州的索洛维诺区中心。土匪放火烧毁了内务人民委员部区处处长的家，烧死了：内务人民委员部区处处长、警察上尉马岑科，他的妻子和三个孩子以及一名管理警察事务的副处长里亚布科夫。

土匪冲进内务人民委员部区处大楼，释放了 22 名被捕者。歼击营的战士约 90 人，还没有战斗，就四散逃跑。驻扎在大楼二楼的内务人民委员部区处高级特工格里申和三名作战人员进行了反击，击毙了两名土匪。当土匪撤退时，第 87 边防支队机动组追上了他们。

战斗中，打死土匪 66 人、俘虏 18 人。

战利品缴获：重机枪 1 挺、轻机枪 3 挺、步枪 13 支、突击步枪 2 支、手枪 3 支、手榴弹 10 枚、子弹 2000 发、收音机 1 台。弹药库被毁。

——乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员里亚斯诺伊

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.68.Л.20—23.副本，机打。

264

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于匈牙利情报部门活动的特别报告

（1944 年 12 月 1 日）

编号 1304/б

副本

绝密

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Г·М·马林科夫同志：

在乌日哥罗德市（捷克斯洛伐克）内务人民委员部乌克兰第 2 方面军后方保卫部队发现了匈牙利情报机构匈牙利军队总参谋部 2 处“Kinelgorito-Ostal”（“K 处”）的活动。

“K”处是第 8 军区的一部分，驻扎在科希策市，并从事外喀尔巴阡乌克兰的业务。

该处从事招募特工，将他们派往邻国，收集和处理情报材料，与苏联情报部门和游击队作战，以及在当地居民中进行特工活动的业务。

该处包括情报和反间谍部门。有一所学校训练被派往苏联的情报人员。

该处起初由奥什瓦特上校领导，他后来被任命为总参谋部第二处处长。在他之后，该部门由西利瓦什上校领导。

今年 11 月 3 日从“K”处的骨干和特工中逮捕了 4 人，他们都是匈牙利军队的前军官。

被捕者被转移到第 18 军“施密尔舒”反间谍处。

今年 11 月 13 日在凯奇凯梅特市（布达佩斯东南 80 公里）内务人民委员部乌克兰第 2 方面军后方保卫部队清理了由特务头子本德领导的匈牙利情报机构的反间谍站，本德出生于 1881 年，马扎尔人，1926 年毕业于警察学校。

总共有 9 人被捕，均为凯奇凯梅特市居民，民族为马扎尔人。

在审讯中，本德于今年 10 月供认。他被凯奇凯梅特市警察局副局长奥巴索上尉招募，并

留在该市，任务是建立一个特务网络，收集有关帮助红军和苏联情报机构的人员的信息，并将收集到的信息在匈牙利军队返回凯奇凯梅特市时交给奥巴索。本德成功招募了 8 名当地居民加入特务网络。

本德和他的 8 名特工被移交到第 27 集团军的“施密尔舒”反间谍处。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.68.Л.57—58.副本，机打。

265

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附乌克兰、白俄罗斯、立陶宛苏维埃社会主义共和国关于剿灭武装团伙行动的汇总报告

（1944 年 12 月 5 日）

编号 1313/б

绝密

副本

国防委员会

И·В·斯大林同志：

向您呈送乌克兰、白俄罗斯和立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部关于消灭乌克兰民族主义者组织（ОУН）和波兰白军匪帮的行动结果的报告副本。

苏联内务人民委员

Л·贝利亚

1944 年 12 月 5 日副本

由“高频电台”接收

发送自利沃夫

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

1.据内务人民委员部捷尔诺波尔州波特加里斯基区处卧底“斯拉瓦”提供的信息，我们了解到，在波特加里斯基区舒姆良内镇，在属于当地居民米哈伊尔·基普里亚诺维奇·帕纳斯的建筑物中，有一家正在运营的印刷厂。

为了查获并捣毁这家印刷厂，12 月 2 日晚上，内务人民委员部工作站及其所属的军事小组进行了一次行动。行动时，在夜色的掩护下，帕纳斯的庄园被包围了。紧接着，步枪和机关枪从帕纳斯的庄园一侧开火。

在冲突过程中，5 名土匪被打死，其中包括 М·К·帕纳斯。

战场上捡到：轻机枪 2 挺、步枪 5 支、冲锋枪 2 支、手榴弹 10 发、子弹 760 发。

在对帕纳斯的庄园进行彻底搜查后，在属于帕纳斯的棚屋中，发现了一家正在运营的印刷厂，里面包括有 2 台美国印刷机、一个带密码的完整的钱柜、一台切割机、14 个装有不同油漆的罐子、一台无线电接收器、一台照相机、19 个不同的印章和 3 罐燃油。

被发现并缴获的还有：174,000 份各种传单、64 份不同内容的ОУН反苏口号文本、156 页的捷尔诺波尔州的ОУН联络员档案、250 页的乌克兰起义军（УПА）指令文件夹、156 份带有УПА成员鉴定书的名单、49 张照片和 7 包相纸。

在各种手稿中，发现了 1943 年 8 月召开的ОУН第三次特别代表大会手稿。这份手稿上写着："印制 60,000 份"。这让人有理由相信，此前广泛分发的ОУН第三次特别代表大会的决议是在这家印刷厂印刷的。

2.在罗夫诺州，兹多尔布诺沃—杜布诺铁路段，11 月 15 日和 11 月 22 日发生了 2 起火车事故，11 月 27 日在同一地区的兹多尔布诺沃—奥热尼诺段发生了 3 起火车事故。所有的这些事故案件都是由放置在轨道下的地雷爆炸造成的。

通过采取措施查明，有一个匪帮在兹多尔布诺沃区活动，其头目是一个代号为"高加索"的人。这个匪帮包括一个由"尤尔科"领导的破坏小组。破坏小组的任务是炸毁火车、炸毁兹多尔布诺沃—杜布诺之间的路段上的桥梁。"尤尔科"小组的破坏行动被整个匪帮掩护。

11 月 12 日，该团伙对克尼亚辛宁镇的驻军发动袭击，以转移守卫斯图布拉河大桥的士兵的注意力，并企图届时炸毁这座桥。土匪的这个计划没有成功。

在进行卧底工作和军事侦察时，11 月 27 日，在齐尔库夫镇附近的森林中发现了"高加索"团伙。清理该团伙的行动于 11 月 27 日至 30 日进行。在第一次冲突中，该团伙试图摆脱部队并深入克列梅涅茨森林。为此，它分成了几股部队。这些小股部队被先后消灭。

行动的结果是，40 名土匪被打死，45 名土匪被活捉。缴获战利品：轻机枪 1 挺、步枪 16 支、冲锋枪 4 支、手枪 3 支、手榴弹 13 枚，从土匪处没收 TNT 炸药 200 公斤。

毙命者中确定了：团伙的头目"高加索"、百人队长指挥官"扎里佐"、破坏组织的头目"尤尔科"。在被活捉的人有：上区安全勤务司令官博古恩、下区安全勤务司令官西科尔斯基。正在进行调查。

——乌克兰苏维埃社会主义共和国内务人民委员部里亚斯诺伊

发送自明斯克

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

今年 12 月 3 日，按照制定的计划，在格罗德诺州利达区亚蒙蒂—斯托基镇一带，11 人的

“朗纳尔”匪帮被追上。

战斗的结果是，4 名土匪被打死，其中包括土匪头目“朗纳尔”和他的兄弟列内克。抓获 3 名土匪，包括重伤的土匪塔波塔，他很快就死了。

被杀死的“朗纳尔”被 5 名与他非常熟识的人确认了身份。

缴获战利品：1 挺机枪、1 挺冲锋枪、3 支步枪、2 支手枪、210 发子弹。此外，还从土匪身上缴获了 2 个圆形印章和具有作战意义的文件。

最近几天，在打击“朗纳尔”土匪的行动中，有 12 名土匪被击毙和抓获。我们继续追赶这帮人。

——白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部贝尔琴科

从维尔诺发出

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

今年 11 月 30 日至 12 月 2 日在潘涅维日县的列明格尔乡、比尔扎伊县斯维莱乡、乌克梅尔盖县的波杰里乡、罗克西斯基县的帕涅姆涅里斯乡，根据制定的计划，进行了消灭匪帮的契卡行动。

据县工作队负责人无线电报道，这四次行动打死了 89 名土匪和帮凶，逮捕了 205 人。

从匪徒那里缴获了：1 挺重机枪和 2 挺轻机枪、7 把冲锋枪、26 支步枪、3 支手枪、7 枚手榴弹、627 发子弹。

——特卡琴科

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.68.Л.68—72.副本，机打。

266

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于同白俄罗斯苏维埃社会主义共和国“反苏”秘密组织斗争的特别报告

（1944 年 12 月 12 日）

编号 1341/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

被派往白俄罗斯西部诸州的科布罗夫同志偕同白俄罗斯内务人民委员部和国家安全人民委员部的贝尔琴科同志和察纳瓦同志，报告了白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部、国家安全人民委员部在打击白俄罗斯西部诸州反苏地下和武装团伙方面所做的工作，以及在这些地区清除反苏分子的进一步措施。

截至今年 12 月 1 日，288 个反苏波兰和白俄罗斯组织被查处和清算。这些组织的 5069 名成员、700 名敌方情报机构的特工被逮捕，13 个德国情报站被捣毁。

抓获了 22 名并击毙了 11 名伦敦波兰流亡政府的使者，以及“家乡军”华沙和维尔诺的核心分子，这些人被派往白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部以组织波兰人针对苏维埃政权的武装斗争。

在消灭土匪集团的契卡军事行动中，打死土匪 800 人、拘捕逃兵 1543 人、拘捕逃避红军征召者 4.89 万人。

此外，在与乌克兰接壤的布列斯特、平斯克和波列西耶州，从乌克兰苏维埃社会主义共和国的罗夫诺和沃伦州逃窜来的 11 个乌克兰民族主义者组织（ОУН）土匪团伙被清除。当这些团伙被清除时，击毙 385 人，160 名ОУН土匪被活捉。

8 家波兰民族主义地下组织的广播电台和 6 家出版反苏文学的非法印刷厂被查获并取缔。

以下是在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州被清算的最典型的叛乱组织的简要信息。

今年 9 月，进行了一次契卡军事行动，其结果是在巴拉诺维奇州清理了负责白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部诸州的波兰白军地下组织“新格鲁德军区”总部。杀死 54 人、活捉 4 人。在被击毙者中，确定了一名代号为“科特维奇”的波兰军队中校，他在伦敦流亡政府的指示下，组织并领导了“新格鲁德军区”参谋部。

1943 年 7 月，德国反间谍机构创建了一个大型“朗纳尔”叛乱组织，名为“南方阵营”。该组织从德国反间谍部门那里获得武器和弹药，并在巴拉诺维奇和格罗德诺州与苏联游击队进行了积极的斗争。

在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国解放后，朗纳尔组织的 120 人加入了“家乡军”，对苏维埃政权进行武装斗争，进行破坏和恐怖活动，散发反苏传单，唆使波兰居民采取破坏苏维埃政权的措施。该组织由波兰陆军中尉切斯瓦夫·扎因茨科夫斯基领导，代号“朗纳尔”，与伦敦的波兰流亡政府有直接联系，并通过无线电接收后者关于颠覆活动的指示。

作为在不同时间进行的契卡军事行动的成果，“朗纳尔”团伙的 80 名成员被击毙和逮捕。

12 月 3 日，由于另一次追捕该团伙的行动，后者被彻底歼灭——“朗纳尔”本人被击毙，他的总部被捣毁。

在巴拉诺维奇州，分支广泛的波兰白军叛乱组织“波兰地下联盟”被清算。

红军解放白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州后，该组织在伦敦波兰流亡政府的指导下，有计划地进行破坏和恐怖活动，并准备武装暴乱。

该组织的 400 名成员在此案中被捕。

在巴拉诺维奇州和莫洛杰奇诺州，由德国情报机构创建的白俄罗斯民族主义组织“白俄罗斯自助”被清算。

该组织的 60 名成员被捕。

还是在这些州，同样由德国情报机构创建的法西斯青年组织“白俄罗斯青年联盟”被清算。

90 人在此案中被捕。

莫洛杰奇诺州，由德国情报机构创建的反苏组织“白俄罗斯独立党”被捣毁。该组织的成员进行了间谍活动和破坏—恐怖活动。

20 人在此案中被捕。

在清理反苏组织和土匪组织期间，缴获以下物品：机枪 219 挺、冲锋枪 297 支、迫击炮

20 门、反坦克枪 12 支、步枪和左轮手枪 7315 支、子弹 227,000 发。

尽管内务人民委员部、国家安全人民委员部采取措施消灭反苏地下组织，但在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州，特别是在波兰人口占主导地位的格罗德诺、巴拉诺维奇和莫洛杰奇诺，波兰反苏组织和匪帮的敌对活动仍然继续活跃。

根据现有的情报和调查材料以及缴获的文件，可以确定白俄罗斯西部各州的波兰民族主义地下组织是“家乡军”的一个组成部分，并通过华沙和维尔诺中心接受伦敦波兰流亡政府关于反苏工作的指示。

在占领白俄罗斯期间，为了从事反苏颠覆活动，德国情报机构创建了一些反苏的波兰和白俄罗斯地下组织。

为了消灭白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州的白俄罗斯和其他反苏组织和武装团伙并在这几个州清除反苏分子，苏联内务人民委员部、国家安全人民委员部正采取如下措施：

1.正在准备在同一时间进行契卡行动，以剔除反苏组织成员并消灭土匪集团。

2.从已被白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部、国家安全人民委员部登记在册的居住在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州的反苏分子当中，将逮捕德国的走狗、警察、地主、富农、涉嫌与敌人的间谍和讨伐机构有关联的人以及其他反苏分子。

这些人将被送往内务人民委员部的集中营，随后根据内务人民委员部特别会议的决定对他们的案件进行处理。

3.经乌尔里希同志同意，为了加快审理关于反苏组织和土匪团伙成员的案件，苏联最高法院军事审判庭的一个巡回法庭将被派往白俄罗斯，并将授予其军事法庭的权利。

4.作为之前从中央机关被派往白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部、国家安全人民委员部的经验丰富的行动人员之补充，再另外派遣 200 人。

5.将正在进行的措施就地告知波诺马连科同志。

——苏联内务人民委员 Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.68.Л.103—107.副本，机打。

267

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林的特别报告附身处内务人民委员部的波兰人的证明

（1944 年 12 月 15 日）

编号 1359/б

国防委员会

斯大林同志：

*根据您的指示，贝鲁特同志有机会查看所有被关押在苏联内务人民委员部集中营中的波兰人的名单。

贝鲁特同志挑出的 23 人名单，同时呈送*。

我们认为，这些人士可以从集中营中释放并被授予在苏联境内自由生活的权利，而且有前往波兰的可能。

请您指示。

附录：正文。

——Л·贝利亚

В·梅尔库洛夫

绝密

关于贝鲁特同志请求释放的身处内务人民委员部集中营的波兰人和波兰犹太人的证明

1.格尔塔·弗兰采芙娜·别尔格尔，1937 年 9 月 4 日被内务人民委员部莫斯科州局以涉嫌从事间谍活动逮捕，1938 年 5 月 17 日在苏联内务人民委员部特别会议上判处 5 年徒刑。

2.安娜·米罗诺夫娜·博格丹诺维奇，1937 年 8 月 5 日被内务人民委员部基辅州局逮捕，1937 年 10 月 16 日在苏联内务人民委员部特别会议上因反苏活动被判 10 年劳改营监禁。

3.弗鲁玛·达维多芙娜·博根，1937 年 10 月 19 日被内务人民委员部莫斯科州局逮捕，罪名是散布反苏托洛茨基主义文学和进行反苏煽动，1938 年 11 月 28 日被苏联内务人民委员部特

别会议以反革命活动被定罪，判处 10 年劳改营监禁。

4.叶莲娜·达维多芙娜·沃尔夫，1937 年 11 月 17 日被苏联内务人民委员部逮捕，1938 年 2 月 10 日在苏联内务人民委员部特别会议上以间谍罪被定罪，判处 5 年劳改营监禁。

5.杰奥菲莉亚·彼得洛芙娜·戈洛维茨—沃伊斯拉夫斯卡娅，因涉嫌从事间谍活动被内务人民委员部基辅州局逮捕，于 1937 年 10 月 16 日被苏联内务人民委员部特别会议以从事反革命活动的罪名定罪，判处 10 年劳改营监禁。

6.伊丽莎白·格里高利耶芙娜·格罗斯曼，因涉嫌从事间谍活动，于 1937 年 8 月 23 日被内务人民委员部莫斯科州局逮捕，1937 年 12 月 4 日被苏联内务人民委员部特别会议以反革命活动定罪，判处 10 年劳改营监禁。

7.保利纳·利沃夫娜·戈尔茨贝格，1937 年 8 月 20 日被苏联内务人民委员部逮捕，1937 年 9 月 16 日在苏联内务人民委员部特别会议上以涉嫌从事间谍活动而被定罪，判处 8 年劳改营监禁。

8.亚尼娜·沃伊切赫芙娜·伊格纳斯雅克，1937 年 9 月 5 日被内务人民委员部莫斯科州局逮捕，1937 年 12 月 5 日在苏联内务人民委员部特别会议上因与“波兰军事组织”（毕苏斯基创立的一个地下军事特务组织——译注）的积极参与者接触并进行反苏鼓动而被定罪，判处 10 年劳改营监禁。

应劳改营管理部门的申请，苏联内务人民委员部特别会议对Я·B·伊格纳斯雅克的指控作出了重新审议，由于其高额完成了生产指标，根据 1944 年 2 月 2 日的决议减刑 1 年零 6 个月。

9.哈兹凯尔·吉尔舍维奇·卡梅拉兹，因涉嫌从事间谍活动，于 1937 年 9 月 3 日被内务人民委员部莫斯科州局逮捕，1937 年 12 月 14 日被苏联内务人民委员部特别会议以反革命活动定罪，判处 10 年劳改营监禁。

10.约西弗·卡耶塔诺维奇·罗季诺维奇，又名巴维尔·科尔奇克，于 1936 年 2 月 19 日被白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部逮捕，罪名是从 1917 年 10 月到被捕之日，他一直积极与革命运动和苏维埃政权作斗争，并于 1920 年参加了反对苏维埃政权的武装暴动；他曾任（波兰共产党的——原文没有，译注）中央委员，后任波兰共产党中央委员会书记，在党内进行分裂活动，并与波兰警方保持联系。

И·K·罗季诺维奇于 1936 年 6 月 25 日在苏联内务人民委员部特别会议上因反革命活动被判 5 年劳改营监禁。

11.安德烈·季莫费耶维奇·弗兰茨—马祖尔，1940 年 7 月 18 日被苏联内务人民委员部逮

捕，1941 年 3 月 15 日被苏联内务人民委员部特别会议以反苏托洛茨基主义活动和反苏煽动的罪名定罪，被判 5 年劳改营监禁。

12.叶莲娜·莫伊谢耶芙娜·马尔克苏，1941 年 11 月 14 日被雅罗斯拉夫尔州法院常设法庭以反苏煽动的罪名定罪，判处 10 年劳改营监禁，并处剥夺政治权利 5 年。

13.罗扎莉亚·费多罗芙娜·马采耶夫斯卡娅，1937 年 7 月 27 日因涉嫌从事间谍活动被苏联内务人民委员部逮捕，1938 年 2 月 16 日在苏联内务人民委员部特别会议上被判处 8 年劳改营监禁。

14.伊丽莎白·米哈伊洛芙娜·莫特列娃，1937 年 12 月 27 日被白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部逮捕，1940 年 9 月 10 日在苏联内务人民委员部特别会议上以参加反苏组织的罪名被定罪，被判 5 年劳改营监禁。

15.菲利萨·安东诺芙娜·奥列辛斯卡娅—佛尔娜丽丝卡娅，于 1936 年 12 月 16 日被苏联内务人民委员部根据俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法典 58-1a、58-8 和 58-11 所规定之罪名逮捕，由苏联最高法院军事审判庭于 1937 年 9 月 26 日判处 10 年劳改营监禁。

16.玛丽娅·别尔纳尔多芙娜·普拉博尔特，1937 年 8 月 31 日被内务人民委员部莫斯科州局逮捕，1937 年 10 月 2 日在苏联内务人民委员部特别会议上被以叛国者的家庭成员的罪名定罪，判处 8 年劳改营监禁。

М·Б·普拉博尔特的丈夫——米哈伊尔·费多托维奇·波斯托洛夫斯基，前联共（布）莫斯科州委莫斯科郊区局书记，于 1937 年 8 月 8 日被苏联最高法院军事审判庭以反苏活动被判处死刑。

17.杰奥多拉·根里霍芙娜·普鲁赫尼亚克，1937 年 9 月 9 日被内务人民委员部莫斯科州局逮捕，1938 年 5 月 14 日在苏联内务人民委员部特别会议上以反革命活动被定罪，判处 8 年劳改营监禁。

Т·Г·普鲁赫尼亚克的丈夫——前波兰共产党党员爱德华·安德烈耶维奇·普鲁赫尼亚克于 1937 年 8 月 21 日被苏联最高法院军事审判庭以反苏活动判处死刑。

18.亚德维佳·尼古拉耶芙娜·谢科尔斯卡娅于 1937 年 6 月 15 日被苏联内务人民委员部逮捕，在苏联内务人民委员部特别会议上被以叛国者的家庭成员定罪，判处 8 年劳改营监禁。

Я·Н·谢科尔斯卡娅的丈夫——莫斯科理工学院前院长斯坦尼斯拉夫·亚诺维奇·博宾斯基于 1937 年 9 月 20 日被苏联最高法院军事审判庭以反苏活动判处死刑。

19.斯捷潘·阿列克谢耶维奇·斯拉文，又名古斯塔夫·阿布拉莫维奇·舒斯特，于 1938 年 8

月 8 日被苏联内务人民委员部逮捕，根据俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国刑法典 58-1a、17-58-8 和 58-11 所规定之罪名被捕，由苏联最高法院军事审判庭于 1937 年 8 月 26 日判处 15 年劳改营监禁。

20.叶莲娜·科尔涅耶夫娜·齐姆巴尔，被内务人民委员部敖德萨州局逮捕，被内务人民委员部敖德萨州局三人小组以反苏活动为由判处 10 年劳改营监禁。

21.保利纳·雅科夫列夫娜·施瓦尔茨，又名巴尔德·叶夫根尼娅·施瓦尔茨，被内务人民委员部奥尔忠尼启则边疆区局逮捕，于 1938 年 2 月 16 日被内务人民委员部和苏联检察院以从事反苏活动的罪名定罪，判处 10 年劳改营监禁。

22.安娜·安东诺芙娜·西什科维奇—布德金斯卡娅，1937 年 7 月 19 日被苏联内务人民委员部逮捕，1937 年 9 月 22 日在苏联内务人民委员部特别会议上以叛国者的家庭成员罪名被定罪，判处 10 年劳改营监禁。

A·A·西什科维奇—布德金斯卡娅的丈夫——斯坦尼斯拉夫·亚诺维奇·布德津斯基曾任联共（布）中央宣传干部学校的列宁主义教师，于 1937 年 8 月 21 日被苏联最高法院军事审判庭以反苏活动的罪名判处死刑。

23.柳波芙·米哈伊洛芙娜·扬科夫斯卡娅，1937 年 9 月 14 日被苏联内务人民委员部逮捕，1937 年 11 月 23 日在苏联内务人民委员部特别会议上以叛国者的家庭成员罪名被定罪，判处 8 年劳改营监禁。

Л·M·扬科夫斯卡娅的丈夫——司提反·亚当莫维奇·斯库里斯基—马尔滕斯，前波兰共产党中央委员会成员、共产国际工作人员，被苏联最高法院军事审判庭以反苏活动的罪名判处死刑。

——苏联国家安全人民委员部“A”处处长

国家安全政委戈尔佐夫斯基

1944 年 12 月 13 日

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.256.Л.109—113.原稿，机打。

第一页有批示：“贝利亚同志，同意。И·斯大林”；“费多托夫、库兹涅佐夫、戈尔佐夫斯基同志，准备将他们释放的命令并为他们返回波兰（卢布林）提供必要的协助。Л·贝利亚”。

*-*处有铅笔下划线。

268

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫的特别报告附И·А·谢罗夫关于犹太人组织在卢布林活动的报告

（1944 年 12 月 15 日）

编号 1407/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志：

向你们呈送一份来自谢罗夫同志的关于卢布林犹太人组织活动的值得注意的报告。

苏联内务人民委员

Л·贝利亚

从卢布林发出

绝密

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

正如我们所查明的那样，今年九月在卢布林市组织了一个所谓的联合犹太人委员会，波兰民族解放委员会部长佐默施泰因（犹太复国主义分子）被选为这个组织的主席。

该委员会包括波兰工人党党员中的犹太复国主义者、崩得分子和犹太人。

与此同时，犹太组织“崩得”的前成员 25 人聚集在一起，召开组织会议，选举由 3 人组成的“崩得”中央委员会：舒尔登弗林——“国家民族委员会”（由波兰工人党主导的波兰爱国统一战线组织——译注）委员（“崩得”组织负责人）、格尔舍尔格伦——波兰民族解放委员会和亚舒音斯基（1881—1943 年，波兰犹太裔作家，“崩得”运动骨干——译注）犹太文摘的负责人——《波兰社会党中央机关报》的编辑。

“崩得”组织采取了支持波兰社会党的计划，并将其发表在波兰社会党的报纸上，并且也接受了给奥索布卡—莫拉夫斯基的信。

根据我们掌握的特工情报，“崩得”组织开始开展其政治活动，特别是它对居住在卢布林

市的所有犹太人进行了登记，发现卢布林有 1000 名犹太人，其中 500 人通过注册为波兰人来隐藏自己的民族身份。

在 12 月 10 日在卢布林举行的波兰民族解放委员会转变为临时政府之际举行的集会上，舒尔登弗林要求代表“崩得”中央委员会发言，但没有给他这个机会。

同于 1945 年 1 月在美国召开波兰犹太人委员会（一个反法西斯组织，包括美国所有主要犹太资本家）大会相关联，卢布林的联合犹太人委员会决定派波兰民族解放委员会部长佐默施泰因参加这次大会。

美国波兰犹太人联盟向流亡伦敦的波兰政府捐赠并向谢列尔（伦敦波兰全国委员会成员）发送大量黄金，表面上是将这笔钱转给在波兰遭受德国占领煎熬的犹太人。从美国犹太人那里收到的钱由波兰流亡政府转交给家乡军指挥官布尔将军的总参谋部，实际上，这些钱是分配给家乡军的地下组织的。

根据我们收到的情报，舒尔登弗林（国家民族委员会委员）也应该和佐默施泰因一起去美国。

昨天，在与我的谈话中，我们的卧底“Б”说，在决定将佐美尔施泰因和舒尔登弗林派往美国后，一些波兰民族解放委员会领导人，按民族划分为犹太人的人，开始表示怀疑，这些代表在美国如何才不会把事情搞糟，最重要的是，他们如何才不会滞留在那里，特别是，别尔曼——波兰工人党中央委员会书记，德列博涅尔——波兰民族解放委员会部长等人表示这样的疑问。

此外，被我们逮捕的化名“瓦茨拉夫”的——布尔将军领导下的波兰流亡政府代表维托尔德·本科夫斯基在审讯中供认：

“在佐默施泰因部长的调解和协助下向伦敦派遣两名信使的计划是真实存在的。

我认为佐默施泰因部长把我视作可靠的人，家乡军的代表。我打算向佐默施泰因部长提出一个他可以执行的想法——合法地派遣信使。这个想法是，我将向佐默施泰因部长介绍两名波兰人候选人，好像犹太人一样，佐默施泰因部长可以将他们作为他的代表派去拜会谢列尔——伦敦全国委员会成员。

这些人还可以成为佐默施泰因部长在苏联当局的代表，作为流亡犹太人社区中波兰‘崩得’的鼓动者。”

根据我们从沙基洛夫同志那里得到的信息，据称外交人民委员部同意将佐默施泰因派往美国，其任务是在波兰犹太人联盟大会上发言，并要求分配的资金不送到伦敦的波兰流亡政府，而是送到波兰民族解放委员会。

我们对佐默施泰因的情况确认如下：

a）佐默施泰因不再被指定为波兰临时政府内的部长；

b）佐默施泰因是世界犹太人委员会（JuishAgency）执行委员会的成员；

c）佐默施泰因被我们的机构逮捕并关押在监狱中；

d）有未经证实的证据表明佐默施泰因是英国情报机构的特工。

基于上述情况，我们认为将佐默施泰因派到美国是不合适的。

此外，为了事业的利益，我请求您同意解散卢布林的犹太组织“崩得”和联合犹太人委员会。

——谢罗夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.68.Л.233—236.副本，机打。

1945 年

269

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于接待苏联公民的检查和筛选点工作的特别报告

（1945 年 1 月 2 日）

编号 11/6

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志、

苏联人民委员会——莫洛托夫同志、

联共（布）中央——马林科夫同志：

苏联内务人民委员部报告说，在接待回国苏联公民的检查筛选点运作期间，截至 1944 年 12 月 30 日，共接收和检查了 96,956 人。

各个点包括：

乌克兰苏维埃社会主义共和国——13960

白俄罗斯苏维埃社会主义共和国——7228

摩尔达维亚苏维埃社会主义共和国——9688

爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国——18459

列宁格勒州——45011

摩尔曼斯克州——2610

其中，发放许可证并送往常住地的有 38,428 人；5827 人转入兵役登记处；43,693 人被送往内务人民委员部特别营地进行进一步核查。

基希讷乌筛查点行动小组逮捕了：Ф·Д·伊万诺夫，1916 年出生，拉脱维亚苏维埃社会主义共和国的兹文迪利什蒂镇人，俄罗斯族，1940 年受审。

当其处在德国人占领的领土上时，他就与德国人一起对苏联人民犯下了暴行。伊万诺夫本

人在这个问题上供认：

“1941 年，我和德国士兵一起，坐在拖拉机上，压碎了来不及撤离的犹太人。那是在里加市，需要注意的是，当时我还不是德国军队的雇员，而只是后者的同情者。”

1942 年 6 月，伊万诺夫自愿加入法西斯军队，在利巴瓦和克里沃罗格看守苏联战俘。

И·Ф·莫伊谢耶夫，1912 年出生，坦波夫州居民，非党员。在被俘期间，他于 1943 年 4 月自愿加入“俄罗斯解放军”，并担任森亚纳哥萨克村苏联战俘营的领班。

他在分发弗拉索夫的文件和动员战俘参与“俄罗斯解放军”方面工作积极。

他殴打苏联人，嘲笑他们。

И·И·亚库舍夫是斯大林格勒的居民，1935 年他被判犯有盗窃罪。当他被德国人俘虏时，他就自愿去为他们效命。他是苏联战俘营 6 号营地的工头。在战俘中进行反苏失败主义鼓动。

由于他的背叛，许多苏联人遇害，包括战俘亚历山大·沙宁、弗拉基米尔·卡冈诺维奇等。

И·Ф·赫梅利科夫是克拉斯诺达尔边疆区的居民，过去曾在白军服役，被契卡逮捕，战前由于反苏活动被判刑。

在向德国人投降并在辛菲罗波尔的一个集中营里，他自愿加入了德国人组织的辅助部队“格里芬”和“加维”。

他在苏联战俘中进行了积极的反苏、失败主义鼓动。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.92.Л.6—8.副本，机打。

270

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于“清理”拉脱维亚解放区结果的特别报告

（1945 年 1 月 26 日）

编号 106/б

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

梅尔库洛夫同志从里加报告以下有关正在采取措施清除拉脱维亚苏维埃社会主义共和国敌对分子的信息。

在拉脱维亚解放区工作期间——1944 年 7 月至今年 1 月 20 日。内务人民委员部、国家安全人民委员部机构逮捕了 5223 人，其中在里加市——962 和前线地带——542 人。

被捕者中：

敌方情报和反间谍机构人员——625

敌方情报和反间谍机构正式人员——379

拉脱维亚民族主义组织参加者——479

变节者、祖国的叛徒、德国人的心腹和帮凶——2721

土匪组织成员及其同伙——376

各种反苏分子——643

梅尔库洛夫同志到来后与里加的特工小组一起采取了必要的组织措施，旨在加强拉脱维亚的契卡机构和更好地组织特工行动工作。

特别注意加强前线的内务人民委员部、国家安全人民委员部机构。

拉脱维亚苏维埃社会主义共和国的整个领土分为 6 个行动区块，由来自莫斯科的合格行动人员领导。这些行动区块都配备了位于拉脱维亚境内的内务人民委员部部队。

为了向拉脱维亚苏维埃社会主义共和国国家安全人民委员部的县机构、处和科提供援助和

直接的工作，分配了从莫斯科和苏联国内各州抵达的40名国家安全人民委员部特工，并为同样的目的另补充了100人。

今年1月8日至20日拉脱维亚苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部、国家安全人民委员部逮捕了1396名敌对分子。

截至今年1月15日，拉脱维亚苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部、国家安全人民委员部缴获的武器和弹药如下：

步枪——12370

轻机枪和冲锋枪——1145

重机枪——16

手枪和左轮手枪——610

子弹——1171596

迫击炮弹——1471

手榴弹——3398

地雷和炮弹——2510

查出了11名德意志人——德国公民，居住在里加的市民。他们都被逮捕，调查结束后将被送往集中营。

正在采取从拉脱维亚驱逐德意志人——苏联公民，以及无国籍的波兰和俄罗斯人士的行动。

在拉脱维亚境内，德军组织了7所侦察破坏学校。一时间，在这些学校训练的大量情报人员内务人民委员部、国家安全人民委员部和“施密尔舒”逮捕。目前，在这些学校工作的人员中，有224人被确定为服务人员（厨师、服务员、清洁工等）或与学员保持私人联系。其中一些，因为显而易见地与在学校学习的情报人员为伍，被“施密尔舒”用来搜索和识别后者。其余的，为了防止德国情报部门可能使用它们，将作为受怀疑者和可疑分子被驱逐。

已经制定并正在实施一项针对拉脱维亚路德宗、天主教和东正教神职人员的特工行动计划。

正在准备逮捕路德教会的负责人伊尔伯，有证据表明他与德国情报部门和对苏维埃政权的敌意有关。

在他被捕后，我们在教区和神职人员中享有权威的特工将被提升为路德教会的领袖。

在罗马天主教方面逮捕了司铎卡兹拉斯，他供认了其他一些司铎的反苏活动，以及拉脱维亚天主教会的实际领袖——А·И·巴斯特尔。

在东正教方面逮捕了7个人。

在近期立案结案的案件中，以下几个案件值得关注：

1.军事法西斯组织“拉脱维亚卫士团”案例

已查明，在占领拉脱维亚苏维埃社会主义共和国后，德国人重建了隶属于拉脱维亚资产阶级政府之下的军事法西斯组织“拉脱维亚卫士团”，由拉脱维亚军队前将军库列利斯（随德国人逃亡）领导。

德国人积极利用“拉脱维亚卫士团”组织的成员从事间谍活动和破坏活动、讨伐游击队员、寻找苏联伞兵、组织大规模处决苏联公民等。

1944 年 7 月至 8 月德国人从拉脱维亚撤退之前，库列利斯将军与德国情报部门一起，将“拉脱维亚卫士团”的破坏和恐怖组织集中起来，任务是在红军后方进行颠覆工作。

“拉脱维亚卫士团”组织是拉脱维亚最活跃的反苏组织。

截至今年 1 月 15 日，拉脱维亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员部、国家安全人民委员部的机构查处并清理了 33 个“拉脱维亚卫士团”的破坏和恐怖小组，194 人因此被捕。

在这些被清算的小组中：

里加县的破坏和恐怖组织有 24 人（全部被捕）。

在被捕者中：

Я·布里吉斯，1905 年出生，自 1930 年起成为“拉脱维亚卫士团”组织的成员，该团伙的负责人；

М·卡克特什，1894 年出生，大富农，1922 年起加入“拉脱维亚卫士团”组织，布里吉斯的助理。

当该团伙成员被捕时，以下物品被没收：机关枪、15 支步枪、子弹和炸药。

根据调查确定，1944 年 7 月，布里吉斯参加了由“拉脱维亚卫士团”营指挥官泽米茨根据库列利斯将军（与德国人一起逃跑）的指示召开的几次“拉脱维亚卫士团”乡组织负责人的指导会议。泽米茨的任务是组建一个“拉脱维亚卫士团”组织，在红军后方进行破坏活动，并谋杀军人和苏维埃政府代表。

为了完成这项任务，布里吉斯从他认识的“拉脱维亚卫士团”分子中创建了一个破坏和恐怖组织，并获得了武器和弹药。

调查仍在继续。

2.瓦尔米耶里县萨尔斯格里瓦市破坏和恐怖组织

31 人被捕，包括：

K·达比茨，出生于 1889 年，大型渔场主，自 1936 年起成为“拉脱维亚卫士团”组织的成员；

M·日梅霍夫，1895 年出生，俄罗斯人，前白军中校，在弗兰格尔麾下指挥装甲列车，自 1941 年以来一直是“拉脱维亚卫士团”组织的成员，在被捕前担任公路领班；

А·加伊里斯，出生于 1904 年，大型渔场主，自 1935 年起成为“拉脱维亚卫士团”组织的成员。

调查确定，1941 年，也就是德军出现在萨尔斯格里瓦市的前一周，该组织成员在该市夺取政权，逮捕了苏维埃积极分子，并组织了一场针对撤退的红军部队的武装斗争。在占领期间，该组织的成员积极与德国人合作。

1944 年，也就是驱逐德国人的前一个月，德国情报机构在瓦利埃为“拉脱维亚卫士团”分子安排了课程。在这些课程中，几名被捕的团伙成员接受了颠覆工作的特殊培训。

案件的调查仍在继续。

3.在杰卡卜皮尔斯县的破坏和恐怖团伙

7 人被捕，包括：

Я·阿波利内什，1904 年出生，“拉脱维亚卫士团”组织的活跃成员。

调查确定，该团伙的成员于 1944 年 8 月被德国情报人员德什列尔招募，并被送往里加市附近的一所情报学校，在那里他们研究了游击战争和颠覆活动的策略。

离开学校后，他们收到了弹药和任务，在德军撤退后，在红军后方组织恐怖和破坏活动。

该团伙成员被捕时，缴获了 45 颗不同的地雷、20 个 TNT 药柱和 5 箱步枪子弹。

调查仍在继续。

4.“拉脱维亚警卫队”组织的案例

近日，非法反苏组织“拉脱维亚警卫队”一案共抓获 28 人，其中包括里加地区“拉脱维亚警卫队”组织 6 个团伙的领导人：

Ж·巴尔东尼耶克斯，出生于 1906 年，里加一家锡作坊的老板，被捕前系拉脱维亚苏维埃社会主义共和国海运人民委员部的水管工；

О·菲力普森，出生于 1914 年，被捕前是里加技术学校的一名教师；

А·杰尔特内什，出生于 1904 年，被捕前是里加市交通汽车修理厂的机械师；

А·列内克斯，1917 年出生，党卫军拉脱维亚师士兵，被捕前为拉脱维亚铁路局信使；

В·梅尔基斯，出生于 1908 年，被捕前是里加一家纺织厂的机械师。

被捕的杰尔特内什、菲力普森等人供认说，在红军解放里加之前不久，“拉脱维亚警卫队”

组织的一名领导人——阿沃金什（已被捕）指示该组织的参与者准备在里加夺取政权，并在德国军队从里加撤出的时候宣布“拉脱维亚独立”。

作为武装部队，该组织的成员计划使用属于德国军队的第 15 和 19 拉脱维亚党卫军师的官兵，以及他们的战斗小队和警察部队。

“拉脱维亚警卫队”组织与上述库列利斯将军的“拉脱维亚卫士团”组织有联系，他们派人去那里接受相应的军事训练。

对该组织其他成员的调查和搜捕仍在继续。

5.位于陶格夫匹尔斯的青年组织的案例

在陶格夫匹尔斯市，发现了一个自称为“为祖国而奋斗的民族组织”的青年反苏民族主义组织。

9 人在此案中被捕，包括：

该组织的负责人Б·施泰因尔特，1927 年出生，德意志人，拉脱维亚中学学生。

调查发现，该组织是在学校教师Б·А·奥涅赫诺的指示下创建的，该教师是“拉脱维亚卫士团”组织的活跃成员。

该组织的任务是对红军士兵进行恐怖活动，并对铁路进行破坏。

正在进行调查。

清除拉脱维亚苏维埃社会主义共和国领土上的敌对分子的工作仍在继续。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.92.Л.212—219.副本，机打。

271

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于南斯拉夫将军对雅科夫·朱加什维利见证的特别报告

（1945 年 3 月 5 日）

编号 229/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志：

今年一月底。白俄罗斯第一方面军将一批南斯拉夫军官从德国集中营中解放出来。

被释放的人中有南斯拉夫宪兵队的将军斯特凡诺维奇，他在与我们的业务工作人员交谈时说：

1942 年 7 月 16 日至 1943 年 8 月 2 日，他被关押在吕贝克的“X-S”监狱。这个营地大约有 1200 人：法国人、比利时人、波兰人、南斯拉夫人和一名苏联军官雅科夫·朱加什维利上尉，以及法国前总理莱昂·布鲁姆的儿子、法国陆军上尉罗伯特·布鲁姆，比利时总参谋长范登伯根中将等。

在斯特凡诺维奇到达这个集中营之前，朱加什维利和罗伯特·布鲁姆被关在同一个房间里，然后他们被分开到在不同的房间里，对他们建立了严格的规章制度，24 小时都有哨兵值班。

他们房间的窗户用铁丝网围起来。白天，他们被允许在哨兵的陪同下散步不超过 2 小时。

在散步的过程中，斯特凡诺维奇经常走近雅科夫·朱加什维利上尉，并在他在集中营逗留期间进入他的房间 15 次。斯特凡诺维奇多次以南斯拉夫军官的名义向他提供物质帮助，但他断然拒绝，并表示他不想在被囚禁时的给养上比其他苏联军官特殊。

朱加什维利总是表现得独立而自豪。当德国军官进入他的房间时，他从不站在他面前，当德国军官说话时，他经常背对着他。为此，朱加什维利经常被关押在一个惩罚牢房里。

在朱加什维利被俘后德国的媒体刊登过他的肖像和一份诽谤苏联的记者采访稿。一次散步时，斯特凡诺维奇告诉了他这件事，朱加什维利回答说这是一个彻头彻尾的谎言，他从来没有

和任何记者说过话，在审讯中也没有回答任何政治或军事性质的问题。

在集中营期间，他也避免与任何人谈论政治或军事话题。只有一次，当斯特凡诺维奇问他在他看来战争的结果会是什么时，朱格什维利回答说："我毫不怀疑德国会被打败，红军会取得决定性的胜利。"

朱加什维利谈论德国人时带着轻蔑和愤慨。

1942 年 9 月，南斯拉夫军官试图逃跑，并从他们的营房挖了一条隧道，但由于离出口最近的房间是朱加什维利住的——所以在他的房间下面也进行了挖掘。集中营的指挥官得知后，将此视作朱加什维利准备逃跑，他把他关在一个惩罚牢房里，用混凝土浇灌地板，几天后，根据柏林的命令，朱加什维利坐飞机离开了集中营前往不明方向。

斯特凡诺维奇在他的个人笔记本上有一张纸，上面写着：雅科夫·朱加什维利上尉，莫斯科，格拉诺夫斯基街 3,84.20.9.1942。

按斯特凡诺维奇所说，这条笔记是朱加什维利本人写的。

随附笔记本纸条。

苏联内务人民委员Л·贝利亚

ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.93.Л.276—278.副本，机打。

272

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于“清理”白俄罗斯第1、第2方面军后方的特别报告

（1945年3月12日）

编号289/б

副本

绝密

白俄罗斯第2方面军

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

今年3月5日在图霍拉市（波兰）以南12公里的米尼科沃村地区，不明身份的人用机枪向乘车穿过森林的3名红军军官开枪，其中2人受伤.

在森林中采取的搜查措施发现，有3人身穿红军制服，当行动小组接近他们时，他们逃跑并进行武装抵抗。在随后的小规模冲突中，一名被追击者被击毙，另外两人逃跑。

在搜索过程中，在被击毙者那里发现了一本名字是格劳斯·霍斯特上等兵的士兵证、一把手枪、一把机关枪和一盏信号灯。第二天在森林里抓获了：

弗兰茨·克列布斯，1919年出生，德国人，第346步兵营上级准下士；

赫尔穆特·舒尔茨，1903年出生，德国人，人民冲锋队支队成员；

威廉·克列布斯，1878年出生，德国人，人民冲锋队支队成员。

被抓者皆被枪决。

今年3月7日我们逮捕了1906年出生的德国法西斯党员比尔·乌尔里希。在调查过程中，比尔承认，他于1945年2月被德国情报部门的头子什拉普上尉招募。招募时，他受命留在红军后方，从忠于纳粹的人中招募特工，与他们一起从事破坏侦察和恐怖活动。在这次任务中，比尔招募了12名德国特工。比尔带着自己的这个特务机构，企图于3月8日在波尔诺夫市组织破坏活动，对红军军官实施一系列恐怖主义行动。

此外，比尔还招供说，为了安排红军后方的工作，他在自己的庄园里建了一个武器仓库。

仓库被我们发现，武器被没收。该住所的所有 12 名特工都被确认并逮捕，其中 9 人供认属于德国情报机构并与比尔有关联。

——1945 年 3 月 12 日卫·察纳瓦

泽姆兰兵团

今年 3 月 11 日上午 9 点，在格罗斯—斯凯斯基伦镇（东普鲁士）以南 15 公里的帕廷贝伦村附近清理森林的行动中，在接近庄员时，一个 3 人的边防战斗小组被人从阁楼上射击。

交火的结果，5 名德国人被击毙，1 名重伤者被俘。

其余 14—15 名全副武装的德国人，包括两名伤员，逃进了森林。

在我方，内务人民委员部后方保卫部队训练队的 1 名士兵阵亡、2 人负伤，其中 1 人受重伤死亡。

被拘留的重伤德国人供认说，他是一支由 20 人组成的人民冲锋队破坏和恐怖组织的成员，是德国指挥部留在我们后方从事颠覆活动的成员。指定小组由党卫军和冲锋队士兵和警察组成。

为了抓捕藏匿的土匪，派遣了 185 名内务人民委员部后方保卫部队官兵，并派出了一批内务人民委员部行动人员。

1945 年 3 月 12 日特卡琴科

白俄罗斯第 1 方面军

今年 2 月 7 日在科纳尔（霍杰日）市逮捕了：

奥托·巴赫曼，1895 年出生，德国人，官员、国家社会主义党成员；

威廉·沃依提斯，1905 年出生，德国人；

阿尔方斯·卡布钦斯基，1920 年出生；

卡齐米尔·赫梅列耶夫斯基，生于 1903 年，和

维岑奇·卡特科夫斯基，生于 1902 年，最后三位是获得德国公民身份的波兰人。

被捕者皆为一个有 500 人的人民冲锋队支队的成员，巴赫曼为支队副司令，其余人皆为集团领袖。

名单上的人被党卫军部队的中尉伦加德留在我们部队的后方，以实施恐怖行为并组织破坏—恐怖团伙。

发现并没收了一个为上述团伙留下的武器和弹药的仓库。

被捕者被转移到第 47 集团军的“施密尔舒”反间谍部门。

今年 2 月 17 日在齐勒尔茨格市，一个恐怖组织被捣毁，其中包括 1896 年出生的格奥尔格·基

泽尔、1895年出生的路德维希·得齐尔、1900年出生的理查德·特雷克尔和1899年出生的威廉·鲁兹涅尔——所有皆为德国人、国家社会主义党成员，从1944年12月起，他们参加了当地的人民冲锋队支队。

经证实，在德军撤退前，这些人被一名德国情报人员招募，在红军后方从事恐怖活动，并留在他们位于齐勒尔茨格市的住所。

2月16日，该团伙成员杀害了第33近卫突击航空团的一名高级航空技术员克列斯尼科夫。

通过采取的措施，同一个人民冲锋队支队的另外22名武装成员被拘押。

特务—恐怖分子及人民冲锋队队员于2月17日被枪决。

红军作战部队内务人民委员部后方保卫部队首长戈尔巴丘克

1945年3月13日

分别发送给：

斯大林同志、

莫洛托夫同志、

马林科夫同志。

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.94.Л.45—48.副本，机打。

273

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于截至 1944 年消灭土匪团伙工作结果的特别报告

（1945 年 3 月 14 日）

编号 286/б

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志、

苏联人民委员会——莫洛托夫同志、

联共（布）中央——马林科夫同志：

苏联内务人民委员部报告了 1944 年消灭土匪团伙及其基地的工作成果。

1944 年，在俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国、中亚、北高加索和外高加索各共和国，发现并清除了 2709 个团伙，共 16469 名土匪及其帮凶。

1943 年，在这些共和国和州，发现并消灭了 3790 个团伙，共 29913 名土匪及其帮凶。

	1943 年		1944 年	
	消灭			
	土匪团伙	土匪及其帮凶	土匪团伙	土匪及其帮凶
从德国人手中解放的俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国地区	1117	9242	902	4511
俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国中心地区	834	5265	885	4330
中亚和哈萨克斯坦	772	5193	328	1818
北高加索	255	4889	95	2910
外高加索	324	2016	80	703

西伯利亚和乌拉尔	358	2250	304	1702
远东	130	1058	115	495

此外，在消除这些共和国和地区领土上的土匪活动的过程中，查处了以下案件：

逃兵和逃避红军的动员征召者——206,118 人。

被德国人投放的用于破坏和土匪工作的伞兵——264 人。

德国特工——242 人

叛徒、变节分子、德国人的追随者和帮凶——7001 人。

1944 年，共发生了 4356 起土匪案件，包括：

袭击红军、内务人民委员部和国家安全人民委员部机构和部队军官、战士——264

袭击党和国家机关的工作人员——165

袭击国营和集体农庄机构——885

抢劫公民——3402

内务人民委员部当局破获了 4233 起帮派案件，占 97.2%。

从土匪、逃兵、敌方特工和居民处缴获了以下物品：411 挺机枪、2223 挺冲锋枪、58 支反坦克枪、345 门迫击炮、25498 支步枪、7993 支左轮手枪和手枪、7793 枚手榴弹、1960000 发子弹、16 枚地雷其他武器 11668 件，爆炸物约 1000 公斤。

截至今年 1 月 1 日，在上述共和国和州境内，根据苏联内务人民委员部的数据，有 745 名参加者的 204 个土匪团体和 320 名单个土匪仍未被清除，其中：

	土匪团伙	成员	单个土匪
中亚和哈萨克斯坦	34	106	48
外高加索	15	43	21
北高加索	16	128	15
从德国人手中解放的地区	61	284	90
俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国中心地区	41	128	82
西伯利亚和乌拉尔	34	68	33

远东	13	43	32

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.94.Л.39—40.副本，机打。

274

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于罗马尼亚地下组织活动的特别报告

（1945 年 3 月 15 日）

编号 292/б

副本

绝密

发送自布加勒斯特

莫斯科，苏联内务人民委员部——贝利亚同志：

在此呈送有关罗马尼亚军团活动的新情报。

一、据了解，今年 3 月 13 日，西马·霍利亚（罗马尼亚法西斯组织“铁卫团”头目之一——译注）向罗马尼亚军团士兵的负责人帕特拉斯库传达了以下指示：

1）与位于该国的罗马尼亚师建立联系，为此需要建立一个特别的军团组织；

罗马尼亚军队应该受到指导，使其不会“不光彩地送死”，而是倒向德国人；

在罗马尼亚发生反攻时，军队必须将枪口转向红军部队；

罗马尼亚前线部队领导的军团组织与在该国开展活动的其他军团组织之间，必须通过专门的联络部门进行经常性的沟通。

2）国内的军团领导层应将主动权掌握在自己手中，因为亲英的罗马尼亚人和民主派会试图煽动军团反对（存疑，应该是倒向，原文如此——译注）共产党人。

3）已收到该国其他军团组织的以下指示：

a）暂时不要采取任何破坏行动。现在必须进行准备工作，以便在适当的时间进行破坏活动并取得最佳效果；

b）国内的军团组织只能在地下运作。因此，不应在任何书面宣传声明中暴露自己；

c）军团营地和避难所应小规模组织，以免引起注意。行动时，要转化成聚集点；

d）突击队应尽可能与城市和城镇的地方组织保持密切联系，并应小心伪装，以便在适当

的时间轻松指挥这些小组；

e）利用时间改进组织，牢记组织的主要目标不是情报，而是创建战斗准备小组；

f）考虑到军团的活动正在顺利进行，中心建议与国家、军队、政党、教会和国王随从当中受到布尔什维主义威胁的所有不满分子建立联系；

g）在未来的斗争中，需要吸引群众，为此建议加强罗马尼亚人民反对布尔什维主义的阵线，将人民与犹太人和共产党人隔离开来，唤醒劳动人民对他们的不信任。

二、根据多个消息来源：

1）今年二月，西马·霍利亚的前秘书阿伦·波波维奇出现在阿拉德市，据称他的任务是联系被安插在巴纳特省的军团成员，并将他们送到可以安全生活和工作的地区。

2）现在在锡比乌市的瓦西列·安德烈乌，军团学生团的负责人，他是西马·霍利亚信任的人，最近从他那里带着一项重要任务来到这里。

根据初步情报，安德烈乌成功地将部分锡比乌的学生吸收到了他的身边。

3）在布加勒斯特商学院，军团学生和反动派一起发动了反对民主派学生的运动。在法学系，军团学生最近也公开反对民主派学生和犹太人，并撕毁了НИФ（查不出是什么，似乎是国家投资基金）发布的公告。

4）在布加勒斯特市，妇女军团支部开始建立。这项工作由专门为此而来的女军团成员领导，他们在首都郊区的女性居民中正在招募所谓的“军团后援”。

5）在罗马尼亚侦探局总部，继续逮捕与德国人合作或与军团有联系的工作人员。

仅在 3 月 13 日，就有 4 名高级警官被捕，其中包括著名的警务督察米尔切阿。

6）3 月初，布加勒斯特市的侦探局确定了一个军团分子的安全屋。3 月 6 日至 15 日，在这间公寓中，侦探局查扣了多达 10 名军团士兵，其中包括：3 月 7 日，伞兵波佩斯库；3 月 11 日，著名领导人之一特罗凡涅斯库。

3 月 13 日，一名身份不明的人在公寓内被侦探局密探拘留。被拘留者被发现有一份以英国代表团司机朗格费洛夫为名的文件。

在审讯中，朗格费洛夫解释说，他在一家餐馆遇到了一个不知名的人，并按照她提供的地址去找了她。

为确定身份，朗格费洛夫与一名侦探局特工一起被送往英国代表团处，在那里，他利用随行的侦探局特工的惊慌失措脱逃了。陪同朗格费洛夫的侦探局特工被捕。已采取措施通缉朗格费洛夫。

——奥瓦基姆杨

季莫费耶夫

库兹涅佐夫

分别发送给：

斯大林同志、

莫洛托夫同志、

马林科夫同志。

1945 年 **3** 月 **15** 日

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.94.Л.57—60.副本，机打。

275

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于红军指战员不端行为的特别报告

（1945 年 3 月 17 日）

编号 306/б

副本

绝密

苏联内务人民委员、国家安全总政委

Л·П·贝利亚同志：

特别报告

关于德国居民情绪和个别红军指战员不端行为的事实

根据在被捕人员和通过筛查点的人员当中工作的特工以及调查工作过程当中取得的材料，留在我们后方的德国人的情绪特征如下：

大多数德国人认为，逮捕法西斯组织成员和大量动员劳动适龄人口是红军对德国人在占领苏联地区期间对苏联公民犯下的暴行的报复。

许多人认为德国在这场战争中的失败是不可避免的，希特勒及其集团继续抵抗只是为了达成一些可以容忍的和约条件并避免无条件投降。红军的状况（良好的武器、制服和人员的身体状况）及其军事成功完全驳斥了戈培尔的宣传。

被捕的德国人认为，“人民冲锋队”的成立是德国人民最大的错误，尤其是将“人民冲锋队”的领导权移交给了国家社会主义党这一事实。

在所有的人员当中都有传言，东普鲁士最高长官和大区领袖科赫试图穿着便装逃离柯尼斯堡时，被士兵拘留、被认出并被枪杀。

被捕的德国人和波兰人之间的关系极其紧张，频繁的争端表明，德国人希望东普鲁士归苏联比归波兰更好。

一些被捕者认为，他们被捕是因为苏军指挥部采取了清理后方的措施，以防止出现游击队运动的可能性。

一些人认为他们会在东普鲁士被逮捕直到战争结束，然后他们会被遣散回家，而另一些人

则在等待转移到苏联腹地劳动，他们非常害怕。

在被捕的妇女中，有传言说她们是专门为了绝育而召集到一起的。

国际上有传言称，德国长期以来一直在与美国谈判缔结和约，同时美国也在与苏联就后者对日参战进行谈判，但据称苏联政府拒绝了这一提议。

有公开的敌对言论，其中一些是由于红军先锋部队的某些军人对德国妇女实施暴力行为的不当行为造成的。

许多德国人声称，在东普鲁士，红军后方的所有德国妇女都被红军士兵强奸。

格兰茨市居民威廉·舍得莱特尔在筛查点报案说，今年 2 月 12 日夜，几名军人闯入他的公寓，开始强奸所有妇女、未成年少女和老年妇女。

他的女儿格特鲁德多次遭到强奸，她说留在红军后方的德国人等到的将是饥荒、流行病和内务人民委员部的镇压，这些将很快到来。

出生于 1907 年的德国人霍林·恩斯特报案说今年 2 月 8 日，他的妻子被一群红军士兵和军官强奸，他起初不相信德国人的宣传，现在红军军人对德国居民的行径证实了这一点。

在第 43 集团军内务人民委员部作战行动小组在筛查平民的过程中，发现斯帕莱腾的德国妇女切潘奇克·格尔特鲁德，1912 年生人；基曼齐克·格尔格拉德，1912 年生人；和科隆·艾玛，1908 年生人，以及所有的这些人都有的 12 个从 3 岁到 6 岁不等的孩子的右手腕关节骨折。

当被问及造成自伤的原因时，科隆·艾玛供述：

“撤退前，德军指挥部建议我们撤离到柯尼斯堡市，称‘红色亚洲人’正在对德国民众实施闻所未闻的暴行。

在德国士兵的建议下，我们没有撤离，而是留在了斯帕莱滕区。

今年 2 月 3 日红军先遣部队进城，士兵冲进地下室，用武器指着我和另外两个女人，命令我到院子里去。

院子里，十二个士兵一个一个地强奸我，其余的士兵对我的邻居也这样做了……

当天晚上，6 名醉酒士兵闯入我们的地下室，还当着孩子的面强奸了我们。

2 月 5 日，3 名士兵进入我们的地下室；2 月 6 日，8 名醉酒的士兵也强奸并殴打了我们。

受德国“红军将凌辱德国人”宣传的影响，加之看到我们确实被侮辱了，我们决定自杀，为此我们于 2 月 8 日割断了自己和孩子们的手腕关节和右手静脉……”。

根据被拘留的安格莫宁乡土地联盟主席、国家社会主义党员约纳斯·维尔卡斯的供述，很大一部分德国人不相信法西斯宣传的红军对德国人的残酷态度。但在红军士兵的一些暴行影响

下，部分居民自杀了。

在维尔卡斯住的房子的阁楼上，两名德国妇女在被多次强奸后自杀。

德国人，尤其是女性的自杀事件越来越普遍。

与今年 2 月 18 日至 19 日从前线驱逐居民有关，在格兰茨市报告了多达 10 起自杀事件。

我们已将德国民众的情绪和个别部队人员的行为告知了泽姆兰兵团军事委员会。

——苏联内务人民委员部驻泽姆兰兵团全权代表

国家安全政委

特卡琴科

分别发送给：

斯大林同志、

莫洛托夫同志。

译自ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.94.Л.85—88.副本，机打。

276

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于准备逮捕波兰政党领导人措施的特别报告

（1945 年 3 月 22 日）

编号 3836

国防委员会——И • В • 斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志：

向你们呈送谢罗夫同志从华沙发来的关于与波兰流亡政府主要代表扬科夫斯基和波兰地下政党：“农民党”、“工党”、“民主党”、“人民民主党”和波兰社会党领导人会面的报告。

请你们知悉。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

副本

绝密

发送自华沙

莫斯科，苏联内务人民委员部，贝利亚同志：

为了扣押处于非法状态的波兰伦敦流亡政府的副总统扬科夫斯基（他也是波兰流亡政府的主要代表），以及流亡政府所依赖的主要地下政党领导人，例如：“农民党”、“工党”、“民主党”、“人民民主党”和波兰社会党，我们拟定了一个与副总统扬科夫斯基会面以警告他和“家乡军”组织停止在方面军后方各种破坏活动的说明。

警告发出后，扬科夫斯基要求安排与方面军司令部代表会面，就这些问题作出解释。我们表示同意。

3 月 17 日，扬科夫斯基来到我们的驻地，在那里他被指控继续进行“家乡军”方面的破坏活动，尽管现有命令是“解散”“家乡军”。

扬科夫斯基试图为自己辩解，最后提出了其政府所仰赖的所有政党退出地下活动的问题。同时，扬科夫斯基表示，他可以安排这些政党的领导层与前线司令部的代表举行一次会议，这可以帮助他们形成退出地下活动的打算。

在我们的指示下，拉多姆行动小组的负责人皮梅诺夫上校与以下三个政党的代表举行了会晤：“农民党”——地下党主席巴丁斯基教授，该党主席团成员、波兰法官本·亚当和波兰律师涅克维茨·斯坦尼斯拉夫出席了会议；来自“工党”的——党主席霍廷斯基教授和该党中央委员会书记乌尔班；来自“人民民主党”的主席团成员、政治学博士亚修科维奇和主席团成员波普拉夫斯基（该党的主席和副主席之前被我们逮捕）。

在这些会议上发现，这些政党的领导层有走出地下的愿望，但又害怕卢布林政府的报复，要求方面军指挥部协助实现这些意图。同时，他们承诺公开宣布退出地下活动，同时与他们一起退出地下活动的还有在“家乡军”部队里的党员。

关于新政府的组成问题，根据克里米亚会议的决定，“农民党”的代表提名维托斯·文森特和总理米科拉伊奇克担任波兰总统。“人民党”和“工党”的代表支持这些候选人，同时表示他们还将提名自己的代表。对此，他们被告知这个问题不属于我们的职权范围，因此我们不参与讨论。

昨天的会晤中，皮梅诺夫同志与副总统扬科夫斯基为“即将与各政党代表举行的会议制定了计划”。

该计划旨在罢免作为地下政府一部分的五个政党的领导层、副总统扬科夫斯基，也罢免组成地下“民族团结拉达”（波兰流亡政府的议会——译注）的政党代表。

今天，波兰政府（贝鲁特和奥索布卡—莫拉夫斯基）获悉这一合并，波兰政府已要求暂不逮捕名单所列政党的代表并给予他们（贝鲁特和奥索布卡—莫拉夫斯基）机会与有关部门（莫斯科）协商，安排与这些政党代表的谈判，以便同意他们中的一些人纳入政府或参与领导工作。

基本上贝鲁特的立场如下：

1.他们认为扬科夫斯基、米克拉伊奇克、维托斯等人是波兰人民自相残杀（华沙起义和在波兰有组织地反对波兰民族解放委员会的活动）的罪魁祸首，因此认为将他们绳之以法是正确的。

2.贝鲁特认为，让在波兰人民面前无罪的部分政党代表参与临时波兰政府的工作是可能的和适宜的，这样可以使这些党的地下成员显露出来。

奥索布卡—莫拉夫斯基支持贝鲁特的立场。

就我而言，我认为以谈判为借口，将各方代表召集到某个地方，再把他们看管起来，然后给贝鲁特和莫拉夫斯基机会与他们谈判，再决定逮捕或部分释放的问题，是正确的。

请您指示。

——谢罗夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.94.Л.122—126.副本，机打。

注释：

1945 年 2 月И·В·斯大林向Л·П·贝利亚做出了加强拘留在波兰活动的地下组织领导人的指示。在与白俄罗斯第一方面军指挥官会面的传言的帮助下，内务人民委员部的机构于 3 月 27 日至 28 日逮捕并将 16 名波兰政党领导人运送到莫斯科。在《真理报》于 1945 年 5 月 6 日正式发表关于他们被逮捕的消息前，外交人民委员 В·М·莫洛托夫误导了向外交人民委员部询问这些著名的波兰政治人物命运的英国特命全权大使 А·К·克尔。

277

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于从武装组织手中“清理”立陶宛苏维埃社会主义共和国领土的特别报告

（1945 年 4 月 12 日）

编号 417/б

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志、

苏联人民委员会——莫洛托夫同志、

联共（布）中央——马林科夫同志：

立陶宛苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部报告了如下有关从土匪和其他反苏分子手中清理立陶宛领土的进展信息。

从今年 3 月 15 日到 4 月 5 日，共逮捕和拘留 1648 人，其中：土匪和土匪帮凶 558 人、叛徒和变节分子 182 人、各种反苏分子 380 人。

在契卡行动中，639 名土匪被击毙。

我们的损失：16 人死亡、13 人受伤。

3 月 15 日至 4 月 5 日，内务人民委员部机关扣押并移交给驻军首长和兵役局 1485 名逃兵和逃避红军服役者。

在短短 9 个月的行动中（1944 年 7 月至 1945 年 4 月），根据最新数据，内务人民委员部机构逮捕并拘留了 29,999 人，其中包括：

土匪——2696

叛国者和叛徒——2579

各种反苏分子——1569

逃兵和逃避红军服役者——18639

共击毙土匪 5433 人。

捕获的战利品：大炮——5、迫击炮——8、反坦克步枪——1、机枪——814、冲锋枪——1231、步枪——7504、手枪——1000、炮弹——270、地雷——770、手榴弹——4728、炸药——180 公斤、子弹——1,040,200、无线电台——11、无线电接收机——100。

在被捣毁的土匪团伙中，最典型的有：

1.今年 3 月 17 日在潘涅维日县，作为契卡作战行动的结果，剿灭了乌什卡拉基斯土匪团伙。

杀死 5 人并活捉 2 名土匪（均为德国人）。

该团伙的武器库已被占领。

2.3 月 27 日，在同一个县开展清理行动，捣毁了以“皮拉特”、“格尼斯”、“古尔维纳斯”、“马尔库尼斯”为首的 4 个土匪团伙，共 187 人。

行动的结果是，120 名土匪被打死，18 人被活捉。

缴获：7 挺轻机枪、5 支冲锋枪、30 支步枪、15 支手枪和各种弹药。

被抓获的土匪招认，3 月 23 日，黑帮头目召开会议，决定联合行动，夺取几个乡镇的政权 2-3 天，以利用这段时间进行大规模的反苏鼓动。

已采取措施清除土匪集团的残余。

3.3 月 27 日，在考纳斯县波科宁斯基地区的一次契卡作战行动中杀死了 11 名土匪。

4.3 月 28 日至 31 日，在阿利图斯县开展了清理土匪头目布罗达乌什卡斯、维特卡乌什卡斯和帕拉乌什卡斯团伙的行动。

行动的结果是，94 名土匪被打死，103 人被活捉，29 名土匪帮凶被捕。

缴获战利品：2 挺重机枪和 11 挺轻机枪、22 把冲锋枪、54 支步枪、12 支手枪、18,230 发子弹、地雷和手榴弹。

在森林中，发现并炸毁了 7 个掩体，土匪曾藏身于其中。

行动仍在继续。

5.在特拉凯县捣毁了一个 6 人土匪团伙，他们藏匿在地堡中。

所有土匪均毙命。地堡被炸毁。

缴获战利品：2 挺机枪、6 支步枪和冲锋枪。

6.4 月 1 日，在阿利图斯县境内进行了一次契卡作战行动，打死土匪 3 人，活捉 26 人。

5 名土匪帮凶被捕。

从土匪处收缴：轻机枪、4 支冲锋枪、4 支步枪、手榴弹和 2 台无线电接收机。

7.4 月 1 日，在考纳斯县开展清理行动，剿灭今年 3 月底犯下袭击多基村并杀害两名当地积极分子罪行的什姆克乌斯匪帮。

行动的结果是，打死 5 名土匪，活捉 4 人。被捕者中包括该团伙的头目。

没收了武器弹药。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.95.Л.5—8.副本，机打。

278

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于“清理”红军作战部队后方的特别报告

（1945 年 4 月 17 日）

编号 438/б

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

遵照您关于清理红军作战部队前线后方敌对分子的指示，苏联内务人民委员部自本年 1 月到 4 月 15 日清除了 215,540 人。

包括：

敌方的情报和反间谍机构的特工和公开人员、恐怖分子和破坏分子 8470 人。

法西斯组织成员 123166 人。

与苏联作战的军队的指挥官和普通士兵 31,190 人。

警察机构、监狱、集中营的指挥和业务人员、检察和司法部门的工作人员 3319 人。

大型经济和行政组织的负责人以及杂志和报纸工作者 2272 人。

叛国者、叛徒、同德国法西斯军队一起逃走的占领军的狗腿子与帮凶 17,495 人。

其他敌对分子 29628 人。

在被清除的总人数中，德国人 138,200 人、波兰人 38,660 人、匈牙利人 3200 人、斯洛伐克人 1130 人、意大利人 390 人，和苏联公民（俄罗斯人、乌克兰人、白俄罗斯人、立陶宛人、拉脱维亚人、哈萨克人等）27,880 人。

在被清除的 215540 人中，被送往内务人民委员部的集中营 148,540 人、安置在前线监狱和内务人民委员部的集中营 62,000 人，和在行动期间和前往营地的途中死亡 5000 人。

苏联内务人民委员部进行的调查和核实工作表明，被捕者中有相当多的法西斯组织（工会、劳工、青年）的普通成员。

清除这些人是因为当时需要*最快地清理前线后方*的敌对分子。

需要注意的是，在被逮捕并拘押在内务人民委员部集中营的人中，只有不超过一半的人可以用于体力劳动，因为其余是老年人和不适合体力劳动的人。

到目前为止，被用于煤炭、有色金属行业、为发电厂和建筑工地提取泥炭的工人不超过25,000人。

苏联内务人民委员部认为有必要向各方面军内务人民委员部全权代表发出如下指示：

1.今后红军在德国境内推进时，在采取清理红军作战部队后方的措施时，仅限于清除以下几类人员：

a）德国情报机构的间谍、破坏和恐怖分子；

b)德国指挥部和敌方情报机构留下的在红军后方从事颠覆活动的所有组织和团体的成员；

c）非法电台、武器库、地下印刷厂的所有者，同时没收用于敌对工作的物质和技术基地；

d）国家社会主义党的活跃成员；

e）法西斯青年组织的州、城市和地区领导人；

f）盖世太保、保安局和其他德国讨伐机构的工作人员；

g）州、城市和区行政机构的负责人，以及反苏报纸、杂志的编辑和出版物的作者。

2.停止向苏联输出为清理红军作战部队后方而被捕的人员，并为他们就地安排必要数量的监狱和集中营。只有那些能带来利益的被捕者才可以被带回苏联。

3.审查上述各类被捕人员和不适合从事体力劳动的人员的材料，对没有敌对工作相关材料的，予以解除羁押，并尽可能有组织地将其送往居住地。

在此呈送苏联内务人民委员部的命令草案，请您同意。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.89.Оп.75.Д.5.Л.1—3.原稿，机打。

第一页有贝利亚的笔迹：“附斯大林同志批准的亲自拟定的报告。1945年4月17日。Л·贝利亚”。

*-*处有铅笔下划线。

279

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于苏联国家安全人民委员部第4局管理的特别报告

（1945年5月7日）

2684М

绝密

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

1943年4月14日，联共（布）中央决定，在组织苏联国家安全人民委员部时，在苏联国家安全人民委员部体系内设立了第四局，专门在暂时被占领的区域从事敌后工作。

由于苏联的被占领土已经全部解放，苏联国家安全人民委员部认为应当撤销第4局，所属人员转为国家安全人民委员部其它机构的人员。

在此呈送联共（布）中央的决议草案，请您决定。

——苏联国家安全人民委员

В·梅尔库洛夫

绝密

草案

全联盟共产党（布）中央委员会决议

（1945年）

对1943年4月14日的联共（布）中央委员会决议进行部分修正，撤销苏联国家安全人民委员部第4敌后特别工作局，因为其职能已经完成。

——联共（布）中央书记И·斯大林

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.8.Л.50—51.原稿，机打。

280

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林的特别报告附Я·И·扬科夫斯基和Л·Б·奥库利茨基的审讯笔录

（1945 年 5 月 11 日）

编号 538/6

速记

审讯笔录

扬-斯坦尼斯拉夫·约瑟福维奇·扬科夫斯基

（1945 年 5 月 8 日）

扬-斯坦尼斯拉夫·约瑟福维奇·扬科夫斯基，生于 1882 年，波兰人，维索克—马佐维茨基县克拉斯诺维利科耶村（波兰）人，受过高等教育，农艺师工程师，已婚。波兰伦敦“政府”驻波兰副总理。在被捕之前，他在奥特伦布西镇（华沙附近）非法居住。

问：在你之前的审讯中，你表明以你为首的波兰地下“政府”在波兰有自己的印刷厂。你出版了哪些非法报纸？

答：波兰地下政府出版了以下几份非法报纸。

我们的官方出版物是在华沙出版的中央月报《波兰立陶宛联邦》。我们还在华沙出版了报纸：《波兰立陶宛联邦西部大地》和《波兰立陶宛联邦东部大地》。

此外，还定期出版这些报纸的增刊并散发传单。

地下政党也出版非法报纸。在华沙出版了大约 60 种报纸，在波兰总共出版了多达 150 种不同的非法报纸。

问：红军解放波兰后，是否还继续非法出版上述点了名的报纸？

答：是的，但数量要少得多。华沙起义被德军镇压后，一些印刷厂被烧毁或处于被毁坏的建筑物的瓦砾堆下。然而，波兰地下政府直到最近才继续出版报纸《波兰立陶宛联邦》。

问：你们的地下媒体报道了哪些问题？

答：主要是关于国际政治形势和前线形势的文章。报纸上的一个重要位置专门讨论波苏关系问题。

问：你们报纸上关于波苏关系的具体报道是什么？

答：在地下报纸《波兰立陶宛联邦》中，我们表示担心苏联可能会侵犯波兰的独立并使其成为第十七个加盟共和国。它还写了关于波兰东部边界的内容。

问：众所周知，你们在非法报纸上发表了敌视红军的文章。您承认吗？

答：我承认在《波兰立陶宛联邦》上发表了一些根本不应该发表的关于波苏关系的文章，但我不能将它们定性为敌视苏联。

作为波兰地下政府的首脑，我不能免除自己对《波兰立陶宛联邦》报纸有时发表与苏联不完全一致的文章这一事实的责任。

问：早些时候，在审讯中，你供认说波兰地下“政府”有无线电台可供其使用。你们有多少个这样的电台？它们在哪里？

答：波兰地下政府有两三个非法运营的广播电台，我们通过这些电台与波兰伦敦政府保持联系、接收指令，进而将我们的工作信息传送到伦敦。

上述地下电台是在红军从德国人手中解放波兰领土后为我们工作的。

问：尽管红军司令部在 1945 年 1 月下令交出所有无线电装置？

答：是的，我作为波兰地下政府首脑，没有按照红军司令部的命令交出电台，在本案中以伦敦波兰政府的成员身份行事。

在红军后方担任非法职位时，我继续与波兰伦敦政府保持无线电联系，向后者通报红军抵达后波兰的政治和经济情况。

这是我的错，作为波兰地下政府首脑，我负有责任。

问：您知不知道“家乡军”在红军的后方还保留着武器、弹药和电台？

答：我知道“家乡军”部队有武器、弹药和无线电装置，但我对“家乡军”如何解散的情况一无所知，因为“家乡军”总司令奥库利茨基直接隶属于在伦敦的波兰军队总司令和总统拉什科维奇。

我知道奥库利茨基于 1945 年 1 月收到了来自伦敦的命令，要求解散“家乡军”，但他没有告诉我该命令的执行情况。

问：据悉，奥库利茨基通知您和波兰地下“政府”的部长，“家乡军”正式解散，其成员保留武器、弹药和无线电台。您承认吗？

答：我想起来了，确实在 1945 年 2 月，在一次地下部长会议的会议上，奥库利茨基通知我和我的副手——本、派达克和亚舒科维奇，他命令“家乡军”保留精简形式的“家乡军”军区参谋部，“家乡军”将他们的武器和弹药埋在地下。至于广播电台，我现在不记得奥库利茨基是否告诉过我关于它们的任何事情。

问：这是红军宣布解散“家乡军”后，在红军后方做的吗？

答：是的。

问：什么目的？

答：我个人认为，“家乡军”没有一个人愿意把武器交给红军指挥部，所以决定先把武器拿走埋起来，没有预先判断——什么时候上交武器以及把武器交给谁。

问：也就是说，红军司令部关于交出武器弹药和电台的命令你们没有执行，对吧？

答：大概是这样。

问：作为波兰地下政府首脑，您是否承认您允许“家乡军”司令部隐藏无线电台、武器和弹药，以免向红军司令部上交？

答：不，我不承认，因为“家乡军”的指挥权不隶属于我，而是直接隶属于伦敦波兰军队总司令和总统拉什科维奇。

问：您撇清自己罪责的企图是徒劳的。您作为波兰伦敦“政府”的副总理，在波兰代表这个“政府”，奥库利茨基向您和波兰地下“政府”的部长通报“家乡军”指挥部开展的活动并非巧合。

答：奥库利茨基在部长会议上就“家乡军”所采取的措施的发言，只是以披露信息为目的。

我不否认，作为波兰地下政府首脑，我对“家乡军”的行为负有政治责任。

我亲自阅读了审讯笔录，我的所有供述被准确记录。

扬科夫斯基

审讯人：

苏联国家安全人民委员部重大案件特别调查室主任、国家安全政委

弗洛德济米尔斯基

苏联国家安全人民委员部重大案件特别调查室高级调查员、国家安全少校

拉西普宁斯基

审讯笔录

利奥波德·布拉热维奇·奥库利茨基

（1945 年 5 月 7 日）

Л·Б·奥库利茨基，生于 1898 年，波兰族，克拉科夫省奥库利策村（波兰）人士，1925 年毕业于波兰总参谋部学院，波兰陆军准将。波兰“家乡军”司令。在被捕之前，他处于非法状态。

问：您被捕前住在哪里？

答：1945 年 2 月上旬，我从“家乡军”总司令部所在的琴斯托霍瓦搬到了米兰诺维克镇（华沙附近），并以商人的名义在那里非法居住。同时，我将化名“涅德兹维亚杰克”更改为“诺瓦克”。

问：您为什么从琴斯托霍瓦搬到米利亚诺维克？

答：自 1945 年 2 月起，我一直担任波兰地下政府的军事部长，在重组“家乡军”非法工作方面，我不得不与地下部长会议和“民族团结拉达”进行充分接触。部长会议主席扬科夫斯基和波兰地下组织的其他领导人在华沙附近非法居住。因此，我选择了米利亚诺维克作为我的居住地。

我的第一副政治工作副手热佩茨基上校也住在华沙附近（布尔维诺夫镇），第二副军长萨诺伊茨上校在克拉科夫。

问：在任命热佩茨基和萨诺伊茨为您的副手时，您与谁达成了协议？

答：1945 年 3 月下半月，我通知在伦敦的科潘斯基将军，我已任命萨诺伊茨和热佩茨基为我的副手。他们为科潘斯基的副手鞑靼将军所熟知，所以对他们的任命没有引起任何反对。

问：在上次审讯中，你供述说你指示热佩茨基在“家乡军”非法指挥部组织宣传工作。您有没有把您在给西奥布沙尔指挥官“斯拉夫波尔”的信中传达的指示告知热佩茨基？

回答：是的，我做过。当我于 3 月 22 日或 23 日在华沙的“巴尔特克”餐厅遇到热佩茨基时，我将我写给“斯拉夫波尔”的信交给他阅读。热佩茨基同意我对波兰局势的政治评估和我的工作指示。

我必须补充一点，早些时候我错误地表示我没有时间把这封信寄给“斯拉夫波尔”。事实上，我是通过我的联系人亚尼娜·普罗纳什科将这封信寄给“斯拉夫波尔”的。

问：您在这封信中表示，国内军和波兰地下组织的成员应该在战后建立一个反对苏联的波德联盟的方向上努力。谁给了您这样的政治指示？

答：没有人给过我这样的政治方针，在给“斯拉夫波尔”的信中，我陈述了我个人的政治取向。

我不会隐瞒战后建立一个针对苏联的波德联盟的可能性的想法，这个想法起源于华沙起义期间。

问题：您这样做的原因是什么？

答：1944 年 9 月下旬，“家乡军”司令“布尔”——科马罗夫斯基将军与驻华沙的德军司令、党卫队上级集团领袖冯·登·巴赫谈判投降。

为进行谈判，“布尔”——科马罗夫斯基指派“家乡军”参谋部 2 处（情报处）处长博古斯拉夫斯基上校作为“家乡军”总参谋部的代表。

在我在场的情况下向“布尔”——科马罗夫斯基报告德国人提出的投降条件时，博古斯拉夫斯基说，冯·登·巴赫认为波兰人有必要结束对德国人的武装斗争，因为波兰和德国的共同敌人是苏联。

当我在投降那天遇到“布尔”——科马罗夫斯基时，我告诉他，也许冯·登·巴赫是对的，“布尔”——科马罗夫斯基同意我的意见。

问：可以这样假设，“家乡军”总部首长的这种情绪影响了对德国人提出的投降条件的接受？

答：我不能这么说。我们决定投降，因为德国人在武装部队中拥有压倒性优势，并承诺考虑给予投降的华沙起义参与者以战俘的地位。

问：在奉行“家乡军”成员与德国人结盟对抗苏联的方针时，您不可能独立行动。请供述您与德国人有什么样的联系。

答：我理解调查组有理由问我这个问题，尤其是我任命了华沙起义后向德国投降并从德国集中营归来的“家乡军”总参谋部的军官作为我的副手，但我确定我个人和德国人没有任何关系，也没有人向我提出过这样的建议。

问：但调查组有充分证据表明，红军在波兰击败德军后，您领导的“家乡军”成员对红军进行了积极的颠覆工作。您承认吗？

答：是的，我承认我和地下部长会议主席扬科夫斯基没有执行苏联军事当局于 1945 年 1 月发布的关于交出无线点发射机、武器和弹药的命令。我亲自指示“家乡军”军区的指挥官将武器和弹药藏在安全的地方，小心地掩藏无线电发射机的位置。

问：您有多少个无线电发射器，它们位于何处？

答：到我被捕时，“家乡军”总参谋部在各军区有 6 个无线电发射机和大约 30 个收发站。我不知道这些无线电发射器的位置。

我们使用“家乡军”电台向伦敦波兰政府传送有关波兰政治和军事局势的情报。

问：同时还传送有关波兰红军部队部署和状况的间谍情报？

答：我没有指示军区指挥官向波兰伦敦政府传送任何有关红军的情报，但我知道这样的一个事实。

1944 年 12 月下旬，拉多姆斯科—凯尔采夫斯基军区的指挥官“梅奇斯拉夫”上校向伦敦发送了一条无线电信息，内容是关于在巴拉努夫城地区活动的苏联第 4 集团军的部署情况。

1945 年 1 月上旬，根据同一个“梅奇斯拉夫”提供的有关苏联军队在巴拉努夫城地区集结的信息，我通知伦敦的科潘斯基将军，预计苏联将在 1 月中旬对波兰发动大规模进攻。

我不知道任何其他这样的事实，但是，正如我已经招供的那样，在“家乡军”的每个军区都有非法的无线电发射机，它们当然可以用来传输有关红军的间谍情报。

问：也就是说，您承认组织针对红军的颠覆活动并破坏红军作战部队后方基本法的罪行？

答：是的，在此我完全认罪。我必须说，这一切都是在与地下部长会议的接触下完成的。

问：更准确地说说，这个接触是什么？

答：1945 年 2 月，在地下部长会议上，我宣布我已正式下令解散“家乡军”，小心翼翼地保持被掩盖的参谋部的原状以为接下来的非法工作做准备。我还说非法的参谋部已被指示保存现有的无线电发射器、武器和弹药。

参加部长会议的有扬科夫斯基、本、亚舒科维奇和“特劳古特”，最后一个人的姓氏我不知道。地下部长会议批准了我的行动，之后第二天我在“民族团结拉达”总委员会的一次会议上提供了这一信息。出席会议的有：扬科夫斯基、“民族团结拉达”主席普扎克以及“拉达”委员——巴金斯基、兹韦任斯基、乌尔班斯基和查尔诺夫斯基。我通知他们下达了解散“家乡军”的命令，并据此说为了进一步的清理工作而抛弃了非法的参谋部。我没有告诉他们现有的无线电发射器、武器和弹药的保存情况。

问：为什么？

答：根据与扬科夫斯基的商量好的说辞，我们已决定不将现有无线电发射器、武器和弹药的保存以及非法参谋部的实际任命情况告诉“民族团结拉达”，以免我们的措施过早曝光。此外，我们希望避免可能遭到的“民族团结拉达”成员的反对，因为他们都知道苏联军事指挥部关于强制交出无线电发射机和武器的命令。

直到 1945 年 3 月 25 日，在由扬科夫斯基、他的副手本和亚舒科维奇、“民族团结拉达”主席普扎克和委员巴金斯基、乌尔班斯基和查尔诺夫斯基出席的地下部长会议和“民族团结拉

达”总委员会联席会议上，我才报告了实际情况，即我们保存了正在运行的无线电发射器并隐藏了武器和弹药。对于向我提出的有关我们可以使用的武器和弹药数量的问题，我无法给出确切答案，并表示将在收到应在 1945 年 4 月 1 日之前提交给我的来自各地方的报告后再告知。普扎克和拉达其他成员说，如果我们被要求交出武器和弹药，我们将不得不交出。为了安抚拉达成员，我答应这样做，但实际上我不打算将武器和弹药交给苏联军事当局。

我亲自阅读了审讯笔录，我的所有供述被准确记录。

奥库利茨基

审讯人：

苏联国家安全人民委员部重大案件特别调查室主任、国家安全政委

弗洛德济米尔斯基

苏联内务人民委员部内卫部队总局副局长、国家安全政委

普罗辛

笔录被用波兰语读给我听，我没有异议。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.277.Л.92—101.原稿，机打。出版时没有附注。

281

Л·П·贝利亚、В·Н·梅尔库洛夫、А·Я·维辛斯基致И·В·斯大林关于奥库利茨基和其他人等案件起诉书草案的备忘录

（1945 年 5 月 15 日）

绝密

И·В·斯大林同志：

根据您的指示，我们提交了一份针对 16 个被捕波兰人的调查案件的起诉书草案：Л·Б·奥库利茨基、Я·И·扬科夫斯基、А·В·本、С·И·亚舒科维奇、А·Ю·派达克、К·В普扎克等人。

由于案件侦查工作尚未结束，对被捕者的讯问以及起诉材料的收集工作仍在继续，我们认为起诉书的最终文本将包括旨在充实起诉书内容的修改和补充。

我们认为以下措施是合理的：

1.将案件移送苏联最高法院军事审判庭；

2.责成红军军事检察院签署批准起诉书和刑事诉讼法规定的逮捕证；

3.责成苏联检察院指派检察官参与审判。

请您指示。

附：正文

——Л.贝利亚

В·梅尔库洛夫

А·维辛斯基

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.277.Л.102.原稿，机打。出版时没有附件。

282

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于奥库利茨基案进展的特别报告

（1945 年 5 月 31 日）

编号 620/б

И·В·斯大林同志：

在讨论了与 16 人（“奥库利茨基集团”）的审判准备相关的问题后，我们认为以下措施是合理的：

1.被指控的波兰人应由苏联最高法院军事法庭审判，其成员包括：主席——司法上将В·В·乌尔里希；审判员——司法少将Л·Д·德米特里耶夫和在书记员——司法上校А·Ф·科斯丘什科领导下司法上校В·В·修里金；预备审判员——杰蒂斯托夫司法上校。

2.以红军军事总检察长阿法纳西耶夫同志的名义拟定起诉书并指示苏联检察长戈舍宁同志批准它。

3.在审判中任命红军军事总检察长、司法少将阿法纳西耶夫同志和乌克兰苏维埃社会主义共和国的检察长鲁登科同志为国家公诉人。

4.提名律师布拉伍德、卡兹纳切耶夫、施瓦尔茨、杰涅克和奥切普作为被告的辩护人，他们过去曾参加过大审判且表现出色。

5.开庭地点是确定在名为工会大厦十月大厅的地方，通常在那里进行类似的庭审。

6.侦查结案和向被告人送达起诉书的截止日期为今年 6 月 9 日至 11 日，庭审时间约为 3 至 4 天。

7.以军事反间谍局“施密尔舒”的名义签发逮捕令并由白俄罗斯第 1 方面军军事检察长批准，并将日期定为 3 月 10 到 15 号，即在实际逮捕被告的前几天。

我们还认为，庭审向外国记者公开或者至少公开部分庭审进程是有好处的，在我们看来，这比不公开整个庭审过程会产生更好的印象。

以上措施是在维辛斯基同志的参与下拟定的。

请您指示。

——Л·贝利亚

В·梅尔库洛夫

译自：ＡＰＲＦ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.277.Л.141—142.原稿，机打。

283

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于在红军部队中重组苏联内务人民委员部全权代表机构的特别报告

（1945 年 6 月 22 日）

编号 718/б

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

自 1945 年 1 月以来，根据您的指示任命的苏联内务人民委员部第 1、第 2 和第 3 白俄罗斯方面军、第 1 和第 4 乌克兰方面军全权代表在履行自己的职责，内务人民委员部、国家安全人民委员部、国防人民委员部“施密尔舒”和内务人民委员部部队的业务人员都受他们的调遣。苏联内务人民委员部认为，鉴于红军部队在西部的新部署，将上述苏联内务人民委员部全权代表机构与红军部队进行相应重组是合宜的，即：

1.在德国境内朱可夫同志的集群中保留苏联内务人民委员部全权代表机构。

苏联内务人民委员部朱可夫同志集群的全权代表职务由谢罗夫同志担任，同时让其履行今年 6 月 6 日苏联人民委员会第 1326-301 号法令赋予他的职责。

2.任命苏联内务人民委员部全权代表：

а）科涅夫同志集群（在奥地利、匈牙利和捷克斯洛伐克境内）——梅什克中将同志，现任苏联内务人民委员部在乌克兰第 1 方面军全权代表；

б）罗科索夫斯基同志集群（在波兰境内）——将苏联内务人民委员部全权代表的职责分配给波兰公安部顾问塞利瓦诺夫斯基中将同志。

3.指令苏联内务人民委员部全权代表：

а）监督和管理将德国情报和反间谍机构特工清除出红军占领区的工作；搜查和扣押德国法西斯地下组织和敌人留下的所谓“人狼行动”团伙，以及由国防人民委员部“施密尔舒”、国家安全人民委员部和内务人民委员部机关通缉和拘留战犯；

б）领导位于这些地区的内务人民委员部部队；

c）领导方面军集中营遣返苏联公民登记检查和筛查委员会的工作；

d）领导方面军战俘处工作，确保战俘被运到苏联。

4.留下以下数量的内务人民委员部部队由上述内务人民委员部全权代表调遣：

谢罗夫同志——德国境内——10 个团；

梅什克同志——在奥地利、匈牙利和捷克斯洛伐克境内——6 个团；

塞利瓦诺夫斯基同志——波兰境内的 15 个团；

巴甫洛夫同志——在罗马尼亚和保加利亚境内——4 个团。

请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.58.Д.8.Л.52—54.原稿，机打。第一页有批示：“贝利亚同志，同意。И·斯大林”。

284

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫关于日本情报活动的特别报告

（1945 年 7 月 5 日）

编号 796/б

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志、

苏联人民委员会——莫洛托夫同志：

今年 1—6 月，日本驻满洲情报机构对我国境内感兴趣的对象进行积极侦察，特别注意收集红军部队部署、机场、防御设施、铁路和公路、部队和装备运输等信息。

在此期间被拘留的 282 名偷越国境者中，查出了 98 名日本特工。

日本情报机构主要集中在以下几个方向：涅尔琴斯克、叶罗菲巴甫洛维奇、贾林达、泰格达—乌舒蒙（外贝加尔湖军区）、阿尔哈拉—奥布卢奇耶、布拉戈维申斯克、比基普—哈巴罗夫斯克（哈巴罗夫斯克军区）、伏罗希洛夫、格罗德科沃和克拉斯基诺（滨海军区）。

5—6 月，日本情报部门特别关注远东铁路，目的是通过特工派往枢纽火车站地区确认红军部队自西向东转移的情况和军事运输的性质。

两个月内，派出了 18 名特工，他们接受了确定转运武器弹药和其它军用物资的军列构成，以及拍摄铁路对象和装载武器军列的特殊训练和实践演练。

正在紧锣密鼓地训练和部署配备照相机、示意图和其他侦察装备的武装特工，这些特工在侦察学校和日本军事使团的培训班中接受过特殊训练。

目前，有 300 多名特工在哈尔滨日本使团侦察学校和使团军事处情报班接受培训。

日本情报部门正在加强在苏联北部游牧民族中的工作，以组建对抗苏联的特工干部队伍。

2 月至 3 月，黑河军事使团挑动两伙鄂伦春人（54 人）跑到苏联——通过将训练有素的特务混到这些群体里的手段。

为了拘留日本特工并防止后者渗透到受日本特务活动影响最严重的外贝加尔军区和哈巴罗夫斯克军区的后方地区，设立了额外的边防哨所。

上述情况已让红军总参谋长安东诺夫同志知悉。

随附日本情报部门感兴趣的边界地带区域示意图。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.97.Л.151—152.副本，机打。

285

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林、B·M·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国外交部电报内容的特别报告

（1945 年 7 月 5 日）

绝密

副本

苏联国家安全人民委员部在此报告英国外交部于 45 年 6 月 30 日发给英国驻华盛顿大使的第 6972 和 6973 号电报的内容。这些电报的副本已发送给英国驻莫斯科大使。

这些电文是通过特工手段从伦敦获得的。

I.第 6972 号电报

“作为 45 年 5 月 29 日关于三位政府首脑在“终端”（三大国领导人会晤地点的代号）谈判问题的 5594 号电报内容的补充。

1.我们尚未收到国务院对我们将在会议上讨论的问题清单的答复。但是自从我们发出第 5594 号电报以来，我们已经根据最近发生的事件考虑了这些问题，我随后的电报包含了一份经过修订的问题清单。如果认为需要，该清单已以适合提交给苏联政府的形式拟定。

2.将此清单提交给国务院时，您必须提供以下说明：

波兰问题在如下情况下会出现在清单上，即与波兰相关的问题极其重要，或者此类问题出现在目前在莫斯科的谈判中。

4.根据第 1 “a”款，可以讨论诸如召开和平会议、未来的欧洲协商委员会以及用于处理被盟国占领国家问题的常设机制等问题。我们不打算在会议上讨论最终解决边界等细节。“b”项基本可结合第 5“a”项和第 5“f”项进行讨论。我们希望美国人在任何情况下都能在这些分项上采取主动。以前的第 9 “c” 款现在被包括在德国项中，在那里讨论这个问题似乎更合适。第 1 “a”款项是新的，很可能对于目前在伦敦进行的谈判来说是不必要的。

5.在第 3 项所包括的问题中，我们认为，无疑应该讨论“a”和“b”分项。我们希望美国人对“b”项采取主动，因为他们已经在我们面前提出了这个问题。所有分项“c”、“d”、“e”和“f”均在监

督委员会的职权范围内。我们现在正在询问监督委员会中的英国代表，他们是否认为在即将举行的会议上就这些问题的部分或全部交换意见是有意义的。

6.可能会出现与德国有关的其他问题，但我们不打算提出这些问题。这些问题包括：

1）关于德国商船的问题。

2）关于德国工业的未来的问题。

3）关于赔偿的问题。

4）关于德国舰队的问题。

5）关于被强行驱逐到德国的俄罗斯和波兰公民的问题。

如果俄罗斯人提出第四和第五个问题，那么将不可避免地讨论它们。但是，我们坚持认为前三个问题必须由赔偿委员会解决，而不是在这次会议上讨论。

7.我们自己不打算在这次会议上提出奥地利新政府的组成问题。

8.关于第 4 项，在我们看来，我们应该简要地通知俄罗斯人我们打算与意大利缔结和平条约，并表示希望俄罗斯人同意这一点。我们认为，目前没有必要与苏联政府讨论改变我们在意大利的政策和利益的问题。但如果可能的话，我们很高兴有机会在会后与伦敦的美国代表团成员交换意见。

9.我们希望美国代表团主动提出讨论第 5 项的“a”、“c”和“f”分项。“f”分项将提供一个机会来讨论希腊和，可能是阿尔巴尼亚的选举问题，如果它被认为是符合期望的。

10.关于第 6 项，我们认为海峡问题不可避免地应该在“终端”会议上讨论，这与苏土两国政府最后一次就两国关系交换意见有关。

作为我在第 6973 号电报中提到的问题的补充，我国代表团还将收到一些其他问题的指示，这些问题我们不打算提出，但如果苏联代表提出讨论，我们准备讨论这些问题。除了上述第 6 项和第 7 项提到的问题外，这些问题还包括：欧洲盟国的军备提案、意大利舰队的命运、威尼斯朱利亚问题、希腊国内局势、阿尔巴尼亚、波罗的海特殊管制、黎凡特问题、俄罗斯人对瑞士的态度问题和丹吉尔问题。”

II.第 6973 号电报

“作为关于三位政府首脑在“终端”谈判问题的 6972 号电报内容的补充。

在此转交将在即将举行的三政府首脑会议上讨论的修订问题清单。

一般问题：

a）解决欧洲共同问题的程序。

b）克里米亚会议关于解放欧洲问题的宣言的适用。

c）为东欧盟国代表创制条款。

d）战犯问题。

2.关于波兰的问题。

3.关于德国的问题：

a）波兰西部边界。波兰行政机构在前德国领土上的地位。

b）从波兰和捷克斯洛伐克重新安置德国人口。

c）就在柏林建立德国中央行政机构以协调交通等问题交换意见；未来的德国政府。

d）与政党及其活动有关的立场。

e）将德国视为一个经济整体。

f）在德国的宣传和情报上进行协调。

4.关于意大利的问题：

缔结和平条约。

5.关于巴尔干的问题：

a）前卫星国的内部情况，特别是在那里建立的政府形式。

b）与这些国家缔结和平条约的问题。

c）在缔结和平条约之前英国和美国监督委员会代表的规约。

d）以战利品为幌子移除工业设备，尤其是罗马尼亚的工业设备。

f）南斯拉夫局势及铁托与舒巴希赫签署协议的执行情况。

f）保证巴尔干国家的自由选举。

6.关于土耳其的问题：

a）俄土关系。

b）修订《蒙特勒公约》。

7.伊朗问题：

相互撤军的问题。”

——苏联国家安全人民委员

B·梅尔库洛夫

译自：《俄罗斯对外情报史文集（6 卷本）》第 4 卷 1941-1945，莫斯科 1999 年版，第 653—655 页。

286

B·H·梅尔库洛夫致И·B·斯大林、B·M·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于英国外交部与英国驻华盛顿大使的通信内容的特别报告

（1945 年 7 月 18 日）

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

外交人民委员部——В·М·莫洛托夫同志、

内务人民委员部——Л·П·贝利亚同志：

作为 45 年 7 月 5 日的第 4100/н号特别报告的补充，苏联国家安全人民委员部报告了英国外交部与英国驻华盛顿大使之间有关三大国领导人会议的电报内容。

这些文件是在伦敦通过特工手段获得的。

I.英国外交部 7 月 4 日给英国驻华盛顿大使的第 7125 号电报。

“作为 45 年 6 月 30 日我有关在“终端”（三大国领导人会议地点代号）会议将讨论问题清单的第 6973 号电报的补充。

现在看来，除了我们第 6973 号电报中列出的问题外，“一般问题”部分还应包括联合国执行委员会和筹备委员会的职位分配问题。筹备委员会第一次会议没有就此问题作出决定。因此，很明显，如果可能的话，我们应该在八月初举行的委员会会议之前，至少在执行委员会主席和秘书的问题上，在五个大国之间达成一致。如果能在“终端”政府首脑会议上达成协议，那么本月底前就有可能在这个问题上与法国和中国达成一致，之后就不会有太大的困难。执行委员会在第一次会议上同意五个大国通过的任何提案。因此，我们建议在“终端”讨论的问题清单中以“执行委员会和筹备委员会的职位分配”为标题增加项目 1“e”。

2.我们还认为，同时讨论国际组织的工作地点问题是符合期待的。这个问题在执行委员会的议程上，很有可能会在 8 月份进行讨论。三大国领导人的会晤无疑是一个非常适合就这一重要问题进行一般性意见交流的场所，但是，我们认为不应在“终端”作出最终决定，因为很明显也应该考虑其他国家的观点。

3.因此，我们建议在“终端”讨论的问题清单中添加以“关于国际组织工作地点的初步意见交流”为标题的第 1“f”项。”

II.英国驻华盛顿大使馆 45 年 7 月 6 日给英国外交部的第 4709 号电报。

“作为对我 4708 号电报的补充。

1.我们转达马修斯（美国国务院欧洲事务司司长）就国务院提出的在三大国领导人会议上讨论的一些问题的表态内容。

第 1 项，关于本项，马修斯出示了美国驻伦敦大使奉命提交给外交部的备忘录文本。该文件提议，针对与缔结和平条约和解决领土问题有关的紧迫问题的审议，五个主要国家的外长设立一个理事会，拟定与意大利、罗马尼亚、保加利亚以及在稍后阶段，如果五国政府同意的话，与德国——当（五个主要国家）共同承认有一个可以与之缔结此类条约的德国政府时——的条约（在将它们提交联合国审议之前）。这个委员会，也可以在普遍同意的前提下，研究其它紧迫的欧洲问题。

2.马修斯表示，美国政府将等待英美两国政府在三大国领导人会议上就此问题的立场进行讨论的结果。如果这一立场获得认可，那它就应该尽可能快地在成立理事会的提议会议上审议，这个会将在柏林那里或不大的欧洲首都之一（他提到了布鲁塞尔和维也纳）进行。他还表示，美方提议将理事会组成人员仅限于五个主要盟国的外长，这被视为避免乌克兰和白俄罗斯等其他国家参与和平条约起草的最便捷方式。提案中没有考虑与芬兰缔结和平条约的问题，因为美国并未与芬兰交战。

第 2“a”项，马修斯表示，美国政府认为，在监督委员会成立后，欧洲咨询委员会应尽快解散，由监督委员会接管其职能。

第 5 项，马修斯指出，重要的是要千方百计使苏联政府不仅加入欧洲经济委员会、欧洲煤炭委员会和欧洲国际运输组织等组织，而且积极与它们合作，确保它们工作的成功。

第 6 项，马修斯指出，自由通信和信息涉及需要说服苏联政府在其占领区允许电报通信以及允许外国记者前往那里的问题。

马修斯随后表示，他早先对我在第 4620 号电报中报告的修订问题清单的评论反映了国务院的观点，可以补充以下见解（下面的参考文献参考贵方第 6973 号电报中修订的问题清单）。

第 3“a”项，国务院相信苏联政府将在三大国领导人会议上提出波兰西部边界问题，并希望在会议上得到解决。

第 3“b”项，马修斯证实，美国人不想主动提出重新安置来自波兰和捷克斯洛伐克德国人的问题，并表示他们尚未开始与我们讨论这个问题。（我从您 6651 号电报第 3 段获悉，美国驻伦敦大使馆就捷克斯洛伐克驱逐匈牙利人一事向您作了介绍。我们已经采取措施，可以假设，国务院相信我们将率先提出重新安置其他少数群体的问题。）

第 7 项，马修斯表示，美国政府同意我们的立场，即从伊朗的撤军应该建立在对等的基础上。

3.关于您 7125 号电报中提到的补充条款，我今天从国务院获悉，他不反对即将举行的三大国领导人会议讨论这些问题，但认为这些问题应该由下一个层级，不是由三大国领导人讨论，而应由其外长讨论，因此不应出现在官方议程上。”

——苏联国家安全人民委员

B·梅尔库洛夫

译自：《俄罗斯对外情报史文集（6 卷本）》第 4 卷 1941-1945，莫斯科 1999 年版，第 656—658 页。

287

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于立陶宛苏维埃社会主义共和国党和苏维埃机关工作失灵的特别报告

（1945 年 7 月 19 日）

副本

绝密

贝利亚同志亲启：

我认为有必要提请您注意一些反映立陶宛苏维埃社会主义共和国苏维埃和党的机关的状况和工作的资料。

I.关于反苏分子对苏维埃和党机关干部的腐蚀

至今年五月担任立陶宛农业人民委员的维塔伏塔斯·瓦泽林斯卡斯，联共（布）党员，现在担任共和国国营农场人民委员。他在自己的公寓里窝藏前农业部长和德国占领当局司法所成员——维特库斯以使其免于被捕。

瓦泽林斯卡斯弄得人民委员部的机关及其外围机关中到处都是反苏分子。

比如说，他接受了一些被立陶宛共产党（布）中央委员会指出并确认为政治上可疑的人参加工作，包括：

a）立陶宛国营农场人民委员部畜牧处处长约萨斯·彼得莱基斯，前大地主，在占领期间是一个讨伐支队的成员，获得了两个庄园。对彼得莱基斯的逮捕手续正在办理。

b）人民委员会农业处处长梅切斯拉夫·布拉西什基斯，根据调查材料，他曾经是“立陶宛解放军”（ЛЛА）维尔纽斯参谋部的成员。

布拉西什基斯不日将被逮捕。

c）立陶宛国家计委农业处处长约萨斯·卢卡舍维丘斯，非党员，在德国人治下的维尔纽斯地区担任高级农艺师，深得占领军的信任，被充作翻译。

d）夏乌莱土地处处长安东纳斯·凯利亚楚斯，非党员，曾被德国人逮捕，同意帮盖世太保识别党和苏维埃积极分子的身份，之后他被释放。

逮捕凯利亚楚斯的手续正在办理。

e）特拉凯土地处处长佩特拉斯·祖卡斯，来自富农家庭，积极的民族主义者，在占领期间，与其他民族主义者一起，杀害犹太人，诽谤中伤人民领袖和苏维埃政府。

祖卡斯不日将被逮捕。

卫生人民委员是反苏分子维塔伏塔斯·吉尔加乌斯卡斯，他与处于非法状态的“立陶宛自由军”最高司令部的一名成员扎谢耶维丘斯保持联系。

立陶宛副公用事业人民委员弗拉达斯·巴奈蒂斯，联共（布）党员，表达反苏民族主义观点，与反苏分子有关联，其兄弟是“ЛЛА”团伙的成员。

立陶宛共产党（布）扎拉赛县县委书记安托纳斯·梅利尼斯在入党时隐瞒了他是一名绍利斯特分子（民族主义者），他在档案中发现的个人履历证实了这一点。他的弟弟，也叫安托纳斯，在德军手下的一个讨伐支队中，随着红军的到来，他逃避了征兵，处于非法状态。梅利尼斯使他合法化并试图将他送到内务人民委员部业务学校。

立陶宛共产党（布）沙基艾县县委书记塔季扬娜·扬柴基杰经常表达民族主义情绪。在被国家安全人民委员部告知，县国民教育处处长瓦伦丘斯是德国人手下的一个法西斯组织的负责人时，她说：“这没有什么危险，现在会有用。我们县委局批准了，让他继续工作。如果这样较真的话，那么没有一个立陶宛人可以担任领导职务。”

担任泰尔希艾市苏维埃主席的爱德华斯·霍达谢维丘斯，曾在德国人手下担任过这座城市的副市长。

霍达谢维丘斯不日将被逮捕。

担任克雷廷加市苏维埃主席的约萨斯·卡尔巴乌斯塔斯在德国人统治时期曾与该市的盖世太保合作。

已下达了逮捕卡尔巴乌斯塔斯的指示。

在克雷廷加县担任国民教育处处长的约纳斯·斯捷利斯，德国人统治时期，在考纳斯市的盖世太保服役。

我们正在准备逮捕斯捷利斯。

担任维尔卡维什基斯县国民教育处处长的安东纳斯·拉加里斯在德国人统治时期充当过警察，参加过逮捕苏联人的行动。

已下达了逮捕拉加里斯的指示。

担任特拉凯消费合作社联社负责人的爱德华斯·卢卡乌斯卡斯对苏维埃政权怀有敌意。1941 年红军撤离期间，他组织了一个团伙，向红军士兵开枪，为德国人创建的普列哈维丘斯的军队效命。

担任克雷廷加县贸易处处长的约萨斯·纳马戈卡斯，前商人，1941 年背叛祖国，越过前线，与盖世太保合作。

纳马戈卡斯不日将被逮捕。

在今年 6 月 25 日至 7 月 5 日短短 10 天内，我们逮捕了立陶宛共和国和县机构的以下高级官员：

1.约萨斯·察派基斯，曾任立陶宛人民委员会工业处处长，反苏叛乱组织“ЛПС”（“立陶宛游击队联盟”）军事总部行政处处长。

2.约萨斯·佩特拉乌斯卡斯，曾任通信人民委员部立陶宛全权代表处副处长，“ЛПС”行政总部成员。

3.切斯拉瓦斯·苏尔比拉，曾任体育文化运动委员会主席，“ЛПС”活跃成员。

4.马塔斯·马斯塔乌斯卡斯，曾任立陶宛苏维埃社会主义共和国国家计划委员会高级经济师，“ЛПС”组织负责人。

5.安东纳斯·帕什卡，曾任立陶宛教育人民委员部图书处处长，“ЛПС”组织的积极成员。

6.维克托拉斯·伊努凯吉斯，曾任立陶宛农业人民委员部首席农艺师，“ЛПС”组织成员。

7.斯塔西斯·斯图尔加斯，曾任通信人民委员部立陶宛全权代表处供应局负责人，“ЛПС”成员。

8.菲力克萨斯·威尔比茨卡斯，曾任通信人民委员部立陶宛全权代表处基本建设处处长，“ЛПС”成员。

9.特奥菲利亚·彼得鲁扎伊特，联共（布）预备党员，曾任特拉凯县国民教育处处长，恐怖组织“ЛЛА”县总部成员，等等。

II.关于在党和苏维埃组织工作中缺点的事实

1944 年 12 月 30 日联共（布）中央委员会“关于立陶宛党组织在打击立陶宛—德国资产阶级民族主义者方面的紧迫任务”的决议以及立陶宛共产党（布）中央全会和中央局的许多决定没有得到执行，而一些人民委员部已经遭到混入那里的反苏分子和可疑分子的破坏。而这并没有引起立陶宛党和苏维埃领导人的应有关注。

在我们看来，共和国的党和苏维埃领导人工作很少。他们不深入基层，宣传鼓动工作没有应有的措施，工人和农民看不见也听不见。

立陶宛共产党（布）中央委员会书记斯涅奇库斯同志有的时候工作到晚上，而其他人——人民委员会主席格德维拉斯同志、他的副手——格里戈劳斯卡斯、尼恩卡、舒马乌斯卡斯、人民委员们，以及中央委员会、人民委员会和人民委员部的工作人员，通常不工作到晚上。

春天，这个问题在立陶宛共产党（布）中央局进行了讨论，在那里花了很多工作来证明该机构每天至少工作 8 小时的必要性。

最高苏维埃主席团主席帕莱基斯同志在这次主席团会议上叹了口气说："还是在过去的日子好（在斯梅顿手下）——我为自己工作了 6 个小时，不欠任何人，也没有人打扰你。"

帕莱基斯同志与他的家人分享绝密的国家事务，这些信息从他们那里迅速渗透到对我们怀有敌意的人身上。

比如，今年 6 月 3 日，科布罗夫和阿波罗诺夫同志抵达维尔纽斯，通知苏斯洛夫同志和斯涅奇库斯同志就逮捕反苏地下组织成员和土匪的行动的准备工作以及预计驱逐帮派头目家属的行动。同日，斯涅奇库斯同志把关于这些行动的所有的东西都详细讲给了杰德维拉斯和帕莱基斯，而今年 6 月 6 日，我们的特工"斯托戈夫"报告："昨天，6 月 5 日，我会见了'立陶宛自由军'（'ЛЛА'）市总部的一名成员柳达斯·布尔卡，他告诉我，'ЛЛА'维尔纽斯地区总部的一名成员吉利斯过几天将来维尔纽斯。他的到来非常不合时宜，因为这几天将开始大规模逮捕。

当我对这个消息的可信度表示怀疑时，布尔卡告诉我这些消息是准确的，因为中学六年级的帕莱基斯的女儿告诉他，国家安全人民委员部的上将来到了这里，住在卡缅街，并下令在立陶宛人中进行逮捕，所以最好不要在家里过夜。"

今年 6 月 22 日白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部别利琴科同志向我们发送了他的那条线上的特工"罗扎"的特工报告，证实了我们特工"斯托戈夫"的报告。

最近，我们收到了有关帕莱基斯直接的反苏的表现的情报材料。

比如，我们可靠的特工"雷因斯"在今年 6 月 22 日报告："1945 年 6 月 22 日，我与《苏维埃立陶宛》报社编辑部的一名工作人员约纳斯·考内卡斯进行了一次交谈，他以前是民粹派——农民党的成员，现在他主持时事栏目。

考内卡斯告诉我：布尔什维克——契卡人员的为所欲为超出了所有界限。因此，前几天我的好朋友不得不去拜见主席团主席尤斯塔斯·帕莱基斯，后者作为好朋友对他说：'你知道，

我们共产主义者和立陶宛人的道路是不同的。鬼知道，莫斯科会发出什么令人作呕的指示，而我们必须执行。我们很清楚我们的国家和人民想要什么，但我们无能为力。克里姆林宫的黑暗势力无所不在，这无疑会导致立陶宛民族的堕落和消亡。’”

我们已经向您汇报了今年6月份破获和捣毁军事叛乱组织“立陶宛游击队联盟”在维尔纽斯的中心的情况。

摧毁这个中心的主要行动是我们在今年6月23日至24日进行的，当时立陶宛党和苏维埃领导人在莫斯科开会。那几天，我们逮捕了在共和国人民委员会和各人民委员部中从事领导工作的该组织成员30多人。

斯涅奇库斯同志、杰德维拉斯同志、帕莱基斯同志等立陶宛政府成员6月26日从莫斯科飞回来。斯涅奇库斯同志立即给我打电话：“我们不在的时候城里发生了什么，城里为什么这么恐慌，谁被抓了，为什么？”

晚上我去了中央委员会，向斯涅奇库斯同志和格德维拉斯同志汇报了基本情况。两人都感到很窘迫，也没问什么，只是斯涅奇库斯同志说：“在莫斯科的时候，我们报告说我们一切都很好，但这里有这样的不愉快。您知道，毕竟7月10日我们有一个共和国知识分子代表大会，我们如何向他们解释这些逮捕？”

在我离开中央委员会后斯涅奇库斯同志叫帕莱基斯同志、人事书记库钦斯卡斯、宣传书记普雷克沙斯同志、人民委员会副主席尼恩卡、舒马乌斯卡斯以及副书记比利亚维丘斯去了他的办公室。

斯涅奇库斯同志和格德维拉斯同志同上述人员从晚上11点一直到凌晨4点都在闭门交谈。而没有一个俄罗斯族的同志——中央书记和中央局其它委员被邀请参加这次会议。

今年7月6日科布罗夫和阿波罗诺夫同志来到立陶宛共产党（布）中央，并再次向苏斯洛夫同志和斯涅奇库斯同志汇报了与民族主义地下组织和土匪斗争的进展。

第二天，正如中央第二书记伊萨琴科同志跟我说的那样，斯涅奇库斯同志在科布罗夫同志和阿波罗诺夫同志汇报之后来到了中央委员会并且十分沮丧，他指示伊萨琴科帮他主持中央局会议，在会议当中全程保持沉默，会后他留下了格德维拉斯同志和帕莱基斯同志，他们就某些事情进行了长时间的讨论，第二天早上，处于某种原因，他们三个人都离开了考纳斯。

在我们看来，在当前形势下，需要对党和苏维埃领导人的工作进行有效的批评，并果断地根除这种不成体统的现象。同时，苏斯洛夫同志在中央全会和其它会议上的讲话更具有说教色彩。地方领导对这些指示和讲话习以为常，不重视，也不给自己下结论。他们从来没有反对过

苏斯洛夫同志的决定。然而，也没有人去执行这些决定，因为没有对他们的执行采取适当的监督。

最后我想说苏斯洛夫同志个人的工作差劲。自组织联共（布）中央局以来，他有一半的时间在莫斯科，用一两天的时间走访几个县一两次，白天工作的时间经常可以看到他看小说，他在晚上（除了没有代表大会或会议的少数情况）时工作是很少见的。

——特卡琴科

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.98.Л.127—134.副本，机打。

288

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于逮捕被动员到工业企业的德意志人团伙的特别报告

（1945 年 8 月 7 日）

编号 879/б

副本

绝密

国防委员会——斯大林同志、

苏联人民委员会——莫洛托夫同志、

联共（布）中央——马林科夫同志：

内务人民委员部莫斯科州局逮捕了一批被动员到工业部门的德意志人，人数为 6 人，他们在莫斯科附近的 3 号矿井工作。

该团体的成员在被动员到煤炭行业的德意志人中进行反苏鼓动，集体逃离工作地，并在煤矿安排破坏活动。

在今年 7 月 18 日举行的一次非法集会上，1919 年出生的德意志人И·И·巴尔特被选为反苏团伙的领导人。集体逃跑和破坏活动定于今年 7 月 29 日实施。

7 月 27 日，内务人民委员部局的工作人员从 3 号矿压缩机组墙下取出 600 克硝铵炸药、底火和一根俾氏导火索。并在搜查中额外从团伙的一名成员因赫滕特里茨手中缴获了 900 克硝铵炸药、底火和 76 米的俾氏导火索。

为了协助调查，苏联内务人民委员部的工作人员被派往现场。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.98.Л.52.副本，机打。

289

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林和В·М·莫洛托夫关于安排护卫贝鲁特、哥穆尔卡和奥索布卡—莫拉夫斯基的特别报告

（1945 年 8 月 11 日）

编号 906/б-5084/м

副本

绝密

斯大林同志、

莫洛托夫同志：

波兰公安部顾问塞利瓦诺夫斯基同志和苏联国家安全人民委员部第六局工作人员彼得洛夫同志完成了贝鲁特、哥穆尔卡和奥索布卡—莫拉夫斯基的人身护卫的安排工作。

至今年 7 月 19 日，护卫队由国家安全人民委员部第六局工作人员带领，但根据卫兵们表达的愿望，卫兵被从波兰公安部移交给波兰人。

为此，从公安部工作人员中选拔了在罗兹学校接受再培训的专职人员。护卫队的指导和监督工作由苏联国家安全人民委员部第六局的工作人员进行。

公安部还采取措施，精简政府护卫处的工作，开设一个单独的诊所为政府成员提供服务并安排食品组，为贝鲁特住所安排安保，规划在城市中的常用路线并创建特殊勤务部门。

彼得洛夫同志和护卫贝鲁特、哥穆尔卡和奥索布卡—莫拉夫斯基的苏联国家安全人民委员部工作人员被召回莫斯科。

——Л·贝利亚

В·梅尔库洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.98.Л.159.副本，机打。

290

К·В·罗扎耶夫斯基给И·В·斯大林的信

信件说明：

现在是弄清楚1920年代和1940年代出现的众多法西斯组织是什么的时候了。在俄罗斯侨民中，他们真的属于法西斯运动还是只是在他们的名字中使用了“法西斯主义”这个词？

由于革命和内战，大约有400万人离开了俄罗斯。最大的难民安置中心是柏林、巴黎、索非亚、布拉格、哈尔滨。1922年，满洲的首府哈尔滨是大约12万俄罗斯侨民的家园——占该市总人口的四分之一。离开祖国后，他们并没有失去回国的希望，他们中的许多人开始了旨在对抗苏维埃国家的政治活动。哈尔滨市涌现出几十个社会组织，最著名的政党之一是成立于1931年5月26日的俄罗斯法西斯党。

早在1920年代中期，法西斯思想就吸引了一些来自俄罗斯的侨民，主要是年轻一代的代表。在哈尔滨法学院和该市的其他高等教育机构，有一个“俄罗斯学生协会”，其1926年的主席是П·И·格利巴诺夫斯基，思想家是А·Н·波克罗夫斯基，“俄罗斯法西斯组织”（РФО）的创始人之一。据一些报道，这个阴谋组织成立于1922年。

РФО的第一批成员大多是哈尔滨法学院的学生，他们喜欢各种反共主义。法西斯主义作为打击布尔什维克主义的有希望的武器所吸引了他们的注意，当时意大利的事件就生动地证明了这一点。1925年，“俄罗斯法西斯组织”改制为“远东俄罗斯工人法西斯民族工团联盟”，又称“法西斯工团主义者联盟”。

最初，联盟的工作由А·Н·波克罗夫斯基和Б·С·鲁缅采夫领导。它的许多成员以前是各种君主主义组织的成员。该联盟在哈尔滨学生和侨民中从事法西斯思想的宣传。该组织的第一份计划文件是出版于1926年11月21日的《我们的要求》。联盟从一个学生小组演变成了一个几百人的组织。

从成立之初，联盟就寻求中国地方当局的支持。众所周知，满洲政府将这个组织用于自己的目的。因此，在1928年3月，法西斯分子试图干预国家航运局的罢工：他们组建了罢工破坏分子部队，但失败了。此外，自1928年以来，他们参与了被派往苏联领土的“游击队”的创建。

1931年，日本开始占领满洲，1932年3月，日本宣布建立伪满洲国。关东军有兴趣联合

俄罗斯侨民并利用它对抗苏联。

1931 年，“法西斯工团主义者联盟”改组为俄罗斯法西斯党（РФП），这是一个准军事组织，拥有严格的中央集权的指挥机构。自 1932 年以来，РФП一直与日本在满洲国的行政机构密切合作。日本驻哈尔滨军事使团实际上指导了РФП的所有活动。РФП的成员被用于所谓的“内部工作”——为日本情报部门提供特工，然后将这些特工派往苏联境内进行间谍活动和破坏活动。他们从事法西斯文学的传播和“支部”——РФП的初级组织——的组织。为在苏联进行地下活动而训练的“战友”（法西斯分子的互相称呼）的也有计划地参与了“军事任务”。1936 年，在铃木军事使团代表的带领下，一支 40 人的“游击队”准备被派往苏联境内。率领支队的是М·П·马斯拉科夫，该支队被称为“第一法西斯救国支队”。日本人参与了将支队转移到苏联的过程。不久后，它在阿马扎尔车站附近被内务人民委员部部队消灭。

哈尔滨法西斯分子从日本人那里获得资金，用于出版《我们的道路》[①]和《民族》[②]杂志。

鼓动工作是РФП的主要活动之一。党有一个纲领和章程。党的最高委员会思想部门编制出版了“飞翔的法西斯丛书”，其中包括几十本宣传册、“法西斯基本知识”和许多其他宣传刊物。

法西斯分子认为他们的主要目标是为建立基于宗教、民族和劳工原则为俄罗斯民族服务的组织的俄罗斯劳工国家而斗争。

РФП的确切成员人数未知。在全俄法西斯党（ВФП）第三次代表大会上——这个名称被组织使用了一段时间——提到了 19800 名成员。К·В·罗扎耶夫斯基在他的《反苏 20 年》报告中称这个数字为 3 万。除哈尔滨外，РФП还在日本、美国、芬兰、波兰、塞尔维亚、德国、瑞士、保加利亚、摩洛哥等多个国家设有分支机构。在РФП下，“俄罗斯妇女法西斯运动（РЖФД）”、“先锋派青年联盟（MCA）”、“青年法西斯联盟（СЮФ）”和“法西斯娃娃联盟（СФК）”——针对 5 至 10 岁的儿童——被创建。

俄罗斯法西斯党的活动虽然受到日本人的严格控制，但并不总是让日本主子满意。因为，它是一个政治组织，其利益与俄罗斯的命运息息相关。在纳粹德国袭击苏联之后，РФП的领导层向希特勒表示祝贺，因为他们确信苏联体制即将崩溃。但很快，在了解到德国法西斯分子在被占领土上的暴行后，该党突然改变了立场：开始谈论在对德战争中帮助俄罗斯的必要性。到那时，日本满洲政府与РФП领导人之间的分歧也加深了。日本人开始怀疑俄罗斯法西斯分子为苏联从事间谍活动。1942-1943 年，РФП的活动几乎被完全禁止，其出版社也被关闭。

РФП的常任领袖康斯坦丁·弗拉基米罗维奇·罗扎耶夫斯基于 1931 年被选为总书记，并在 1943 年该党停止活动前一直担任该党的首脑。他于 1907 年 8 月 11 日生于布拉戈维申斯克一

个公证员家庭。18 岁那年，对苏维埃政权不满的К·В·罗扎耶夫斯基去了满洲，定居哈尔滨。自 1925 年成为法学院学生以来，他从事政治活动，并与各种侨民出版物合作。在他的同时代人看来，他是一位才华横溢的记者和演说家。他认为自己是俄罗斯的爱国者，梦想摧毁苏联的共产主义政权。

他生命的最后一年，即 1945 年 8 月至 1946 年 9 月，对罗扎耶夫斯基来说是极其艰难的一年，不仅是等待死亡。在他的灵魂里有一个重新思考他所有活动的过程，有一种理解和纠正旧的错误和迷惑的渴望。例如，罗扎耶夫斯基曾于 1945 年 9 月有机会离开中国前往美国，但他更愿意前往苏联，在那里他被承诺“可以根据自己的才能和能力自由选择居住地和从事的工作”。但是他被从北京送到长春后，就在那里被捕了，然后到赤塔，最后到莫斯科，到卢比扬卡。1946 年 8 月下旬，在莫斯科对反苏白卫组织、日本情报人员谢苗诺夫、罗扎耶夫斯基等人的案件进行了审判。根据苏联最高法院军事审判庭的判决，罗扎耶夫斯基被枪决。

在满洲的俄罗斯法西斯领导人的政治生涯就此结束。

РФП并不是俄罗斯移民中唯一的法西斯组织，欧洲国家和美国也存在类似的联盟。他们出现在俄罗斯移民中，既是对白卫运动失败的反应，也是试图找到一种方法来打击苏联的共产主义意识形态。该运动的代表将法西斯主义视为俄罗斯的福音。

提请读者注意的是，К·В·罗扎耶夫斯基给И·В·斯大林的信写于 1945 年 8 月，一式三份。第一份是在“日本情报人员的反苏白卫组织的庭审”К·В·罗扎耶夫斯基案的材料中，第二份的命运未知，第三份保存在旧金山（美国）的俄罗斯档案馆。罗扎耶夫斯基信件的第一份是用打字机在 17 页纸上打出来的，这些纸页是从一个有衬里的笔记本上撕下来的。对斯大林的称呼：“人民的领袖……”和签名是用墨水写的。有铅笔痕迹。纸张的大小是 18x26 厘米。这封信可能被对折并用线缝合，因为留存有 5 个针孔。

信很可能是被与苏联情报部门或苏联在中国的军事行政当局有某种联系的人寄到了苏联。

致人民的领袖、苏联人民委员会主席、红军大元帅约瑟夫·维萨里奥诺维奇·斯大林：

每一个工人、每一个集体农户都可以给俄罗斯民族的领袖——苏联各族人民的领袖——И·В·斯大林同志写一封信。或许我，一个在我和那些跟随我的人看来，在为我们的祖国——俄罗斯的解放和复兴而进行的斗争中牺牲了 20 年的生命俄罗斯侨民，也会被允许给您写一封信。

我想解释一下所谓的俄罗斯法西斯联盟存在和活动的动机并找到对所谓俄罗斯侨民的悲剧的理解。因此，这封信并没有太大的个人意义，而是试图为许多努力为祖国带来一切力所能及帮助的俄罗斯人勾勒出一条摆脱僵局的出路。

二十年前，在以二等学生的身份从学校毕业后，为了我的学业，我弃苏联而去，这被我的家庭所拒绝，我第一次面对苏联生活的现实：尽管事实上学校理事会推荐我去一所大学。我带着对正义、对我们人民的民族生活的模糊渴望离开，并陷入了充斥着昨天的“白俄人”和今天的“红俄人”矛盾的哈尔滨侨民世界，我在那里找到了符合我当时心境的青年组织。我在哈尔滨法学院的学生中——我 1925 年进入到了这所学校——发现了一批俄国法西斯组织的积极分子，我毫不犹豫地与留在苏联对岸的家人决裂，加入了这个组织的行列，以同共产主义进行斗争，在我看来，这么做是为了俄罗斯未来的伟大和荣耀！

在共产主义里，国际主义对我们来说是不可接受的，我将其理解为蔑视俄罗斯和俄罗斯人、否认俄罗斯民族、（提倡——原文没有，译者加）自然科学和历史唯物主义、宣布宗教是人民的鸦片。

我们被意大利法西斯主义的榜样所吸引，据称它创造了一种新的生活方式，结合了民族主义和社会正义。据称墨索里尼的运动依赖于他的广大劳动人民——我们给自己设定了一项巨大的、本质上是乌托邦式的任务——来创建俄罗斯民族的全国劳工运动。

我们选择了“上帝、民族、劳动”作为我们的口号，从而将我们的意识形态定义为宗教与民族主义的结合，并承认劳动、精神和身体至上。在这种意识形态的进一步发展中，我们确保我们的俄罗斯人民始终为宗教自由、民族富裕和社会正义而奋斗，而且本质上，为了我们民族的潜在愿望，我们不需要任何外国的形式，我们给自己贴意大利标签的举动完全是随意的，而且是没什么理由的。

那一年，1925 年，我 18 岁。1935 年，我被选为我们所谓的全俄法西斯党——此时的组织的主席。得益于大力宣传和来自哈尔滨中心的不断的组织努力，我们成功地在世界所有国家组织了分支机构——青年运动实质上成为了在世界所有国家的俄罗斯侨民积极分子的运动。

我们创造了这样一个未来的景象，一个新的俄罗斯，无论是人还是国家都不会剥削人：既没有资本家也没有共产主义者——“不是倒退回资本主义，而是向法西斯主义前进！”我们喊道，我们把“法西斯主义”这个词掺入了完全随意的解释，与意大利法西斯主义或德国国家社会主义无关。在我们计划的核心中，我们将自由选举的苏维埃的理想建立在工会和生产部门国民联盟中全体居民统一的基础之上。

1941 年，在我的《俄罗斯国家社稷》一书中，我试图为我们想象的这个乌托邦式的新俄罗斯勾勒出一个具体的计划：国民议会和主导的国民政党。那时我们没有注意到，在现代俄罗斯，也就是苏联，国民政党的职能已经由联共（布）来执行了，而且苏联的苏维埃随着新的、

年轻的俄罗斯知识分子的成长而变得越来越民族化，这使得《俄罗斯国家社稷》中臆想的国家实质上就是苏维埃社会主义共和国联盟。

由于被剔除了正确的信息而收获的是来自各方的扭曲的信息，我们没有注意到在苏联不是在进化，不是在转变，而是在进行一个更深、更重要的过程——深化革命的过程，其中包括了人性的所有美好愿望。我们没有注意到，这个有机的、自发的过程与斯大林的指导天赋、斯大林党的组织作用以及俄罗斯红军日益增长的重要性密切相关。

曾经为统治阶级所使用的宗教，在这些阶级被消灭后，获得了其基督教的第一性的奥义——它成为了劳动人民的宗教。东正教不可避免地不得不与苏维埃国家达成协议，它已成为劳动人民和有信仰的俄罗斯民族有组织的生活的支柱，并在教会与国家之间缔结牢固的联盟。我们不是为一个从属于天主教的国家——教会而战，而是为这样一个自由的联盟和我们通过公议选举的宗主教领导的教会而战，这些是 1945 年在斯大林的领导下才得以实现的。

斯大林主义，使共产主义与宗教和解，使共产主义与民族和解。早在 1940 年，我们就读到过关于一个属于И·В·斯大林同志的民族的精彩定义！我有勇气引用这个定义——从《国际灯塔》杂志到《俄罗斯国家社稷》。很明显，作为前统治阶级工具的爱国主义和民族主义已经成为胜利的无产阶级的强大力量。

但是很长一段时间我们都被犹太人的问题搞糊涂了。在哈尔滨，犹太资本家对劳动人民的投机和剥削的立场令人瞠目结舌。所有国籍的犹太人，包括苏联的和资产阶级国家的犹太人，组成了一个犹太社区，为他们的阶级和民族的利益工作——与犹太民族针对所有其他民族相关的国际和国内利益。我们对犹太人没有种族态度，但在研究了犹太人的历史后，我们得出的结论是，向每个犹太人灌输上帝选民思想的犹太宗教，认为只有犹太人才是人，所有的其余的人只是“类人生物”——这种野蛮的塔木德教将每个犹太人变成了每个独立国家里的反社会的敌人。

马克思主义形式的共产主义对我们来说似乎是世界犹太资本夺取世界权力的工具之一，我们有偏见地在苏联的统治机构中寻找犹太人的名字，证明我们的国家确实如此——被世界犹太人占领。直到最近我们才得出结论，正是世界社会革命，剥夺了犹太资本家和与他们一样的人们的生产资料、工具和金融资本，这是可以根本地、符合普遍利益地解决犹太人的问题，以及旧世界许多其他无法忍受的矛盾。与此同时，我们发现犹太人在苏联的影响力早已减弱。此外，我们得出的结论是，通过将犹太人从封闭的塔木德环境中拉出来，苏联的教育也会使犹太人成为苏联民族大家庭中和平的人，而犹太无产阶级比犹太银行家更接近全世界有组织的无产阶级

的利益，正如我们，俄罗斯的去国者的利益，比任何俄罗斯和外国的资本家的利益更接近我们所属的俄罗斯无产阶级的利益一样。

我们没有立即得出这里列出的结论，因为在我们前进的道路上有许多怀疑、欺骗、诱惑和动摇。说完“а”，我不得不说“б”和侨民字母表后面所有的字母——反革命和反动派破产的字母表。由于错误地将我们的民族劳工运动称为“法西斯主义”，我们被迫将许多俄罗斯概念与外国法西斯运动的概念联系起来。加之生活在国外，接触外国势力，我们就成了俄罗斯外敌的俘虏和奴隶。作为热爱我们人民和祖国的民族主义者，年复一年，我们与祖国隔绝开来，事实上变成了国际主义者和我们所憎恶的资本的打手。与此同时，国际主义者变成了民族主义者，将国际性的马克思主义发展为俄罗斯的列宁主义和全人类斯大林主义，使民族主义与共产主义永远和解。

岁月，无望的流亡生活的艰难、可怕的岁月，就这样流逝着。我们的前额和后背都受到了来自四面八方的打击。我们被称为“苏联”、“美国”、“日本”和“德国”的特工。我们被流亡反动派追捕，因为我们对君主制的想法持保留态度。外国情报部门试图利用我们，我们被那些我们被迫与其一起共事的人逮捕、折磨和杀害。命运报复了我们无意识的去国，而这逐渐演变成了分离和背叛。

我们被迫不能以我们想要的方式说话和行动，我们不得不赞美德国人和日本人。但是，在表达反对共产主义和联共（布）的想法时，我们尽量不反对苏维埃国家，尽管我们说服自己，苏联不是俄罗斯，而是“俄罗斯的监狱”，但我们始终不顾一切禁令，满怀爱意地谈论祖国、俄罗斯和伟大的俄罗斯民族。在我们的反共工作中，我们从虚妄的，即“一切有利于俄罗斯解放的手段，即应当通过不惜一切代价推翻苏维埃政权从犹太人手中解放祖国”的原则出发——以及这种可怕的不道德的策略性的原则预先确定了俄罗斯法西斯联盟实际活动的所有错误和罪行……

阴森的妄想！出于对祖国的热爱，去反抗祖国！

“不惜一切代价从犹太共产主义手中解放祖国”的虚妄原则注定了我的致命错误——德苏战争期间俄罗斯法西斯联盟错误的总路线。

我们欢迎德苏条约，认为德国和苏联的相互影响将导致犹太人在俄罗斯和世界上的影响力减弱，并削弱我们国家的历史敌人英国。尽管这种言论在满洲有明显的危险，我还是在《民族》上发表了И·Т·谢洛科夫的一篇文章《阿道夫·希特勒和维亚切斯拉夫·莫洛托夫》。然而，我们也欢迎德国反对苏联的运动，认为不惜一切代价解放祖国总比继续这种“囚禁”——我所臆想

的，“在犹太人的枷锁下”的囚禁要好。

尽管遭到党的最高委员会和绝大多数俄罗斯法西斯分子的抵制，我还是把这条总路线强加于俄罗斯法西斯联盟，并坚持到底。

因此，我要求该组织的所有成员，建立在专断的原则之上，不要谴责亲德政策，因为公平地说，我必须独自一人对它负责。不是为了自我辩护，而是为了解释，我认为有必要说明我的亲德宣传是基于绝对的虚假信息。我们所有的信息来源，包括日本人和来自苏联的难民，都向我们保证，“俄罗斯人民只是在等待外部推动力，犹太人枷锁下的局势是无法忍受的。”与此同时，德国代表肯定地说，希特勒没有征服俄罗斯的计划，战争很快就会随着俄罗斯民族政府的建立和与德国达成光荣的和约而结束……我向“无名领袖发出呼吁”，呼吁苏联内部的强力人士拯救国家，拯救数百万在战争中被判死去的俄罗斯人的生命，推举出任何一个 X 司令，即一位能够推翻“犹太政府”、创建新俄罗斯的“无名领袖”。当时我没有注意到，这个命中注定的、天才的、数百万劳动人民无名领袖正是人民的领袖И·В·斯大林同志。

之后，德国代表误导我们，德国在俄罗斯问题上的错误是围绕希特勒的不同影响的争斗造成的，特别是戈林代表了一种坚持与俄罗斯或苏联结盟，共同与英国战斗的倾向……在我的坚持下，我们将亲德政策延续到了最后。但是，从本质上讲，早在 1937 年，我们就停止了俄罗斯的所有经常性的工作以及独立的情报和反间谍活动。然后他们就开始从我们这里带走我们最好的工人，把他们当作受奴役的仆人。1938 年，日本和满洲当局关闭了我们的报纸《我们的道路》，1940 年——我们在满洲国的中心和组织，只允许小规模和严格控制的非法工作，1943 年被迫停止所有工作……自 1943 年以来，指导组织死亡前成功改名为俄罗斯民族劳工联盟后，俄罗斯法西斯联盟实际上并不存在。只有来自不同国家的战友团体仍然保持着共同的理念，热爱他们以前的组织，并相信他们领导层不妥协的意识形态性质。但在该组织死亡之前，尽管审查制度非常严厉，但在对德国的赞扬声中，我们仍设法在 1941 年在《民族》杂志中进行了强烈抗议，反对将敖德萨，以及所谓的“德涅斯特河沿岸”并入罗马尼亚，并于 1943 年在上海发表了 M·M·斯帕索夫斯基[③]的文章《德国和俄罗斯》，在文章中我们预言德国会因它对俄罗斯和俄罗斯人的错误而灭亡。

我们当时之所以称之为错误，是因为我们不知道他们所犯下的罪行，因为当时日本和满洲国当局剥夺了我们与苏联难民的联系，苏联报纸、苏联驻满洲代表也没有试图向我们提供任何信息和指引正确的方向……从 1943 年开始，我们开始动摇，寻找新的出路。在极短的时间内，我们不得不赞美日本人。然而，即使在这种悲惨的情况下，我们也试图利用一切机会来保护俄

罗斯的利益、俄罗斯的名字、俄罗斯的荣誉、俄罗斯侨民的整体和个别的俄罗斯人。有许多事实和文件证明确实如此。1935 年，日本和满洲当局不相信我们对满洲侨民群体的影响，成立了“满洲帝国俄罗斯侨民事务局”，其中包括我和我们其他领导人，把它置于从属于另一个以极端反动和自私自利的所谓“谢苗诺夫分子”（著名的阿塔曼·谢苗诺夫的私人朋友和帮凶）的境地。

作为事实上隶属日本军事使团且不受侨民社区及当局的任何控制的俄罗斯人部门，该局 10 年的丑恶工作主要是同法西斯主义的斗争，从破坏的角度来看，当然，如果在这场斗争中，这个局没有从事对俄罗斯侨民的压迫和破坏活动的话，显然可以归功于它。但该局没有捍卫俄罗斯的利益，而是进行了卑鄙的阿谀、令人作呕的谄媚和奴颜婢膝。直到 1942 年，我设法离开了这个局。这得益于这个局东部区机构负责人Б·Н·舍普洛夫和几十名正直的俄罗斯人，苏联公民和侨民的激将，这些人里包括我们组织在中东铁路东线的青年领导者，他们在经历酷刑逼供并被迫着承认为苏联进行工作后在牡丹江被日本人枪杀。我们最高委员会的秘书К·В·阿尔谢尼耶夫，顺便说一句，他们从他那里强行取得了一份供词，据称我妻子参与了苏联的工作，在他险些丧命，并且动用了所有的关系后，我们才在半年后艰难地使他获释。但是，在 1942 年我摆脱了局之后，我被强行动员到日本的军事使团中服役，对此我的反应极其消极，以至于我很快就被允许不去服役并做自己想做的事。1943 年，在例行的被捕——我人生中第五次被捕之后，我回去成为了“被改组”的侨民局领导层的一员，而这次“改组”使侨民局的工作雪上加霜。

在局里期间，我们通过政府部门的工作人员，尽一切努力保护俄罗斯人民免受无休止的误解和愚蠢的肆意处置。我们反对将俄国侨民转为满洲国公民，反对荒谬的学校改革——改革企图让俄国学校满洲化。我们为在侨民学校中维护上帝的律法、为俄语、为对苏联进行客观研究、为学校从属于俄国人的管理而斗争。我们为在满洲保存和发展俄罗斯文化、为俄罗斯艺术而斗争，并为东正教提供了难以察觉但有时是实质性的帮助。我们以通报（侨民）情绪为借口提交了数不胜数的没有任何托辞的关于“满洲帝国”中俄罗斯人民难以忍受的法律、经济和文化处境，关于食品和消费品的短缺，关于各类官员——俄罗斯族的和日本族的官员——的虐待和暴力行径，关于各种日本和满州机构的专横行为的报告。比如，在今年年初，我向日本军事使团概述了侨民局的缺点并描述了俄罗斯侨民困苦的问题，并且在七月的协和会[④]会前讨论会议上说“满洲国的俄罗斯侨民正在消失，因为他们处于不可能（生存）的法律和经济形势之下”。广大的侨民圈子不知道这项工作，但它的文件和证人幸存了下来。他们会说实话。尽管我与我

们所居住的国家的警察和宪兵机构的许多工作人员保持友好关系，但在我的政治活动的20年里，没有一个俄罗斯人，无论他的国籍是什么，因我而被捕。相反，许多人得救了。这些年来，我不是任何人的雇佣兵，无论是德国人还是日本人。我们从所有的俄罗斯侨民那里筹集用于政治活动的经费——通过我们的反共斗争基金和商业企业。我们时不时从德国人和日本人那里得到点零头，这点零头完全无法支撑我们业余活动的开销。就我个人而言，我只从日本人那里拿到了三年的薪水，比我作为一名记者的收入（以及我年轻时的收入）少得多。为了我的想法，我和留在苏联的父母分道扬镳（父亲和兄弟后来逃亡，母亲和姐姐被流放到图鲁汉斯克）。我的第一个儿子后来死于营养不良，我的第一任妻子由于无法承受艰难的生活条件而离我而去。离开哈尔滨后，我把我现在的妻子和两个年幼的孩子留在了哈尔滨，因为她更愿意满怀希望地等待苏联军队的到来。我理解她并赞同她的决定。我相信布尔什维克不会报复这个为丈夫和父亲真诚地爱祖国和孩子的年轻职业妇女。为什么我在苏日战争第三天就离开哈尔滨跑到英美势力范围那里？因为我不想参加对我们祖国的战争，这似乎是不可避免的……

因为我们在德苏战争中犯了这个可怕的错误，所以我们不能在苏日战争中重蹈覆辙，这场战争是苏联为了俄罗斯国家利益而发动的。不是立即，而是逐渐地，我们得出了在此列出的这些结论。而我们得到并确定：斯大林主义正是我们错误地称之为俄罗斯法西斯主义的东西：这是我们的“俄罗斯法西斯主义”，清除了极端、幻想和虚妄。我们有几次试图找到拜见我们人民代表的途径，以与其讨论脱离日本的计划，但苏联代表对这种尝试没有信心，甚至没有好奇心。与此同时，我们处于这样一种境地：我们一点点的疏忽不仅给我们带来折磨和死亡，而且给成千上万信任我们的人带来了折磨和死亡。至于日本人对我们的态度，只需要提及一件事，有一次我通过我享有当局充分信任的副官B·H·米谷诺夫拆解我们的一个通信设备时，有电流通过（意思应该是安装了窃听器——译注）。

8月8日，在苏日开战的第一天，我们的动摇就结束了。上次我不得不假装我想参加这场战争，但同时我们开始销毁所有档案和反共文学。我对我被任命为日本俄文报纸《时间》和哈尔滨广播电台反共宣传组织者的反应是完全不寻常的消极，第二天我也没有出现在那里。在关于对苏联进行广播报道的提议上，我写了这样一篇演讲稿，审查制度没让其通过的演讲稿。当被要求提供反共材料时，我提供了旧的重印本。关于8月11日离开满洲国的提议，我当即同意，条件是可以带着和我一起走到底的战友。每个人都认为我是在从布尔什维克手中拯救他们。这是一个犹豫不决的夜晚——是离开还是立即联系苏联领事馆或红军？在找不到任何交流机会的情况下，我和几位活跃的工作人员决定离开，以便在脱离日本政府后，第一时间与苏联代

表进行谈判，并宣布我们无条件地转向苏联一边。

临行前，我给不打算离开的总局局长Л·Ф·瓦西里耶夫斯基发送了一份给苏联当局的声明，为前俄罗斯法西斯联盟错误的总路线承担责任。我唯一的财产——留声机唱片集，其中有许多稀有品，也许其他地方都没有拷贝了——我留下了一张纸条，上面写着要将其转给莫斯科任意一个俱乐部的苏联代表。

带着沉重的、几近自杀般的绝望感，我登上了火车，把我从家人和朋友身边带到了一个未知的远方。我们每时每刻都在期待死亡，期待我们在火车上被了结。Н·П·吉普卡耶夫[⑤]恳求我不要走，因为他坚信会出现这样的结果，以便以一个局外自由人，而不是一个意外被捕的囚犯的身份，自愿无条件地向苏联当局投降，以对我的错误有个交代，如果可能的话，为了祖国的利益，我可以通过积极的、自我牺牲的工作来纠正它们。

一到天津，我和我最亲密的伙伴们立即执行了这个决定。我的这封信真正意义上不仅是政治上的忏悔，也是坚定决心的声明——从现在开始，沿着真正的俄罗斯道路，沿着苏联道路，沿着斯大林、苏联政府、斯大林的党为人民带来的道路——这条道路将我带到哪里：死亡、集中营抑或新工作的可能性。

就像在临终前找到失去的祖国——母亲的浪子一样，我们真切、坦诚、公开、坦率地希望与祖国和平相处，我们希望我们的亲人、我们的俄罗斯人民和他们的领导人明白，打动我们的不是个人或阶级的自私动机，而是炽热的爱，对祖国对人民的爱，以及在环境和矛盾中迷失的民族意识和民族情怀，这注定我们要努力奋斗，要付出沉重的牺牲，要遭受无可救药的折磨和残酷的僵局。我们恳请约瑟夫·维萨里奥诺维奇·斯大林和苏联代表为我们指明走出僵局的出路。

由于我们组织的领导结构，所有前俄罗斯法西斯分子，不排除管理机构的成员，不应为他们被迫从事的事情负责。我把我的术语、用语、策略和总路线强加给其他人、我自己，以及压垮我们、束缚我们手脚的外部力量。

我准备为俄罗斯法西斯联盟的所有工作负责，我准备出庭，我准备在必要时死去。如果苏联当局需要的话，他们可以杀了我——无论是否经过审判。但如果在大家都欢欣鼓舞的日子里，当宏大的重建工作需要每一个个体时，需要所有行业时，需要还有思想的、诚实的、率直的、有活力的，有一定的知识、政治经验、演说、报刊、写作和组织才能的人工作时，唉，我愿以何等的热情和鼓舞，把余生献给祖国、党和领袖！五天的死亡车厢之旅将我和我的同伴——我们快乐而无私的劳动青年和经验丰富的政治战士——从准“法西斯”和反共分子——重新塑造

成民族共产主义者、没有入党的布尔什维克和坚定的斯大林主义者。我38岁了，大部分时间都是在国外度过的，我想开始新的生活。

我们希望在斯大林主义的旗帜下，在昨天被憎恨，明天被爱的红旗——新祖国和革命的旗帜下，引领我们组织在世界所有国家的残存——在亚洲、在欧洲、在北美和南美、在澳大利亚的残存，以便前俄罗斯法西斯联盟将在与祖国和仍然分离的身处国外的数百万俄罗斯人民同祖国和祖国政府的大规模和解浪潮之中（与祖国和祖国政府）实现和解。

如何使我们为国所用？——首先，是宣传侨民与当今社会主义俄罗斯的和解，安排侨民大规模移居苏联，传播有关俄罗斯、其领导人、其政府、其执政党的真相，安排与外国情报机构的严厉斗争并促进自己的情报事业发展，在不同国家建立与苏联关系融洽的圈子和协会，吸引侨民和每个国家的民族劳工“法西斯”分子站在苏联这边。

这是对外工作。但是，今天的许多侨民，包括我们在内，可以在家乡，在我们陌生但迷人的美丽的祖国的城市和村庄中发挥作用。许多人可以帮助苏联开发满洲和其他地区。满洲国的前俄罗斯“法西斯分子”和其他国家的前俄罗斯“法西斯分子”一样，知道得多，记住得多，知道很多人，理解很多事。很难事先核算出他们能为祖国的事业和革命事业带来的好处。要把尽可能多的诚实俄罗斯人与外国人分隔开来，让他们重新为俄罗斯服务，也就是为斯大林和苏维埃政权服务，把俄罗斯带到一个无法企及的高度。因此，如果我们还活着，我们会勾勒出我们下一步生活的任务。为了祖国和革命的利益，我请求伟大的斯大林和苏维埃社会主义共和国联盟最高苏维埃对所有俄罗斯侨民作出最人道的大赦，让每一个被外国圈套缠住的俄罗斯人都有机会用诚实的劳动来弥补他们的错误。

就我个人而言，我不奢求任何，愿意以合理的角度来决定我的命运。

我不放弃我的想法，更何况这些想法在某些方面与苏维埃国家的指导思想相吻合，并坚决放弃过去20年的反苏生活，我把自己、我的亲人、我的战友、我的组织交到在这个决定性的火热年代我们的人民将其历史命运所托付之人的手中。死无故土，生无故土，或与故土为敌，皆为地狱。我们要么死在祖国的命令之下，要么在任何地方为祖国做任何事。我们希望通过光辉的斯大林的思想的胜利，为我们的人民和全世界的神圣和平事业贡献我们所有的力量。

最后，让我引用我们的侨民诗人对祖国的话：

我们在旗帜上印上你的名字。我们在没有你的情况下长大——为你成长。

同时补充上今天在从大西洋到太平洋各处回响的，在全世界劳动人民心中升起希望和喜悦的口号：人民领袖斯大林万岁！不可战胜的俄罗斯红军——人民的解放者万岁！苏维埃社会主

义共和国联盟——各族人民的支柱万岁！苏维埃国家——俄罗斯国家万岁！光荣属于伟大的俄罗斯民族！

光荣属于俄罗斯！

天津，1945 年 8 月 22 日

——К·В·罗扎耶夫斯基

P.S.这封信是在条件不允许，在充满敌意和不确定的环境中，在最轻微的疏忽都可能导致死亡的情况下写成的。我没有时间去细想和打磨这封信，而是将所有的内容一股脑地倾倒在信纸之上。对于不可避免的错误、拙劣的文笔和没有遵守的各种行文规范，我深表歉意。这封信将以三种不同的方式一式三份发出。

注释：

①《我们的道路》——日报，法西斯的机关刊物。编辑B·B·科罗波夫。出版至 1938 年（哈尔滨）。

②《民族》——法西斯的机关刊物，月刊，十日刊，后来是周刊、双周刊。出版至 1943 年（上海）。

③斯帕索夫斯基——В·В·格罗特，俄罗斯移民，上海俄罗斯法西斯联盟（РФС）部门负责人，1940-1943 年，任РФС上海中心办公室主任。

④协和会，由日本人于 1933 年创立并管理的满洲国国家组织“满洲帝国人民协和会”。

⑤Н·П·吉普卡耶夫，俄罗斯侨民，РФС成员。

出版信息：俄罗斯科学院俄罗斯历史研究所《国史》，莫斯科版；《科学》1992 年第 3 号，第 224 页。

291

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于苏联内务人民委员部全权代表的特别报告

（1945 年 8 月 30 日）

编号 10236

斯大林同志：

今年一月，按照您的指示，在红军作战部队方面军后方任命了苏联内务人民委员部的全权代表，他们被赋予的任务是：跟随红军在被解放的敌占领土上行动，采取必要的契卡措施，以查明和逮捕德国情报机构的间谍和破坏分子、恐怖分子、各种敌对组织的成员、土匪叛乱团体、警察官员、法西斯组织成员和其它法西斯机构的重要官员，以及没收非法电台、印刷厂、武器。

为了执行这些任务，苏联内务人民委员部的代表被指示让方面军的“施密尔舒”机构参与工作。

今年 6 月，随着对德战争的结束和方面军的重组，苏联内务人民委员部全权代表的工作发生了变化，您已经批准了。

在这些变化之后，既定的办法规定，苏联内务人民委员部全权代表监督和指导由国防人民委员部的“施密尔舒”机构、国家安全人民委员部和内务人民委员部进行的清理红军占领区的工作。

最终，在今年的 7 月 4 日，苏联内务人民委员部发布命令，苏联内务人民委员部方面军全权代表机关，除了苏联内务人民委员部朱可夫同志集群全权代表之外，均被解散。该命令规定国防人民委员部“施密尔舒”机构在谢罗夫同志执行分配给他的任务时给予必要的帮助，与之前的规定相反，当时苏联内务人民委员部的全权代表使用“施密尔舒”机构来进行特工业务工作。

我同时报告，根据苏联人民委员会 1945 年 6 月 6 日的决议，谢罗夫同志是朱可夫同志民政问题上的副手。

在此呈送如下文件*：

1）苏联内务人民委员部 1945 年 1 月 11 日给斯大林同志的备忘录副本。

2）1945 年 6 月 22 日苏联内务人民委员部给斯大林同志的备忘录副本。

3）1945 年 7 月 4 日苏联内务人民委员部令。

4）1945 年 6 月 6 日苏联人民委员会第 1326—301cc号决议。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401с.Оп.2.Д.98.Л.340—341.副本，机打。

*文件没有出版。

292

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于为柏林盟军管制委员会会议修缮房屋的特别报告

（1945 年 9 月 2 日）

编号 1033/б

副本

绝密

国防委员会

И·В·斯大林同志：

美国指挥部为柏林盟军管制委员会会议翻新了房屋。苏军司令部被分配了 14 个房间，包括朱可夫同志、他的副手和工作机构的办公室。

假设美国指挥部利用正在进行的装修，设法在苏联指挥部的驻地内开展窃听作业，为此将采取以下措施：

1.一组由三人组成的窃听业务专家被派往柏林核验和检查分配给苏军司令部的房舍。

2.朱可夫同志机关的全体工作人员，即参与准备会议材料的人，将被警告不得在这些房间进行任何秘密谈话。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.98.Л.358.副本，机打。

293

В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于从伦敦收到的特工情报的特别报告

（1945 年 9 月 7 日）

副本

绝密

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Л·П·贝利亚同志：

苏联国家安全人民委员部报告在伦敦收到的关于英国外交大臣贝文关于英国外交政策问题主张的特工情报。

“1.贝文在与他的助手的谈话中，就英国外交政策问题表达了以下考虑。

此时，英国的外交政策主要是延续性的，但与联合政府的外交政策也存在一些差异。

例如，我们认为前任政府未能在欧洲推行其政治路线。它对俄罗斯人做出了太多让步，这些让步导致欧洲在某种意义上被划分为势力范围，现任政府对此并不认同。

基于此，我们的政策应该旨在防止巴尔干半岛成为俄罗斯的势力范围。这里就彰显出了的里雅斯特和奥地利问题的重要性。

艾登对欧洲的经济和社会民主运动知之甚少，这就是他不必要地向俄罗斯人做出一些让步的原因。利用经济秩序和社会民主运动的时机，我们可以迫使欧洲的这些力量采取对我们有利的行动，而艾登则做不到。

至于西方联盟和法国，我们无论如何也不打算把这个问题操之过急。

西方外交联盟的过早建立将阻止我们开展反对欧洲分裂为势力范围的斗争，即与俄罗斯人的斗争。

我们现在或许可以奠定西方集团的基础，但我们不应该表现出我们在这件事上一本正经地忙活。

利用我们在的里雅斯特、在奥地利的地位和中东的特殊条件——埃及、伊拉克、伊朗——我们应当让经济因素为英国的政治利益服务，不是建立一个西方集团，而是建立一个欧洲和中东集团。

至于意大利，建立与英法关系一样密切的英意同盟关系是存在客观条件的，因为这三个国家都将成为拟建立集团的成员。但在这里，我们也不应该着急。可以通过利用煤炭这样的经济压力手段使意大利依赖我们，但到目前为止，我们还没有将煤炭用于此目的。此外，美国人目前奉行的政策正在推迟英意和解，尽管这不会持续太久。

为了消解意大利共产党人的活动，我们需要一点时间。

关于西班牙，我们希望与佛朗哥的继任者建立良好的关系。只有在佛朗哥没有因内战而被推翻的情况下，我们才能实现这一目标。内战只会为俄罗斯人的利益服务，而英国政策的主要目标之一就是让俄罗斯人远离西班牙。

2.在另一次与外交部新闻司司长雷德斯代尔以及外交部部分领导的谈话中，贝文说：

的里雅斯特将成为大港口——地中海的阿姆斯特丹，整个东南欧都将仰赖这个港口供养。的里雅斯特应当成为一个开放港口，这对英国和帝国贸易具有重要意义。因此，不允许南斯拉夫对这个港口进行排他性控制是非常重要的。的里雅斯特必须在国际社会或意大利的控制之下。

的里雅斯特的共产主义政权会损害我们在奥地利的利益，因此我们将其附加到我们的奥地利政策当中是有重大意义的。

与罗马尼亚有关的问题应在盟军管制委员会内进行讨论。遗憾的是，美国将米哈伊国王卷入此事，并将讨论置于委员会讨论范围之外。

英国政府更迭不会影响希腊局势。作为战时内阁成员，我一直支持英国政府在希腊的政策。工党政府对希腊的政策自然是上届政府政策的延续。应该牢记的是，希腊是巴尔干地区唯一拥有批评和反对自由的国家。

我将与莫洛托夫就东欧国家的警察制度进行认真的交谈。

俄罗斯的政策旨在实现两个目标：将人民的生活水平提高到美国和英国的水平，并确保国家安全。

由于二十年的孤立，俄罗斯仍然非常多疑。我会尽量消除这种疑虑。

就我们在中东的政策而言，它的目标之一是改善广大民众的状况，缩小少数富人和大多数穷人之间的巨大鸿沟；改善民众的社会服务，为民众提供医疗保障等。这样的政策将有助于增加这些国家人民对英国和中东国家的好感。”

——苏联国家安全人民委员

B·梅尔库洛夫

译自:《俄罗斯对外情报史文集(6 卷本)》第 4 卷 1941-1945,莫斯科 1999 年版,第 660—662 页。

294

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于在白俄罗斯西部各州打击地下武装进展的特别报告

（1945 年 9 月 17 日）

编号 1089/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В·М·莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

白俄罗斯苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部报告了以下有关从白俄罗斯西部各州清除土匪和反苏民族主义地下组织的行动结果的数据。

今年 8 月 1 日至 9 月 1 日作为特工业务行动和契卡作战行动的结果，6146 人被逮捕和拘留，其中包括：

土匪——219

土匪同伙——60

反苏组织成员——57

德国人的心腹、帮凶和其他反苏分子——69

逃兵和逃脱服兵役者——5741

除此之外：

被杀土匪——79

主动向内务人民委员部投案——243

在 1944 年 7 月至 1945 年 9 月 1 日的行动中，白俄罗斯苏维埃社会主义共和国内务人民委员部共逮捕和拘留了 97,094 人，其中包括：

土匪——6514

土匪同伙——1036

反苏组织成员——651

德国人的心腹、帮凶和其他反苏分子——6141

逃兵和逃避红军兵役者——82,752

打死土匪、逃兵等反苏分子 3282 人。

此外，还有 698 名土匪、44 名反苏组织成员和 8188 名逃兵和逃避动员的人投案自首。

在行动中，缴获了以下物品：迫击炮 62 门、反坦克枪 30 支、机枪 657 挺、冲锋枪 1359 支、步枪 10485 支、左轮手枪 771 支、手榴弹 1435 枚、地雷 1164 枚、子弹 94845 发、爆炸物 893 枚、电台 12 部、无线电接收机 51 部。

8 月 4 日，在平斯克州的罗基辛区，以“格雷奇科”为首的一个匪帮被清除。打死 3 名、拘捕 7 名土匪。缴获：2 挺冲锋枪、7 支步枪、390 发子弹。

8 月 12 日，在布列斯特州的多马切夫斯基区清除了“舒姆斯基”匪帮。打死 29 名、抓获 16 名土匪。从匪徒身上没收了以下物品：2 挺机枪、4 挺冲锋枪、16 支步枪、2 支手枪、50 枚手榴弹、3000 发子弹。

8 月 24 日，在莫洛杰奇诺州的奥什米扬区清除了“马祖列维奇”匪帮。抓获土匪 9 人。缴获轻机枪 3 支、冲锋枪 3 支、步枪 4 支、弹药 500 余发。

8 月 27 日，“土马什”匪帮在莫洛杰奇诺州的斯维尔区被部分清除。打死土匪 6 人、拘留 1 人。

报告期内，发生了以下最为典型的土匪案件：

8 月 21 日晚，在巴拉诺维奇州柳布钦斯基区的沃洛索夫卡农场，积极分子科兹洛维奇被一个土匪团伙“索西斯卡”杀害，一些居民被抢劫。

8 月 23 日，一支多达 20 人的不知名土匪闯入巴拉诺维奇州加特罗夫区格季洛夫斯基村苏维埃，销毁所有文件，抢劫一家杂货店和 80 户当地居民。

8 月 17 日，在格罗德诺州利达区迪夫诺沃村附近的森林里，“帕莱”土匪团伙打死了护送牛群的第 341 步兵团红军战士维良斯基和公民斯塔罗沃伊托夫。8 月 20 日，“帕莱”团伙的 4 名土匪被采取措施拘捕。

8 月 25 日晚上，一个由 20 人组成的不知名团伙突袭了格罗德诺州利达区的纳杰其村苏维埃，袭击的结果是，联共（布）利达区委员会武装部长波多别得同志被害。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.99.Л.167—169.副本，机打。

295

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Г·М·马林科夫关于在波兰境内打击武装支队进展的特别报告

（1945 年 9 月 17 日）

编号 1092/б

副本

绝密

国防委员会——И·В·斯大林同志、

苏联人民委员会——В.М.莫洛托夫同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

塞利瓦诺夫斯基同志报告了以下关于与在波兰活动的家乡军、民族武装力量（忠实于伦敦流亡政府的波兰民族主义地下武装，在家乡军之后成为波兰最大的地下反苏武装——译注）和乌克兰起义军匪帮的斗争进展的资料。

作为内务人民委员部部队、波兰公安机关和波兰军队在今年 8 月 10 日至 9 月 1 日期间开展的行动的结果，共打死 208 名、打伤 42 名、俘虏 96 名、抓获 1298 名土匪。

8 月份，48 个土匪团伙共 3465 人走出地下状态向地方政权机关自首。

在清除土匪团伙时缴获了武器，以及土匪自首时自愿交出的武器：迫击炮——19、掷弹筒——6、反坦克步枪——6、机枪——425、冲锋枪——803、步枪——2845、手枪——484、手榴弹——685、地雷——1360、子弹——221500、爆炸物 102 公斤。

波兰的土匪案件数量仍居高不下。

今年 8 月 10 日至 9 月 1 日记录了 179 次土匪案件，结果是被土匪打死 118 人、打伤 32 人、掳走 8 人。

在被土匪杀害、打伤和掳走的人中：红军指战员——52 人、波兰军队指战员——8 人、公安机关工作人员——13 人、警察——20 人、波兰工人党党员和积极分子——65 人。

土匪掳走了：14 挺机枪、36 支步枪、7 支手枪、4 枚手榴弹、153 匹马、802 头牛、22 头猪、约 2 辆糖车和 191.4 万卢布。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.99.Л.170.副本，机打。

296

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于检查А·Я·维辛斯基电话设备结果的特别报告

（1945 年 9 月 28 日）

编号 1132/б

副本

绝密

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

向您报告克里姆林宫警备局通讯处中校丘尼亚舍夫、苏联国家安全人民委员部第六局工作人员——中校波塔波夫、大尉阿诺弗利耶夫和少校尤达耶夫对第 31—93 号电话设备（归А·Я·维辛斯基同志使用）检查的结果。

检查发现，靠近设备听筒的麦克风胶囊“吹气”是异常的，因为胶囊和麦克风盖内壁被水滴弄湿，这是音质差的原因。

为了防止将来发生此类情况，该设备被替换为带有直式麦克风接收器的另一种设计，以确保更少的水分渗入麦克风。

用户的线路状况良好。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401 с ч.Оп.2.Д.99.Л.386.副本，机打。

297

Л·П·贝利亚和В·Н·梅尔库洛夫致И·В·斯大林关于将地下武装支队领导人家属驱逐出立陶宛苏维埃社会主义共和国的特别报告

（1945 年 9 月 29 日）

编号 1138/б

副本

绝密

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

目前，在立陶宛苏维埃社会主义共和国各县，有多达 300 个帮派头目、地下组织成员和活跃的土匪帮凶家庭，他们的财产，根据联共（布）中央今年 8 月 15 日和立陶宛共产党（布）中央全会的决定，予以没收。

这类人没有固定住所，暂时与亲戚、熟人住在一起，经常在民众中散布各种反苏谣言。

我们认为允许内务人民委员部、国家安全人民委员部将这些帮派头目和反苏地下成员的 300 个家庭（最多 900 人）从立陶宛苏维埃社会主义共和国驱逐到莫洛托夫和斯维尔德洛夫斯克州的伐木区是可取的。

联共（布）立陶宛中央局主席苏斯洛夫同志和立陶宛共产党（布）中央书记斯涅奇库斯同志同意该建议。

请您同意。

——Л·贝利亚

В·梅尔库洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.99.Л.398.副本，机打。

298

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于关于因战争结束限制特别会议的权力的特别报告附联共（布）中央决议

（1945 年 10 月 1 日）

编号 1141/б

副本

绝密

联共（布）中央——И·В·斯大林同志：

根据国防委员会 1941 年 11 月 17 日的法令，鉴于国内的紧张局势，苏联内务人民委员部特别会议有权对内务人民委员部机构内发生的反革命罪行，特别是反对苏联政府秩序的危险罪行实施惩罚措施，直至处决。

随着战争的结束，苏联内务人民委员部认为撤销上述国防委员会的决议，保留苏联内务人民委员部特别会议根据联共（布）中央 1937 年决定，有权判处最高 8 年监禁，并在必要时没收财产的权力是可取的。

附联共（布）中央决议草案，请您决定。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

绝密

草案

全联盟共产党（布尔什维克）中央委员会决议

（1945 年 9 月）

国防委员会 1941 年 11 月 17 日第 903cc号决议——撤销。

——联共（布）中央书记И·斯大林

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.99.Л.400—401.副本，机打。

299

Л·П·贝利亚致И·В·斯大林关于身处苏联内务人民委员部囚禁场所的波兰公民的特别报告

（1945 年 10 月 12 日）

编号 1204/б

副本

绝密

联共（布）中央

И·В·斯大林同志：

在苏联内务人民委员部的囚禁场所，有 27,010 名波兰公民，按民族划分为波兰人，他们于 1944—45 年间因为清理红军作战部队后方的程序在波兰领土上被逮捕和拘留。

苏联内务人民委员部认为上述数量的波兰公民可以处理如下：

将 12289 名被捕并被判处轻罪者、逃兵和“家乡军”的普通士兵释放并遣返回波兰。

将 14,721 名因为敌人从事间谍活动、参与破坏活动和恐怖组织、参与法西斯组织而被捕的波兰公民以及“家乡军”指挥人员和官员留在内务人民委员部集中营中以待继续监禁。

请您指示。

——苏联内务人民委员Л·贝利亚

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.100.Л.80.副本，机打。

300

Л·П·贝利亚和Г·М·马林科夫致И·В·斯大林关于国家安全人民委员部领导候选人的密电

（1945 年 10 月 31 日）

1285Ш

绝密

斯大林同志：

为了加强对国家安全人民委员部的领导，我们向您提出了如下候选人。

第一人选可以是 В·С·里亚斯诺伊，目前担任乌克兰内务人民委员。里亚斯诺伊在战争的前两年是国家安全人民委员部高尔基州的负责人。由于这项工作，1943 年 7 月，他被提名并任命为乌克兰内务人民委员。战前，里亚斯诺伊在国家安全机关工作了 4 年，从党的工作（斯大林格勒州的区委书记）中被选拔参与契卡工作。我们认为可以先推荐里亚斯诺伊为第一副国家安全人民委员，以在 1-2 个月内批准他担任人民委员。

其他副国家安全人民委员的人选，我们认为有必要提名以下最有能力和经证明具有州地方工作经验的契卡干部：Н·К·博格丹诺夫——哈萨克苏维埃社会主义共和国内务人民委员、М·И·茹拉夫廖夫——内务人民委员部莫斯科和莫斯科州首长、В·Д·格尔林斯基——内务人民委员部和国家安全人民委员部驻爱沙尼亚全权代表，在担任此职之前是国家安全人民委员部克拉斯诺达尔边疆区局局长。

如果您同意这些人选，我们就和这些同志商量一下，提出一个决定草案。

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.97.Л.136.原稿，机打。

301

Б·З·科布罗夫给И·В·斯大林的信

（1945 年 12 月 1 日）

莫斯科

亲爱的斯大林同志！

今年 11 月 30 日贝利亚同志和马林科夫同志向我宣布，我被解除苏联国家安全第一副人民委员的职务，我对联共（布）中央的决定答复如下。

24 年来，我一直在契卡—格别乌—内务人民委员部机关工作，在红军服役一年后我被动员到了那里（指国家安全系统——译注）。其中——在格鲁吉亚 17 年，在莫斯科 7 年。

在此期间，我勤勉工作，直接参与击败格鲁吉亚孟什维主义、托洛茨基分子、右派、达什纳克以及您所知道的格鲁吉亚和外高加索的许多其他反苏政党和组织。

1936—1938 年，当我担任秘密政治处长，后任格鲁吉亚苏维埃社会主义共和国副内务人民委员时，我的职责是为列宁—斯大林的党和苏维埃国家的敌人决定性的失败和毁灭进行工作。

1938 年以来，根据联共（布）中央的决定，我和其他同志在莫斯科领导工作，贯彻党和政府的指示，确保我们祖国的国家安全。

在卫国战争的四年中，我不得不花大约两年的时间出差到苏联各地，执行清除红军作战部队后方敌人间谍和破坏—特务分子、土匪和其它敌对分子的任务。

我理解我们的工作还存在很多不足，需要做很多工作，以加强对国家安全的维护。

我全身心地投入到我的工作中，我一直受到这样一个事实的指导，即以布尔什维克的方式，尽可能最好地执行您的指示和党的任务。

至于我被解除在国家安全人民委员部工作的事，我想告诉您，亲爱的斯大林同志，无论您委托我做什么，我都将继续努力和忠实地工作，就像过去的 25 年当中我自觉的那样。

我不会辜负您的信任。

——您的Б·科布罗夫

译自：РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.558.Оп.11.Д.182.Л.91.原稿，手写。

302

С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚关于文学与出版事务总局外事处所在地火灾和石油供应总公司基地爆炸的特别报告

（1945 年 12 月 24 日）

编号 1404/б

副本

绝密

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Л·П·贝利亚同志：

今年 12 月 22 日 23:05 在位于莫斯科邮局大楼的文学与出版事务总局外事处所在地，纯净池塘（莫斯科地名）一侧，苏联外贸人民委员部全联盟联合企业“国际图书公司”发行处工作人员 Е·Ф·哈赫洛娃发现了火灾。邮局消防部门的工作人员在没有通知市消防部门的情况下被直接叫到火灾现场，试图自行灭火。23 时 30 分，从邮局向市消防局中央调度中心发出了火灾信号。到消防队赶到时，火势已经从文学与出版事务总局外事处、全联盟联合企业“国际图书公司”的建筑物——蔓延到了外贸人民委员部和国家安全人民委员部莫斯科州局军事书报检查机关。

通过采取的措施，莫斯科邮局其他场所的火势蔓延的势头被阻止，12 月 23 日 1 时 45 分，火势被遏制。

灭火过程中，26 台消防泵和 11 辆辅助车辆（机械梯、防烟车等）投入运行。

由于莫斯科邮局大楼发生火灾，14 个房间被烧毁。

大火烧毁了苏联对外贸易人民委员部全联盟联合企业“国际图书公司”发行处和文学与出版事务总局外事处的财产；烧毁了多达 15 袋挂号邮件（书籍、包裹、杂志）、大约 15 袋来自国外的普通信件和 3 袋来自波兰的包裹。

莫斯科邮局的所有贵重物品都没有损坏。

从 12 月 23 日上午开始，莫斯科邮局继续正常为民众提供各类邮政和电报业务。

技术专家委员会认为，火灾是由于违反了消防安全规定——使用临时炉灶和电加热装置所致。

调查正在进行。

12 月 23 日下午 5 时许，位于石油供应总公司基地（莫斯科无产阶级区的列宁郊区）的内河航运公司莫斯科河—奥卡河局 907 号油驳船发生爆炸。

爆炸发生在将燃油从油库的油罐泵送到驳船上时。为了泵入驳船，燃油被加热到+50°的温度。

爆炸的结果是，多达 450 吨燃油被点燃并溢出莫斯科河，距离最远可达 300 米。

由此产生的火灾对岸上的四个装满煤油、石油和燃油的油箱造成了直接威胁。

为了灭火动用了 25 台电动泵和 6 个专用泡沫灭火罐。

经过消防部门的努力，终于在 12 月 23 日 22 时 45 分将火扑灭，保护了油罐区不被烧毁。

在爆炸期间，驳船的船长 M·E·杜洛夫、他的妻子和三个孩子在驳船上。杜洛夫和三个孩子被炸死，他的妻子被爆炸的气浪抛到附近的一艘驳船上，目前正在医院接受治疗。

已经成立了一个专门的技术专家委员会来查明爆炸的原因。

调查仍在继续。

——苏联副内务人民委员

С·克鲁格洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.102.Л.393—395.副本，机打。

1946 年

303

В·Н·梅尔库洛夫和С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫关于立陶宛地下活动增加的特别报告

（1946 年 1 月 10 日）

编号 174/м/68/к

绝密

苏联人民委员会——

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Л·П·贝利亚同志、

联共（布）中央——Г·М·马林科夫同志：

据立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部、国家安全人民委员部称，随着苏联最高苏维埃选举的筹备工作的进行，立陶宛反苏民族主义地下组织的活动有所增加。

1945 年 12 月，发生了如下针对选举委员会成员、农村党和苏维埃积极分子的恐怖袭击。

1945 年 12 月 15 日，在绍列艾县，民族主义土匪将区选举委员会委员Ю·米图扎斯抓进森林并枪杀，米图扎斯是被来自卡普尤沙庄园的农民塔拉乌斯卡斯出卖给土匪的，米图扎斯曾在他家过夜。

有组织地追捕对米图扎斯实施恐怖行为的土匪团伙的结果是打死了 5 名土匪，缴获了 3 支轻机枪、1 支手枪和 600 发实弹。叛徒塔拉乌斯卡斯被捕。

1945 年 12 月 16 日，在拉兹迪亚伊县的维谢乡，一群民族主义土匪杀害了选区选举委员会主席、新定居农民В·列乌利斯。

清剿土匪团伙时，击毙土匪 2 人、抓获 1 人。

1945 年 12 月 17 日，在罗基什县，武装土匪袭击了选区选举委员会主席吉克亚利斯的家，吉克亚利斯用冲锋枪向袭击他的土匪开火，但被打死。土匪烧毁了吉克亚利斯的房屋和财产。

作为对袭击吉克亚利斯的土匪团伙采取措施的结果，3 名土匪被击毙。

1945 年 12 月 20 日在乌克梅尔盖县的塔乌扬乡，民族主义土匪团伙杀害了选区选举委员会委员、村苏维埃主席Ю·加布里拉维丘斯。

在同一地区，土匪将塔乌扬乡初中校长К·П·纳楚纳斯带到了森林，他最近被选为选区选举委员会的主席。他的命运尚不可知。

为了消灭该团伙，一个军事行动小组被派往当地。

在施卢特、绍列艾、凯代尼艾等县，曾出现过民族主义地下组织企图以报复参加竞选活动的苏维埃和党的积极分子的方式来瘫痪选举筹备工作的实例。

1945 年 12 月 12 日，在施卢特县的格尼博凯村，民族主义土匪团伙抓获了村苏维埃书记舒特和两名抵达该村准备选举前会议的共青团员。土匪以谋杀相威胁，建议宣传员立即离开村庄。

通过采取的措施，土匪集团被消灭。6 人被捕。

1945 年 12 月 22 日，在绍列艾县洛卡乡，一群土匪来到选举委员会委员文斯库斯的家中，以处死他相威胁，要求他拒绝参加选举委员会。

已采取措施消灭该土匪团伙。

1945 年 12 月，土匪两次出现在凯代尼艾县沙茨基乡的普瓦柳基村和尤日康齐村，以报复相威胁，要求农民不要参加关于学习苏维埃宪法和选举规定的座谈会。在那之后，这些村庄没有一个居民参加定于 1945 年 11 月 23 日和 12 月 5 日举行的座谈会。

民族主义组织“立陶宛游击队联盟”和“立陶宛解放军”的非法团体正在散发反苏传单，呼吁民众破坏选举筹备措施，抵制选举，发动反对苏维埃政权武装斗争。

1945 年 12 月，“立陶宛游击队联盟”的一群成员在阿利图斯县被消灭，他们发行了反苏刊物报纸《自由之钟》，其中包含呼吁抵制苏联最高苏维埃选举的文章。

该报的其中一篇文章写道：

“布尔什维克正热心筹备最高苏维埃的选举。通过不仅在城市而且在乡村扩大竞选活动，他们试图向人民证明这些选举是世界上最民主的选举。许多人在 1940 年投票，因为他们没有在政治局势中找准自己的位置。今天的情况有所不同。我们完全理解苏联政府对立陶宛的计划。我们清楚地感受到强加的奴隶制，但我们不会成为奴隶。我们必须更加团结一致，携手并进，

反对布尔什维克主义。城市、乡镇、村庄——全体一致、毫无畏惧地、必须坚定地对布尔什维克说：‘不，我们不会投票。’现在是我们所有人都可以拒绝遵守强加给我们的法律的时候了。少一点恐惧，多一点一致，布尔什维克就会感受到我们祖国的力量。”

在清剿武装抵抗组织期间，4 名成员被击毙，5 人被捕，200 份《自由之钟》报纸被没收。

还是在该县以“立陶宛游击队”的名义散发了以下反苏传单：

“布尔什维克正在准备选举他们的议会——最高苏维埃。如果共产党设法迫使立陶宛人投票，他们将向全世界吹嘘立陶宛人喜欢布尔什维克制度。布尔什维克正在采取各种威胁，将尽可能多的立陶宛人赶到投票站。立陶宛人的耻辱和永恒的诅咒，他们被布尔什维克的威胁吓坏了，会投票给他们。请记住，通过投票，您将加入立陶宛叛徒的行列。对国家的叛徒——一个清晰而明确的报复——脖子上的上吊绳。公务员、教师、学生，不要为布尔什维克竞选，不要制定选民名单，拒绝参加选举委员会。为布尔什维克的宣传员关上大门。”

已采取必要措施通缉传单的作者和分发者。

1945 年 12 月，在阿利图斯县总共消灭了 5 个民族主义团体，它们有组织地反对选举前的活动。与此同时，这些团体的成员 49 人被击毙、62 人被捕，没收反苏传单和报纸 500 多份、机枪 3 支、步枪 53 支。

1945 年 12 月 16 日，在凯代尼艾县瓦西里什基村的一根电线杆上贴着反苏传单，上面写着民族主义组织“立陶宛解放军”对“立陶宛兄弟”的呼吁：

“布尔什维克报纸长期以来一直鼓吹关于 1946 年 2 月的‘世界上最民主的’选举。这次选举将像 1940 年一样是对基本人权的戏谑和嘲弄。布尔什维克再次想要束缚人民的意志，再次向全世界表明立陶宛想要一个布尔什维克制度。立陶宛兄弟不想做永远的奴隶，不参与投票。”

已采取措施通缉传单的作者。

1945 年 12 月，在考纳斯市，在“列普斯纳”火柴厂工人和职员的选举前会议上，民族主义者霍达钦卡斯和施皮戈德斯科内发表了反苏演讲，工人布拉热维丘斯的爱国演说遭遇口哨声和叫喊。霍达钦卡斯和施皮戈德斯科内被捕。

近日，民族主义分子开始散布立陶宛选举将由英美监督的谣言，与之相关的民族主义宣传呼吁所有“诚实的立陶宛人”加强对选举的抵制，以“向全世界表明我们不想生活在布尔什维克的统治之下。”

由于民族主义地下组织的敌对活动，存在民众试图逃避参与竞选活动的实例。

在绍列艾县波克罗伊乡克洛瓦尼镇的一次关于提名52人选区选举委员会成员候选人问题的大会上，38名在场的妇女拒绝投票，她们认为如果她们投票，她们的丈夫会把她们赶出家门。

在希姆诺夫乡克罗尼基村举行的选举委员会委员选举会议上，在投票选举选举委员会委员候选人之前，大多数出席者试图离开会议。

立陶宛共产党（布）中央已获悉上述所有反苏表现的事实。

正如我们1945年11月29日的第7793/м/1340/б号文件所报告的那样，为了加强与立陶宛地下反苏民族主义者的斗争，我们于12月向立陶宛派遣了400名国家安全人民委员部业务人员，为期3个月。

与此同时，苏联国家安全人民委员部、内务人民委员部向立陶宛派遣了980名国家安全人民委员部、内务人民委员部特工，用于充实国家安全人民委员部、内务人民委员部机构并作为已安排的116个国家安全人民委员部乡行动点和97个国家安全人民委员部乡派出所的补充。

此外，在国家安全人民委员部这条线上，增派了两个国家安全人民委员部内卫团加强打击土匪，这样一来，驻立陶宛的兵力达到1万人。

立陶宛苏维埃社会主义共和国的国家安全人民委员部、内务人民委员部机构接到了特别指示，以加强与苏联最高苏维埃选举筹备工作有关的卧底业务工作。

——B·梅尔库洛夫

C·克鲁格洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401 с ч.Оп.2.Д.134.Л.16—21.副本，机打。

304

С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林关于内务人民委员部行动小组在德国境内工作的特别报告

（1946 年 1 月 31 日）

编号 735/м/333/к

绝密

И·В·斯大林同志：

在被红军占领的德国领土上，在苏联内务人民委员部全权代表谢罗夫同志的领导下，内务人民委员部的行动小组目前正在开展契卡工作。

作为内务人民委员部行动小组的组成部分，内务人民委员部机关和部队有 2230 名工作人员，还有 399 名国家安全人民委员部业务人员。

苏联国家安全人民委员部在柏林只有一个 35 人的小型业务工作小组，专门从事情报工作。

在实践中，这种情况导致苏联内务人民委员部在很大程度上不得不直接处理苏联国家安全人民委员部机构职权范围内的问题（深入研究、逮捕和调查间谍和破坏分子的案件，派遣带侦察任务的特工去盟国占领区、缉拿德国前情报机构的特工、开展侨民工作等）。

为了更清楚地区分内务人民委员部和国家安全人民委员部在德国的工作职能，我们认为以下措施是可取的：

1.苏联内务人民委员部全权代表谢罗夫同时被任命为苏联国家安全人民委员部全权代表。

2.对在德国境内的内务人民委员部、国家安全人民委员部行动小组内安排工作，使每个行动小组按照苏联内务人民委员部和苏联国家安全人民委员部的任务开展工作。

请您指示。

——В·梅尔库洛夫

С·克鲁格洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.134.Л.231—232.副本，机打。

305

С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫关于德国英占区特别营地的特别报告

（1946 年 2 月 13 日）

编号 400/К

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Л·П·贝利亚同志、

Г.М.马林科夫同志：

在此呈送谢罗夫同志关于在德国英占区存在特别营地的报告，英国人向那里运送不想返回苏联的苏联公民。

——苏联内务人民委员

С·克鲁格洛夫

莫斯科，苏联内务人民委员部——克鲁格洛夫同志：

今年一月初。我们收到情报，在柏林的英占区的施潘道区，有一个中转营地，由英国人秘密建造，供俄罗斯人、乌克兰人和波兰人使用。

所有不想回到苏联的人都来到这个营地的管理处，然后据称他们被送往英国占领区。

为了验证这些情报，我们派出了特工“丹尼洛夫”和女搭档——特工“舒拉”来验证这些情报。“丹尼洛夫”和“舒拉”在英国人中编造了一个关于他们行为的相应的传言。

“丹尼洛夫”和“舒拉”来到营地管理处，并在第三天获得进入英占区的许可。同时，他们获得了 129 号入境许可证，该许可证是写给英国汉诺威市负责人的。许可证由戈米斯特签署，名头未指定。收到这份文件后，我们设法与“丹尼洛夫”和“舒拉”接头，他们被要求跟随被遣返的人到汉诺威（英国占领区），然后返回我们的地区。

今年 1 月 10 日在柏林，“丹尼洛夫”和“舒拉”被英国汽车带到火车站，装上一辆装有 27 节车厢，每节车厢 35 人的火车。上车前，英国上尉和一名德国警察检查了文件。抵达汉诺威后，

“丹尼洛夫”和“舒拉”被安置在35号营地,该营地位于汉诺威郊区一个名为“斯特科普”的地方。这个营地容纳了多达5,000名被遣返的人。

在汉诺威,“丹尼洛夫”和“舒拉”只待了一天,由于营地超员,他们被送往位于汉诺威以西150公里的明斯特市的另一个营地。在这个营地里,“丹尼洛夫”和“舒拉”被分别传唤审问。由营地警察负责人、乌克兰人巴什凯维奇问询。营地里的人告诉他们,他本人是乌克兰人,住在加拿大。为“丹尼洛夫”和“舒拉”填写问卷的巴什凯维奇在登记时表示,他们必须以假名登记,因为根据与俄罗斯人的协议条款,英国人无权关押苏联公民。译者也是一名乌克兰人,他建议“丹尼洛夫”和“舒拉”称自己为1939年前属于波兰领土的本地人。登记后,“丹尼洛夫”和“舒拉”获得护照并被安置在兵营里。该营地容纳了多达2,500名遣返者。

营地中的大多数人是在德国军队或“弗拉索夫军”中服役的乌克兰西部各州的居民,以及许多在德国军队中服役的克里米亚鞑靼人、卡尔梅克人和亚美尼亚人。

营地负责人是乌克兰人亚茨凯维奇,50岁,医学教授,原籍西乌克兰,1939年移民加拿大,现被英国人带到营地工作。

据“丹尼洛夫”和“舒拉”报告,营地警察的负责人巴什凯维奇以及营地的整个管理部门由乌克兰人组成,但由英国人通过经常访问营地的代表、英国陆军上尉尤尔对营地进行监督。

一些营地里的人从事伐木活动,但大多数人什么都不做。

营地里的人每天收到350克面包、35克糖、25克脂肪、午餐肉、早晚饮用的咖啡,周六额外提供75克巧克力、25克糖果、一罐炼乳、125克鸡蛋粉和75克鱼。

营地里每天都在进行反苏宣传。彼得留拉和盖特曼(哥萨克首领的称号——译注)斯科罗帕茨基的肖像挂在俱乐部和营地办公室。

《乌克兰人报》被从比利时运到这里。

还有关于英国和土耳其即将对苏联开战的宣传。

营地有4台收音机。每天凌晨一点,都会组织收听班德拉的特别广播,班德拉据称在喀尔巴阡山脉,正在那里组建一支军队。

营地有一个剧团,上演反苏、民族主义的戏剧。

1月23日,纪念“倒下的反布尔什维克战士”的集会在营地举行。尤尔代表出席了集会。

在囚犯中,有人认为他们将在不久的将来被英国人带到加拿大。

在营地短暂停留后,“丹尼洛夫”选择了合适的时机离开了营地。几天后,他回到了我们的区域。“舒拉”特工也回来了。

“丹尼洛夫”和“舒拉”在分头询问中，对营地的情况有相同的表述。

“丹尼洛夫”带来了2份文件，其中一份是带有不伦瑞克市收容点印章的难民登记表，另一份是带有“汉诺威乌克兰营地”印章的乌克兰语证书，证书被发给“丹尼洛夫”和“舒拉”，因为他们是从俄罗斯占领区抵达他们的营地的。该证书由汉诺威营地警察局长签署。

据我们询问，驻德集群所属遣返部门对此一无所知，但总的来说，据身处英占区的遣返部门代表斯克利尼克少将说，英国不允许我们的代表进入这样的集中营，因为集中营中被遣返的人不是苏联公民。

对此，我们将定期安排报告英占区营地情况。

——谢罗夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.134.Л.265—268.副本，机打。

306

С·Н·克鲁格洛夫致И·В·斯大林、В·М·莫洛托夫、Л·П·贝利亚、Г·М·马林科夫

关于在乌克兰、白俄罗斯和波罗的海各共和国同地下武装斗争结果的特别报告

（1946 年 3 月 11 日）

编号 860/к

副本

И·В·斯大林同志、

В·М·莫洛托夫同志、

Л·П·贝利亚同志、

Г·М·马林科夫同志：

乌克兰、白俄罗斯、立陶宛、拉脱维亚和爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国的内务人民委员部报告了今年 2 月打击土匪和土匪活动的结果的以下数据。

在此期间，由于契卡作战行动，乌克兰苏维埃社会主义共和国西部地区的内务人民委员部机关：

消灭反苏地下组织成员、土匪帮凶和土匪 8564 人。

其中：

击毙——2168；

拘押——5490；

自首——906；

拘押和自首的破坏分子和逃脱红军兵役者——2605。

从土匪和反苏地下组织成员处缴获如下：迫击炮——5、机枪——164、反坦克步枪——4、冲锋枪——825、步枪——1565、左轮手枪和手枪——409、手榴弹——1238、地雷和炮弹——540、子弹——276757、无线电发射机——3、无线电接收机——7、打字机——17、印刷机——20。

消灭反苏民族主义地下组织及其武装团伙的最重要行动包括：

2 月 1 日，在利沃夫市逮捕了：乌克兰起义军（УПА）军区参谋部成员——“布格河 2 号”、前乌克兰民族主义者组织（ОУН）利沃夫市联络处军事顾问В·С·哈尔迪克、他的副官Н·А·巴克什、联络人Л·Н·斯塔尔热和М·О·卢比尼亚克。

调查仍在继续。

2 月 2 日，在德罗戈贝奇州斯特列尔科沃区多罗克里奇和格里采镇，内务人民委员部区处的一个军事行动小组拘留了ОУН妇女网格的 16 名成员，其中包括女哥萨克村民波多齐尼亚克。

正在进行调查。

2 月 6 日至 7 日，在罗夫诺州德拉什尼扬斯基区的杜宾斯基庄员区，开展了一次契卡作战行动，消灭了以“奥尔哈”为头目的匪帮。

击毙 22 名土匪。在死者中认定：匪首“奥尔哈”、匪众“杜布”和“樱桃”。

缴获：5 挺轻机枪、3 支冲锋枪、10 支步枪、40 枚手榴弹和 1,500 发子弹。

2 月 16 日至 17 日，在罗夫诺州罗基特诺夫斯基区扎列日耶镇附近，内务人民委员部契卡小组在行动中击毙土匪 7 人，抓获土匪 5 人。在死者中确定了：УПА 北部小组的副指挥官“卡雷”、ОУН区联络处女卫生员“吉尔卡”和“卡雷”私人卫队的 5 名土匪。

被抓者中有：УПА 百人队训练助理“亚戈达”、一名ОУН哥萨克村民和两名ОУН营收人员。

缴获：2 支冲锋枪、5 支步枪、一支左轮手枪、2 枚手榴弹和 240 发弹药。

2 月 17 日，在沃伦州科尔科夫斯基区奥梅尔诺庄园，内务人民委员部州局的契卡小组开展了一场清除护卫所谓“西北乌克兰大地”地区副指挥官“埃涅阿斯”的УПА残匪的行动。

战斗的结果是：4 名土匪被打死，其中包括ОУН的副指挥——“埃涅阿斯”。

2 月 19 日，在斯坦尼斯拉夫州克罗米亚区别列雷夫和修科伊镇，作为契卡作战行动的结果，以下人员被击毙：地区安全勤务顾问“扬克”、地区ОУН宣传官员“索科尔”、下区宣传官“罗斯季斯拉夫”和 2 个哥萨克村民。抓获了绰号“黑人”的安全勤务地区指挥官。

缴获：迫击炮、4 支冲锋枪、4 支手枪、6 枚手榴弹和 100 发子弹。

2 月 18 日至 24 日，在斯坦尼斯拉夫州内雷金斯基区境内的黑森林，进行了一次契卡作战行动，消灭了匪帮“切尔诺特”哥萨克分队。行动中打死土匪 75 人，抓获土匪 2 人。在死者中确定了УПА团伙的指挥官“雷宗”和该集团的政治教导员“巴扬”。

听命于“雷宗”的УПА哥萨克分队有：“普鲁特”、“黑人”和“切尔诺特”。“雷宗”是土匪教科书《如何击败敌人》的作者。

今年二月，在乌克兰共和国西部各州，共记录了 116 起土匪案件，结果如下：

	被杀	负伤	掳走
内务人民委员部、国家安全人民委员部工作人员	5	1	1
内务人民委员部和红军部队单个成员	9	4	1
歼击营战士	2		
当地平民	4	1	6
在俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国中心区域	29		4

最重要的土匪案件包括：

2 月 1 日，在利沃夫州卡缅—布格区萨菲詹卡村，2 个装有饲料和农具的国营农场农棚被烧毁。

内务人民委员部区处采取的措施拘留了 19 名破坏活动的参与者——同一个国营农场的工人：米哈尔丘克、什罗奇科、库奇等人。

调查证实，被拘留者与土匪有联系，土匪指示他们放火烧国营农场，并执行多项任务，以扰乱苏联最高苏维埃的选举。

2 月 3 日晚上，在利沃夫街头发现并缴获了多达 100 份反对苏联最高苏维埃选举的反苏传单。

2 月 4 日，一个团伙袭击了距离斯坦尼斯拉夫州卡卢什地区中心 4 公里的油田。

匪徒纵火烧毁了 30 号钻孔的锻造和钳工车间，使蒸汽加热炉失灵，并带走了 50 米的传动带，逃之夭夭。

2 月 7 日，在利沃夫州拉德霍夫斯基区霍洛纽夫镇地区，30 人团伙袭击了 6 人作战业务小组。被土匪杀害的有：苏联内务人民委员部剿匪总局秘书长克里扎诺夫斯基中校、第 111 边防支队参谋部科长沃洛森科少校、内务人民委员部拉德霍夫区处高级特工马尔科夫少尉、克里施塔尔中士和士兵拉扎诺夫，负伤的中士丘尔金被掳走。

2 月 9 日晚，在捷尔诺波尔州佐洛特尼亚科夫斯基区格利诺夫齐村，土匪劫持并带走了村苏维埃主席和苏联最高苏维埃选举选区选举委员会的 3 名成员。

2 月 9 日，一伙身穿红军制服的 35 人袭击了利沃夫铁路多布罗辛站。土匪驱散车站工作人员，砸碎铁器，毁坏公文、选举海报，张贴反苏传单，砍倒 5 根铁路通讯杆，带走电话机。

2 月 10 日，在斯坦尼斯拉夫州武卡切夫斯基区瓦休蒂诺村，守卫一个投票站的红军 12 人驻军遭到多达 30 人的团伙袭击。

土匪用 3 支轻机枪、步枪和冲锋枪近距离射击。

在持续约 30 分钟的小规模冲突中，乌克兰共产党（布）州委员会的全权代表扎伊采夫受伤。

2 月 11 日至 28 日，西部各州总共登记了 7 起土匪案件，主要是杀害当地居民。

白俄罗斯苏维埃社会主义共和国

在白俄罗斯西部各州，作为契卡作战行动的结果，内务人民委员部机构在 2 月份：

击毙：

反苏民族主义组织成员——2

土匪——8

拘押：

反苏民族主义组织成员——46

土匪——71

土匪帮凶——30

德国的走狗和敌人的帮凶——65

逃兵和逃脱红军兵役者——5

两名土匪投案自首。

从土匪和反苏地下组织成员处缴获：机枪——4、冲锋枪——12、步枪——33、手枪——11、手榴弹——17、子弹——1703。

2 月 1 日至 6 日，在格罗德诺州的利达和拉都因区，6 名家乡军塔尔丰哨所成员被抓，哨所指挥官谷硕被杀。

缴获：4 支步枪、1 支左轮手枪和 45 发子弹。

2 月 12 日至 18 日，在波洛茨克州米奥里地区，作为消灭罗托科尔土匪团伙行动的结果，2 名土匪被击毙，其中包括土匪团伙副头目、德军少校施密特，3 名土匪被捕，其中包括土匪团伙的头目罗科托尔和 9 名土匪。

缴获：1 挺机枪、2 支冲锋枪、2 支手枪和 6 枚手榴弹。

2 月 18 日至 19 日，在格罗德诺州沃罗诺夫斯基区境内，拘押了 8 名“家乡军”古多夫哨所的土匪。

2 月 23 日，“家乡军”齐格蒙德哨所的指挥官、他的副手和两名土匪在莫洛杰奇诺州的伊维耶区境内被捕。

2 月，在白俄罗斯苏维埃社会主义共和国西部各州境内上登记了 12 起土匪案件，结果是：

	被杀	负伤
内务人民委员部工作人员		1
苏维埃和党的积极分子	1	
当地平民	13	5

2 月 3 日晚，不明匪徒抢劫了位于波洛茨克州洛什基茨基区的莫洛托夫集体农庄。土匪劫走了 2 吨粮食和几头牛。

2 月 8 日晚 10 时许，在格罗德诺州利达区奥德罗格尼卡村，多达 10 人的土匪团伙闯入投票站场地，砸坏窗户、砸坏投票间、撕毁肖像、逃之夭夭。

.2 月 18 日，在格罗德诺州利达区诺谢尔基村一带，土匪在利达区杀害了白俄罗斯共产党（布）中央利达区苏联最高苏维埃选举工作全权代表——马克西缅科。

奥德罗格尼卡村民——拉恩因马克西缅科被杀案被捕。

立陶宛苏维埃社会主义共和国

立陶宛苏维埃社会主义共和国内务人民委员部的机关在今年 2 月进行的契卡作战行动中：

击毙土匪——241

抓捕：

反苏民族主义组织成员——522

土匪——708

土匪帮凶——658

各种反苏分子——409

自首：

土匪——106

逃兵和脱逃红军服役者——26

从土匪和反苏地下组织成员处缴获：机枪——41、冲锋枪——94、步枪——274、手枪——133、手榴弹——197、子弹——34636、无线电发射机——2、打字机和其他复印设备——6。

消灭反苏民族主义地下组织及其武装团伙的最重要的契卡行动是：

2 月 1 日，在考纳斯县金泰尼基村，一伙藏身于土匪帮凶别尔纳尔达斯·朱卡乌斯卡斯家中的 12 人匪帮被清剿。在随后的小规模冲突中，7 名土匪被击毙，5 人被捕。在死者中确定了团伙的头目安塔纳斯·朱卡乌斯卡斯。

缴获：2 挺机枪、6 支步枪、8 枚手榴弹和 3,000 发弹药。

2 月 6 日，在马里詹波尔县普雷尼镇，一个由普伦斯卡亚中学学生组成的反苏民族主义青年组织成立并被清算。

在苏联最高苏维埃选举当天，该组织的成员准备炸毁若干投票站的建筑物。

在青年民族主义组织的案件中，共有 33 名普伦斯卡亚中学的学生被捕。逮捕时缴获了 10 枚反坦克地雷。

清除该组织剩余成员的调查和行动仍在继续。

2 月 13 日，在潘涅维日县的“奥卓盖”森林地区，在潘涅维日县活动的由德国伞兵“彼得莱基斯”领导的土匪支队总部被清理干净。

行动的结果是，7 名土匪被击毙，2 名土匪被俘。在死者中，确定了彼得莱基斯帮派的头目——弗拉德斯·亚佐卡斯，出生于 1912 年，地主的儿子、前立陶宛陆军中尉，和他的副官、伞兵“什里亚科斯”。

缴获：1 挺机枪、3 支冲锋枪、6 支步枪、7 枚手榴弹和 1,000 发子弹。

2 月 15 日，在潘涅维日县的罗戈夫森林，作为清剿德国伞兵“布洛克”团伙的契卡作战行动的结果，打死土匪 19 人，抓获土匪 4 人。

从土匪处没收了以下物品：2 挺机枪、19 支步枪和手枪、8 枚手榴弹和 1000 发子弹。

2 月 19 日，在拉脱维亚苏维埃社会主义共和国米塔夫县的农民森林，作为契卡作战行动的结果，一个土匪集团的总部被清理干净，该组织曾在立陶宛苏维埃社会主义共和国领土上犯下过土匪案件。击毙 5 名土匪，抓获 1 名土匪。

在两个专门用于住房的掩体中，缴获了以下物品：机枪 2 挺、冲锋枪 3 挺、步枪 8 支、手榴弹 23 发、子弹 2000 多发、电台、胶印机、打字机、大量蜡纸和一堆文件。

2 月，在共和国境内登记了 184 起土匪案件，其结果是：

	被杀	受伤	掳走
内务人民委员部、国家安全人民委员部工作人员		4	
内务人民委员部和红军部队单个成员	5	4	
歼击营战士	9	5	
地方平民	20	10	8
在俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国中心地区	83	11	2

最重要的土匪案件包括：

2 月 1 日，在距离马里扬波莱县普雷纳乡中心 3 公里的地方，一伙 13 人的土匪团伙拦住了一辆沿路行驶的近卫工兵旅的汽车。土匪解除了 5 名军人的武装，并杀死了乘坐这辆车的当地居民。

不久之后，一辆属于马里扬波莱县执行委员会的汽车开到了现场，里面有选举文件。匪徒烧毁汽车，逃之夭夭。

2 月 1 日，在潘涅维日县普扎罗乡的瓦拉基什基村一带，土匪伏击杀害了乡土地委员会委员斯塔西斯·奥尔拉乌斯卡斯，打伤了杂货店副店长和歼击营的两名战士。

2 月 9 日晚上，土匪在阿利图斯市的四周，除了道盖、奥拉夫和巴尔韦日什卡（之外的地区），切断了电话和电报通信。

通过采取的措施，通信已经恢复。

2 月 9 日晚，土匪在拉迪县普列努乡和沃利别尔日什基乡中心之间的区域砍掉了 30 根电话线杆，切断了通信。

通过采取措施，通信已恢复。

2 月 10 日，在马里扬波莱县的古德留斯乡，土匪向一个投票站巡视在移动票箱处投票选民的工作人员开枪。枪击的结果是马里扬波莱县县委指导员布哈诺夫和少尉雅科文科受伤。

2 月 26 日晚，在扎拉赛县安塔雷吉斯乡的克雷佩里村，土匪杀害了歼击营战士索巴科夫的妻子和三个孩子。索巴科夫的房子和附属建筑被烧毁。

2 月 26 日晚，在扎拉赛县杜克什托夫斯基乡巴申基什基村，一名从红军复员的当地居民巴西阿尔伯塔斯被匪徒砍断右手和左手的 2 个手指。

拉脱维亚苏维埃社会主义共和国

在今年 2 月进行的契卡作战行动中，拉脱维亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员部的机关：

击毙土匪——43

抓获：

反苏民族主义组织成员——19

土匪——43

土匪同伙——45

逃兵和逃脱红军兵役者——15

德国的走狗和敌人的帮凶——15

自首：

土匪—44

逃兵和逃脱红军兵役者——33

德国的走狗和敌人的帮凶——5

从土匪和反苏地下组织成员处缴获：机枪——19、冲锋枪——55、步枪——88、手枪——25、手榴弹——187、子弹——19,574、炸药——105 公斤。

2 月 2 日，在包斯卡县库门乡，在剿灭 15 人的斯佩普莱斯匪帮行动中，打死 5 名土匪，打伤 2 人。

缴获：3 挺机枪、10 支步枪、2 支冲锋枪、1 支手枪、4000 发子弹、100 枚手榴弹、2 箱 TNT 炸药。

2 月 9 日，在陶格夫匹尔斯县利沃尼亚乡埃尔西基镇一带，一个军事行动小组击毙了 3 名土匪，俘虏了“土匪二师”参谋长，他还是“拉脱维亚祖国保卫者（游击队）同盟”总书记——贾尼斯·泽尔坎斯。

根据泽尔坎斯的证词，2 月 27 日，在麦多纳县的赛卡夫斯卡亚乡，进行了一次契卡作战行动，结果击毙以下人员：“土匪二师”指挥官——卡尔利斯·布鲁姆贝尔格、“拉脱维亚祖国保

卫者（游击队）同盟”副主席和“土匪三师”参谋长——卡尔利斯·达恩克尔格。抓获了 3 名土匪，其中包括土匪“师”的“通讯连”指挥官——贾尼斯·伊坎尼斯克。

2 月 13 日，地下反苏青年组织“拉脱维亚游击队”在图库姆斯县的克利登斯卡和泽布伦斯卡乡被剿灭。

被拘押者：组织负责人古纳尔斯·施平克、他的助手阿尔图尔·威尔默尼思和其他 4 名土匪。

缴获：3 挺机枪、11 支步枪、7 支冲锋枪、3 支手枪、3460 发子弹、15 公斤 TNT 炸药。

2 月，在共和国境内登记了 39 起土匪案件，结果是：

	被杀	负伤	掳走
内务人民委员部和红军部队指战员		1	
歼击营战士	3		
苏维埃和党的工作人员		1	
当地平民	10	1	4

2 月 10 日，在拉脱维亚铁路库普拉瓦火车站 2 公里外，土匪炸毁了一座木制铁路桥的支架，并向库普拉瓦村的一个投票站开枪，造成一名选民受伤。

2 月 23 日晚，在同一个县维利亚克乡波利亚诺村，一伙 10 人的土匪掳走并在距离该村一公里处打死 3 名当地居民。

2 月 24 日晚，大约 15 人的匪帮从白俄罗斯苏维埃社会主义共和国领土越境，袭击了陶格夫匹尔斯县列文乡的阿波列夫村苏维埃。土匪打死了 3 名歼击营战士和 2 名当地居民，烧毁了村委会的文件和当地居民的一所房子。

爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国

在今年 2 月进行的契卡作战行动中，爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国内务人民委员部的机关：

击毙土匪——29

抓获：

反苏民族主义组织成员——9

土匪——109

土匪帮凶——21

逃兵和逃脱红军兵役者——20

敌人的走狗和帮凶——10

自首：

反苏民族主义组织成员——1

土匪——30

土匪同伙——2

逃兵和逃脱红军兵役者——22

从土匪和地下民族主义者处缴获的武器和弹药：机枪——9、冲锋枪——27、步枪——64、手枪——33、手榴弹——13、弹药筒——5282、炸药——200 公斤。

2 月 16 日至 19 日，在派尔努县的罗扬古乡，作为消灭以卡斯克为首的一个团伙的行动的结果，7 名土匪被打死，13 人被捕。死者中包括：团伙的头目卡尔·卡斯克、团伙头目副官艾德格尔·塞普，团伙的领导人之一。被抓获的有 3 名土匪头目。

缴获：5 挺机枪、6 支冲锋枪、11 支步枪、10 支手枪、3 枚手榴弹和 700 发子弹。

2 月 22 日，在维鲁县马库斯基乡的 2 个掩体中剿灭了一个土匪集团。打死 1 人，抓获土匪 5 人。被拘留者中有团伙头目米亚基·赫尔穆特。

缴获：3 冲锋枪、2 支步枪和 100 发子弹。

2 月，爱沙尼亚苏维埃社会主义共和国境内登记了 12 起土匪案件

——苏联内务人民委员 C·克鲁格洛夫

译自：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.9401сч.Оп.2.Д.134.Л.444—458.副本，机打。

307

Н·С·赫鲁晓夫致И·В·斯大林关于在乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州同“乌克兰—德意志民族主义者”斗争的报告备忘录

莫斯科市

1946 年 4 月 6 日

联共（布）中央

И • В • 斯大林同志：

1946 年 1 月 1 日起，内务部和国家安全部党组织、机关、内务部边防和内卫部队、喀尔巴阡和利沃夫军区部队，为进一步挫败乌克兰—德意志民族主义者团伙的残余势力及其地下组织，开展了大量的工作。

目前，乌克兰西部地区的局势与 1945 年相比，已经好转得多了。

特别是在筹备苏联最高苏维埃选举期间取得了巨大的胜利。

由于采取了这些措施，乌克兰西部各州的苏联最高苏维埃选举以共产主义者和无党派人士的完全胜利告终。这可以从 99.6%的选民参与选举中得到证明：*I.人们不仅出现在投票站，而且*积极投票支持共产主义者和无党派人士的候选人，使他们获得了 99.8%选民的支持。*II.由此，乌克兰西部各州的民众表明了他们对布尔什维克党的忠诚。

I. 正文空白处有纵向下划线。

II. 正文空白处有纵向下划线。

在竞选期间*乌克兰—德意志民族主义者的残余团伙及其地下组织遭受了重大失败。比如，从 1946 年 1 月 1 日到 2 月 10 日，共击毙土匪 2446 人、俘虏 6039 人、自首 829 人*。I.

喀尔巴阡军区和利沃夫军区的部队已经并且仍在为我们击败帮派残余提供巨大帮助。部署在村庄的驻军从一开始就积极参与打击土匪。此外，指挥人员、政治工作人员和驻军士兵帮助加强了村苏维埃，建立共青团组织，改善合作社、学校、俱乐部的工作，并在民众中开展群众政治工作。

我们在德罗霍比奇地区从被击毙的信使手中缴获的*乌克兰民族主义者组织（ОУН）上区指挥官“罗伯特”的报告证明了驻军的成功工作*。II.这份报告说：

“……此时的工作条件极其困难，根本不可能进行。布尔什维克召集了庞大的部队——特务处（如土匪所称的守备军人）并大力战斗。他们走在最偏僻的小路上，埋伏，在村子里根本无法抵抗。他们搜查得很厉害，感觉他们会找到存货舱（仓库）。他们在迈丹森林中走来走去。有一次我们几乎被抓了。为我们工作的人很少。最好的人都死了……III.”

投票的结果以及土匪惨重的损失，在乌克兰—德意志民族主义者当中引起了极大的恐慌。未被剿灭的土匪目前只能维持 3—5 人的小股团伙*IV.，躲藏在森林里，并在那里被我内务部和国家安全部部队和机关捕获。一些土匪接到指示，开始合法化，以渗透工业企业、政府机构和教育机构中，继续从事恐怖主义、情报和破坏工作。

根据今年 2 月 21 日乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州的新情况，乌克兰共产党（布）中央委员会通过了关于乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州苏联最高苏维埃选举结果和党组织进一步任务的决议。在这项决议中，乌共（布）中央要求这些州的内务部和国家安全部的所有党组织和机构——在不久的将来彻底消灭乌克兰—德意志民族主义者匪帮残余和ОУН地下组织。

*为完成这一任务，党组织、内务部和国家安全部机关、内务部部队和红军在选举后，加强了契卡作战行动的开展，再次取得了重大的成功。比如，从今年的 2 月 11 日到 4 月 1 日，西部各州打死土匪 3177 人、俘虏 7084 人、自首 1211 人。与此同时，土匪案件的数量也明显减少。如果从今年的 1 月 1 日到 2 月 10 日还有 155 起的话，那么从 2 月 11 日到 4 月 1 日只有 35 起。

I. 正文空白处有纵向下划线。

II. 正文空白处有纵向下划线。

III. 文件有虚线。

IV. 正文空白处有纵向下划线。

契卡作战行动的加强和村镇守备部队的存在，为在村镇开展政治工作创造了有利的环境*I.。在竞选活动期间，来自当地居民当中的数以万计的鼓动者在工作，其中许多人被证明是优秀的组织者。这些鼓动者现在继续他们的工作。在村镇里，会议、讲座和报告开始更频繁地举行。村苏维埃、合作社、学校和俱乐部的工作有所改善。区领导开始更多地走访村庄，亲自与当地积极分子和民众建立密切联系。

*结果，劳动人民的政治活动增加了。民众已更加积极地参与打击土匪*II.。例如，在今年 2 月 1 日，在战斗营中有 47,000 名来自本地的战斗人员；今年 3 月 15 日，已经有超过 6 万名

战士。在民众的帮助下，查获了装有食物和武器的土匪仓库，搜寻藏匿土匪及其帮凶的行动正卓有成效地展开。

*如果之前当地居民还为土匪提供帮助的话，现在他们表现出想要使他们完蛋的愿望*III.。比如，在今年的 3 月 18 日，在利沃夫州布罗茨基区科马罗夫齐村举行了农民会议。一个活跃的土匪，前德国人手下这个村的村长，卢卡·格纳纠克，被带到了这次会议上。1941—1942 年。这个格纳纠克送了 300 名年轻人去德国做苦役，在驱逐德国人后，他身处一个匪帮中，亲手杀死了这个村子里的 13 人。农民要求格纳纠克交代他的暴行。但是，当他刚说到“我在这个村子里吊死了 7 个女人”时，数百名农民就甩开了参加会议的区代表，把格纳纠克拖到街上杀死了他。之后，农民们自己指着三名土匪帮凶要求审判，并指出土匪仓库的位置，在里面发现了 2 吨粮食。

在同区的列什涅沃村，参加会议的农民自己点名并向当局移交了 9 名土匪。类似的例子发生在克拉斯尼扬斯基、伊万诺—弗兰科夫斯基和其他区。

集体农庄对农民的吸引力也有所增加。*如果在今年 1 月 1 日在乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州共有 174 个集体农庄的话，到 3 月 20 日，已经创建了 212 个集体农庄*IV.，组织了 185 个倡议小组，其中有 1965 个农民农户。值得注意的是，受土匪活动影响最大的斯坦尼斯拉夫州集体农庄的增长很有特点。如果在今年 1 月 1 日，这个地区只有 6 个集体农庄的话，到 3 月 20 日，已经有 21 个集体农庄和 35 个农民倡议小组。

今年 3 月 28 日我在利沃夫*举行了一次乌共（布）州委第一书记、内务部和国家安全部州局局长、驻乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州部队指挥官的会议，会上听取了各地打击土匪形势的汇报，并计划采取进一步措施*V.。

乌共（布）中央指示，要千方百计加强和扩大与当地群众的联系，多召开农民会议，教育当地积极分子，让他们参与村苏维埃、合作社、俱乐部等。

I. 正文空白处有纵向下划线。

II. 正文空白处有纵向下划线。

III. 正文空白处有纵向下划线。

IV. 正文空白处有纵向下划线。

V. 正文空白处有纵向下划线。

*西部各州现在的有利形势，人们对灭匪的渴望，以及土匪内部的巨大恐慌，使得对他们进行最后一击成为可能。我们计划在每个州增设若干机动军事分队，为他们提供无线电通讯*I.。

此外，我们还指示加强安排诱捕设伏、驱逐土匪家属及其帮凶等工作。大胆地让当地居民，首先是积极分子，参与卧底工作。

考虑到歼击营在*打击土匪活动中的积极作用，我们正在采取措施在每个村庄组建它们，同时仔细挑选人员并提高他们的战斗技能*II.。乌共（布）各区委员会书记被要求为每个歼击营指派一名政治工作者。与此同时，还下达了组建清除四处流窜的土匪的歼击营的指示。为加强歼击营战斗人员当中的政治工作，正在草拟乌共（布）中央关于这个问题的决议。

我们现在特别关注西部各州共青团组织的工作*，关注青少年教育文化工作的改善*III.，更加积极地为仍然受乌克兰—德意志民族主义者影响的那部分青少年进行斗争。州和区共青团组织的任务是在每个村镇建立共青团组织。

——Н·赫鲁晓夫

在文件第一页有标注："来自赫鲁晓夫同志"。

译自：АПРФ（俄罗斯联邦总统档案馆）.Ф.3.Оп.61.Д.846.Л.4-10.原稿；РГАСПИ（俄罗斯国立社会政治历史档案馆）.Ф.82.Оп.2.Д.897.Л.116—123.经过验证的副本。IV.

I. 正文空白处有纵向下划线。

II. 正文空白处有纵向下划线。

III. 正文空白处有纵向下划线。

IV. 文件由Н·С·赫鲁晓夫发给苏联部长会议В·М·莫洛托夫。

此处转载自出版物：《第二次世界大战期间的乌克兰民族主义组织文件集（两卷本）》第2.1944—1945卷，846—849页附录，第5号文件。

注释：

1946年2月21日，乌克兰共产党（布）中央委员会政治局发布了《关于乌克兰西部各州苏联最高苏维埃选举结果和党组织的进一步任务》的决议。决议指出："乌克兰西部各州的苏联最高苏维埃选举以共产主义者和无党派人士集团的最大胜利告终"，99.6%的选民参加了选举，99.08%的选民投票给共产党员和无党派人士的候选人。"由于采取了这些措施，"该文件说，"乌克兰—德国民族主义团伙的残余势力受到了重大打击。匪徒现在是以微不足道的团伙进行活动，完全仅靠对民众的恐怖和恐吓来维持活动。"对此，党组织、内务人民委员部和国家安全人民委员部机关以及军事单位指挥官的主要任务是"彻底摧毁乌克兰—德国民族主义帮派和乌克兰民族主义者地下组织的残余势力"。党组织必须扩大与广大人民群众的联系，"更积极地使人民脱离敌人的影响，用苏维埃精神教育他们"，并"在每个村庄的当地人民中培养政治积极分子"。

同时，人们认识到，“把共产党员、共青团员和积极分子从城镇地区派往乡村的做法是完全正确的”，并建议更广泛地使用这种工作形式。此外，还计划加强契卡作战行动、卧底工作，并在“铲除敌对分子”方面提高警惕等等。在 1946 年 4 月 1 日之前，命令对工业和运输企业以及政府机构的工人和雇员进行重新登记；加强工业设施的安全，并检查人事部门的工作等。

1946 年 2 月，“在乌克兰苏维埃社会主义共和国西部各州，由于采取了契卡作战行动：我们清理了 8564 名反苏维埃地下组织成员、土匪和强盗。其中：2168 人被杀，5490 人被拘留，906 人自首，2605 名认罪逃兵和逃避红军服役的人被拘留和自首。以下是从土匪和反苏地下成员手中缴获的：迫击炮——5、机枪——164、反坦克枪——4、冲锋枪——625、步枪——1505、左轮手枪和手枪——429、手榴弹——1238、地雷和炮弹——540、子弹——276757、无线电发射器——3、无线电接收器——7、打字机——17、印刷机——2”（参见：ГАРФ（俄罗斯联邦国家档案馆）.Ф.Р-9401.Оп.2.Д.134.Л.444-448,458；另见：《特殊文件》、《斯大林和莫洛托夫谈 1944-1948 年乌克兰西部的民族解放斗争》339-341 页）。

1950 年

308

苏联外交部长А·Я·维辛斯基致联共（布）中央总书记、苏联部长会议主席И·В·斯大林的备忘录

（1950 年 3 月 16 日）

绝密

在 1949 年 12 月 9 日的联大第四次会议上通过了一项决议，重申其先前于 1947 年 11 月 29 日作出的关于耶路撒冷国际化的决定，并指示托管理事会为国际制度制定规约并加以实施。苏联代表团对该决议投了赞成票。然而，大会将耶路撒冷国际化的决定并未得到任何利益相关者的支持——无论是犹太人还是阿拉伯人——耶路撒冷居民。

在苏联外交部看来，目前坚持旧的立场和立场是不切实际的，并应当责成马立克同志向特吕格韦·赖伊发表声明，苏联政府认为不可能进一步支持大会的具体决议，并表示相信联合国将能够找到阿拉伯人和犹太人都能接受的耶路撒冷问题解决方案。

附：给马立克同志的指示草案。

请您审阅。

——А·维辛斯基

译自：АВПРФ（俄罗斯联邦外交政策档案馆）.Ф.07.Оп.23а.П.4.Д.41.Л.31.副本。

出版信息：《中东冲突 1947—1967》第一卷 1.1947-1956，2003 年版。

1953 年

309

И·Г·爱伦堡致斯大林的信

（不晚于 1953 年 1 月 29 日）[①]

亲爱的约瑟夫·维萨里昂诺维奇！

我决定打扰您，因为这是个在我看来非常重要我却无法解决的问题。

明兹同志[②]和马利宁[③]同志今天让我通读了《给真理报编辑部的信》的草案，并建议我签名。我认为我有责任陈述我的疑虑并征求您的意见。

在我看来，在我们的社会主义国家中，解决犹太人问题的唯一根本方法是完全同化，即犹太血统的人与和他们生活的人的融合。这对于同美国和犹太复国主义旨在孤立犹太人血统的人宣传的斗争是迫切需要的。我担心一些苏联文化人的集体行动，这些人只因出身而团结起来，可能会加强那些摇摆不定、意识不清的人的民族主义倾向。信中对“犹太民族”有一个定义，可以鼓舞民族主义者，使那些还没有意识到没有犹太民族的人陷入思想混乱。

我特别关注这样一封给编辑部的信对扩大和加强世界和平运动的影响。当在各种委员会、新闻发布会等上提出为什么苏联不再有犹太语言的犹太学校或报纸的问题时，我回答说战后没有以前的“定居点”的存在基础并且新一代的犹太裔苏联公民不想与他们所同住的民族隔离。由科学家、作家、作曲家等人签署的这封信的发表，可能会夸大犹太复国主义者、崩得主义者和我们祖国的其他敌人正在进行的令人作呕的反苏宣传。

从进步的法国人、意大利人、英国人等的观点来看，没有“犹太人”作为某一民族的代表的概念，那里的“犹太人”一词意味着宗教信仰，诽谤者可以使用《致编辑部的信》为他们的下流目标服务。

我深信，有必要大力打击一切复兴或植入犹太民族主义的企图，在这种情况下，这不可避免地导致背叛祖国。在我看来，为此有必要发表一篇甚至多篇由犹太血统的人签名的文章，解释巴勒斯坦、美国资产阶级犹太人等的作用，另一方面，我相信《真理报》编辑部的澄清和确认绝大多数犹太血统的劳动人民对苏维埃祖国和俄罗斯文化的奉献可以应付一些对犹太人的

孤立现象和反犹主义残余。在我看来，这样的文章可以极大地阻止外国诽谤者，并为我们世界各地的朋友提供良好的论据。

亲爱的约瑟夫·维萨里奥诺维奇，您明白这些问题是我自己无法解决的，所以我才敢给您写信。这是一个重要的政治行为，我决定请您指派一个领导同志告诉我，这样的文件是否值得发表，我的签名是否值得。不用说，如果这对保卫祖国和和平运动有用，我会立即签署《致编辑部的信》。

深表敬意。

——И·爱伦堡

1953 年某月 10 日И·В·斯大林别墅收悉

译自：《文献资料》1997 年第 1 期，142—143 页。

注释：

①当这封信发表在杂志《文献资料》（1997 年第 1 期，142–143 页）上时，它的日期是 1953 年 2 月 3 日，在我们看来，这是不正确的，因为Н·А·米哈伊洛夫和Д·Т·谢皮洛夫已于 1953 年 1 月 29 日给Г·М·马林科夫发送了“犹太信件”的一个版本，这个版本根据爱伦堡的批评进行了修改（РГАНИ（俄罗斯国立当代历史档案馆）.Ф.5.Оп.25.Д.504.Л.187.）。

②И·И·明兹（1896–1991）——历史学家、苏联科学院院士（1946）、斯大林奖获得者（1943、1946）。1949 年，在反对世界主义的斗争中遭到迫害。

③М·马利宁是记者Я·С·哈文森（1901-1989）的笔名，塔斯社负责人（1939-1943），后为《真理报》编辑部工作人员。

④这封信的早期初步版本与本（最终）版本略有不同，是由《国家与世界》杂志（1984 年第 10 期，第 4—5 页）出版的。

人名索引

阿列克谢·瓦西里耶维奇·佩舍霍诺夫（1867—1933），俄国社会活动家和政论家，劳动人民社会主义党主要创始人之一，曾任资产阶级临时政府粮食部部长。十月革命后参加反布尔什维克组织“复兴俄罗斯联盟”和“志愿军”（在北高加索、中央黑土区、库班地区和乌克兰等地区活动的一支白军，后并入弗兰格尔白军），1922 年被苏俄政府驱逐，流亡于里加、布拉格、柏林。他多次要求苏联政府允许他返回祖国，但未获成功，从 1927 年起，他在苏联驻波罗的海国家的贸易代表团担任顾问。晚年获得了苏联公民身份，于 1933 年在里加病逝。

韦涅季克特·亚历山大洛维奇·米雅柯金（1867—1937），俄国历史学家、政论家，劳动人民社会主义党主要创始人之一。1917 年，他当选为劳动人民社会主义党中央委员会主席。1918 年，他是“复兴俄罗斯联盟”的创始人和领导人之一。1920 年，他被捕并被关押在布特尔卡监狱。1922 年，他被驱逐出俄罗斯。流亡于柏林、布拉格，最后定居在索非亚。从 1928 年起，他在索非亚大学任教，于 1937 年 10 月 5 日在布拉格去世。

阿尔卡季·格奥尔基耶维奇·戈恩菲尔德（1867—1941），俄罗斯和苏联文学评论家、翻译家、政论家和记者。民粹派期刊《俄罗斯财富》重要成员，最终幸免于被驱逐出俄罗斯，于 1941 年病逝于列宁格勒。

阿法纳西·鲍里索维奇·彼得里谢夫（1872—1951），俄国政论家、教师和政治家，1906 年加入劳动人民社会主义党，1917 年当选该党中央委员，内战中转而加入布尔什维克阵营。1922 年秋被定性为“反苏知识分子”并遭逮捕，同年 11 月被驱逐出俄罗斯。1951 年病逝于加拿大（一说法国）。

亚历山大·尼古拉耶维奇·波特列索夫（1869—1934），俄国社会民主工党创始人之一，孟什维克。从 1896 年起，为圣彼得堡工人阶级解放斗争协会的成员，1896 年 10 月，成为协会实际上的领导人。1903 年在俄国社会民主工党第二次代表大会上与列宁产生分歧，参与创

建孟什维克。一战期间参与俄国监督军工生产的“军事工业委员会”莫斯科委员会的工作。1917年5月返回彼得格勒，成为彼得格勒孟什维克的领袖。十月革命期间坚决反对十月革命和布尔什维克。1918年9月退出孟什维克，加入“复兴俄罗斯联盟”。1919年9月被彼得格勒苏维埃逮捕，11月获释。1925年，联共（布）中央政治局同意其出国治病，其先居住在柏林，后居住在巴黎，在国外期间仍对十月革命和布尔什维克持猛烈的批判态度。1934年病逝于巴黎。

亚历山大·萨摩伊洛维奇·伊兹戈耶夫，又名阿隆·所罗门诺维奇·兰德（1872—1935），俄国律师，政治家、政论家和教育家。立宪民主党右派领导人之一，路标派代表人物。早年接触合法马克思主义思潮。1902年以后抛弃马克思主义，转而投向自由主义。1906年1月，在立宪民主党第二次代表大会上，当选为中央委员会委员（1906—1918），加入右翼。1909年起成为“路标派”的成员。十月革命后，他参加了报纸《斗争》和《我们的世纪》的地下出版工作，呼吁武装起义反对布尔什维克。1918年11月被捕。1919年1月应高尔基的要求被释放。1919年9月再次被捕，1920年9月从集中营被遣送至最高国民经济委员会科技处安置，并于1921年3月获释。1922年8月，他再次被捕，并于10月获释。1922年11月，他被驱逐到德国。1935年在爱沙尼亚去世。

弗拉基米尔·尼古拉耶维奇·罗扎诺夫（1876—1939），俄国政治和社会活动家、政论家和医生。参与了俄国社会民主工党第二次代表大会的筹备工作，代表大会之后成为一名活跃的孟什维克，曾被列宁批评为小资产阶级机会主义分子。1905年俄国社会民主工党第四次代表大会上被选为中央委员。1917年二月革命后，曾为彼得格勒工兵代表苏维埃孟什维克派的成员。1919年因参与“复兴俄罗斯联盟”被判处死刑，但并未执行。被赦免后在莫斯科的医疗机构担任结核病专家，于1939年病逝。

维格多尔奇克——不详。

柳博芙·尼古拉耶芙娜·拉德琴科（1871—1962），俄国政治和社会活动家、政论家，孟什维克。年轻时参与托木斯克和圣彼得堡的民粹派活动，参与创建工人阶级解放斗争协会和发行《火星报》。后加入孟什维克并通过孟什维克当选俄国社会民主工党中央委员会委员和第三届国家杜马孟什维克派书记，十月革命后退出政治，担任统计学家。1926年被国家政治保卫

总局逮捕并于 1927 年 1 月被判处剥夺在莫斯科、列宁格勒、伊万诺沃-沃兹涅先斯克、下诺夫哥罗德、图拉、特维尔、敖德萨、顿河畔罗斯托夫、哈尔科夫、基辅和巴库居住权 3 年，1930 年再次被判处剥夺在莫斯科和列宁格勒州及乌克兰苏维埃社会主义共和国居住权 3 年并流放哈萨克斯坦，1989 年平反。

尼古拉·亚历山德罗维奇·罗日科夫（1868—1927），俄罗斯历史学家和政治家。1905 年加入社会民主工党，1917 年 8 月担任孟什维克中央委员，曾任临时政府邮电部副部长。他反对十月革命，认为其是过早发生的反民主的政变，1918 年 1 月 9 日发表了文章《丧心病狂》，批评布尔什维克解散制宪会议，1919 年 1 月致信列宁，呼吁取消战时共产主义政策。1921 年被捕，在审讯中表示苏维埃政权必然灭亡，但他选择不与其对抗，同年获释。1922 年再次被捕，鉴于其宣布脱离孟什维克并与苏维埃政府合作被免于驱逐出国外，改为流放至普斯科夫。1924 年回到莫斯科后先后在共产主义教育学院、红色教授学院、第一莫斯科国立大学（1918—1930 年莫斯科国立大学的称谓）和其他大学讲学，1926 年被任命为国家历史博物馆馆长。1927 年去世。

谢苗·路德维戈维奇·弗兰克（1877—1950），俄罗斯哲学家和宗教思想家。1894 年考入帝国莫斯科大学，接触到马克思主义和社会民主主义，1901 年参与撰写斯特鲁维（俄国哲学家、经济学家）的文集《理想主义问题》，批评了唯物主义和实证主义。1903 年起成为立宪民主党右翼成员，1912 年皈依东正教。1918 年出版博士论文《人类的灵魂》，由于十月革命后的政治形势变化，博士论文答辩未能完成。1917 年担任萨拉托夫国立大学历史哲学系主任，1921 年担任莫斯科大学哲学教研室主任。1922 年被驱逐出俄罗斯，在柏林加入别尔嘉耶夫组织的宗教哲学研究院，1938 年迁居法国，1945 年迁居伦敦并在最终那里病逝。

瓦西里·尼古拉耶维奇·曼采夫（1889—1938），曾任全俄契卡—国家政治保卫总局领导人员、俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国最高法院副院长等职。1906 年加入俄国社会民主工党（布），参加了 1905 年革命，1911-1913 年曾流亡海外，1913 年潜回俄罗斯帝国后被捕并被流放到沃洛格达省。1917 年成为布尔什维克罗斯托夫（位于雅罗斯拉夫尔州）委员，参与组织了莫斯科的布尔什维克起义并担任布尔什维克莫斯科州委委员。1918 年加入全俄契卡，任调查处处长，捷尔任斯基的副手，1919 年任契卡乌克兰中央局局长，1920 年 8 月任西南方面

军和南方方面军特务处处长、南方方面军后勤部长。1921-1922 年任乌克兰契卡主席，1922 年 3 月起任乌克兰内务人民委员。1923 年到 1924 年担任俄共（布）中央监察委员会委员，1923 年起担任工农检察院委员会、国家政治保卫总局委员会委员，1924-1936 年担任最高国民经济委员会计划经济局局长、苏联副财政人民委员，1936 年起任俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国最高法院副院长，是俄共—联共（布）13、15、16 届代表大会代表。1937 年被捕，1938 年 7 月 28 日被最终判处死刑，1956 年平反。

斯坦尼斯拉夫·亚当莫维奇·梅辛（1890—1937），苏联党和国务活动家，全俄契卡—国家政治保卫总局领导人之一，1908 年加入波兰社会民主党并结识捷尔任斯基。多次被捕并流亡国外，1911 年返回祖国并继续从事党的工作，1913 年被征召入伍。1917 年春到莫斯科参加武装起义，十月革命后任索科利尼基区契卡主席、莫斯科契卡秘密业务处处长、莫斯科契卡主席等职。1921 年后先后担任彼得格勒契卡主席、彼得格勒军区国家政治保卫局部队司令员，1926 年曾遭遇暗杀。1929-1931 年任国家政治保卫总局副主席，因在“近卫军案”中反对亚戈达而被解职，后先后在外贸人民委员部、劳动国防委员会等机构任职。1937 年因“波兰间谍案”被捕，同年被处以死刑，1956 年平反。

列日涅夫——不详。

伊万·赫里斯托福罗维奇·奥泽洛夫（1869—1942），俄国经济学家、城市规划专家、散文家。莫斯科大学法律系一等文凭毕业。1894 年成为莫斯科大学编外副教授。1896 年赴欧洲多国考察财务法、海关制度等并于 1898 年和 1900 年分别获得硕士、博士学位，1903 年成为莫斯科大学财务法教研室荣誉教授，是 1900 年代俄国最权威的经济学家之一。1914 年获四品文官衔。十月革命后担任乌克兰白军头目斯科罗帕茨基的顾问，同时继续从事研究工作。1919 年回莫斯科，在莫斯科大学社会学系任教，同时与俄国技术学会的《经济学家》杂志合作，从他的观点出发，提出了引导国家战后重建的方法。1922 年俄共（布）中央考虑将其驱逐出国，后因其“不具有危害性”而幸免，1927 年退休。1930 年 1 月 28 日被捕，并被判处死刑，后减为 10 年徒刑。1933 年被赦免，前往其妻子的流放地沃罗涅日。根据 1935 年 6 月 19 日苏联中央执行委员会的决定，他的犯罪记录被清除，1936 年，他和他的妻子在列宁格勒的科学家疗养院定居。1942 年 5 月 10 日，奥泽罗夫在列宁格勒围城战中死于饥饿。1991 年被彻底平反。

约瑟夫·斯坦尼斯拉沃维奇·温施利赫特（1879—1937），苏联党务活动家，国家安全机构的创始人之一。1896 年参加革命，1900 年加入社会民主工党，俄国社会民主工党第 6 次代表大会代表，曾六次入狱并被流放东西伯利亚。1917 年获释，第 1 届全俄工兵苏维埃代表大会代表，彼得格勒苏维埃代表，1919 年起担任工农红军指挥员职务，1921-1923 年担任全俄契卡—国家政治保卫总局副主席，1933-1935 年担任民用航空人民委员，1937 年被捕并被判处死刑，1956 年平反。

罗曼·亚历山德罗维奇·皮利亚尔（真名罗穆亚尔德·路德维希·皮勒·冯·皮尔豪男爵）（1894—1937），苏联国家安全工作领导人之一，国家安全二级政委。1914 年起参加革命工作，二月革命胜利后，担任达尼洛夫斯基农民代表苏维埃的秘书。1917 年 8 月至 10 月，在莫斯科的军事学校读书。从 1917 年 10 月起，在德国占领的立陶宛从事地下工作，被逮捕并被监禁到 1918 年 4 月。从 1918 年 4 月起，他成为维尔纳地下党的领导人之一，立陶宛革命军事委员会主席。立陶宛和白俄罗斯共产党的创始人之一。1918 年 10 月，他被选入中央委员会，在不久之后举行的全会上，当选维尔纳市委员会委员和共产党中央委员会书记，参加了与波兰军团的战斗。1919 年 1 月起任立陶宛—白俄罗斯共和国主席团成员兼中央执行委员会秘书，5 月被波兰俘虏，后作为交换战俘返回苏俄。1920 年 1 月起，担任俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国外交人民委员部与波兰交换政治犯委员会副主席，4 月起，担任西方面军契卡全权代表。1920 年 10 月至 1921 年 3 月，在上西里西亚（德国）从事地下工作。1921 年 3 月起，担任契卡第 15 特别处处长。7 月起，任契卡—国家政治保卫局主席助理。1922 年 7 月至 1925 年 12 月，他担任国家政治保卫局、国家政治保卫总局的秘密业务局反间谍处副处长。热那亚会议（1922 年）期间，为苏联代表团提供了安全保障。1925 年 12 月至 1929 年 12 月，他担任白俄罗斯苏维埃社会主义共和国国家政治保卫局主席，同时担任国家政治保卫总局西部、白俄罗斯边疆区、白俄罗斯军区全权代表。1929 年 11 月起，他担任国家政治保卫总局北高加索边疆区全权代表，1932 年 11 月起，担任国家政治保卫总局中亚全权代表，1934 年 7 月起，担任内务人民委员部中亚局局长。1934 年 11 月，他苏联内务人民委员部人事处召回。从 1934 年 12 月起，他担任萨拉托夫边疆区、萨拉托夫州内务人民委员部局局长。1937 年因“波兰军事组织”案被捕并处以死刑，1956 年判决撤销。

特伦蒂·德米特里耶维奇·杰里巴斯（1883—1938），苏联政治家，契卡—国家政治保卫总局—内务人民委员部领导人。1904 年加入俄国社会民主工党，参加了 1905 年革命，曾被流放至托博尔斯克省等处，1911-1917 年在奥伦堡省担任会计师和绘图员，十月革命期间领导了奥伦堡省的起义，1918 年加入契卡和红军，从事政治工作。1920 年，他担任巴甫洛达尔革命委员会主席和联共（布）主席团主席，在巴甫洛达尔和特罗伊茨克大规模处决军官、哥萨克人和“阶级敌人”。1920 年 12 月，德里巴斯被任命为契卡秘密处第 4 科副科长，1921 年至 1922 年，他担任契卡秘密处处长，参加了镇压反布尔什维克暴动的行动，包括喀琅施塔得和坦波夫。1923 年 5 月 25 日被任命为苏联国家政治保卫总局秘密处的负责人，并于 1927 年 7 月 30 日被任命为国家政治保卫委员会秘密行动局局长的第一助理。1929 年，德里巴斯作为苏联国家政治保卫总局的全权代表被调往远东。1937 年 5 月 8 日根据联共（布）的决议，他被免去内务人民委员部远东地区总局局长的职务，并被召回内务人民委员部等待处置。抵达莫斯科后，他没有得到新的任命。1937 年 8 月 12 日被捕，被指控“从事间谍活动，同情托洛茨基主义，并在内务人民委员部和红军机关组织阴谋”，1938 年被处决，1957 年被平反。

马克西姆·马克西莫维奇·李维诺夫（1876—1951），苏联外交官、革命家。1903 年加入布尔什维克。1915 年，在伦敦召开的协约国社会主义者代表会议上，受党中央委托发表了反对帝国主义战争的声明。十月革命胜利后回国，被任命为苏俄驻英国外交代表。同年 10 月，被英国当局逮捕，次年初获释回国后，在外交人民委员部工作。从 1921 年起，任副外交人民委员。1922 年出席热那亚国际经济会议和海牙国际财政经济会议，任苏联代表团团长。同年，任莫斯科国际裁军会议主席。1927—1930 年，率领苏联代表团参加日内瓦国际裁军会议筹备委员会，代表苏联政府提出全面彻底裁军的方案。1930—1939 年，任苏联外交人民委员。曾任苏联中央执行委员会委员。获列宁勋章和劳动红旗勋章。1939 年 8 月莫洛托夫任苏联外交人民委员，李维诺夫被解除外交人民委员职务，1941 年又被解除联共（布）中央委员职务。德军入侵苏联后，任副外交人民委员、苏联驻美国大使，并参加 1943 年 10 月召开的苏美英莫斯科外长会议。1946 年退休。1951 年 12 月 31 日去世。

阿纳托利·瓦西里耶维奇·卢那察尔斯基（1875—1933），苏联教育家、艺术理论家。从 15 岁起接触马克思主义，并把自己看作是马克思主义者，曾参与领导学生组织，在工人中间进行宣传。曾在苏黎世大学学习，接近劳动解放社。后中断了这项工作，在法国居住了一段时

间。1895 年加入俄国社会民主工党。1899 年回国，参与恢复莫斯科委员会的工作，后多次被捕和流放，1903 年流放期满后回到基辅。1904 年去日内瓦编辑党的《前进报》等。1904 年底回到莫斯科，参与报纸编辑与宣传工作。1906 年出国，出席党的联合代表大会（“四大”）、第二国际斯图加特代表大会和哥本哈根代表大会。第一次世界大战中持国际主义立场。二月革命后回国加入区联派，8 月间转入布尔什维党。参加了十月革命，革命后至 1929 年任教育人民委员，1929 年起任苏联中央执委会学术委员会主席。20 世纪 30 年代初起任共产主义科学院文学与语言研究所所长。1930 年当选为苏联科学院院士。1933 年任驻西班牙全权代表，12 月在赴西班牙途中因心脏病突发逝世于法国芒通，葬于克里姆林宫宫墙下。

拉扎尔·莫伊谢耶维奇·卡冈诺维奇（1893—1991），苏联政治家，曾任苏共中央主席团委员、苏联部长会议第一副主席。1911 年加入俄国社会民主工党（布），曾几次遭到逮捕。被释放后在尤佐夫卡一家鞋店干活，领导当地一个鞣革和制鞋工人工会。1917 年春，卡冈诺维奇应征服役，被派往驻扎在萨拉托夫省的第四十二步兵团接受军训，作为这支警备部队的代表出席全俄布尔什维克党军队组织代表会议。在会后返回萨拉托夫时被捕，逃脱之后来到位于前线地区的戈麦尔，成为当地鞣革和制靴工会主席。十月革命期间，他任俄罗斯苏维埃社会主义联邦共和国全俄执委会委员，内战开始后，任全国工农红军筹委会宣传部政委、下诺夫哥罗德省党委会主席兼省苏维埃执委会主席等职务。1920 年秋，任全俄中央执委会和人委会土耳其斯坦局委员、党中委会中亚细亚局（即穆斯林局）委员、土耳其斯坦工农检查人民委员、土耳其斯坦战线革军委会成员、塔什干市苏维埃主席和俄罗斯苏维埃社会主义联邦共和国中央执委会委员等职。1925-28 年期间，任乌克兰共产党第一书记，1930-35 年为莫斯科市委第一书记和中央政治局委员，主持了莫斯科市的建设工作。1935 年起任交通运输人民委员，后继奥尔忠尼启则任工业人民委员，兼任燃料工业人民委员，并在莫洛托夫领导下的苏联人委会里担任副主席。卫国战争期间，他出任北高加索战线军委会委员、南高加索战线军委会委员、国防委员会委员，并直接负责全国铁路运输工作。因工作成绩卓著，被授予“社会主义劳动英雄”称号。1952 年 10 月苏共十九大上当选为中央委员和扩大的中央主席团委员，并进入了主席团的九人执行局。斯大林逝世后，卡冈诺维奇仍继续担任苏共中央主席团委员。1955 年 5 月—56 年 6 月任部长会议国家劳动和工资问题委员会主席，1956 年 9 月—57 年 5 月任苏联建筑材料工业部部长。1957 年 6 月，同莫洛托夫、马林科夫、布尔加宁等试图解除赫鲁晓夫的领导职务，被定为“反党集团”成员，开除出主席团和中央委员会。后来曾被任命为乌拉尔制钾联合企

业的经理。1962 年被开除党籍，晚年在莫斯科赋闲。1991 年 7 月去世。

尼古拉·伊万诺维奇·布哈林（1888—1938），联共（布）党和共产国际的领导人之一，马克思主义理论家和经济学家。1906 年参加俄国社会民主工党。1907 年考入莫斯科大学法学院经济系。1908 年被补选为党的莫斯科委员会委员。1909—1910 年 3 次被捕。1911 年 10 月从流放地逃往德国的汉诺威。先后流亡德国、奥地利、瑞士、瑞典、挪威、丹麦，从事理论著述和工人运动。1916 年 10 月去美国，在纽约编辑俄文《新世界报》。1917 年俄国二月革命后回到莫斯科。同年 7—8 月，在俄国社会民主工党（布）第六次代表大会上当选为中央委员。十月革命时，是领导莫斯科起义的核心成员。同年底任《真理报》主编（1917—1929）。1924 年当选为中央政治局委员（1924—1929），1919～1925 年当选为第三国际执行委员会委员，1925—1929 年当选为第三国际执委会书记。1928 年起布哈林负责主持第三国际政治书记处的全部工作。1928—1930 年间，联共（布）党内关于社会主义建设的路线、方针、政策发生尖锐的分歧和斗争。布哈林认为工农联盟有破裂的危险，反对要农民为工业化“纳贡”，主张国民经济综合平衡，放慢工业发展速度，推迟农业集体化，反对剥夺和消灭富农。1929 年，联共（布）中央批判他领导“右倾反对派”，2 月解除其《真理报》主编职务，7 月解除其共产国际执委会主席团成员职务，11 月被开除出联共（布）中央政治局。1931 年为中央候补委员，在莫斯科大学兼任教授。1934—1937 年任《消息报》主编。1935 年参加宪法起草工作，是苏联宪法主要起草人之一。1937 年 2 月被指控组织“右派与托派联盟”阴谋集团，遭到逮捕并开除党籍。1938 年 3 月 15 日与李可夫等 16 人被苏联政府以叛国罪处决。1988 年 2 月 4 日，苏联最高法院决定撤销 1938 年 3 月最高法院军事委员会对布哈林一案的判决，为布哈林及受此案牵连的另外 10 人恢复名誉。1988 年 5 月 10 日，苏联科学院主席团决定恢复布哈林的科学院院士称号。

尼古拉·米哈伊洛维奇·扬松（1882—1938），爱沙尼亚革命家和苏联国务活动家。1905 年加入布尔什维克，任塔林市委员，1906 年，他被逮捕并被流放到托博尔斯克省，脱逃后在圣彼得堡和塔林领导党的工作。1907 年，他前往美国，担任爱沙尼亚工人社会主义联盟书记。1917 年 6 月，他回到塔林，担任市政当局主席助理，以及布尔什维克中央委员会北波罗的海局委员。十月革命期间参与了埃斯特兰省苏维埃政权的组建工作，1918 年爱沙尼亚被德国占领期间被捕并被驱逐回苏俄。1918 年至 1921 年，先后任工厂厂长、萨马拉省工会委员会主席。

1921 年至 1923 年，他担任莫斯科某区处长和金属工人联盟中央委员会书记，是联共（布）十二至十六届中央委员、十二至十六届中央监察委员会书记，1925—1928 年担任副工农监察人民委员。1928-1930 年任俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国司法人民委员，1930-1931 年任俄罗斯苏维埃联邦社会主义共和国人民委员会副主席，1931 年任水运人民委员，1934 年任海军副人民委员，1935 年任苏联人民委员会北方航道总局副局长。1937 年以参与爱沙尼亚反苏间谍组织的罪名被捕并被判处死刑。

莫伊谢·利沃维奇·鲁希莫维奇（1889—1938），苏联国务活动家。1913 年，加入俄国社会民主工党。1917 年，十月革命时期任哈尔科夫军事革命委员会主席。1921 年，历任顿涅茨省和巴赫姆特省执行委员会主席、国营顿涅茨煤炭工业托拉斯和南方化学托拉斯经理。1925 年，任乌克兰苏维埃社会主义共和国最高国民经济委员会主席。1926 年，任苏联最高国民经济委员会副主席。1927—1930 年，为苏共中央组织局委员。1930—1931 年，任苏联交通人民委员、国营库兹巴斯煤炭工业联合企业经理。1936 年，任苏联国防工业人民委员。在俄共（布）第十三次代表大会（1924 年）至联共（布）第十七次代表大会（1934 年）上均被选为中央委员会委员。曾是苏联中央执行委员会委员。1937—1938 年间被捕，1938 年被处决，1956 年平反恢复党籍。

尼古拉·亚历山大罗维奇·乌格拉诺夫（1886—1937），苏联革命家、国务活动家。1907 年，加入俄国社会民主工党。1919 年，任彼得格勒省工会理事会书记、粮食人民委员部部务委员。1920 年，任俄共彼得格勒省委员会委员和书记、下新城省委员会书记、莫斯科委员会书记、劳动人民委员。1921 年，当选中央候补委员，1923 年，为中央委员。1927 年起为中央政治局、组织局候补委员和书记处书记。1932 年，被指控参加布哈林右倾集团，被开除出党。1933 年，被恢复党籍。1936 年，再次被开除出党。1937 年，判处枪决。1989 年，平反恢复党籍。

帕维尔·彼得罗维奇·波斯特舍夫（1887—1939），苏联党和国务活动家。1904 年加入布尔什维克，参加 1905 年革命。1906 年成为俄国社会民主工党伊万诺沃市委委员、主席。1912 年被捕并流放至伊尔库茨克，1914-1917 年任俄国社会民主工党伊尔库茨克局委员，1917 年 2 月起任伊尔库茨克苏维埃委员、副主席。1917 年 12 月任革命军事委员会委员、工会中央局委

员。1918 年起任西伯利亚中央执行委员会委员和其驻远东人民委员会的代表，1919 年起领导远东地区的游击战争，1920 年任俄共（布）中央远东共和国事务全权代表，1921-1922 年任远东共和国贝加尔湖沿岸州全权代表。1923 年担任乌克兰共产党基辅省委组织指导部部长、省监察委员会主席，1924 年担任基辅省委书记，1926 年担任乌克兰共产党（布）中央书记。1930-1933 年担任联共（布）中央书记、组织指导部部长，1934 年担任联共（布）中央政治局候补委员。1938 年因被指控为乌克兰的右派托洛茨基中心成员遭逮捕并于 1939 年被处决，1956 年被平反。

Историко-биографическое издание

ИОСИФ ВИССАРИОНОВИЧ СТАЛИН

СОЧИНЕНИЯ
Том 20. Китайская версия

Редактор *Ли Чжожу*
Художник *Е.В. Пикалова*

Смотрите книжные новинки на сайте https://Rodina-kniga.ru

ООО «Издательство Родина»

Оптовая торговля:

ООО «Издательство Родина» +7 (495) 617-0825, 617-0952
Сайт: Rodina-kniga.ru

Электронная почта: info@rodina-kniga.ru